

二〇一一・一・三〇 *art*のためのライナー

テーブルにはワインとバケットがあり、どうせヴェニユーは汚くて皆でキッシュを作るんだろう、典型的なシャンソンの女書きの、と思いかけて、ブリジット（フォンテーヌ）以来のヒステリーとアンニユイとコケットの系譜を予断すると、現れてきたのはジョセフィン・フォスターと同質の古代性であり、エロイーズの眩きを歌詞にしているらしいが、切り取られた映画の一シーンといったみせかけの叙情は、骨や疫病や錆の脅迫的なリフレインによって突如切迫する。（アメリカの）ロックの受容に関しては「他の岬」たるヨーロッパの、ドイツとの風土性の違いから、（カンのなものとは違う）ヴェルヴェッツのフランス風なアコースティックな展開を聞き分けようとすると、それも、[△]それだけではない、豊穣が、*sing sing*というふざけた名前のギタリストにはあることに気付き、ぼくらは身を乗り出す。パリにまだフランス人が住んでいること自体嘘くさいが、それでもエッフェル塔は写真のように立っており、二人は思ったよりも小奇麗なアパルトマンに住んでいるのであり、きっともうビデはなく、ピック・ギターがいくつか、壁にぶら下がっているのだろう。

二〇一一・三 *net cafe mystery* (uramado cassette)

ネット・カフェに寝泊まりする元兵士の脅迫神経の管が山の中に伸びて行き蔓になり岩に詰め込まれた自転車となっている

二〇一一 ガセネタ特集のためのプロフィール

僕が生まれたのは一九五八年一月ですが、マイナーに集まっていた人々の内、角谷美知夫、金子寿徳、大里俊晴、篠田昌己、石渡明広、久下恵生、渡邊浩一郎、山崎春美、浜野純は皆大体一年以内の誤差で生まれています。その中で先生と呼ばれてしまったのは大里と石渡だけです。でも皆誠実に、立派な友人達でした。

雑誌

あの頃ブレヒトを読んで山谷に行ってみたりしていた。僕はレコードを買う金どころか食費もなかった。ブレヒト的な背骨の音楽とは対極の、胸の

音楽もあった。赤と灰色のアルト一全集第一巻にまわり憑いている凶凶しさを、メイジーの不吉なカッティングと共に思い出す。礼子が台湾の「太陽神楽隊」というレコードを見つけ、ノイズをやめてこれをバンド名にしようかと話した時、灰野敬二は僕らが右に行く可能性を予言したものだ。マイナーにおける別の作業日誌、書かれなかった NOISE ARBETS JOURNAL は、「天皇 NOISE」というアルバムの中に聴き取る他ないし、阿部薫と間章が死んだ年にあの場所に居た、「ガセネタの荒野」には出てこないマイナーのブハーリンたちが、党史から抹消されたまま、捏造には捏造を、と叫んでいる。

ガセネタの練習に参加したことがある。佐藤隆史が例によって自宅で寝ていてマイナーに出てこないで、浜野がたまたま店に居た僕に冬里君ドラムやってよ、と言ったのだ。浜野はその頃僕に対して異常に愛想が良かった。灰野敬二が僕らに仲良く喧嘩しなよ、と諭したからだ。いろいろな批判はあると思うけど、ガセネタはね、あれはポップミュージックを懺悔してるんだよ」。

曲は簡単で、ドラララーララがつんのめって加速してめちやめちゃんになって終わる、というものであった（とぼくは解釈した）。一拍目でその時点でのEをキープし、三拍目のスネアを早めに叩けば論理的には加速していく筈だと思った。ドラムはやったことがない、と言うと、こう腕をクロスさせて普通に、と言われてやって見たが、その叩き方では無理だった。だから佐藤隆史はジャズのシンバルで逃げたし、乾はタムの連打で焦点をぼかしたのだ。僕は、加速に焦点を与えたこの「父ちゃんのポーが聞こえる」という一曲だけでガセネタはいいと思っている。ドラムとベースが遅れ続けることによってしか曲を引き延ばせなかったとしても。山崎が最初にドラムを叩いた時のエピソードが書かれているが、それらしい録音が、「ガセネタ・ボックス」のユニオンの付録にある。それを聴くまでは、山崎は正しく三拍目を急ごうとしていた筈だ、という確信があったのだが。阿部薫には一音の加速という要素があったが、浜野にもあったその資質はバンドの中では宙吊りにされたまま。太い弦の粘りのある跳躍はリー・ステイブンスの一瞬のそれに似ていることがあり、クラシック・ギターの基礎から始めたという左手と右手を司るギタリストの脳があったが、ルート上のデレク・ベイリーといった趣の音程は、あの時代に共有されていた世界との距離そのものだ。その頃灰野敬二が「名ドラマーを連れてきたよ」といって水谷孝をマイナーに引っ張ってきたときのことを思い出す。水谷のドラムは上を向いて、完全にやる気のないもので、弾きまくる灰野を完全に無視して、たまにスネアの上にスティックをぽとぽと転がす、というものだった。遅れないための方法としてはそれが最善だった。ガセネタは加速を目指したが、音楽を長く続けるために偶然を使いこなすケージ的なマジックを拒否したために短命だったのだ。それでも今ならランナコードでも正確に再領土化と言うであろうその限定的な領地の私物化のオブセクションの為に彼らは練習と言質を取る式の営業に生きた。

浜野を誘ってマイナーを一ヶ月半借り、バンドを六つ集めて「うごめく、気配、傷」という連続コンサートを企画したのだったが、途中で浜野が客が来ないし僕が見てくれないから止めると言いだして、じゃあ土方して払うからいいよ、と言うと、浜野と灰野敬二はじゃあ止めるから、と言ったのだ。大里は彼の義狭心からじゃあガセネタは解散だな、と言ったのだが。ガセネタの解散の理由がヘロインなのか順子なのかは知らない。福生で

不矢者のベースを弾いている姿が浜野を見た最後だった。浜野の不在によって、シドが去った後のピンクフロイドのように仕向けられるのはまっぴらだったから、その後はタンゴとインドの戦いというより、一音を巡る加速とずれの、続けられないものと続けられるものの領土交渉のような戦いだっ
た。

間章がブルー・チアーやテレヴィジョンのベースリストとギタリストを間違えるのはかれのロックが幻想の『福生』からの受け売りだったからだ。『福生』を浜野のレコード・コレクションと言い換えてもいい。それに竹田賢一からのアイヴアースやL'EMSやコレット・マニーが加わって自販機雑誌上で坂口卓也によるサイケ百選的なアーカイブ化が行われていき、そこから何故加速なのかを問う床のないまま幻想の『高円寺』のロック・クリティークのホログラムが浮上した。それらは季節のドグマといって良かった。季節のずれがドグマのずれになっているだけなのに、大里は半生かけて間章を対象化しようとして、高柳を切るようなマナーを受け継いでしまっているものの、いくつかの優れた論考を書いた。かれがタニエル・シャルルの許に行ったのは、これをやっておけばなんとか余生を誤魔化せるといった消去法としての人生の意味の落とし処を求めていることだった。演奏に向けた実践はガセネタで終わっていることはかれ自身が一番良く知っていた。(実践ということいえば、後の「音響派」のリアルタイムへのこだわりのなかに、あの頃のオブセクションの名残を見ることができる。もともとそれは逆輸入された辺境性ともいうものだったが。)大里は音楽家ではなかったが、恋人がいたし、売文の前振りは無残だったが、それなりの書生人生を生きた。山崎に言え、かれはロクデナシではあるがヒトデナシではなかった、といった評価を得るために生きている感があるが、それはメンヘラではあるがビッチではないといった評価を得ようとするのと同じことで、上から見れば倫理的には同じことのように思える。ガセネタは荒野でもなんでもなかった。結局残っているのは浜野のギターの一瞬だけだしそれは懺悔でも加速でもない、ただの歌だった。

for the poetry book of Shibuya

自分の書くものは現代詩だと信じるシブヤくんは、自分の書く言葉にどこまでちからがあるかどうかを知りたくて、女に自分の詩を歌わせさらには他言語に翻訳してから歌わせることまでして、これはもうほとんど伝わらないだろうというところまでもっていく。これは美術の手法である。そこまでしてリアリティーの行く末を見る。あるいはわれわれに、それを案じさせる。結果少しでも残ったものがあれば、あるいはなければ、それが現実というものだ。

シブヤくんの肩はイカのように均質で、たまにいる、人が折角揉んでやると肩こりってなんですかと言うタイプの非地球人であることがわかる。松本圭二は地球人を詩人、聖人、それ以外、の三つに分け、詩人と聖人だけが救われ政治家哲学者等は何んの価値もないと喝破したものだったが、もうこ

れでお分かりのようにシブヤくんは地球人ではないので、その三つのうちのいずれのカテゴリーにも入らない。エデンを目撃する第三者を仮想するのは不可能だ。それでもなお、ライターと歌手という仙台のメジャーごつこの仮想のなかで、かれは最初からぼくらの救いとは関係のないところでちらそのものを試そうとしてくれているのだ。

山小屋にて

ワラビや葛は猪が食べ尽くしてしまったが

ワラビはある種のシダの若い芽で、先が渦巻きになっています。春に食べます。

葛はよく繁る夏の蔦ですが、根を粉にして食用や薬用にします。

猪は凶暴な野生の豚で、山に広く生息しています。

オニシダは朝陽を浴びて透き通っている

オニシダは大きめのシダで、節分という行事ではそれを使って鍋で豆を煎ります

分かれた葉の間に螺旋の芽が解（ホド）かれようとしている

オニシダの若い芽も螺旋状態から徐々に解けて伸びていきます

枯れた葉にも光が当たって

桜は三分（サンブ）咲き

桜の開花を段階的に一分咲き、二分咲き、三分咲き、五分咲き、という具合に言い表します。

季節は終わりだが椿が滴っている

椿は冬から春の終わりにかけて、ずっと咲いているので、季節感を超えて存在しています。その赤い花は、花卉を散らすことなく、首を切られたようにそのまま落下します。

蠟梅も終わってほんとに蠟になっている

蠟梅は冬から春にかけて咲き、transparentなその黄色は蜜蠟を思い起こさせます

季語の縛りがなければ

季語は俳句の中に入れないといけない、季節感を表す言葉です。

縛りとは規則ということです。

きみたちのことも歌ってあげるのにな

きみたち、というのは椿や蠟梅など、春に存在するのに春の季語にはなれない者たち、ということですよ。

連続テレビ小説はてっぱんだった

連続テレビ小説とは、毎朝NHKが放送するテレビドラマのことで、国民の大多数が観ています。

三・一一の震災当時、朝の時間帯に放送されていたのは「てっぱん」というドラマでした。

鉄板（てっぱん）はお好み焼きや焼きそばを調理するときに使います。

大きな地震があった

この春は写真を撮るのももったいなくて

眼に刻もうとしている

シャッターを切ると見えているものは失われるだろうな

終わりは 色なのか？

津波の写真を撮ろうとして死んだ人が大勢いたので、震災直後の春は、写真を撮ることもはばかられるような気分がしていたのです。

視察

三角形の残滓が白い火事のようにラインを作っている

三角形はピラミッド型のヒエラルキーや差別意識を表します。ラインはここではtwitterのタイムラインのことです。タイムラインにRTやメンションが集中することを「炎上」と言います。

山は悠大過ぎて眉を顰めた歩行は常態化している

日差しが眩しいと、眉をひそめた険しい表情になる人がいます。大きな力の前で、無力感が普通になっています。

突然の風に軽トラが揺れて

軽トラとは自家用の小さいトラックです。横なぐりの強風が吹くと、車体が転倒するほど揺れることがあります。

ユキヤナギはゼカリヤ的である

ユキヤナギは春に咲く非常に白い花で、風景がゼカリヤ書のように色彩的になります。

第一声の揺れは要塞の上を彷徨う

第一声とは選挙の候補者が選挙運動を始めるときの最初のスピーチを指します。大抵は宣伝カーで名前を連呼するだけです。そうした音声は耳には届きますが、要塞のような意識の内部には届きません。

低空飛行の蜂が地面の埃を円形に吹き払う

ある種の熊蜂は初夏に地面に巣穴を作ります。それは（救援の）ヘリコプターやオスプレイが離着陸するときのようです。

泣いて食事をしようとしなかったハンナとペニンナの感情の受け分

1 Samuel 1:1-8 ペニナは子供の数に応じてハンナよりも多くのものを夫から受け取りました。

この春は美しすぎて

写真に撮るのも勿体無い

外には戦い、内には恐れ

2 cor 7:5

ただ朝の連続テレビ小説があった

「てっぱん」のことです

山は悠大過ぎて

点在する家は孤立していた

津波によって孤立した集落が沢山ありました。

ラフだけの連載マンガのような白い夜行

ラフとは漫画の下書きのことです。ここでは殴り書きのデッサンの連続のような物事の進展、その余白の白が際立つ夜の旅、という意味です。夜行とは有名な日本のアングラ漫画雑誌のタイトルでもあります。

死も 生も み使いも 政府も 今あるものも 来るべきものも 力も 高さも 深さも またほかのどんな創造物も

romans 8:38

on an inspection

タイトルの視察、ということ。上位の権威の、私たちへの検分という意味合いを兼ねています。

涙をもって蒔く種もなく
与えられる結末もない

自分や他人の延長線上にさえない強さ

おせっかいな密告 *meddle*

ゲーム画面の山道が続いてゆく

この世は基本的には皆さんに敵対しています

政府の高官による被災地への視察と、キリストに検分されるべき個人、という二重の混乱した意識が描かれています。

場所が消えた

地層が消えた

場所さえ消えた

洪水で押し流された実際の地層と、自分の意識の諸階層の双方を表します

実際の災厄で消滅した集落と自分が拠って立っていると思っていた階層の双方を指しています

名指した途端に

震災後のそうした場所に関するシニフィアン (*signifiant*) とシニフィエ (*signifié*) の関係の変化のことを言っています。

終わりは色なのか
と書いた

色が消えた

フィルムを巻くたびに
磨耗していく

アナログのカメラのことです

今日のわたしは昨日のわたしになる

石から白黒の花

写真のことを言っています

危機は鈍い心を素通りしていった

洪水の処理だけしていた

リングが手を叩く

ドアのない家で

喜ぶべき理由がない

芳香剤が効いて腐臭がしない

リングが足を組んでいる

リングは女の子の名前でもありません

白い手袋を嵌めている

手を頬に当てている

「まだ減ばしていないのは
何と幸いなことでしょう」

これは地震や津波ではなく最終的な社会全体の減びについて言っています

報告など見ていなかった

津波の後 石の心は凪いでいる

1 tim4:2

二〇一 模索舎選書棚のためのテキスト

この震災で、人々は「背骨の人」と「胸の人」とに分かれました。「背骨の人」は「日本ガンバレ」或いは「頑張るな」という方向に行きますが、「胸の人」はひとりぼっちです。外人居留者として被災し、外人居留者として外人居留者のコミュニティからも疎外され、外人居留者としても勿論、日本からも疎外され乍ら何を表現できるか。そのことのために読むべき本は果たしてこの本屋にあるでしょうか。これらは本屋で立ち尽くすひとりぼっちの思想です。身体性の（アルト）、ハプニングの（ダダカン）、やさしさの（マルクス）、餓死自殺の（尾形）、やってしまったことから始まる不可能な領域への、同労者のいない、残された僅かな時のための。

《ピアノの剥き出し》 二〇一一年一月一二日 久万美術館

五〇年代の具体美術宣言によって、坪内さん（注）は、「痕跡が残された場としての物質」という基本路線をさだめる。かれはそのまま最後までそれだけだった。だから還元的な静謐は似ているものの、七〇年前後のものの派のドグマとしての世界観を提示することにはならなくて、それはいつもストリートやスーパーマーケットの表層の空気感をそのまま提示しているような感じである。カミュとハイデガーの違いのようなものが、かれともの派を隔てている。さらに公務員としての経済基盤によるものなのか、美術史の文脈から外れた一回かぎりの行為によって記憶されるダダカンのアナーキーとも、一見無縁であるようにみえる。ただ、かれと深く付き合った人々の話をたくさん聞いたわけではないので、ほんとうのところはどうだかわからないが、ぼくにとつては、かれの観照的な態度はいつも「庄屋」的だったのだ（かれの砥部町川登ルビ：かわのぼり）の自家は保存されてすっかり町おこしの拠点になり、ぼくが砥部中で一緒だった焼物屋の泰山くんの娘の初美さんとかによってよくアート・イヴェントがおこなわれている模様である）。庄屋的とは、ひとりだけ「死刑よりもむしろ刑務所を廃止せよ」というような身体刑の時代のエピソードを生きているということである。農地解放で没落したブルジョワであるような出自が（アートにおいても）啓蒙や軍隊化を嫌うのは自然な成りゆきであった。

坪内さんはカミュから出発した。『ペスト』で描かれる例外状況がじつはありふれた路上にあるということ、路上の目線から政治と倫理をとらえる方法は、唐突かもしれないが、フーコーがかかわった「GR」（監獄情報グループ）での自分を消去して聞きとりに徹する反啓蒙主義の実践や、卑近な例では村上春樹のサリン被害者からの聞きとりの手際を思いださせる。いずれも声高に近代といった仮想敵を連呼する体ものではない。美術においても、自虐ともいえるハイデガーの受け身が示す極北への身振りが幅を利かせるなかで、坪内さんには、無名性を主張するがゆえの喧ルビ：かまびすしさといった背反がなく、むしろ時代が無名性というキーワードに至るまでの不可避の結構を示す使命感ともいうような、庄屋的でフリーエ的な倒錯した啓蒙意識があったのではないか。かれがいつも同じ毛玉だらけの多色のセーターを着て村松画廊に座っていた姿を思いだす。そのセーターを編んだ人をぼくは知っている。その雑多な色彩でできた毛糸を着続けることが《お》のシリーズのデイケイドと奇妙に重なり、クールを装うでもなく、熱いように醒めて見ている、とてもというような印象を来場者に与えていたのだ。画廊に座って作者とお茶を飲んでみると、瑣末な技術的なエピソードでお茶を濁すしかないことが多いが、坪内さんとはとくに話す領域が見つからなかったのを思いだす。わかっているという前提で向き合う

と、何を話すでもなく、ここは流れて曲がったね、とか、今年は白っぽいね、現像はまだ同じやり方？　とか、阿呆のようなぼそぼそとした会話を続けるしかなかった。その苦痛は、奇妙にシジフォスを思わせた。地方にいる坪内さんが河原温的なものに参入してしまうことはその時代、博打だった。まわりが不安になるくらいがいいのだ。現に《ち》のオブセッションはこうして回顧展のかたちになったのだから。ぼくらはもっと、削ぎ落とすべきなのだ。

具体の所為で精神を病んだ田中敦子のカセットテープのような、円とつながろうとする線で構成された平面作品は、具体脱退後四〇年以上にわたって持続したが（金山明との合作の円の内部の線がとくに悲しい。吉田稔郎「ルビ」：とし　おのロープ作品の円の内部の充満と比べると）。森内敬子の円と線は樂觀的だ……）、坪内さんも同じ作業を持続させた人だった（吉原治良の禅画もどきの円は誰ともつながろうとしていない。いちばん具体宣言から遠ざかったのは皮肉なことに記号や数字に絡めとられた彼だった。フランスのグタイのサイトで彼の円が取り上げられていないのも興味深い。ただいくつかの円の最良の「絵画」は皮肉なことにいまでも美しい）。具体再評価の機運が高まった八〇年代に、田中敦子は「電気服」を再現したが、かれが新居浜などでおこなった空き缶服のパフォーマンスは、あるいは彼女へのオマージュであつたかもしれない。

具体の初期の古色に埋もれたパフォーマンス群には、タージ・マハル旅行団でいえば小池／土屋／永井／長谷川の資質の違いのようなものによって分かれていくような、うつすらとした色分けの、のちの変質を予感させる萌芽があつたが、そもそもがアクションではなく物資を捉えかえすというのが宣言の要旨なのだった。坪内さんのアクションのない地味な作品は、かえつて変質しないことで際立つてくる。

二〇一〇年にロンドンのギャラリーで、故白髪一雄の奔放な足の作品が季節のドグマに埋もれてひっそりと展示されているのを見たとき、その色彩に昭和を感じたが、白髪一雄の持続と坪内さんの持続は、色彩においてではなく、時間の味のようなものにおいて共通しているのではないかと思つた。

自身のメールアートについてかれはもつと認知されたがついていた。かれがもつとも自慢したかつたのはそこだった。郵便的であろうとすることによって具体が抜けていくべき道があるはずだった。だが松山では誰もかれを認めることができなかった。それでもかれはネットが波及するまでそのコミュニケーション方式にこだわり続けた。嶋本昭三由来のアドレス記載型のメールアートはplanBやアートランドなどのフリースペースの広報に残滓をみることができ、八〇年以降はコンクリート詰めのカセットをつくつていた松山のタケチナゴのようなノイジヤンとともに成長したのであり、かれと松山の若い世代がリンクするのはまさにそこにおいてであるはずだったのだ。

最期は剥かれた段ボールだった。八〇年代のポストモダン的な軽い書割とは一線を画したかれの段ボール作品は、剥がされたコンクリートの道路と同じ重さをもたされている。《ち》は表面を追うだけだったが、「段ボール」はコンクリートを剥がして瓦礫を投石する革命行為にリンクする。

二〇〇〇年ひと桁代の平面依存以降、もの派的なものが糾弾されて現行のビエンナーレ的な趨勢に取って代わられて久しい。かれの、売買の種にならない古めかしさはそのことによって逆に印象派の絵画展に匹敵する。

たとえば横トリのクリスチャン・マークレーの《the clock》においては言葉のフレームが時間そのものに置き換えられることによって、音はジョン・ケージ以来の局面を迎えている。《ち》の標識そのものに向き合おうとする具体的な手続きは、世代的に、写真というメディアの想像力のなかでのおこなわれたのだが、それはたとえばさらに石田尚志的なテクノロジーを使ってなされたかもしれないのと思ってしまう（神戸ビエンナーレは平気で具体を取り上げており、東京とまったくべつの時間が流れていた。それは関西ノイズ勢のエグさにつながる。注3）の亀裂もそうした風土的なものに帰されるはずだ）。

キヤメル（注3）の展示には段ボールのほかに油絵の具のチューブに釣具を挿したのもあった。絵の具そのものへの回帰はまさに具体宣言のコンフォルミストたる証のようだった。

吉原製油社長（注4）との出会いがかれを決定づけたわけだが、遠い反響がぼくにもある。吉祥寺のマイナーではじまったレーベルは「ピナコテカ」という名前だったのだ。七〇年代後期の世代にあつてさえ、グタイは日本のキャバレー・ヴォルテールだった。

具体宣言によって美と認定された廃墟がいままた東北にみられるが、福島にみられる現象はそれとはべつのものである。福島以後の表現として強度をもつのは、案外《ち》であるかもしれないのだ。広島長崎福島で日本は消滅したが、それでも《ち》は残っている。大阪のグタイ・ピナコテカ跡が遺跡のように発掘されている現場はそのためのアイロニーであるように思える。

村上三郎は死ぬ二年前にも紙破りをしていたが、それは現東京都知事（注5）にきちんとした影響を与えただろうか。赤缶の山崎つる子さんはまだ生きている。正延正俊についてはけっきょく残るのは絵だと思っていた節があり、嶋本昭三が「先生の言うこと全然聞かへんのです」といつていておもしろい。後期の元永定正や上前智祐は現美でいえば多くの中学の美術教師だった升田裕康みたいな位置にいる（元永とゼロの作家ピーネを結びつけるのが今回の神戸の目論見であつた）。ちなみに愛媛県美の紀要で坪内さんを取り上げたのは高三のときの多くの美術の担任をしていて、その後県美に移った増田和朗で、それは現在手に入る坪内さんに関する唯一のまとまった論考であり、ぼくの知らなかった九〇年代の作品が解説されているが、「物に対する慈しみ」といった結論部分がヒューマニズムに裏道を提供していて、実存主義を潜り抜けてきた日本のアンフォルメルにたいしてその落としどころかよ、という気もした。だってそれじゃあ、『日曜美術館』みたいなもののオチと一緒じゃないか。増田先生によると、《ち》は亡くなる前の二〇〇三年まで撮り続けられたという。あの場所はぼくのかよっていた高校のすぐ近くであり、交差点のはなまるうどんは此花うどんと名を変えてからあまり流行っていない。

嶋本さんはまだご存命で、母をとおしたアーティストユニオンと注6の活動で接点がある。ぼくは一九七五年頃ユニオンハウスという砥部町川登の家でパフォーマンスをしたことがあるからだ。

去年のヨシダミノルのブログ埋葬は鮮やかだった。かれの偉いところはつねに若い世代とつながっていたことだ。息子の省稔ちゃんと奥さんのミドリ

さんと「現代家族」というバンドをやっていて、一緒にライブをしたこともある。その後省稔くんはくるりというバンドのメンバーになっちゃった。

坪内さんの息子さんも作品をつくっていたのを知っているが、いまはどうしているだろう。展示にはかわらないのだろうか。吉原治良の息子の吉原通雄は興味深い。バンドをやっていて、万博では鉄パイプで音響をやっているし。スペインのマツシモ・バルトリニの先駆かもしれない。

六〇年代からの参加者は逆に消えた人が多い。そのなかで菅野聖子の数式や今中クミ子の渦巻が際立っている。名坂有子や大原紀美子も加えると、ムーヴメントの終わりに女性が台頭し、リリカルな衰退の仕方をする例をここにもみることができるが、ただ、かれらは、そのまま万博に突っ込んだのだ（参加しなかった坪内さんの炯眼はいまも重い。万博を救ったのはダダカンただひとりであった）。

具体の女性たちのことを考えると、白髪富士子のように夫のサポートに徹する生き方を選ぶ人もいて、そうした葛藤がシーン全体のトーンを形づくっている。ユトリロの絵はみんな奥さんが描いていたんだぜ、というような極論を酒場で聞くことがあるが、愛媛出身の有元容子さんなどにそうした話題に絞って聞いてみたい気がする。

全体としてみると、やはり田中敦子の最初のベルの作品が物と音そのものに向き合っていて、いまでもすばらしい。美術館向きの作品がもてはやされるなか、それに対抗するには個人史を引きずったオノ・ヨーコのたとえば今回の横浜トリエンナーレの《DREAM》のような自分の提示の仕方が強さをもつが、田中敦子にはそれと同質の輝きがあると思う。

坪内さんを考えることは工藤寿栄子を考えることもある。かれの批評はいつも、意味をもたせないことに向かわせようとするものだったので、あらゆる美術館的な作品はやりわりと否定されるしかなかったから、彼女は反戦といった世代的な主題を作品から消すべきかどうか、といった意味性の問題に関していつも放りだされた。ぼくにとって坪内さんは松山のブラックホールのようなもので、デッサンなどは目でしていればいい、というかれの持論の所為にするわけではないが、ぼくも石膏デッサンがあまり上達しなかった。工藤寿栄子の作業が具体からAUに至るロック史のなかでどのように位置づけられるかは本人を含めあんがい誰も考えてこなかったことなので、今回の坪内さんの展示はそのことをはっきりさせるものになるのだと思う。誰もやらないことをやるといいながらなんとなくやってしまっているところがあんがい高知の高崎元尚に似ていたりする。

具体音楽はピエール・シェフエールの一九四八年の作品にはじまる。ピアノでいうなら、ピアノそのものの音を提示すればいいということになる。

寒川（注）さんのように低音に調律したものを弾き、それをバルトリニのパイプオルガンのように、数本の長さの違う鉄パイプに増幅することはできるだろうか。ふいごがなければ管全体を共鳴させるのはむずかしい。アプリを使えば、映像付きの音をサンプリングして、ドラムマシンのように使うこともできる。具体音楽の具体化はすでに市場でなされてしまっている（ただ、コンクレートの眼目は、映像と音を切り離して「耳を澄ませる」ことにある。それを考えると、iphoneのmadpadというアプリは具体音楽の大衆化を装いながら具体の真逆にある。それが鍵になる気がする）。それを

プロジェクターで投射し、空と《ち》を組み合わせた映像やドの音に調律する過程で音の映像をそれに混ぜることもできるだろう。吉原治良「ルビ：じ ろう」ならんというか。

精神と物質というけれど、いまは物質には二種類しかない。汚染されているかいないかのどちらかだ。すなわち、《ち》の地べたは、いまは、汚染されているかそれほどは汚染されていないか、のどちらかでありえず、それをみる私たちも、汚染されているか、まだそれほど汚染されてはいないか、のどちらかではない。

坪内晃幸展は一〇月一日（二〇一一年）からはじまってしまった。空をみつめる行為は痕跡を残すか。雲は水ではなく宇宙線によってできるという最近の発見は、雲が地表の惨状を物語るという逆説を用意する。「きみがかなしいから雨が降るんだよ」というセリフはあながちうそではない。オープニングのトークが終わって外にでると、空がダメ出ししている。増田さんや神内さんに泣きゴトをいつてしまった。増田さんには、「宣言」の「対立したまま握手する」というところをよく考えろといわれた。神内さんは、その問題は六〇年どころかもっと前から棚上げされている、といった。ヒトの痕跡がアートなら、一線を越えて目の（写メの）痕跡として地べたの反対の空を考えようか。それは蜘蛛のかたちをした地球の磁場だ。ピアノ線に電気をとおせば磁場が発生する。それを釣り上げるcatch waveを考える。それが空、our private skyということだ。ヘテロダインのためには高周波発信振機が二つ必要だが、そんな金はない。もしも空が地べたの反映なら、わたしたちは空に《ち》をみる。中国あたりのアーティストなら飛行機雲で空に《ち》と書くだろう。

ピエール・シエフェールについての論考がクロアチアの現代美術館のだしている『mediant』という本で特集されている。知人のBrian Willemsが、「index」「sign」というキーワードを使ってドゥルーズとReiko Kudo名義の『人』『草』『ちり』をなめる』の三部作を分析することで具体音楽を説明している。それは、Kudosの作品はindexのなかに脱領土化がふくまれている例証として挙げられている。ピエール・シエフェールの作品と、べつの音楽を同時に流すと、綿密に意図的な操作がなされたかのような印象を与えるが、そのことは多くの示唆をふくんでいるように思える。つまり、ただピアノを弾くという行為はやはり必要なのではないか、と今日は思っている。

学芸員というのは、会期中はその作家が乗り移ってしまうみたいだ。神内さんに、空に《ち》、という着想を説明しようとして、坪内さんはつねに絵の具（のチューブ）、道路、段ボールといった人工物だけを対象にしていたね、と水を向けると、自然がどうかというなら直島に行けばいいのよといわんばかりの勢いで、自然はいじつてもしょうがないと思っただけでしょう、坪内は最後まで画家だったからじゃないですかという。《ち》にはまだ宣言と写真が必要だったが段ボールに到るともはや言葉を紹介せずに直接物質が剥きだしになるところまでいつている、というのが彼女の意見で、だからどうしてもピアノを剥きだしにさせたいらしい。そうなるとやっぱドの一拍子だろうか。段ボールに焦点を合わせる話をしたあと、今日はまた振りだしに戻ってしまった。

坪内さんや母や森さんと日振島（ルビ：ひ ぶり しま）に行ったのは中学生のときである。大人にみられたくてビールの大瓶を六本飲んだ。そして船から麦藁帽が落ちたので飛びこんだらサメの背鰭がつつつと近づいてきた（なんか夏休みの作文みたいだな）。イカ釣りの灯りをみながら坪内さんが、こんなきれいな夜の海をみることは一生のうちでもないだろう、といったのは鮮明に覚えている。おじいさんだな、とそのときは思った。でも彼はそのとき四〇過ぎたくらいでいまのぼくより若かったんだ。そしてかれは自然が嫌いなわけじゃなかったんだ、といま思った。集まった人たちは、アートの名のもとにただ男女で遊びたかったんだと思う。レイヴとか、野外フェスみたいなものだ（愛媛の人はいまでも野村朱鱗洞の結社のような集まり方をする）。海の《ち》、海の皮膚、剥がしたらもう若くはない海の内臓。そして坪内さんは、そろそろそれが本当にエヒメの前衛の最後の遊びになることを予感していたのではないか。坪内さんたちは日振で最後の海の皮膚を剥がそうとしたのだ。共同体は失せた。やっぱり、と戦争体験のPTSDは自答する。そこから段ボールまであと一跳びである。段ボールの皮膚を剥がしても、そこには同じ乾いた素材の干からびた内臓が顕わにされるだけだ。バーコードやいくつかの記号が残ったポップ・アートの骸骨のような実存（増田さんは『嘔吐』の新訳に従って正しく「実在」、と発音したが）。

寒川晶子さんと浅草の算数塾で会って話した。ドのチューニングはセント値に従って五段階に分割し、音の干渉を主題にしたのだという。その点について、批評家からはドだけの倍音なしのほうが潔かったのではないか、という批判があったという。ぼくもそう思う。それで、ドの純正でやってみたいと思う。それとmadpadを映像と結びつけない形で採用する。だから必要なのは調律用具あるいは調律師、ビデオカメラとプロジェクターとそのコネクターです。madpadは借りられます。

《ピアノの剥き出し》

requiem

モノとしてのピアノは木と鉄と（昔なら）象牙に還元されるから、それらの素材を音具として使えば、絵の具のチューブのような次元の表現となる。

40

地べたとしてのピアノは鍵盤の上を通りすぎるひとの指の痕跡として定点観測できる。これまでにそのピアノで弾かれたすべての音を重層的に鳴らすことができれば、それは《ち》と同じ提示法となる。

段ボール

《ピアノの剥き出し》は、映像とサウンドを切り離す具体音楽の考え方で表現できるかもしれない。ド音のみの調律や、madpadによるサンプリングの映像と音の組み合わせのずれによって、剥かれた段ボールに向けてられる視線の（ノエスノーエマ）と同じ種類の認知体験となる。

演奏は、次の手順で行われた。

- ・madpadを使ってピアノの各部の映像とそこから出た音をスクリーン上でサンプリングする
- ・ド音に調律されたピアノを複数の人が弾き、デイレイ・マシーンを通して痕跡を積み重ねてゆく

当日は、演奏後半に調律師が登場し、調律を元に戻してゆく作業を演奏の一部として取り入れた。

最後にラ音をチョーキングして弾き、「ピアノの剥き出し」は終了した。

ぼくは燕尾服を着ていた。

注¹

坪内晃幸（つぼうち・てるゆき／一九二七～二〇〇五）

松山市生まれ。一九五六年から一九六〇年まで読売アンデパンダン展に出品（五八年を除く）。人間と物質の対等を謳った吉原治良の考えに共感し、五七年より具体美術協会の会員となり国際的に活躍する。他方、松山においては一九六〇年代後半から七〇年代にかけて「ネオ・ブロック」や「」の会実験展」などさまざまな前衛美術運動を企画。工藤寿栄子らと共にヨシダ・ヨシエらのアーティスト・ユニオン（AU）にも参加。一九七三年からは、速度制限の四〇kmや道路標識をテーマにした作品を発表。晩年は廃物を使ったオブジェやメールアートを展開した。

かなかなはけけけけふも五時ちやうど

雲の裏側が地表の惨状を物語る

かなしみぼろぼろ

悲しみじやりじやり

かなしみぼそぼそ

かなしみぎぼぎぼ

かなしみすばすば

かなしみぼこぼこ

かなしみぶかぶか

醜い集落を過ぎ墓を過ぎ

離れ落ちた者を受け止める場所を探して

生きるためには自分を再び人生に接ぎ木する必要がある

きみのため夏は終わりとさけびおる拡声装置としての野のゆり

気付くことなどにもなくてもいいと歌っているかのような俳句か

滅びの季語

ひからびた朝

墮胎せる

女カンカン

照りの下

かなしみぐたぐた

かなしみぞろぞろ

かなしみせろせろ

かなしみぞりぞり

かなしみぶらぶら

かなしみとろとろ

かなしみぶかぶか

充電器探して・・・深夜に時俺は今から用で出掛ける

大ガードの上を銀と黄の電車が通るが今は色の話をしている場合ではなかった

her letter・・・晴れた

かなしみぽかぽか

かなしみこそこそ

かなしみぎとぎと

かなしみすぽすぽ

かなしみこそこそ

かなしみずずずず

かなしみぶずぶず

かなしみずぽずぽ

かなしみすぽすぽ

かなしみぴろぴろ

かなしみころころ

かなしみちよろちよろ

かなしみどしゃどしゃ

かなしみどきやどきや

かなしみぶしぶし

かなしみほろほろ

かなしみごぼごぼ

皇帝ダリヤも皇帝ダリヤ飼育係も

かなしみごぼごぼ

かなしみぶしゃぶしゃ

かなしみずろずろ

かなしみぜろぜろ

かなしみぎよろぎよろ

かなしみじよろじよろ

かなしみぐらぐら

かなしみじとじと

かなしみじよわじよわ

かなしみごろごろ

かなしみぶらぶら

かなしみぺかぺか

かなしみべこべこ

かなしみごごご

かなしみごかごか

ごきやごきやじゃないな

うまくいえない

かなしみじやこじやこ

かなしみすいすい

かなしみ bobot

かなしみがらがら

かなしみあがあが

かなしみすかすか

|

⇒

、

ノ

才

かなしみぞぎよぞぎよ

かなしみげこげこ

かなしみちやぶちやぶ

かなしみからから

かなしみぱたぱた

かなしみぱちぱち

かなしみきよばきよば

かなしみぼこぼこ

かなしみびびび

かなしみぷくぷく

かなしみはかはか

かなしみ TIL

かなしみじよりじより

かなしみグーグー

かなしみろんろん

かなしみがばがば

かなしみびたびた

豚シャブ樹海ガール

が拡散した海に引き網☆ログインすなどの雑魚は除染された言葉
別の海で漁ろうとしたが

どこまで逃げても同じ海だ

名辞上の小さな海の連なりなど意味が無くなって

今日は空が青すぎるエンジェリン・ヘヴィー・シロップ、という感じ

・・・ひびの入ったiphoneをそのまま使っているような日々

くるからまり

まりくるから

からまりくる

まりからくるから

くるまりくるから

からまりくるから

くるくるからから

からからくるくる

まりくるまりくる

からまりまくる

からまりねむる

くるまりねむる

à bout de souffle #ABOUT

きみがどこへ行くこうと何を食べようとそれは場所とアミノ酸の移動に過ぎない

black bears being you

男がバナナを持ってスーパーをうろちょろしてる

かなしみべたべた

かなしみこぼこぼ
かなしみこぼこぼ
かなしみびこびこ

辰年のコミュニケーション

手話に裏表があるなら

装いを変えても追い抜かれる

電を追い抜き終着駅に刺さってゆく

山吹色の光を押し出してドアは閉められ

室内は既に霊の白さを予期している

語られた状況は葡萄茶と紫だった

要約しようとする補色になる

白土に白蛇

全宇宙が注目

オレンジイエロー

クリーム

白

今年も光は蛇のようにはためくのか

焦げたオレンジ

目を閉じると太字のアルファベットが見える

収蔵品のような意味の沈殿

また別の時があると思っていたが

人は終わりまでこのままこめかみから内部にアニメ化される

わたしの言う事をあなたが当てはめたら

わたしはすぐにも滅びるだろう

あなたの接続が場末のネカフェのように遅いのでわたしはまだ生きている

生かされているのではない

死に漏れているのだ

女はトイレで嗚咽した

クラウド・メアリー

@_j_sei 伊藤左千夫やね

I liked a @YouTube video youtu.be/JdOU5SfGjLA?si=善英史 アカシヤの雨がやむとき

こわいゆめがこわい いたいゆめがいたいやわらかいところとひきかえに傷つくことを許す

めをあけるとあけおめ融ける雨OK

おい思想美味しそう貧しそう

罪に対して有罪を宣告する丸亀で曲がる目

横風操行 躁風横行

大越冬闘争

倉吉朝子だ

夢前川

アントニオ一二

ポパイのホウレン草よ

三田宝塚渋滞だから15分に降りる車が多いからそのまま中国道に行く車が多いからと降りる車が多いだろうからそのまま中国道に行く

車が多いから一七六に降

フラワータウン駅 ふざけた名前だ きつと飛び降りたくなる

生瀬といえは尾形乾山の化粧土

クワイ 慈姑 三つ葉鶯頭

三田バード

わかんないよよいなんかは

トイレ行きたいけど寒くて行けない ほんとに行った パブリックに乾杯
パブリックは祝福の日溜まりだ 水面に上って息をする 水生の有袋類
プライベートそれ自体のなかでは言葉は呼吸できない

裏アカは裏アカの外にしか、外によってしか存在しない

もうここからしかメールしない 公開処刑(萩恭)の装丁は素晴らしい

電気敷毛布を強にした(嘘)

段ボールで作った電気毛布で暖かいふり をしていたら凍死したふり

「(オウムの)平田です」

放歌魔

色彩のブルースは見かけ倒し 弾道はいつも将棋倒し

伊勢いーぜパーはスポッとハマる

新名神 sin may sing

しがらみ焼

津市を通りました 山が枯れて灰が暖かく もう死んでもいいようなところですね もうすぐ伊勢に着きます

伊勢 後ろ姿がみな同じ 減びに至る広い参道を

橋を渡る ここからはひとり お前ら日本人 水は 守れば 清かろう

塗らない 鳥居の 寓意に目覚めよ

あの一 平田です

焼き付けておけ 露光して 幾重にも

「」すがすがしくなった」「」トイレ行ってくるわ」

「まったく気付いてない」 五十鈴川に投げ銭をしないでください

禁煙ホンモンジゴケ(林檎風)

触る木に持っていかれて また一人脱落

パブリックから剥がれ落ちる 欠片の菓を縋って

妥協神社 玉砂利社交

木造ハートの結構 賽銭箱をひっくり返す誠実

伊勢うどんは認められないが 内田剛一と参道の関係は被虐的だ

人々よ 虎屋のように二日で腐れ

ひねたジャスミンが壁に向かって這い登ることを諦め、放尿するように絶望している

三重は枯草の中をゆっくり暮れていった

「きみのいない日本は暮れかかっています」いつしか日本代表のような気持ちで

すっかり暮れて白いものだけ光っている

桑名の夜は黒くて バスジャックされたように寒い

長島温泉 イルミネーション 「予約しといたのさ」 バカみたい

ネギのようにほつれて 館内着のように結び目のある 撮影の結束点が 水平にされた携帯にポコポコ沸く時間

かなしみばみゅばみゅ

来年はハワイか台湾に行こうかと言われて「えっ！タワイ!?」と滑ったら「両方かよ」と返された

囚われのマナティが回転の快楽のみに意識を集中させている

猫がその短い人生に伸びをさせている

ジョニー・サンダーズが short lives を唄いながら、リチャード・ヘルの人生を寄り添わせている

川の中の石。川になるのか石になるのか。川にあらず石にあらず。

癌細胞に戸籍を譲る

ひなぎくの茎に鬼ユリが 平田さんの体におれのアタマが

花が茎を挿んで名前を乗っ取ろうとしている

水鳥は漂いながら静止してコンビニで子を産み捨てている

ミホさんちで買ったマラマッドのレンブラントの帽子がいい。言葉が被災する以前の、荒川洋治やミホさんが商売できる「減ってゆく側の豊かな領域」

朝日にネグリ。イタリアは皆認知好きだな

吹雪の車内で

鼻腔に死の息

一つ息をする毎に命から離れてゆく

日はすっかり傾き

形は市民だが

喜びの中身が全く違う人々の

被災した家の灯りから

どんどん遠のいてゆく

新しい旅行計画を組む

死の代理店の

ツアーガイドのようにマイクを使っている

弁当箱のように大きめの声で

死臭を土に埋めながら

今夜、異なる場所場所で時間は進行している

クオリティは掠れ声の中だけに退行した

カリースマとは話しかける能力のこと

マスクの連なりから

愛を強制する叫びが上がる

弁当箱の蒲鉾のような白が

再びうどんの料金のように外気に沈んでいる

代理者たちは蟹のように立っている

その親切は試食のタッパーのようだ

テイステイングされる死のにおい

食用にされる胎児のような

発酵し損ねたドメスティックの暴力の生地のような

壊れた傘のにおい

車の中で渦巻く吹雪が

過去の実をはたき落とすにおい

そのにおいが携帯で伝わるのだ

濃いけれども化粧の仕方が違う顔のように

意味なく定義がずれていくように思える

別の枕のような土地に

きみはレンタカーを走らせるように

吹雪く車内で手鏡を見る

転向の言葉がスノータイヤを履いていないのに

黄色と青のケーブルマイクが枕の上に置かれている

最前列に移動しただけのリアリティーは有効か

それは老いの皺のようだ

黒檀のような立体が フレームレスの横で

やさぐれた牧師のように立っているのが見える

寒そうな熱帯も部屋の隅に見える

音の熱のみによって照り返されている

ガマガエルの通奏低音は月食の筑波から絶え

背広のポケットにフラップはない

残像のメニューの中でカフェで餓死する

暖かい便座のスイッチを切り

白のクロスに蚊トンボの影のように握り拳で汚れを付け

喋る女の首をなくすなら

ああまた寒い熱帯

チラ見する時計が狂っているなら

部屋の中のマフラーが胃のようなもののフレームの色になっている筈だ

牡丹色とオレンジは一群のDVDのように排斥されなければならない

という牛の喋りが薄紫に向けられている

黄色い丘が溶けて広がっている

大家族ものめずらしさも手伝って

その通奏低音は塵からのさえすりのようだ

吹雪の車内でその通奏低音は塵からのさえすりのようだ

ト

貴橄欖石と

黒い太陽

黒ガラスの

試験管

鉋物を

人の上に置く生き方

磨くことに

仮託した

節度

黒ガラス

涙 ヒロシマの

黒曜石の

院長は

居眠りする段階に

来た風化物を

遠くから見ている

際立つ黒い眼球

牽かれる牛

半円に刺さる直線

義なる者に飾りあれ

見下げる石嶮箱

清さとメーター（何の機器だろう）

萎びた田楽のような品位

山 宗 崇

@cle_cowryor @frustrumhc

フォローの仕方が「ネットワー

山の羊がヤギ汁

うるさい青が争う

ルワンダの口 口 口

それらの口に明るい緑の

苔が光った

拍手の直前に

象牙色の沈殿が起こっている

罪は生来のもの

ではない

と証明され

わたしたちは

不完全だから

という言い訳が

出来なくなった

すべては

ベクトルの

問題になった

正月

ピラニア軍団

ていたよね

一行目から言葉を出す場所を間違えている

そんな風にして明けて

満月になって終わった

あまるけんど
あけるんまど
あまどけるん
まけんどある
あるけどまん
けんまあるど
どあまるんけ
どんまけある
どけまるあん
あんまどける
まるあけどん
どけんあまる
けんどまある
どんけるあま
どあまんける
あけるまんど
どあんまける
どるまあけん

Et erat tum dignus Amari

宇宙舞踏家 マーク・ボラン

一二でぼくは踊ってた
一二でぼくは踊ってた
まあ何歳でもいいんだけど
とにかく踊ってた
子宮から出る時踊ってた
子宮から出る時踊ってた

それって早すぎると思うかい

子宮から出る時踊ってた

八つの時踊ってた

八つの時踊ってた

それって遅すぎかな

それって遅すぎるのかな

墓に入る時も踊ってた

踊りながら墓に入った

早すぎかな

踊りながら墓に入った

人の中に巢食う恐れを理解するのは

間違ってるかな

気が狂うってどんな感じ？

ぼくに言わせればそれは気球みたいなもんだ

子宮から出る時踊ってた

子宮から出る時踊ってた

それって早すぎかな

踊りながら墓に入った

でもそれからもう一度

子宮から出る時踊ってた

子宮から出る時踊ってた

早すぎると思うかい

ぼくは踊りながら墓に入った

踊りながら墓に入った

墓に入る時も踊ってた

「収穫は過ぎ、夏は終わった。しかし、このわたしたちは救われなかった！」

Et erat tum dignus Amari

cisterns hewn out that you did not hew out

子を失った熊のように彼らに出会い、その心の罅をかき裂く

derided as haters of the human race

have it all right away

choke the word in your heart

twitterは果てしないはしたなやである

はしたない果てしなさである、かな

誰かに好かれていないと不安なのは自分に自信がないからで、好かれても好かれなくても平気な自分であるために、その人を好きになる羽目に陥りますが、自分自身の弱い部分は棚上げされたまま偽の愛が進行することになります。

だから、大抵の愛は、「好きになってしまったほうが楽だから」という理由で始まります。自分を投げ出すかわりに愛を投げ出してしまうのです。

自分の弱いところを客観的に見ることのできる人は、「愛がその気になるまでは、わたしはそれを自分自身のうちに目覚めさせたりはしない」と自分の愛に暫わせることができます。

自分の弱いところというのは、愛とは直接関係がなく、仕事への評価であったり、容姿や身体の衰えであったり、経済的な不安であったりしますが、愛はアルコールのように問題を誤魔化すために用いられます。

平田さんの愛は切実なものだっただろう。それは全ての代わりだった。永遠の命と引き換えの愛だった。

愛はその絶対的な不可能性から出発している。私たちが視たのはその場所からの幻想の共同体だった。それは易々と思考の不可能性を前提するまでになった。それらすべてはチャラチャラした恋愛沙汰から構想された。

その愛はテンポラリーな処方として終わりの日々限定されている過渡的なもので、いまは誰も本当の愛を知らない。

不可能性の共闘を探すことが今の流行りなのだ。それは同じにおいのする人間を探すことに似ている。

原発はわたしたちの愛より大きいのでわたしたちは原発推進派のように愛にすがりついている。

諦めきった滅びの眼差しのようなものを愛と思い込み、苦難のパンと虐げの水を体内被爆のように受け入れている。外には崩壊、内には不安があり、それを小刻みに放出するのが知恵の全てであるかのようだ。

犯された記憶に再交渉してみせるだけのリハビリのような人生。希望は遂げられた時終わってしまい、知らなかった愛だけがぼんやりと残ってしまう。

愛に律法があるなら、それは愛される側の生政治でなければならない。

マラマッドを出した夏葉社は「いちじくが葉を付けると夏が近いことを知る」から取ったのかな。そうだとすると「夏の知識」だね。デルモア・シュワルツの

逃避行

わかるよ、そろそろ終わりだ

トンネルには相変わらず死んだ獣の風が通っていたが

「気を悪くしてはなりません」という声がして車は夜を抜け出た

神は喜んだが

女は部屋に祭壇を設えていたので

それはたやすく他の神々にとって代わられるのだった

一回目の旅行のとき、

二回目の旅行のとき、

怒りは激しくぶつかって

互いに譲らず、別れることになった

逃避行のようにして

世から離れていたのに

立ち飲み屋の前で立ち止まり

外れたパチンコ玉がずっと落ちるようにして吸い込まれていった

隠れていても風邪は引くもんだね

たまに天と地でメールした

やがてMAILER DAEMONという返信が来るだけになった

きみの夢を見たんだよと今日もメールしようとして

花屋の店先のような茎を縦に流れる霊のにおいがして

モオヴのバケツに吐く形をした雲の写真を撮ろうと

煮凝りのような

阿佐ヶ谷の

箱根の高さの上空から下までの空気を切り取り

線量を測定し

突然死した獣の糞便にラベルを貼った

マルコのような

ひべるにあの

レモン色の夕方と訳されたあの時刻に

本当は暮らせていない人たちが

楽しそうに残された時間をさんざめいて

三つ目の祭壇から見捨てられヨコハマの日ノ出町あたりをうろうろしていた時

不意にあの直角のシリンドーのように切り取られた上下空気の線量が

ハトとコオロギに付着して聞こえてきた

電話に出ない時刻の祈りのような野菜たちが口を開けて

冬、寒、と種々の彩りの携帯を打っている

帰って来て休息することによって救われるような休日出勤の秘密を

もはや隠さない

月経中の女のように

汚物と呼ぶ

ベルベットとリンゴ箱とローソクでしつらえた祭壇

k i n h T h a n h

夜道にベトコンラーメンという看板が見えて

コオロギの羽根のようにしんなりした線量に

無気力であることが

分らないほど

動かなくてもよかった

逃避行が

被曝による寿命の短縮に

意味を変える

料理に被せる蓋のように

意味を覆う

射的場のような灯りに

ぼくらは立ち止まる

精算ボタンを押すと足りないことが分かっている

痛みが幻想であるように

資本も幻想であればいい

トリガーを破壊することだ

逃避行のさなかに

全ての言説は空だ

静岡の海岸に

わたしがうち上げられている

女は夜中にジャスコの掃除をしていた

彼氏と一緒にだったので淋しくなかった

トンネルの中はロケットのよう

抜けるといつもわずかに

予言のように明るい夜明けだった

逃避行と測定器がその明るさの中で出会っている

先回り先回りするような朝一三日のきんようびだね

ジャッカルは連れ合いに欠けることがない言葉と結婚すればいいのか

明らかに言語であるかのようなノックして入って来ようとするのはどの猫

はいは一回のまばたきで　いいえは二回のまばたきで

寒い国に居る人だけが自らの吐く息の形と行方をいつも見届けている

ゆきのやまをあなたにあげたまひしたころをわたしにください

ハイエナに食べられるのが不本意であっても、ハイエナに向かって「おまえが食べるべきでないものをおま

えは食べている」とは言えないだろう。

空と海の色が全く一緒に見分けがつかないことがあるね。船が飛んでいるようだ。

あなたは自分の言葉が世に投ぜられた爆弾だと思っているみたいだけど、そうだとしたら世界は不発弾だらけね。

高速舞子って拘束michaelに聴こえるわね

ロビンソンがデフォでモンテクリストはデマ

そして神戸でなにがそしてなんやろと思いつながらさしかかる神戸

モーニングのあとに何食べてんの、この子www @miotan_edcn

岡本駅からfarnhousecafeが見えます次は夙川です

ソングに倣えば、写真は対象に対する距離という点で、時間に対してさえ倒錯的になることができる

お嬢さん方やおじさんがいっぱい乗ってきたなう

transfer重層小町サーティーン

重曹できれいになるよりノニウム

荒木さんドリア三重奏

あマガジン出てるアバウト読まなきゃ

普通高観行きなんてバス

私のニセモノに注意 @tokatama 都内火葬場十日待ちの情報千葉も同じと静かに人が死に始めた

進行方向と逆向きに座っているのってつげbotみたいになっている

コーラ缶股に挟んで車椅子

(アーガイル六首)

アーガイル同士が道で擦れ違う親族のような無関係さで

アーガイル同士だからといってもね親戚みたいな口きかないで

何を言うきみの名前はナオミだとその紋章が語っているぞ

この柄を着てたら皆なキャンベルとあなたは思いたいって訳ね

トラウマは小布施の街にこだまするトリガーとしての柄の強迫

思い出をかけ流しにして捨てるならあなたのナオミになってもいいわ

いろはすやなにもそんなにしくとも なりふりかまわぬ かびたるの雪

かなしみぶじよぶじよ

雪止んでわたしはみじめな少女です

足の先だけではなく全体が鉄と粘土で赤い彫像

審問の露国にひとり遺されて白き峰らのおそろしきかな

関ヶ原

裏日本が太平洋側に侵入した奇妙な積雪地帯できみに電話しています

表に抜けようとする風の通り道なのか、ぼくらの裏もまた白く覆われ、

上からの細い通り道なのか、電波による逢瀬も吹雪いては止みながら

人生がカラーであろうとモノクロームであろうといまはただ白い風景が続きます

この辺りは決定の低地平原と呼ばれ

古来より国々の歴史を左右する見えない決戦の場でした

と突然

ぼくらの裏と表は裁かれることなくトンネルを抜け雪のない表日本の町に放り出される

あとは平易な日常が萎えた裏を黙って裏返している

女を救い給え男を掬い給え

I was immune.

おやつ発見しるごサンド 流石尾張小牧 @aooiao

Isaiah

澄んだ黒い水が

首都の手土産に持ち帰られた

泉

飲める泥水の言葉を捨て

あゝよく見ればボーフラのような

水の傷

首都から帰って来て

息が出来るところで息を殺している

blessed cursed

二つの言葉の

入れ子のような唐突な転換

胃はまるでつやつや光るストッキングを穿いた膝のようで

汚染米のパール of 輝きと引き換えにすべての財産を投げ打つわたしたちの外食

は照らされてコキユコキユと軋むプラスチックのわたしたちの臓器を使ったスプラッタな撮影のようだ

ブーツによる鼠色の日常が市街地の鹿のように胃を捕らえる

ハキハキとした五〇年前のカラーsteelのような論旨

はマイクが置き去りにされ

トルソ型の花瓶の光の輪郭だけが残った

が雪の林のドラマではいつも

ハアハア逃げて

撃たれることになる

小惑星エロスの接近で夢が固くなっている人が多い

通過する小惑星エロス

頭を振って

惑星を振り切りながら

売物件の看板だらけの道を

進む朝

日光はあくまでも温暖に翼を広げるので来ぬ男を想って僕は

ずれた緑石を蹴り上げる

鼻につく失業のにおいを振り切りながら

甘い惑星のようにして

罪の落胆の名残がある

軍隊の方がまだましだった

それでも君は

嘘と共に歩め

あくまでも温暖な

朝の奪略の日差しの中

売物件だらけの道を

背表紙、背表紙

疲れる幼稚さだ

これで千人が倒れ万人が倒れた

それにしても携帯を忘れたね

脳が蚯蚓のように土を食べている

頭蓋に穴を開けて抗ガン剤を入れる

今は完快している

大多数は不道德

軍隊のように黒い電流が配電盤を流れる

たてがみのある動物よ

ガンと共に歩め

別のものに乗っ取られて死ね

それでも君は

甘い惑星のように鼻につく失業のにおいを振り切りながら

嘘と共に歩め

あくまでも温暖な

朝の奪略の日差しの中

頭を振って

売物件だらけの道を

嘘と共に独りで歩め

肢体を「死体として互いのもの」と聞き間違えて起きられぬ朝

起きられぬ朝ただで売られてただで買い戻されるとイザヤは言ってる

いざ起きようと思ったら「いっそトイレは薄着のままで行くんです」

寒気

スフィックスの座り方で一匙の魚油を受けてからというものの一切の語呂合わせを受け付けなくなり舗装されていない小径を悪人のような顔をして幾日も連れ廻した

次から次へと都市を通り過ぎ hollow sky から雪がちらつくまでカラオケのように廻り込む冷たさに時間を寄り添わせた

I wouldn't like to do anything on you

on the wheel

縦縞の上下のきみの眠気を襲う寒気のようにひとしきり水に溶けた緑の安全な主人公という錯覚のような眠気から覚めるよう人々を助

ける夢遊病者のソーシャル・ネットワークの樹々の梢に積もった雪がひとしきり人工の光に照らされその緑の眠気の中に無理矢理血が浮上してくる

無理に搾り出すように返事しようとするすると自分の体が声を横切っていく

それをしないことが最高であるような人為的ミスとしての作詞の不適合による死は半数に及ぶ
難しいから分かりませんと言えない分野が緑のティンクトウーラの中を昇ってくる

腹の時からの変反者が 苦悩の溶鉱炉で デイペンデントな責任転嫁

猿投阿寺断層・・

サザンの「夏をあきらめて」みたいな地震 その断層上で上下左右にスライド

立春に水漬いて蟬が前のめり

突然死

起きられない事を主題にしていた頃

立春のアルト一は水に浮く繊維質の糞のようにそれでもあいまいだった

突然死が増えて風呂場からビワの笑いが消え

我々は屍の上に蠢くバンド名のような青春を終わらせた

全ての神に祈ると一五〇年はかかるので

我々はチリ紙で鼻をかむ

タンタン^{tan tan}のような寝癖で立ち昇る香のような形をしたティッシュを抜き取るとシリカとアルミナで出来た我々の胸のサンドイッチからも水の層が抜けていく

長い髪の支流を追いオレンジが労働のように日焼けしている

起きられない朝にペンを持ったおれが先に歩いていく

おれは勝手なセクハラ^{sexual harassment}をしている

しもべをばくと読み換え

ソロモンの前で子供を切り分けることに同意した女が

死にたいと言っている

ひさしぶり腹に巻き付く困ったな忘れることを忘れるなんて
先を越されて嬉しくて

でもぼくはきみに入れる非望のことを想った

希望なんてなくてもいい

腸をしめつける角度の疼きから

何色のバトンを渡す

一番辛いのは希望がないことではなく希望のあるふりが出来なくなることだ。絶望はむしろ楽しい。

希望などなくてもいいさ一度だけ誰にもばれない嘘をつけたら
髪のを抜きはじめて困るのはただ存在していることの言い訳

歌っても語りと言うね弾き語り語り物から来てるのかも

五+シング ライク ストーキング

アンナプルナみたいね春の雪の峰

園子温はロック史も映画史もないと言ってる。三歳年下だとやっぱ引っ掛からないんだな。

打ちながら握ったままで寝落ちする巷じゃよくある話みたいね

DV+三・一 PTSD から見れば同じうちぞと

物を視る喜び少し春めいて止血のウェットに自閉の儀式

春めいてアルツの風味の茶漬かな

背後に真露の並ぶカウンターに怯えた招き猫が立ち居り

on the wheel

a theatre piece collaborated with jacob wren

ジェイコブ・ウレンは客席にマイクを立てて観客を参加させる手法で評価されているモントリオールの作演出家です。アクターはステージで歌ったり喋ったりするだけで、演劇的なカタルシスが皆無なのが特徴です。今回、役者はマヘルへの参加者と重なります。彼らは自分の普段の仕事のこと、マヘルに参加した動機などについて語ります。それらの台詞はその場で通訳され、日本語と英語の両方で理解できるようになっています。この劇は、今年の横浜の国際舞台芸術ミーティング（TPAM）の一環として、また助成金を得て行われた高知美術館によるレジデンシーの共同制作の経過報告とし

て行われますが、一言いいですか。総ゆる△助成金アート△は当該国家に対して癌細胞になる以外に道はない。

ジェイコブ・ウレンの劇は、既成の演劇が詰まらないというところから出発し、演劇的なカタルシスを廃し、観客が役者と同じ表現をする場を作るための場を提供することで、演劇内部からの革新を図ることを目的としています。彼はその活動を20年間世界中で行ってきました。

今回のプロジェクトは、高知美術館のレジデンシーによって松山に滞在しているジェイコブと僕の共同作業です。それは参加型マハルのフォーマットと彼のメソッドを寄り添わせたもので、横浜の演劇祭IRAMの一環として一六日に黄金町の試聴室で行われます。

今決まっている大まかなイメージをお伝えします。

今回の劇は大きく三つの円（music, job, そしつpottery）とその交わりから成り立っています。

テーマは音楽と仕事のdouble life, ロクロの回転や日常のルーティーンに見られるループについて内省の機会を与えることです。

ジェイコブの二重生活のイメージは、世を忍ぶ仮の姿、スパイ、といったもので、そうした二重生活が、資本の要請によらない個人のスタイルとして推奨されるべきだという考えです。資本は多くの場合、ひとつの職種、ひとつのライフスタイルを求めるからです。

マハルに参加している人の普段の仕事が浮き彫りにされ、その後演奏する、というプロセスを見せることで、今の日本の現状や、幸福のあり方というものに観客が思いを馳せ、自分の生活のサイクルを語ることで、自分も表とは違う裏の（単にliveで裏アカを持つといったことだけではなく）、別の秘密のサークル、習慣を生活の中で持ちたい、と思うようになったりする機会になれば、ということです。

参加者と観客が、それぞれの仕事やマハル、陶芸との関係を語ることで進行していきます。

英語と日本語はその場で通訳されます。

参加者に求められているのはpreparationです。

観客はその準備がない状態で参加を促されます。

普段人前で喋ったことがない人が語り始めるのを見るのはとても美しい経験であり、それを体験することが劇の主要な目的です。

参加者は自分の仕事について、またマハルについて、何をするか、語るか前もって決めておいてください。

それには広義のパフォーマンスのすべてが含まれるでしょうし、実際何をしても構いません。「自分自身であること」が唯一の決まりです。

夕方集合し、リハーサルの後、一〇時に開演します。

冒頭、ジェイコブがうちで作った焼き物を見せて、その経験を語ります。それは終演後、ただで欲しい人に渡されるだろう、と言います。

その後、マヘルについて、次に普段の仕事について、各出演者に質問していきます。

ぼくは電動式ロクロに粘土を置き、作品を作り始めますが、ロクロから出るノイズを言葉に変換して呟き続けています。会場には大きな紙が張られていて、その言葉が書かれていきます。出演者はその言葉を見ながら、また他の人の話を聞きながら、自分のループを考え、自分の楽器で小さな音で練習を始めていきます。その音はスピーチの音を打ち消さない程度のものであるべきで、ずっとループし続ける必要はありません。また、他の人の話や壁に書かれていく言葉の変化に伴って、ループが変化しても構いません。

ぼくはロクロで、話している人の象を作るという意識で器を作ります。それは出来上がる度にロクロから引き離され、話している人の前に置かれます。すべての人の話が終わると、全員でループによる合奏が行われます。歌詞は壁に書かれた文字です。

その後、観客も話すように仕向けられ、筋書きはありません。ロクロに人が乗るかもしれませんが、誰かがロクロを体験したいと言い出すかもしれません。ジェイコブの作品が欲しい人は、なぜそれが欲しいかを話すことが求められます。（それによって話すことが促されるかもしれない、ということです）

一一時一〇分前になったらアルコールが配られ、劇はなしくずしに終わっていきます。

ぼくは生の器を集め、最初と同じひとつの塊に戻します。

終演後も残った人々によって話は続けられます。

<no double life for the wicked>

This is an overall image of the performance that we have agreed on.

This performance roughly consists of three circles (music, job and pottery) and interactions between them.

The theme is to offer an opportunity for reflection on the double life between music and job as well as on the loop that can be found in the potter's wheel and daily routines.

Jacob imagines a double life as something like a fictitious identity for securing oneself from the world or a spy, and he thinks that that kind of double life is recommendable as an individual's style independent of the demands of capital, because capital often requires one job and one lifestyle.

I mean that it would be nice if that can be an opportunity for the audience to think of the current situation of Japan and the way the notion of happiness is, by showing the process where the daily jobs of those who participate in Maher Shalal Hash Baz are exposed and then they play, and and to think that they want to have another secret circle and habit in their life, which are different from their official circle and habit (not just, for instance, having an anonymous Twitter account), by talking about their own lifecycle.

The performance progresses as the participants and audience talk about the relationship with their jobs, Maher and pottery. English and Japanese are immediately translated.

What the participants are required to do is preparation.

The audience are required to participate without the preparation.

It is a very beautiful experience to see people who have never spoken in front of audience start to speak, and the main objective of this performance is to experience that.

I ask the participants to prepare what to do and to speak of about their jobs and Maher.

Everything that is involved in a performance in a broad sense must be included in that, and actually there is no rule. The only requirement is to be oneself.

We gather in the evening, and after rehearsing, we start at 10pm.

At first, Jacob shows the pottery that he made at my place and talks about the experience. He says that it will be given to those who want it after the performance for free.

Then he asks each performers about Maher and their daily jobs.

I put clay on the wheel and start to make pieces, but I keep murmuring, converting the noise of the wheel to words. Large sheets of paper are on the wall, and the words are written on them. The performers create loops and quietly practice the loops with their instruments, looking at the words and listening to what others say. The sound shall be quiet enough not to erase the speeches, and it does not have to loop endlessly. The loops can also be changed according to the changes of the speeches of others and the words on the wall.

I make pottery with the wheel intending to make the figures of the people who are talking. They are taken off from the wheel as soon as finished and given to the one who was talking. When everyone finishes talking, everyone plays a loop together. The lyric is the words on the wall.

After that, the audience are requested to speak, and there is no plot. Maybe someone stands on the wheel, and maybe someone says they want to experience the wheel. People who want the pottery that Jacob made are required to tell why they want it (I mean, that might facilitate talking).

At 10 minutes to 11 o'clock, alcohol is offered, and the performance ends without ending.

I collect the raw pottery and reduce it to a mass of clay: what it was in the beginning.

People who stay there keep talking after the performance.

チエルフィツチュの岡田利規がイラク戦争の時書いた「三月の五日間」は画期的な小説だった。その短編は「私たちに残された特別な時間の終わり」という二編の短編からなる小説集にまとめられ、その表題は確かに当時の気分を切り取って、それから意識の底に沈んだ。

「三月の五日間」の冒頭、六本木で劇が終わってから喋り続ける女の様子が描かれるが、それが実はジェイコブの前回のスーデラでの公演なのだった。

僕はそれをDVDで観た。数人が集まってdrug city風の歌を披露している体のもので、到底演劇には見えなかったが、ジェイコブによると、日本の公演ではとても美しい瞬間があり、それは、通訳の仕事をしているという女性が立ち上がって、「今まで自分は人の話を伝えることしかしたことがなかったが、今夜は自分のことを話したいと思った、」と喋りだすと、さらに別の女性が立ち上がって自分も通訳の仕事をしていると言い、しばらく二人の話と互いの通訳が続いた部分である、ということだった。

二人の女性は、ジェイコブの周到な反演劇的な仕掛けによって、その場所で、自分が誰でもどこで何をしているかということに初めて思い至ったのだ。

三つの円 (job, music, pottery) とそれぞれの交わる部分を合わせると7つのエリアが出来る。自分のdouble lifeのことを考えるだけではなくて、同時に他の参加者から自分のdouble lifeを見られている、という意識がないと、例えばjobとpotteryの交わる場所の重さが示せない。参加者は仕事としてのロクロについて質問するかもしれない、実際にやってみたいと言いつつも出ずかもしれない。あるいはアートとしての陶芸にしか興味がないと言うかもしれない。そうした情感を予測することさえ今まで表面的にしか出来ていなかったことに今日気づいた。

準備するとは七つのエリアについての平等なリアリティーを持つということ。

一 music

二 job

三 pottery

四 music and job

五 job and pottery

六 pottery and music

七 music, job, and pottery

ジョナサン・リッチマンが *this kind of music* と言ったエリアと消費、陶芸教室的公募系自称作家と賃挽き、陶芸としての音楽またその逆、

double life は大きな優先順位がなくなり、垂直の価値観が地層ごと流された後の時代の、あれか、これか、という目の前の水平な問題意識の連続としての生を表しているかもしれない。そこに後ろからの声は聞こえているのか。

そういう訳でばくらはブラブラ病とリアル病に罹るしなくなってゆく

地層のない、アミダのような平面を

野獣の像に命を吹き込むように、カラオケの駄曲に命を吹き込もうとして
きみは泣く

突然死にはエリック・ドルフィー、癌にはビリー・ホリデイ

きみはうたのたてよこを知らない

アミダを梯子のように空間に掛けてみせたら

金タワシの中を進むナメクジのようにばくらは

too many wives

too many wives

in short lives

imperfect reasoning to get around

the forbearance

goes on for some time

so with impunity

with no immediate negative consequence

no sad outcome eventually

consequence

down the line

too many wives

in short lives

king Solomon was not immune

went astray

lost the favor

寒風

かつては自分が切り出された岩、自分が掘り出された坑の窪みを思い見る

手のひらに子供の名まえを刻む

子どもたちは気絶する

返済の目どがつかない身体を軋ませて

かつて自分が居た負の空間に耳を見ひらく

choices

選ぶ

巽にしんによう

道の左

その町は小ローマのようであの町は小京都のようで

仲間は十人に充たなかった

小さなローマのようにしてあちこちに泉があった

ちいさな京都のようにしてあちこちに中心があり

退いた塹壕も散見された

乾いた土の瓶の口

いつそ間違いなのなら

別の軽い家のように

振る舞おうか暴行を受けても

感情 小京都

気落ち 小ローマ

立ち 単純 立ち返る

字ばかり書いて

篩にかける

みじめ

きみを 迎えに行くべきだろうか

絶滅を迎えて

何でこんな

艱難

数日間のうちに

決定を下さなければならなかった

いよいよその時は来た

同じでいいというわけではない

ルワンダ

終わり

生ぬるい

生ぬるい

生ぬるい

己

共 巽

己

にしんによう道の左

どの町も東京のようで

会堂を建てるには規定数に充たなかった

小さなローマのようにしてあちこちに銭の泉があった

ちいさな京都のようにしてあちこちに中心があり

わたしがかつて退いた塹壕も散見された

乾いた土の瓶の口

いつそ間違いなら

別の塔のように

振る舞おうか

字ばかり書いて

サタンが篩にかける

絶滅を迎えて

選ばなければならなかった

いよいよその時は来た

今までと同じでいいというわけではなかった

空間の歪みに落とし込まれ物差しと一緒に膨張するばかりは本当はテレタビーズ並みに巨人かも知れない

風邪

不義の時間は尽きようとしていて 青空は輪転機に巻き取られ

素人の描いた風呂屋のような松の絵がカラオケスナックのステージ背面いつばいに貼られている

夢現のまま青天井に叩きつけられて出来た十字を誤解してきたお蔭で私達が背負わされているガンのような不死

今日も遅れた明るさの包囲網の中で 未発見の生物が瞼を閉じている

ペンキ絵のような青天井の裏側にある高い考えは 許したい ということ

不義の時間は尽きようとしていて 青空は輪転機に巻き取られ

風邪の宇宙はティッシュのように変形させられる

競輪場の串カツよりまだ細いで

風花や蕎麦湯で溶かす胸の中

環状線めっちゃ暑いやんか

ほんとなら「あ」を押すだけで出る筈の「愛してるよ」の予測文字列

愛 あい あ 愛してるよ あもいけよう あとで あるほうが あつても あなたは 表す あなたの ア あ あと
は 会えます あとね アート あります あるのではなく 相手 表される 或いは ありながら 朝 雨 頭 あま
りに 味 ああ あれ 新しい ありがとう 足 あたし 後 アドレス 秋 アルバイト アジア あらゆる 改め
て あんまり アツプ アメリカ あちこち あっ 安心 アルバム アンケート 遊び 新しく 相変わらず 明ら
か アクセス あつさり あくまでも 脚 甘口 あんな あくまで 穴 アホ 赤ちゃん 怪しい アーティスト ア

ウト 青 赤

エーボーン

「二五日はく最初に予定されていたインタビュー《を利用した劇》に付随した音》を聴く」というものです。準備としては、全員インタビューになったつもりで今回の展示に関する質問をひとつ考えておいてください」

tearoomAVON

exhibition 瀬路の掬やたつ porcelain exposure23/02/02-01/04/12

- opening live performance and interactive talk session -the history of Rock- w/yojo hiroshige(unplug red)
- screening of related films
 - stone in the river
 - the selfish giant
 - etc

- recapitulational reenactment of a theatre project with jach wren:

"i wouldn't like to do anything on you thrown on the wheel"

including interactive talk session by satoshi nakazawa(onpasha), atsuko hirose and kaoruko munetomo(avon), etc
participants are welcomed

- on screen

piano exposé2011

sombre dimanche 2011

sound track for miyokoasagayakibun 2010

other recorded performances 2008-2010, etc

一六日が「演劇／舞踏として演奏される音楽」と「音楽として演じられる演劇／舞踏」のコラボだったとしたら

二五日は「インタビュー／即興ワークショップとして演奏される音楽」と「音楽として行われるインタビュー／即興ワークショップ」ということにな

ります

「即興ワークショップとしての演劇」或いは「演劇としての即興ワークショップ」ではありません

関西における即興ワークショップの成果については充分理解しているつもりです

でも今回のこれは依然としてロック史に向けられた試みなのです

三歳年下の園子温が「映画史もロック史もない」と言うときの、その発言全体がここというロック史に当たると思います

ただ、ものの見方、見え方を変えたい、というような漠然とした目的意識が助成金アート／演劇の土壌を貧困なものにしているのは事実です

資本はそうした目新しさをジャンルの延命に利用しようとするだけだからです

前線はジャンルの終わりや国家の死滅を内包したものでなければならぬ

ジェイコブはユダヤ人だから世界を外から見ている。彼にとってすべては世の演劇であり世の音楽なので、それがカフカの距離感を生んでいる。

ものの見方を変えるためには世界の外に出なければならぬ

方法論は簡単であればあるほどいい

原発さえも入れない方法論しか原発を照射できない

ジェイコブの場合は簡単な二つの質問を用意するだけだった

出演者に与えられたのはただ「自分自身であること」という指示だけだった

質問に対する答えは一々翻訳されていき、言葉の内容ではなく言葉と言葉の間の空間が劇を構成した

英語と日本語も彼にとっては外の言葉なのであった。たとえ彼がイーディッシュを話さなかったとしても。

音楽はカタルシスとして劇のために使われてはならなかった

音楽には終わりがなく、他の要因でなくずし的に止むのでなければならなかった

初期ゴッドスピードユーのヒーロー不在の集まり方はカナダ的な特性をよく表している

モントリオールの多層的な言語環境も彼のカンパニーに相応しかった

大阪の即興ワークショップ的なものは個性の発動を自分を中心とした外に向かうベクトルとして捉え、ジャンルの異化ではなく混合のみを行なった。

それに対してジェイコブの戦略は外から内に向かうベクトルにあった

参加者を状況に投げ入れるために向井が演じてしまう巫女の役回りがジェイコブの演出に当たるがこちらはカナダ的に自分の位置を消すことに成功している

双方向コミュニケーションのテクニックはラボカフェなどによって認知されてきており、演劇的な実践としてロールプレイがある

それは模擬裁判といったダイバートの授業に留まらず、父娘が予告なしに入れ替わるジェイコブの劇にも取り入れられている

インタビューとインタビューイが入れ替わる、というのが二五日の基本的なイメージである

「磁器の剥きだし」に関する質問は参加者によって前もって用意されているが、その質問は参加者自身に投げ掛けられることになる。例えば宗友馨子は僕に関する質問を考えるが、その質問は僕から宗友に投げ掛けられ、宗友は僕になりきって答えなければならない。逆に僕も宗友に関する質問を前もって考えておくが、それは宗友によって僕に投げ掛けられ、僕は宗友になりきり、想像を働かせて答えなければならない、ということになる

真実は決して語られない

真実は言葉に依らず、自分になりきった相手の言葉に対する自分の演奏^②の表現によってのみ表される

現場のリアリティーは話し合いの中にあるのではなく、投げ掛けられる質問自体と想像による答えて多面的に照射される構造にある相手の魂を借りて相手を演奏させるセッション

演奏は変化するにしてもループである必要があります

続く

マリが泣くならみんな泣くパフォーマンスに切り換えます

恥ずかしながら帰って参りました

徳永都の結婚式に

飛ばす農道

ローカルな受動

自動じゃないぜ二輪

臨終後にはゆるす不倫

それまでは封印

タンスに隠す過去

ダンスとしての音

落として割る皿

家庭のプロセス

今日までの都は焼き払え

シャッター街押しやって空けるソラの上でウエディング

親から離れて始まる地上のファミリー

とうとうmarried使うのはダンスのメソッド

コンタクトインプロヴィゼーションループする双方向コミュニケーション

がんばれば最深の地層で 感謝はすべての、愛してるは表層のループとして。

@home水の毛布で眠るなら

ループはだんだん増えていつて集合写真に似てくる筈だった。@HIROSE_atoko

新潮二月号の日記特集に辟易。彼らは与えられた「プロジェクト」の外に出なければならない。
静電気

二枚の衣服を剥がす時

彼女が持ち歩いていた毀れた助詞の一面からひかりが走った

夜は霊的昼はワールドリイ

昼は霊的夜はワールドリイ

辻褃裕のような火花だった

菅原文太は今更映画で人を癒すことなど出来ないと言って引退した 高橋健太郎は再稼働したらもう音楽に出来ることは何もないと断言した

全ての音楽の終わりは近づいた その後柔らかい草のように骨が芽生えるだろう

#ABOUTなんて休むんだよ 来週までどうやって生きていいんだ

#ものすごいうるさくてありえないほどどちかい extremely loud & incredibly close 本と大分違う 自閉(アスペル)が九・一一 PTSD 経由EMDR みたいな

映画はもはや現実には追いつけない 現実のほうが職人的な手つきをしている

デイドリームビリーバンバン

ぼくがぼくを殺してしまつて君と一緒に逃げるけど死体の処置に困つて という夢

@suzukimikikosun もうきみには伝書鳩にするよ

もうきみには伝書鳩にするよgoogle gu

死にたい。もう金は使えない

twitter/内twitter/雑誌内雑誌wee/里親募集

春の風外に居るのは犬、娼婦

鐘の音まで聴こえては夜の終わり

夜の終わりバイクの音が近付くと

白梅を見るため夜を開けにいく

白梅が白夢になり明けガラス

もう一度眠ってみよう、おやすみなさい。

じわじわと締め付けるように明けてきた

白梅や夜の終わりと世の終わり

土曜の夜はだから嫌いなんだ耳鳴り芳一 無音がうるさい

あれは何あれは春風がらがらと音を立ててる遠い夜更けに

白梅は夜中に猫に起こされて夜明けに見たりするものですか

春風には放射能がよく似合う残酷な季節で荒地で言うじゃん

いろんな色の上に黒のクレヨン塗って引っ掻くやつあんじゃん(あんな感じ)

(見張りを見張る水や光りや)

見張りを見張る水や光りや

国道沿いに編まれた鉄塔

悪を知る手付きは職人

悪が悪を正すだろうと

豚の群れの中に送り込んで下さい

真直ぐなナビ

打ち碎かれる体罰の国

放射能の雨に打たれて

証の春雨に濡れて

戻ってみると既に公会儀は進んでいて

妥協や根回しをしないで

コンクラーベ

アモスとエステルが眼球のような明るさのバスの中へ入っていく

アゴバルドウス

クラウディウス

ベレンガリウス

フィリピンからトルティーヤ

嘲笑う

ロック史が書き直されていく

見張りを見張る 上の上の上

国道沿いに編まれた鉄塔

善悪を知る手付きは職人

悪が悪を正すだろうか

(語群の白さに凹凸は板の印影を過ぎゆかせ)

語群の白さに凹凸は板の印影を過ぎゆかせ

ツバメの来ない安心

と自閉の町に砂に顔を埋めてうずくまる過敏が

レビューでは

支配者のところに引き摺られてゆくのだから

この映画のような皮膚を撫でて

僕は川沿いのにおいを閉じた眼で聴く音無川

ティベリウス・カリギュラ・クラウディウスI・

ネロが流れて来る

きようはあくまでも濁った白の李朝のように歪にくこんくこんと丸いチョコレートだ

影は一反の布になり

そこにああ下手な字で「むし」と読めるから

うつむいて

平和を過ぎ行かせる と

音が変わってゆく

風邪に、それから落ち着いた緊張を受け止めるインクの紺に。

不安障害が冷氣のように夜に溶け出すと

白と黄の斑になる

光が板を刺し始めた

(資本の流れの中を)

資本の流れの中を

車椅子を押して遡る

川幅が狭まり

やがて車椅子も捨て

パーキンソンの両足で

涎を垂らしながら

左、右、と声を掛けながら

信条は前に進めない

後退も出来ない

門限は迫り

行く手の狭まりにわたしたちはブロックされる

老眼鏡の眩暈のように

視野を滑る故障の多さ

parts are adjusted automatically

確かにこれはわたしの病気だ

わたしたちが朽ち果てる時

テントを張る人はいない

十二年飼ったベットはみな散らされた

崩壊の中にドーランを塗って立つ

ヤニ質の貢ぎ物のように

陽光はにび色に暖色のまま冷めた

生々しい鞭の痕だらけである

慰めは寒色のまま加熱される

ギレアデにあるというその香は

岡山の夕暮れのように遠い

道後は道の終わりだ、と道後商工会議所会頭は言った

セシウムが踏み固められ

みんなの道は逆に広くなってゆくが

わたしの目に映るのはナメクジの跡のように

狭くなった一つの川筋だけである

屋台を建てテントを張る者たちは居なくなった

故障した機械は予言的な諧調に捉えられ

感興のさなかに呻いた

わたしの記念として

わたしの記念として

火星と金星の色が二人の婦人に追いついてゆく

思い浮かべるのは光速で伝わる叫びや気の狂わんばかりの痛み

不完全さという落差と同じ電圧の感謝をもって羊色のカーデイガンを着込む

家紋がチェック柄であるような土地から

デイスティラリーの滴るにび色の常温の炎

場面という妊婦のような多面体に映るキノコ雲のような影

祝祷を述べ

狭まる川にパンを浸す

因習の水田記号の

平坦な井手の横の

梅林の上の斜面の住居の

記号に実体の果実の汚れ

様々な蜜柑について

原稿に頼らず話すなら

何の選考に勝利するのか

考え方、という道の静脈瘤のような 駅は川で繋がれて

上流にある宝はガラス玉の目

焦点をばやけさせるものは思い煩いや石屋の資本、ボーダーの私服、としての制服、としての苦く重い色の軽さ

制服としての霊に仕事を中断させられることには慣れている

オフィス街に落ちている触れないでおくほうが良い金管から

グリセリンのような身体と衣服の遮断

将来の見通しについてセルフのスタンドの券売機と同じようにみだらに語ることができる

工場や企業に対する強い願い 資本は油のようにパーマを伝う

総務部長の浅い肺は水が溜まり不安で息苦しく眠れなかった

友好的に失礼するためだけの

マイナス茶碗に張る雪解け水

暗い光、あたたかな氷柱、
冷たい土器。

血

血は河を逆流し

途絶えた先端が現在である

部屋は普通に明るいのに

暗闇の中で白く輝くように背景を木炭で塗り潰したのは何故か

何故枠の中に描かず 構図を後でトリミングしたのか

鏡を離れると忘れてしまうので見続ける

それはロスか

ボタ山の影のように動機が横たわっている

動機が間違っている

良い変化というのはある

銀

銀は静かに生活しようとしていて

後ろ姿の黒い背広を見ている

麦のように真っ直ぐに立ち

請求書のようにピアノの周りを回る

歪んでいるので真っ直ぐに見えている

知らないでいた方が良かったのだ

良い思い出しかないというのはとても危険だ

思い出とは豚が転げ回る泥だ

(祈れない男が居ても)

祈れない男が居ても

三組に一組は離婚するにしても

生殖に関する

男が祈れないのは

会衆の中では祈れない男が居ても

非難する権利を持たない

三組に一組は離婚するにしても

憂う権利を持たない

月経中の女と寝る者

月経中の女の生殖器は傷つき易

い としても 禁じる権利を持たない

生殖に関する 権利を持たない

生殖に関して何か言う 権利を持たない

会衆の中では祈れない男が居ても

三組に一組は離婚するにしても

三組に一組は離婚する国で

月経中の女の生殖器は傷つき易いにしても

月経中の女の生殖器は傷つき易いから

何も言う権利を持たない

生殖に関する

祈るふりをするヴェイユの

祈るふりをするきみのヴェイユ

会衆の中で祈れない男が居ても

会堂の中で祈れない男が居ても

三組に一組は離婚する国で

月経中の女の生殖器は傷つき易いので

淫行を犯す独身者

淫行の独身者のように笑って立っていた

マスターベーションをする男が居ても

同性愛行為をする男が居ても

同姓愛行為をやめられない男

同性愛行為をやめられない男が居ても

マスターベーションについて

マスターベーションをする独身者のよう

に業務を怠って

マスターベーションをする独身者のよう

に ば一つと立っていた

ば一つと立っている間に廃された

肢体の律法

家事のように暴力的な 犠牲を

捧げる時も

会堂で

祈れない男

三組に一組は離婚する国で

月経中の女の生殖器は傷つき易く

同性愛者や淫行の独身者のように

ば一つと立って笑っていた

ば一つと笑って立っていた

ば一つと立って笑っていた

死の香りの立ち昇る春の道で

死の香りの立ち昇る春のアッピア街道で

被疑者としてたまに寝息を立て

何の寄付もせず

乞食には金を遣らず

何の寄付もせず

満喫(まんこく)とか読んで

花を踏みしだいて

開花前日

静かにしてくれマスカット

昼何を 見ず知らず の 有精無精の

友人の 友人まで 汚損

づぼらな花壇

駅へはモオヴの裏道

取り敢えずきを串刺し

吊られた快楽

器官を畜獣のサマリヤタクシーに乗せて

その後 王として

誰を支配するかは分からない

目を閉じると

却って別の店で沢山の人が手を挙げている

性は弁当箱のように揺れ

ぼくらの冬の病がまだ疼く

そして興味を失くした鳩のように去っていく

雨のない嵐

雨のない嵐に晴れ曇りさえ関係なく

人を吹き飛ばしたことの無い 風

を 限界なく凶暴なぬるさに変え、

潰れかけたラブホの扉を倒し

日本語名と並記のカタカナの given name との扉を倒し

半月を太らせ

死人を復活させる風を吹かせ

東北から還って来た男の

東北から還って来た黒い甘さの暗い甘さの

肌蹴た胸の熊の半月を太らせ

死人を復活させる風を吹かせ

風の中の和服の語尾のチャツという何かを閉める物音

風の中の少数ながら良い反応を示すダマリスという名の和服の女の語尾のチャツという何かを閉める物音

笹舟のような霄壤バツタの影絵

下顎と半身の

順列の入れ替わった或る感覚器の測定するこの暗黒の雨のない嵐の夜

真の暗黒は透明釉の下の斑のように滲んで明るい

真の暗黒はブルーシートの下の斑のように明るい

正面を向いた魚の頭の創傷は捲れて

だましたのでだまされました、という動詞の複用は散見されるベント口のような

いやしてください、そうすればいやされます、救ってください、そうすれば救われます、という動詞の複用は、構造物に散見されるベント口のような

どのようにして再び力を得るか　という主題のもとに雨のない嵐のなかに立つエレミヤ

竹の子の串揚げのように

縦に柔らかいもの

パラパラと竹コプターで朗読が立ち上がる

郵便局員の

パラパラと竹コプターでバシユフルに関するしつかりした復讐の朗読が立ち上がる

命の道と死の道と

苔を吹き飛ばしたことはない雨のない嵐と

a sphere

この球面を嘗めつくしていく時間の影と雨。濡れた球面を白いタオルでパンパンはたく。蛇の時間が嘗めつくしていく球面の、影と雨。濡れた影をはたく二本のタオルのような時間の白い命。月のない時間の影。羊の汚れのような時間。去年のような月のない濡れた機器のような身体の影響。着飾った礼子に続く木の日数のような時間。発酵しない月に無視され、素通りし、去年よりさらに遠くなる、月、時間、影。

(玄米正食 ビワの葉温圧)

玄米正食 ビワの葉温圧 光線療法 ビタミン点滴

ゲマインシャフト ピアノの音圧 交戦状態 ビン?カン?見えてきて

ゲルマン民族 琵琶湖ホテルいくつ 当然慎重 ビンテージ北素敵

玄米正食 ビワ葉温圧 光線療法 強ビタミンC点滴

弦巻いていい? ショック 謂わば場を熱く コンセンサス良好 今日旅さみしい天気

ゲルソン療法 枇杷葉温圧 光線治療 強ビタミンC点滴

ギャル曽根HOGベバ押捺 高三死霊 興味豚自民主天敵

今朝も未だ滅びの東風(東)ゆ降り止まずこれだけ降れば却っていいかも

雨除けのフードの女は店先に「釜めし」の幟を立てて消えたり

春はアケボノイズ

「はい、お姫様は泥のように眠っておられます」

botで読めるのはツアラだけだ。他のは総じて詰まらない。twitter向きじゃないということだ。そしてなぜそうなのか、ということの方が問題だ。一語の立ち方、みたいなことなのだろう。

旧姓は忘れ去られて鶯に

それは抱き締めたからだきしめたいからだきしめたい体軋め

見ろよ 満月だ

子供が二人いて一人が溺れる夢をみてた浅瀬のすべての石にはキズがあった

感情のないキミの尊き犠牲 原発テロウグイスはまだヘタツピー 原発テロって歌ってるウグイス春まだ浅いキス 洗脳された弱者を送り込めよ 洗脳されたJoshuaを送り込めよ 千の洒落た孔雀が舞う前に

シネマ尾道で前通るだけで涙出る

赤花に風花の巻く船着場

風花や蕎麦湯で溶かす胸の中

電線に白鷺雪の仁王立ち

雪がコンビニの前をいやにゆっくり回りながら舞い降りている

奥村あつちゃんの効力もここまでか引つ越さないといけなくなった

春の雪が胃に降ってくる

ナツコが轆轤してるからしょうがなく居るけどほんととは帰って死にたい

アビシヤグも暖め得ずや王の骨岩盤浴は石棺に似て

渴きとは星雲団のかたちして暗い葡萄の色をしていて

覚えの書

例えばアンテナの立たない広島の中のホールに向かいながら

リール トゥー リールの録音を聴くような気落ちした朝

そこに至る道は閉ざされ

そこに至る言葉の生垣の結び目は古び

若枝は外へ外へと逃げて

暗いトンネルになった道を

言葉による迫害は筐のように常態化しているので

夜の囲いに群れを連れ帰る若い妻たちだけが小便の臭いの中蹴躑きながら車椅子を押してゆく

ダニのように太いなめらかな声が

一瞬建物を元の姿に戻したが

人々が一齐に開く本の頁の音で外はポルノのような雨になった

強欲なぼくらは

一切の考えをトリコにして

微をあつめて

じめじめした環境に置き

飛ばしたいんです

アムノンのギターで

私を追い払おうとするこの悪は

あなたが私にしたもう一つのものより大きいからです

駐車場の免責看板ない

人が居ると

羽が生えて浮いてしまう

覚えの書の人々の中で

独身を保つ

この瞬間に

深い水が震える

貧しさ故に損なわれる

カテキズムの帽子のある

欠陥商品のような雑貨屋の祈り

神を愛するより快樂を愛する

最高潮を排除するのは

挟まった空豆のような覚えの書が落ちている夢のドブのせい

名瀬 世羅

最初の衝動は名前を付けること

妬みは二人の当事者の間に生じるのに

主人公に対する愛のような愛を崩したのは誰か

混じりっ気のある鋳物の愛によって 失礼しました

これが 被爆地からあなた方を連れ上ったあなた方のパールだ

きみを、天のように感じる

繰り返される

本心に立ち返りやがてはどなくしてパールに戻り

遊牧から農耕へ 使い分ける 本心

遊牧の本心 農耕の本心

左手で柱に触る子供

要求の少ない柱に右手で触り 左手から逃がすだけ

耕す彼女から出なさい

空いた時間を

安息ととらえる最後のチャンス

万一の毎日の画像が飛び込み 記憶が自尊心を弱める

安易に傾く

要求の少ないものが人気

一人きりでも

携帯なくても

守る

名付け方から教えたものだ

失語症の夢

満喫でヒミズ四巻読んで出る

ミックは調子悪かったみたい。薬を元に戻したらちよつと良くなったのでこれから営業するって

あと二一〇円しかない死にたい

星がきれいだというけれどもうねる

もうこの家はサラ地になるんだから床なんて拭いてないでゴミ屋敷にしようよ

赤石君のライナー書いたのに不採用らしいな　ダダっばいと思ったんだけどな

ノンアルコールビールにマタタビ酒を入れたら「ビター」とか「エール」の味になります

仰向けにはなく俯せに寝る日低温火傷のような眠り

猫は常に「わたしとあなたとどっちがいい?」という問いかけである

公募展・・・間拔けな言葉だ・エブロンまで思い浮かぶぜ

各駅で向かう確定申告日本は深刻ダンテの新曲厳選チョイス挑戦ゲーセン源泉チャーシュー乗っけて満州依然清国

例えば蒲鉾で充たそうとしても充足しない部分がLIFE

「あなたの目を見ないで短歌を書きます」

だめな金の使い方をするとメタのイージーさに持ってかれるぜ

もう即興などやっている場合ではないように思います

むかいはたまにすくいいやつなのにつぎのひになるといつものちえ

親譲りの無二鉄砲で小癌供の時から損ばかりして三二いる。小学校に居る時分癌学校の二階から飛び降り

三二一週間ほど腰癌を抜かした事がある三二いる。なぜそんな無闇癌をしたと聞く人が三二あるかも知れぬ。別

段深癌い理由でもない。

まことに小さな国が、開三二化期をむかえようとして癌いる。その列島のなかの三二一つの島が四国であり、

癌四国は、讃岐、阿波、土佐、伊予にわかれている3.11。

BELL RIVE 二〇一〇 安いし良くてきてるんだけどどこかでドブの味がする

俺昔劇団に居たことがあってさ、風呂の後「ごちそうさまでした」、という奴がいたのを今思い出した。十文字夢外て奴だった。普通「お先にいただきました」じゃんねー。

吉本さんの晩年は、転向というより言質を取られるやり方で心外なことを広められただけというのが僕の印象です。@tokatama

今となつては団塊のセクト性に歴史的な意義は認められない。サブウェイ・セクトで十分だった。

吉本さん、例えば生まれると産まれるの区別がつかない奴ばかりの世の中になったよ

声変わりした日にきつねにつままれて三つ編みの子に出会ったよね

解（ホド）けて浮いてゆく

解けて浮いてゆく

樽のような夕方のアテナイ

漂いながら免除されている

金と象牙で出来た 不安

人間に関心がないという安心な僕らのグレイ

たくさんいるたくさんいる

いるいる

再び吸収される

安い結論

この町の地図のような暗く白い安さ

「私達は歩みません」

解けて浮き上がってゆく

方向修正が出来ない浮き上がり方で

解けたのはきつと会衆の安心な書物の帯

見据えた目の

きみの老いの

内部被爆者の解けて転写出来ないDNA

嘯むと甘い鉛筆の六角

宇宙の霧が晴れて黒髪が垂れている

挙げた手の水掻き

郁子のように紫に腫れた顔

活発な人々、不活発な人々

それでも開いた埋葬所のように薄紫が揃った

ここで誰に仕えたのか

ここで元ヤンのゆうちゃんはエレミヤのトーンで

誰に演奏していたのか

針の筵の筈が

解けて浮かび上がっている

紫芋の変節したスピリットが

近親婚を弁護している夕方

私達はゆつくりと上昇している

変人よ我に返れ

お針子がサタンなんて本当に居るの？ と言う

秘められた所に住む者は

地震の後ボタンを付け換えてしまった

僕の代わりに寝てばかりいる者はそのために

タツノオトシゴを飲まされる

ああ中崎も良く寝てたな

歌が終わってもまだ続いている

白茶けたメール

教育とは区別を教えること*

トーンがこのように上昇している時

何を区別してゆけばいいのか

初めて人間らしい欠伸をしながら

頭にも箍のようなものがあつて

饒舌な夕方にそれが外れたまま浮き上がってゆく

間違い電話のようにしてしか

私達は元に戻れない

留守電のようにしてしか

私達は真理を伝えられない

反った手の平

着込むメモリアル

*教えるとは、目的、形態、根源を異にする事物がたがいにどう異なるかを示すことにほかならない。．．．それゆえ、事物の相違を識別することが上手な者は、教えることも上手である。ヨハン・アーモス・コメニウス

風博士 雨です

あらしやみやみあらし ゆめやみやみあらし

あらしやまゆめあらし やまばとやまねずみやまあらし

あゆみあやめおやはやみ

やまはあめやみはやみ

あらしやみあさのやみ あさはやみやみはやみ

きみって大味だよ タスマニアのハマグリみたいだよ

病気になるほど働いたが何の益にもならない

すべての人に何が間違っているか教えてあげたいが、そうしないのは何故だろう。恥ずかしいからか。憎んでいるからか。言う資格がないと思うからか。

ああ、永遠の測量師さんですね

白磁に歴史は要らない。イランと中国の間で輪花鉢の伝票が取り交わされていたことなど今は忘れ去られて

しまった。

サイドブレーキ引いてるのに飛ばされそうな風

猫の爪は日常のストレスとの共存の提案である

あつという間の闇だあつという間の

たしかにこれはわたしの病気だ

(はい\いいえ)で訊いたら終わるなりある

布団の暖かさに(はい\いいえ)をいれてみる

(はい\いいえ)は呼び水だから決壊してもいいよ水浸しにして

(はい\いいえ)で死んでしまうきみは生き物

(はい\いいえ)の献身の誓いのあとオルタナティブな世間に墜落

ひとにひびかせるものとじぶんにかかせるものはどうしつてなければならぬ

ひとにひびかせるものとじぶんにかかせるものはどうしつてなければ

すつかりと嘘が馴染んで初桜

化野(カノ)に虚空見(ミヅミ)ヤマトにサクラ貼る今年だけは嘘でもいいから

放射能によって、今は人間が還元炎に晒されなければならない。

酸化は自然の、騙し果せている状態であったが、体は放射性物質を吸い上げて酸化する。

今は人が還元炎に晒されなければならない時代となった。

酸化したタリタクミさんは還元炎に晒された

或る音楽というフレームワークが風に晒されている

Begrudgingly

真理というのはフレームワークを理解している人々のもので、それがあるから亜流とかも出てくるのであつて、それがないと亜流だとかを区別できない。

はやくおきすぎてしまったあり

なかまはまだ寝ていました。ありははんぶん夢の中のままふらふら地上に出てしまいました。去年のルートを通って畳に出ると、おっ
ありだより、目が覚めたのかな、パン食うか？ という家のご主人の声が聞こえ、奥さんが焼いた、自分の体くらいの大きさのパンが
目の前に置かれました。ありは最初は遠慮して通り過ぎようとしたが、やはり折角だからと思い直し、戻って持ちあげようとしてで
も久しぶりのこととて力が入らず、仲間もまだ寝ているので呼べないし、と途方に暮れていると、この家はどうせもうじき取り壊されて
サラ地になってしまふんだから、床なんか拭いてないでゴミ屋敷にしようよ、と奥さんに言っているご主人の声が、金縛りにあったよう
に固まったありの耳に聞こえてきました。

winkのできないきみの本当の片目はどこかに置き忘れてる

六万の介護施設で八万の年金だから残りは二万

よう見たら梅田の馬券売場の近くで拾った赤ペンやんか

松山市の水道事業は外国の会社に委託されてしまいました@_quo-

hot chipsのバンドの福島の子供らに向けたチャリティーの曲にボーカル被せてremix 曲はwe are the worldに

か言いそうになっちゃう感じ。おれはやるけどね。それにしてもバンド名なんかならんのか

とうとうI C O C Aを購入してもうたこれで俺も関西人やね

大阪の子は楽しげに着飾って自殺するにしても派手そうやな

管さんtwitterやってんだな 何ハラになるのか 滑るのは人

京都の人はシックだな自殺するにしてもひっそりしてそう

疲労compile

生駒山街は走りて見通せるイソギンチャクのような光を

二月二六日にコモンカフェでやったハピナ・パウシユ的なものに付随した音Vの続編

mshb,taku hannoda, chieko yamaji,ytamo

二月二五日にやった人演劇に付随した音Vの続編

mshb,theatre project "Interviews"

住之江はいまはガラガラや

Baby Watchfulness

僅かな意味のずれが

さざなみのように押し寄せる

肉の色が中米のふじ色に変わる

淡い手術台で抗がん剤治療に収斂させられる

ところが

Baby Watchfulnessに意味の大波は突然押し寄せる

知らなかったことがあるから、見張っていたのだ

私達と敵と、どちらが感覚を研ぎ澄ませ続けていられるだろうか

うららかな日に乾電池は寿司のように眠りかけ

月が昇ることも知らずに

then she takes little note as the moon drifts across the sky

そして大根を薄く切りばくはケトルのデザインをしていた

基本的には女は嫌いだ

先走る花々の意味の先に先廻りして変容する意味の先に先廻りして

先を急ぐ振りをして逆に花に戻ることが出来ないだろうか

家族の中ですべての言葉はその反対の意味になったのだから

終わりのしるしの言葉は雨ざらしにされて白骨化した洗濯バサミのようになった

ラジオから流れる先廻りした素朴さが多くの魂を殺している

眼鏡に引きずられて顔が前に進んでゆく

先廻りすることはできないだろうか

それはこういうことかと餓死自殺を企てた

尾形亀之助なら満開の日の雨戸の中だ

体の中が暗室ならせめてカメラ・オブスキュラのように反転した映写を鑑賞しようではないか

るせ寄し押然突は波大の味意にssenlufctaW ybaB

Galatians

手紙を書いたのは何故か

そこにいる人びとのために、

それともその州にいる一人のひとのために、

手紙はいつも一人に宛てられる

すべての手紙はそういう風にして一人のひとの許に届く

人びとで構成される体に対して手紙を書く

しかしそれはやはり一人のひとの体に対して構想される

becのようにして届く愛はるのようないくつもの体を持たない

手紙はいつもひとつの体を求めている

婚宴

婚宴はドスト氏の風土的な色に包まれ銀のフォントは似合わなかった

嘘つきの僕は花嫁も偽りだと思っていた

黒いレースで着飾った女たちや

癌の猶予期間の余生を送る禿げ上がった男たちが

ビスケットのように乾いた笑みを浮かべて

そうだ、長い長いキスの後、、、

紅白桃の三色に植えられたスオウのようにゼカリヤ的な限のある写真

終始にこやかに

既知の曲に合わせて二人は登場した

連れてこられた花嫁の頭の花は白に緑が入って

由紀子は深夜にジャスコで清掃していた

淳一が一緒だったのでさびしくなかった

ずっと笑っているよ

すなおだな

掃除の手に指輪を嵌めたね

大阪は永遠の半ばのアーケード

step family blues

マッサージ痛みよりかなしみのほうが大きいと言いつけ聞かせている

さよなら三角またきて四国

月夜のボタン

月がきれいなので

虫を食べることにした

抵抗して弾けて飛んだボタンは月になったが

光になれば月は見えず

虫のように真つ白になって歩いていた

月を見るためには虫を食べなければならぬ

変わらなければならぬ

月になってはいけぬ

今夜のきみは空のメダルのように

コートの中はひとの形はしているが

凍結されたカードのように空っぽだ

月を見ず 花を見ず

メダルのようなボタンになって

拾われぬまま

照らされず

虫を食べるようになることなど思いもかけぬのだ

ボタンの血を飲み月の肉を食べることがそんなにいやなら

二トントラックがバックするから

心をひねりつぶせばいい

花を見ず強姦され

月を見ず強姦され

ぺしゃんこになった二次元の光

ひとはいつか虫を食べるようになる

ぼくは今夜は思っているんだ

犯罪者同盟はハンザ同盟から来たのかといまさら気付く

座りやすい日向には必ず吸殻が落ちていてぼくはそこに腰掛けていつまでもきみのボタンをいじっています

演奏できないのをきみのせいにしちゃいけない

病気をクッションにした体の悪企みでぼくも乗り捨てられる

ぼくだけがまだボタンを持つてうろちよろしている

間違って膨らんだ財布にボタンを入れたまま潰されるのを待っている

拾われることのないボタンのように詩は消えていく

月に向かってそれは飾られ波に向かってそれは擲られ

見捨てられてラマ・サバクタニと叫ぶ声も聞こえず

昔通っていた教会で習った歌を思い出しました

敵の歌に身を斬られる

かなりやばいもうやめようかな

さくまえに木 全体があかくなる

さくらはねさくまえにちりはじめるの

永遠も半ばを過ぎて桜かな

飽きさせて から散り始める桜かな

猫とはひとつの愛の欠如である

切られた絵

いくつかの絵画を切って

雨の止んだ夜道を軽トラに積んで しかもそれを

本業とは考えなかった

車軸から突き出た戦車の武器に

跨がれないのは不文の法による

見知らぬ人をもてなすように

愛は宿屋のようにずらずらと隣の家に移った

裁判員のように私達は座っている

切られた絵は遠いところで有罪だ

扮装して映画に撮られる

全て座についている者たちは

心から塵を振り払い

背広が藤色に切られた絵を示してそこに住め

にやけた土に鍬を入れて

ツンツルてんの脛を刺されて

ブタの手のひらをひらひらさせて

コスチュームは初めてのカラー映画

おばさんに似たおじさんに似たおばさんと

good day. 大いに恵まれた者よ、

家畜小屋に切られた絵

ろばの背中に切られた絵

練炭殺人の菓子袋

苦しい胸

長い剣があなたを貫くでしょう

低い声で唄う 障害者の大人

空気が寒く濁って降りてくる

もう産むのか、もう産むのか

被告だっというのを忘れ果てていた

波照間島にすたすた歩いてゆく

フオークソングのような歌が聞こえてくる

ああ遠い遠い

霊の崩壊のために泣き喚け

分割のための垂線のように 降りて来る

カラカラの水

耳の裏側に口があつてそれが僕に喋る

物事をはっきりさせるために

映画の光のような

ものしかない

裾野のない山 を見ている

切られた絵

たたみのうえでしにたかったあり

あさおきるとありがたいとたたみのうえでしんでいました。

あるいはわるいあいはいたたまれぬ脳の神殿域にいました。

れいらうの松風の吹く山頂に徒歩で女は登つて来たり

五月に千葉の市川で、離散して廃屋になった実家でイベントをやるという女の子に会いました。参加者は一晩だけ家族として過ごすことが求められ、食事と入浴が主な予定です。翌日の朝家は再び封印されます。

山と書いてミと読ませるハル・メギド

四・二〇・五・一 野毛旧バラ荘

exhibition porcelain exposé2

今回は玉柳君の送ってくれた牡蠣の殻を焼いてパウダーを手につけて轆轤をし、そのまま切り離して本焼、
というものです。バーなので夜しか空いていません。

蹣躑オレンジ濁った返歌の熱

オーブンカフェにはいい季節だな 見てるだけけどね

やめたほうがいいよ、あいつらはダイレクトに訊くとマニュアルで答えるからさ

大阪弁も雨の刃物じみて駅

想定される誤解を生きて

関電の南港発電所に来ています

特急こうのとり四号

宝塚線から東西線への暴力的な乗り入れぞくぞくする。数において勝ったモリオリ族を食べてしまったマオリ族のようだ。

海老江駅でなんやねんおい海老江ちよここに来て座りなさいてか

ごめんなさい

はい、金の斧でした

めっちゃいつつわかるわあ

new earth はキニャルワンダ語でイシヌチャチャの表記は^o微笑む口の形で発音しなければならないと教わる

そんな風にして終わったあとゲタリヤのもとでぶどう酒と夏の果実を暫定的な希望の断片のようにして集めていったのであれば

今日は神内さんが来てぐにやっとなった。やったのはスモウクイニユアイズとか「ブギーバック」とか。白いウナギみたいに情況が逃げていった。猫が騒ぐので動揺がする。

カンブリアのカタトウニヤみたいな白い葉脈。ドイヴァのライム岸壁、カクネイ。イーエルジェリ。郷愁と緊張の心拍

(福島県川内村)

数段上。スーダンの上はイージプアイチヂク白ナイル青ナイル

だから白ウナギがぐにゅっと青ナイル 青ウナギがぐにゅっと白ナイルへ逃げ続けて上っていくと 乾燥した白イチヂクがあつて それが内臓になったように眠れないんだ合田さん
情況に棹さば漠原部落色に濁る川内ナイル

川内は濁り濁りて青白のナイルに黄土色を混ぜたり

田植え待つ風の透明水底のようにして川内はあり

田植えする子供の骨は色彩を待つ間もなく透き通り白光の中で崩折れるだろう

川内村では色彩は内臓の色をしているべきなのだ今

高円寺 mshbox

駅に集合したら鈴木さんがカラオケボックスに連れて行ってくれます

田中戸 w/clavinotes

手のひらに穴が開いたので仕事も何もできないというか空洞は何でもできるというか痛いというか
でも言い直そうか、俺の替え玉は傷に託して書くから詰まらないんだ。空洞をして全てを語らしめよ。でも
痛い

空洞に痛みはない 空洞に接する痛みを伴う何かの外縁は空洞とは関係ない ところが空洞は私に属し私は
空洞に属さない それが全てのこんぐらりの始まりで ってあなた早く消毒するから手出しなさいよ
抗生物質は空洞に属し、両刃の刃というか、痛みと引き換えに外縁も愛も殺す者である ていうか早く殺
してほしい

＃~~き~~このまま痛み続けて死ぬ＃ ~~き~~このまま痛み続けて死ぬ ~~＃~~このまま痛み続けて死ぬ ~~＃~~このまま痛
み続けて死ぬ ~~＃~~このまま痛み続けて死ぬ

なかったことにしてすむこととすまないことがある。見えないから分かりづらい。空気が透明な季節は特に
そうだ。

海には思い煩いがあり、それはかき乱されずにはすまない

掌に穴

なつかしい名前@kanamoken

dog run

細かい粉末のように雨が

水色のヘルメットを汚染していて

傍に木なのにフツキソウ

グミという名前の女の子を産んで

またあかいキラキラのバスに

粉末にされながら走らされ

粉茶の雨の中

グミは青いヘルメットの組を作り

おれは走らされて犬に

unfading crown of glory

まだ地下にある笹のマストに串刺しにされるように

朝の風に軽く抗うジャノメチョウが帆のようで

薄紫の花々も揺れている

宮澤賢治が生きていたら

小岩井農場の一世代雑種の生の汚染をどう描いただろうか
托する自然はなく

白茶けたイギリス海岸の地層のネオンも輝かないなら

エーテル、コンクなどという概念が毒に塗れ

光の透過も意味を成さない

自分色の花が揺れていても

見えるものに目を向けることはもはや出来ないだろう

手には違う色のペンキが付いていなければならない

口には違う色のマスクをしていなければならない

a living hope to incorruptible, undefiled, unfaded inheritance

そうして見えない特質の地下茎が声によつて招聘されていく

草を折れば溢れるかけ流しのように見えないそれらが流れ落ちるだろう

更年期ばい鬱顔をしたそれらの草を

断面として愛せ

あるがままをみるようになることは知っているけど

such qualities are reflecting radiantly

人そのものが輝くのを初めて見るだろう

でも地上では、地面は溶け、空の上に除染された海があり、

その輝きにまず照らされるだろう

溶けないと物は輝かない

俺達は溶けて輝くしかない

アートで田んぼ

香川ではランチタイムのことをタイムランチと言う

だから田んぼでアートからアートで田んぼになったんだな

昨日からホタル

溝(ドブ)

溝の中にも夕暮れが来て

鼠を喰えた町鼬(マチイタチ)は

円形大劇場へ向かう

菓子のように明るいその場所で

良い聴衆であろうとして

列柱の奥に下手な選挙演説のように青ざめた市が立ち

日はどンドン暮れてゆき

屋台のように寒く劇場のように甘い

アレクサンドリアの甘さだけが欠けたまま

夕暮れの溝の黒土に塗れている

口々に歓迎の言葉を述べる鼬たちは半分土に埋もれた謙遜なラッパのようだ

毒草ではないと思ってひよろりと紫の花をつけてみた墓

を買い取る証書の一方の控のように仕舞われた夕暮れ

墓場のひよろむらさきに

溝(ドブ)さらいの、人さらいの怖れを入れる

鼠を喰えた町鼬がそれなりに肥沃な黒土から顔を出す

非常な貧しさが溝の富を満ち溢れさせる

Scintillating scotoma

洗われたい女が居て

それには砂が要るというから

目の中に光のぎざぎざがあつて

それには肌色ときみどりの糸で結んだ

一本売りの死が要ると

洗濯板の胸のように一貫した祈り

注意を払わない逃げ方があると

少年は必ずポケットに手を突っ込み

眠たいドライバーがキャベツの芯になつてゐる

あなた方はヒルの子なのです

女たちはひつつめ ひつつめ ほどき ほどき

三味線を弾く、扇を開く、

ドライバー ドバイラーメン

ああ今は桐の花の下をホイールが転がってゆく

他の人のために目覚めていなければならない

光のぎざぎざの武器のあとは頭痛が来る

まどろみの中 前もって計画するまどろみから達成感を得ようとして

祈りが一人 歩いている

白の絶滅

夜に玄関が開いている

絶滅は入って来るのか出て行くのか

混じり合い

散財のように暗く

ソルジャーブルーに塗られた鏡台

眼鏡をかけて私は火鉢に投げ入れられた巻物を読んだ

テールクロスにはソルバラの刺繍があった

眼鏡のモアとドードーが進み出て

マリヤは終生処女ではなかったと話した

眼鏡はそれぞれ黄と青であった

食事はずっとカップラーメンで 散財の味をアミノ酸で模したものだった

沈んだ黒が壁の白に埋もれてゆく

私は壁に微笑みかける

音声は縦の筒型に収納されている

「不倫な交わりを悔やんだりするの？」

「圧迫する者やこづき回す者ゆえに彼らのことを悔やんだのよ」

深く息をする

私の感情は変化した

恋の罪？ 故意の罪？

白の絶滅

打ち殺されて絶滅したモアやドードーがバイトのスケジュールを組んでいる

a transparent pretext

麦刈りの前は癌まで透きとおる風が吹いて

見えない麦のロックを飲んでいる気がします。

虚偽の推論のようにしてこの季節の爽やかさはあります。

肺癌の女がまだ生きていて駐車場に座り込んでいる。

あれが癌か、と思いました。

ふと見ると女は居なくなっていて
麦畑に風が吹く。

桐の花が揺れる

微睡みさえも透明で、言い訳のために推論している
なんてノビルの球根を食べないんだ
読まれなかった紙の爆弾が井手で腐っていく

外の侵入

外の侵入と言うよりは

笹目が鉄格子で

濾されて落ちた泥漿のような沙汰

無秩序な寄り合いは暴動になり

地が口を開いて外を飲み込む

外は常に夕暮れのエジプトのようで

様々な緑の階調で塗られている

インテルハムウエは穏健派のフツ族をも狙ったが

我々は彼らを外の侵入から守った

（うち沈んだ石が溶けてゆき）

うち沈んだ石が溶けてゆき

飼い猫になろうと狙っていた家は空家になり

興味を繋ぎ止めるには薄くなり過ぎた音信
吐く息がない

最後の縁側で寝そべっている

裏では火が燃えている

藪から自転車が現れた

この自転車は僕だ

星は徴が生えている

箱を焼く

こめかみを剃って孤立して住む人間の子は

だれも外国人としてとどまらないだろう

あきらめてしまった方がうまくいくのではないか

ゴボウ色のものが箱の星に差し込まれた

それは貝のように暖かい

痰が絡むので天に上る

肉と血は受け付けないのに

平たい骨を見ている

初夏は空気に透明度があつてかなしみさえも見透かされている

空気の底に見えている山々はまだ夕立の苛ちもなく

ジョイフルにナミオが居なくてオリエだけ居る 変な朝だ 予習して土を裏返してペンキを塗る それだけ

だ 死ぬのかな

生きてたか。ネットやっててすみません

えぐるぞ 二巻の最後の台詞だよ

人間も一代雑種化

三津浜 田中戸 写真の剥きだし

プロジェクターにデジカメを繋いで壁に写し、（同時にあるいは交互に）ビデオも繋いで壁に映したいんです。すが持つて来てセットできますか。あとpcも繋ぎます。

うーによーによーによー

これが三津だぜハニー

Iikewise

そんなことが挿話になる絵物語なら人生は

アイロン台の舟型をしたシッティングボックスに投げ入れられた、

さまざまな菓子袋のように粗野な色どりの

うずうずした原則の消費財が

知恵を分け与えようとする 小雨に打たれて

ホタルのやや深い谷の水系を見下ろして

虫を気にしないでいいから

窓を開け放って

全面的に受け入れ

その通りには生活しようと努めている人

のボタン。泥の 船だし

暗いリンクのように

Iikewise

コンビニでラップめくれるベクレルおにぎり

東温諦め大野が久万に汚染瓦礫処理計画 仁淀水系で高知に迷惑 原発マネーにかかっている久万美存続

清志郎の声で「受け入れちゃったぜ」

起こすと必死になる寝かせると発酵する放置すると腐る

ウォーホールはシタール音楽とヨーコにうんざりしていた ことになっている

ウォーホールはシタール音楽とヨーコにうんざりしている ことになっていた

阿佐ヶ谷ひねもすのたり

exhibition porcelain exposer3

まだ本焼中 神戸のポータタワーを潰して耳をつけたようなのをたくさん作りましたけど

墓川雪夫のロック史シアター poo

リディア・ランチがロックの歴史をなぞってだんだんリズムが変わっていくというステージをやっていたのを踏襲しています。

キャストは

墓川雪夫（田尾）：ロック評論家でスタ井火星支店長

渚（渚）：八本足のスタ井火星支店のバイト。田尾に火星ロック史を教える

デヴィッド・バアアウウイー：実際は火星に墜ちた男だったが地球に落ちたことにして陰謀を企てている邪悪な火星ロックの創始者

鼠先輩：渚にバアアウウイーの陰謀を教える

イギー・ポップ。渚の父

泥水冬道：愛媛在住の陶芸家、ブルースマン

松上コータロー（田尾）：チンドン出身のストリートシンガー
など

参加者募集中ですが今のところ田尾君と渚さんしか役が決まっています

ださいロックバーで飲むビールは青春のように悲しかった

どんぐりじゃだめですかだめですここはまっぼったくりバーですからね

ベルクのただのwifeでおばあさんのじゅしようさくを読んだがなかなかいいね

だからやっぱりいまは引き算しかないんだ。ロックから呼吸を、重力を、右左を、色を、スピードを、数を、引いてみる。シアタープーに来てくれたひとにはもうしわけなかったけど、その事だけでもかんがえてみてくれ。

こゆうめいをなざすことを止めるとどうなるのか黒田ばあさんはかんがえた。ピダハンは言語における抽象化をいっさい拒否して孤立している。どちらも引き算なんだ。

〇街ついでにきのしたばるこ眼科画廊。オタクが津波に吞まれているのではなく津波がオタクに吞まれている。

奥のグループ展では浦元広美　ずらずだけで引き算はないが。

マイアミのはゾンビじゃなかった。国立の人身で中央線が遅れている。すると俺の中で国立がゾンビになる。

人身の遅れが黙禱ならすたすた

梅雨の小金井をすたすた

廃材のかわりに人袋がずたずた

濡れているので主婦はボーダーを着るな

鳥は雨の中を抜くな

電車が通過するのは間違ってる　台北中華タンメンギョウザ？

遅々として進まない。やっぱりこの一生じゃ間に合わない。

いつもガソリンがゼロ以下で走っている

町は本当は黒ずんだ緑だ 二階の窓が空いた喫茶店に警官が五、六人

その事件を映画化してほしいと書いたら 蝶が止まった

通りは沈んでいるのに女たちはひらひらした服を着ている 自衛官のひらひらした白手袋も

春光亭復活の意味が時代の大団円でなければいいが

tori kudo's meltdown 高田寺show boat

本当にその場で歌を作るなら呼ぶ@naoto_ogawa

なんだそれじゃあ僕と一緒にやないか 足掻きを見せるつもりが解体になってく@naoto_ogawa

ワイアットのキューレーションに倣って誘ったのは今のところクラヴィノーツ、福田真也、サーフィンズです #meltdown

あ、それはなんとなく万全は難しそうな「月」日月曜日です @naoto_ogawa

A mulatto. An albino. A mosquito. て聞こえはいいがハコの苦肉の丸投げ #meltdown

ワイアットのキューレーションに戻って話を進めなければならない。東の指摘によって、二〇〇一年のロイヤル・フェスティバル・ホールでの meltdown の思い違いがくつきりしてきた。 #meltdown

ワイアットはホームレスや移民のバンドを集めて興行を打った訳ではない。アラブ・イスラエルのシンガーやジャグバンドは出たが、ギルモアが目玉としてあり、コストロやウィレム・パーカー、テリー・ライリー、マックス・ローチまで出ている。 #meltdown

ぼくは例によって、誤読と深読みによってとんでもない辺境に来てしまったようだ。数えたら19人の参加者とやりとりしている。映画のように声によつて進んでいく原発事故後の物語を夢想してしまったのだ。 #meltdown

最初は、これはぼくの meltdown だというオチがついていた。だがこれはマヘルの meltdown だという気がしてきた。全体が、マヘルの出ないマヘルなのだ。 #meltdown

被害者はリアルなことは語れない。語れないということさえ語れない。そして語れないということさえ語れないのか、それがテーマとして浮上してきた。 #meltdown

ここてぼくが思い出すのはピーター・アイヴァースの、ウエスト・コーストのケーブルTVで持っていた音楽番組である。 #meltdown

ミツバチのコスチュームでブンブン叫ぶだけの、honey beeという女の子三人組のバンドが出てきた時、ホスト役のアイヴァースは心底嬉しそうだった。[#makedown](#)

ぼくもああいう紹介をしてみたいと思っていたんだ。 [#makedown](#) クリス君、そんなにRTするなら見に来てよ

番組の最後にアイヴァースが歌ってシメるんだけど、それは堂にいったもので、あんなひりひりするようなワン・コード・ワンダーはアンソニー・ムーアくらいしか比較するものがない。 [#makedown](#)

台信さんが居なくなったらshowboatは今回ばかりに企画を丸投げしてしまった訳だけど、こういうのはほんとうはライブハウスが企画するべきことだ。ライブハウスってなんだろう、というと思い出すのはルーリードが最後にlittle sisterを歌った映画だ。 [#makedown](#)

あるライブハウスが閉店することになり、企画の女の子は最後にいまだかつてないライブをしようと意気込んで、ルーリード役のルーリードとしか言えないルーリードに電話すると、 [#makedown](#)

ルーリードを演じるルーリードは、ベルリンのジャケみたいな煙のただよういかにもな退廃的なベルベットでしつらえた部屋で女の子に囲まれながら電話に出て、出演を承諾して車で出かけるが道に迷う。 [# makedown](#)

コンサートは始まり、マディー・ウォーターズ役の老ブルースマンが「Hoochie Coochie Man」を歌い終わると、檻が運ばれて来て、鎖で繋がれたパンクスが解放たれて同じ曲を歌い、老ブルースマンは「ここに真のブルースを見た」などと述懐する。 [# makedown](#)

時間が凍結しているヒッピー役のドアーズのジョン・デンスモアは、店に来るなり「一九六九年あけましておめでとう」と言う。最後に遅れて到着したルーリードが、企画の女の子と犬しか居なくなった会場でlittle sisterを歌い、犬だけ拍手して終わる。 [#makedown](#)

最後の、ルーを見てるその企画の女の子の笑顔が何とも言えずいいんだ。だからライブハウスって、ほんとそういうもんだと思う。ブッキングマネージャーは小田さんというんだけど、見てるかな [# makedown](#)

出演者紹介一 東は古い知り合いで、98年のジョン・ピールのメルトダウンにも出てるし、ぼくが首を吊ろうとした時二万円くれたこともある。原発事故に関連した声、というとまず石川雷太の呪詛のような反原発ノイズを思い浮かべるけれど、 [#makedown](#)

同じノイズ系でも、結局東が「光の・・・」以降独自に行ってきた朗読の試みの最新部分で、目覚めさせられたウランになりきって呻いているヴォーカリゼーションが、一人で生きている女性の表現として優れていると思ひ誘うことにした。 [#makedown](#)

出演者紹介二 小川君や橋本君がやっていた札幌のサーフィンは、その場で歌を作ろうとするけどできない、という困難なコンセプトのバンドだった。この前高円寺のカラオケでマヘルのライブをしたら客は一人で、それが橋本君だった。#makedown

彼にマイクを渡したらラップを披露してくれて、それがとても良かったので、「月日の話をしたら、サーフィンの話になり、小川君は今東京に出てきているから誘ったら喜びますよ、と橋本君が言うので、本当にその場で歌を作るなら呼ぶ、とtwitterで連絡してみるよ#makedown

「橋本君が何を伝えたかは分かりませんが、今後何かがあるのなら万全の体勢で伺いたいと思います。おかげさまで、札幌から上京して墨田区在住三年目になりました。歌は、36年間生きてきて、作れた事は全く無いです。」という骨太なDMが来たので、安心して頼もうと思った。#makedown

プロフィールは小川直人、墨田区在住工員、ということにしてください、ということだった。サーフィンはもう解散しているみたいなので、どんな形態かわからないけれど、橋本君のフリースタイルがとても良かったので、その場で歌を作ろうとして出来ない、#makedown

というのを一歩進めて、もし小川君さえよければ、橋本君と二人で、何が見えているかをはっきりさせてほしいと願っています。#makedown

出演者紹介三 バトミントン選手の福田君は不安障害と双極性障害を抱えてしょっちゅう死にたいと電話をかけてくるけれど、バトミントンではトップクラスのプレーヤーなので、瞬発力が凄くて、不失者のベースにびったりだと思ふ。#makedown

彼とはよく二人でギターをラケットにしてバトミントンをしたり、マヘルでは空気を切る素振りの音だけで参加したりしてもらっていた。今回は久保田君と三人でやる。三人ともギターで、それぞれが入れ替わりつつドラム、ベース、ギターのつもりで演奏する。#makedown

久保田君は京都の、サイケで分析的な人格者で、酔ってさえいなければ割礼より真面目に演奏できるかもしれない。#makedown

出演者紹介四 外人居留者の声、ということと探していたら、岐阜の日系ブラジル人のコミュニティーからラッパーを何人か紹介してもらえて、最終的にブルーノがやることになった。ブルーノ(BRU)はBCCというクルーの一員で「日系兄弟」というユニットの兄の方。#makedown

いまブラジルに居る弟はARCと言う。同じような顔なので動画見るときなどに参考にしてください。動画はWHOLE NINE TVで検索すると紹介されている、ARCのソロもある。#makedown

甲府の「サウダージ」では田我流がブラジル人ラッパーを刺してしまうけれど、岐阜では日系兄弟がシーンを引っ張っているのだった。母国語ではないのに、言葉がこんなになめらかにすると出てくるというのはどういうことなのか、確かめに来てほしい。#makedown

本番ではブラジルからスカイプで弟も参加できるようにする、という案が浮上しているけれど、田舎で仕事しているので電波が届くところに居られるかわからない。せめてブラジルの景色でも映してみたい。#makedown

不参加者紹介一 A君 脳みそが溶ける音はリアルと分かっているが録音できない、一番の見所はGRIMのTシャツを着て微笑んでいる小川君である、とコ

メント #meltdown

人を呼んで企画をすると逆に自分がよく見えてくる。ぼくの企画は本当は企画ではなくて、当日までの過程を見せる一連の演劇のようなものだ。

#meltdown

この企画は、「ヒミズ」と「この空の花」を比較するところから始まっている。共に原発事故後のリアルを捉えようとした映画だった。前者は3.11の被害とDVの苦しみを同列に置くこと、#meltdown

後者は戦争の歴史の中に原発事故を置いてみせることで、いのちを全体の状況に結びつけて現前化させようとしていた。両監督に見えているものと見えていないものはそれぞれ異なっているが。 #meltdown

「この空の花」の中では、空襲で死んだ子の声が聞こえているか、というテーマが繰り返し返されていて、そのことを考えているうちに、マヘルで前回やった、「墓川雪夫のロック史」というコンサートの反省点が浮かび上がってきた。 #meltdown

前回の「ロック史」は、事故で障害者になったロックの、当たり前と思っていた動きが出来なくなるといって、いわば引き算による演奏だった。ロックから重力を、右左を、数を、空気を抜いてみたのだ。 #meltdown

それはそれで成功したと思うが、「この空の花」が長岡市の花火を江戸末期からの戦争状態の日本の歴史の中に置いたように、ぼくらはロックを花火の代わりに原発事故に至る歴史性の中に置かねばならなかった、ということなのではないか、と思ったのだ。 #meltdown

具体的に言うと、鈴木さんは体をぐるぐる巻きにされてギターを演奏しなければならず、血豆を作っていたが、翌日彼女の指を見た時に、それが皆に伝わる仕組みが欠けていたのではないか、と思ったのだ。 #meltdown

マヘルの人たちは田尾君とのシナリオ作成には関与せず、当日ぎりぎりに集合して、架空のロック史のために縛られたり飛んだり息を止めたりしながら演奏してくれたのだが、自分たちの歴史性とリンクする部分が与えられておらず、それがないがためにリアルなものに触れられなかった。

#meltdown

だから今回は準備段階から原発事故に至るの歴史性を共有しよう。そうするとやっと鈴木さんの血豆が見えてくるかもしれない。それで、当初はやらないつもりだったマヘルの個々の人たちにも、個人として参加するように呼びかけることにした。 #meltdown

それでいくつかのまとまりを考えた。

一 原発事故に関するリアルな声

二 ホームレスや避難民としての生活者のリアルな声

三 外人居留者のリアルな声

四 DV、モラハラ被害者その他の人前で話にくい人々の言葉

五 それと同一平面上に立とうとする音 # meltdown

六 それぞれのセクションと観客とのインタラクティブな領域

参加する人は、このうちのどれかについて自分にできることはないか、ということを考え、だれかの声を連れてこなくてはならない。 # meltdown

客席や録音による声を含むそれぞれの話し手のリアルはカメラワークのようなミキサーの使い方次第で表現になるはずだと思った。終わって、一本の映画を観たような気にさせたかった。 # meltdown

いまや自分の中の背の人が腹の人を溺れさせようとしていた。 # meltdown
興奮すると、体は逃走か逃避かに備えることになる。背側迷走神経はフリーズと関係する一方、腹側迷走神経システムは絆、愛着、靈性を活性化させる。 # meltdown

だから「鳥肌立った」というフレーズは使ってはいけない。あれは判断停止しているのだ。ナチの集会のワグナーであろうと左翼の集会のインターであろうと同じことだ。 # meltdown

聞こえている、見えている、という状態に至るにはソマティックなグラウンディングがなされていなければならない。 # meltdown

そうじゃないと、いつの間にか背の人が勝って、人を駒のように使って、見世物にし、晒す、といった企画になってしまう。 # meltdown

それで最初に戻り、ワイアットがホームレスを呼んだかのような思い込みを検証するところから始めたというわけだった。彼の弁は、自分が聞きたいから呼んだだけ、といかにもイギリス人的な自然さに終始している。そして #meltdown は興行的にも成功しているフェスなのである。

マヘルの出だしは、大袈裟に言えば、スターリン批判以降の組織論から内ゲバに至る政治性へのロックからの総括にあった。 # meltdown

出出出出出出だしの失敗から始まった歌、というわけだ。 # meltdown

削減対象に含まれているので 自分は

みな死ねばいいのに とも思う

花嫁衣装を着けた雨の夜の中の 井

ヒーローものみたいな 舌

山道は下顎のようだ

滅びますよと教絵多のじゃ #meldown

参加者紹介一補足 Reiko Aさん 「Aurora」では、ウランが無理矢理目覚めさせられる時の「眩しくて」というイントネーションが変な横浜弁ばくて好き。 本番では、ウラン以外のキャラでもいいの、というので、米野菜でもなんでも、とりプライ #meldown

不? 参加者紹介三 物良原さん 「『講演会や討論会ではない』ということをして、どう解釈すれば良いかが解らなくて……」とコメント #meldown

参加者紹介二補足 はしもとうさこさん 「リハーサルの時間が早めにわかれば助かります」と仕事の調整を匂わせるコメント #meldown

参加者紹介三補足 福田真也さん。 昨日の彼の生死を分かっ悩みは 「ドイツとフランスではどっちがいいですか」というものだった。 #meldown

道後のライブで忙しく電話に出れなくて放置していたが、寝る前にドイツ語で呟いたら Deutschland ist besserと勝手に深読みしたらしい。 それはきみが決めることだよ福田君。 #meldown

不参加者紹介四 ㏊さん 「近づく窓から川は見えず 川には水は無く 縫い合されず端切れの端切れの千切れになった

糸のような斜視で遠くから見ている穴をとじて それぐらいで子どもが飢えることは無い」というコメントを留守電に録音 #meldown

不参加者紹介五 ㏊さん 「東京という土地は私の中では無くなってしまいました。私は2011年3月15日に東京から大阪に逃げてきました。自分の世界の中では、原発事故は起こるべくして起こり、それとリンクした自分の絶望の弾性限界点が3.11でした。 #meldown

避難民とは言っても、私には東京に置き去りにした生活はありませんが、もはややした頃の自分の想念の切れ端が残っているような気がして、それが放射性物質の形をとって放射線を出し続けているようなイメージとなっていて、足を踏み入れられないと思っています。 #meldown

東京に憧れや期待を抱いた自分ごと、東京の地を捨て去りました。脳内地図から消えていきました。だから無くなってしまったわけです。」というコメントを録音 #makedown

参加者紹介五 羽根田亜紀さんはブログの呼びかけ文に反応してメールボックスに連絡してくれた唯一の人で、ユーフォニウムを始めたばかりということなので、楽しみにしています。punkhillという女性三人のバンドでドラムをやっていたそうです。 #makedown

参加者紹介六 羽根田さんが反原発デモのドラム隊を通して知り合ったのが原田淳子さんです。原田さんは呼びかけ文の野宿者の声というところを理解して、246表現者会議の小野てつおさんに声をかけてくれました。 #makedown

当日小野さんが来られるかどうかはわかりませんが、彼との対話を通して残ったものが彼女の声に反映されている筈です。いろんな活動をされていて、メールが来るとしたらいつも明け方なので、ぼくは密かにアンポの頃の活動家に戻った気分です。「午前五時のローザ」と呼んでいます。 #makedown

参加者紹介七 鈴木美紀子さんは「内なるモラルハラスメントと原発事故その後で短めにまとめてみます」とさらっとコメント。そんなこと晒して大丈夫なのか鈴木さん。 #makedown

参加者紹介三補足 久保田健司さん 「自分は三・一一や原発について他の人とは全然違う意見なんですけどそれでもいいんですか」とコメント。「実は僕も本当の本当は全然違うんですよ」と返答。二人で勝手に得心。 #makedown

参加者紹介四 補足 Brunoの話。知らね一五歳の時日本に来了。理由は親が金を作るためだった。その頃親は大理石を加工する仕事をしていた。 #makedown

今は岐阜県大垣市寿町にある吉田ハムの社宅に住んでいる。吉田ハムはブラジル人がたくさん働いていたから親はそこに勤めだした。だけど今、ブラジル人は殆ど居ない。不景気で、ブラジル人は殆ど解雇されてしまった。まだ親は残っている。 #makedown

一六歳でマイクを持つ。同級生のゆーまとラップを始めた。もともとスケボーが好きだったことと、ゆーまの兄がhiphopを聴いていて影響された。ある日、ある日というのは廃品回収の日、ゆーまの兄がマスターPのビデオを見せてくれた。 #makedown

「アットインスモークツアー」というビデオだった。それを見て日本は狭いと思った。日本じゃなくて自分のことかもしれないけど。#meltdown

中学の時、二ヶ月だけブラジルに戻ったことがある。その時初めてブラジルへの想いが膨らんだ。(この話をしてる最中、急にラップし始めた。逢いたいアンテナ張ってたい、なんたらかんたら～、早くてメモれなかった。録音したかった。) #meltdown

今はブラジルを追いかけている。ブラジルを知りたい。#meltdown

(言葉がスラスラでくることについて) ジョーク。ユーモア。「じゃーねーまたねーバイバイさよならー」、なんて言葉があるとすると、ブラジルでは最後に神と共にという言葉がつく。#の言葉がスラングのようにひつついてくる。#meltdown

しゃべつとつて、なにも気にせずな感じ、言葉の意味なんてのは幅が広い。それらはジョークでありユーモアだということ。広く言って、まとまっていなとも言える。#meltdown

イベントにいろんな人がくるみたいで面白い。抱えてるから強いとか弱いんかとかはよく分からんけど、なんか破壊して立て直すのか。#meltdown

ラップやつてることについて言えば、金になればいいし、でもそれだけの為ではない、好きなことだし。「てゆーか、知らねーよ。あ、うんが合う奴らとやつとる。#meltdown

参加者紹介六 補足 原田淳子さんはグリムとか昔話の研究家で、それをギターで弾き語りたいそうです。今回はまだ考え中。以下は原田さんとは関係ありません。#meltdown

灰かぶり

父が死にました。母は原爆を禁止しました。それに違反して灰かぶりは原爆を作りました。母はそれを探り出し灰かぶりの原爆を探そうとしました。灰かぶりが原爆と一緒に居ることが母に漏れました。母は策略を用いてタイコで灰かぶりを誘き寄せました。灰かぶりはそれと知らずタイコで心ならずも母を補助しました。母はタイコに毒を盛って原爆を殺しました。灰かぶりは欠けた原爆を手に入れたと思います、出立しました。手は灰かぶりを試して声を連れて来たら呪具をあげようと言いました。灰かぶりは連れて来ましようと言いまし

た。灰かぶりは声を手に入れました。灰かぶりは山なし国に案内されました。灰かぶりが母と戦いました。灰かぶりが勝利しました。母が敗北しました。原発は実は生きていました。灰かぶりは家に帰ろうとしました。灰かぶりは追跡されました。灰かぶりは追跡から救われました。灰かぶりは気づかれずに家に到着しました。にせ灰かぶりが原発に不当な要求をしました。灰かぶりに難題が課せられました。灰かぶりは難題を解消しました。灰かぶりは認知されました。にせ灰かぶりは母だったと露見しました。灰かぶりは黒い原発姫になりました。母が罰せられました。灰かぶりは白い原発王子と結婚し、黒い原発姫として即位し、いつまでも幸せに戦いました。#

#meltdown

参加者紹介八 小川てつおさんはリアルな声はその場で出るものなのか。出ないことがほとんどだし、そもそも出すべきなのか。出すぎて困ることもあるし、と逡巡していましたが、演奏者と同時というわけではない、ということを理解して、本当に出てくれることになりました。#meltdown

不参加者紹介四 捕捉 Aさんというか下司愛さん 録音だけでなく重さ七キロの絵を送ってくださるようになりました。坂口恭平の「態度経済」だそうです #meltdown

参加者紹介四 補足 日系兄弟の音源を前もって聴きたい人は連絡くれればこっそりデータ送ってあげます。#meltdown

Brunoはサウダージ見てないそうだ #meltdown

三・一一以降、「見えているか」、という問いかけは既に無効になった。#meltdown

「この空の花」の、「見えている」と断言する花という巫女的な配役はスクリプト上必要だっただけなのに、そのことに意識が向きすぎていると、「見えていなければならない」というスローガンは同じ反原発の仲間内の学芸会になってしまふ。バクトルは逆でなければならなかったのだ。#meltdown
既に見えている見えない汚染の現実の中で、「再稼働反対」のシュプレヒコールさえ聞けないほどダメージを負ったひとりぼっちの被害者たちの声は抽象化され到達すべき対象ではなく、既に見えすぎるほど見えている。追うどころではない。向こうから迫ってくるのだ。#meltdown

「この空の花」がわざと学芸会を使って、声を役者に演技させることのリアルの薄め具合こそ学ばなければならないポイントだったのだ。リアルな声をshowboatで聞くことなど出来ない。そこから始めるためには、たとえば全員が仮面を被るべきなのだ。#meltdown

企画が目的化してはいけない。なぶり殺しの雨に企画されている現実を生息しているに過ぎない。

showboatには三時から入れるそうです。スナック・メルトダウンでは話者のために店の酒を使った水割りのみが提供されます。うさこさんは元ホームレスとニートの若者を連れてくるそうです。#meltdown

今ごろになってステイプンとカトリーナのEverybody Is a Star #meltdown

やがて企画者は出演者を取り込み、自分の一部にしようとする。

ここまで来ると編集工学というのも嘘だと分かる。テーマは「企画とは何か」ではなく「企画の剥きだし」でなければならない #meltdown

言ってみれば乖離人格の症例と後期資本主義の可塑的な花火玉の不可避の爆発 #meltdown

天命を尽くして人事を待つ。あとはフィードバックだな #meltdown

見に来るといふ人のコメント一 いろんな声があつて、それぞれ切実なんだと思っています。ので、先入観なしに、どんな声も聞くこと。が、私はわりと得意だと思ふし今大事だと思うことです。自分の意見を押し付けない、とか。 #meltdown

表現しよう、としなくても、聞くことは考えることだし、自分の中にとか、そこから外へと、湧き出てくることがあるでしょう、といいなあ。あとは、素直さとか、思いやりとか、想像力、よく生きようって思うことだけが希望だとおもいます。 #meltdown

チエルフィツチュの現在地という芝居はある現象についての意見の相違によりすれ違い分かれたていく人たちの模様を女性のみのキャストで声ですすめていくような内容でした。「一番冷静で現実的だった人が友達を作ろうと外に出はじめた引きこもりの女性を殺すシーン」があつたり、#meltdown

寓話っぽい。最後は二つに分かれた人たちが、それぞれに相互には死んだものとして暮らしてゆく、という結末で、ぼんやりしてしまいたが、そういう風に切り捨てることも出来ずにいるのが現存っぽい。境界を超えることができればいいのだろうけど。 #meltdown

皮算用一 東とかのノイズ村の集いは外人とか居て一見華やかだが、ハコを借りる費用を賄うだけで、ギャラは通常発生しない。中原君が怒ったのも

そこらへんで、だから、ノイズ系の客は誰も期待できない。#meltdown

皮算用二 小川てつおさんは一人て来るだろうし、素人の乱やこよ表現会議がその夜行くとしたら新宿アルタ前の大熊たちの反原発イベントであろう。だからこれも来ても1人であろう。#meltdown

皮算用三 モラハラ被害者は、啓蒙イベントではないし、語ることも絶対にできないのだからおおっぴらには来ないだろう。 # meltdown

皮算用四 サーフィンは札幌では知られているが東京では誰も知らないから来ないだろう。小川君の無善寺つながりといっても、そもそも無善寺は1000円払ってやる場所なので、彼らは情宣に関しては無欲であろう。#meltdown

皮算用五 福田君は無善寺でやったことはあるけれど、誰も知らないだろうし、久保田君も京都なので東京では向井くらいしか知り合いは居ないので、呼ぼうにも声をかける人さえ居ないだろう。 #meltdown

皮算用六 羽根田さんは誘うとしてもドラム隊とかの演奏者だろうし、原田さんは小川さんと呼んだ時点で「もうやらなくてもいいかも」とか言うてるので、路地と人関係は来る人はいないだろう。 #meltdown

皮算用七 マヘル系は鈴木さんがやると言っているけど、鈴木さんのファンにかけるしかないが、毎晩のようにどこかでやっているのてわざわざ来る人がいるとは思えない。#meltdown

皮算用オ八 Brunoは東京でやるというので地元では盛り上がりつつあるかもしれないけど、企画が東京のヒップホップ界と接点がないから、誰も気づかないだろう。 #meltdown

結論。showboatの告知は一回きりで、RTもされてない。だから客はせいぜい一〇人とみた。帰りの旅費は出ないだろう。そしたら小川てつおさんに弟子入りするしかない。ごみ箱漁るのは慣れてるからいいけど。 #meltdown

だからこれを見ているきみ、ぼくも演奏するし、頼まれればオザケンの真似でも灰野さんがばみゅばみゅやってる真似でもなんでもしたげるから、知り合いに宣伝して呉れ。七日のネストもいいけど、こっちのほうが根本的にマヘルだから。 #meltdown

今日の情宣終わり。

tori kudo's meltdown

マイク一本が常にスナックに見立てた客席に置かれている。出演者はなるべくそこに陣取っているが、一般の観客も加わりやすい雰囲気にする。そこでは店からの持ち出しによる水割りが提供される。そこでの話は全プログラムを通してスピーカーから出し入れされる。

照明は真つ暗な状態を一とし、最大に明るい状態を五として記述します。

ステージの照明は一

19:00-19:10

開始と共に照明はステージ三客席二

「ブギーバック」のカラオケ

原発事故に関するリアルな声

Reiko.Aの紹介(ウラン、米野菜の呻き)

マイク1

DVDの映像をプロジェクターで投影

接続の端子はこちらで用意する

10分

19:10-19:30

照明はステージ3客席1

Reiko.A

原発事故に関連したボーカリゼーション

マイク1にリヴァーブをかませる

音はギターアンプかベースアンプ或いはDI
20分

19:30-19:40

ホームレスや避難民としての生活者のリアルな声

照明はステージ3客席²

再稼働反対のシュプレヒコールの録音物と下司愛録音物（ノートのヘッドフォン端子からPAに繋いで音だけ出す）に乗せた語り

「近づく」と窓から川は見えず 川には水は無く縫い合されず端切れの端切れの千切れになった糸のような斜視で遠くから見ている穴をとじてそれぐら
いで子どもが飢えることは無い」

勘だけで生きる女たちは猫のように置かれた場所に対しては実存的に絶対に正しくリアルである。問題は彼女らが投げ出され、置かれた場所だ。それが闇市であるのか、難民キャンプであるのか、津波の被災地であるのか、汚染区域であるのか、はたまた都内であるのかによってその処世と心象のリアルは異なる。後期資本主義の世界の投げ所であったリアル信仰が崩れるのは見えない汚染区域においてである。音楽のリアルは追及すべき目標ではなくなった。なぜならリアルは性に結びつきこそすれもはや生と結びつかなくなったからだ。男は女を通してしか学べない存在であるから、3.11以降は男は千万語を費やしてもリアルに到達できなくなったのである。汚染区域の農家の実存と、その農産物の出荷をオウム的なテロに等しいと断じる反原発論者の男の義には永遠に接点がない。それらを止揚する弁証法が機能しなくなった、破壊した地にわれわれはいまや住んでいるのである。避難区域の農家のルポルタージュである「超自然の大地」というドキュメンタリーのタイトルは、「超」というものに縋るしかない構造を露呈している。もはや神頼みなのである。しかしその「超」の意思に対する女のリアルがウランに歪められていることが、ウランのデザイン論としての真のグノーシスから地を遠ざけているのだ。その構造はナチズムに似ている。音楽はいまはひたすら哀歌を奏でよ。モントリオールのゴッドスピードユーが予見したのはそのことであつた。

アルジェリア人とエジプト人のハーフの男がfacebookでメッセージを寄こした。マヘルのRYMを手に入れ、革命の始まった去年の二月二五日の朝も、それを聴いてから街に繰り出したのだ、と言う。

八九年の「ベルベット革命」のplastic people in the universeの連中にルーリードが呼ばれて感動する逸話のように喜ばなかった。その後のプラハの

ホームレスの子供たちを知っているからだ。

「ジャスミン」の飛び火である「スイレン」はGoogleの幹部がFacebookで仕掛けて、Twitter、YouTubeを使ってエジプト人を変化させたが、三〇〇人以上が死んで、今年の9月にやっと旧ムバラク派も交えて総選挙が行われた程度である。

SNSで意識は変わるかもしれないが、去年のスペインを初めとして、世界中で事態は良くなっているわけではない。それは終わりが始まるということだ。

それらの「花々」と比べて、「アジサイ」は失業がスローガンになっていない点で特異である。「スイレン」は死者から始まり、死者を生んだ。

「花々」のきっかけは釜ヶ崎や山谷の暴動のほうに近い。

花の名前を冠するなら、少数であっても死者を生むかもしれないという不吉な不安と闘わなくてはならない。それを阻止しようとすればスタッフの仕事量は限界を超えることになる。

ただもはや「平時」は存在しない。安保は結局「平時」であつた。「平時」であれば、横目でみながら平行に歩く美学的な仕事が逆説的に残っていたりもすることをわれわれは知っているが、そうしたディレクターは原発事故以後不可能になっている。例えば「ウランが美しい」というような耽美派の言い方は、悪いジョークにしか聞こえないだろう。

自殺志願者でさえ車が来れば避けるからだ。

切迫は、官邸に向けられているというより、自身のピオスに向けられている。それを他者も含めたゾーエーに昇華させられるかが鍵だ。メルヒエンのアノニマスを呼び覚ます前奏こそが、スタッフには求められているのだ、と思った。

同時に前島ホームレス関連映像をプロジェクターで投影

19:40-20:00

原田淳子と小川てつオの紹介。

本当は怖くないグリム童話 「灰かぶり」

マイク1

照明ステージA、客席B

原田淳子

アコギによる導入

マイクで拾う

連続して小川でつオ

歩き回る

野宿者についてのトーク

マイク1

20分

20:00-20:15

照明ステージ3客席2

工藤

アカシアのカラオケ（テキストは被災地の農家やDV被害者のリアルな声の紹介が出来ないということについて）、その後小関千恵による映画「隣人」からの話とBrunoの紹介（サウダージのこと）

マイク1

DVDの映像をプロジェクターで投影

15分

20:15-20:35

照明ステージ3客席1

Bruno

一人ではなく、数人で岐阜から来る

マイク3本くらいか

持ち込みのCDの音をPAから出す

スカイプによる映像をプロジェクターで流す予定だったが、未定

接続の端子は彼らが持つてこなくてはならないと言っている

20分

20:35-20:55

照明ステージ3客席2

福田真也+久保田健司+工藤

原発、ホームレス、外人居留者、に関する声を聞いたあとの返答としての即興演奏で、三人共ギターだが仮想のドラム、ベース、ギターの役割を受け持ち、それを随時入れ替えながら演奏する方式。

ギターアンプ3台

マイク3

20分

20:55-21:05

照明ステージ3客席2

工藤

AKBのカラオケ（テキストは背骨の人と腹の人のこと、迷走神経）と小川、橋本の紹介
プロジェクターで映像を流す

10分

21:05-21:25

照明ステージ3客席2

小川直人+橋本つさこ

シンセとボーカル

マイク2

シンセはベースアンプかギターアンプにつなぐ

20分

21:25-21:40

照明ステージ3客席2

工藤

キャリーばみゆばみゆのカラオケ（テキストはマヘルの組織論について）と鈴木美紀子、大谷直樹他の話、観客からのフィードバック（ミキサーは客席のマイクからの音なるべく拾うようにする）

プロジェクターによる映像

マイク2

15分

21:40-22:00

照明ステージ4客席2

羽根田亜紀++澁谷浩次+工藤+αによるopen field、他

ギターアンプ3、ベースアンプ1、金管2のためのマイク2、ボーカル用マイク2、パーカッション用のマイク1
20分

照明は最後は照明ステージ5客席3

おしまい

当日の流れ

15:00-16:00 集合

DVDをプロジェクターに繋ぐテスト、

PCの音源をPAから出すテスト、

客席に置くマイクの sound check

マイクの音の出し入れに関する打ち合わせ

「スナック・メルトダウン」の設営

16:00-16:30

羽根田、渋谷、工藤、他

16:30-17:00

久保田、福田、工藤

17:00-17:30

小川直人+橋本

17:30-17:40

原田

17:40-18:10

Reiko,A

19:00-19:10

工藤

19:10-19:30

Reiko,A

19:30-19:40

工藤

19:40-20:00

原田淳子、小川てつオ

20:00-20:15

工藤

20:15-20:35

Bruno

20:35-20:55

福田真也+久保田健司+工藤

20:55-21:05

工藤

21:05-21:25

小川直人+橋本うさこ

21:25-21:40

工藤、鈴木美紀子、大谷直樹、他

21:40-22:00

羽根田亜紀++澁谷浩次+工藤+α

撤収

* * * * *

参加者

工藤冬里 進行、ギター

原田淳子 アコギ

小川てつオ 話

Brunoはか岐阜から数人 ボーカル、

小関千恵 話、スナックのカウンター

福田真也 ギター

久保田健司 ギター

小川直人 シンセ

橋本うさこ ボーカル

羽根田亜紀 ユーフォニウム

渋谷浩次 ベース

大谷直樹 トランペット、話

鈴木美紀子 ギター、話

前島ももこ 映像、プロジェクター操作、物販（*tweet*をまとめたもの）

玉柳輝起 ミキサー、エンジニア

不在参加

下司愛 声、絵画

坂本愛子 声（未定）

#meltdown に来てくれた皆さん ありがとうございました。

一言も聞き取れなかったので三日連続おやすみのない違うプロジェクトがきみの体の中で進行しているのがわかる

なんかもう捨て身の情宣梅雨の夜

送信を間違える夜無意識に間違うべくして間違えている

日々書き足して丸ごとリニューアル 花火玉みたいに膨らんで ファットボーイ・スリムって感じにした

い 聞こえるのはあわただしい息遣い きぬずれの音、むしのこえ かえるのうたはないんだろうな

一睡もせず金持ち早退ことば

出出出出出だしの失敗から始まった歌

Gute Nacht

どうか囃に使ってください

祈り

囃として使ってください

かなしみぼみやぼみや

道後のパフォーマンスはいつもペンキまみれになって終わります。「再稼働反対」のリズムに乗せてあることないこと喋り続けました

無頼の縦皺

この部屋は

間取りの死後

言葉が漏れて

虫も出入りし

霊のように蛙の口は
時間切れの光を運ぶ

すべての部屋は開かれ
奥の奥の部屋も開かれ
融通無下の統合

部屋がない 家はあるけど
マイクがない スピーカーはあるけど

言葉

桑折と書いて「こおり」と読む、という出だして始まる小説は 読まない
曲(まがり)という地名で曲がり

七日間の期限は方舟の完成には依存していない
ずいぶん古風な恋愛と 秒読みの破滅と
前は海

危険な状態に置かれているのは敵の方であった
言葉は何もしなくなつて
文字を色の付いた光で照らすことになつて

柿の若葉は天ぶらにします

赤トンボがひとりで低空飛行していると紋白蝶と蛇の目蝶がいました。しばらくすると仲間の赤トンボがいたのでふたりで少し高いところから斜めに旋回しました。

ブラジル

王様のいちばん下の娘が、「わたしの耳の後ろには柔らかいところがあるの、さあこれであなたは全部知ったわけよ」、と歌いながら井戸に落ちました。モグラは助けませんでした。出るのを断念した娘が自力で井戸を掘り下げ地球の反対側の地面に顔を出すと、モグラが飛行機で先回りして待っていて「風邪どう」などと聞くので、娘はまたもとの井戸の底にもどってモグラの居ない空を見上げました。

暗い林の中でトンボに似た黒い蝶が羽を閉じたり開いたりしている

あなたへの炎はわたしを食い尽くし戦争機械を焼き尽くす愛

山々は胸に手を当て退かずハラスメントのような朝焼け

かなしみをほろほろぐふぐふ抱き締める

ぼくらの冬の病がまた疼く

（輪の中に輪がある　と言っても）

輪の中に輪があると言っても　も早頸骨のまわりのように潤滑が悪く

天使と言っても疲れた男の顔をしていてショーウィンドーの中で時を買い時を奪い悪いことを操っているのだった

自分の中の他人の話をよく聞いてあかがね色のノートの文字化け

泥まみれの不燃ゴミ袋すべてをリサイクルするならこの防弾チョッキも

宇宙からの放射線でハチノスにしてやる

鉄塔に　曇り空

Fridays

普段なら共存できないものたちが身を寄せあつて震えています

アナを眠らせ ボルを眠らせ アナの家に核は降り積む

ボルを眠らせ アナを眠らせ ボルの上に核は降り積む

満月が見えない夜もあるんだな

maher o-nest

七・七ネストのマヘルは、時からリハなので参加したい方は直接ベニユーに来てください。出番は、時半

前回の#meltdownは「誰かの声を連れてくる」というものでした。それはハードなことで、死んだ人もいました。@notan_illass

今回参加者は「最近の、つの金曜日にあなたはどうしていましたか」という質問の答えを持ってきてください@notan_illass

「fridays」をこう曲です

二千 一万 四万五千 二〇万 一五万 これらが最近の金曜日です

墮ろした時の負のエネルギーをちゃんと放出しておかないと後が大変になる

ピダハン翻訳がおかしい

東の空に異様に明るい星が二つ、縦に並んでいる。眠れなくてコンビニにビールを買いに行く。下の星の方が明るい。金星？夜は涼しく、明け方は暑い。台風？

池の水は漲っていて、灰野さんの「池の水は濡れている」というブルースの歌詞を思い出した。

灰野さん、演歌歌手みたいに親に感謝していた。

セルフEMDRが完了したんだな。音は、うらはらだけだ。

曝け出したな。パンフでふくおかさんが「正直な人がふえればいいと思う」と書いていたけど、あれは堪えたな。

水紋が夜明けの色だ。これからはそういうことも含めて、社会との交換日記かもしれない、おれは。ガクさんの店、か。区役所裏、だつてさ

blow my horn, let domestic noise be public sound.

梅雨 i

梅雨なのに水の流れない川

狭い意味でリセットされたがつている

木の芯が 見えない

梅雨の芯は 鯛の眼球の

中の固いプロテインのように粉状だ

わたしたちの心が 粉だったら

夢を忘れた王は

夢の粉碎機で頭を

アコーディオンカーテンみたいにして

金に変えられる怖れのある思い出を

シュレッダーにかけて

劣ったものへ劣ったものへと進む

きみみたいなショートボブが

アンポの頃にも居たのだろうな

最終回を逃す男には

粘土の指輪が似合っている

稚拙な場面だ

後ろのものを忘れ前のものに心に向ける

梅雨 ii

雷だってゴロゴロしたい
猫だってゴロゴロしたい

体の中は大雨

もしかしたら助かったかもしれない夕方になると
きみが石灰の白線を飛び越えるのを

見に行く

今日も間に合わなかった

レースのように会議は始まり

僕が待っている場所に

黄色い家が

生えてくる

だましたのなら

だまされましょう

聖霊なきレースの horses

発達してしまった肩から胸を窄め

自殺者の顔をして帰ろうとする

黄色の夜

アイスランドがユダ金のでっち上げた国の借金を踏み倒したニュースを見たかい？ あれがヨベルだ。パン
クの映画で ubly ってあったね。アダム・アントが出たやつ。今日はあれ以来のヨベルだと思え。借金を踏み

倒せ。角笛を吹きならせ。死人は動け死ぬな甦るな。

これが愛だぜ、ミホさん（吉増剛造）

「国家の廃絶」！美しい言葉だ、だがそれを目標にするのではなく、通過点のように見做すこと。それを目標にした途端運動は核分裂する。暫定的で過渡的な現在の政治的権威には一定の敬意を払いつつも、外人居留者のように離れていること。日の丸は人間が手を汚すまでもなく、未来完了形で滅びたのだ。

今日のピアノは、本能的に死を避ける時の動きを音にします。社会と交換日記

海辺の風は西瓜のにおいがする

短いTLの中で目に留まったザッパ、レーニン、ディラン、ツェランは皆同じ場所について語っている。きみはそれが分かるか？

可哀想に、時間どろぼうのせいにして。

「ぼくがラーメンたべるとき」長谷川義史 この人の絵本は家族がカラオケに行つて歌うだけ、とかあつてとってもすごい。

みのし粘いいのに

いまわしろこ

いつきいちゆー

a care 716

施工には

シロアリの黄色がかった計算式が

ライ麦粉の灰色に結果するので

頭から水槽を被って

シヨッキング・ピンクの田螺

edibleな昔話

他県のスーパー

夏の滴り

老桜の樹皮のみどり

蜻蛉にイタリアン

瓦の象牙海岸

葉の裏が白いことでざわめきは正午までに埃を被る

一日中気遣いを注ぎ出しても 報われない動悸と震え

前任者が机に遺した燐寸の「宿恋行」というタイポグラフィー

COOLの汚れとしてのキッシュ

老人ホームのチャイルデイッシュ

田植えの後

最下層に緑が割り込み

空を押し上げていく

貸した車が

目的地に 押されてゆくバネのように近づいて行く

呼吸法によって肺から吐き出されるフォントが舞う

許し、と言った時に押し上がってくるレモングラスの石鹼の煙

あつさりと押しやられる領域が

深夜に長めの半袖シャツを着ている

Quel est le nom de votre chat

遠い遠い浜辺で産卵しなさい

恋の扶養義務不履行 とノートに書いたら、後ろの席のりんごに見られた

葉の裏が白いこととざわめきは正午までに埃を被る

なまあたたかい あまなたたかい なまあたいかたげんばつ なかまあたいた たいあたまかな かまたあ
いたな あまたかいたな ないたあたまた またあいたなか いまなかあたた たなかまたいた
なまあたたかい またかいあなた いかたまたなあ あたまないかた あたたかまいな ないあたまた
いかたかたい いかたかい いいかたか かたかいい かいたいか いかったかい

バプテスト系の助走に似て 飛び出すレターの彫刻刀

で腹にためらい傷がある

金曜日に旗のことと時かれた不安が月曜日にはさらに芽を出している。敏感なヒッピーは身を捻り、ノンセ
クトは自分達が収斂していく皿を凝視める。

命の危険の一点で消極的に繋がっていたものが、解けて浮き上がっていく。

解(キ)いたるか (吉増剛造)

液体から気体へ 解けた夏の 原子

一点を確認せよ 一点で辛うじて離婚するな原子たちよ ヒモたちよ

また政治パンフレットを書くとは思わなかったぜ

神学的な心理構造が被爆してウランが神になった時点で、背教の後ろめたさからデモ参加者を解放するのは、ただ立っているだけでいいという徹底的な消極性であろう。

生存を脅かされる恐怖という一点のみを共有して集まるのだから、その行為は、群集であることを示すだけで充分なのであり、無記名アンケートへの回答に近く、選挙に行くことですらない。

だから党派的な分裂は推進派の第五列よりも破壊的な影響を及ぼすだろう。

国旗や差別など歴史認識の欠如から来る個々の幼児性を嗤うのは容易いが、それは後で出来ることであり、今はそうした批判をする余裕の出てるある程度安定した未来が到来するかどうかさえ期待できないという漠然とした逼迫の中で集合することがまずなされるべきだ。

こうしてたとえ国家の廃絶が最終的には不可欠であることが見えていても、官邸前であつて今避けるべきなのは「政治行為」なのだという逆説が成り立つ。群集とは制御できないものだという認識から出発し、まず群集を出現させ続けなければならないのだ。

群集はただ集まればいいのであつて、強いられて声を上げる必要はない。幟はいらないしそれに着いて行く必要もない。ただ、おおぜいで立っていればいいのだ。

そのとき奏でられる音楽は背骨の音楽であつてはならない。それは腹の迷走神経を刺激するものでなくてはならない。

そのころのぼくらといったらいつもこんな調子だった。心のベスト一〇第一位はたとえばこんな曲だった。

もうどうなってもかまわん。暴れろ！死ね！蘇れ！@syoyoshihana

鶴によろぼう

へやを覗くと、おねえさんは鶴で、ミシンを踏んでいました。

見たわね、誰にも言っちゃダメよ

ぼくがネットで言いふらすと、鶴はだるそうに引越して行きました。

あれは最近の金曜日に関ををしていたかをtwitter上て訊いて、集まった四人の人たちのコメントを並べて読んでいるだけなんです。@tksmrst @_YukioHakagawa

@zhiss 三つ目のだけていいんじゃないか。晒すときは気を付けたほうがいい。それが大人だ。

マイナス裁縫

案山子かと思っていたら人

大洪水の原因は皆不道德

肢体の時計は互いのもの

羽の生える時期があれば

時を売る

時と時節を変えたがり

裁縫針が顔を出すのは常に裏面

リズムの布の裏から裏へ

マイナス茶碗を縫い合わせ

回転の影もない

このお金が私の負債となりますように

原発離婚であるんだよ。事故の後、原発に対する考え方の違いで別れるんだって。でも今まで災害に対する倫理的な態度が理由で別れるなんてことが歴史上あっただろうか。

かつて夫婦の絆は神を介在させることで強められていた。いまや放射能が神だ。放射能前結婚だ。放射能の前で誓い、放射能の前で指輪を嵌め、放射能の前でキスし、放射能に連れ添われて離婚届を出しに行くんだ。

放射能は分かりやすい神の位置に居るので、人と人のコミュニケーションは神を通さず放射能を通して行われるようになっていく。私たちは放射能を通して愛し、子供を産み、別れ、死ぬ。

武蔵野に居たらそろそろはけの辺りで自然薯の子供のムカゴを採集する季節。あても線量高いか。

ドストエフスキーやマルクスにとって、人と人との間の「信」のようなものは、「神」や「革命」であつたらしいが、「神」や「革命」を「放射能」に置き換えて考えるしなくなっているのが現在である、ということになるだろう。

おやすいみんなさい

心

中身が歩いている

殻を被っていない虫のように

剥きだしの魂

子供も大人もなく

男も女もない

椅子を数えなさい

心を守りなさい

カーテンの向こうは強い日射し

甘いものを飲みなさい

心を守りなさい

誰も動物に似ていない

心

ダモさん主催がいなくても明日行かつて。一七時溜池山王だつて。果たしてアナキーの未来はどつちだ。

心室は守られている

三相のデュシヤンのコイルから電気は発している

誘惑されて切り替わる

唯一罵倒してもいいのは

不意に昏倒する心

網のような曲面の方程式が可視化された

私には主人が二人居る

おやすみと言わないでおく日には

狡猾な抜き手を切って

二つの心臓で泳ぐ

放射能は心不全によって熱心さを減ぼす

心の欠けたハートマークで

サマーベッドに沈む不具者の

外面の魂に傾注する 前屈みの緑のレーザーが

牡丹と緑のような

全ての感情を体験してみようとしている

人体に関する比喩に暫くしてから

卒倒を何度も繰り返す

祈りの中で

よろこんだりおこったり かなしんだりしていいんだ

と四万十の人は言った

今心に懸かっているのはなんだろうか

とくに支えが必要とされているのはどこか

羅漢果とか時間の欄外脚注を

開ける間もなく参照されつつ過ぎてゆく

火事のようなネオン街

若い、カップ麺のようにがしつとした声が

正しく整えられた汚染分布図

放射能がない

放射能を探し求める

被爆させる側の責任と

放射能に心を開く

被爆する側の責任

放射能が引き寄せてくださらない限り

被爆できない

一番目はダンス、

二番目はポルノです

忌むべき心霊術

行動をじつと観察することによって

嫉み

巨大なクジラの内部で

愛は脆く土台がない

浮かれ騒ぎ

異性の気を引くことを避け
ふかいきず

わたしたちの考えを超えたもつと遠くへ
引き離してくださる放射能はわたしたちの心より大きく、
すべてのことを知っておられるからです 一四二〇

また宝くじが当たった妄想でもしよう

余裕 確信、勇気

どんなに喜んでいるか

放射能は私の心の中にあって、

私の骨の中に閉じ込められた燃える火のように

あなた方の心が永久に生き続けますように Psalm 三三:二五

太宰は田舎者である。太田静子の日記をそのまま使って斜陽を書いた。その晒し方が田舎者なのである。荒地の同人が彼を嫌うのもよく分かる。

苦悩の溶鉱炉 ハートブレイク 炉心のメルトダウン

配偶者への忠実を保つ

結婚の誓いの重さを真剣に考える

配偶者への裏切り

握り拳大の心臓が中央線の吊革に、場馴れたスタンドアアップコメディアンのように揺れている

錯覚によって起伏の見える平面に、マジックとしての緞帳の、オンドル小屋の塵取りのようなフレームの親和

いろんな費用が嵩み難しそうな時期にも

にゆぎゅつとした男

外にはこぼれた人々が散在している

明るい灰とピンクが流れて

身を縮める虎紋の甲殻類

子を産む者、産まない者、

石女の顔はもはや自分のことを氣遣っているようではなかった

個々の人々の頭皮や黒子や髪や

肉を見ている

書いてはいけないという詩論のようなもの

話し手たちの見よう見まね

浴衣のような時空の可塑性

が栄光を反映させようとしての的をなくしている

罪が的外れなだけで的外れな罪ではない

曇った鏡を無理に光らせるような暑い日

仕立屋の背教

定食屋から定食を宅急便で送ろうとしている

淡々とボタンを飛ばすたびに水しぶきが上がる

あつ 恋愛物の劇だ

心を怯えさせてはならない

灰色の針の空気

空色の灰の針

針色の空の灰

床屋のように坐っている

怯えた心が考えている

怖い時はセーターを一枚

まだ怖い時はもう一枚

坐って喋っているよう

勇気ある心は懸命な決定を下せる

もう、どろどろやてなあ

展示のタイトル思い付いた 葛陶

デモ、des mois

オースターは今回は珍しく遺産相続しないみたいだな

六時斜面の草刈り。サツマイモを植えるとサツマイモと似た雑草が生える。麦やタラと同じだな。ていうかデモも同じだろうな。葛の芽を採集。シャンプーを使うなど言われている。spanish.folkで検索 ネット一〇分。

@suzukinikikosun 天婦羅にするといいんだよ。今日は卵に入れたけど。髪は研ぎ汁で梳かし、小豆粉を炒っ

たものを付けて洗い落とす。そのあとは白檀で香をつける。これできみも平安美人だ。

ワインと言えぱリオハ rioja #スペイン

香水と言えぱマハ #spain

武蔵野に居たらそろそろはけの辺りで自然薯の子供のムカゴを採集する季節。あても線量高いか。

南紀

ここは串本向かいは大島仲をとりもつ 巡航船

もういいから 黒潮に流して

少し前までは 謝々謝々啼いてたのが いまはボートのモーターみたいにギンギン

la muela del corazon

トンネル内に真横の血栓 抜けると曇りの湯浅

クエとかハモとかがルイ・マルの夜の橙に 抜けたらきつと 果して驟雨 止んでも暗さが貼り付いた川辺 黄緑緑夾竹桃 白浜に近

付くと白と黄緑に紫更に黄色のティンクトウーラまで入ってきた

歩けそうな固い緑の池 人差し指と中指で世界をつるつる開けると思っではいけない

資本の花々 車窓にアジサイ 枯れた革命に夏の嵐が吹き付ける

壁のない家、屋根のない家、床のない家、 南へ抜けきると、逆に明るくなってくる南紀 釣り餌のピンク、入江の碧

美人過ぎるテトラの積み上げ 引き潮過ぎる女

明るさを決めるのは地衣類である

シダの裏側や梅干に当たる光を踏み潰しながらまだ熊野灘までは9キロ すさみ町生まれってなんか言われない？ すさみ温泉 すさみ

会衆 クジラが出そうな色がしてきた

恐竜ぽいつていうか古道の中身があるから半島全体でクジラの中にいる感じ 南端は光っている 今日はずうだ、というだけだけれど

喜望峰の裏側のように枯木灘の方が霞んでいる

電波の届かない、ひとたまりもなさそうな集落が続く

陸前高田や気仙沼がこの無防備さをみたらひきつけを起こすだろう

それでも鶏頭を植えて 半島の茶色に諦めと恐怖を馴染ませようとしている

薄いオレンジのような胸の透明さえ入ってくる

最強ピンクインギンチャクにはクマノミも食べられてしまう

革命の間もナマコは砂を浄化し続けている

脱皮したてのミヤコエビが仲間に食べられている

アルジャジーラに花束を

@sickinair mix cd、良かったです。夏の車内（中古のダイハツ・ミラ）にはびったりで、ビーチボーイズ

趣味の浩一郎が生きていたら今はこんなのを作ってただろうな、と礼子が言っていました。

@sickinair 当然ガレージ・サーフィンだろうな

那智黒

残酷な絵本、決して乖離人格は交わることはなく、共に月を眺めてはいても、別々にそれぞれの親が鞭を手に待ち設けている三〇分後のお仕置きのことを考えている。体の中に居たイメージの語る色彩は引き出され、外で処理されるが、次のセッションまではそれは再びドアの無い部屋に引き籠る。その繰り返し集中制作期間の後、とうとう統合された矢野ミチルが立ち現われる。それは足しも引きもしないコラージュされた無意識の、現在完了形の愛の集会である。

明け方のかかなは前夜のように未来が見えるとしてもさびしい

草刈り終わった六三九 桃食べたいな

ufoclub mshb +dano

八月一九日のUfoClubの参加者を募集しています。ダモさんが言うには、リーダーが居ない即興だそうです。仲介者が居ないということはマヘルという名前も必要ないということになります。高円寺で楽器を持つてる人は全員参加してください。

とか言う道下君がクビになりそうなので、こうしましょう。当日ヴェニューに居る人全員がマヘルです。楽器を持ってきて誰の指示も受けずに即興

してください。あるいはそうしないことによって参加してください。制御出来ない群衆のようであってください。人間がそういうことが出来るか見てみたいです。

@disco_rojo ソールドアウトだから言いますが、4時に楽器を持って店に入って来る勇気があれば、きみはすでにマヘルです。電気楽器はアンプが足りないと思いますけど。

ダモさんの歌を知っていてそう言っているなら止めません。各々蒔いたものを刈り取るだけですから。@disco_rojo
暗黙のうちに了解できているフォーマットよりも、制御できない劇を望みます。ダモさんが言っている「エナジー」に対して明確なボーカリゼーションのイメージがあるならやるべきだと思います。@disco_rojo
いまのところ八人

Buenas Noches, Alma Mia

人生に共依存

how long is it to the dead sea? (一人片付きました。あとは?)

懐かしさは減びですから 塩柱になりたくなければ発酵させるんですな

真っ青に今日も雨だった

長崎から船に乗ってティルスに着いた

玉碎色の極彩

この粘土は引き上げると口縁が切れていけない

正しくなくても正当な感情にレントゲンが当たってるいま

暦の上ではとか言われなくてももう明け方は寒くていけない

ねえ起きてよ きみが寝てる間だけ世界にはすごいことが起こってるんだ だるまさんころんだみたいに

ね 朝の光で事物は印章のように際立つ でもきみが起きたらすべては元通り

TwitterでT.S.エリオットを検索すると、ダサい翻訳ばかり出てくる。こんなもんじゃないだろうが人類。

もはや冷房下に入るといふより出て、外で湯に浸かるようにあったまりたい、という気分で惜しむ暑さの。

「わたしにすがりつくのはやめなさい」垂直に立つ無時間性に

「九時半」に挿す削りの鉄の曲がり

玄武岩か。おれが今日磁土の内側に撫で付けてたやつだ。SiO₂と鉄のひかり

遠い夜とはこの色のことだったんだよ」さん

彼のいた橋の上、とニコはアルトーについて歌った

あなたとねることになった、あなたと死ぬことになった、とニコはチンギス・ハンについて歌った

スペイン坂の人間関係でキッシュとかビールとか

A pesar de que es mediocre, cada uno de las líneas de la estructura es dolorosamente para mí.

En la colina barrida por el viento, Kanji de la tridimensional, que se formó por el cabello.

el nombre

八重洲のドトール。顔を顰めてピッチでウェブ見てる渋谷さんとのエンカウンター三回連続は流石にない。

辿り着いた地平を語ることにするならば。例えば一瞬たりともオリンピックを観ることはなかった、とか。

カンツカンツてえ一りの ひる一はこわ一あいツツ

ローマと英米が完全に切れた事により、「ローマ帝国衰亡史」は廃曲になりました。

佐久間さん久しぶり 目を閉じると目の裏側で小刻みな地震 高知

ラリー・レヴァンがパラダイス・ガラージに構築したサウンドシステムは大音響でありながら非常にクリアな音で、ダンスフロアの中央にいても容易に客の間に会話ができたとも伝えられている。

起きたらだれかが食器を洗っている

だれかが気持ちですと言ってお金を払っている

畳んだかけぶとんを枕に気絶したらだれかがしきぶとんをかけてくれる

buenos dias

さわまんなう

海に行けないまま、サンダル下駄の感触が秋だった。わたしたちの秋が始まる。国々の秋。

「あきらめの夏」とか「マイナス一〇〇度の太陽みたいに」とか、一昨年までは呑気に歌っていた。善意の港を過ぎれば、「苦い光に夾竹桃が、夏の知識に揺れている」。

五七五+空にしられぬ雪ぞふりける

空にしられぬ雪ぞふりける

踏んづけた死体と違って鬼萩を骨と違って磁土を焼きたり

高知で決まった話。一九日マヘルは大木裕之、太田翔も参加。靴下とか鞆の中身を撒き散らして場を作っていたら大木さん、モヒカンが太田さん。

古書はうろう「旧家に嫁いて」話と歌

スペインとは小さな角、

アラブの春以降のスペイン革命の日溜まりのようなジョゼフィン・フォスターのポスト・コロニアル感を、オルティス、モンポウ、アルハンブラ物語に結びつけようとすると、出てくるのは帝国主義という野原に吹きわたる風の寂しさ。

Josquin des Prez : Mille Regrez [w/ score]

Pueri Hebraeorum - Tomás Luis de Victoria

"Canción del Emperador" Sobre "Mille Regrez" de Josquin des Prés. Luys de Narváez

Two recercadas (both prima) by Diego Ortiz with Luthval

The Savalls playing Diego Ortiz

Arianna Savall - "L'Amor" (da "Bella Terra", 2004)

サヴァールの娘に流されちゃいけないね。今日はスペイン。

一五九五年に出版された羅葡日辞書の「amor(愛)」は、「Taixet,vomoi」、つまり「大切、想い」という大変美しい日本語が充てられています。「タイシエトウ、ウオモイ」という当時の発音もうかがい知ることができます。

一方、「Musica(音楽)」はというと、「Vaino narai」、つまり「謡の習い」という優雅な響きをたたえた訳です。

今日は、タイシエトウナウオモイとウタイノナライを基点として、一六世紀を考えます。

フリーダマーチ メリーチャン シンワクイーン パヤドール ヤマノグラス トロピカルマドンナ エバーローズ アイファークラソン クロンド
ローリエ ナムラビーム ケツアール アイランズギフト ミスパイダー アユミチャンヤギリエスペランサ

スペイン・ローマ時代

スペイン・ゴート時代

スペイン・アラビア時代

一五世紀 ジプシー 闘牛とフラメンコ

ヴィクトル・エリセ ミツバチのささやき

ホセ・ルイス・ゲリン カタルーニャ メカス

一六世紀はレコンキスタ後の統一スペインが、イタリア・ルネサンスとラテン語の散解に、アラビア訛りで斬り込みを入れる形で幕を開けた織部の時代です。

フランドル楽派がインターナショナル・ミュージック・シーンを席巻し、地動説的アートがスタンダードになった、世俗と新教の愛の葛藤の世紀でもあります。ハプスブルグ下の世俗とは、スペインのパレストリーナことトマス・ルイス・デ・ビクトリアのフラメン古楽気分が天正遣欧使節に与えた肉食系演歌的情感であったことでしょう。その後プログレとしてのバロックに雪崩れるまで、オルティスのような六〇年代パンクの印刷機文化が如くに他の岬の岬たるイベリアを席巻したのです。that's all I know.

二〇世紀に似たことが起こります。嘗ての統一スペインと同じように、ブランコの50年に及ぶ独裁体制が、諸地方の文化を文化大革命的に整理しようとしたのです。スペインは今回も、遅れてきた青年のようにフレンチポップスのインターナショナル・ミュージック・シーンにフラメンコ・テイスト

のみを槍としてドン・キホーテのように無惨に参入し始めました。

ワシントン・アーヴィングは「アルハンブラ物語」に於て、寛容なムーア人の時代を郷愁をもって語ります。

初期ヴェンダースのドイツに吹くマールボロ的な風、サム・シェパードのモーターに吹く風、それらと似た風は、スペインでは、なにもなければイタリアのテロワールとの対比によって吹くだけです。第一次大戦以降は、大英帝国より早く遺産を食い潰した小さな角としての寂寥が、限界集落の旧家のような枠組みだけの廃墟に吹いていると言っているでしょう。

去年からのスペイン革命は、原発ではなく、失業に対するものであり、段取りは似ていますが、日本よりもひとまわり過激です。それは反レコンキスタと言っている。

ジョゼフィン・フォスターがなぜそんなところに嫁いで来たのか。それはプログレとフラメンコに雪崩れないアーヴィング的郷愁であるような気がするのです。

スズキケンジとは八七年に六本木で会食して排斥について確認したが、本人も気付かぬほど世の人になっていた。リーダーの居ない即興だというから、「それはこういうことか」と尾形亀之助ふうにやってみせただけだ。

アナキストよ、言葉を出せ。それは立たない。そしてぼくが彼に向けて出していたのは、“raising my eyes to the mountain. from where my help come?”というものだった。ステージ内外の誰に聞かせるつもりもない言葉

。

巢鴨に靴下とサンダル

頭飾り

リーチ

片目瞑り

ローカルヒーローロルカ

谷中

地図を塗り替える

塗り替えられた地図の言葉は

どこか裏返っていて

他人事のような口ぶりで

あの町のことを語った

夜には飲み屋の灯りが点り

顔を寄せあつて

くぐもった声の恋人たちが

破船した良心について

話し合っているだろうと

黒い満月

まじめに暗い山々が横たわっている

サングラスを通すとお限のある眺望

ここからは海が見えるぜ

気に入られようとして

様々な左手打ちの生政治

キラキラしたピンクの空の大きさ

浮かぶ雲たちの恣意

運ぶ荷物たちの寓意

バッテリー切れの携帯、ガソリン切れの車
体

「派」と呼ばれる道に従って

注目されようとする一人っ子の弁護士

気になっているのは緞帳

数えることの職業的訓練を余所に

フェンス越しの会話筋を通そうとしてサインを拒む

主権者である主アドナニーは誰か

捨てられたスクーター達の crammed 密集する葛のヒゲが彷徨う路端

オホラ、オホリバは焼けたトタン屋根に上ろうとする

I wanna hold you tight という歌が流れてくる

暗くくつきりした浄化するナマコの黒が入ったグラスの水底

月にまでナマコの黒が入っていたので

相手を探して肩を掴んで揺さぶった

私はコキコキして変だわ、と思っていたけど、と女優は言った

黄に黒の斑点があるズッキ一二を

抽象絵画として鑑賞したら

ぼくらの月はいよいよ虎のバターのように
黒くなり

ウツボは心臓の齒 *la muela del corazon* づ
それを食べていった
指のシリンダーには甘い白も立ち昇った
汚水を浄化したボウフラは
今や愛のように刺す
聾者を探すワーク
切り傷が膿むような
羽根が生えて早く死にたい
台湾人の阿克セントで歩く
オーロラの青かと思ったら
毛語録のように引き出しに入っていた
コップは縞によって光を溜めるが
その黒が

at once

二つの場所に
一つの人格

一つの場所で
二つの人格

二つの場所に精通する
ぴったりとついてゆく
世の中の見方ではなくて

世の中をどうみているか

明日の今ごろは同じ場所

奇跡が案外

伝票を口に唧へて荷を卸し

ピンポンしてた興福寺阿修羅像。ピンポンしてたピンポンしてた

昼過ぎが言うー影を飲みたい！ ロルカ(Carlos nuevos) balada de día de Julio 七月のある日のバラード

言葉のベッド

言葉のベッド

言葉のベッドにぼくらはよこたわる

マットレスは送受信の地層

シーツは例えば石狩シーツ

枕は例えば国立気分

履歴を覆う地名性の渦

言葉のベッド 言葉のベッドに

とうとうぼくらはよこたわる

サイ~~XX~~なう。おいしかったでストロンチウム。ありがとウラン。貧乏人のためのやすい店シウム。死んで

もいいほどおいしければ#このまま食べ続けて死ぬ

タカノの前で宇波君と遭遇

八・二二二六

西萩FALL

exhibition porcelain exposé

I will give you a new heart.

@originalphew おれもそれ出るぜ

Eu gosto de você.

freedom is on the wane and the trend will likely continue.

台風も来て一層の渦中かな

揺れ覚めて震えてけさのちじょうかな

ピダハン、抽象化やめるってよ

アマゾン、川やめるってよ

活断層、地震やめるってよ

浅漬け、漬物やめるってよ

回転寿司、魚介やめるってよ

ヌートリア、カワウソのふりするのやめるってよ

花火、この空やめるってよ

ヒミズ、頑張れはやめるってよ

雨、オオカミやめるってよ

絶望、先生やめるってよ

木星、太陽やめるってよ

ヒモ、理論やめるってよ

九月になれば この豪華すぎる 泥水の コーヒーの 向かいの席に 座ってるだろう きみの部屋にう

ずくまる 行き場のないゆうれいになりたいのさ

七〇人の者たちは喜びながら帰ってきて、

顔を上げると

柿の種の焔が白ネギになって

張り合っていた障害者との闘いを留保し

逆差別の逆差別の

すぐく上の層に居て

国家のあれこれ

隣の国をあれこれ

お決まりのドックが見える橋を渡る錆びたドルドラムの海の景色

足を組み直し

煙が晴れるのを待つ

早くこの虫のように羽が生えればいいのに

殺したい者たちの群れの中で

七〇人の者たちは喜びながら帰ってきて、

×

あるところに、愛している時だけ見えるお姫様と、愛していない時だけ見える王子様がいました。それで王子様にはいつもお姫様が見えました。そしてお姫様にはいつも王子様が見えませんでした。
おしまい。

八月最後の日は人類最後の日に似ていますね

lure

monopolezed illegitimate, steal my heart

本当は別の所にある溶融炉

敵よりも賢い

干からびてゆく脳たち

仲間を信頼してはならない

どうしようもない者、有害な者は

曲った話し方をして

歩いている

All day long the lure is my concern

帆走

不穏な向かい風

決して伝わらない空の下

来たるべき食堂の寸法を測れ

故意に目を悪用する

焦点を空に合わせる

考えてもみなかった意味を帯びるようになる

Anti

Antiが鉄と粘土そのものではなくなったから穏やかに吹いてきた南風にだまされて出帆し

南に流されればそこにはアフリカ沖の砂州があった

違う、アメリカ大使館の砂州で埋まったんだ

ユーラクロンと呼ばれる北東の大暴風

島影に避難するAnti

船体にツイートを縛り付ける

船酔いで本来なら楽しい修学旅行が

だからいったじゃないの

言葉の難船

どこかの島に打ち上げられることになるでしょう

普段から観ているアメリカのTV

諄諄と説く希望の音信

船首を投げ捨てて浮力を得る

希望が絶たれて言葉が沁みた

囚人であることを久しぶりに思い出した

子供は二人共大事

ナンパの恐れがある今

温暖化はもうないっしょ 流石に

人を物のように見ない練習だけで一生を終わりそうなのに

わたしは都を滅びに陥れるために来た

場所かというと、つや消しの銀のようなイワシのロケットが自転車のように盗まれやすく置かれているような

きみが組んだ割り当て

正当なものとして始まる

旗のように躰を離れて

クモの巣にドライアイスを置くような

スケートの切り裂いてゆく轍

水玉の水兵服から水玉がこぼれ落ちる

ダクトの音がスケート場のようだ

Comme il pleut sur la ville Il pleure dans mon coeur Quelle est cette langueur Qui penetre mon coeur?

個人のアーカイブ化と、場所の資料としての、ミュージアム等で進められているアーカイブ化は分けて考えるべき個人の場合は、死んだことにしてアーカイブ化すること。心が自分をアーカイブ化させないようにすべき事。

それはそうと塩が発酵するわけじゃないか。

死海にもろみぶちこんだろか

消防団おれにはむえんのせかい

おんなじシオカラが挨拶に来た

「おいしい。感じのいいバーね、ここ」「バーはみんな感じがいいさ」「性悪な女になるまいと決めたので、なんだか気分がいいの」「なるほど」「こういう気持ちって、神様の代わりにあたしたちが持つてるものじゃないかしら」「神を信じてる連中もいるぜ。かなりたくさん」「あたしは、神様とは折り合いが悪かったみたい」「もう一杯、マティーニをたのむ」

夏を置き去りにして、活断層の上で、九月を始めてしまった

九月は見切り発車したニューオーダーのようだ

梨くずしの桃@shinjukuramado

カップラーメン食べたのであと二七円しかない

本屋で出版社のPR誌をどさっと取ってきてあとは道を通る女の子たちを眺めている
みな元気そうだなにより

終わりが来るときもこうやって立ったまま腐っていくんだ、知ってた？

よるべなさ、だろうね、牧野虚太郎の。

ノースウエストがフランクオーシャンになった、てのがいま一番の窪溜まりだろうね

おおきしこちゃん もうカラオケはやらないよ きみもなんかやればいいよ ライブペインティングと一緒に
だよその日は そいつの画集の宣伝文書いたんだよ ヤノミチルっていうんだけど 宇野亜喜良先生みたい
な画風でわりと怖いよ@ksshiiii

のろい馬に賭けたり 安いジンをあおったりして (ケネス・パッツェン)

たまに来る視界の末広がり、裾野にワイナリーのような愉悅の音

夕陽にヘビメタってなんなんだろうね だれかが乱射していて流れ弾を受け入れているような感じ

あ、虹だ

脳内マシガンタンゴ再結成

蛇でさえ輝く

空は、宝塚のフィナーレみたいだ

雷の後はバラバラと手足のように降ってきて 車の天井に頭をぶつけながら ソースを塗るように小銭を確かめ 日銀券のないまま 灰を発送した
ら 午後は終値

水渴きなければないで凝っとして

Deinquent Girl Boss

浩一郎編集のテープはどれもタイプライターで打ってあつて字が褪せない。ガレージとかサーフィンとか
色々あったけど人に貸したらみんな戻ってこない。残ってるのはそれだけ。死ぬ前によく聴いてた。脳に綿
巻いたみたいな音だろ。@sickinair

刃物を持つと誰でもいいから人を刺したがる女がいて困る。#ACTA

なんとか包丁を奪って抱き締めて騙して連れてきたが、このまま追分交番を爆破し、そのまま人類を皆殺し

にしたいと思う。#ACTA

という話を#ACTA正彦についたら目が覚めた。

#ACTA川龍之介 塵#ACTA 西萩#ACTAの店 あーくたびれた

ちゃらちゃーらーららら ちゃらちゃーらーららら ちゃらMiss You@gamagorifutaro

国家コーラ 国家イン・カウボーイ ぼちぼちい国家 ど国家ら来るのか黄金バット こ国家ら永遠に

ど国家で休んでいきません？ あの子かこの国家 ナイキ履国家

ジョー・国家一のヨーデル唱法

国家一スバニエル

ほんとにほんとにほんと日本と日本と日本とにほんと

ニッポンに#ACTAをつくひとにのみ国家は恐るべきものとなり

少年よ、寓意に目覚めよ

アンニユイ ハシムニカ

Counterfeiting Trade

さびしさは満ちては欠けてよるべなくみもふたもなく夏も終値

さびしさは満ちては欠けてよるべなくみもふたもなく夏の終値

どっちがいいかわからない

無邪気だなあ海の底@chairstory

ムシさんの本届いた。最後に僕も動物園の亀と写ってる。

俺より先に寝てはいけない 俺より後に起きてはいけない

俺より先に復活してはいけない 俺より後に滅びてもいけない

Josephine Fosterの新曲、Child Of God、O Stars、Blood Rushingは、腰が抜けるくらいにほんとうのほんとう

に超弩級の名作

秋亜綺羅！懐かしいな。

霞ヶ関#ACTAズスクール出身アイドルといえば speed採決、あむりなみんしゅえ(苦しい)

キムヨンジンは西村が徴兵に取られて男になって絶望して帰ってきたような奴。当然世界で最も重いベースの音 @tsukasaxl_x

ソング風と言えば、美香の死は傍観的なものが殺される恐怖、あるいは傍観の場所が無くなる段階。死とは主観というより客観の場所がなくなること。

古谷は今度はシオンの先を行こうとしているように見える

東温の山のほうで林檎は辛うじて出来るけど蜜柑みたいな甘だるい味がする。ミカリンゴだな

愛媛県民に告ぐ。久万町長は親族である大野建設の借金を埋めるための瓦礫受け入れを棚上げして再選された人物。今回の松本俊夫展は、こけし展を主張した町長に対する、久万美の存続がかかった大事な闘いでもあると認識してください。

今は飽和だ、何も入れてはならぬ。強いて言えばミント・・・。てただの二日酔いじゃん。

死海の土は轆轤成型しやすいが乾くとバラバラになる。今回はそれを展示しています。

菊絵は民芸ブームに乗ってずいぶん売れたが今は廃れている。今回はそれを展示しています。

菊絵の横にはマリオの画面で構成された靖国神社とキノコ雲などが展示されています。

床の間にはpcのキーボードを貼り付けたアルミの掛軸、天井には同じくpcのキーボードを貼り付けたミラーボールが取り付けられました。

枯れていく生花と共に、萩原朔太郎の「酸えた菊」のページが開かれています。

これらは幕屋構造を模した会場の奥の奥の部屋に置かれています。そこは月を表しています。

そこに至る通路に置かれたオブジェは様々な意味を持たされています。例えばガラス、発泡した土、パープルトライアングル、太陽、月、地球をテーマにした特別な食事が提供されます。それぞれの天体を表すオブジェと器に盛られて提供されます。

一〇月一日には奥のパテを開け放ってpcのキーボードの面を被った能が披露されます。音は東京から大谷、九州からkappaさんも来てくれます。

月、菊、骨、血、肉がテーマのこの催しは明日から23日間道後で行われます。キュレーターは隊長檸檬。

最初は、死だけは自分のものだと思っていた。Time is on my sideの世代だ。そのうちに生も死も自分のものではないと分かってきた。

ところが、死が自分のものではない、と人間製の発電所に下卑た仕方です突きつけられてみると、きみに言われとうないわ、と思ってしまう。それが怒りの中身なのだ。

プライドを持たせれば人々は嬉々として五年後に発病して死んで行くだろう。許せないのはその明けの明星が腐ったようなデステイニーの出身なんだ。

きみは原発に、人生は短く空しい、今を大事に生きろ、とか教諭されたいのか？ それは原発教だ。

招待券がなくて松本俊夫さんのトークは聞かなかったが、ぼんやりと泣いてるみたいな声が聞こえていた。父が言うには、「てめえの言いたいことを言ってるだけさ」ということだった。

デジタルで失われた手触りのようなものはあった。

あと、デモのかけ声はワッショイ反対、で今より若干テンポが早かったのを思い出したりもした。

大木さんが遅れてきた。

館長がわざわざ来て、心配するなど言った。あと松岡さんが老けて声も小さくなってしまったがわざとかもしれない。森さんは呆けてしまった。羽良多さんとは後で話そうと思っていたが居なかった。

逆行せよ、というのは極めて強いメッセージになり得る。ユーゴで終わっているならば。

自分を撮る時はイメージフォーラム的になつてはいけない。なるべく鮮やかな小道具が必要。

Ｓはしかし、求められるのは細部であって、小道具ではない。

デジタルであってもアナログな人がいる一方で、アナログであっても思考法がデジタルであるような出自は、技法の紹介者に墮する危険がある。友人の多くが彼の教え子なのでそう思われるのかもしれないが。

88歳の松本には88歳に見合った世代の批評があるだけだ。それは蓄積されたもののアーカイブ化であって、新味ではない。噛み砕かれた継承は彼の生徒たちの技法上の表れとして認知されていくだけだ。松本とはひとつの、技法の集積なのだ。そしてそれは映像に技法が必要なのかという問いでもある。

老人たちよ、寓意に目覚めよ

そして人は一〇〇歳であつても、ほんの少年として死ぬのである。

だから地面に降りるともう飛び立てずに死ぬんだよね @animame_bot

名指されるまでは聴こえず虫の声

グロンするとアンソロジ化され、ごろごろするとアーカイブ化される

瓦礫を受け入れる自治体について、反原発活動家たちでさえtweetできない雰囲気保守王国愛媛

チェルノブイリの36年後に被爆が目に見えるようになってソ連は崩壊した

良い焼き物などというものはない。態度としての作り方があるだけだ。

オチャノブイリ アザブイリ チェルノギザカ チェルノブイハツチヨウボリ チェルノブイニツボリ
チェルノブイネリマチェルノブイリヤ チェルノブイノカシラ チェルノガワコウエンブイリ チェルノブ
バイガワラ 劇団チェルフィツシュノブイリ チェルノブスカイツリー
プレヒト劇ではワイマール下のスウェーデン・キャラは「据え膳」さんと訳されたが、今の中共なら「呉れ
ちやいなヨ」さんであろうか。

御苑の草枕の下に「支援のためのセシウム入りハンバーグ」という看板を出している店があつて、川崎市長
の価値観が多勢であることが分かる。似た者同士の「Twitter」で革命起こしてる気分になってはいけない。
被災地支援の観点から風評被害や事後処理を主題に咥く人は多いし、国体護持と外国人排除を主題にする
人々も、核武装派から反原発、段階的脱原発、反原発まで様々。但し反TPPは大体共通している。社会と
向き合うためには、共通の土台を探して語りかけなければならないということ。

嫌韓の人々は酔い痴れていて放射能のことはあまり気にしていないようだ。

瓦礫拡散を称揚する咥きは思ったより少ない。あつたとしてもどこかやらせっぽい。これは純粋に金銭欲の
問題で、道徳の問題ではないからだろう。

食べて支援系も思ったほどはいない。反原発は思ったほど小さな運動ではなく、一部右翼や中核や赤旗を横
断する、わりと大きな動きであることは間違いないとなんとは分かった。ただその度合いを実感として
把握出来るのはTwitterのサーバーを解析できる立場にある支配者たちだけである。

いまや敵のほうが真剣だ、と言うのはわりと事実だから実感するといひよ、ぞっとするぜ。

電通は随分やられてるんだな まーもきやびきやびしてらんないだろうに

九〇年代組たちはさらけだしと暴露で世界をフラットにしてみろ。どうせ終わるんだからその前に。

凝り固まるなルイ、終わるまでに貝のように柔らかくなれ。

マキは最後に裏窓で地で唄ってみろ

如是我聞だよあとはみな。金と名誉が欲しいってはっきり言え。幸福なんて未来永劫ないんだから。

本当のことを云おうか。誰も信じてはいない。特に自分を。

ほざいてろ。みんな死ね。

人間には飽き飽きした

何を言ってもいいんだろ。Twitterって。え、違うの！ 見てる？ サーバー。記録しといて。いつか入り込んで自爆してやるから。

サーバーに向かって語ることにしよう。

好きなものとか何もない。

それぞれが殺したい人々のカテゴリーを持っているからその無意識の総和が実体化したら全員死ぬだろう
金持ち是不幸だ 博愛にも満たされなくて 無慈悲にも難儀が伴って

貧乏人も不幸だ 眠りは深いかもしれないが マジハンパなく金ないから 冗談抜きで
死ねば楽なんだろうな 借金取りの電話もなくて

そうだテロに走ろう。サーバーさんチェックよろしく

天よ我に仕事を与えよ

誰を殺したらいいのかわからなくて包丁持って家を出てみた。サーバーさん位置確認位置確認

サーバーさん、いま伊方のサバがサバ？と言いましたさば

サーバーさんはなに食べてますか？エヴァの焼きそばですか？ぼくは弁当持ちです。

きのうナスがたくさん採れました。いいですね、自然の恵み。

コンフォルミストたちの昼食は所沢あたりのゴミの林のようだ。

「大草原の小さな家」に出てくるオールドミスがなんかあると「日記さん」て呼び掛けながら日記を書く
だけど、あれってエミリ・ディキンソンばいよね。彼女の魂が「サーバーさん」に呼び掛けたらどうなる？

×10回。大変なことが起きる。

あと一二〇円しかない死にたい

※このまま風邪をひいて死ぬ

シリアとは驚きの無くなったアッシリアなのに

卵の中にも卵があり、またその中にも卵があり、壁にぶつけられる以前に自ら割れてしまう せめて壁に
ぶつけられようとして最初の卵は殻を強化する

卵と壁のアネクトトは、相対的な強度のもんだいではないのだ。

それは、逃げにもなる、誤謬にもなり得る、あの極めて日常的な、直感というものであり、その下には、強度ではなく極めて私的な動機が横たわっている。

そのインナーチャイルドの強度に応じた殻が無意識に選択され、重曹的に壁に向き合うことになる。

そして、ぶつかる前に割れてしまうのだ。

壁も、ひとつながりの大きな殻なのかもしれないと思った時、卵は殻を解消する。殻を解消した卵は他の卵の壁になる。

壁は移動し続ける。

壁を固定した文学は、。。。には二種類しかない、という言い方を好む。楽だからだ。

強度の相対性に運命を左右される状態を打破するには、カエルの卵のように殻を捨てることだ。子供らは足の生えなかったオタマジャクシのようだ。われわれは殻なしで生まれてきたのだ。

Emileが殻だらけだとしたら、殻は壁と対峙することになる。それらは測られ、記録され、しるしを付けられる。しるしを付けられた者以外は売り買い出来ないようにするためだ。

オルタナティブであることがパンクの帰結であったのなら、打ち込みを止めて、分類不可能なシヨーケースを提示すべきだった。

九〇年代に青春を送った人々は、これからしばらくメディアの中核を担うことになる。きみたちが自爆しないとは事は進まないんだ。

論調とは単に金銭の産物である。論調があるからややこしくなるんだ。カメラは金銭を追え！

そしてきみたちは日銀券を料理すればいい。一円玉のシラスおろし風、十円玉の餡掛け、札の野菜炒め風、最後は自分を溶いて卵とじにして有り金全部を井にして、チェーン店の汚染米の上に覆い被さるんです。つゆだくてね。

失業デモがまだ出来ないんだつたらそのくらいやって自爆しようよ

自殺するくらいならさ

だが失業デモは壁に当たって内ゲバとテロになる。原発関連失業者工作隊とか考えられないだろ？本音が

くら永久革命・日本人皆殺しても、「反資本主義デモ」に収斂していくのが流れだよおじさん。

被災者に外部から脱資本主義を説くのは傲慢 人間には無理。こうすればいいのに、っていうのを見かけるけど、あれはアウト。太田龍竜だった頃を思い出せよ。

夢や希望があるって言うとき、ただそこらへんだけで夢をみてるんじゃないか。つまり人の価値観が変わるのを目撃すること。その喜びは垂直だ。

そしてナシヨナリストたちも快感の質においてそうなんだとしたら、同労者に対する愛と連帯は大義そのものではない。しかし人生そのものではある。ただし背骨の。

Twitterには二種類しかない。悪霊にすっぱり包まれているか、包まれていないふりをするかだけだ。

前者はパブリックをプライベートにし、後者はプライベートをプライベートのままにする。失われたのはパブリックである。

日中戦争が始まったら、僕は必ず間違ったことを言うだろう。

マヘルが演奏するようにして、僕は戦争を間違えるだろう。

そしてなんのためにマヘルをやってきたのかはつきりするだろう。ほら早速間違えた。

反米はアメリカ自身が仕組んだもので、目的化してはいけない

反が付くものは大抵仕組まれたものだと思っただけか。反日がそうだったからね

某かまぼこ会社のパンフ英訳して二万もらった。最新の、をcutting edgeと訳すのっていいと思うんだけど。でも八幡浜は伊方原発のことを口に出せない町だし、添加物が入ってるし、海外には薦められんと思うが。

Gorogoro

あるところに王子がいて、いつもお姫様を探していました。お姫様は王子を探したり失ったりしていました。悪い魔女は、お姫様の邪魔をして、王子を捕まえました。魔女に、カエルになるのがいいか、死ぬまで踊り続けるのがいいか、手で触ったものがみな金になつてしまうのがいいか、と言われて、どれもいやです、と答えると、魔女はふん、それなら死ぬまであることないこと書く右手にしてやろう、と言いました。それから王子は右手であることないこと思ってもいいことを書き続けました。その呪いを解くにはお姫様に喉をごごろしてもらうことが必要でした。それを知らないお姫様はカエルを見つけては、涙を落してみたり、踊っている人を探して踊ってみたり

り、金の銅像の多い町に行って触ってみたいしていましたが、王子を見つけることはできませんでした。ある日お姫様はあることないことを書き続けている人がいるという噂を聞きました。そこへ行ってみると、王子様が情けなそうに勝手に動く右手であることないこと書いていて、ごろごろしてと訴えました。お姫様が行間に割って入ってごろごろすると、あら不思議、邪悪なツイートが清められていくではありませんか。お姫様は、これからは魔女に気を付けなさいよ、といいました。王子は、はい、と言いました。それからふたりはすえながくごろごろするんだよね、と王子は調子づいていいました。お姫様は、わからないわ、とすげなく受け流すのでした。

著作権 *affordance*

イルカとツバメが著作権法違反でパトカーを訴えて勝訴した。パトカーは懲役〇年を宣告され、罰金一千万を払った。それを見た雲は空の写真の違法ダウンロードについて目を訴え、それも勝訴したので人間は空を勝手に見てはいけないことになった。それを知ったセミと鳥とカエルとコオロギは・・・

to josefin

正しい陽に当たった核を種にして
奇妙な果実が木に揺れるブルース
縛り首にされた奴隷の僕が
正しい西日に焼け焦げて
正しい愛に青ざめて
夕暮れになると歩き出す

wo necks blue band

我が愛の労苦よ通信機器を打つ親指だけが距離を決めゆく
my labour of love 人差し指はただつるつるなぞる時の表面

四次元或いは仮面のデモ

きみは二次元だけど、フラスコの内側全体にマンガを貼ったような三次元への展開のようにしてぼくらの目には顕在している。空っぽなのではなく、三次元の立体ではないのだ。三次元ではないものに祈りや垂直な言葉はない。「百も承知」という遍在の仕方が、再領土化の平面をうちがわから記憶のように点滅させている。それはネオンのように綺麗だ。それはUFOに似ている。実験と祈りは三次元的に同じ超越だからきみにはもやもやとしてしか反映されない。

二次元が三次元でデモをやっているのがきみだ。

あばら家は彼岸にある。貝の中身はそこに腹のように棲む。愛は水を飛ばすアサリ。
バス停のようにきみは立つ。

自転車泥棒

自転車泥棒は水平線上に浮かぶ！

ボーニンゲンのように！

きみは盗まれて人生を束にした
いつそすべてを盗めばよいのに！

ボーニンゲンの頭に手を置き

身代りの山羊を解き放つ

だから自転車泥棒が窓から帰ってくると
きみはいない！

逃走したのはきみの方で

家を起点とした定点を移動させようとする自転車泥棒は、

家から遠ざかろうとすればするほど

常に家にいることになるからだ

ぎやくにきみは

家でごろごろすればするほど

逃走していることになるのだ

だからきみは束にした人生をゴミに出し

自尊心から

所有から

愛から

逃走せよ逃走せよ逃走せよ闘争せよ

構うな！

点になれ！

うごくなしねよみがえれ！花火で自爆テロしろ！

星になれ！

虚無ひとりんごはみつつでもみつつ

みつつのデモは

ひとつは発酵させ

ひとつは焦がし

ひとつは煮詰めて

虚無のワインと共にいただきました

蟹

幽霊が鎧うスーツは蟹だったのである時捕獲されてしまった。

男がそれを茹でて鉄を入れると中は一見空だったが

冷気がホログラムのように立ち上った。

無理に脱皮させるつもりですか

と幽霊が愚痴った。

幽霊に早いも遅いもないよ、だって今日になってやっと部屋の段ボール開けて靴を出せたんだろ？靴を履いたら幽霊じゃないよ
幽霊は仕方なく靴を履いて仕事に行った。

本来なら脱皮後に膨らむはずだった心より、ほんの少し小さいサイズの「シャツを着て。

褥

褥シトネですねしとねたのですねネットしてたですね熱しといてしねと仰有るシネマですかねサンタリア日和には蒔いたものを刈り取り縫ったものはほどかれる

ボーフラは汚ない水を浄化してくれていますブラボーボーフラ

ボーフラワーユニオンナ

あそぼうボーフラ あさねボーフラ いまやボーフラの方が真剣だ ボーフラガール

チボーフラ家の人々 フーライボーフラ ボーフラリーズ ボーフラメンコ ボーフライデー

ボーフランス料理 ボーフランジャー ゴボーフライ ボーフライミートウーザムーン ボーフラッパー

通勤の皆さんお疲れ様です ボーフラッシュアワー

国分寺周辺の皆さんおはようございます 恋ヶ窪一フラ

朝はSCのスカボーフラフェア トラウマがボーフラッシュバック ボーフラットな空間 ボーフライング<父ちゃんがね、母ちゃんはボーフラだつて。

Emを弾きながらルルーとハミングすれば味噌汁 @suzukimikikosun

saturate me with your...

板前さん、そこに居たまえ よく考え付くわねー アヴォガド寿司美味いよね、チエーン展開したらいいんじゃないの? そうねー

大木さん、いい夢見たねえ

@hoshi332 文法おかしいし。星野君。

朝御飯抜きて仕事に出たのもう弁当食べなくなってきた。ぼくの名前を知ってるかい、早弁太郎と言うんだぜー

バタイユボットをボーイコット

少ない情報で状況判断するのでテロに走りたくなる。音楽にはいいけど。

一日は夕方に始まって夕方に終わるのだから早起きとか遅起きとか関係ないよ。明け方にうとうとするのは昼寝と同じことで、お早うなんて言わなくていいんだ。

お早うございます

今日は時間の経つのが早くてもう夕方です

ノルウェー産のマツカラルの燻製ならあるいは

犬に、二人の主人に仕えよ、と言って骨をやった。

胴と鉄を混ぜた発色は、王子とお姫様の不可避の哀しいハッピーエンドのようだ。

東京destiny land

もう夕方もうに終わり、余生を送っています。

安物のハミガキが並んでいる

味噌の量はかなり多い。だからなかなか溶けない。強ばって震えているように見えるのはそのためだ。もうすぐオッハヨーという声を絞り出すだろう。オハヨーじゃない。オッハヨーだ。

ch.ch.ch.changes #wallofsound

もう真っ直ぐに立つことを諦めて骨を鎧えば軟体となり

ここ時間を流しつゝ、殻の世界ごと過ぎ行かせているね

彼岸過ぎまで過日過日の赤き

秋赤き信号機まで赤き 哉

無理に背骨を入れられたクラゲ

無理に背骨を入れられたクラゲが整体に来て、頰骨がずれて首が痛いと言う。おお、こんな凝った人は初めて見た、これでは首が回らんでしょう。ええ、それに足が肩より上に上がらなくて。それはまあそういう風に老化するんだからしょうがないですな。何を仰るの、背骨なんて頼んだ覚えはないわ、腰がないからって馬鹿にしてらっしゃるの。あ、そういえばそうだ、クラゲは無脊椎だった、抜いておきましょう。はじめから背骨なんて入れなきゃよかったのよ。確かに。あ、痛い痛い。ちょっと我慢してくださいね、ずるずる、はい抜きました。あーすっきりした、クラゲはまっすぐに立つことの代償を感じながらまたふらふらと海に還っていった。

@shukikoji: 絶壁は蕎麥に盡きたり稻の花　蕎麥は蕎麥とキビで、蕎はキョウ(ケウ)と読み、キビは、范
巨卿雞黍死生交(范巨卿(はんきよけい)雞黍(けいしよ)死生交(しせいのみじわり)とあるので、シヨ
と読むのであろう。　ぜっぺきはけいしよにつきたりいねのはな。　やつと読めた。

@suzukimikikosun ガネーシャガネーシャーガネーナネーシャンガイクガネカネジャネーヨガネジャヨネ、
ガーシャン

変にひよる長いフレンチフライを箸で摘まんで　3回に分けてゆっくり　ゆっくり　口に押し込んだだけで
会計を済ませ

諸君はキム・ヨンジンに対して言葉を持たないのか。情けないな。仙人然としたあれはロックに対する観照
ハテオリアVなのだ。実践だとセオリーになってしまう。極東からロックを眺めよ。残念ながら行衛はロッ
クンローラーである。俺とキム・ヨンジンはそうじゃない。最初から抱きしめるつもりだった。

(もはや居なかった場所で)

もはや居なかった場所で

そこに居たら出せたはずの言葉を。

きつとこれは

船から投げてられた　積み荷

しかも

あるはずの質量のない

愛という無駄

失われた場所について歌う場所がない

流されるべき地層もない

だから「がんばれ」もない

劇

かけ離れた傷口のようなあてやかさで
自ずと生成される現場ではなく劇とは
焦点に向かい、それを通った後は現実となるような光であり
定期的な清掃のような予型

脊椎によって立っているのではない
認識によって立っているのだ

ウニのような頭が
土地の配分を語る
安定した光の都市へ

流れ込む塩水
外人には閉じられた門の前で
身を削る

その気になって境界に接する
ナフタリ

F e O₂を入れた米袋

選択―

スターになりたいなら

サタンは何か見返りを欲しがらるわよ

本当の演劇とはCageの言うような自ずと生成される現場のようなものではなく、
ひとつのリアルに焦点を当てる 光のようなものである

真のレースなら走ることは続けるが

くだらないことへの関わり方は

くだらなさを煮ることだ

そしてまむしに咬まれてみせるのだ

炎症を起こして膨れ上がらなければ

逃亡兵は

浜辺の焚火のように

人間味のある親切を一方ならず示してもらえらるだろう

煮ても焼いても食えないくだらなさを

警告でもあり教えるもあるような劇が照らす

なぜどのように生き残ったのか

どうすれば生き延びることができるのか

なにによつて滅ぼされたのか

今生きている人は過去に死んだ人より多いから

戦争と飢饉と疫病を生き延びるのは光の孤児院の逃亡兵む一ちゃん

大いなることを求め続けてはならない

る人

女だけになつても行える

くだらないものたちと

敵対関係になり闘う

もつと激しい変化

最初は大まかなカット

そこから微細な頬のふくらみ

過去の劇から学んだ人たちと

生きるね

希望

研究などしたことはない

また会えたら嬉しいですよ

大きな白いリボンの結び方が

鯨の刺身に当てられた包丁のように秋だ

訪問介護のプロのような人気は

オコゼのように砂を巻き上げよ

まじないで縛る肺活量のない胸の呼吸

シンクロするスポットに黒い液体があつたら

命はここにも関係している

昆布のような植木鉢の植物

楽器のように学校に興味はない

夢は一年経って臨んだ

宴会の大広間の文字に貨幣のように揺れ

妻も子もライオンの坑に投げ込まれるなら

身の危険を感じた群衆の叫びよりも

魚群のような思考で命に触れる

老婆はそうした糸を手繰り寄せました

論題は金と赤の理解に焦点を合わせることだったので

稲穂と彼岸花からだけでもそれは分かりました

勝れた希望があることは知っています

なんで焼そばが初号機、覚醒なんだよ

酒遊館少しは売ったと思ったけれども家賃を払ったら千円しか残らない。

往く金を近江の人と惜しみけり

文化的なこととか心の機微とか書く気がしない。生存のことしか頭に無い。

松山城の裏でガソリンが切れる

俳句と舞踏だけだ、いま出来るのは

せめて氷が欲しいぬるい雨には

よいこなパンクは集まろう!!「唄」PTSD」一〇月二〇日元町のらまる食堂 「陶片追放GIG」一〇月二

一日 寺田町AVON w/pica etc

福岡の図書館で松本圭二がそういうビデオの修復の仕事をしていたな。でも作家の側がアーカイブ化って言葉を出すもんじゃない。それをするのはいつも他人だ。そして死ぬのもいつも他人だ。先生は前だけを見て

長生きして下さい。 @MatsumotoToshio

【2012 real edge performing arts complex nov.12-19 matsuyama】2012年11月12日カルフォルニアワインの日場所大手町 モア・ミュージック

出演 マウント・イアリテニスコース ニコラス・ケルゴビッツ マツヤマヘル...

ワインの通俗。人類共通の美の遺産があるかの如くに味覚の要素として名画とクラシック音楽とブルジョワの生活様式を使う。それは短歌の、大衆的な感性を言外の背景として受容することを強いるその通俗性と類似している。

だから色盲のようなアウトサイダー・アートはワインには向かない。今回のイヴェントは、通俗的な味覚の批評性を無化し、テイステイングのパー

ティー会場に爆弾を投げ込むような行為である。

その瞬間に、松山の俳句結社的な前近代性と、ダンスのポスト・コンテンポラリーが、現在の「通俗」を撃つものとなるだろう。

宣伝しましたよ、かずえさん

Kazue Okubo gee, thanks !

同緯度同縮尺の路上朗読ドウルーズ俊徳丸 一月一五日道後ワニとサイ 出演おれは九時半

花と竜 砥部・呉・若松物語 二月二日松山モア 出演おれ、とハルコ(気が向けば)

ドウルーズ・語り 筑前琵琶上のPLSD 活断層とプラトー再再廃墟化する他の岬として佐田岬半島の野積み緑色片岩がスレート化する 一幕一場一人
デモ

スレート化した別腹たちを「ないふり(地震)」が素粒子化する。伊方正門前ノイズカフェの質量が時空を歪める。

白い鳥が羽根をも落とす 黒い鳥が羽根をも落とす 赤い鳥がまた羽根落とす

それを拾いて俊徳丸の 五体六根なでまわすやら 元の通りに平癒なさん

骨壺の商談まとまったみたいで松原さん帰りました。

泥水冬道ブルースバンドか墓川雪夫カルテットか東京スーサイドで七針の向井の日にライブしようとしたらオチョクラレテルヒマナイと言われ断られたので、やれる場所を探しています。一月一九、二〇、二一日が空いています。なければ路上ですね。

最近の、protectionとしての音楽の役割を探るwall of soundというプロジェクトに寄せられたテキストに散見されたのは、音楽の自律的な振る舞い、外部に於ける勝手な、或は主体の無意識の身体性の許可に基づく、リトルネロでした。#2012R.E.P.A.C.M.

俊徳丸のノモス(通底する口笛のような)は、幸福の追求です。その設計図(暗号化された線としてのそのコード)は継母によりレプラの盲者とされることで逼迫したリズムを生みます。私たちが佐田岬の被爆を予定されている環境に対して開いている時、同じリズムが生まれます。#2012REPACM

中央構造線活断層上の伊方の「ないふり（地震）」が「ないふり」をしていると、リズムはコツコツという秒針の猶予期間としての閉じたツリー構造のビートを刻みます。伊方町の雇用をはじめすべての批評性に開かれているとき、はじめて俊徳丸のリズムで生きる事ができるのです。

#2012REPACM

同じ歌を違うコードの元で歌う時、わたしたちは開かれていきます。カラオケに乗せて、開かれた詩を朗読するとき、同じ歌はテリトリから出て行きます。そしてそこそが、音楽の大事な役割なのだというのを、wall of sound は教えてくれました。#2012REPACM

反原発デモの金曜日の反復における、差異にこそ注目しましょう。同じ歌を歌いながら、変わり続けましょう。大熊のビクトル・ハラはアナクロであることから、差異の測定器として機能しなければなりません。ルーがヘロインから最も遠い地点から歌ったヘロインのように。#2012REPACM
それはいつもノスタルジーから始まりますが、日比谷禁止といった線が引かれることで、コードとしてのデザインを変えて行きます。クリティカルな拍子の誕生です。主催者のいつも直面するのは、その時々我方他方のカオス化に橋をかけることです。#2012REPACM

警察権力とのコード変換によるふたつの絶対的に異質なもののダンス。「あなたは何を見るか」「ふたつの宿営の舞いのようなものを！」敵対、ダンス、敵対、ダンス、敵対、ダンス。毎週橋を架けなければならない。馴れ合ったらツリーになってビクトル・ハラが取り込まれてしまう。

#2012REPACM

ぶつかるときの響き。サウンドが官邸ないし議事堂の壁面にぶつかるときに剰余としてのサウンドの価値が生まれる。それはぶつからなければ得られなかったビクトル・ハラの新しい相貌。ダンスであるだけでなく、壁面との合奏であるような領土化。それを初めて政治性という。#2012REPACM

相手の繰り出すリズムは一秒一泊のメトロノームのような時間性を持つ。スリッツとレインコートの差異にこだわったのはそういう理由による。「反抗は、どうしてもアナーキーでなければならない。」#2012REPACM

白い風船は弱い領土性の象徴であった。それは集まってきたその数のゆえに領土性をおさえずと主張し始めた金曜日の経緯と合致する。それがリズムを規定したのだ。このデモは、身体性の領土性の問題であった。身体が、音楽を許可し、俊徳丸のリズムで表現行為を行ったのである。#2012REPACM
「繰り返し、繰り返し、その先は、どこに向かっているのかわからない（Fridays）」これは、音楽の、複合リズムとしての宙吊りの身体性の感覚をよく表している。#2012REPACM

旗や衣服のデザインは、政府の建造物の壁との「ダンス」、「合奏」といった言葉で表される、環境との臨界点でなければならない。アクティビストたちによるポスターのデザイン展で見るべきは、ビクトル・ハラの場合と同じく、確かにロシア・アヴァンギャルドとの差異性なのだ。#2012REPACM
美は壁の領土化に先行する。政治的行為も身体性の機能に先行する。両者は表現行為だからである。希望を持たない者は表現に生きよ。支配者も被支配者も、奴隷も金持ちも絶望せよ。それが希望の国と発音する意味だ。#2012REPACM

グラフィティは署名行為である。落書きが権力にとって脅威なのは、それが究極の領土化の表現だからである。世界の終わりとは神の署名行為であるだろう。そこに向かって機能と表現をずらし続けて行く。裁縫も署名行為となり得るのはそうした理由による。#2012REPACM

そうした政治的行為が抽象機械となり、壁がなくなっても機能しようとするとき、それが内ゲバのツリーに閉じないために必要なのは、やはり反復の中に差異をみることしかない。その健全性は、硬直した身体と音楽の自律的な機能によってあるいは保たれるかもしれない。#2012REPACM
デモとはスタイルとしての「顔」と「服」を表現すること。政治に整体を受けながら歩いていくショーのようなものです。純粹な目を持ち、複雑な顔をする演劇の路上稽古のようなものです。「サンチャゴに雨が降る」は、首都の街を脱領土化しました。風景を二重化するのが音楽です。

#2012REPACM

デモのスタイルはいつでも変わります。デモという言葉さえも。それは電とかIRとかハローワークといった愚劣なソフトライディングであってはならず、新たなノスタルジーから始まり、そこからさらに一步を踏み出すものでなければなりません。#2012REPACM

デモのオルガン（器官）は家族であってはならない。有機は凝固してしまうからだ。デモは空虚から逃れるための、器官なき身体ダンスである。記憶の中の桜井大造は若い人に積極的なサークル活動を勧めなかった。システムの一部になることで身体がファシズム化するからだ。#2012REPACM
デモから逸（はぐ）れよ。「お堀のあたりを歩いていけば、なんだ神田で御茶ノ水」だ。そういう身体を維持するんだ。音楽のように。そこまで来て初めて俊徳丸が呟くだろう。「伊方」、と。#2012RealEdgePerformingArtsComplexMatsuyama

今日5日は、道後のワニとサイの横にある伊佐爾波神社の階段で、隊長檸檬命名の煉獄グリコをします。ジャンケンに勝って罪を告白しながら、一番先に上に上りつめた勝者にはイタリア・ワインが振舞われます。#2012RealEdgePerformingArtsComplexMatsuyama

仕舞シテぜんブスられてステラれてテラスすてらばいすたーlieと

さて、高知県美では一〇・二八から一二・一六まで絵金さんの展覧会があります。絵金さん知ってますか？
九月に閉店した「ねじ式」の式子さんが好きな画家です。式ちゃん相変わらず変な絵描いてるんだろな

あ。

それから、久万美で週末は映像のワークショップがありますから要チェックです。

あと、横浜のDIVAイシイモモコさんが二〇日に久米のフェデリコでやります。内子にもいくみたいです。会いたかったな。

ぼくは東京行ってて今月のはみんな行けません。。

あ、あと矢野ミチルも来るみたいです。なぜか祇部ではぼくは呼ばれず、広島で一緒にやります。一月三日だったかな

九・二三

祈れない自覚の方が祈りより大事だということだっただけあるのだ

生まれたらすぐ墓に向かつて歩き始める

みんなの道と呼ばれるものの上を

生じていることは知っていても

なぜ生じているかは誰も知らない

時間をそばに引き寄せるのは間違い

brazen conduct

ページをめくると青白い光

FAMILYの中心に乱反射と放射がある

薄い下敷きだ

ゴミ屋敷のまま神殿になる椅子

自問点として

説教

不和は関心の現れ

ぼたん色のソースをぬぐいさる

物理的にはいるんだけど

羊を置いて走っていった

筆箱がぼんと音がしたような気がした

evoke a laugh

いつか捕まる

上ばかり見る

下ばかり見る

ハスの葉からこぼれ落ちる

魚はぶつからない

乗せただけでは止まらない

脳に留めるホブリサステ

意味を悟るとは王国でなくなる物を置かないこと

ワナビー

プロフィールは役に立たない

人は豹変するからだ

背広の上に乗った顔がにこやかに話している

行動するとは市民として行動するという意味

再婚

気付いて背骨を伸ばすと

暴れるから射殺しろと言う

脳は陽の当たらない枝のナスのようだ

多く配布された

振り付けはワナビー

@jijilaana まあ、一日は千年の如し、ですから。今度スカイ・ハイやりましょうよ(西村の口調)

△歌うに p t s d v 一〇月二〇日 神戸 のらまる食堂 △陶片追放 99.11.11 v

一〇月二二日 寺田町 エーボン

△祝島ヘルv 一一月四日広島 フランス座 一一月五日広島 アビエルト 篠田の上映会以来二度目。中

山さんはお元気であろうか。前は冬瓜のカレーを作ってくれておいしかった。旅団関係のほかに原田さんと

かも来る、身が引き締まるフリージャズのハコとして、いつも頭の隅にある大切な場所のひとつだ

<二〇一二 Real Edge Performing Arts Complex Nov12-17 Matsuyama> 十一月一二日大手町 モアミュージック 十一月五日 道後 ワニとサイ

Frank Oceanが現在の後記資本主義の歌のエッジだとして、ニコラス・ケルゴビッチみたいなカラオケおじさんがそれに対するノース・ウエストの反応なのだとしたら、十一月の松山は、それに対する最終的な回答を与えるものとなるであろう。

△ひみつduo.△一二月一日 京都 ゆすらじ

△釜ヶ崎EoIII△一二月三日 釜ヶ崎 難波屋（立ち飲み屋） 一九時二〇

時スタートの二部制 ギャラ：投げ銭集金合計（PAさんと分ける） 難波屋にある楽器： ピアノ（ピッチ四四二Hz）

@kissshiii ああ、中山さんお元気なんですね。冬瓜はべつに期待してないですけど、よろしくお伝えください。

あと、なんなんなで集団制作の壁画が進んできたのを見てもらいたいのので泉が東高の道後方面の同窓会やりたいみたいです。

きのうハルコ家を持ってきたナパワイン飲んだんだけど、一言でいうと、ヴァイオレット、でした。最初は飲めないおぼこを寝かせて開花した、みたいな例のカカオ、カシス、チョコレート、でもフレンチ・コンプレックスのハリウッド的な上澄みの透明が、悲哀を誘う。ハルコは両親を気にしながらワナビーを歌い踊った。

久万美はほんとうに大変みたいなので映像関係は絶対に行くこと。特に高知。愛媛はもうだめだから。

三津のアート蔵の打ち上げは行けない。居ないから。

カズエさんのチラシは紙質から凝ったもので、みんなもつと褒めてあげてください。

道後の椿食堂は保険所に通報すべき。あの子バエの量は半端ない。カウンターは黒いからわからないけど、読売新聞を広げると一面に蠢いているのが分かる。トイレは〇年掃除してないんじゃないか。なんば花月の舞台に使えるような店構えなので、道後全体があのお夫婦を救わなければ、観光に多大な影響が及ぶであろう。

道後の太白はゴキブリが減って、安泰である。

道を線で繋ぐ方式のイベントの立ち上げ方は、各都市で始まっている。求められる文化のイメージは、島と島を結ぶ瀬戸内芸術祭ではなく、人や店を繋ぐサウダージであろう。

道後町屋のイベントのクウォリティーに、松山の人間は誰一人気づいていない。

ワニとサイのワインはおいしいけど高い

ネオン坂に、一軒だけでも拠点があるといい。

道後にはふじ家以外にもいいゲストハウスが沢山ある。泉（せん）ゲストハウスのバーカウンターはセレクトが大変気が利いていて、テキサス訃りの英語も聞けます。

勝山通りの東署の並びにルーマニア料理の安い店があります。六〇〇円くらいから。奥さんがルーマニア人。ご主人は三越のエントランスの設計で有名な建築家、田中戸とかキヤメルkでみかけるけれど、白いニッカボッカをはきこなす渋いおじさん。

これらすべては、二〇一二 Real Edge Performing Arts Complex Nov 一二-17 Matsuyama の宣伝の一環です。

中ムラサトコさん、国立の滝乃川学園でやっただってね。懐かしいなあ。RCのキーボードのやつがその牧師の息子だった。矢川団地に住んでたんで、地球やかかけこみ亭とかよく知ってるよ。松山で中ムラサトコがふつうにうろろしてるなんて、きみらはしあわせなんだぜ。

佐々木敦が言うように、Frank Oceanが現在の後記資本主義の歌のエッジだとして、ニコラス・ケルゴビッチみたいなカラオケおじさんがそれに対するインディーの動きのあらわれだとしたら、一一・一二のライブは、それに対する最終的な回答を与えるものとなるであろう。

要するにこつちもカラオケ・ヒップホップなわけだけどね笑

あるものを使うのは古墳時代からの松山のお家芸だ。考古館に行って、7つの蜀台のついた祭器をみるといい。それが百均で売ってる皿をくつつけたヤドカリみたいな狩猟的感性から造られてるとわかれば、

われわれの引用は多岐に渉る。そしてそれを五七五に凝縮する。

フリースタイルとは呼ばない。自由律の結社の伝統に接続するんだ。松山のラッパーにはまだそれがない。松山駅やポンジューズの映像をバックに地名を織り込んでるだけだ。おれはdisってるんだ。応答しろよ

これらすべては、二〇一二 Real Edge Performing Arts Complex Nov 一二-17 Matsuyama の宣伝の一環です。

無防備な音の、自衛のための情宣ですから、勝手なタイトル付けたりして、入れ子になっているわけです。貝と逆ですね。中身が外に出ている。海に対して、情宣に特化した垂れ流しを続けるアカウントの、botより非道い厚顔無恥は、シリアの虐殺と同じく止められない、急ぎ立てる霊なのであろう。

永井荷風への近親憎悪が机に突っ伏していた女のようにたまにむっくり顔を上げる。人であり物でもあるというアンビヴァレンツ。

切り株の椅子を作った呉れと夢で再三頼まれた。三島信者が六本足のダックスフンドのように御堀の周りを回っている。人への怖れのために切り株はやわらかく爆発する。

脱走

金木犀が死を際立たせるこんな夕方は

線路脇のちまちました植木を頼りに進んで行けたが

空きアパートの安心感だけがやがて沈んでいく

病院から逃げ出した俺が 正門のところで白衣に囲まれている

目覚めると朝陽を浴びる岩盤に脳がペースト状に塗られて

サタンのデザインを知らないわけではない

wall of sound

wall of sound というプロジェクトのための小学生のコーラスの編曲をしています。音楽がプロテクションになったという経験を集め、それを展示して、ロビーで合唱する、というものです。いま二〇人くらいの演劇関係者からコメントが集まっています。

最初は、そうやって集まった曲を、美術館の警備員の人たちが合唱するというプロジェクトでした。

ひとつだけカリフォルニアからのコメントを紹介します。「一六歳の時にある女の子に恋をしました。彼女はサーフィンもスキーも得意で、みんなが振り向くような美人でした。ぼくはメタリカとかパンクが好きなおたくでしたが、なぜか気が合って、半年間はただキスしていました。

彼女はプリンスが好きで、音楽の趣味は合わなかったけれど、それでも高校の間はずっとうまくいっていました。大学で離れ離れになり、連絡が途絶えがちになりました。その後ぼくはイギリスに留学し、そこで高校の恩師に会い、彼女が自殺したことを知りました。

ぼくは初めて、嫌いだっただプリンスのCDを買い、彼女が好きだった曲を何日も聴き続けました。今でも何かあるとその曲を聞きます。」

3・11以来、音楽にできることなどない、という論調が盛んな昨今ですが、その真逆を行くプロジェクトです。そういうわけで、毎日いろんな人が送ってくるコメントを読み、小学生だから英語は難しいかな、とか思いながら、初めて一般の人々の好む音楽を聞いています。

たぶん、音に縁縁をつけて、個人史と共に回復させる試み。ジェイコブ・ウレンは切れる奴だったけど、ティム・エツチエルスもなかなかやるな、という印象。今年は二人の演劇と付き合うことになって大変。

月桃が畑を囲むなら私たちが囲むのは何

酒を飲むと眠くなってしまうていけない。今書いているのはサヌメリムの「虹」。二番を日本語にした。

こういうことをやる時はいつも、浩一郎が生きていたら、ってというのが無意識に基準になっているよ

down to the river and into the river we'd dive

二七日の東京文化会館のマヘルは今のところBabyArabiaっていうマレーシアのイスラムのラップグループが加わる事になっているだけで、あとはサトエリくらいしか来ません。水上音楽堂の人たちで、まだ生きている人は参加してほしいのですが、もう連絡しもうがなくて。三谷の娘は来ないかな。

Gracias a la vida, que me ha dado tanto. 鈴木さんほんとにできるの？

歌うのは一番だけど、伴奏は後半のリズムをものにできるかというところ。

選曲とやるやらないのやりとり、子供向けのメッセージ、知りたい人は送ってあげるよ。名前とかは伏せるけどね。みな演劇、舞踏関係の一線のひとつたちで興味深い。

二七日のマヘル、ほんとに参加する人がいない。六〇〇人の会場だよ！きみの晴れ姿を見せびらかす機会だよ！ほら、そこ、吹奏楽botでひたってる場合じゃねーよ！ほら、三谷の娘！ユーフォやってんでしょ

なんてなんたらワークシヨップで人がきてマヘルは来ないだろうね。絶望するよ

死にたい

死ねよ @_YukioHakagawa

はい、わかりました @_YukioHakagawa

いいよ、ひとりでやるから。マヘルはもう存在してないのです toi kudo botつか @_YukioHakagawa

明日から広島だから寝よ。バイバイ

wall of soundの準備は進んでいます。かなり重要なメタな合唱劇なので、見たほうがいいと思います。詳細を明かすと勿体ないのでここには書けません。やるのは二八日の時半からです。展示は二六日からやっています。

二七日のマヘルは、水上音楽堂つばいことを考えていましたが、ひとりでできることをやる感じに変えます。といっても考え中ですけど。

いまのところ他の楽器は、バイオリン、生ギター、バスーン、とbaby arabiaだけです。当日来ても難しい場所なので、はじめてだけど参加したい、あるいは過去に参加したことはあるけれど今回は落合で関さんがあるからいけない、とか来週頭までにはお知らせください。

今日Fridaysの夜、最近の金曜日になったかを教えてくれた。

Was haben Sie an dem letzten Freitag gemacht?

On recent Fridays, I was one of two thousands, ten thousand, forty-five thousand, two hundred thousand, and then one hundred and fifty thousand. Looking at the crowd swelling, sometimes in front of them, sometimes behind them, I was rushing back, standing still, raising my voice up or just giving up.

Noises in Thursday nights, and silence in Saturday nights. Repeated and swelling, no one knows where we are led to.

June 15th. I hired a car. I entered and exited through the door seeing my tombstone in the corner of my eye. I don't remember what and where I ate. I picked up food that was likely to be enough for survival for two weeks at a supermarket.

June 15th. Drove a car at the driving school, and stayed only for thirty minutes in front of the prime minister's office before the band's rehearsal. Met a friend and unburdened my worries.

June 22nd. Pain in my right side. They told me it could be my appendix. Had a test at the hospital. Urine, blood and an X-ray. Nothing was wrong. I must have loaded my car with things that I would need the next day, but I don't remember. I don't even remember what I ate.

June 22nd. I had no plan so went to the prime minister's office around seven pm. Gave the CD of Modern Lovers to my friend. After that I thought I would go to Forest Limit in Hatagaya, but gave it up for some reasons and drank at Uramado in Shinjuku and went home.

June 29th. Took a long distance bus to go to Tokyo to meet an woman that used to be my classmate. Took a photo at a rest stop in commemoration. Arrived at Shinjuku in the evening, left my luggage in the hotel room, said goodbye to the ex-classmate, and was guided by my friend in Tokyo to a subway station called Diet Building. I lost my memory for a moment after exiting the subway gate.

Did those people come here just to be here? I felt my soles were stuck to the ground. My arms and hands were raised toward the sky, and I couldn't move as if I were a doll of an eye that wasn't passing by.

An old man went by with a placard hanging from his neck. It said "Give Japan back to me." I cried aloud, and started to walk.

I went up the stairs, and at the exit, participants were instructed to form a line. I ran in the opposite direction along the line. Faces and messages flowed in my eyes, so I clenched my teeth and kept walking. I was shedding tears.

At the end of the line, I took a piece of cloth out of my bag. I wore the piece, on which I wrote "I am sad," on my head. I became small. I thought I didn't want to be there. I thought I didn't want to do that. I wasn't supposed to...

I deviated from the line soon.

Even though I hid my face, it didn't feel right to show a piece of cloth that said "I am sad." I felt the more I raised it the more crumpled it got.

At first I couldn't raise my voice at all, but my friend was, so I tried. I said, "Stop restarting." I said, "I don't want nuclear power plants."

I heard from somewhere, "Dark is the night."

I left there before being told to. From a distance, I saw dazzling and miserably dark sky.

June 29th. A live performance in Asagaya. Saw the demonstration in front of the prime minister's office on Ustream. The performance was quite good.

June 29th. On the last Friday in this month, I went to the prime minister's office by bicycle. The nuclear power plant was going to be restarted in two days. I got off the bicycle and joined the maelstrom of people. I couldn't raise my voice.

July 6th. I was woken up on the tatami floor. I thought I would go home.

I didn't drive myself. As soon as I forgot to look at the navigation, the car would go too far. I ate bread when the car went too far.

I thought God failed. I said so, and they told me that apparently He sometimes regrets.

I thought it must be a failure, but stopped thinking.

I had a part-time job at night. I hated the routine that came back to me.

I wonder where the piece of cloth saying "I am sad" went. I hope it didn't catch a cold in the rain.

I slept well in the night.

July 6th. Driving school. Scary to drive on the road after a long time. After that, a live performance of Hibakusha in Higashi-Koenji. Saw a call for participation in Maher Shalal Hash Baz and replied to it. The live performance was frustrating because the most important intention failed. Surprised by Sakamoto's participation in the demonstration.

July sixth. On the first Friday in this month, it was raining. The nuclear power plant was restarted. I got off the subway at Kasumigaseki Station and joined the end of the line. We moved fifteen meters in one hour. I couldn't raise my voice.

I kept thinking of F, who killed himself, while being in the line.

昼間暑かったと思ったら、雨が降ってきたね。

白い曼珠沙華は開花のプロセスが違うから、あれはきっと別の宇宙人だ。

仕事に戻ります。

@supersevenfish 根がグラムですから

ひとつ踏み外すとどんどんちぐはぐな叛乱の連鎖でただの痛みの肉塊と成り果てていたら縛ってチャーシューにするしかないんじゃないか

リンパの腫れで癌ではなかったとしても、リンパって全身に回るから癌のほうはまだよかったという言い方をされることさえあるらしい

琳派が自転の後輪に降臨してから災いの種は発芽して映画化されるんだ

親不知な不如帰が吾亦紅の断頭台の露と消えるような映画だ

なまものと打って生物せいぶつと打っていたみをわケアって言葉痛めてオウ when

正岡子規 @shikkoi: 陵や何と思ふて曼珠沙花 明治27年

@shikkoi: 陵（みささぎ）は彼岸花より曼珠沙華

やっぱりやめよ

きょうだけにする

松山の自然歯科の先生はいいこと言ってるんだけど、いかんせん滑舌が悪いな。ナミオは神内さんが夜間救急呼んだくらいに痛んだけど、結局抜いてないよ。

東高の同窓会とかいって道後で集まったのは、前と同じで泉と大矢野だけ、壁にペンキで絵描いてレタスの鍋と「冬物語の発泡酒」だけ。なんで女子は来ないんだよ、ていうか連絡先しらないんだろお前ら。

良心 an unsound conscience

瀬戸内海は蟻がたかるくらいに熔けていて

押しやって破船

その言葉を避けるために行動する

動物は本能に

人間は原則に

原則とは提供される基本的な事実

不健全な良心に

決まりではなく事実が示されていく

二本足で立っているのが不思議だ

眠りは原則を手放す

主権のゆえに

墓には良心と書いてある

里山房から矢野さん直々に一月の「樂市樂座フェス」に出してくれて電話来たけど、ハットリさんどうしたのかな。南校デザイン科の希望の星だったのに、辞めちゃったのかな。でもあそこに出して儲かったことない。砥部の文化祭とかいつてるけど誰も来ないんだもん。

きのうなんなんであつなまいに会ったよ。壁画は土曜に完成。

二七日は鈴木さんとか久保田君も来るんだった。だったら酒遊館でやったやり方でやってもいいよ。「言葉のベッド」とか。サウンドチェックとリハはやらないで、マイクとPAと客に話しかけながら、試しの音をいっさい出さずに、べらべらしゃべりながら、死ぬ気でやる。

壁画めちやくちだよ。ライターがエアブラシ使うとすごいね。

そうだよ、福岡さんの甥っ子オーボエやってんだろ、連休じゃないのか。二七日連れてきてよ。

tinaって子だよ。松山じゃ仲間が居ないって。

お蔭で聖霊も疲れる

どんなひとになるべきかではなく

ワルイ ヨクボウ ネブカイ ヘンケン ウズラマク

汚れていると感じ いちじくの

機能してないあきの月

どこにいるのか とくつかえし

誰があなたが裸であると告げたのか

写真集「明日と今日」

呵責を覆い隠して成功しなかった

わたしの墓ではない

わたしが墓だったのだ

と気付いて

機能してないあきの暮

ミュージカル アニーからの「厳しい人生」だけ大人がやることになりましたが、人手が足りません。参加してくれる人を募集しています。

デヴィッド・ボウイが表紙の昔のロッキン・オン持つてる人が居たら貸してください#changes

お礼はうちの柿か栗の渋皮煮くらいしか用意出来ませんが。

@furecoco「rock 情報ありがとうございます」。“changes”の頃にrockin'onで育った人に子供が呼びかける、という内容の編曲なので、七四年九月号があればベストなんですが、八〇年六月号までで彼の表紙であればなんでもいいと思います。いちど見に行きますね。

若松さんのこと、考えていたところだった

三島を観ようと伊勢丹の裏で 急に暗くなり やめてオオカミコドモだったか桐島だったか 以前そこで
キャタピラーは観た 遺跡発掘のバイト一緒にしておじいさんの役者が出てるからと犀が言うので

その日は雨が降っていた あまりにも陰鬱で 製作委員会という言葉は四季の円卓のようで 思い出してきた
た そんな風にして最期の映画からは逃げて 草枕経由でバルクに行ったんだっけ副都心線でヒカリエに

行ったんだっけ

いやもう記憶がない 脳が全部バラバラにして 夢で脚本を書こうとしただけだ ヒカリエなんてなかった頃の話

いま昭和何年だっけ

どちら様か存じませんが御丁寧に

そういえば末期癌の美恵子さんが柳内フェリーで防府の実家の惚けたお母さんの見舞いに行ったら覚えてくれたって でもそれは娘ではなくて彼女の妹のきょうだいのだれそれさんよね、という言い方で、娘とは言われなかったって

病棟でセリーヌの乱暴な冒頭にまるごと導入されるが如き

cat powerの sea of life\I wanna tell you how much I love youと言っているのは死んでいく猫のほうだった、とHさん。

悲しみぼっ かり と言うなら ポカリでも 飲みな」と返す 殴る ワキツレ

「金子のは仕舞歩きよ」の「仕舞」を思い出せずにミックに電話

サントリー・アルツ

アルツハンマークラヴィーアそなた

パリのduo、シンシンとエロイーズちゃんの、といえば、アールツ

ピンポン

と言えばsunny

釜ヶ崎の立呑み難波屋のピアノの調律が四二〇アルツとか

岡山で「ボケエ！競艇！」で言ったらどうなんですかねえ田中さん

ゲロンパ！チエケラツチヨ！ぼけらつきよう

アルツサクス奏者元スメラミコト白石さんどうぞ ピー ー ありがとうございますました ピー ー もういい

です ピー ー あ、じゃあ呼んで ピーポーピーポーピーポー 乗ってください ピー ー 長瀬さんまで

ピーピービー 鼠先輩までポーポーポー

ソプラノ、アルツ、ドナー、矢場とん

自分が思い付いた順番で行う劇は予言に似てくる

出来事の大きさに比例するいつもの順番で、出来事が出来事の裾野を測り始める。若松さんは殺されたって
いうのかい？

潜在的な物事の大きさは海の中の岩のようで、波のような情宣や先導に左右されない。それは定まってい
た。誰もなにも言わないし映画も観ないけど、でも定まっていたんだ。

ラリーズの自称マネージャーの女が口癖のように「ラリーズってつまねえなあ」と言っていたのを思い出
す。物事とは、大体そういうものなのだ。

音楽関係に一斉送信してみたが、唯一返って来た返事が「どうしてほしいの」だった。これからは失なわれた羊を探すのはやめ、諸国の人々のところへ
演劇へ行きます。

月を数えること

月を数えることを 混ぜ合わせた夜は

映写のように 静かに揺れる

三日月がゼノビアを 半月がティベリウスを照らす

すべての速度は異なっていて

会話は軌道上の接触事故のように

幻想の痛みを知らせる

家から出ないウグイスと金魚は

今日は合体して俯いている

ばらばらに存在するものについて

糸を巡らす

その糸の角度が月を数え

昼、林業に弁当つてとても相性がいいのは山にコンビニがないからだと気付く。夜、遠くて聞こえる横河原
線の終電の音は、ウルトラOみたいだからいいのだと気付く。

場を照らしている

哺乳類的な祭りも月を数えようとして
侵入の演技を繰り返す

映写のように スケジュールを脅かす
興味がないのは月を数えていたから？

別の種類の団子に変わる前に

三日月の切先で目を引っ搔く
興味がないのは月を数えているから？

満月はパンフレットを配り

ヒットラーの髭のような味の団子の輪郭が

道に落ちている真理のように

石につぶされた声を発している

月は刈り込まれた首筋を見ている

インターホンの画面に数えられた月が立っている

再び巡る月の像を覚えて

飛んでゆくボタン

パーマの陰から月が覗く

太字で書かれた予定日を見下ろし

街路という街路を結びつける

やんちゃな三人の老人が栗を拾っている

節のようにイネ科は進み、

月はリエゾンとアンシエヌマンとエリジオンによって進み、

言葉はコロケーションとコロケーションにより進み、

昆虫はパラグラフのように進む

漫画アクションに鈴木先生のカラオケ演劇論

福岡さん、ハートランドは原酒に水を足してすぐに飲むんだけど、その水が甘露なんだ。水が主役で酒が邪魔なくらいに。

ていうわけで砥部のサ店にいるわけよ 四寸の骨壺のデザインと見積りの電話したりしながら
サツマイモの後にすぐネギ植えて大丈夫ですか
とイチヂクが言ってる

大丈夫だよミミズ多いし

ノイってほんとにおっさんになったな。ロックの趣味が王道過ぎたんだろやっぱ
いまやったらタチウオやけんね

畑にとつて怖いのはアサガオ こいつらも宇宙人だ まだ咲いてるし

昔大里が弾いたラウンドミッドナイト、今朝沈めてやった。

日曜日、ピカはなに歌うかな アクティヴィストの領域が歌を縮小させるか、それを台湾的な暖流に乗せ切るか、ただドラムを叩くか。

萎れかかった葛の上にセイタカアワダチソウはウザいな

いま、菊地さんのピアノはすごくいいんだ。前とは違うって。とうとう逸脱したらしい。演劇の人が言うんだから間違いない。音ではなくパラダイムの話なんだろう。

Ô saisons, ô châteaux! Quelle âme est sans défauts? おれならこう訳すね。季節だ。城なんだいまは！ヤクザな心をその wall に逃げ込ませられるのか？

二七日のマヘルはいまのところ、バイオリン、生ギター二、バスーン、とbaby arabiaだけです。はじめてだけでも参加したい、あるいは過去に参加したことはあるけれど今回は落合で関さんのがあるからいけない、とか来週頭までにはお知らせください。

金曜日は拡散して、全ての曜日を串刺しにしている。若松なら「金曜」と呼ばれる主人公が「一〇月」軍に属する「四季」委員会のピナバウシュ的円卓のシーンから始めて、「ここは静かな最前線」をもう一度歌わせるだろう。

歌わせる？ 誰に？ それは昨今ごまんといる「透き通った声」で唄う弾き語り女ではあり得ず、うたを捨てて立つ、くぐもった声の女であるだろう。

明日、出来損ないの皿とか持っていくますから #のらまる食堂

@disco_rojo 二七日、見物だけなら口ホ子招待にしくよ

無患子や乗るのは特急こうのとり

未亡人死にそうもなし晴れる 哉

きつとそっちも「いつにもまして」

こっちは鶴橋桃谷寺田町

すでにいか焼剣吉を過ぎ

@majestically_sp 神道が前提されていることで、そうした麻痺も生じているわけです。

広瀬梓子 ら ■ ない展覧会 一〇・一一・一二・二三エーボン

・休業中エーボン 三階建て夢バベル ・布の黄色ボイス ・ヤンキーバドパウエル・ガト一硫黄・思い入れ ☐ 商売・潰す潰されるの違い・面積と口

の尖らせ方の加齢・課題メディア提出ミロ修辞・敵スタイルファイル

休業がっかり落書・桑津小では松田梓子といった・貼りはだめ・ドロツと抜きたい・意味のないその後のその後と・無駄な貝・タイポじゃない・げは

がく・三段に常に分かれて・貼りは定規の方がよく・虹は要らない・

・胚の灰でいい・ベッド以上の米がない・ガラスはだからイチヂクの葉のように恥ずかしい・いつか見た出口・蠅の喧嘩・肉石・石と炭を通してバベ

ル企業の外に

まとめ：炭とベッドと若干の虹

広瀬梓子 らない展覧会 一〇・一一・一二・二三エーボン は未完成の部分は更新中です。リストは薰子さんが作ろうとはしているようです。建物

の外には何もありません。少女マンガ風の手の短い女がおれは好き

@majestically_sp はつきりさせないといけないですね。

今日はとても大事な劇をします。(マヘルはもはや音楽とは呼ばれません。) 合奏は不可能だということを主題にします。梓子の炭化した闇のためにそこにいることは可能だと証明してみせます。

ピカがはじまったよ 世界に光を当てる だって 安心させてくれるかなママ

まりがギャーギャー言ってるけど大丈夫か

あと5ヶ月は忙しい　ってさっき話した

拓は死人の臭いがするが活発そうだ　わからない

ピカがエフェクター踏んだ　抽象的だな

でもみんな三階に上がってきてピカを固唾をのんで見守っているんだ

「お母さん」歌うとき震災直前の気仙沼と結びつけた　拍手が起こって　リサイタルみたいなやな　と

潰れて潰してキラキラとか言ってる

一人で見える夢はただの夢　きみだけに言ってるよ　とか言ってるよ

カタツムリみたいな声

太陽からそうやなとか　太陽の塔自家発電とか

梓子って結局絵うまいな

空飛ぶベッドがここにも

登山列車が出来たので

御殿山で元気そうだねと云われ

自分に属していない道をてんでにトーマス顔の登山列車

瓶の中のニカニカしたライオンの顔の

あぶくが潰れてはじける原則の打ち込みによつて歩む

濁った清さの朝

仮名手本

「本当ね、どうなるんでしょうね」とは決して云わないということ

固いキャラメル顔で

spearheaded illicit power of riches make it clear by demeanor that you are simply not available

毛皮から服を作り

鉄を打ち

糸を縫り

二七日のマヘルのための練習予定です。明日明後日は昼から上野公園、二六日九時から一八時東京文化会館の地下リハーサル室、二七日も昼から本番までそこが楽屋になります。参加受付は印刷の關係で明日の朝まで。

音楽は劇の一部なので、歌手が、歌は今か歌える状況ではないな、と言った時、一番音楽として生きます。「今は音楽どころではない」というのがすべての出発点でなければなりません。 #maher11.27

「行って、淫行の妻を娶れ」 #maher11.27

指揮者に合わせて、各自自分の覚えているマヘルの曲を演奏します。

音楽だけがない状況を作り出します。

演劇であれば、音楽であれば、演劇だけがない演劇、音楽だけがない音楽。

練習予定 Update: 一〇・二五(木) 終日上野公園でギターを弾いています。夜は玉柳君が来るかもしれません。一〇・二六(金) 一〇時から六時までリハーサル室Bでギターを弾いています。夕方 Baby Arabia の皆さんも参加します。

一〇・二七(土) 12時からリハーサル室Bでギターを弾いています。一三:三〇-一四:三〇 ステージをチェックできます。∞時半から公演「行って、淫行の妻を娶れ」 四五分~五〇分

愛だけがない音楽と、音楽だけがない愛が、半径二〇キロ圏内外を分断する杭の上で子供を作りました。その子はマヘル・シャルル・ハシユ・バズと呼ばれるでしょう。

八時あたりに田村、玉柳とベルクでミーティングしています。新宿近辺で来れる人は寄って下さい。

ベルクって眩いたらベルクの人がフォローしてくれたあつは

ってめっちゃ混んでるやん

最初に風化を表現します。オーケストラの音合わせのように、各自の手癖やクリシェで。

ヒトはもうこりゴリラ

富士そばの紅生姜天しか食べていない

杭に囲まれた青々とした地所を覗き込むと胸焼けのような朝焼け

行こう、行こう、火の山へ #wallofsound

紅生姜天そばに生の紅生姜を入れすぎると悲惨だ @小川直人

「世間様」という艶歌がかかっている

毎年秋になると、ノスタルジーをハンマーで叩くようなリズムで「去年の秋」を演奏します。

電通の人は誰も反原発なんて言わないしデモにも行かない。あたしは愛があればいい、とマコは言った。

わたしは放射能は怖くない、むしろ積極的に食べる。完全に絶望すると怖いものはなくなる、とエリコは言った。

それぞれの金曜日を集めている。夕方までに送ってくれ。

お前らにやあわかるめえ #wallofsound

Text for < Wall of Sound >

《サウンド・ライブ・トーキョー》という、なんとも大雑把な気合に満ちたタイトルの音楽展に参加した。それまでは「音楽」ではなく「舞台芸術」が専門だった国際舞台芸術交流センター（PARC）が、はじめて「サウンド」に特化し、演劇祭のキュレーターの現狀認識からマッピングした「音楽」としての劇、あるいは舞台芸術としての音楽」の催し、といってしまうてよかった。音楽面を依頼されたくウォール・オブ・サウンドは、上野の東京文化会館で行われたそのフェスの三日間を横断するプログラムだった。

〈ウォール・オブ・サウンド〉とは、シエフィールドの演出家、ティム・エツチエルスによる、友人たちから集めたテキストに基づく展示／コンサート。人生のある時点で自分を「守る」ためにかれらがもちいた歌や音楽について書かれたテキストをとおして、「皮肉なあるいはなんらかの形での助言としての音楽、逃走あるいは避難の手段としての音楽、気晴らしの手法としての音楽、そのなかで逸楽に耽る暗い空間としての音楽、励ましとしての音楽、自己定義の形式としての音楽、一言で言えば、自衛のための個人的な（あるいは共同の）手段としての音楽」にアプローチする。オーストリアの美術館クンストハウス・グラーツの企画展《プロテクションズ》への参加作品として開始。その際には、美術館の警備員による合唱団が、集まったテキストで言及されている曲を演奏した。（PARC作成によるコピー全文）

一読、音に額縁をつけて、個人史とともに回復させる試みであると知れた。三・一一以降の現実に対処する音楽の役割などない、といった言説に傾きがちなこの時勢に、音楽の無力さではなくポジティブな役割を強調するこのアプローチの、演劇的な、一回りしてきた「がんばれ」あるいは反転するアイロニーとでもいうべき健全性（サウンドネス）に興味が湧いた。そして、そのようにして集められた「プロテクション」あるいは「ウォール」としての音楽を、美術館のロビーで、警備員たちによって組織された合唱団が歌う、といういかにもイギリス的なウィットに感銘を受け、選曲や編曲を引き受けることにしたのだった。

上野バージョンでも、警備員とか掃除のおばさんたちが歌えばいいと思ったのだが、今回は子どもたちによって歌われることになった。それはこのプロジェクトを複雑なものにした。それでもぼくはホールではなくテキスト群の展示されるロビーでそれらが歌われることにこだわった。最初は、子どもらにスーサイドでも合唱させたらおもしろいだろうな、くらいの気構えだったのが、話が進み、前回オーストリアのグラーツで上演された際のものだという分厚いテキストを渡され、開いてみれば、たとえばプリンスの〈キス〉という曲を取り上げた男はこう書いていた。

〈キス〉プリンス

・十六歳のとき、ぼくはアン・Wというきれいな女の子とはじめて恋に落ちた。彼女は古典的なカリフォルニアガールで、ブロンドで日焼けしたおてんば娘といった感じの、サーフィン、スケボー、スキーが誰よりもうまい女の子だった。ぼくのほうは青白くてあやしげで知ったかぶり、やぶれたジーンズをはいて長髪でイヤリングをいくつもつけ、スポーツなどやりそうにない男の子だった。でも正反対であるおかげでぼくらの相性はびつたりだった。ぼくらは恋に落ち、できるかぎり長く一緒にすごした。・一九八六年、ぼくは十七歳でアンは十六歳だった。

ぼくらは若くナイーブで、半年間はただキスをしていた。・ぼくらは無知で幸福だった。ただひとつの問題は、彼女の好きな音楽がぼくには我慢ならないということだった。アンが一番好きなポップスターはプリンスとジョージ・マイケルで、写真や歌詞を集めた革装丁のブックもふくめて、完全なコレクションを持っていた。それにたいしてぼくは違う星から来たようなもので、ザ・クラッシュ、メタリカ、アイアン・メイデン、それにボブ・マーリーのレアものなどを聞いていた。音楽にかんしてはぼくらは敵対していて、どの音楽をいつ、どこでかけるかだけがケンカの原因になっていた。一九八六年のこのころ、プリンスが新作《パレード》をリリースした。そのなかの一曲〈キス〉をアンはずっと歌っていた。ぼくに出ていってほしいのか、とふざけていうことしかぼくにはできなかった。ぼくの部屋にはぼくの音楽、きみの部屋にはきみの音楽、ということでは最終的に合意した。

ぼくらは二年間つきあい、よくあるように、ぼくは大学に行き、彼女は高校の最終学年で地元に残った。連絡は取り合っていたが、「視野を広げる」ために一年間はお互いフリーになるうということになった。彼女が高校を卒業したときまた一緒になって、充実した一夏をすごしたが、彼女はカリフォルニアの大学に行き、ぼくはミッドウエスト大学に行ったので、離れざるをえなかった。

五年が経ち、たまに手紙のやり取りはしていたが、結局ぼくはヨーロッパに移ることになった。ヨーロッパの住居に着いてみると、高校のマキュリー先生からの手紙が届いていた。アンが自殺したという。何年も離れていたが、この知らせはぼくを打ちのめした。彼女はぼくの初恋のひと、ぼくは彼女のものであった、そして彼女は消えてしまった。葬式に行くのは無理だったが、彼女の両親と電話で話した感じでは、いずれにせよぼくは行かないほうがよさそうだった。ぼくは外に出て、プリンスの《パレード》をはじめて買い、アンの〈キス〉がかかるまで何度も何度もこのアルバムを聞いた。

ぼくは独りで、アントワープの他人のアパートメントで、プリンスを大音量でかけながら、初恋のひとの死を弔い、いつまでも彼女の部屋ですごした長い午後を思い返していた。ときおり、愛したひとを失ったときにこのようなアップビートの曲をかけるのは不適切な気がして、ジョージ・マイケルの悲しいバラードにでもひたつたほうがいいのかとも思ったが、心の奥底では、彼女が喜ぶのはプリンスのほうだとわかっていた――すべてが可能で、すべてが新しく、前に進むだけでよかったあの短い時代とともに思い出されることを彼女は望んでいるだろうと。

この曲をぼくは「プロテクション」のためにかけたのだろうか。たぶん「ぼくらがもつと長く一緒にいたら?」「もつと連絡をとっていたら?」「ぼくがこんなに遠くに来なかったら?」「彼女が死んだ原因がぼくにあったら?」といった問いを避けるためにぼくはこの曲を使ったのだろう。アンの死の知らせを受けて以来、ぼくはこれらの問いから身を守るため、あるいは少なくとも、自分がそうした方向に向かいそうなきにこれらの問いが浮上するのを止めるため、このアルバムを使っているのだろう。

D・F

（PARCの新井知行による訳を若干変更して抜粋）

このテキストを飛行機のなかで読んだときは、酔いも手伝ってか涙を禁じ得なかった。たしかに自分はいわゆるアンダーグラウンドというものをとおしてしか音楽を聞いてこなかったし、ここ十年は音楽そのものもあまり聞いていなかったのだが、これは、あたりまえの話だけれども世の中にはた

しかにこういうふうに音楽を聞いているひとたちがいるのだ、という、急に視界に風穴が空いて末広がりの裾野が見えたような気づきだった。それで、集まってくるのが、どんなにnot my cup of tea、つまり自分にとっては「敵」でありつづけてきた滅びるべき「世」の音楽であつたとしても、言葉のフレームによってそれが別の意味で生きるなら、それもいまでも音楽への仕事のひとつであろう、というふうに考えてみたのだった。若林奮が犬と自分との距離を輪切りの列として可視化したように、他者の脳内の音楽と自分との距離を社会彫刻できないだろうか。今回の「合唱」とは、その彫刻を見ながら子どもたちがおこなう写生大会のようなものだ。

「友人たちから集めたテキストに基づく展示／コンサート」なので、書き手はミクシイ風にいえば少なくとも「チームの友人」くらいの演劇、ダンス関係者とかその類いのひとびとである。ここからはじまる結構を説明すれば、まず、寄せられたテキストが曲ごとに提示される。署名は、チームのコンセプトにより、全員イニシャルという形をとっている。ただ今回は、匿名といっても、展示の一要素として配られたブックレットに実名リストがあるので（イニシャルのみの完全匿名希望者もいたが）、ある程度「世」に出ている名前だと、会場でブックレットをもらったひとにはうつすらわかってしまうかもしれない、そんな「匿名性」である。それに続く「作者の気持ちはなにか」的な解題は、テキストのみから受ける印象に集中するよう心がけた。それでも名前くらいは知っていたというようなひとの場合はそれが少し滲みでてしまっているものもある。読み取ろうとしたのは、その音楽の「プロテクション」としての役割はどのようなものだったのか、さらにぼくの編曲というフィルターを通した曲解と妄想を子どもたちが受け止め合唱のような劇として表現することで、曲ではなく「音楽」そのものに新たな意味を付すことができるか、ということだった。やることになった曲については、子どもたちに向けて書いた文章も載せた。それは期せずしてぼくからの子どもらに向けた遺言めいたものになったのだったが。

自分ならばどんな曲を人生の「プロテクション」あるいは「保護の壁」として置くだろうか？ なぜ自分はそれを選んだのか、あるいは「選ばされた」のか？ そのようにして書かれたテキストは、伝言ゲームのように隣人に伝わっていく力を持ちうるだろうか？ そんな自問のなかに音楽の力を解く現在の鍵があるのかもしれない。そんなことを考えながら、集まってくるテキストを読みはじめたのだった。

1

〈イラヨイ月夜浜〉大島保克

仕事と私生活で非難され、自分が生きる価値がないと悩んだとき、CDから流れたこの曲が、目の前の大自然と溶合い「ひとは自然の母性の一部でしかない」と知り楽になれた。（A・M）

作曲は大島と同じく石垣島出身の比嘉榮昇（BEGIN）なので、歌詞は沖縄口、八重山口に大和口のチャンプルにならざるをえない。いらよいま一めという囃子言葉を聞きながら、もちろん合唱にはできると思った。子どもが歌えばそれなりの情感も出るだろう。だが、歌わないだろう、と直観していた。やるとしたら、「あめりか一ゆ」と「やまとうゆ」に抗議するオスプレイの面をつけて歌うしかないだろう、と。〈イラヨイ月夜浜〉が自分の趣味に合っているか、とか、子どもが歌いやすいかどうか、といった評価はこの劇に関しては無意味なのだ。歌われるということは、ある意味、テキスト自体にたいする褒美のようなものになってくる。「人間は自然の一部」という考えは、たしかにプロテクションにはなると思えるが、人間が自然を破壊させている現在、このひとの人生にはもうひとひねりほしいところだ、などと僭越にもぼくは思ったのだ。本人を知れば、テキストだけで批判することを恥じることになるのは目に見えているのだが。「CDから流れたこの曲が、目の前の大自然と溶合した」こと、「ひとは自然の母性の一部ではないと知った」こと、「楽になれた」こと、とのあいだには一直線ではありえない観念論的な断絶がある。やまとんちゅ一は沖縄という言葉を使ってその断絶を埋めてもいいと思ってきたのだ。「音楽と自然」というテーマが四〇を超えるテキストのなかにひとつあるだけ、しかもこういう形で届くという事実そのものは、そういう意味で現実を反映していると思う。もちろんオスプレイの仮面をつけて歌うしかない、などと思い詰めるのは、沖縄に関する危機感からくるべく自身の身勝手な受け止め方の問題なのであって、かれの感動とは関係がない。かれはこの曲で「楽になれた」のであり、それは批判してはいけないことだ。オスプレイのことも、ぼく以上に真剣に憂慮しているひとなのかもしれないのだ。それを考慮してもなお、やらないと決断した理由は、突き詰めれば次のようなことなのだろうと思う。つまり、これは、ある曲が、単に流れてきたという状況をもって何事かであるという説明の仕方に属するコメントだからなのだ。曲そのものを考えるというのではなく、受け身になって、自分の置かれた情況がそれに重なって、重層的な景色になった、というだけだと、自意識から存在論に話を逸らすことになり、小道具を使うことなしには、こちら側では再現しにくい、ということなのだ。

それにしても、なぜ「受け身」の聞き方をしてはいけないとぼくは書くのだろうか。音楽を「選ぶ」あるいは「選ばされる」ときの主体と客体に弁証法のなごり雪のような演技を求めているのはなぜだろう。こうしてはからずも、とりあげた曲以上に、取り上げなかった曲こそが、〈ウォール・オブ・サウンド〉に対する第二の〈ウォール・オブ・サウンド〉のようにして突き当たってくることになった。これは依頼された仕事を超える領域だった。そこにのみ、今回目を向けられている「音楽についてのテキスト」の荒野があるのだ。文体の有効性は、合唱の实践という縛りのフィルターを通すことで辛うじてレス・ザン・ゼロを免れることになるはずだ。

東京での生活／日々の派遣社員としての労働／将来に対する希望が見いだせないこと、などのせいで疲弊してた。(T・O)

曲は、T・Oの「疲弊」とはあきらかに関係がない。なぜその曲なのか、という説明は、なぜ湾岸戦争の空爆時にホテルに籠ったか、という問いと同じように無意味だからだ。だからT・Oは、ひとつの小説技法をここで展開してみせているにすぎない。だとしたら、残された特別な時間の終わりにわたしたちができることは、さらに関係のない歌をT・Oのリアルのために歌ってみせることぐらいなのだ。T・Oは、チームには演劇として返答しなかったんだと思う。そのために、「protection」という言葉が歌詞のなかでも多用され、しかも自分の状況とは関係のない曲、というものを「演劇的に」呈示したのであって、音楽の役割について語ったのではないのだ。だからこれをやるとしたら、さらに音楽としてひねりが必要で(たとえば別の曲というやり方)、それはチームの劇の骨格を壊すことになる。それならそれでもいいのだが、結局やらないことにした理由は、〈イライヨイ月夜浜〉と同じで、「東京での生活／日々の派遣社員としての労働／将来に対する希望が見いだせないこと、などのせいで疲弊してた」状況のなかで、マッシュヴ・アタックの〈プロテクション〉がただ流れていただけなのだから、そこでの音楽の役割をこちらが類推するには、劇を創作して再現してみせなければならず、その手続きをクリアに示すのが難儀だ、ということだ。

こんな調子で、最初に挙げたカリフォルニアのプリンスの〈キス〉の事例のような、ある面素朴で牧歌的なテキストを期待できないことがだんだんわかってくると、

東京バージョンは期せずして、「音楽についてのテキスト」に対する三・一一以降の情況批判とでもいうべきものに直面せざるをえないエッジに立たされ、そこでのみ展開することになっていった。

3

〈トレイン・トレイン〉ザ・ブルーハーツ

過去、どういうとき、どれだけこの曲を聞いていたかは覚えていません。近々では去年の三・一一の災害そしてそれよりも原発事故のとき、これから自分はこうしたらいいのか？

・その閉塞感とこんな世の中を作ってしまった自責の念のなかで聞いていました。

「見えない自由がほしくて 見えない銃を撃ちまくる 本当の声を聞かせておくれよ」

嘘だらけのこの国で戦い続けること、生き続けること、なにも信用できるものがない日本の社会のなかで叫びたいことが唄になっている・。

そういう曲です。(M・T)

曲としてブルーハーツを熱心に聞いたことはなかった。合唱したらいかにも小学校時代のいい思い出になりそうだが、安易な映画を観ているような帰結まで想像できてしまう。だが、選曲はそういう視点でおこなってはならず、どういう動機で聞くか、音楽の役割はなにか、に焦点を当てるものだ。そういう観点で見ると、「自責の念のなかでこの曲を聞く」という行為はとてもポジティブで、集まったテキストのなかでは唯一原発事故後の共同存在について言及したコメントだ、ということになる。このテキストは、〈プロテクション〉(2)や〈イラヨイ月夜浜〉(1)の場合と違って、曲がただ流れてきたという情況説明にとどまらず、歌詞の意味を考え、文字通り「聞く」行為をとおして、震災後の自分や社会のありようを考えようとしている。なにより、ひとがそれを受けて、歌ってみせて新しい意味が生じる、というのがこの伝言ゲームのような劇の眼目なのだ。ということ、ここに至ってはじめて編曲に値する曲として〈トレイン・トレイン〉は選ばれたのだった。解体再構築していいのなら、どの曲でもできるが、タイムの目論見、というかかれにとつて劇が成功したかどうかの基準は、たださらっと歌われることで際立つテキスト、という風景だと思うので、小道具やほかの視覚メディアを使った「演出の演出」はなるべくなら避けたいところだった。いままで提案したオスプレイの仮面、といった歌以外の演出は、このままじゃできないだろ、という否定的な意味での消極的な選択肢にすぎない。ただ、それでもここでひとつ思い浮かんでしまった振り付けは、「見えない自由がほしくて 見えない銃を撃ちまくる 本当の声を聞かせておくれよ」の部分だけを子どもたちが縄跳びの縄で電車ごっこをするように行進しながらうつむいてぼそぼそ歌う、というものだった。日本で出たなにかのゴスペルのコンピレーションのアルバムに収録されている曲の邦題を並べていくと、この曲の歌詞の骨子になる、という話を聞いて、五〇年代のゴスペルの超速のリズムで電車ごっこをする、というのはどうかな、と思ったのだった。

◆子どもたちに向けたテキスト

このひとは、この歌を、「こんな世の中をつくってしまった自責の念」のなかで聞いています。偶然耳に入ってきたから聞いた、というのではなく、繰り返しこの曲の歌詞を思い出すことによって、「昨年の三・一一の災害そしてそれよりも原発事故のとき、これから自分はもうどうしたらいいのか？」と考えているのです。「嘘だらけのこの国で戦い続けること、生き続けること、なにも信用できるものがない日本の社会のなかで叫びたいことが唄になっている・」とこのひとは書いていますが、音楽が、こんなふうに「考える」ために役立っていることを知ると、なんだか元気がわいてきます。

みなさんはブルーハーツを知っていましたか。八〇年代の中頃から、日本語の歌詞をパンクのリズムにうまく乗せて、ものすごく元気に暴れながら歌うバンドです。

「見えない自由がはしくて 見えない銃を撃ちまくる 本当の声を聞かせておくれよ TRAIN TRAIN 走って行け TRAIN TRAIN どこまでも」

この部分だけを繰り返して歌いますが、みんなはブルーハーツより若いので、リズムは、ブルーハーツよりもさらにもっと速くします。どんなリズムかというと、汽車が走っていくリズムです。アメリカの黒人たちによって、そこからブギーというリズムが生まれたんですが、五〇年代のゴスペル（黒人の教会音楽）では、それをもっと速くして、みんな大声で合唱するんです。指パッチンできますか。それを一秒間に三回くらいやれば、そのリズムになります。縄跳びの縄があれば、電車ごっこみたいにして、歩きまわりながら、歌うといいです。といっても、歌詞はゆったりリズムの上に乗っかっているのです、そんなには速くは感じないはず。大事なのは体のなかのリズムで、その速さがひとに伝わるということです。

。会場の様子

劇が始まるアナウンスによって、数百人の観客はホールの外に呼び出され、普段ならワインとか飲んでくつろぐホワイエなのにとどこかしら不安気に立っており、人の密度の高さもあって、終始ざわざわしていた。四六人のテキストがあちこちに展示されていて、英訳を添えて一冊にまとめられたブックレットも手に取ることができた。七人はどこかなる合唱団はそのつど、観客のあいだを縫ってカモのように移動し、当該のテキストの前で歌った。一曲ごとにテキストの場所が日本語と英語でアナウンスされ、興味ある者はブックレットを片手にぞろぞろと移動した。〈トレイン・トレイン〉は劇の最後の曲として演じられた。子どもたちは練習段階からこの曲が気に入っていた。選ぶ主体の側の「自責の念」が強調されているテキストなので、最初はどうもついてばそそ歌ってもらおうことを考えていたが、本番では念を押すのを忘れたので、助走でゴスペルのリズムに乗せてから送り出すと、かれらは大声で歌いながら元気にロビーを駆け回り、出口に消えた。それはそれでよかったと思う。なにせ、ゴスペルだからね。

4

〈アルバトロス〉フリートウッド・マック

いろんなことあきらめて、止めてしまおう思っていたとき、エロ本屋で流れていた。(A・I)

気持ちはずごくわかるが、これをどう合唱しろというのか、というのが最初の印象だった。集まったテキストのなかで、インストウルメンタルの、プロテクション³というのはクラシックをのぞけばこれだけだった。これはあきらかにアルバトロス（アホウドリ）というクリーチャーに帰すべき手柄だろう。やるとしたら、この曲を流して、アホウドリの真似してロビーを飛ぶといいだろう。

その後、A・Iはただ俳句のように風景を描写しているのではないか、といわれて腑に落ちた。A・Iは、かなり偽悪的に狙ってきていることに気づくべきだったのだ。ひねくれ者は「マツシヴ・アタック」(2)のT・Oだけじゃない。それにたいしてこちらが「あほうどりダンス」だと、あほうどり劇団の宣伝みたいになつてしまう。音楽の役割、というのではなくて、自分、エロ本、BGM、という三者一体の風景が重要だった、というメッセージなわけだから、真摯に応答するとしたら、茶席のような空間を設けて連歌を巻くほかないようなしろものなのだ。無理になにかやるとしたら、音楽はほんとうに風景の一部としてしか機能しないのか? という問いだろう。(コルトレーンではなく)ドルフィーの突出のようなものを突き付けることでそれは可能だ。フリートウッド・マックというグループは、出自がサイケなのに、気にせず商業に走っていったから隙だらけなわけだし。

結局やらないことにした理由は、「くプロテクション」マツシヴ・アタック」(2)のT・Oにたいする考え方と同じだけれど、ただ、この手のテクストにかんして、「音楽は本当に風景の一部としてしか機能しないのか」という問いは、ティムの演劇をはみ出す部分でもあり、そうしたもののなかからひとつくらい選ぶのもいいとは思った。唐突に、園子温が《希望の国》でマラーを使ったことを想いだしたりしたのだ。「震災以降、映画は、風景の一部としてしか音楽を使えないのか」という問いは、「人を励ます歌がない」という見飽きた現実にはくらを引きもどす。それは、映像と音楽のコラボが不可能だ、という現在地確認の作業にもなるはずなのだ。

5

く主よ、人の望みの喜びを」ヨハン・セバスチャン・バッハ

ずいぶん前の春、息子の弁当作りをはじめて三日目、私は倒れて入院しました。

原因もわからないまま、状況は悪い方へ。

一ヶ月後、悪さの見極めの手術が決まり、恐怖と落ち着きが行ったり来たり。

手術の前日、ピアノストの友人が訪ねてきました。

「明日、わたしはなにをすればいい?」

「手術のあいだ、家でピアノを弾いて」

「なにを?」

思いつく前に口が先に伝えていました。

「主よ、人の望みの喜びを」

当日、わたしはストレッチャーに乗せられて手術室へ。以前は音楽をかけていたという話も。

麻酔がかかる前、わたしは手術台に寝てじっと天井を見ていました。

ひとの動く音や器具を準備する音。

しばらくすると、音楽が壁のスピーカーから流れてきました。

友だちに頼んだのと同じ曲。

「助かるんだ」とわたしは麻酔の眠りのなかへ入っていきました。(Y・T)

これはいい曲だと思つて聞いてきたし、好きなひとも多い。ハミングで合唱できる。楽譜も市販されているものを使える。マリアが告知を受けたときの気持ちをこれほどうまく表現した音楽はないだろう。それによく読むと、手術室でかかった曲は、友人が弾いてくれているものではなく、誰かが気をきかせて、あるいは偶然に、流れたものだったのだ。これはある種の奇跡だ。音楽の役割として、無意識の現前化みたいなことがあるということだろうか。そういう不思議な体験、というのはこのエピソードだけだった。

ただ、さらによく読むと、謎の多いテキストではある。弁当作りと倒れたことの因果関係の有無も気になるところだ。幼稚園のキャラ弁の親同士の小競り合いに疲れたのか、川崎のベクレツ定食みたいな学校給食に対抗して忙しいのに自前で作って倒れたのか、でも倒れたのはたつた三日目なのだ。「ずいぶん前」ということは、そういう理由ではない。ただお受験で疲れたのか。そんな謎を謎のままにして、きれいにただ歌うことなどできるのだろうか。最初はやる気満々だったのが、不安になつてきた。不安氣に歌う、というのはこの曲の解釈としてはありだと思つた。だって処女だったのだから。《ゴダールのマリア》みたいな感じを念頭に置くと、現代における奇跡とは、という主題が浮上する。白衣の医者が、きみたちはいま妊娠した、と告げてから歌わせるとか顰蹙必至だろうけれど。さらに深読みすれば、これは、麻酔の眠りに入つてそのまま死んだ死者が書いてるようにさえ読めてしまう。偶然聞こえてきた、という状況は一連の受動的なテキストと似ているが、そこに目的なき技術としての小説的な神秘性が加味されてはじめて物語になつているのだと思つた。だから再現するとすれば、そうした超自然的な要素を取り入れる必要があり、それで受胎告知ごっこみたいなことを出したのだつたが、それも悪趣味だ、ということを取りやめになった。ほんとうはもっと素朴な出来事だったのかもしれない。それでもひねくれたばかりは、テキストから裏の裏を読もうとして、とても変な場所に来てしまつていることを自覚していた。

十代のころ、自分がとても駄目な人間だと思い、つねに違う人間に変わることを夢見ていました。しかし、この曲の歌詞「Time may change me, but I can't trace time」で、変化が本人の意志とは関係なく起こることを知りました。変化の主体は時間で、人はその時間の足跡を確認することまでできないことを知りました。とくにデヴィッド・ボウイのような変幻自在なアーティストの言葉だけに印象に残っています。(T・K)

ボウイの世代は一時代を画した。レオス・カラックスの《ボーイ・ミーツ・ガール》や《汚れた血》でボウイの曲が使われたシーンは、ほんとうに時代との蜜月を感じさせる映像だった。そこらへんを共有する世代は、〈チェンジズ〉をやったら喜ぶだろう。曲もボウイのなかでは比較的素直で美しい。ボウイの歌詞にあったから、「変化が本人の意志とは関係なく起こること」、「変化の主体は時間で、人はその時間の足跡を確認することまでできないことを知りました」、という述懐は多分に《ロッキング・オン》的で、誤訳の多い歌詞カードから人生観を形成する七〇年代の青春が垣間見えた(T・Kの青春が実際にそういうものであったかはわからないが、そういう類型が存在するということだ)。火星入、オカマ、ナチ、ジゴロ、ワルシヤワ、エイズからの懺悔、ボウイは沢田研二のように変化を身に纏った。しかもラジオの著作権収益できっちり番付一位をキープし続けて。沢田研二のように反核には行かないのだろうか。調べてみると、反核のアニメの主題歌を歌ったりする。作曲はロジャー・ウォーターズ。話が逸れた。ここで音楽の役割について考えなければならないのだが、これは曲というより、メディアの話なんじゃないか。つまり橋川幸夫や岩谷宏の《ロッキング・オン》、阿木譲の《ロック・マガジン》がどういう「ウォール」になっていたか、ということだ。この匿名のプロジェクトは「さらけ出し」を誘発する仕掛けになっているように思える。「プロテクション」となった音楽は、えてしてひとにいうのは恥ずかしいものだ。そして「さらけ出すこと」が有効性を持つのは、それがセラピーとしての現在地確認の作業である場合のみだ。その「晒されたリアル」の質を保ちながらこちらのドグマでパブリックに繋いでいく礼節を巡るあれこれが、今回の日本的なあまりに日本的な伝言ゲームとしての上野バージョンの焦点だといえるだろう。

いっそ《ロッキング・オン》の古い号を持って歌うとか。みんないやがるだろうな、と冗談めかしてつぶやいたら、知り合いが西荻のロック・バーで、七四年のボウイが表紙の《ロッキング・オン》を見つけて借りてきてくれた。

ボウイをとおしてものを考える時代があった、ということを肯定的に宣言するような合唱。時間が主人公なのであれば、否応なく変化が起こってしまった時代に、その合唱にはどんな意味があるのか。二〇世紀はゴドで止まったままだ。わたしたち自身はそれをほんとうに変えられないのか。そう、変えられないのだ。というような意味で歌うというのはいいのかもしれない、と思って意識してみた。

◆子どもたちのためのテキスト

デヴィッド・ボウイというひとは七〇年代に一世を風靡したロックのスターで、若いひとたちはむずかしい本を読むような気持ちでかれの歌詞を生懸命読みました。そういうひとたちのための雑誌も出ていて、その世代の考え方、感じ方が形作られていました。

このひとは、「変化（changes）」について、この歌から啓発を受けました。いま歌詞をとおして読めばわかるように、変ろうと努力しなければいけないけれど、いつも主役は時間だ、どうしたらいいんだろう、という内容の歌です。基本的になにもいっていません。でも当時の若いひとたちは、アルバムごとにコスチュームを変えるボウイのあとについていくことによって、なにかとんでもない変化、新人類みたいなものへの変化が起るような気がしていたのです。変ですよ。

結局ボウイは金持ちになりたくない、という歌詞とは裏腹に金持ちになり、世界は原発のお金で動くだけの、はたらくおじさんたちの戦場のようなものになっていきます。ボウイが自分で予見したように、主役はいつも時間、ボウイの歌は無効でした。

英語で全部歌うと難しいので、サビ（ch.ch.ch.ch.changes.というところですよ）のところだけ繰り返して歌います。

七〇年代に若かったひとびとは、とても懐かしく思うと同時に身につまされるでしょう。そして、自分を変えることはできたか、世界を変えることはどうしてできなかったか、振り返って考える良い機会になるでしょう。

Ch-ch-ch-Changes

世界を変えることはできるのだろうか？

Ch-ch-Changes

世界を変えることはできない

Ch-ch-ch-Changes

ねえ、おじさん

Ch-ch-Changes

自分を変えることはできたの？

Ch-ch-ch-Changes

ねえ、デヴィッド

Ch-ch-Changes

自分を変えることもできないね

Ch-ch-Changes

《 ロッキング・オン 》とか読んでたの？

Ch-ch-ch-Changes

世界を変えることはできない

Ch-ch-Changes

世界を変えることはできるだろうか

Ch-ch-ch-Changes

Turn and face the strange

Ch-ch-Changes

世界を変えることはつき・

振り付けは「Ch-ch-ch-ch-Changes」を歌いながら時計の針のように腕を大きく一回転まわします。そのあとはみなさんで考えてください。

○準備と結末

振り付けはぼくのバンドのドラマーであるハルコ（五歳）が幼稚園で習った「ワナビー」の振り付けを元にしたものを、みながアレンジして完成した。「《 ロッキング・オン 》とか読んでたの？」の部分だけは、七四年のボウイが表紙の《 ロッキング・オン 》を手にした大人が割りこむことになった。合唱団にひとりだけ、小柄なメガネの、博士キヤラの男の子がいた。かれは最後の「世界を変えることはできッ・」で寸止めするところを担当し、それを極めた。本番では、そこが大変おもしろかった。

7

くボレロ〉モーリス・ラヴェル

母の入院時、無理難題を突きつけられ心身ともに行き詰まっていたとき、細胞が息づいて解き放たれるような気持ちになりました。（C・Y）

これも、偶然聞こえてきたサウンドの瑞々しさに救われた、という受動的な経験なので、それを再現するには、オーケストラの豊かな音色を思いださせる仕掛けが必要になり、数人の合唱では難しいかもしれない。裏のないテキストで、「プロテクション」としての音楽の役割はあきらかなのだったが、「細胞が息づいて解き放たれる」、それはおそらくよいオーケストラの瑞々しい音に巡り合ったときのみ感じられることなので、ハミングでやると、ニコ動の初音ミクバージョンのようなことになりそうだった。前半、中盤、後半のどこでそう感じたのかも気になるころだし、全体をとおして聞くことでのいうのならますます今回は難しそうだった。

8

〈私だけに〉(ミュージカル《エリザベート》より)

ミュージカル《エリザベート》のナンバーで、日本語だと〈私だけに〉と訳されますが直訳は「私は私だけに属する」です。

高校生のとき、はじめて宝塚で《エリザベート》を観て、演劇の仕事をしたい、と思いました。大学受験のときもよく聞きましたが、その後ドイツに留学した際、毎日これを聞いて、聞き取れる単語が増えることを励みにドイツ語を勉強しました。

「自分は自分の思い通りに生きる」という曲なので、ひとと比べてダメな自分に落ちこんだときに聞くと、力をもらいます。

この曲がなかったらドイツで心が折れてしまっていたかもしれません。(C・O)

ドイツ語を勉強しているときに助けになった、ということだが、オーストリア版の「自分のために生きる」という感じが、宝塚バージョンの日本語ではいかにも宝塚という内容で、キワモノっぽさが先に立ってしまう懸念があった。でも宝塚の《エリザベート》を観て演劇を志し、その一念でこの歌がドイツ留学中に「プロテクション」になったというのは、それはほんとうにそうなのだから、音楽は語学を学ぶ動機づけになるわけだ。あとから出てくるけれど、ロンドンで中島みゆきを聞いてたM・T(36)と反対だ。音楽と外国語、自国語、という問題は、もっと掘り下げてもいいかもしれない。だがそれがどうした、といわれたらそれまでだろう、と思わせてしまう問題の建てられかたの質は、それが〈私だけに〉という一曲ではなく、「私はミュージカルというジャンルだけに属する」という自己規定においてコンフォルミストたらんとする熱情を保つこと、がプロテクションになっているところからきているのではないか。ジャンルから力、栄養素をもらう、という言い方は、いまでは不十分だ。セシウム入りの野菜からも栄養素はもらえるからだ。「野菜というジャンル」への愛を毀すには、福島で、「自分の思いどおりに生きる」ということが「食べて応援」とかにつながっていくのだけれどそれでいいのか、と気づくことではないかと思う。やらなかったのは、「音楽」と「ジャンル」の絶え間ない闘争に疲れ果てたばかりには、ミュージカルという「ジャンル」にコミットメントする力がもう残っていないかったためである。

〈ス・ワンダフル〉ダイアナ・クラール

家族を持つことはリスクだと言われ、自身を全否定されたように感じたとき、ラジオから流れてきたこの曲が心身を軽くしてくれた瞬間を思い出す。(H・Y)

「家族を持つことはリスクだと言われ、自身を全否定され」た、という個人的な体験にはとても感情移入できるが、詞の内容と現実があまりにかけ離れており、そのギャップが音楽のプロテクションとしての役割なのか、という気もする。マンガ《花もて語れ》風にいえば、「補完しなければ朗読できないテキスト」なのだ。補完してみる。

Yさんてのは、お母さんと団子食べに行ったりするような、ごくふつうの娘さんなんだ、と妄想してみる。でも仕事で付き合っているひとたちの世界は異常だったりするので、彼女の想う〈ス・ワンダフル〉の世界は映画《ダンサー・イン・ザ・ダーク》で空想のシヨ一のなかに逃げこむビョークのような悲壮さを伴う。彼女は職場で引き裂かれていて、ほとんどはデスクの上で石のように夢想してすごしている。その証拠に、最近K美術館に出演するので早く着いたら誰も来てなくて、ふつうだったら、Yさんが出てきて、「あら一工藤さん、お久しぶりです。よかったです。いまやってるミロでも観てください、はい、これ招待券」というようなノリを当然期待するじゃないですか。ところが彼女はいなくてあるいは石になっていて、ぼくは自腹でミロを見て、あとは冷房が寒いので三時間くらい外でうずくまっていたという。関係ないですね、はい。

ボサノバが心身を軽くしてくれた瞬間。それを表現するには、実際にH・Yを呼び、曲を流しながら、場面を再現するしかない。「Yさん、なんでK美に行ったとき出てきてくれなかったの? 石になってたんでしょ」「え? あ、あれは・」「でもボサノバが流れてるから心身共に軽いでしょ」というようなサブライズを現場で演出するんですな。でも「Yさんは日程がびったり重なる仕事があるらしく、来れなさそうです。来たがってました」ということだったので、「来ないならやんない」ということになりました。おしまい。

〈ウイズ・ア・リトル・ヘルプ・フロム・マイ・フレンズ〉ザ・ビートルズ

中学生のころ繰り返し返し聞いていたので、新しい局面に立ったときにいろいろな迷いがあっても、当時の空気の匂いと一緒に気持ちを初心にリセットすることができました。(K・N)

たしかに音楽にはそれが流行っていた時代に自分を戻す、という効果があるわけだが、ビートルズはその最たるもののだろう。これはリングがドラムを叩きながらout of tuneで歌うからいいので、リングみたいな子がいれば、ソロで歌わせて、あとはハミング、とかじゃないかな。カナダで小学生に演奏させるラングレー・スクールズ・ミュージック・プロジェクトというのがあって、おとなびた子に「デスペラード」を歌わせた名演があった。普通はなんでもものごとを究めれば、普遍に至る、というのが職人や芸道の基本だが、K・Nもそのようなひとだと類推する。ただ初心にもどりすぎてビートルズから出られなくなっている、ということはないだろうか。それだと、外から後期資本主義を鳥瞰するというようなことが難しくなっているのではないかと思う。ひとつのバンドに降りてきたインスピレーションの総量として、ビートルズはあきらかに人間の能力を超えている、ゆえに、あれはイルミナティが人類を真実の闘争から逸らせてロックで白痴状態に置くために、プロジェクトとして複数の音楽家を使った陰謀なのだ、という説がある。それにはまってしまつて、初心初心といっているようなひとは、闇の支配階級から好かれて、新たな人類滅亡プロジェクトのために引き抜かれるかもしれない。この歌を歌うそばで、コンビニのトンデモ系の陰謀論の本をぶつぶついながら読み耽る、とかいいのかもしれない。これは、受け身の聞き方ではなく、その曲が、初心に帰り自分をリセットするためのよい動機付けになるというテキストなので、やる価値は十分にあるのだが、やるとしたら、ビートルズを超える音質とジャマイカ盤を超えるスタジオワークで、子どものバンド演奏を記録するしかなく、それはやってもいいが、今回だけのために披露するのはもったいない、という理由で、やらないことにした。

二

〈ジャスト・ア・ジゴロ/アイ・エイント・ガット・ノーバディ〉ルイ・プリマ

高校生のときにはじめて失恋しました。あなたはボクよりも自分のほうが大切なんだねというのがそのひとの別れ文句でした。

その言い分に、多少なりとも真実はあったんでしょう。わたしはわたしのことのほうが好きだったんでしょう。高校生だし。でもいまから考えても、あきらかに、わたしよりも彼のほうがナルシストでした。

「自分」「下半身」「自己イメージ」が人生の三大イベントで、その次か、次の次ぐらいに「彼女」の位がきていたように思います。

とはいえ当時はそんな分析はできておらず、一ヶ月も二ヶ月もフラれたことに悩みつづけました。自分を責めて、六キロ痩せました。

でもあるときこの曲を聞いて、いい中年のおっさんでもこんな歌詞を歌うのかと思ったら恋愛に悩んでいる自分がアホらしくなりました。

なんだ、男の子ってみんな、自分、自分、自分で、自己愛しか持っていないのね。そんなことに気づいたら、世界中の全男子がバカすぎて愛らしくなくて、とても気が楽になって救われました。

わたしは、男の子が大好きです。(K・I)

ルイ・プリマの功績は、二つの曲のメドレーを定着させたことだ。前半はまだ老いてない女術、後半は老いてしまった女術、と考えるとおかしみとかなしみがクロスする仕掛けになっている。主題は自己愛のようだ。男子のナルシズムのほう大きい、とわかってから男の子がかわいく思えるようになった、と。でもジゴロ（ヒモ）がはたして男子の側の自己愛の現象化なのか、というと、そうでもなくて、経験からいうと、風俗の女のひとの、グラム・ロックだとかセクトだとかをやってる金のない男を飼っていたい、という願望に奉仕しているだけ、ということも多かった。ヤクザの場合だと、暴力による依存を利用して管理するだけだから、ただヤバイ事態なだけだ。「いい中年のおっさん」が、「おれには誰もいないんだよ（I ain't got nobody, nobody）」と嘆くわけだが、それは自己愛を歌っているのではなくて、文学的な老いた女術の話術を披露しているにすぎず、それをもって男子のかわいさに至ったという経緯は、この曲とはあまり関係のない話だ。まあ、男として同調できるところといえば、ルイ・プリマがほんとうにおっさんぽいこと、そしてたしかに自分が、自分が、と歌っているように見えること、そこからくる、先に機は熟していたある観念を後付けてリーズニングするための恣意的な誤読によって、エンタメをある種のフェミ・パン宣言に利用できることを示した、ということかな。それでも音楽そのものとはあんまり関係ない話だ。恣意的な誤読、がテーマなら劇として際立つ素材はいろいろあるだろう。〈君が代〉は平和の歌だ、とか〈インターナショナル〉は真の右翼の歌だ、鈴木邦男、とか。やる理由はあるテキストだが、ただその内容が、音楽の役割、というよりも、「わたしは男の子が大好きです」に集約されるので、老いたばくなんかはパスかな、ということだ。

12

〈ストレンジャーズ・イン・ザ・ナイト〉フランク・シナトラ

三〇歳代なかばで多感な時期、好きなことだけして生きていたらと準備していた。（M・K）

はやばやと余生を送りたくて、あるいは独立したくて、金を貯めるなりスキルを磨くなりして忙しく立ち働いていた、ということなのだろうか。歌詞どおりに受け止めれば街で夜な夜な婚活していたことになるけど。殺ぎ落とされていて伝わらないよ、うたが、なんらかの役には立ったんだろうけど、というのが最初の印象だった。

舞踏の話なんだといわれればわかる気がする。舞踊界への反骨心をもって自分なりのスタイルを探究しているときに、エンタメとしてのシナトラを覚えて、復讐に使った、とか。舞踏家の文章というのはニジンスキーや土方を見ればわかるように、わからなくて当たり前で、わからなくてもいいわ

けなんだけど、このテキストは、そのわからなさが暗黒舞踏的ではなくて「ポスト・コンテンポラリー・ダンス」的なんで、それに慣れてなくて、わからなさそのものが伝わらないというか伝えられてたまるかとこっちが構えるんだと思う。「好きなことだけで生きていたらと準備していた」のが、「わざと」シナトラを使うダンスだったりするんだったら、音楽も本音をいいあらわすメディアではなく、そこではポスト・コンテンポラリーの道具にすぎないのではないかと思う。M・Kが完璧に振り付けしてくれるのではないかぎり、ここでシナトラを歌うことは無意味だ。やらない理由。音楽は振り付けの道具ではないから。道具に復讐されたことがあるだろうか。そのときはじめて出自は振り付けを超えて、音楽はメタな地点からM・Kを道具として使い、M・Kの身体が音楽にとつてのプロテクションとなるであろう。

などと書いてきて、ぼくは結局音楽を擁護してしまっていることに気づく。劇劇とかいいながら、結局は音楽のためににかしようとしている。「音楽」と「情況」にかんする、主体と客体の小競り合いのような様相はこのあとの選曲にも尾を引いていく。

13

〈ダニー・ボーイ〉ビル・エヴァンス

二〇歳のとき、部活の演劇研究部のなかに好きな女性がいました。その女性に想いを告げたのですが、届かず、失恋しました。

この曲を何度も聞いて癒された思いがあります。この曲は偶然、ラジオから流れてきて、なぜかとても気分合ひ、その後、CDをレンタルして部室や家でひとりでいるときによくかけていました。(S・K)

ひとつの試みとして、〈ダニー・ボーイ〉のテーマのあと、合唱団に人生初の集団即興ボーカリゼーションを試みてもらう、というのはどうか。S・Kにとっては、聞き続けた曲にかんして、聞き続けた意味はこうじゃなかったんですか、と問いかけるというのは、ここでしかない体験になるだろう。

◆合唱団のためのテキスト

ビル・エヴァンスの〈ダニー・ボーイ〉は名演です。でも、この曲が失恋の痛手を癒したのはなぜでしょうか。ビル・エヴァンスのピアノの弾き方に秘密があります。ピアノの前に座り、誰かが使った和音の響き（ヴォイシング、といいます）をただそのまま真似しないように気をつけて、自分だ

けの響きを作り出したいという、冷たい炎のような情熱で、一生懸命音を探しているようすが目に見えるようです。

それはまるで、恋に破れたこのひとが、悲しみの殻に閉じこもっているとき、ふと、外から聞こえてくる音に気づき、我に返って周りを見渡し、一生懸命工事しているひとがいるのに気づいたときのようです。注意して見ていると、その工事のひとは、時間という岩盤を掘削しているのです。それを見ているうちに、恋愛とは別の価値観もあるんだと、気づかされ、しばし自分のかなしい気持ちを忘れることができたのかもしれない。

この人も、みなと同じように、生まれ落ちたらすぐに、時間に沿って、お墓に向かって歩きはじめるわけですけれど、この曲は、恋愛に片足を突っこんではいても、やるべき仕事はあるのだということに気づかせてくれました。だからこのひとは、それまでと同じように時間に沿って歩いていても、失恋のかなしみだけに氣をとられず、いわば歩行に余裕を持たせることができました。

わたしたちも、消極的な感情に押しつぶされそうになっているときは、深呼吸して周りを見渡し、そんな「工事のひと」がいるのだということに気づきたいと思います。人生にはやるべき仕事、探求すべき事柄がたくさんあります。一度失恋したくらいで、そうした歩みを止めてしまうことはないのです。

さて、この曲には歌がありません。原曲はロンドン・デリーの歌ですけれど、これをどうやって合唱できるでしょうか。テーマの楽譜は与えられています。まずユニゾンでその主旋律をハミングで歌い、それからやつてもらいたいことがあります。ひとりひとりが、音で、時間の岩盤を掘削するのは、それを即興（インプロヴィゼーション）といえます。それは人生のなかで、ひとりきりでおこなうべき、大事な作業のひとつです。自分で次の音を選んで、とにかく前に掘り進んでいくのです。出来のことは考える必要ありません。大事なのはそういうふうに時間に向かう姿勢だからです。だれかの真似をして進もうとすると、自分の時間ではなくなります。ジャズのひとは、「わざと」ほかのひとのフレーズを引用して進むことがあります。そのフレーズを「クリシエ」といいます。それはべつにずるくありません。とにかく、どんな手を使ってもいいから、テーマを歌い終わったら、先に進んでください。あるいは、そうしようとしている、という姿勢を表現してみてください。仮にそれが沈黙だったとしても、それは立派な音楽です。

14

くFROM・ヒア・トゥ・エタニティ〉ジ・オンリー・ワンズ

二〇歳のころ、大阪にライブで呼ばれたとき、相方がヤクザとくっついていなくなり、西成で南京虫の押入れみたいなドヤに三日ほどいて、「これ栄養あるかなあ」「あるで一」というわけで最後の一〇〇円を飴湯に使い、とうとう一文無して天王寺駅前に立っていた。自衛隊の勧誘に応じるかタコ部屋に入るか迷ったが、タコ部屋にした。ひと月いて小学校をひとつ建てた。タコ部屋には淡路島から両親が死んだので来たという本来なら中学生

の男の子もいた。食事は薄い味噌汁とご飯だけだった。数人が逃げる相談をしていたが、電車賃もないので傍観していたが、口止め料として五〇〇円もらった。ある日、免許を取らしてやるから天王寺と飯場の送り迎えせえへんか、朝送ったらあとは夕方まで喫茶店で競馬でもやっとならえやん、といわれた。それで同意したふりをして天王寺まで車で行き、着いたらダッシュして逃げた。ひと駅分買って、キセルで実家のある四国の松山に辿り着いた。知り合いの店に行き、オンリー・ワンズの新作LP《Even Serpens Shine》をかけてもらった。一曲目の〈From Here to Eternity〉に「蛇さえも輝く」という歌詞があることを知っていた。それは相方が教えてくれたのだった。そのころは裏切ることが美学だったので恨む気持ちはあまりなかったが、それはずっと不吉な曲であり続けた。不吉な曲に守られるというのは変な話だが、ぼくが女に手を挙げるということがないのは、どん底にその曲があるからだと思う。曲が、ぼくの代わりに世界に復讐しているのだ。そして、だからたまに、あのまま釜ヶ崎にいるぼくが申カツ屋で競馬新聞をチェックしているような気になるのだ。(T・K)

T・Kはただ裏切られたことと、その落とし前だけで生きているのだろう。オンリー・ワンズの最初の自主レーベルが復讐(Vengeance)レコードというのだ。それはやがて世界に対する復讐に姿を変えるだろう。なんだか若き日のダース・ベイダー(アナキン・スカイウォーカー)みたいじゃないか！

◆子どもたちのためのテキスト

この歌は、社会の底辺から抜け出ようとして抜けられない宿命のようなイギリスの下層のありふれた情景を扱っていますが、なぜか希望についても語っています。自分のせいでだめになってしまった女のひとに責任を感じ、彼女が元にはもどれないことを知っていますが、彼女を連れてここから一緒に永遠に向けて抜けだそう、という切迫感に満ちています。〈From Here to Eternity〉(ここから永遠に)というのは映画化もされたジエームズ・ジョーンズの小説で、真珠湾攻撃の前夜のアメリカ軍の腐敗と過酷さを描いたものでしたが、主人公は最後に射殺されています。それが暗示しているように、この歌の希望も、永遠というのは、死のことであるとも読めて、悲劇に終わる予感がします。むしろ、「蛇さえも輝く」といったフレーズで示されているのは、そうした境遇のなかで幻視した、偽りであるかもしれない光に、一瞬身をゆだねる耽美であるのかもしれない。この曲は、芸術的には、デカダンス(退廃)の系譜に属するもので、二十歳のときに、そこから出発した体験が、それ以後の表現の原点のようにしてここに選ばれている、というところでしょうか。節回しが母音によってうまく配列されているので、すぐには歌えないと思いますが、慣れてくると、音韻そのものが転がる詩としての美しさを味わうことができます。

これは練習できなかったからぼくが歌うので、みなさんはクラゲになったつもりで適当に踊っててください。ぼくが近づいてきたら、クラゲが魚を避けるようにふらふらとしながら、少しでも遠ざかります。

15

くローズ〉ベット・ミドラー

鬱病に苦しんで家族から遠く離れていた時期に、この曲を繰り返し聞き、口ずさみました。

もっとも苦しい時期には、いつさいの音を受けつけることができなかった。

その淵をなんとか堪え、最初に耳に入ってきた曲が、このくローズ〉でした。

歌詞のすばらしさと、静かで力強いメロディが、暗闇に響く賛美歌のようでした。

この曲は当時もいまも、わたしの祈りそのものです。(K・W)

Some say love it is a rive 人は言う 愛は川で

That drowns the tender reed ひ弱な葦を押し流すと

Some say love it is a razor 人は言う 愛はカミソリで

That leaves your soul to bleed 心にいつまでも血を流させると

Some say love it is a hunger 人は言う 愛は飢えだと

An endless aching need 終わりのない渴望だと

I say love it is a flower ても 私には愛は花

And you its only seed あなたはただその種

When the night has been too lonely 夜が寂しすぎる時

And the road has been too long そして道が遠すぎる時

And you think that love is only あなたは思う 愛はただ

For the lucky and the strong 運がいい人たち 強い人たちだけが得るものだと

Just remember in the winter でも思い出して 冬の最中に

Far beneath the bitter snows 苦い雪の下に

Lies the seed that with the sun's love 太陽の愛を含んだ種があつて

In the spring becomes the rose 春にはバラを咲かすことを

音楽が聞けない時期があり、その時期をすぎて最初に「耳に入ってくる」音楽があり、その音楽が当時もいまも「祈りそのもの」である、という経験からわかるのは、「身体V音楽」ということと、祈れないことと音楽が聞けないことは似ている、ということだ。しかし、祈れないこと、音楽を聞けないことそのもののなかに、ほんとうは音楽の種は含まれていて、それを身体が許したときに発芽するようにして「耳に入ってくる」。種のようにして心に蒔かれ、発芽を待っている音楽が、口に出せない祈りのようにしてフリーズしている。ヴェイユ風にいえば、祈ることよりも祈れたことのほうが、あるいは音楽そのものより音楽を「聞けた」ことのほうが、身体にとっては重要なのだ、ということ。聞ける状態にあることそのものが、「ウォール」であつたことに気づくということ。だから、発芽してしまう直前までが真の音楽、という言い方もできると思う。「種」とベット・ミドラーの歌という表象が一致してしまうと、「バラ」に至るリアな物語になつてしまうからだ。そこを主題にするのであれば、歌わないことで、「種」そのものを示すことができる。

合唱隊は仮に鬱ということにする。自殺する元気が出るくらいのところまでリカバリーが進んで、「やっと音楽が聞こえてきた!」とひとりがいう。そしてこの曲の出だしのワンフレーズだけ歌う。

◆子どもたちへのテキスト

曲を聞いて、いい曲だなあと思わないひとはいいと思います。英語もゆっくりだし、もうすでに歌っている自分たちを想像できる気さえます。でもちよつと待ってください。このプロジェクトは、音楽会ではありません。音楽についての劇なのです。何かについて階段ひとつ高いところから考えるようなやり方を、「メタ」といいます。だからこれは、「メタ」な合唱なのです。

このテキストを書いたひとは鬱病でした。みなさんは鬱のひとに接したことがありますか。鬱のひとは自分を責めたり、他人を責めたりしますが、それは病気なので気を悪くしてはいけません。そして治りかけたところに元気が出て、かえって自殺する元気さえ出してしまうて、死んでしまったひとをたくさん知っています。だから、鬱というのは自殺する元気さえなくなるような大変な病なのです。そんな状態にあるとき、このひとにとって、音楽はなんの役にも立たないどころか、音を聞くことさえできませんでした。そんな時期を耐えて、やっととはじめて「耳に入ってきた」のが、この曲だつ

たということです。そしてこの曲は、当時もいまも、自分の「祈りそのもの」だ、とこのひとはいっています。

歌詞に出てくる「種」、という言葉を手掛かりに考えてみましょう。

このひとの回復にとって重要だったのは、この曲そのものではなくて、「音楽が聞ける状態」であるということがわかります。つまり、生きている以上、このひとの生存にとっては、音楽よりも、身体のほうが優先順位としてはいつも上にくるのです。そして、この音楽が「祈りそのもの」だ、という言い方から、逆に、「祈れないこと」と「音楽が聞けないこと」は、似ている、ということもできます。このひとは、深い淵にいるような状態のときにも、身体は受けつけなくても、音楽を、聞けるものなら聞きたい、と心の底では思っていたと思います。音楽は、口に出せない祈りのようにして、まだ発芽していない種のように、このひとの心のなかで眠っていました。だから、音楽を「聞けないこと」そのもののなかに、ほんとうは音楽の種は含まれていたのです。そして、ある程度回復して、その種の発芽を身体が許したときに、その種から芽がでて、それが、繰り返し返すけれど、「発芽するようにして耳に入ってきた」わけです。このひとの心に種のようにして蒔かれ、発芽を待っていた音楽は、口に出せない祈りのようにして、いわばふさわしい時期がくるまでクマムシ（興味のあるひとは調べること）みたいにフリーズ（凍結）していたのです。

そう考えると、祈ることそのものよりも、祈れたことのほうが、あるいは音楽そのものよりも、音楽を「聞けた」ことのほうが、このひとにとっては重要な回復の里程標（目印になるもの）だったのだ、という言い方ができます。「聞ける」状態にあることそのものが、このひとの身体にとっては「ウォール（自分を守る壁）」になっているのだ、ということにこのひとは気づいたのです。口に出せない祈りが誰かに聞いてもらえている、というような確信を希望というのだとしたら、このひとの魂（体と心）は、鬱のときにも希望を捨てなかったのです。

こんなことをいうのは、鬱というのが大変に難しい病気だからで、鬱のことをひとたび考えはじめると、ひとの生死がかかわるだけに、深く分け入って慎重に考えざるをえません。

そんな曲を、どういうふうに合唱したらいいでしょうか。ただ歌うだけだと、いい曲だね、病気が治ってよかったね、ということになるわけですが、このプロジェクトは、音楽が、そのひとにとってどう「プロテクション（守り）」になったか、ということだけに焦点を当てます。それで、音楽が種だったというさっきの考え方からいうと、発芽してしまう直前までが、真の音楽の役割だった、という言い方ができるところなのです。

合唱隊は仮に鬱ということにします（すでに鬱のひとがいたらごめんなさい）。自殺する元気が出る（ストレートな物言いでごめんなさい）くらいのところまで回復が進んで、「やっと音楽が聞こえてきた！」とひとりがいいます。そしてこの曲の出だしのワンフレーズだけを歌います。曲名当てクイズみたいにならないようにするために、すこし原曲を流してもいいです。そうすれば聞こえてくるべきだった歌は、各自の頭のなかで流れはじめるでしょう。そしてあとは、わたしたちすべてにとって、回復した凡庸な感謝すべき日常がはじまるわけです。

〈小さな願い〉ディオヌ・ワーウィック

ティム・エッチェルスさん

日本人であるわたしは、いま、不思議な縁から、この手紙を南ポルトガルの鄙びた漁師町で、お会いしたこともないイギリスのあなたに書いています。

なんて不思議な、そしてすてきな出来事でしょうか。

しかし、あなた様のリクエストはいささか無謀です。

なぜなら、わたしは音楽がなければ生きていけません。ジャンルは問わず、実にさまざまな音楽に支えられながら六十六歳になりました。

そういう人間に、たった一曲を選べという、あなたの注文は、やはり無謀としかいえません。

そんなことを考えていた矢先、ほんの二、三日前のある日、四人の女がこの南ポルトガルの丘の家に集まりました。

男と女の、あるいは夫婦関係の大崩壊、経済的大危機、家庭の大問題、そして、加齢による健康問題etc.

フランス女が三人、日本女が一人、四十代、五十代、六十代の、ビックカタストロフのさ中の女たちの短いバカンスです。

一日中、海で遊んでから、めかしこんでバーやディスコに繰り出し、月夜の道を車で丘の家に戻るとき、突然、ラジオから流れだしたのは、ディオヌ・ワーウィックの〈I Say a Little Prayer for You〉。

わたしが二十になったばかりのころ、繰り返し聞いた曲です。いつたい、どんな心境で聞いたのかは、すっかり忘れてしまったけれど、小さなアパートの部屋で、何度も何度も、それこそ擦り切れるほど、レコードに針を落とした記憶は、はっきりと覚えています。

気がついたことは、ディオヌの声の変化でした。当時は、迫力はあるものの、かわいらしい声に魅かれていましたが、いま、流れる歌声は、まるで別人のようです。

誰かがハミングをしはじめると、みながつられて歌いだしました。

ああ、そうだ・七十歳はすぎているであろう、ディオヌという女の人生にもさまざまな喜びや悲しみが訪れ、彼女の声をこんなふうに滋味あふれるやさしく深い声に変えたのでしょうか。

そのうち車中は女たちの大合唱となりました。

わたしがディオヌと出会ったのは、四十年以上も前のことです。

私たちのうちのひとりとは、生まれてもいなかったかもしれないのに、この曲を歌うことができます。

それぞれの人生のどこかで、何度も何度も、この曲が流れていたからに相違ありません。

それはまだ、四人の女が会っていいとき、別々の場所でこの曲を聞いていたのです。

たった三日の短いバカンスは、ただ、ただ楽しく、誰ひとり自分の苦境を語ることなく終わったのでした。

別れるとき、再会したときより、誰もの顔に少し明かりが灯ったような気がしたのは気のせいでしょうか。

ディオニスとの素敵な再会・この曲は、四人の女たちにとって、生涯忘れられない一曲となり、この特別な夏も長く記憶に残ることでしょう。

南ポルトガルの終わりそうにない夏の日差しの中で・。(U・M)

U・Mさん

女のひとはいくつであつても中身はオトメだということくらいは知っています。ただ、「誰ひとり自分の苦境を語ることなく終わった」女子会で、最大公約数的にグローバリゼーションの副産物としてのヒット曲が絆として選ばれた、という現象を音楽の「プロテクション」として受け入れるなら、オトメもグローバルということになり、幻想かもしれないということになりかねない。だって不思議じゃないですか。この星で、違う国に二〇世紀にでんてばらばらに生まれて、同じ曲を歌えるなんて。まあ、メロディが種としてのヒトのオトメ科に触れるようにできてるんでしょね。だからバカラックが偉大だつてことは認めます。トランペットの明るさは消費の軽さだ。後期資本主義における音楽の役割は地球表面の感性を地ならしすることだった。地雷が眠る畑を装甲車で爆発させながら安全にしていくような地ならしなら歓迎だけど。これがく小さな願いくじゃなくてくインターナショナルくだったら全然違うことになるんでしょね。でもこの星はそういうふうにもならなかった。曲を入れ替えることで意味が変わるテクストとそうでもないテクストがあるように思うつてことです。でも、そうした表層の論議は、書き手の意識の棲むポルトガルの家では外部の客体として捨象されるであろう。客観的には「トランペットの明るさは消費の軽さだ」が、主観的には「文体のための軽さ」なのだ。「別れるとき、再会したときより、誰もの顔にすこし明かりが灯ったような気がした」のは、くI Say a Little Prayer for Youくという曲を、ビッグ・カストロフに対応する個別の涙としてではなく、「自衛のための共同の手段」の糸として用いたからであり、口に出さない小さな祈りのように、歌はここでは、四人の人生に影を落とすようにして客体として流れているだけで、四つの主体は「男と女の、あるいは夫婦関係の大崩壊、経済的大危機、家庭の大問題、そして、加齢による健康問題」の重い日常の渦中にある。ビッグ・カストロフに言及することなくすべてがさりと書かれるためのぎりぎりの場所は、トランペットの明るい忘却の三日間の軽さに仮託してノーマンズ・ランドのように囲われなければならなかったのだ。個人を型に嵌めるグローバリゼー

シヨンの類型的な「存在の軽さ」と、この文体の「軽さ」を混同してはならないだろう。

それからひとつ見落としていた点ですけど、流れてきたのは現在のディオヌスの歌だったんですね。「加齢するポップソング!」。もはや「おとな」がない、つていうのはゴダールでしたっけね。元のグローバルな凍結されたビニール盤と、その後の歌謡番組に出演した記録との対比によって、価値の減っていく地域通貨のように、歌は老いていき、「女たち」も、それぞれの老いを受容していく。少女たちはおばあさんの扮装をして、腰を曲げ、老いた声で歌おうとしてみる。変わらないのはトランペットという楽器の歴史性から立ち上る、わたしたちすべてを招集し陣営を解いて旅立たせる台図となる、あの明るい軽さだけだ。ここまでくると、このテキストは、「この曲ならみんな歌えるわね」ではなく、「こんな曲ぐらいいいかみなで歌える曲はいまの地球にはないのね」という地点からの詠嘆とさえ受け取れる。そして、「いいじゃん、グローバル化の副産物でもなんでも。使い回せば」というような励ましの声さえ、ぼくには聞こえてきたのだ。

北四国の終わりそうにない冬の吹き降ろしの風の中で。(T・K)

◆子どもたちに

グローバル化という言葉聞いたことがありますか? この星の上で、みんなが同じようなファーストフードを食べ、同じような音楽を聞いている、いまの世の中の様子のことです。まず気づくのは、その音楽のグローバル化が、このテキストに現れているということです。ポルトガルに集まった、いろんな国籍の、年齢の違う四人の女のひとたちが、ラジオから流れてきたこの曲を、それぞれ別の時代に別の場所で聞いて覚えていて、一緒に口ずさんだ、ということです。考えてみると、これはとても奇妙なことです。この星にはいろんな国や民族が住んでいるのに、なぜそうなってしまったのでしょうか。それは、いまの世界がひとにぎりのお金持ちを中心にした、「後期資本主義」の時代だからです。それはあとで興味があるひとは調べてみるといいでしょう。まあ、とにかく、作曲者のバート・バカラックというアメリカ人は、みんなに好かれるメロディをどんどん思いつくひとだったんですね。曲を聞くと、トランペットの明るい音色が、お小遣いのあるとき、モールでショッピングしているみたいに軽いのに気づくでしょう。お金のあるときは、とてもたのしいものです。でもないときは暗くなります。すいません。愚痴になりました。

このテキストを読んで、もうひとつ気づいたことがあります。この歌を歌っているディオヌス・ワーウィックというひとは、いまはもうおばあさんなのです。若いころにこの曲がヒットしたのですが、いまでも歌っているのです。ラジオから流れてきたのは、いまの彼女の声だったんです。レコード盤のなかの彼女の声は、永遠に凍結された若さを保っていますが、この曲自体は、消費され、ディオヌス・ワーウィックとともに、ひとのように老いていきました。お金も老いていく、という考え方があってすよ。貯めておくと、価値が減っていくので、早く近所で使おうとするために、地域に

お金が回るしくみになっているんだそうです。話がそれましたね。

四人の「女たち」、ぼくは女のひとが「女たち」っていう言葉を使うと、元気なおばさんたちに囲まれて圧倒されているような気分になります。これも余計なはなし。えーと、そう、四人の女のひとたちは、ラジオから流れる老いたディオンスの声を聞いて、昔の若い声と対比させることで、自分たちの「老い」も同時に受け入れる心境になったに違いありません。「あたしたちも歳とったわよねー」とかいつている光景が目につかびます。

音楽の役割について考えているわけですから、ここでもまとめてみると、この曲は、

- 一・ 米英主導のポップソングとしての音楽は、世界を単一の経済的なシステムで覆うのに一役買っている
 - 二・ 老化するポップソングという考え方をとるならば、音楽は、ひとの「老い」を計測するメジャー（物差し）のような役割もはたしている
 - 三・ それでも、そのポップソングは、世代や国籍の違いひとびとを、ある場所で結びつける「共同の手段」としてもちいるときに、「プロテクション」となりうる
- ということになると思います。

では、わたしたちは、この曲にどんな新しい意味を付すことができるでしょうか。ひとつの提案ですが、もしできるのなら、自分が老人になったつもりで歌ってみる、というのはどうでしょうか。老人のように、腰を曲げ、老いた声で歌おうとしてみるなら、「歌も歳をとっていく」という考え方を表現できます。そして、若いころからこの世界を見てきたけれど、良くなったのかしら、みたいな顔をして歌えば、おとなは身につまされるでしょう、きつと。

ギターを弾きたいひとは、順番にギターを弾きます。あとのひとはおばあさんになって、腰を曲げて、「Forever, forever,」とか「Together, together,」という部分をしわがれ声で歌います。

17

〈クレイジー・トレイン〉オジー・オズボーン

私はこれまで生きてきて、問題に直面したことはありません。

なにかマズそうなことがあると、すぐさまびすを返して逃げてきました。

だから、わたしがいまいるのは、望んでいなかったとはいわないまでも、最初から目指していた場所ではありません。

もっとも、なにかを目指し努力した経験すらわたしにはないのですが。

問題を直視する立派なふるまいに憧れつつも、ただひたすら逃走と恥を重ねてきたのです。(N・K)

N・Kはなにかを目指す際に音楽が役立つ、といった言い分をひっくり返す悪魔の辞典的なテキストを書いた。汚染瓦礫のように投企された現存在が流されていくことを主体的な逃走の契機とポップに捉えるのは八〇年代の頭のいいひとたちと似ているわけだが、ここで重要なのは、ヘビメタによる汚染地域の再領土化だろう。パンクの宙吊りの活性化でさえない、居直りのダダメタ・メタメタとでもいうべき芸風は、たしかに音楽の「ウォール」を監視塔の角度から照射するものとなっているのかもしれない。その視点はたしかに興味深いが、ティムが求めたのは、「皮肉なあるいはなんらかの形での助言としての音楽、逃走あるいは避難の手段としての音楽、気晴らしの手法としての音楽、そのなかで逸楽に耽る暗い空間としての音楽、励ましとしての音楽、自己定義の形式としての音楽」ということなのであって、かならずしも「問題に直面することに役立った音楽」についてのみ問うたわけではないので、ティムの問いへの返答としてはフライング気味だ、となると、できるのは、フライング、と書いたフライングVをN・Kに弾いてもらうことくらいだ。

18

〈厳しい人生〉(ミュージカル《アニー》より)

十歳くらいのときにいっしょうけんめい聞いていた。

直面していたのは、おとなになること。(E・K)

アニーは、E・Kがおとなになる備えをさせたわけではない。彼女は「おとなの歌」を聞いておとなの予習をしたのではなく、「おとながつくった子どもの歌」を聞いてただおとなになる不安をアニーと共有したのだ。いずれにせよ、直面している問題にたいして、前もって災いを避け、経験のない者を賢くするかもしれない、という期待をこめて、子ども、という大きな共通項をもった音楽を聞くことを、(解決になったかどうかはわからないけれど)情操面で求めた、ということのようだ。雨合羽を着るように、音楽で身を包む。子どものE・Kは、「おとながつくった子どもの歌」を子どものための防護服として利用できないか考え、考えているうちにおとなになってしまったので、「おとながつくったおとなの歌」と戦うみたいな服を着て、「子どもがつくったおとなの歌」を歌う子ども、のようなおとなになった。ところで防護服を着るような音楽ってあるのだろうか。キュリー夫人がやってくるバンドみたいな？ 放射線防護服を着たおとなたちがこれを歌い、子どもたちはそれを膝を抱えて見ている、というのはどうか。おとながつくったおとなの歌でもなく、おとながつくった子どもの歌でもなく、子どもがつくったおとなの歌でもなく、子どもがつくった子どもの歌でもな

いような、つまり子どもでもおとなでもなく誰がつくった誰の歌でもないような歌へそれを変えること。

◆子どもたちにたいするテキスト

《アニー》のあらすじは読みましたか？ このひとは、「おとなになることに直面」していた十歳のころに、この曲を聞いていました。このひとは、この曲を聞いて、おとなになる準備をしていたのでしょうか？ でもこれは「おとながつくった子どもの歌」です。この人は、「おとなのつくったおとなの歌」を聞いておとなになるための予習をしたのではなく、「おとながつくった子どもの歌」を聞いて、ただおとなになる不安をアニーと共有したのでしょう。つまり、「おとなって、こういうふうに子どもを見ているのか」ということがわかるから、この曲を聞いていた、といえるのです。ずいぶん醒めた、おとなびた子だったのかもしれないし、そうならないために一生懸命なにかを探していた子だったのかもしれない。ミュージカルの子役は、「おとながつくった子どものイメージ」を演じなければなりませんから、みなさんも、いまいつていることがわかるかもしれない、と思ったんですけどどうですか。

いずれにせよ、このひとは、自分が直面している問題にたいして、前もって禍（わざわい）を避け、経験のないなりに賢くありたいと願って、「子ども」が主題になっているミュージカルのこの曲を、レインコートのように「着てみた」んじゃないかと思っています。

音楽に、期待をこめて、なにかをする、つまり選んで聞きこんでみる。音楽に、なにか、解決の糸口のようなものを求める。このひとは積極的にそうしてみました。でもなにか得られたかは、述べられていません。

今回、「おとながつくった子どもの歌」を子どもが歌うのは、このテキストの主旨（いいたいこと）にそぐわないと思いました。アニーみたいな子どもたちが、「子どもがつくったおとなの歌」を歌うならいいんですが。

だから、この曲は、おとなが歌ってみようと思います。おとなになりたかったおとなや、おとなになりたくなかったおとなが、自分たちの「プロテクション」のために、「おとながつくった子どもの歌」を歌って、みなさんに、おとなになることについて感想を聞きます。別に、答えなくてもかまいませんけど。

みなさんは、将来、おとなになったとき、「おとながつくったおとなの歌」、あるいは「おとながつくった子どもの歌」のような作品をつくるでしょうか。それとも、いつまでも「子どもがつくったおとなの歌」のような歌を歌えるでしょうか。でもたしかなことは、「子どもがつくった子どもの歌」は、いましか歌えないということ、そして、いまは子どもであつてもおとなであつても、「It's hard knock time（人生は厳しい！）」ということなんです。

○経過と評判

「おとなアニー」は、「おとながつくった子どもの歌」を孤児の視点から歌うこと（あるいは歌えないこと）、にこだわり、歌詞を意識して、自主稽古を重ね、最終日には全員衣装を揃えてどうにかミュージカルの格好になった。「子ども」が「子ども」に「夢を見るなよ、お前はみなしご!」と怒鳴るシーンを、子どもたちは体育館坐りて眺めたのだった。本番中、前夜「アニー」役と知り合ったホームレスが彼女を応援にきてくれた。主催がそれを排除していたら、準備過程で交わした、人生の四季を弄る狂ったヘルダーリンみたいですね、といった言説がすべてパーになるところだった。子どもからの感想は聞けなかったが、伝言ゲームとしては、E・Kのテキストからは思いもよらない地点に達したかもしれない。

19

〈故郷を離るる歌〉（原曲：ドイツ民謡 作詞：中丸一昌）

もう一三年も経とうとしている。

その三年前に倒れた母は、その日からまったくの寝たきり状態になり、入院六カ月を経て老健施設に入所した。

施設入所のあいだもときどき体調は下降し、入院を繰り返しながら。

一三年前の最後の入院時は、まったく意識もなく、流動食も摂れず点滴で生命を維持していた状態。

そんな母の元に、当時働いていたわたしは、ほとんどの日曜駆けつけていた。

意識も反応もなく、行っても手を握り顔を見て帰るだけ、そのために通い続け、病室に入りベッドの脇に立つと「来たよ!」、帰るときは「又、来週!」の繰り返し。

そして病室を出るときはかならず一度振り返るも、視線の先の母は当然無言で、微動だにせず目を閉じていた。

その母は歌が好きで、若いころはよく歌いながら台所に立っていた。

流行歌のときもあつたけど、唱歌や外国民謡などもメゾソプラノのきれいな声で歌い、小学校高学年から中学生ころのわたしは、歌うことが気持ちを鼓舞させているのかな? と思ったりもした。

病室を訪れたある日、ベッドサイドに座りなんの反応もない母の手を握り、耳元で歌ってあげた曲が、母も歌っていたく故郷を離るる歌。

♪園の小百合 なでしこ 垣根の千草・さらばふるさと さらばふるさと ふるさとさらば♪

最後の ♪さらばふるさと・♪ を繰り返すフレーズになったら、のどの奥が苦しくなり涙があふれ、わたしの歌は途切れた。

母は海辺の小さな村に生まれ、その地の父と結婚したので、闘病期間中をのぞき、六九年の人生のほとんどをそこですごした。その故郷を遠く離れ、ひとりて病室に横たわる母のなかの故郷。

帰ってあげたいと思っても、どうすることもできず、いつものように「また来週！」

それ以来、故郷を離るる歌は心のなかに浮かべても胸が苦しく、口ずさめない曲となり、誰に話すこともなく封印。

その曲を、いま人生の一曲として書こうと思ったのは、娘が結婚することになったから。

高校を卒業してからは一緒に暮らすことなくすごしていて、もう東京での暮らしも、故郷で暮らした年月と同じくらいの長さ。

その娘に ♪ふるさとさらば・♪ と最後に終わる曲ではあるけど、故郷と娘を繋ぐ曲として、この曲を贈りたいと思った。

いつか故郷に誰もいなくなつたとしても、生まれた土地にはどこかにすごした痕跡があり、かすかに繋がりのあるひとはどこかで日々を送っている。

通りすぎる風には遠い日すれ違った風と同じ風が吹き、道ばたの草花も、石ころも、すべてがすぎた日と未来へ繋がっている。

ときどきは懐かしみながら、英気を養う場所としての故郷を忘れずにいてほしいとの気持ちでこの曲を贈るとともに、母とわたし、わたしと娘を繋ぐ曲にしたい。

ドイツ民謡のこの曲、日本語詞は、故郷への別れを歌う詞になっているけど、♪ふるさくとさくらさくら♪のあとには、「またいつかね！」の思いもこめられている気がして、封印していた曲は新たな命を持ってわたしの心に。

「K子の新しい故郷、K子なりの故郷を創って！」の気持ちとともに。(N・N)

N・Nの選んだ曲は、母の思い出と繋がりがあるわけだが、ここで独特なのは、母と自分と娘を歌でつなぐとしているところだ。ここで音楽は、「ふるさと」に関して、母の場合とは正反対の意味を持って、娘に伝えられようとしている。ラメンテーションがあとの世代から見れば教訓の歌にもなるという転換は、ユダの捕囚の詩編を思い起こさせる。意味を変えて歌い継がれていく、という歌の自律的なふるまいは、音楽がみずから「プロテクション」を買ってでるといふ現象だ。

◆子どもに向けたテキスト

みなさんはNHKのラジオを聞くことがありますか。《昼のいこい》とか《ラジオ深夜便》とか、おとなのひとたちが「お便り」を読んだりしているやつです。なんとなくまじめでつまなくて、でもしみりしていますよね。「おとなになったら、こういう感じ、わかるかなあ」とか思っていますか。わかんなくてもいいですけどね。まあ、たいていわかってきますけど。このひとのテキストは、そんな、ふるさとかからの手紙みたいです。

でも、音楽の役割、という観点からこの文章を読むと、興味深い点があります。このひとは、お母さんの亡くなったときのかなしい思い出とともに、この曲をいったん「封印」(この場合は、聞いたり歌ったりするのをやめること)しますが、娘さんの結婚のときにそれを正反対の意味でよみがえらせることを決意し、母親と自分と娘を、故郷を土台にして、ふたたび「つながり」としています。

ここで、歌は、まるでいきもののように、自分で自分の意味を変え、このひとの人生の「プロテクション(守り)」の役割を買ってでてくれているかのようにです。歌はそうにして、歌いつがれていくものなのです。

この曲だけは、このひとと、このひとのお母さんと、このひとの娘さんのために、敬意をもって、ふつうの合唱団のように、真っ当に歌います。真っ当に歌われる歌は真っ当なひとたちに真っ当に届きます。

NHKは、そんな、ふつうに生活している真っ当なひとたちがまだ日本にいるのだ、という幻想を持ち続けたために、毎日「お便り」を読んであげているのでしょう。それはたしかに、真っ当な生活がまだすこしだけ残っていた、三・一一前の日本の風景を思い起こさせます。

○結果

子どもらのなかに、シヨパンくらいに進んだ女の子がいた。彼女には音楽があった。彼女に指揮を勧めた。みな真っ当な合唱団のように整然と並び、彼女がタクトを上げる仕草とともに一斉に楽譜を胸の高さに上げる、という演出はうまくいった。学校の授業のように整齊として歌った。このテキストを書いたNさんは、会場に見にきていて、たいそう喜んでいたら、とあとで聞いた。

この曲がよいという話で意気投合し、友人ができました。彼はその後いわゆる派遣切りに会いましたが、インディペンデントの労働組合にかけあい、彼らとともに雇用者に解雇理由の説明を要求し、説明は得られませんでしたがおそらく示談金あるいは口止め料というニュアンスで、満了していなかった契約期間分の支払い約一〇〇万円を得ました。その金で溜まった負債を払えばいいのに高級フランス料理店などで散財し、それまで金銭的に手の届かなかった文化的経験を積んだいいものの、気がつけば月々の利息の支払いに追われながら職業安定所に歩いて通う身になっていました。彼はそれでも正当な権利というものに固執し、補助金目当ての職業訓練でCAD製図をマウスの右クリック、左クリックの違いから学んだりしながら、二年通ってやっと得た正規雇用のチャンスもサービス残業の拒否や放射能汚染に関する妥協のない発言といったふるまいで反感を買ひふにしました。狂った世界で正当な権利を不特定多数の無産者の名において主張することの倒錯について彼は充分に自覚的でしたが、だからといってほかのふるまいを身につけるには年をとりすぎていましたし、哲学の古典を読みすぎていました。ただそれが自己正当化という形をとらず、ある種のユーモアを伴う律儀な実験的パフォーマンスとしていまでも継続されており、心身ともに健康を保つことができていたのは、そしてよく自身も彼の境遇に同情するとか心配するとかいうことがまったくないどころか、失業中の彼に遊ぶための金を借りることさえあつたりしつつ、友人でいつづけられているのは、ひとえにジャズのおかげなのではないかと思えます。シドニー・ベシエの演奏もよいと思えます。(T・A)

スリム・ゲイラードに「アトミック・カクテル」という曲がある。カウント・ベイシーの、ジャケットがキノコ雲のアルバム《ベイシー》も、通称「アトミック・ベイシー」だ。「っはっはっはっは」といつているだけのこの曲は、「すごい」というような意味で「アトミック」という言葉が使われたころの一連のジャズの、五〇年代のアメリカの空気を思い起こさせる(余談だが、サン・ラにも「ニュークリア・ウオー」というのがあった。これは反核ソングだけど。あと大木金太郎の「原爆頭突き」とかね)。《博士の異常な愛情》の最後の「*we'll meet again*」とかも奇妙にベイシー的な黄白色の明るさに満ちていた。わざわざ「歩いて職安に」という強調も、ジャズの、悲惨と隣合わせの明るさが、九・一一の『フニクリ フニクラ』(た)の体験を歩行レベルから日常に引き延ばしていくような作用がある、ということなのだろう。そう思うとやれたらやるということにしておかないと辻褃が合わない。ジャズが放射能を笑い飛ばせるなら、の話だが。いや、放射能に「っはっはっはっは」といえないところからはじまって「っはっはっは」というのがジャズのジャズたるゆえんなのだ。

◆子どもらに向けたテキスト

みなさんにはいい友だちがいますか。このひとは仲のいい友だちがいるようです。その友だちの人生は、「ある種のユーモアを伴う律儀な実験的な

パフォーマンスの継続」なんだそうです。どういう意味かわかりますか。きつとなにがあっても笑い飛ばすようなおもしろいひとだということなのでしょう。会社を首になったり、遊んでお金を使ってしまったりしても平気なのです。ふたりはジャズからそのカラ元気をもらいました。きつと世界が減じるまで、元気に生きていくでしょう（笑）。それは音楽の、とくに虐げられてきた黒人の音楽の、偉大なちからです。この曲は、ふたりが笑いなから歩いているように聞こえます。まずこのリズムを覚えましょう。そして、そのリズムに乗って歩きながら、「っはっはっはっは」と笑ってみましょう。なにか思いついた駄洒落をいってもいいです。この曲は、それで完成です。そしてもし将来、なにかつらいことがあったら、このリズムで歩いて、「っはっはっはっは」といってみましょう。そしたら、元気になるかもしれませんよ（っはっはっはっは）。

21

「ザ・リバー」ブルース・スプリングステーン

一曲を選ぶというのは簡単ではありませんでした……多くの曲にいろいろな形で支えられてきましたし、道を進んでいくためのちからを与えてもらってきましたから。

十二歳のころに、ブルース・スプリングステーンの「ザ・リバー」という、同タイトルのアルバムに収録されている歌をよく聞いていたのを覚えています。いまでもこの歌を聞くところが動かされます。

ぼくの父が一九八〇年代前半にこのレコードを買いました。ぼくの両親はぼくが子どものころとても若く、二十代前半でした。ぼくが十二歳のとき、両親が別れることになりました。ぼくは母とオスロ（ノルウェーの首都）に移らなければなりません。母とオスロの学寮に引っ越すため家を出るとき、父はそのレコードをぼくにくれました。当時そのアルバムをよく聞きました。

この歌を聞いている両親のことを考えて泣きましたが、同時に、どんなことがあっても愛を信じるという強さを与えられました。

三年後、両親はまた一緒になりました。これはぼくの人生のなかでもっとも幸せな瞬間のひとつで、この歌にもまったく違う意味が付け加えられました。「決して愛を諦めるな」。(H・A)

めっちゃええ話やー。

◆子どもたちに

みなさんにはお父さんとお母さんがいますか。いないひともあります。ほんとうの両親は別にいるか、亡くなっている、というひともあります。このひ

との両親は離婚しました。子どもは、両親が仲良くしていてくれるのがいちばん幸せです。そうでないと、あんまりつらいので、それがトラウマになります。トラウマというのは、こころの奥の、自分では気づかない傷のことで、大きくなってから急に思い出してパニックになったり、からだの病気の症状として現れたりします。このひとのお父さんは、離婚するときに、この曲の入ったレコードをくれました。この曲は、結婚したころに二人で川に行ったことを思い出して、経済的なことや、それにくっついてくるいろんな状況になったいまでも、最初の愛を信じようとする男のひとの独白（ひとりごと）のような形式をとっています。このひとは、この歌を聞いて、「どんなことがあっても愛を信じる強さ」を与えられた、と書いています。そして三年後に思いがけず両親が復縁しました。それはかれにとって、人生でいちばんうれしかった出来事のひとつになりました。この歌には、「決して愛を諦めるな」という意味が付け加えられた、とかれは書いています。わたしたちも、こういう話を聞くと、ほんとうによかったね、とかれと一緒に喜びたくなります。それにしても、夫婦が一緒にいるのは当たり前なのに、こんなに離婚が多いのはなぜでしょうか。この経験は、そんな、両親がふたたび一緒になることがなかった子どもたちのかなしみも、同時に思い起こさせます。

この歌は、全部歌うのはむずかしいので、たぶんサビ（曲調が変わる部分）の、

We'd go down to the river

And into the river we'd dive

Oh down to the river we'd ride

というところだけを繰り返し、

最後に、

that sends me down to the river

though I know the river is dry

That sends me down to the river tonight

Down to the river

my baby and I

という終わりの部分を歌います。

川に行く、というのが、この歌の主人公にとって、最初の愛をたしかめ、愛を信じることを決してあきらめないという決意の表明になっています。子どもたちは、両親が、かれらの川にいつも戻って、愛をたしかめることを願っています。そうした気持ちで、歌うといいと思います。

。感想

子どもらとサビだけ淡々と繰り返した。この子たちの両親は仲がいいかな、と思いながら。

22

「蛹化の女」戸川純

これは、ヨハン・バッヘルベルの「カノン」のカバー曲で、戸川純さんが作詞、そして歌っています。

月光の白き林で

木の根掘れば蝉の蛹のいくつも出てきし

ああ

それはあなたを思いすぎて変わり果てた私の姿

月光も凍てつく森で

樹液する私は蛹化の女

いつのまにかあなたが

私に気づく頃

飴色の腹もつ

虫と化した娘は

不思議な草に寄生されて

飴色の背中に悲しみの茎が伸びる

この曲を選んだ理由は、ティムさんが直接に読めるように英語でも書いてみました。なんだか、すごく長くなってしまいましたが……（そして重い話です……）。

アメリカの大学を卒業後に、私自身、とても閉じこもっていた時期に、友人が焼身自殺をしました。

とてもショックな出来事で、その悲しみや、彼女を救えなかった罪悪感から逃れるためにふたたび踊りはじめ、ダンサー仲間と彼女に捧げる作品を創ったときに、この曲を使いました。

友人と戸川純さんとがとても重なり合うところがあったのと、病院で最期に会ったときの、彼女の変わりすぎた身体がこの歌詞と結びついたのだと思います……。

いまでもこの曲を聞くと、胸が苦しいです……。でも、同時にこの曲に救われました。(Y・S)

戸川純を選んだら負けや、という気もするな、と身構えて読みはじめた。この曲のコード進行は、小室哲哉の分析にあるように、ほとんどのヒット曲に使われているものだ。かくいうぼくも、〈unknown happiness〉という曲でこの進行を使い、なんとかパッヘルベルを越えられない名曲喫茶らんぶる的なものと異なる世界を現出せしめんと苦闘したものだった。戸川はそれを放棄している。だからこの曲はぼくにとってははるか下にある。これは世との姦淫にはかならない。Y・Sも焼身自殺した彼女の友だちも、そのころの文化を身に受けて育った魅力的な女子であることは容易に想像できる。だからこそ、このテキストは、音楽の役割がどうこうというより、ぼくを当時の《宝島》を読んでいるころの自分に引きもどしてしまう。それが悪いといっているのではない。ぼくの側の死者をふくめて、それが世のものであるような、そんな物語なのだ。その元凶は、戸川がパッヘルベルと闘わなかったことにある。責めるなら純ちゃんを責めよ。喜ぶだろうよきっと。表と裏の、裏をこの歌に代表させることになるのは、「ナニをかくそうおしりもきれい」という彼女のCMみたいだな。やらない理由はないのだが、裏として裏なりの自恃があり、いままでのすべての評価基準に逆らうようだが、たんにぼくの側が恥ずかしくてやなんだ許して、というしかない。

23

(曲なし)

このプロジェクトについてこのところ考えていました。参加できればうれしいと思います。

でも、三十四年の人生のなかでわたしを助けてくれた歌というものがいまのところ思いつきません。

歌はわたしを助けてはくれないようです。でも音は助けてくれるのではと思います。

振動としての音はひとを殺すこともできます(地震や津波を起こしたり)が、ひとを助けることもできます。

わたしにとっては興味深いパラドックスです。(Y・I)

自分にとっても敵であり続け、アドルノなら全否定するであろうポップ・ミュージックをこうして取り上げている、という事態に無自覚であったわけではない。いままでは、「わざと」クリシェを使うしか近づく方法がなかった世俗音楽というものを、「伝言ゲーム」にして掬い取る試みだったわけだが、根底にはいつだってY・Iの諦念が横たわっていなければならなかったのだ。それを思い出させてくれたY・Iのテキストに、このプロジェクト全体が救われた気がする。やるとしたら、ただ口を開けて、歌うべき歌がないということを表現する、と決めた。

◆子どもたちに向けたテキスト

このひとは、このプロジェクトについてずっと考え、できれば参加したいと思っていました。でも三四年生きてきて、歌が自分を助けた、という経験がない、という結論に達したのです。

音そのものは、ひとを助けることも殺すこともできる、とこのひとは考えました。低周波というのをご存知ですか。それは橋を壊したり鉄砲のように壁をぶち抜いたりもできます。耳には聞こえないけれど若いひとの嫌う高い周波数(音の波)を店の前に流して、ヤンキーのひとたちがたむろするのを防いでいるコンピニもあるということです。犬にだけ聞こえる笛もありますし、音はいろいろな場面で活用されています。このひとも触れているように、地震を起こすHARPという兵器さえあります。でも、音楽は、役に立たない、とこのひとは思っています。これは大事な考え方で、こういう考え方のひともいるんだ、ということを知るのはこのプロジェクトに関係するすべてのひとの益になるし、このプロジェクト自体の健全性を証するものとなります。

歌うべき歌がない、というのは真実かもしれませんが。どうしようもない災害に遭うとき、言葉も被災するからです。音楽も言葉も、基本的に絶対的な死の前には無力になります。無力ではないふりをする音楽や言葉をでっち上げるよりは、無力だと言い切ってしまったほうがんだかせいせいで力がわいてきませんか。

たとえば、放射能に汚染された地域の農家のひとに、「がんばれ」と声をかけても、怒られるかもしれません。音楽をプレゼントしても、それどころではない、と突っぱねられるかもしれません。かける言葉のないひと、聞かせる音楽が思いつかないようなひとたちが世界にはたくさんいます。音楽で世界を救おうというような運動は、だから限界があります。命の危険に直面するような思いを共有しなければ、軽々しく同情したりしてはいけま

せん。それはかえって、そのひとたちを傷つけることになります。

歌うべき歌がない、というこのひとの意見は、そうしたいまの日本の状況のことも、考えさせてくれます。

だからこのひとのテキストをとりあげて、わたしたちのやれることを考えてみたいと思います。

ならんで、合唱団のような体勢をとります。口をあけて、いまにも歌いだしそうにします。でも、歌いません。手や足や体で物音を立てるのはオーケーです。歌うべき歌がない、ということ全身で表現します。そこに、外からサイレンの音が聞こえてきたら最高です。空襲の爆撃の音が聞こえてきたら最悪ですけど。

。結果

子どもたちは口をあけて、ずいぶん長いこと静止していた。観客が、わずかに動揺するのがわかった。

24

〈花になる〉奥田民生

ざっくり、脱サラとか海外的な仕事とか労働（震災直後）とか。おおむねチャレンジングな状況に、進行形で直面していたときに聞きました。

ということとは、手強い出来事に対峙するとき、わたしは歌を使うのだろうと思うのですが、なぜこの曲だったのかはわかりません。わかりませんが、これを書いていて思ったのは、ひとつて多分、ある程度予測している出来事の枠があつて、そこからはみ出した予想外の出来事がちょーネガティブだと「悲劇」とか「不幸」と呼び、そうでなければ「歓喜」と分類するのかなあ、ということでした。もともと「未来」は予測不可能なものだし、物事はつねに淡々と起こります。ひとはそうして起こった自分の人生の出来事を、脳内劇場で増幅させたり、俺バージョンで捉え直したりして認識しているはずなので、実は、自分の思いひとつでシアワセ度も不幸の閾値も変えられるわけです。極端なことをいえば、もしかしたら「悲しみ」は「過去」と「記憶」にしか存在しないものかもしれません。それなのにあえてなぜ、ある物事のことをつらいものとして受け止めてしまったり、未来にまで望みがないと決めつけて落胆してしまうんだろう？ ……なぜかそんなことを考えてしまいました。そういう、落ちそうなときに陥りがちなヤバい思考を抱くとき、歌というものが耳に聞こえてくるのかもしれない。（M・M）

「悲しみ」は「過去」と「記憶」にしか存在しない・というフレーズはどこかで見た。奥田民生はパンツの色にまで験を担ぐ気の弱い男である。かれの詞に意味がないのは、逃げようとしているからである。同じく、M・Mも逃げようとしている。最近、「アジアの純真」の「いい感じ」とはなんだったのか、というつぶやきがあった。バブリーな処世術が有効か、という問いであろう。気の弱さが、強さになっている、そういうニュアンスを出すのはむずかしい。骨がないのに甲殻類になろうとしているようなものだからである。「労働（震災直後）とか」とあるのはふつうなら安い派遣の肉体労働しか思い浮かばないが、その前に「脱サラとか海外的な仕事とか」とあるので、きっと外資とかだ。それだったらアノニマスなアクティヴィストになれば脳内物質の閾値も変わってくるだろう。落ちこみそうなときに聞こえてきて、悲しみつて幻想でしょ、みたいなことを考えてすこしやりすごすのに役に立っている、ということなので、やってもいいのだが、今日はお金がなくて、合唱のことはあまり考えられないんだ。

25

〈チェンジズ〉2 パック

高校二年のアメリカ留学時に、MTVで知った曲です。日本を離れて半年くらいのときで、留学前のアメリカへの憧れのイメージもなくなり、ホームシックだったころ、ホームステイ先の家にひとりでいるときにテレビから流れていました。ホストブラザーの持っていたCDのなかにたまたま、この曲が収録されていたアルバムを見つけ、しかし（不仲で）いいだせず彼がいないときを見計らってこっそりダビングしたものを繰り返し聞いていました（笑）。歌詞はほとんど聞き取れませんでした、とても勇気づけられたのを覚えています。ラップを聞きはじめるきっかけの曲でもあります。（Y・K）

2 パックのこの曲は、コーラスは無理とはわかっているが、「おれたちはまだブラックの大統領の誕生を目にしていな」とか「食事を変えて互いへの接し方を変えよう」とか、先見的なところがあるギャングスターだった。Y・Kは、この曲を、「不仲だった」ホスト・ブラザーのCDをダビング（古い習慣です）して聞いたのだ。そこがいちばんこの文章の肝だと思う。好きだったひとが聞いていた曲を、自分は好きではなかったが、別れてから聞いて号泣、というパターンの間逆だからだ。音楽が一人歩きしている。ラップというジャンルにY・Kが誘われたのだ。相手をディスりながらともにブラザーとして成長してゆく、ラッパーの帰属意識の不思議な非暴力的側面の面目躍如じゃないか。日本の地方でラップをはじめするために用意される物語は脚色されるが、日系ブラジル人がそれほど違和感なく自然にラップを選ぶように、かれがベースにしていたかれなりの疎外感を2 パックが呼んだのだ、ということだと思う。やるとしたらホログラム化された故2 パックが子どもを手招きし、その映像のなかへ入っていった一緒に歌う、とかですね。

くサマータイムブルース〉渡辺美里

高校生のときに、好きだった女の子が聞いていたので、自分も聞くようになりました。

ななに直面していたのかといえば、恋に直面していたとでもいうのでしょうか。

一八年経ったある夏の日、嫌々出張に向かう車のなかでラジオから偶然この曲が流れ、わけもわからず涙がこみ上げてきました。

もう音楽を聞くことはめっきりなくなりましたが、好きだった曲は忘れられないし、懐かしい気持ちを思い出させてくれます。(H・O)

そんなに好きな曲ではなかった。サビのコード進行が「く小さな願い」(16)に似ている。恋にまつわる思い出の曲は、ほかの曲でもよかった、というケースがほとんどだ。自分が見下していたものから復讐される、という原型はフェリーニの《道》だろう。歯牙にかけてなかったジャンルの曲が、ある異性とのアフエアーをきっかけに身に迫る。そういう意味で、おそらくは「嫌々出張」という運命が待ち構えている青春のなかで音楽としては凡庸、それゆえに「音楽としての劇」としては普遍。コンセプトには、合っている。H・Oは「音楽を聞くことなどもうめっきりなくなった」ひとだ。そういうひとという言葉には真実味がある。音楽が好きではなくても、音楽が侵入してくることがある。それは興味深い現象ではないだろうか。プロテクションではないかもしれないが、その現象をただ報告しているような、とても自然なテキストなので、かえって音楽がなにを成すかということの一例として印象的になっていると思う。それで、そんなに好きな曲ではなかったのに、ある瞬間から、H・Oの気持ちがばくに伝わったのだ。

◆子どもに向けたテキスト

このひとは、普段は音楽など聞かないひとです。三〇代なかば(みなさんのお父さんくらいでしょうか)になって、「嫌々出張に向かう車のなかで、ラジオから偶然この曲が流れるのを聞いて」一八年前、高校生のころ好きだった女のひとを思い出して、「わけもわからず涙がこみあげてきた」といっていますね。音楽が好きではないのに、急に音楽がこのひとに侵入してきたかのようです。

この曲をみなさんはどう思いますか。いい曲だなあと考えるひともあるだろうし、ふつうの曲だ、たいしたことないじゃん、と見下すひともあるでしょう。恋にまつわる思い出の曲は、ほかの曲でもよかった、というケースがほとんどです。きっかけはたいがい、好きだったひとが聞いていたので好きになった、というだけで、音楽そのものを好きだったわけではないような気がします。

でも音楽のほうはそのひとのことを覚えていて、一八年も経っているのに、急にそのひとのなかによみがえって、思い出とともにほんとうに胸をし

めつけたのです。ほとんど音楽を聞かないというひとのことなので、かえって真実味があると思いませんか。それは興味深い現象ではないでしょうか。

この曲を歌うときは、ラジオの音が似合っています。だから、カラオケを録画して、PCに取りこんで、その画面を覗きこみながら歌ってみましょう。そのほうが楽し、音が貧弱でラジオに近いからです。練習は、前もってyoutubeを見ながら、一緒に何回か歌っておけば大丈夫だと思います。この曲がいいなと思うひとは、一生懸命歌えばいいし、平凡だな、と思うひとは、ふうーんという感じで歌えばいいです。でも大事なのは、そんな曲が、みなさんのお父さんくらいの男のひとを泣かせた、ということ覚えておく、ということです。

27

〈世界中のこどもたちが〉（中川ひろたか作曲 新沢としひこ作詞）

この歌をはじめて歌ったのは小学校の教室でした。

世界中のこどもたちが一度に笑ったら 不気味

わたしたちはときどきそんな替え歌をつくっては笑いあいました。

それから一〇年ほどたった冬のある朝のことです。

わたしは教室を抜け出し、雪の降るなかを歩いていきました。

森の奥に続く道がある。

わたしは森に立つ墓標の前で手を合わせました。

そのとき、どこか遠くのほうから歌声が聞こえてきました。

世界中の子どもたちが一度に笑うことなどない。

わたしは、そのことをもう知っていました。

そのような世界に自分がたった一人で立っているのだということも十分に知っていました。

わたしは教室に戻りました。（R・Y）

最初は推せるとおもった。アイロニーとして接することからはじまり、さらなる絶望に至ったというわけだ。子どもの歌、というジャンル。能天気な、キャンプ場みたいな嘘っぱさ。たとえばある男に、実は家族の知らない娘が別にいる。娘とその母親は、山奥で暮らしていた。男が訪ねていった夜、三人で温泉に行った。車のなかで、三人で「キャンプだホイ」と「山賊のうた」を歌った。それは男がいままで歌った歌のなかで、いちばん悲しい歌だった。音楽は、つまらない歌を、悲劇に変える。それはプロテクションというより、なんだろう。ただ悲しいだけだ。しかし、R・Yが「世界中の子どもたちが一度に笑うことなどない」ことを知ったのは直観だったのか、なにか経緯があつたのか、そこに関する情報は「墓標」「世界に自分がたつた一人」以外は殺ぎ落とされている。だが「悲しさ」より創作としての彫琢が勝っているくらいがあり、解釈を加えてしまえば、新劇めいたドグマとしての演出にしかないだろう。それに、このテキストを読んでから歌うと、子どもがづらい気がする。

28

〈星影の小径〉ちあきなおみ

ずいぶん昔、恋人とよく真夜中の街を彷徨しました。

二人とも貧乏で、散歩ぐらいしか楽しみがありませんでした。

この曲を聞くと当時のことが思い出されます。

彼はもうこの世のひとではありません。(T・A)

この人は匿名希望だった。ブックレットの巻末に名前を載せてくれるなというひとはほかにもいたが、このテキストで描写されている風景と物語の普遍性を味わってしまうと、音楽の「プロテクション」は最終的には匿名性を要求するのではないかとさえ思えてくる。

◆子どもたちのためのテキスト

このひとは、匿名(とくめい)希望なのです。音楽の役割とはなんでしょう。それは、音楽が、匿名性(名前を伏せること)を要求してまであるリアルな実体を物語ろうとするときの、そのひとの動機付けとなることです。それによって、そのひとの個人的な物語は普遍化(個人的の反対で、みんなが自分のことのように思えるようになること)します。

ふたりは真夜中の街を散歩しながら、いろんなことを話し合ってたでしょう。「じっとして　じっとして」というところを歌いながら、「じーっとしてるだけっていいと思わない?」「そうだね」とかいって変てこな遊びをしたかもしれませんが(まったくの妄想ですけど)。わたしたちは、ふたりが夜道を歩いているところを想像して、歩きながら歌います。この歌のなかの夜風はそんなに冷たくないかもしれません。アカシアの花が咲くのは初夏だからです。

そんなふうに思ってた歌うと、この物語はもう、このひとといまはこの世にいないこのひとの恋人の話ではなくなります。真夜中の街を歩いているのはわたしたちです。

○やってみた感想

二重唱にしたが、難しかったので「アイラブユー　アイラブユー」のところだけ練習した。そこはきれいにハモれた。

29

〈雨〉(詩・八木重吉　曲・多田武彦)

二〇一一年　東日本大震災の直後、死者たちへの思いが激しく自分を攻めました。

深い悲しみのなか、それでも生きてゆく。しかしどのようなところを持って人生をすごしていいのかわかりませんでした。そのようなとき偶然この歌に出会いました。

亡きひとたちへの悲愛の扉が開き、生きてゆく人間の魂にそっと手を差し伸べてくれる歌。

わたしはこの歌に救われました。(K・T)

雨の音が聞こえる

雨が降っていたのだ

あの音のようにそっと

世のために働いていよう

雨が上がるように

静かに死んで行こう

「復興」にはいいなと思った。八木重吉が、死ぬ、というときはちょっと曲者だが。またどこかで生きると思っているから。K・Tは、この歌から、震災後、「どのようなころを持つて人生をすごしているのか」という問いの答えを得た。それは津波の死者に対する生き残った者の鎮魂には有効だった。ただぼくの考えをいわせてもらえば、それは被爆の死者に対しても同じだろうか。ぼくにはこのような真つ当な救われ方ができない。もがいて、もがいて、憤激すべきものが世界にはある。ただ、こういうふうに着きどころを見出せる、という鎮静剤として音楽がある、ということでは重々承知している。歌ってみてもいいくらいだ。でも賢治がいうならまだしも、クリスチャンの八木には悟ったようなことをいわれたくない。そりゃあエゴつてもんです。デモがエゴつて言い方もありますけど、生命線かけたところに追いこまれた叫びつてのがどうしたってあるんだ。被爆の死者もそうだが、被爆して生きているひと、かれらの未来の子ども、人間以外の汚染もそうだ。鎮魂は不可能だ。自分にはそういう静かな崇高なものは、やる資格がない。罪人だからね。

8

〈人生よありがとう〉メルセデス・ソーサ

一九八六年、大学を卒業してすぐアルゼンチンを訪れる機会があり、そこで地元の人々の勧めでメルセデス・ソーサのベストアルバムのカセットテープ（当時まだCDはなかったのので）を買いました。残忍な軍事独裁が終わりアルゼンチンが民主主義を取りもどしてちょうど千日目にあたる時期で、ブエノスアイレスの空気は新しい政権を迎える喜びと自由に満ち、ぼくは強い印象を受けました。日本にもどつてからもしばらくは興奮が冷めず、そのテープを繰り返し聞きました。

愛と自由をめぐるソーサの音楽（原曲はチリのピオレタ・パラ）はその後長いあいだぼくの音楽生活の大きな部分を占めていました。そうしたある日、ぼくは恋に落ちる。そのひともまたソーサの大ファンで、ぼくらはソーサやほかのラテンアメリカ音楽を一緒に聞きながら多くの時をすごしました。でもその恋は長続きせず、それまでになかったほど深く傷ついてしまった。つらくてつらくてどうすればいいのかわからない。プールへ行き疲れきるまで何往復も泳ぎました、一かきごとにかれの名前を呼びながら、この歌を歌いながら。

「人生よ、こんなにも多くを与えてくれてありがとう。白と黒を、夜空の星を、群衆のなかにわたしの愛する男を見分けることのできるこの両の目を、与えてくれてありがとう」と歌うこの曲を、この状況で歌うのは矛盾でしたが。いまでも無意識に口ずさんでいることがよくあります。空っぽな心を満たし、かつて愛したひとのこと、二十年以上前のアルゼンチンの自由と生に溢れた活気を思い出させてくれる。生きていくために必要な勇気を与えてくれる。（T・K）

集まったなかでも感情の力をもっとも力強く語ったテキストだった。やろうと思った。人生よありがとう、という歌を子どものときに歌ったなあと、将来思い出すことがあるかもしれないし。

◆子どもたちに

みなさんは同性愛、あるいは性同一性障害、トランスジェンダーと呼ばれるひとびとのことを知っているといます。同性同士の結婚を認めている国もあれば、禁止している国もあります。そのひとたちは生まれつきそうなのでしょうか。それとも生まれてからの環境がそうさせたのでしょうか。いろいろな意見があるし、同性愛者のなかにもいろいろなひとびとがいます。ひとつだけいえるのは、そのひとたちは差別されてはいけないこと、そして、ぼくの知る限りそうしたひとびとの多くが自分に正直で、純粹で、しばしば知的で創造的だということです。人間は本来男女が結婚するように造られていましたが、人間のつくった社会全体が健全な状態にないいまは、生まれる前や生まれたあとのからの、いろいろなありさまが見られるのは仕方がないことで、さまざまな立場のひとが互いを受け入れていかなければならない、というのがぼくの考えです。

このひとは、アルゼンチンでの経験と、このひとの恋愛、そしてこの曲が結びついている、という美しいテキスト（文章）を書きました。テキスト全体に、ある種の透明なかなしみが感じられます。この歌の「人生よ、ありがとう（¡Gracias a la vida!）」というメッセージが、このひとの人生と結びついているありさまは、決してふつうの感慨からくるものではありません。このひとは純粹にかなしいのです。

だから、「人生よ、ありがとう」という歌詞は、震災からの復興を励ますのにいいですね」といったあたりまでの言い方は、ちょっと違う気がします。これは津波からの復興ではありません。なぜなら、そうした「がんばれ日本」といった言葉には、原発事故からの復興の不可能性の視点がありません。

このひとは、自分がゲイであることをカミングアウト（告白）するひと特有の美しさで、口ずさんでいた歌が不意に腑に落ちる瞬間のことを描写しています。「¡Gracias a la vida!」と「一かき二つに」つぶやきながら疲れきるまで泳ぎます。音楽は「空っぽ」な気分のかげを満たしてくれますし、「かつて愛したひとのことや、二十年以上前のアルゼンチンの自由と生に溢れた活気を思い出させてくれます」。昔のことを思い出して溺れそうになることを、「ノスタルジー」といいます。

歌が新たな意味を帯びるようになる、という経験は、「ウォール（壁）」と想っていたもののなかに、さらに「ウォール」があったことを知るようで、その体験は深みを帯びて響きます。愛の復興が、ノスタルジアの津波に吞まれる瞬間です。それは放射能より強い愛です。むずかしく書いてしまつてすみません。みなさんは、「¡Gracias a la vida!」と歌えたら、それがいいと思います。

○感想

本番では一音だけでもギターで出したい音があり、それが弾けてよかった。

31

〈老いばれ犬のセレナーデ〉エゴラッピン

二〇代後半の引きこもり生活からは脱出したもののこの歌をよく聞いていた三〇代後半のわたしはとりわけ孤独と死と終末論に取り憑かれていた。わたしが死んでもあるいは人類が滅亡しても、この歌を聞いているときのような豊かな時間の記憶は残るだろうと思うことで奇妙に満たされた気持ちになりました。（S・T）

こういう歌い方はたしかに歌を聞いているという錯覚に陥る。S・Tは、「豊かな時間の記憶に満たされた気持ちになる」という音楽の効用について述べている。いかにも音楽音楽した音楽を聞いて、音楽そのものよりもああ音楽を聞いているんだなあとという体験を捉えているのだ。たとえば大野一雄における、生涯唯一の即興とされた時間を豊かにしたのは、意外にも誰かのかけたベット・ミドラーのLPだったという。それは舞踏家的な感性で音楽を扱おうとするかれの習性が呼び寄せた偶然的出来事だったのではないかと思う。このテクストからも同じようなにおいを感じる。だから「この歌を聞いているときのような豊かな時間の記憶」のようなものは、再現しようとするよりそれそのものが偶然に再生されたほうがいい。それに、「孤独と死と終末論と滅亡」にたいする「プロテクション」が「奇妙に満たされた気持ち」だけだったのだとしたら、S・Tの〈老いばれ犬のセレナーデ〉体験は、「ウォール」としてのかれの身体を超えた領土を持たない。このエゴラッピンの充足には「汎」とか「愛」とかそういう言葉が足りないのだ。だから「奇妙」な「満たされ」方なのだ。囚人が音楽産業という看守に鎮静剤を与えられたようなものだ。「豊かな時間の記憶」を呼び覚ます歌声（例えば似たフォーマットで言えばKANZAKとか）はたくさんあるのに、なぜか老いばれ犬のセレナーデだったのが説明されないままだと、「二〇代後半の引きこもり生活」の質まで世界に規定されてしまうことになりかねない。テレタビーズという英国の子ども番組で、ララというキャラが

〈lovely song〉という歌を歌う場面に偶然出くわした。歌詞はただ、lovely song, lovely song, lovely, lovely, lovely songというものだった。ぼくだったら「孤独と死と終末論と滅亡」にたいし、世界との距離をもってそれを歌う。

32

〈終わらない歌〉ザ・ブルー・ハーツ

周囲の発言に流されそうだったり、置かれている立場や状況から、建前だけでやりすごそうとしている自分に気がつく、大事なことから目をそらすそうとしている自分もいるわけです。

そんな時、軌道修正にこの曲を聞くことが多いと思います。

非常に単純なリズムです。

非常に単純な歌詞です。

「ですよ。そうでした。はい、がんばります！」と誰に向かって改心し、宣言しているのかわかりませんが、そんな自分がいます。

歌詞の一部抜粋します。

「なれあいは好きじゃないから誤解されてもしようがない

それでもぼくは君のことをいつだって思い出すだろう」

思い出す相手がいて、わたしを思い出してくれるひとがいて、

それだけで、実は十分で、クソツタレな世界も結構愉快に歩いていけるのだと思います。

と書いていたら、いまさらながら見えてきました。

誰に向かって改心し、宣言しているのか。

思い出す相手、わたしを思い出してくれるひとに向かって宣言していたんですね。

たぶん、そうなんだと思います。(C・K)

ブルー・ハーツは同じアルバムから二曲も挙げられるなんて、人気がある。C・Kは、歌を聞くことで、考えてもわからなかったことを、書きながら考えて、いい結論に達した。歌の効用はこういうところにあるのかもしれない。ただ歌に励まされるのではなくて、考えることによって、いつてしまえば誤読によって音楽は進んでいけるのだ。その誤読は論理的である必要はない。「誰にたいして後ろめたさを感じるのか、それは自分が後ろめたさ

を感じる相手にたいしてである」というような論理循環であっても「愉快に歩いていけ」ればいいのか。誤読によって「愉快に歩いていく」劇。役者はヴァイトゲンシュタインにやつてもらいたい。

33

〈日曜の朝〉ザ・ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ

自分ではどうにもできない力によって人生がどこか知らないところへ押し流されかけていたある一時期、この曲が避難所のような役割を果たしてくれたことをたしかに覚えています。(A・K)

気持ちはわかるが、このプロジェクトはぼくにとっては異ジャンルの演劇的救済の意味があるから、この曲は恥ずかしい。それに、子どものころ親に無理やり連れられて教会に行く習慣のない日本人には、この歌のほんとうの *feeling* はわからないだろう、などとまずは抵抗したのだったが、それを脇に置いて考えてみた。

もつと底辺だとくシスター・レイとかいうはずだから、〈サンデー・モーニング〉を、幾分の含羞をもつて過去形で口にするということは、「アングラ寄りだが」・ポップみたいなバンドマン」みたいなひとを思い浮かべてしまう。ここからは完全な想像である。書き手の意図は全然違うと思う。でもこれは不可避の可塑的で爆発する (*exploding plastic inevitable*) ドグマによってつないでいく伝言ゲームだからね。調子に乗って、仮に、A・Kの芸名を「アンジー」としよう。幾分ヴィジュアル入ってるけど。アンジーにとって、この曲は、「自分ではどうにもできない力によって人生がどこか知らないところへ押し流されかけていたある一時期」、「押し流される」ことを引き止める錨、座標のような「避難所」になっていた。ヴェルヴェッツはアメリカでは一応メジャーだったのに、日本では、アンダーグラウンドの象徴になってしまった。ために、高円寺には幻想のロック・クリティークがいて、かれの是認を受けなければ音楽をしている意味がなくなる、原点みたいなものから漂いでてしまう、といったようなオブセッションがあったことを、インディー・ズ時代のアンジーも「たしかに覚えている」。ところがメジャーのレコード会社が、バンドからアンジーだけを引き抜こうとする。メジャーかインディーか。悩むアンジー。そんな夜アンジーは、しがみつくべき母体としてこの曲を抱きしめようとするのだった。なんかあまりにロック漫画になってきたのでやめる。しかしここで重要なのは、音楽の役割、というよりアンダーグラウンドというジャンルの役割だ。ヴェルヴェッツというジャンルが、バンド運営に関する表現者の良心を守る役割を果たしているのだ。「押し流される」というのが、そういうことだったとすれば、ヴェルヴェッツに関するこのテキストを発表することは、音楽的なスタンスの話になるはずだが、それにかんしては、「この曲が避難所のような役割を果たしてくれた」と過去形でしか述べられていないので、それがこの架空の物語の力点をあいまいなものにしている。子どもの合唱団では

できなかった、というのはそういう理由にしておこう。やるとしたら「サンデー・モーニング」を歌うときだけJASRACに通報して、新井が渡り合う、とかね（笑）。

34

〈ピリマ〉ユッスー・ンドウール

人生でいちばん自由に生きていたときに聞いていた曲。

だからいまは聞けなくなった曲。

音楽も写真と同様で、聞くことを日常としてしまうと、そのときのリアルななにかが色あせてしまうから。

本当に好きなものはそうそう出せない。しまっておく。

いつか本当にダメなときに、きつと助けてもらいます。（M・Y）

でも、歌詞をよく見ると、ムネオを支持する松山千春みたいなものだ、セネガルでは。「自由だったころ」、サウンドだけを聞いていたんじゃないのか？ ただ、M・Yは、「聞かないことで守りになっている」音楽という視点を提示した。ある意味で、これもすごいことだと思う。自由な音楽と自由な自分がある、という確信をキープするために、しまっておく音楽。それを合唱してしまつたらどうなるのだろうか？ 色褪せてしまうだろう。だから今回は、みなさんの頭のなかでそのイメージだけ鳴らすのがいいと思わないか？ ほんとうは自由ということを表現する舞踏で応えしたかった。やらない理由は、ただサウンドを再現するのが難しいから。

35

グレン・グールド演奏 〈ゴールドベルク変奏曲〉BWV九八八より 最初のアリア（一九八一年録音版）

約二〇年前、わたしは人間関係で悩んでいた。それをうまく解消する方法を考えたが、次第にストレスが重くのしかかるようになり、自分の人生の舵取りもままならぬ状況に陥ってしまった。いつそのことあきらめて、本望ではない未来を受け入れることになるかわかっていても、流れに身を任せてしまうおうかと考えたことすらあった。

グレン・グールドが演奏する〈ゴールドベルク変奏曲〉（一九八一年録音版）を聞いたのはちょうどそのころだった。最初のアリアの透き通った静

かな出だしは、荒地地を通じてここまで流れてきた、ひんやりした水を湛えた小川のように感じられ、その小川の上流を辿れば出口が見つかるかもしれない、とわたしは思った。さらにアルバムを繰り返し聞くうちに、これがひとの生涯を、誕生から青春期、成人期、そして老後を経て穏やかな最終までを物語っているように感じられ（現実の人生同様）、愁いを帯びた曲もあるが、アルバム全体を覆うポジティブな力にわたしは励まされた。おかげで、正面から問題に立ち向かえば、解決策がかならず見つかる、と思えるようになった。そして自分の人生の方向性を正すために、わたしはここを決めて、やがて前に一歩踏み出した。

わたしはクラシック音楽も好きだが、普段はロックやソウル、ジャズ、ブルーズ、あるいはジャンルの枠を超える音楽を聞いている（そのため、「ウォール・オブ・サウンド」というフレーズを聞くと、フィル・スペクターがプロデュースした作品をつい連想してしまう）。だがティム・エッチェルスさんの今回のプロジェクト〈ウォール・オブ・サウンド〉において「人生のある時点において自分を支えるため、あるいは守るために使った歌」を紹介するにあたり、瞬時に頭に浮かんだのは、ボブ・ディランやビートルズ、マーヴィン・ゲイ、マイルズ・デイヴィス、マディ・ウォーターズ、YMO、あるいはペンギン・カフェ・オーケストラやデイヴィッド・バーンの曲ではなく、グレン・グールドによるこの〈ゴールドベルク変奏曲〉の最初のアリアだった。上述のように励まされて以来、わたしにとってこのアリアは、ブルーズミュージシャンたちの語を借りれば「モジョ」、すなわち「お守り」のようなものとなった。いつでもすぐ手許にあるとわかっていてと安心なので、いまではiポッドのなかをどんなに入れ替えても、このアリアとそれに続く変奏曲はかならず入れるようにしている。

一歩踏み出してからしばらく経ったころ、わたしはのちに妻となる女性に出会った。結婚式で彼女が父親と一緒に入場する際に〈ゴールドベルク変奏曲〉の最初のアリアを演奏するようわたしはオルガン奏者に頼んだ。それから二年後に息子が、また六年後に娘が生まれ、彼らが産院から自宅に戻ってきたときにわたしが最初にしたことは、このグレン・グールドのアルバムを聞かせてあげることだった。この子たちの新しい人生が祝福されることを願いながら。（T・F）

〈ゴールドベルク〉は「ピアノとはなにか」というコンサートで演奏したことがある。覆いを外したアップライトの下に潜りこんで鍵盤を押し上げながら右手部分を弾き、ピアノに見立てたギターとバスドラのキックを並べて左手部分を演奏する。最後にまともに弾こうとするが、ピアノが斜めに倒されていて鳴らなくなる。「ピアノがかわいそう」と批判されたりしたことを想い出した。

書き手の書斎が見えるようなこのテキストは、ぼくの〈ゴールドベルク〉とはあまり関係がない。歳は同じくらいかもしれないが、住む階層が違う

し、背負いこんでいる荷物の中身がちがう。ぼくは、なんといいたらいいか、とにかく、そういうものではないのだ。

東京文化会館ではマヘルのコンサートもあって、どちらがいいですかといわれ、スタンウェイよりベーゼンドルファーを選んだ。

36

〈化粧〉

イギリスでインターンシップのため滞在していたとき。理想もしくはあるべき姿と、現実の自分とのギャップを、頭では理解しつつも、無意識にプレッシャーに感じていたり、虚無感に襲われたり、単純に自分の無能さにあきれたりしていたとき。三〇歳をすぎてもナイーブな自分を発見してびっくりしたこと。もう一生会わないであろう刹那的な友だちとつるんでいた時間。そして、孤独。イギリスにいるのに日本の歌を聞いたりして、馬鹿だなど、さらに自分を追いこんで、無理矢理涙スイッチを押して、リフレッシュしていた曲。(M・T)

最初に届いたテキストには、アーティスト名がなく、ただ〈化粧〉とあった。それだけで、「M・Tさん、中島みゆき、と書かずにただ〈化粧〉と書くところもかなりあれですよ。今夜死んでもいいからきれいになりたかったんだね。うんうん」とこちらの意識が類型化してしまう。ただ実際に歌のような失恋をしたかという、そういうことが書いてあるわけではない。外国にいて、自国の歌を聞く、という行為は保守化を促す。ぼくもロンドンにいたとき、《文藝春秋》とか読んでおじさん化してましたもん。彼女の場合は特に、この曲によって、「三〇すぎても自分のナイーブさを発見した」ということから、異国にいながら自国語で聞く歌詞の、繊細な役割、というものが浮き彫りになっていると思う。日本に帰ったら会わないであろう「刹那的な友だち」のなかで、音楽が「ウォール」になっている。そこに逃げこむことで日本食を食べるように情感を回復させる。せっかくロンドンにいるのに、中島みゆきを聞いて、ロンドンにいる意味を矮小化してしまう気持ちにはよくわかる。「馬鹿だね、馬鹿だね、馬鹿のくせに」と「さらに自分を追いこんで」、「現実の自分」と「理想もしくは自分のあるべき姿」との「ギャップ」そのものにたいして「プロテクト」する。ぼくもロンドンで日本のチャートばかり聞かされていた。

◆子どもに向けたテキスト

みなさんは外国に行ったことがありますか。このひとはロンドンにいるときに、この歌が役立った、といいます。ほんとうはそんなに不幸ではなかったかもしれませんが、自分のことを「馬鹿だね、馬鹿だね」と「追いこんで」、異国の心細さのなかで「リフレッシュ」していた、ということです。中島みゆきさんは、この歌では感情をさらけ出してしまう歌い方をしていて、それが多くの女のひとには「無理矢理涙スイッチを押す」のにいい

みたいなのです。もともと、ほんとうに失恋したひとにはたまたまなく悲しい歌であることは間違いありません。失恋してないひとでも、そんなふうに分がなっている気にさせます。ぼくもいま聞いていて、とてもかなしい気分です。

自分を小さく見せることを「自分を矮小化（わいしょうか）する」といいます。このひとは、わざと自分を矮小化して、異国の地で、理想と現実のギャップ（差）に悩む自分を守ろうとしたのです。音楽は壁になりました。それは、日本食を食べるようなものだったかもしれません。そして、「三〇歳をすぎてもナイーブな自分を発見してびっくりした」とあるとおり、こういう歌を聞いて素直に泣ける自分に驚きもしているのです。

歌い方の案として、その「矮小化」を表現する、ということを考えました。みなさんはまだ大失恋をしたことがないでしょうか（わかりませんけど）、悲しいふりをするのです。そして自分を小さく見せるために、うずくまります。歌というのは、なかなか五線譜に書けるものではありません。そのときの気分で、音程は揺れます。声が裏返ってもかまいません。うずくまった状態で、どこまで悲しく歌えるか、ためしてみてください。でも、笑ってしまつてはいけません。ほんとうに失恋したひとがかわいそうですからね。

○練習とその結果

みんな失恋したことある？ と聞いてみた。「ない」「ふったことはあるけど」という答えだった。中島みゆき知ってる？ 「知らない」。お母さんは知ってた？ 「知らないっていつた」。本番でも子どもたちは一切泣きの情感を交えずにほそと歌った。Tさんは実際に観にきてくれていて、あとで、「これで吹っ切れました」と感想を述べてみせた。

37

〈ナンバー・ワン・エネミー〉ザ・スリッツ

派遣切りに遭い、労働争議を起こしたことがあります。団体交渉における雇用者側の交渉役の世慣れた態度は、どこかエレガンスを感じさせるもので、そのことがわたしを不安にさせました。彼から受ける洗練された印象は、軋轢を生み出すことの不寛容さを遠回しに反省させるもののように思えたのです。そんな折、しかるべき相手にたいして決然と敵対することの晴れがましさを歌ったこの曲が頭をよぎりました。この歌の愚かさど野蠻さが、偽りの和解からわたしたちを守ってくれたように思います。（S・A）

音楽には二種類しかない。スリッツ的なものとレインコートの秘密にかかわるのは後者のみである。スリッツ的なものはプツ

シー・ライオットに引き継がれていく。運動関係者に求められているのは、実はレインコートのずれなのだ。それこそが真の革命である。それをわかって聞くなら、スリッツはひとつの「ウォール」となりえる。S・Aにとってスリッツは反抗の気分をキープするためのツールとなった。さらさらした音楽がかれの闘争を助けた。野蠻さが「プロテクション」になる、という事実に注意を向けたことで、単なる癒しを音楽に求める先入主と一線を画するもので、評価できる。小学生にフォーレーターを叫ばせたいか、ということにもなるが。

◆子どもに向けたテキスト

このひとは「派遣切り」というものにあつて、会社とけんかをしました。「派遣」というのは、正式な会社員ではないけれど、一時的にアルバイトで雇ってもらっているひとびとのこと。正社員が受けるさまざまな福祉を受けられません。会社は、「正社員」を雇うより、「派遣」を雇ったほうが儲かるのでそうしているのですが、景気が悪くなると「派遣」のひとだけ辞めさせようとしています。それで、このひとは、辞めさせられそうになったとき、「それは不公平だ」といって、会社のえらいひとに文句をいっただけです。なぜならお金をもらえないと生活に困るからです。これを「労働争議」といいます。そのとき、会社の対応はとても「世慣れていて」、「洗練されていて」、「エレガント」だった、このひとは書いています。エレガント、というのはとても礼儀正しく、上品なさまをいいます。それでこのひとは、文句をいっただけで悪いような気がしてきました。でもそのとき、この曲が頭をよぎった、このひとはいっています。それは、「偽りの和解」から自分を守るものとなった、ということです。

なぜ会社のいうことをきくと、「偽りの和解」になるのでしょうか。学校や会社のいうことを聞いていると、社会は円滑に、つまりなめらかに、波風が立たないふうにして、進んでいきますが、それはうわべだけで、辞めさせられた派遣のひとは、お金がなくて、しょうがなくてホームレス（家のないひと）になったり、自殺したりしてしまいます（積極的にホームレスになるひともいますけどね）。そういう社会をそのままにしておくと、社会が間違った方向に行ってしまったとき、原発事故のように、元にもどれなくなります。だから、自分が正しいと思ったことは、はっきりといわなければならぬときもあるということです。おかしいと思ったことを、はっきりいわないと、みなさんも、困っているひとたちのことを思いやれないおとなになってしまいますよ。ということ。なにかをはっきりいいたいとき、役に立った歌、自分の背中を押すような応援の歌がスリッツのこの曲だった、とこのひとはいっているのです。スリッツというのはイギリスの七〇年代のパンクの、女の子たちのバンドです。スリッツは失業だらけの当時のイギリスの社会にたいして、黙ってなんかいませんでした。堂々と文句をいっただけで、若いひとたちの支持を集めました。そういうひとたちはいまでもいます。たとえば、ロシアの女の子のバンド「プッシー・ライオット」は、プーチン政権を批判したので牢屋に入れられてしまいましたが、世界中のひとが心配して、ロシア政府に文句をいっています。

みなさんは、こうした反抗や、いま全国でおこなわれている反原発のデモをどう思いますか。もっとおしとやかなやり方がある、と思いますか。自

分ならどうしたのですか。目上のひとには敬意を持たなければならないけれど、自分の命が危険になったら、やはり、なにかいわなくてはならないときもある、と思うのではないのでしょうか。お金がすっかりなくなってしまうと、家もなく、ご飯も食べられなくなったときのことを想像してください。そんなとき、「死にたくない」と叫ぶのを、政府はやめさせることはできません。

今回あげた動画は、二種類ありますが、歌詞もコード進行も全然違います。そのときの気分で、好きなように歌っているのです。いいたいことは、「わたしはあなたの敵だ」と決然と叫ぶところです。だから、

I'm going to be your Number one enemy

という繰り返しの部分だけを、女の子のパンク（フェミ・パンといいます。女の子は覚えておくといいです）になったつもりで、叫びます。

もし、そういう反抗は好きではない、と思ったら、そのことをみんなの前で勇気をもって説明してください。これは、音楽ではなくて、はっきり意見をいうひとになる練習なのです。

。結語に先んじた感想めいたノート

否定弁証法とは、否定命題に踏み留まり、絶対に止揚（否定の否定）しようとしないうことだ。敵だ敵だと繰り返すスリッツのように。止揚しようとする観念論となり、いつかは「投げだされてるんだよなあ」というような見方でナチの協力者となるというオチがつく。では否定弁証法とはただのジャズを嫌う頑固オヤジみたいなものになることなのか？ いや、ジャズを嫌うアドルノはジャズによってジャズを超えようとかは思わない。アドルノにスリッツを歌わせたい。かれは音楽と思わないで、騒音のなかで語るなにかの収録だと思ってジャズは敵だ敵だとラップするだろう。二つの原則のあいだでS・Aはジグザグに進むが、「エレガントな」三つ目があることも知っている。知っていて踏みとどまる。それはただの頑固さではなく、しなやかな頑固さだ。

38

〈ハレルヤ〉ジェフ・バックリイ

大きな別れ、小さな別れ。その傷を癒してくれる。

若くして他界した友人を思い出す。

誤ってしまったことを後悔する。

そしてそれを繰り返さないことを誓う。(K・O)

「ハレルヤ」が名曲であることは誰でも知っている。この前もジョジョ君が日本語に訳して歌っているのを聞いた。作者のレナード・コーエンは今八〇歳くらいで、去年だったかアルバムを出した。ぼそぼそつぶやいているだけみたいなカントリーで、最高だった。ニコもアンソニーもかれの曲をとりあげている。

ジェフにはティム・バックレー（新井にバックリイと直されたけど、親父は昔の自販機雑誌ではバックレーだったんだ）の息子、という意味しかない。ティムが《ロルカ》で見たコルトレーンばりの即興ボーカルは、息子にはない。けれど息子も父と同じ日に夭折したんだ。だからジェフも伝説になったんだけど、あーあ、という感じだったんだ、ぼくの世代は。ネットて聖書おたくが歌詞の解説を載せていたが、その文章もいくつか間違っている。ヘブライには短調も長調もない。ジュヌスという個人的クリシエの束があるだけだ。ダビデはバテシバと姦淫を犯したが、髪を切ったのではない。鬚を剃って服を裂いただけ。いきなり髪を切られたサムソンに変わるからそれとわかるのだけれど、それは、引用ではなく、個人的な同様の苦しみを装飾する単なるドロップアウトしたユダヤ人の捨身のイメージの濫用なんだ。ただ、K・Oにとって、音楽が、とくに、「リグレット」のためのものだ、ということが注目に値する。過ちを繰り返さないと誓うために、音楽が役に立っている、というのだ。壊れたハレルヤを吟くことで感じる罪の意識を、生活に役立てようというのだから、信仰心がありなのではないか、と思う。ほかにはないタイプのコメントだった。子どもが歌えば、それなりに、慰問めいたものになると思う（レナード・コーエンは最近ボスと乱射事件のあった高校を慰問したんだ）。歌詞が姦淫に関するもので、テキストにもデイテールを求めているが、「大きな別れ、小さな別れ」、「若くして他界した友人」という部分がこの曲の歌詞のように物語を濁している。歌えない物語を歌にするのはK・O自身の仕事であり、ぼくらはただ、このテキスト自体をこの曲の歌詞のようなものと捉えるべきなのだろう。

39

〈キス〉ジュディ・シル

音楽が好きだ。家でも外でも、とめどなく、いろいろな音楽が流れている。それはこころの空気のようなもの。特別な感情の起伏にも、日々の微細な気分の移ろいにも、音楽を呼吸している。だから、ひとりの生命体として、音楽に「守られている」とも、感じる。

それでも、耳にするたびにこころがざわめく歌はある。

たとえば、それはジュディ・シルの歌う〈キス〉という曲。

ジューディ・シル、一〇代からの売春や麻薬、詐欺、強盗、重ねられた犯罪で収監もされ、最後は三五才のときにコカインの過剰摂取で死んだ伝説的なアメリカの歌手。でも、とても静かな悲しい声。そして根源的な、別れの歌。

歌は声だ。人間の声だ。だから歌は、ひとのこころとこころを直接に感応させる。

数年前、身内を立て続けに亡くしたとき、この歌をたびたび聞いていた。それからこの歌は、わたしにとって、悲しみを嘯み締めるための歌、自分を含めて、ひとの死を想う歌となった。でも、それは本当に大切な役割だ。

わたしの知る、もっとも、悲しく、美しい歌のひとつ。(Y・F)

メガネのひとだ。夭折は別の意味で「ウォール・オブ・サウンド」の額縁になる。なんのクスリをやってたんだろう。そんなひとには見えないな。たしかにざわざわする。「悲しみを嘯み締めるための歌、自分を含めて、ひとの死を想う歌」という音楽の役割は、Y・Fにとっては経験済みの、自明のことであるのだろう。ただ、自分はもっと悲しい歌を知っている、と思うひとがいるだろう。だから「Y・Fにとっての」プレゼンテーションとなるわけで、それをうまく表現できるかな、という危惧がある。やってもいいんだけど、なにより大事なのは、ジューディ・シルの「声」なわけだから。

でも、基本的に、元の曲を流したほうが効果的、という言い訳はこの選曲作業の結構の弱さかもしれないのだ。そこが「音楽のような演劇」と「演劇のような音楽」の分水嶺なのだ。それはぼくがなんだかんだいつてどうしても「音楽」を聞いてしまうからだと思う。バンドマンくずれの演出家ジェイコブ・ウレンがこれまでの自作曲を五時間かけて全曲弾き語る劇、というのをやったらいいけど、それを可能にする力技がいまの「劇」の前線なのだが。ぼくはといえば、全員メガネをかけて歌うことくらいしか思いつかなかったのだ。

ち

くエンバイア・ステイト・オブ・マインド〉ジェイ・Z

駐在を終えて日本にもどることになり、ニューヨークを離れる前日にEmpire State Buildingに登った。四年半前にNYに到着した当日にもEmpireに登っていて、この歌を聞きながら眼下に広がるNYの夜景とともに、四年半のあいだに起きたいろいろな出来事を思い出した。(M・I)

「ヨ、メーソン、駐在で外国にいくんじゃねーよ！ 殺されっぞ！」などと不法なラップが口を衝いたが、駐在といってもきつと生き馬の目を抜くNYでの大事なお仕事、知らないところで尽力されている方にそれはないんじゃないか、と反省した。さて、スネークマンショーだったか、ロック評論

家を揶揄したコントがあつて、外国の有名な誰それと友だちで、外国に行けばかれらの家にステイしてる「そんなぼくがいるんだよね」というような語りが入るんだけど、「そんなぼくがいるんだよね」は、自分を外からみて、イケてる、と思う得意な気持ちを代弁するフレーズだと思う。考えてみると、ほとんどの芸術なんて、一握りの鬼のような表現者を除けば、いまオーピング・レセプションに招待されてる「そんなぼくがいるんだよね」で終つてゐる気がする。M・Iはラッパーではないだろうけれど、ジェイ・Zの曲に読みこまれた地名を聞き取り、エンパイアからいままさにそれらの街を見下ろしてる「そんなぼくがいるんだよね」を素直に楽しんでいる。音楽の「プロテクション」のひとつ、それはいまここで、こんなクールな曲を聞いている、「そんなぼくがいるんだよね」。それを避けるデリカシーを持たなければならぬという怒りは、自分もそういう部分があるから沸き起こるんだと思う。ラッパーはそれを肯定するポーズで成功を引き延ばしているけれど、その背後に差別からの成り上がりという影をつねに織りこむから成り立つたジャンルなんだと思う。ニューヨーク在住の日本人が、自己アピールを身につけて自然にそういう流れのなかで染まっていくのは自然なことだった。ウォールではないけれど、タワーとしての音楽の役割。だから、背伸びして子どもがコーラスしてもいい。やるなら日本語で、スカイツリーから見下ろして、「あたしたちは浅草育ちで選ばれたコーラスガール、どうのこうの」ってやるしかないヨ、メン。

二

くムヂゲ（虹）サヌリム

きみが友達と一緒にいるのなら

見物人のように口笛を吹くから

みな消え去って寂しくなったら

きみの道連れになつて歩くよ

本当に世の中に自分ひとりだという孤独感でどうしようもなくなるとき、きっと自分の知らないところから誰かが見守ってくれている、いざとなると導いてくれるという一種の希望の呪文のような歌詞で慰められるのです。暖かくやさしく守られた過去の記憶も呼び起こされたりもします。（K・J）

◆子どもたちに向けたテキスト

韓国のロックを知っていますか。日本とは別の歩み方をして、グループサウンズ（日本の、西洋のロックをまねたバンド音楽）の時代からいきなり内容が深まったような、最近はやっていた韓流とはぜんぜん違う流れがあります。それは、朝鮮半島の三拍子の、騎馬民族（農業ではなく、馬に乗って牧畜で生活する中央アジアのひとつ）的な血が濃く流れているからだと思います。みなさんは竹島のことをどう思いますか。喧嘩して、取り合っただろうかいいと思いますか。それとも、互いの文化や歴史を深く理解して、敬意を持つことが大事だと思いませんか。

この曲を選んだひとは、この曲が、「希望の呪文のような歌詞で慰められる」、「暖かくやさしく守られた過去の記憶も呼び起こされたりもする」といつていますね。音楽が「プロテクション（守り）」になっているとてもいい経験です。歌詞をよく読むと、擬人化（物質だけれども人間であるかのように描写すること）された虹が、わたしたちに呼びかけている内容になっています。韓国の虹は、なんてやさしいのでしょうか。困っているときは抱きしめてくれる、というのです。そして、友だちができたなら、空から、よかつたね、と口笛を吹いてくれます。友だちが去ってしまったら、一緒に歩いてくれる、と約束しています。韓国のロックは、こんなやさしい歌詞で満ちています。

みなさんは、なぜ国境があるのだと思いますか。虹に国境はありません。国境がなくなった世界を想像したことがありますか。いつかそうならないといけないと思いませんか。

この歌は、一番を韓国語で歌い、八小節の間奏のあと、日本語で歌ってみます。最後の部分は繰り返しがあります。それは両方で歌います。ぜひ、韓国語で歌えるようにチャレンジしてみてください。

42

〈フニクリフニクラ〉（ルイージ・デンツァ作曲 清野協、青木爽訳詞）あるいは鬼のパンツはいいパンツ〉（作詞者不詳）

二〇〇一年九月一日からしばらくのあいだ、この歌にお世話になった。二〇〇一年九月一日、ニューヨーク、ワールド・トレード・センターが視界から消えた。マンハッタンの南の空は、煙で覆われ、番号がついたマンハッタンのストリートのゼロ地点であるハウストン・ストリートは、戦車で塞がれ、そこより南は進入禁止となった。テレビでは、日本が真珠湾攻撃をしたときの映像が繰り返し放送されていた。

方向感覚のないわたしは、北と南を知るために頼りにしてきたノッポの目印を失って路頭に迷い、モノが消え去る一瞬の目撃は、わたしからモノをつくることへの意欲を奪った。途方に暮れた。

ハウストン・ストリートの戦車の横で機関銃を構える武装兵士を目にすると、地下鉄駅構内で機関銃を構える武装兵士とすれ違うとき、心のなかで歌っていたのは「鬼のパンツはいいパンツ強いぞ〜強いぞ〜」。武装兵士がおかしくなって、機関銃を乱射しようものなら、わたしは即死なわけだ

が、「鬼のパンツ」を唄うと機関銃を持っているアメリカン・アーミーには負けない気がした。

生き物の焼けるにおいて窓が開けられず、いつまでたつても煙と灰が立ちこめる空を見上げながら、「フニクリフニクラ」の、「赤い火のふくあの山へ登ろう、登ろう。そこは地獄の釜の中、のぞこうのぞこう。流れる煙は招くよ。みんなをみんなを。行こう、行こう火の山へ！行こう行こう火の山へ！」と歌っていた。歌いながら、不謹慎かもしれないと思いつつ、怖いものや不安に対峙する勇気が生まれているのを確信していた。

「フニクリフニクラ」に歌われている「山」は、ポンペイを噴火で地中に埋めたヴェスヴィオ火山。文化や生活、そこに暮らすひとの気持ちもすべて、灰の中に封じこめてしまった火の山。火の山・ヴェスヴィオを走る登山電車の宣伝のためにつくられた世界最古のCMソングが「フニクリフニクラ」なのだ。なんて深くてお気楽。スーパーポジティブ。「鬼のパンツ」は「フニクリフニクラ」の替え歌だ。

怖ろしいことに目をつぶるのではなく、「地獄の釜までのぞく」こと、恐怖、不安、そしてそれらによって仕方なしにここに生まれる、あり得ないとかかっている希望、そんな気持ちのすべてを受け止めることが、モノを書き、つくることなのかもしれない。不安や怯えを自覚してなお、から元気を装おってみる強さを、軽やかに与えてくれたのが「フニクリフニクラ」で「鬼のパンツはいいパンツ」だった。(M・M)

あかい火を吹くあの山へ登ろう登ろう

そこは地獄の釜の中 のぞこう のぞこう

登山電車が出来たので 誰でも 登れる

流れる煙は招くよみんなを みんなを

行こう行こう火の山へ 行こう行こう火の山へ

フニクリフニクラフニクリフニクラ

誰ものるフニクリフニクラ

暗い夜空に赤々と見えるよ見えるよ

あれは火の山ベスピアス 火の山火の山

登山電車が降りてくるふもとへふもとへ

燃えるほのおは空に映えかがやくかがやく

鬼のパンツはいいパンツ つよいぞ つよいぞ
トラの毛皮でできている つよいぞ つよいぞ
五年はいてもやぶれない つよいぞ つよいぞ
一〇年はいてもやぶれない つよいぞ つよいぞ
はこうはこう鬼のパンツ はこうはこう鬼のパンツ
あなたもあなたもあなたもあなたも
みんなではこう鬼のパンツ

今回のテキストの中では、「〈トレイン・トレイン〉」(3)と並んでこれが無条件でいちばん気に入った。「あり得ないとわかっている希望を受け止め、から元気を装おつてみる強さを与えてくれる」のが音楽の役割。さすが物書き、まさに「プロテクション」だ。これなら子どもが歌うことで曲にまつわる陳腐さから曲そのものを脱却させることができる。

◆子どもたちに向けたテキスト

二〇〇一年九月一日に、ニューヨークのワールド・トレード・センターに飛行機が突つこんだ映像を見たことがありますか。誰がなんのために突つこんだかはいまでもいろいろな説があります。とにかくアメリカはそれを戦争をはじめるきっかけにしました。このひとはその現場にいたのです。命からがら逃げているときに頭に浮かんだメロディがこの曲だったのです。

この歌が、「あり得ないとわかっている希望を受け止め、から元気を装おつてみる強さを与えてくれた」という表現に注目してください。みなさんは希望というものはある、とおとなに教えられているかもしれないけれども、現状では希望がないというところから出発する考えのほうが、正しい場合だつてあるのです。命の危険にさらされたときのひとびとの考えには、余計なものがありません。そういう、口に出して祈ることさえできないようなぎりぎりの場所に立つと、ひとは、「食べて応援」といった言い方は変だな、とか自然にわかるようになります。

この歌はやさしそうに見えて、アクセントの位置がずれていくので、たいへん歌にくい曲です。何回も聞いて、覚えるしかありません。完璧に歌

えるようになったら、ひとつ提案があります。

極限状況にいる自分を想像してみてください。みんなが口を押さえて真っ黒な顔で逃げています。倒れているひともいます。機関銃を持った兵士もいます。そんななかで、この歌が浮かんできたらどう歌うといいでしょうか。みんなでよろよろ駆けずりまわって、てんでんばらばらに歌うのです。それも、「おにー」のパンツはいいパンツ　つよいぞー　つよいぞー」とか、「行こう行こう火の山へ」とか、断片的なフレーズを選んで、適当に、うる覚えのようにして繰り返すのです。そして、それが、このひとにたしかに勇気を与えたんだな、というのを実感すると、希望のないひとにも逃げる勇気を与える、音楽のやさしい「プロテクション（守り）」の役割が見えてくるし、それが聞いているひとたちに希望を与えるでしょう。

43

〈インディゴ地平線〉スピッツ

大学三年の春のころ、仲間とやっていたフェスティバルを大失敗させたことがある。メンバー同士の関係もバラバラになり、わたしはしばらくのあいだ、大学をばっくれてアルバイトばかりしていた。そのときに、ネジが外れたように聞き続けていたのがこの曲だ。

いまにして思えば、無理矢理自分の物語を作るためのシンボルが欲しかったのだと思う。

痛すぎて恥ずかしくて、できることなら忘れてしまいたい思い出だ。

しかし、抹消しようとしてもすでに歴史はわたしにとってそこにある。

愚直なまでに受け入れていくしかないのだろう。

同じような大失敗を繰り返すことがないようにするには。

その年の夏に、アルバイト代が貯まったので北海道に一人旅をする。

インディゴブルーのような空の下に立って、ようやく陳腐なこととして吹っ切れたように感じたのを覚えている。大学にふたたび行くようになったのは、それからだった。(K・F)

子育てをしているとき、息子に合わせてミスチルやスピッツを聞いた。ちょうど「チェリー」がはやっているころだった。スピッツみたいなバンドだったら、メジャーでもいいかな、と家内がいったのを覚えている。歌詞に出てくるのは、逆風、希望のクズ、骨だけの翼。K・Fも、「自分の物語を作るためのシンボル」としてスピッツを聞いた。そして音楽は、実際のインディゴブルーの空を見て吹っ切れるまでの、(解決にはならないけれど

も、機が熟すまでの橋渡しの役割をしたというわけだ。これも控えめな、音楽の「プロテクション」といっていいが、やはりどうしても「卒業文集的」なのだ。そういえば、ムサビに呼ばれた森山威夫が、共演の若いサックスの男が作曲したという曲に移るとき、曲名はなんだっけ、と尋ね、サックスの男の「……メビウス・ステップス」のつぶやきに即座に反応して、「またの名を大学祭万歳」と宣ったのには受けた。大学生のイベントはなにをやっても「大学祭万歳」だな、と。マヘルを下北沢に呼んだ大学生がいた。イベント用のTシャツまでつくり、マヘルにはただ下北だからという理由でブルースだけを延々と演奏され、客は期待したほど来ず、借金一〇万を背負って、かれの青春は終わった。その白いTシャツをまだ持っている。うすく細い線の泡状のドローイングとともに「空気がクシング」と書かれている。アンダーグラウンドが「学園祭万歳」じゃないけなのはなぜだったんだろうと考えながら、なんとなくそんな昔のことが思い出された。そんなことが喚起されるテキストだった、ということだ。

4

〈シー・オブ・ラヴ〉

二二年間一緒に暮らした猫が死んだとき。動けなくなつてからも五日間寝たきりで生きていたとき。一日目の夜、点滴をうけてすやすや寝ていたとき。二日目の夜、スポイトで水や牛乳を飲んでいたとき。三日目の夜、脚が曲がらなくなつてマッサージをたくさんしたとき。四日目の夜、大声で一時間鳴いたとき。五日目の夜、血をたくさん吐いたとき。心臓がとまりかけたので人工呼吸をしてお互いに血まみれになったとき。動かなくなつた後ろ脚が、ぱたぱたと駆けるような動きをしたとき。一足大きく踏みこみ。飛び上がるような動きをしたとき。息を引き取ったとき。(S・H)

この曲は知っている。オールディーズだ。

Come with me, my love

To the sea, the sea of love

I want to tell you how much I love you

Do you remember when we met

That's the day I knew you were my pet

I want to tell you how much I love you

フィル・フィリップスは *wanna* などという俗な言い方をせずに、ちゃん *want to* と歌っているのが五〇年代を感じさせる。Pet というのは動物のことではもちろんなくて、ダーリンというほどの意味だが、猫が死んだのだから、この曲が取り上げられている意味は単純明白だ。ただ、最初、このテキストにはアーティストの名前がなかったので、これはひとつの謎かけだと受け止めた。最初はオリジナルだと思っていたが、ワインのティステイニングと同じで、このテキストからはフィル・フィリップスが立ち昇らない。

この曲はいろんなひとが歌っている。ロバート・プラントとジミー・ペイジのカバーはすこしも楽しくなくて、アドルノ風に否定的に言えば、俗な業界にたいするメタな居直りの狂気を感じさせるし、トム・ウェイツは案の定というか *the day* を *the night* に変えてすこしいやらしくさせているが、どれも違う。この場面で流れていたのはきつと、そう、キャット・パワーだ（あとで本人にたしかめたら当たっていた）。

シヨーン・マーシャルは、愛する者を失くしたときの特有の遅延を、サビさえ排した単純な四つのコードのループのためにチューニングしたオートハープで最後までキープし続けている。

猫は人間より上に来るので厄介だ。やるしかないじゃないか。愛猫の死は、ある面、原発事故や親族の死よりも大事件で、それを認めさせてしまうのが猫というものなのだ、といった外野の批判から免れているためにはなにが必要かを S・H はわかっていて、計算ずくでこの主語のないテキストを書いている。主語は感覚するのみで反応できないイノセントな自分なのかもしれないし、猫かもしれないのだ。それは湾岸戦争で油まみれになった鳥の映像を見てそのイメージを飼猫と重ねる自分を描いた大島弓子を思わせる。飼い主と猫とのそういう関係性そのものを合唱で表現してみようと思った。

◆子どもたちに向けたテキスト

かわいがっていた動物が死んでしまったことはあります。このひとは二二年間（長生きでしたね！）一緒に暮らした猫が死んでいったときに世話した最後の五日間のことを思い出しながら、「どのくらいあなたを愛していることか」というフレーズが繰り返されるこの曲を選びました。ところで、あるひとびとにとっては猫のほうが人間よりも大事になってしまします。やっかいなのは、現実の世界では戦争や飢饉や疫病で、たくさんの子どもが死んでいることよりも、目の前の猫の死のほうが重大に思えてしまうことです。それは不自然ではないでしょうか。結論からいえば、どちらも重大なことなのです。わたしたちは、目の前の猫の死を見つめながら、同時に世界中で死んでいく人間のことも考えられるひとにならなくてはなりません。人間には動物を世話する責任があります。そして、地球をきれいに保つ責任もあるのです。でもペットはたくさん殺され、地球は汚染されています。そのために、わたしたちはなにができるでしょうか。このひとのように、目の前の愛する猫の死としっかり向き合っていなければなりません。こ

のひとが、ほんとうはすごくかなしいのに、感情を表す言葉をいっさいもちいずに、冷静に猫の病状を描写しているのに気づきましたか。こういう書き方を、「叙事的（じょじてき）」な描写といいます。そういう書き方をして、「わたしは愛する者を亡くしたかなしみで、あなたの猫どころではないのです」と文句をいうひとがいないように気遣ってもあるわけです。世界中のかなしみが集まってきているような場所で、それでも、ほかにも苦しんでいるひとがいるんだ、ということも忘れていないということを示すために、その場所を密閉せず、いわば、ほかのひとの愛の風の通る隙間をつくってあげているのです。そうしないと、愛は利己的になってしまい、この猫さえ助ければ世界が減びてもいいと思ったようになるかもしれません。

そういう歌をわたしたちはどう歌ったらいと思えますか。そうです、「叙事的」に歌うのがよいのです。過度に感情をまじえず、すべてのものに通低する（当てはまる）ようにして、猫そのものに拘泥せず（その猫のことだけに気を取られず）、すべてのひとにとって訪れるであろう、「愛する者を亡くした悲しみ」を聞くひとが感じ取れるようにします。

ひとり、猫の代わりに横になってもいいかもしれません。そのひとは、いま歌われている猫であると同時に、世界中で死んでいく子どもでもあります。そうすれば、〈シー・オブ・ラヴ〉という曲は、単なるラブソングの域を超えて、愛する者を失ったひとの気持ちをわかうとする表現になるかもしれません。

歌は、歌詞だけを見れば五線譜がなくても歌えると思います。むしろ、歌の最後の微妙な音程の揺れを練習してみてください。

○練習の様子、その結末

シヨーンは、原曲では *I knew you were my pet* となつてゐるところを、*I knew you were mine* と変えて歌つてゐる。こゝで、主人とペットの関係は逆転し、歌は、猫のほうが *I wanna tell you how much I love you* と主人を慰めてゐるやうにも聞こえてくる。それと、*I wanna tell you how much I love you*（あなたをどれだけ愛しているか、あなたに伝えたい）といつてゐるのは、死んでゆく猫でもあるのだ、と気づかされた。歌をとおして、猫が飼い主にそう語りかけてゐるのだ。だから、猫を増やし、飼い主と半々に分かれて歌うほうが良いと思えた。猫になった子は猫になったつもりで飼い主を見上げながら歌う。飼い主になった子も猫をみつめながら歌う。

オートハープのキラキラした高音が聞き取れるように、ギターのヘッドの弦の部分をピックで擦つて高音を出す係を募ると、みなこぞつてギターに

さわりたがった。ギターにさわるひとは猫の役、というと、練習のときはみな猫になったのに、本番ではいちばん最初の曲だったということもあり、誰も恥かしがってやろうとしなかったので、結局ぼくひとりが猫になってごろんと転がり、みなを見上げてにやあといった。

その日以来、ぼくはライブでよくこの曲を歌う。

45

〈撃墜王の孤独〉アイアン・メイデン

一九八五年八月御巢鷹山日航機墜落のニュースを入院中のベッドで知りました。金玉の片側に血が溜まり、放っておくとだんだんと大きくなる疾患でした。中学校のブルの更衣室でパンツを脱いだら友だちがお前の金玉の形は変だというのでお医者さんに診てもらったら、取り立てて重大な病気でもないが、このまますこしずつ金玉が大きくなる可能性もあるので気になるなら手術したほうがいいといわれて夏休中に入院しました。となりのベッドに同じくらいの歳の男子が入院していて、あまり親しく話せなかったのですが、どうやら音楽の趣向が似ているような雰囲気でした。ある日、就寝時間になり部屋が自動消灯されて、となりのベッドで寝ている男子のヘッドホンから漏れ聞こえてきたのがIRON MAIDENの「Aces High」。ベースラインに特徴があるのでかすかな音でもすぐにわかりました。(Z・Y)

これ以降のテキストが届いたのは、選曲や練習がすでに仕上がったあとだった。それで、やるやらないの話は抜きにして結語を交えながら感想だけ書く。

御巢鷹山日航機墜落事件が、この「音楽についてのテキスト」の鍵だ。日本のO S トロンの技術者一七名が一瞬にして亡くなるという、マイクロソフトにとっては世界制覇の里程標となったこの事件は、実は極秘に核を運搬していたことを隠匿するために自衛隊によって「撃墜」されたのだとする裏情報によってさらに憶測が憶測を呼び、まだ息のあった数十人は自衛隊員によって殺害されたのだと断言する者まで現れた。長野県警の独断による人道的見地からの越境によって辛うじて四名が救出されたものの、自衛隊の不可思議な放置によって、坂本九を含むほかの乗客二五〇人は全員死亡したのだ。

中学生のZ・Yにとって、そのニュースはこの国の闇と対面しはじめる最初の契機だったかもしれない。それは、「金玉がだんだん大きくなる病氣」のように奇妙な不安を伴って増殖していったに違いないのだ。

そこに流れる音楽の役割は、限りなく縮小されている。「あまり親しく話すには至らなかった」となりのベッドの同年代の男子との距離は、かれがヘッドホンで聞くアイアン・メイデンの〈撃墜王の孤独〉と自分との距離に等しい。自動消灯とともに消えるその音楽は、この不穏な社会と自分の不

可思議な病気にたいしてなんの役にも立たない。ただ世界と自分がある様式のうえに繋ぎ留めているだけなのだ。かれは高校で銃を乱射する代わりに、ヘビメタのバンドで「撃墜王の孤独」をやったかもしれない。そしていまも、その残滓を身体に沈殿させているのだろうか。

どうやら、「音楽はどのようにプロテクションとなっていたか」という問いをある種のエッジに投げかけると、送り返されてくるのは一様に、音楽を主題にするのではなく、俳句的な並置をもつてある情況を描くことで答えとする、という「趣向が似ているような雰囲気」である（たとえば2、4）。このテキストからも同じにおいを感じた。そこに込められたアイロニーの濃淡こそあるものの、世界はいま音楽どころではないのだ、といった忙しさのアピールにおいて、「趣向が似ているような雰囲気」になってしまいうのである。「音楽」についてではなく、「音楽について書かれたもの」について書く、というこの試みの底辺にも、こうしたメタな「気忙しさ」がある。それは音楽の終わりについての歌ではなく、宙吊りの活性化のようなほかの歌声でもない。それは、文字通りの世界の終わりに向かって息を弾ませる、雲の裏側に表れる、歌ではない、地表の症例としてのなか、なのだろうと思う。

あ

〈風雪ながれ旅〉北島三郎

父が亡くなってからしばらく、父を思い出すものにこころの準備なく出会ってしまうと涙が出てしまうときがありました。この曲は、父がカラオケでかならず歌っていたもので、やはり聞くと涙が出るのですが、近頃は父のあまり上手でない歌いっぷりなどが楽しい思い出としても鮮やかに蘇ってくるので、この曲があつてよかったと、泣き笑いのような気持ちで聞くことができるようになりました。（N・U）

父と行ったのはボックスだったのか、スナックだったのか。娘は歌わなかったのだろうか、うなずき、拍手していたのだろうか。それは音楽的な話ではない。生活の範囲にかかわることだ。それは社交だったのか。ここに玉砂利を敷き詰めるようにして、礼節で世を耐えようとしたのか。演歌はこれ一曲だった。牡丹雪の降る店の外は飴のように寒い。

◆N・Uに倣った「泣き笑い」の社交としての結語

こうしてそれぞれのテキストは、ティム・エツチエルスがさまざまなニュアンスで描写してみせた「皮肉なあるいはなんらかの形での助言としての音楽、逃走あるいは避難の手段としての音楽、気晴らしの手法としての音楽、そのなかで逸楽に耽る暗い空間としての音楽、励ましとしての音楽、自

己定義の形式としての音楽、一言でいえば、自衛のための個人的な（あるいは共同的）手段としての音楽」というカテゴリーの陰翳のなかへわりと満遍なく沈んでゆこうとしているが、べつの階層では、通俗の氾濫のなかで選り取るのか選り取られるのか、主体なのか客体なのか、という磁力線のなかに南北に配列されてゆく。そのなかで結局いちばん印象的だったのは、主体と客体の小競り合いの合間を縫うようにして飛行する音楽の自律的なふるまい、外部に於ける勝手な、あるいは主体の無意識の身体性の許可に基づくリトルネロ、とてもいうべきものだった。音の種は脳に眠っている。それはフリーエ変換というアルゴリズムを経て振動をデジタル化した値であって、波ではない。波の断面が数値化され、記録されているだけなのだ。それはオブジェとしてホログラム化できるものかもしれない。その彫刻は、ある場合、各人の「記憶」ではなく、「記録」によって造型されているようなのだ。その「記録」が自立的にふるまうのだ。それが勝手に脳内再生されて、ぼくらは泣く。記憶していないデータさえも脳に記録されていて、それがジェルソミナのトランプペットだったりするのだ。そして未来の声まで「記録」されていることだとしてもしかしたらあるのだ。ひとが音楽を選ぶ様子だけではなく、音楽が猫のようにひとを選んでいくさまを見ることができた、ということだ。そういうとき、音楽は、やはりひとより上にあるのだと思う。「音楽を救済」などというのは傲慢だった。まあ、どうせならいい猫に選ばれるにはどういう人間になっていなければならないのか考えよう、ということだ。伝言ゲームといってもそれはぼくの勝手な妄想なので、ずいぶん勝手なことを書いたことを前もってお詫びしておく。面識のあるひとは数人しかいなかった。To know him is to love himはミック・ファレンから教わった人生の大原則なので、本人を知っていればまったく違う文章になっていただろう。いつか会うことがあれば、叱ってください。作業に付き合い、いくつかの大事な点に気づかせてくれた新井にもこの場を借りて感謝を述べておきたい。

◆子どもたちへの最後の手紙

みなさんは伝言ゲームというのを知ってますか。聞いたことをひとに伝えていくと、すこしずつ内容が変わっていったって、最後は最初のひとの話とずいぶん違っていて可笑しい、というものです。わたしたちがやったのは音楽の伝言ゲームです。わたしたちは、「大変だったときに歌が助けになった」という話を聞き、それをほかのひとたちに、「このひとにとっては、歌がこんなふうに助けになったそうです」と伝えたのです。

それはずいぶんおかしなものだったに違いありません。でもそこで最初の文を書いたひとたち、わたしたち、見に来てくれたひとたちや家族、つまり関係したひとたち全員にいろんな思いやドラマが生まれました。そういうことを「コミュニケーション」といいます。ひとのあつまりというのはいものです。そして音楽は、わたしたちをぎりぎりのところであつなぎます。ぼくはそういいたくてこの劇をはじめました。ほんとうにそういえるのかどうかは、自分で考えてください。いつか音楽そのものが虹のように助けにきてくれるでしょう。参加してくれて、ありがとう。

現在地確認

現在地確認

香水屋街

匂いのないものが追いかけてくる

どこに逃げても同じなら

位置情報をオフにしたつてしょうがない

岩の裂け目に隠れても

衝撃は来る

阿吽にでも行こうかな

現在地確認

地続きの被災地

最初の嘘がクリアーだったから 言葉は 自分を濁すことができない

最後まで悪は透明で

安全宣言を繰り返す

徘徊老人

どこから始まるのか、道は言葉のように続いていて、川沿いのどこにこの散文化の契機があったのかはわからない。ただ川のこちら側は部落であり、家建てて子供の自転車が倒され会釈して犬と共に避けるこの道路上の全てに森がせり出して来ている、その緩衝地帯を町がプロジェクトとして子供の為の植林を行ったまま草の中に放置され、錆びた重機と川床の石がすぐ暮れる山蔭に色を失っていく。皆若くして結婚する。逃れられないから逃れている。逃れられるなら逃れないであろう。子供の自転車が倒されている家で。

網膜は軌道を計算する。ドリップする手は試行する。軽トラも拡張された器官として川沿いの風景に表情を伝達していくが、やがて橋を

渡る。道と言葉は結婚生活のように終わりを告げる。中天からパブリックなアナウンスが流される。失われた老人の特徴、服の色。老人にとって道は言葉と同時に失われている。見えない大会に集合し言葉を聞きに行くようにして徘徊する。震えないラッパの音が聞こえると衣を整え、震えるラッパの音が聞こえると歩き出す。三内村の忠霊塔は四七人の戦死者を祀るとされるモニメントであり、ニュルンベルグの閱兵場で見下ろした角度で部落の森を見下ろしている。村の姓から幾人かづつが失われたが、老人はもう姓を捨てて、発見された時はラッパの音が震えていたので、モザンビークに行こうとしていた。彼の網膜が、弾道を計算し 足が思考し、鼓膜が忠誠を示したのだ。

高円寺ufoclub

mc

w/oshiripenpens

ペンペンズ世代のためのアンセム この言い方で合ってますか

カヤグムギターと近代私小説やな。見切った。さらに過酷な海原、とアツコも言った。

ギタリスト君、リフで満足してんじゃねー。おまえはそのためになんて生まれてきたんじゃない。浅い。シーンは浅い。絶望的だ。男も女も。

浅くて浅くて踝が出るくらいの川が死海に注ぐ

一stを越えることができない。音楽だから。

寿町いくぞ

歌詞聴こえなかったらPA意味がないやんけ

知らない女にアカシアの雨を誉められた。

バンド名は何度言っても覚えてもらえなかった。

足りないのはきつとビーフハートの水面に平たい意識を投げるベースだ。

高音域で重力に抗ったつてしょうがない。

ベルクでナンプラーとか変な辛い油とかかけて急いてTKG もう電車 さよなら

横浜に一弦ギターで五〇年代最速のゴスペルのリフを繰り出しながら長座間叫ぶおっさんがいて、ある意味アリファルカトウーレ以来久方ぶりに感心した弦事だった

歌うべき事があれば歌わなくていい。音に出るから。自信がないから叫ぶのであろう。

ギター持つてるとトイレ行きにくくてやだ

ラッパの種類で心は一回転で飛び出たりぐるぐるぐもったりするのだろう

年金が貰えない元ヤクザの一番の心配はので生活保護申請をどうするかということである

おい、風呂を入れておいてくれないか。寒くて、さむくて、死にそうなんだ。

二日酔いをごまかして生きてきたけど、そろそろ限界みたいだ。

かあちゃん、そろそろ帰ろうか。

今週マガジンでアサギリが「メタファー的な」とか言ってたけど、お前ケンカばかりしててどこでそんな用語覚えるんだ。#ABOUT

オノヨーコってきれいに絶望してんじゃん

夕から夕へ、朝から朝へ、駅から駅へ、城から城へ、スーピーなものを入れながら移動していくしかない。

体に酒入れて朝の血はやまりぬ暖まりたし殻の割れても

スーピーでクランチャーでベジーでスパイシーな何かをいつも求めているが、ミキコ嬢のような別腹はない

東京で大分被爆した

明日のフランス座の祝島ヘルはピアノときしこちゃんアコーデイオンだけどそれ以外の飛び入り楽器奏者も

歓迎 ♪ 日のアビエルトはソロになりそう

冬 Who are you

冬 Who are you

浮遊するface

you saw 富裕層

冬 Who are you

ユーフラテス油送管

湯布院に輸送

冬 Who are you

不安な指

風葬ユビュ王

be with you

広島フランス座

祝島ヘル

≡/矢野ミチル(live painting)

アビエルトは篠田の上映会以来二度目。前は中山さんが冬瓜のカレーを作ってくれておいしかった。中山さんはお元気であろうか。旅団関係のほかにピアノがあるので原田さんとかも来ていて、身が引き締まるフリージャズのハコとしていつも頭のどこかにある大切な場所のひとつである。

デモ暗し暮らし苦らしても食うらし

灯台デモクラシ

「祝いの島」

ロボットの富士額やこめかみは

千年の間に私達の顔がどうなるかを示している

そこへ抜ける海底トンネルは信じられないと

手を挙げている夢

人間に対するおそれやおののきを

ある程度取り除かないと

乗船前のソーセージ一袋の値段のような気忙しさで

国を返す

誰に対してもすべてのものとなるために

その金属に地の輝きはあるのか

熱ではなく薬品による表面の苦しみの溶解

われわれもまた腐蝕しているのか磨かれているのか

判然としない処置を受けながら

兎に角一〇〇〇年の秋を進行させているのだ

広電はUCCAが使えるんか 大阪のチンピラが喜びそうな計らいやね

母ちゃんがね、父ちゃんは・・・分かってるよ、虫けらというより「うじ」な。 うん、当たり前。

宇品二丁目でポンチョ男も乗り換え。広島に何でインディアンが居るんだ

十日町の紫苑にいるけど相変わらず退嬰的でBGMも渋いな

いつも帰りの旅費がない

渋いと思うのはエチオピアとか一蘭の味のベースの薄さ加減とか。邪道はその反対の極端にマンリイなおー

ダー。

祝いの島ヘルのイメージは薄く光る真鍮

退廃というには艶があるので。あと今日やる場所は廃墟ギャラリーといいまして云々

ベレー帽のきしこちゃん登場

祝島から

雨なのに猫の〇子が屋根に上っている　大熊らはまだ起きない　スクワットしてる　「こぞって屋根に上るとは」

アビエルトの窓から電車が見える　可部線上八木駅を動き出す　異様な近さ

小宮山上等兵は死んでもラッパを放しませんでした

川のほとりに出た。昨日は「岸辺のふたり」から始めたんだった。

今日は一回転してオンガクに戻る

音楽がないから音楽に戻る

もうじき、終わる

大きな山が、ピアノに被さる。岩の裂け目に隠れても、衝撃は来る。

今日は、長く弾く。

一の知らせだ。

曲がった時空におけるクラインゴルノン方程式

甲板にて

その島には船着き場はなかった。ライオンが寝ているように見えた。陸は所有される。そのような島は沢山あった。ライオンは所有される。陸は吠えている。

所有されることに關して、昔の本にこうある。島々はわたしのものである、と。日が射す。国旗は激しくはためく。赤は見え隠れする。航跡の白を撮る者はいない。

広島から帰りました。中山さんに冥土の土産になりましたと言われしんみりしてしまいましたがお好み焼き屋で美人すぎる水道検針員と話したのが楽しかった。あとヲルガン座のアカーディオン部は魔女の巣窟だと中山さんが言っていました笑

モンポウ自身の弾くpiano pieces

寝る前に聴くといいです。

やっぱりピアノは調律した方がいいかな

花もて語れ(片山ユキヲ)

朗読マンガってジャンル、あるんですね

夜の空空っぱいの黒い花

外郎ヘッドブルース ロックンロール外郎 外郎ウィープフォーミー 外郎ザワールド

どこをどうして上野の柳、鯉に吸わせるあぶく銭

池は不忍土壺に填まるダツシユダツシユと門の鬼

わしはふたまたみつまたこうぞ、手習い終えて筆を拭き

くちなし爆弾落とされて沢蟹姉妹仁王立ち

三件回ってハムカツ比べ囁まれてむかつく御徒町

霊柩車さえ白く塗り日比谷が転がす石つぶて

なにをペラペラ三丁目じんじんするのは世界堂

手押し車に野菜を積んでリハビリみたいな老農婦

酒のためなら娘も売るとヨエルて人が書いている

青空に剃刀入れて

活用は雄鶏オンドルおんどりやあ

まなこなのか 送電線なのか 軍用機なのか 分からないから読めません？

作者が神なのではない。言葉が嘗ては神だったに過ぎない。だから朗読というジャンルは繁盛しない。朗読家こそ預言者である。

花々はあたしはこうだあたしはこうだ

ああそうですかああそうですか

傾いた電柱空に数学者

コスモスが冬にそっぽを向いている

ミカン畑の緑の陰にルソーが描いた葉が見える

都々逸を田舎で唸る避難組

崎陽軒本店ビルに毎週はとても無理だと浜デート

入れ墨を外で待たせて②温泉

砥部の文化祭に出品しても全然売れないので、客が来ないカウンターにモモクロのコスプレで佇む野毛バラ
荘の相馬さんの心境である。

立冬や乳癌検診さわやか号

去年の冬の京都の最も美しい思い出 Art

蕎麦屋ですよ。店名は「ふるさと」。

水すましになりました玉碎色のカリスマが

住まわせたルビーを欲しい人にあげている

空を干すのはその様な時だ

叫ばなくても酒はあるいた

様様半月誰何型の西瓜はカウンターから昇りたつのや

あれと思つて後ろを向いてなんだ そこに いるのか なんだ

生らぬ無花果 オリーブ わたし なんだ 真夜中なんだ 起きたら

怪物撃つて星座になつてかかる費用は自分持ち

星座を撃つて怪物になつておやすみなさい憎むべきおれ

よりよいせいふにおさめられたい? けんりよく と 発言できるかちゃんとおれたちに

酒のためには子供も捨てて一日ずらす決行日 欠航便に託つけて 空いた時間に 試食腹 今日も枯野の すすきはら

縞馬がひとり離れて森のなか

絶壁はマンガのように海に落つ

はししたをはしもとと読む倭語の怪それを教える英語もいいが

母ちゃんがね、父ちゃんは「はいまわるつばさのないイナゴ」だつて

朝、ボーナストラックというバンド名がおもいつかれ暗澹となる。

それでも今日が続くならわたしや今日など要らないわ

物言わぬ駝獣が物を言い、バラムの歩みを妨げた。

希望の場所を持たないのだからすべての表現はバラム化する。

祝福せよ希望の国を。

話があると言われて向かう川を下れば出合橋

この辺りは防空壕が散見される

「来ちゃいなよ」てふ男の声に邪気ありて

タラップ踏んでグラサンかけて「ここが松山？何もないわね」

おむつなし育児って流行ってるんだそうです。一才でおまるを使うんだそうです。昔はみなそうて、発展途上国ではいまでもそうなんだそうです。

羽をむしらないで生のまま食べだした。

ファミマでコーエンのハレルヤがかかっている。

生で憎い雲の夜空

夜の畦道光りもなく溶けて解(ホド)けてジンビーム

なんだかんだで途方に暮れて飲まなきゃいいのに缶ビール

数珠つなぎの時間が玉を押し出し

トロツコを飛ばす

朝毎に新しくされるのに、

今日は終わりに至らなかった

生まれる前から知られていたら

わたしは生まれなくなかったかもしれない

顔は鉄板のように磨いた

着ぐるみを脱ぎ捨て

動物としての言葉がバラム化する

おいはぎに着ぐるみ剥がされ剰余消え

2012 Realized performing Arts Complex Matsuyama

同緯度同縮尺の路上朗読 ドウルーズ・俊徳丸 一月一日道後ワニとサイ 出演おれは九時半 花と竜・砥部・呉・若松物語 一月一日松山モア

出演おれ、とハルコ(気が向けば)

ドウルーズ・語り 筑前琵琶上の PTSD 活断層とプラトー 再再廃墟化する他の岬として佐田岬半島の野積み緑色片岩がスレート化する 一幕一場一人デモ

スレート化した別腹たちを「ないふり(地震)」が素粒子化する。伊方正門前ノイズカフェの質量が時空を歪める。

白い鳥が羽根をも落とす 黒い鳥が羽根をも落とす 赤い鳥がまた羽根落とす

それを拾いて俊徳丸の 五体六根なでまわすやら 元の通りに平癒なさん

骨壺の商談まとまったみたいで松原さん帰りました。

泥水冬道ブルースバンドか墓川雪夫カルテットか東京スーサイドで七針の向井の日にライブしようとしたら
オチヨクラレテルヒマハナイと言われ断られたので、やれる場所を探しています。一二月一九、二〇、二一
日が空いています。なければ路上ですね。

最近の、protectionとしての音楽の役割を探るwall of soundというプロジェクトに寄せられたテキストに散見されたのは、音楽の自律的な振る舞い、外部に於ける勝手な、或は主体の無意識の身体性の許可に基づく、リトルネロでした。

俊徳丸のノモス(通底する口笛のような)は、幸福の追求です。その設計図(暗号化された線としてのそのコード)は継母によりレプラの盲者とされることで逼迫したリズムを生みます。私たちが佐田岬の被爆を予定されている環境に対して開いている時、同じリズムが生まれます。

中央構造線活断層上の伊方の「ないふり(地震)」が「ないふり」をしていると、リズムはコツコツという秒針の猶予期間としての閉じたツリー構造のビートを刻みます。伊方町の雇用をはじめすべての批評性に開かれているとき、はじめて俊徳丸のリズムで生きる事ができるのです。

同じ歌を違うコードの元で歌う時、わたしたちは開かれていきます。カラオケに乗せて、開かれた詩を朗読するとき、同じ歌はテリトリ一から出て行きます。そしてそれこそが、音楽の大事な役割なのだという事を、wall of soundは教えてくれました。

反原発デモの金曜日の反復における、差異にこそ注目しましょう。同じ歌を歌いながら、変わり続けましょう。大熊のビクトル・ハラはアナクロであることから、差異の測定器として機能しなければなりません。ルーがヒロインから最も遠い地点から歌ったヒロインのように。

それはいつもノスタルジーから始まりますが、日比谷禁止といった線が引かれることで、コードとしてのデザインを変えて行きます。クリティカルな拍子の誕生です。主催者のいつも直面するのは、その時々の方他方のカオス化に橋をかけることです。

警察権力とのコード変換によるふたつの絶対的に異質なもののダンス。「あなたは何を見るか」「ふたつの宿営の舞いのようなものを！」敵対、ダン

ス、敵対、ダンス、敵対、ダンス。毎週橋を架けなければならない。馴れ合ったらツリーになってビクトル・ハラが取り込まれてしまう。

ぶつかるときの響き。サウンドが官邸ないし議事堂の壁面にぶつかるときに剰余としてのサウンドの価値が生まれる。それはぶつからなければ得られなかったビクトル・ハラの新しい相貌。ダンスであるだけでなく、壁面との合奏であるような領土化。それを初めて政治性という。

相手の繰り出すリズムは一秒一泊のメトロノームのような時間性を持つ。スリッツとレインコートの差異にこだわったのはそういう理由による。「反抗は、どうしてもアナキーでなければならない。」

白い風船は弱い領土性の象徴であった。それは集まってきたその数のゆえに領土性をおぼえずと主張し始めた金曜日の経緯と合致する。それがリズムを規定したのだ。このデモは、身体性の領土性の問題であった。身体が、音楽を許可し、俊徳丸のリズムで表現行為を行ったのである。

「繰り返し、繰り返し、その先は、どこに向かっているのかわからない(Fridays)」これは、音楽の、複合リズムとしての宙吊りの身体性の感覚をよく表している。

旗や衣服のデザインは、政府の建造物の壁との「ダンス」、「合奏」といった言葉で表される、環境との臨界点でなければならない。アクティブリストたちによるポスターのデザイン展で見るべきは、ビクトル・ハラの場合と同じく、確かにロシア・アヴァンギャルドとの差異性なのだ。

美は壁の領土化に先行する。政治的行為も身体性の機能に先行する。両者は表現行為だからである。希望を持たない者は表現に生きよ。支配者も被支配者も、奴隷も金持ちも絶望せよ。それが希望の国と発音する意味だ。

グラフィティは署名行為である。落書きが権力にとって脅威なのは、それが究極の領土化の表現だからである。世界の終わりとは神の署名行為であるだろう。そこに向かって機能と表現をずらし続けて行く。裁縫も署名行為となり得るのはそうした理由による。

そうした政治的行為が抽象機械となり、壁がなくなっても機能しようとするとき、それが内ゲバのツリーに閉じないために必要なのは、やはり反復の中に差異をみることしかない。その健全性は、硬直した身体と音楽の自律的な機能によってあるいは保たれるかもしれない。

デモとはスタイルとしての「顔」と「服」を表現すること。政治に整体を受けながら歩いていくショーのようなものです。純粹な目を持ち、複雑な顔をする演劇の路上稽古のようなものです。「サンチャゴに雨が降る」は、首都の街を脱領土化しました。風景を二重化するのが音楽です。

デモのスタイルはいつでも変わります。デモという言葉さえも。それは電とかEとかハローワークといった愚劣なソフトライディングであってはならず、新たなノスタルジーから始まり、そこからさらに一步を踏み出すものでなければならないのです。

デモのオルガン(器官)は家族であってはならない。有機は凝固してしまうからだ。デモは空虚から逃れるための、器官なき身体性のダンスである。記憶の中の桜井大造は若い人に積極的なサークル活動を勧めなかった。システムの一部になることで身体がファシズム化するからだ。

デモから逸(はぐ)れよ。「お堀のあたりを歩いていけば、なんだ神田で御茶ノ水」だ。そういう身体を維持するんだ。音楽のように。そこまで来て初めて俊徳丸が呟くだろう。「伊方」、と。

今日一五日は、道後のワニとサイの横にある伊佐爾波神社の階段で、隊長檸檬命名の煉獄グリコをします。ジャンケンに勝って罪を告白しながら、一番先に上に上りつめた勝者にはイタリア・ワインが振舞われます。

アギタイホ!?

楽しい人生

しのう

リトルネロ

思いに留めるとは時間を早めること

時間を早めるとは辛抱すること

辛抱するとは見倣うこと

わたしがいない

暴風に揺れる桐の枝葉

そして突然限りが満ちて

子が妊娠して母を産む

早い雨と遅い雨

収穫の反復と差異

待つことは次の種を蒔くこと

そのzuccaのジャケットにはポケットがなく、ものを紛失する一切の責任を他の衣服に押し付けていた。

トイレを開けると女が化粧していた。建物の裏手に回り壁に凭れると室外機が壁全体を震動させているのが分かった。

今日も気分はエイリアンズ

まだ音楽をやっている連中はどこかにやけている

自分の理性を公的に使用することは、いつでも自由でなければならない、これに反して自分の理性を私的に使用することは、時として著しく制限されてよい（カント『啓蒙とは何か』）

通常、パブリックは、私的なものに対し、共同体あるいは国家のレベルについていわれるのに、カントは後者を逆に私的と見なしている。ここに重要な「カント的転回」がある。（柄谷行人『トランスクリティーク』）
ジエクは、カント的文脈で、昨今失われたのはプライベートではなく、パブリックなのだ、と言っていたのだ。

ホワイトヘッドにおける「セルフエンジョイメント」はパブリックとプライベートの治療としてのセッションの、身体的「フェルト・センス」のようなものだ。

線量を隠蔽してはならないわけだから、政治においては、プライベートとパブリックの区別がなくななければならない。

ここで乱暴な仮説を立ててみよう。わたしたちの人生の目的は、ツイッターにおけるプライベートとパブリックの区別をなくすことだ、と。

違ukai? マダム。

今日はマップが多い

エアマックにコーヒーこぼしたことあるひと そのあとどうしたか教えてくださいよ うおんって言うよ

岩田舞子は練獄ジャンケンを東京でやるらしい

そこで、毎晩「死んでもいいや」というくらい濃密な空間が生じることも理解できました。世の中の人の気持ち少しわかった気がしました。

いつも追いかけてくるやつが五人くらいはいた

ワニとサイ 2012real edge performing arts complex matsuyama

旅費なんか惜しくないのに

きょうは「あなたの顔見て目が濡れた」という藤圭子のフレーズがリフレインしている

汚れているので祝福されない

汚れているので祝福されない

汚れているので祝福されない

汚れているので祝福されない

汚れているので祝福されない

ジュヌヴィエーヴのライブは一七日夕方から立川のギャラリー・セプチマであるようです。展示は渋谷パルコB1とポポタムで二月三二日まで。フィルにも約束したので一応会いに行きます。でも一七日夜は裏窓だから見ずに帰ると思うけど。

コートニー（ラブじゃないよ）のフェミニスト・ディナー・パーティーは二五日まで路地と人や代々木公園でやっています。これも一応見にくつもりです。ジュディ・シカゴの「死者との食卓」のコンセプトは、石橋英子の「もう死んだ人たちと演奏する」と繋がっていると思うんですけど、どうですか。

一八日は道下君のバンドでやるんですけど、キーボード見つかったのかな。この前ペンペンズの後大橋さんたちと飲んでじゃあ今度カラオケ行こうよとかなったけど、ほんとに行くかな。足立区の、やくしまるえつこの神社でやる朗読は気になるけどいけない。今回は東京はそれで終わり。旅費が出るか不安。

今日一五日は、道後のワニとサイの横にある伊佐爾波神社の階段で、隊長檸檬命名の煉獄グリコをします。ジャンケンに勝って罪を告白しながら、一番先に上に上りつめた勝者にはイタリア・ワインが振舞われます。

Brahms Sextet No1 (2nd Movement)

映画でブラームスを使うことがある種の鍵であるような気がする。背骨と腹の音楽のベクトルはそこで説明されるだろう。

Claude Debussy - Sonata for Cello and Piano in D minor - 2/

ジャズがドビュッシーの音色と風俗のお下がりなのであれば、娼館で捨てられ孤児院で育った者は存在しないが世界に投げ入れられた否定弁証法であるのだろう。ぎりぎりのところにアイスラーがいる。

フルトヴェングラー、ブラームスSym 戦中

そこではたとえばブラームスとヘルダーリンとハイデガー、シューマンとベケットとドウルーズが結び付けられるわけです。そこで想い出すのが、間章が「途方もないこと」として結び付けようとしたハイデガーとエリック・ドルフィーです。ハイデガーはどちらに結びつくのでしょうか。

Mahler Symphony No.8 2nd Movement Part 6

映画監督はクラシックを使うタイプ（たとえば「希望の国」の園子温）と、ジャズやロックを使うタイプ（知ってる人では野毛みなどのヤクザ映画専門>シネプロデューサー渋谷さんの、女装ロックバンド「越路姉妹」の楽曲の効果的な使用って何言ってるんだか）とに極端に分かれますが、それはなぜでしょうか。アドルノは、「哲学は音楽と兄弟のような関係にある」、といいます。（『否定弁証法（一九六六）』）

King Oliver's Creole Jazz Band - Big Butter and Egg Man From the West（一九二七）

それを模倣し、固体化し、前近代化し、ライト・アート化した若きルイ・アームストロングがここで唄っているわけです。

Buddy's Habits - King Oliver's Creole Jazz Band

と彦坂尚嘉は言います

死にそうに寒い 咳が出てきた

いや、facebook かな tumbletter かな faceveernotebook かな さらに出す場所を間違えて 高円寺のロータリーではらわた出しちゃって

さ 八百屋帰りのおばさんの買い物かごの横で

ほんとにお前そんなこと思ってたのか？

コンピ解消するぞキリンジみたいに

何が明太チーズだ

おれはいまとってもプライベートだ

おにゃんは偉いな、いつもデモ行って @horamironikuda

ああ、戦争前夜のように気持ちがいい。黒いドブ川の澄んだ上澄みのようだ。

おい、墓川！つておい、小池！みたいだな。小池つて死んだんだよな誰か殺して。あの顔は世界のどこに消えたのだろう @horamironikuda

今日は飛蝗が眼に跳んで来て困る

それがパブリックつて言うんだ @koyasumoch

東京にはまだ行っていないよ。最近の官邸前はどんな感じなの @horamironikuda

小池さんて半夏舎にいたなあ。あと小池一夫さんてまだラーメン食べてんのかなあ @horamironikuda
なにが太陽の党だ、あ、太陽族か。

声を聞かない

切石で建てはしたが

ライオンから逃げ熊から逃げ、壁に手を置き安堵した途端に蛇に咬まれる

考案した楽器の音に合わせて即吟するのを 聞かない

顔が大きいのか体が小さいのか

飲んで飲み干し、まるでいなかったかのようになる

種の複製はなされない

飛蝗が眼に跳んで来て困る

今年のボジョレーは中絶の味
ビオはその前の味

謝れ！桜エビさんに一匹づつ謝れ！罪のABCを教えてやんよ @horamironkuda

青系の「なんちゃってアグリー」から真の「アグリー」に向き合わないとフェミニズムに未来はない。

それと、こういう女子系に受け入れられている男はどうも好きになれない。曖昧さを放置して薄ら笑いを浮かべているからだと思う。

ノースウエストのzineのカルチャーは確かに「アグリー」と向き合ってきたと思う。目白から渋谷に移動する間に、雨傘の陰から美しい「アグリー」を採集する眼差しを探す。

渋谷でいちばん「アグリー」を探す。「アグリー」は「フキゲン」ではない。「アグリー」はきっとスペイン坂の「人間関係」には居ない。

ufoclub Isdmarch

歌舞伎町のビルの階段で寝ていたが寒さで目が覚めた

山手線ホテル Here comes the warm jet

数時間前にはなまるのかけの小生姜死ぬほど入れてたべたがもうまたさむくて死にたい
わかいひとで山手線はいつぱいだ

はやくしにたい

ホテルにとまるひとたちはどこでお金をもうけるのだろう

きつとわるいことをしているにちがいない

さっかになって山の上ホテルとかにかんづめにされたい

寒かったら一周 それでも寒かったらもう一周

子供だった頃の顔のわかる人は子供の顔に話しかける

青系とは赤系に対立する女の子自身のカルチャー、なんちゃってアグリーとはかわいくないふりをする事

@sc9

まきのが薦めるアウトレイジビヨンドみちやった

たけしってみんなのはじめて キタノブルーでこんななか てめぶっ殺しぞこのやろ

道下君の曲は今年のボジョレーみたいにファンシード。くりはら君ギター旨いな。ぼくは何していいかわかんないよ。

西村つて連れシヨンが似合う男ランキングに入るかもな。「冷えますなあ」とか言っちゃってさ。幾郎はそうでもない。シャイだからな。栗原は論外。道下は連れウンコ笑

やれんならやつてみろよチンピラ@_YukioHakagawa

エチオピア、ミロンガ、路地と人。珈琲とワインどっちが黒い？

種を産み出すことが終わった、もしくはそれを匂わせない、柔らかさとかわわさどがイネ科の茎の先に束と成って、綿毛は乱れたシャツにくるまっている。光は二方向に、一つは内部の「原石に」、もう一つは「外に」向けられている。

裁判に負けたSAMSUNGのスマホがシャツのループを映し出している。強い二打に呼応するのは早められたエコーとしての異なる時間性である。#wishyouwerehere@路地と人

フェミニストが単純に恋人を待つ訳がない。素材選びから抽象性に至らせる脳と体の仕事量、キュレーターと称する男の労働時間を含めた総体が展示であるような、チープなパンクとして。#wishyouwerehere@路地と人

岡山

忘れられたアーケードのように暗く続くので 引き返す代わりの裏道の灯りに さらに狭められた命を引き摺り 何の駅に戻れると誰の家に戻れると 半月を孕ませ 天蓋を滲ませ 女等はさんざめき 閉店し始め暮れる途方の

やっとまた夜景が見え始めた

見えている間に、急いで事を済ませなければ

人まで死んだmeltdownの次の企画の話を取り下げ日にちをずらして入れ子にしてやったのに漢字が感じ悪いので再領土化RT: 二月一日 低円寺ポートショー むかいとうまくどう、とつぜんツタッキー、マヘル、など

律儀に拡散するなら汚染瓦礫と一緒に。ダサさを共有、食べて応援、てか？ 骨の髄まで外食店になったな。神経やられたか？ 滅びる前に麻痺してどうする

みな病気になる始めるから物語も増えるだろうけど数としての死には追いつけないと思う 人の数だけ死があるのではなく死の数だけ人がいるに過ぎない

人の死の数だけ物語が作れなくなったらそれを終わりと言うのだろう。芸事を支えてきたのは「死ぬのはいつも他人」という意識だから、それが崩れば芸も終わるわけだ。

どう強いたんだイ兵米英RT SUCCESSION

前にいるエムニエル婦人の前菜はエスカルゴのメニエル エルサレムを三半規管と目にいれるがiPhoneless in Gaza

パスワード

地震は大したことではなかった

誰が侵入したのが問題なのであった

離れているように命令されていた

何の命のためのパスワードか

誓いをもって踏み込む不幸

論争の終わり

本気で死のうと思う

地震は大したことではなかった
誰が侵入したのが問題なのであった
低俗な音楽
排斥

離れていることを示す三度目の方法は
離れているように命令されていた
何の命のためのパスワードか
誓いをもって踏み込む不幸
よそよそしさという
論争を終わらせるあらゆる論争の終わり
爪切らなきや
本気で死のうと思う

D.O.A.

今日ととなえられる限り
到着時既に屍の犬を追うが
かたくなになることのないようになさいと
今日もし言われたら
山の上でしゃこを追う
一つとは限らない
剣は魂と霊を

外側から見るこの屍体と内側から見るこの屍体を分けるまでに刺し通し

しかも罪がない
と言われ

ひまわり畑に貢献する一輪
うなだれたうなじのかたさ
第一の地位を占めたがって

到着する時既に死亡
山の上でしゃこを追う
一つとは限らない

鯨洲って違反講習と相俟って聞くだに嫌な響きですよね。東京湾に鯨っていたんだ。新宿鯨っているけどね。ライオンと鯨と闘ったらどっちが強いだろうね。陸ならライオン、海中なら鯨だよ。ふああ。おやすみなさい。

しかし万が一、陸で鯨に勝機があるとすれば、、、、しかし最強の生物は還元すればアリかも、、、、いかな等身大博物館構想が再燃してきて眠れない。明日朝免許更新なのに

クマムシって強いのか？クマとどっちが強い？ムシさんに訊いてみよう。

予想回答「等身大だったらクマムシのほうが圧倒的に強いと思います。ただわたしはまだ飼ったことがないので性格まではわかりませんが、案外闘うんじゃないかと思えます。」

早く寝ろよおれ。あ、戦いのことを考えるから眠れないんだわ。おおかみと羊、ライオンと子やぎも共に臥し

すずきさんねたかなあ　すずきさんにおにぎりつくってもらいたいなあ　すずきさんおにぎりややればいいんだよ

食べ物のことなんか考えてはいけない。でもピラコのライブの誘い方って好きだな。筋が通ってて

ピラフ作れるよ。米を焼くんだけど、透明になる見極めが難しい。あっちゃん、ラッコって食べられるかな。だめだ、一蘭は薄味に限る

「新宿・眠らぬ街！」と角煮

ラピスだいじよぶかなあ

ソウルキッチンでガクさんがニコとディープキスしたて言うてた

ねむくなってきた

ふくおかさんのひらがなは一語一語がくまみたいだ。「こんばんはふくおかです」 かつばさんのひらがなは背後に漢字がある。「かつばです。おへんじよろしくね。」

今日は集団ストーカーにあつていて、スーパーやレストランで毒を盛られるという人から三回電話があつた。

きつとそれだ

未だに神聖な独身は長女のように声から老いて世が世ならばというような声から老いて 古風なストールが飲酒運転 海に落とされ
流れ着く橋梁工事 黒血川と読めてビビる 関ヶ原のオバデヤ 山岳は海からの苦い風を運び 老人は艦隊と瓢箪の思い出を自慢気に語る

あなたが怒りに燃えたのは正しいことか 暗い顔で愛を語る実演 一〇年経つて女の子たちはすっかりおばさんになった これだけ近くに居るのにジェルソミーナは泣く あなたが怒りに燃えたのは正しいことか これだけ近くに居るのにジェルソミーナが泣く
未だに神聖な独身は長女のように声から老いて世が世ならばというような声から老いて

ラーラーラーシードードシーラー

ホルクハイマーとアドルノは『啓蒙の弁証法』においてファシズムを準備する道具的理性を厳しく批判し、
宗教的なものや芸術的なものへ理性を投射していくことで『自己保存の欲求の強度』集団主義に誘惑される

弱さ』を無害化しようとしたのである。

否定の否定の否定も学際(interdisciplinary) 神に弁証法は有りや

ジャズとハイデガー嫌いのユダヤ人アドルノのアドレナリンはあなどれない

アドルノとホルクハイマーは荒れ野のアルツハイマーみたいに学園祭的学際を拒否して突っ立った。それが第一波フランクフルト辛大学派である。

マルクスをまるくするなと辛大学派は太宰那智黒猫学派と対立しヒットラれた。

我々は半分アドルノ半分ハイデッガーである。我々の半分は現代音楽であり半分はフリージャズである。それがアングラの身体性であった。

アドルノ「投げ出されるとか言ってるからナチになっちゃうんだよ」 ハイデガー「だって寂しくて寒いんだもん」

アドルノ「ぼくがきみを変えてみせる」 ハイデガー「あたしに近づけば近づくほど遠さかるわよ」

アドルノ「アウシュビッツの後には詩は意味をなさない」 ジジエク「いや、災厄の後に詩だけが垂直に立つのだ」 ぼく「じゃあお前ら書いてみるよ」

そしてみんな最期は金子みたいに「にゃあ」としか言えなくなるんだ。

今井、死んだなあ

次郎さん、青空だ

秋田の「さなづら」という山葡萄の寒天は天使のレバ刺みたいで、春子がこっそりくれた「カフカ」という飴は不条理というより春子の味がした。

どうでもいい時に、どうでもいい場所にラーメンシヨップがある。さういうもので私はありたい。と思うときがある。

良心の実験は終わった。心に律法が書かれていないくせに、過度に悲しむのはやめたまえ。ユダヤは選民ではなくなったのにアウシュビッツを基盤にジャズ批判をするのは、三・一のみを基盤に表現を語ろうとすることに似ている。「希望の国」がカンヌに呼ばれなかった地球規模の理由を考えてみたまえ。

世界は放射能によって滅びるのではない。その心の状態によって滅びるのだ。

佐久間さんが四畳半のアートランドで五〇人を呼んで三分三三秒の録音をするそうだ。無視されて、二〇〇年後に再生された途端ほろほろと崩れるようなものを作りたい、のだそうだ。

フルクサスの四分三三秒、九・一一、三・一一を基盤にした三分三三秒を基盤にして、僕にはシュトックハウゼン以降を宮沢賢治が語る、といったものにしてほしいそうだ。

いいだろう、リズムはこうだ、人力で、9.11 3.11 4.33 9.11 3.11 4.33 9.11 3.11 4.33 9.11 3.11 4.33 さうて歌詞はこうだ、「どうでもいい時に、どうでもいい場所にラーメンショップがある。さういうもので私はありがたい。」

仕事とは死語が多すぎることを指摘すること またはその強度

愛とは死語を一回転させて発語すること またはそのやり方

砂糖水によって得られる希望は身体には希望そのものようになる。しかし真の希望は一回転しない希望そのものである、それは必ずしも身体性を伴わない。

今週はマガジン早いな

シヨートホープとロングホープだけでよ人生なんて

KYOKO感染おめじとう

あと一〇年くらいで年金月二万。市営で車捨てて野垂れ死に モバイルハウスとか言ってたのは元気な時だけ 後ろの山に捨てましょか いえいえそれはなりません

乳癌が再発して死んだ河野裕子最後の歌「手をのべてあなたとあなたに触れたきに息が足りないこの世の息が」

『現在地確認』

きみがいま駅から家に向かうには月ぐらいしかみるものがない

✕きみがいま駅から家に向かうなら月ぐらいしかみるものがない

一二月一八日showboatノイズは即興から最も遠い 出演マヘシヤラ、マシヤハラ+マシヤ+マシヤ、

マサラシヤ、マシヤハラwithマシヤラ、料金二五〇〇くらい 時間二時くらいじゃないの

大野開発がまた東温で瓦礫処理を始めようとしている。その儲けを見越してか、社長の親のヤクザが強気でビルを新築して再オープンさせた鷹の子温泉にはみんな行くなつてビラでも配るか。

容疑者(五四歳無職)は、ネットに東温市のオオノ開発爆破するぞ、と書き込んだ疑いで逮捕されました、と書く。

容疑者(五四歳無職)は、東温市議は瓦礫反対の渡部伸二以外マジで殺すぞ、と呟いたかどて逮捕され、と書く。

コンビニのゴミの容器はせりだして歩道に口を開けているから
満月に身重な海月コンビニのゴミ箱の中に捨てられている

sing gets 新月 man gets 満月

罪が取得新月 の男が得る満月

反影月蝕 というのか

冬ざれや毎朝便利な欠茶碗

彼らは蛇のように塵をなめる。mic7:17

上野で三〇万貰つて年越せると思つたけど車検と保険で一二月まで持たなかった。家賃もない。宮崎さんに貰った瓢箪レーベルの新作プレス用の金に手を付けそうになっている。タイトルは「みかん」。予約受付中。二〇〇〇円。(広告)

酒遊館西村さんが、京都トラウム・スタジオの録音エンジニア東岳志さんと柴山と僕と三人揃えて記念写真撮りたいと盛んに言っている。似ているのだそう。プログラ者っぽい偏執を感じる。

最近の告知で同意できるのはこれだけだ。あとは魂が入っていない。こくちv【釜ヶ崎III】二〇一二年二月三日(月)一九〇〇～投げ銭@難波屋(立ち飲み屋)〃西成警察署近く/Tori Kudo's GIG in Nambaya (Osaka) 3rd.DEC.7pm-

$$(-)(-)(o_v - v_o)(v \Delta v)(v \circ v)(v$$

大野 開発

二時過ぎから立花な錢湯の前に人が集まっている。二時半に皆雪崩れ込む。刺青の背中が並び、イーッヒッヒッと笑い合う声が響く。枝松の交差点に、同じ色の車が続く。「すれっからし」の空爆色だ。

道路の脇を線路が走る。遮断機の音のみで、電車は見えない。風景に柿の皮のような空気感が混入してくる。久米だ。

ラブホを過ぎると辺りは白くなる。永遠に続くかに見えた商業区は眼球の露光にもう少しの間耐えるだろう。

不相応なマンションなどあるにはあるが、あとは被爆街道を睡魔が上って行く。オオノ開発とはその一瞬の隙間に撃ち込まれたひとつの楔なのだ。

地下道いっぱいに羽が生えて死にたい

十六夜

霊が虫のように心を食い尽くしていく夜

満月は視点を変換出来ずに

せろせろとくぐもった一本調子の朗読を行おうとしていたので

致醉上等

耳の後ろが痛いってこういうことか

「わたしたちがまだ生きているうちに、わたしたちの目は、援助をむなしく待ち焦がれ、見回しては、救いをもたらすことのできない国を仰ぎみたのだ。

付け狙われているので、わたしたちの公共広場を歩くことはできない。

わたしたちの終わりは近づいた。

わたしたちの日は満ちた。

わたしたちの終わりが来たからである。」

日和雨師走風神雷神図

遅蒔きながら小さいコスモスを田に咲かせて

人の気も知らないで、てシャンソンあるね

@shinjukuramado the day of death better than the day of birth.

@chairsstory 時間へのこだわりが感じられない

@chairsstory 彦坂尚嘉風に言えば、こうした時間は液体でなければなりません。海が液体化していない。唯一の鍵であった缶ビールの扱いに失敗したからです。音楽の時間は熟れた西瓜のようにてれっとしているものです。そうでない固体化であるならば、数そのもののこのこだわりが必要です。

頸椎の整体でナミがもう一週間薬のんでない。ナミには希望があるから体内物質が手打ちうどんみたいに出てくるんだろ
舞子が言葉押し固めて作った菓子は葬式のような寒菊型で 京都の冬はそれを溶かして飲んでいたのであった

拾得でウィンドウペインきめて今井がベース弾いたコクシネルの「ねこのマーマレード」は「マヘル第一集」(D♭)に入っています

チョコの脂身みたいね

南淡のサーブスエリアでツアー帰りのトクマルシュー一号に遭遇 きしの君メンバーなのか 楽しそうだな

ここは二階に畳があつて毛布あれば泊まれる

赤い蔦のある家ってムンクを思い出すね

いまは幼稚園のフェンスの外に坐つてwaistin' timeや

心は晴れて気も触れて つて古井由吉の小説にあつたね

国家戦略担当大臣前原誠司でなんやそれ ダスキン府中分倍河原支店長と顔が似てるから考えてることは大

体分かる

震える舌は鉋物オタクと茸オタクの絶妙なエアコンと云えば霧ヶ峰でした二層式洗濯機知らないの？若いね
久保田君のは音楽というより音楽についての説教節や 灰野さんもそういうところあるな 溶けない言葉を音
で溶かすか

どっちも溶けて初めてサイケや

嫌いな奴いっぱいおる 困ったもんや 酩したるか

ベ一メならそう言う

なんでハワイでス一フィーなん舞ちゃん

最高の車輜は京阪やねえ敬子モノ作り残像フラッシュユバツク

鬱のしんごが温泉の宣伝してるが委員会

石橋君元気かな

十三的非決定へ

マスクいるな

東京と大阪でミキコとナオミの違いだけや

おっ久保田と思たら清盛や

なんばはなんてnanbaなん、nanbaよりかっこよく見えるというだけで誰にも断らんとそんなことしてええ
の？

そうか朝鮮語の□か

それを言うなら ナムバベアーズでしょ

キムジハのナムで小説読んだことある？市場の描写が凄いよ

渋谷にイグルース「ホテル南京虫」という曲を書かせ、山路に歌わせたい。

トライアングルソロでね

タイツスパッツレギンスと破けていくとです それは困りましたね

蝶墜ちて大音響の更年期

ビリケンも届かぬ彼方のアーケード

山王はベルリンと一緒や

そろそろ靴履こ

並ぶとオニギリがもらえる アツという間に人が消える

写真撮ってる兄ちゃん、アースダイバー気取りやな

幸せになればよと境界性人格障害偲べど詮無き

霜降りトースと言うはまれにして今じゃ普通のサ店ばかりで

ねむり姫という飲み屋

今日やった曲は、人の気も知らないで、ダニーボーイ、紅ホテル、ラウンドミッドナイト、ホテル、休憩を挟んで名前忘れたけど童謡、青い目をした人形、みんな夢の中、left alone、sea of love、化粧、train train、エ

イリアンズ、釜ヶ崎III

など

おお、椋鳥か。ありがとう。@synningson

白黒は茶とか虎とか黒よりおっとりしてるって本当ですか うちはそうです

学会会みたいな韓流。日韓のおばさんたち共同で両国近代史の教科書を作るドラマ、とかないかな

野良犬にお握りやれば風強き

どこまで遡って書くことが出来るか

わたしはどこまで遡れるか

七日目の始まりまで？

頭の中で何人殺した？

背広よ

ファラオのネコはカルケミシユで負け

極悪な王エホヤキムは死んだらばのように城壁の外に投げ捨てられた

衣を引き裂かずに外部の書物を燃やした

直ちに影響は及ばさない書物を

未来とは今余地を残すこと

中身の詰まった声たち

ロジエストヴェンスキーとなごやかに会談した東郷

乃木大将は殉死した

確信に満ちた声たち

王族としてスオウの桃色のように反発し

百十五日目に四つ、スオウの白色のように立った

飲んでも酔わない

着ても暖まらない

農婦の口から

変化とはある言語への変化である

「そして、働け」

東からリングは送られてくる

哲学は限界を反映委する

いくらおいしくても毒の入った水なんか

毒は母の上にあるのか

太っているワンピース

書の形は完璧だ 反った後ろ髪

レザーからペイズリーののにおい

つま先のような豚

短大の顎のしたたり

すごい関係

ヒントはここにあるの

おいてけぼりの目にかかる髪

だれかなあ？

バス停のように

結婚しないな

母の上に枇杷のような毒の首が乗る

シャイニイブーツオペレーザが

カレンダーの罫目を埋めるように

自民党

念を押す語尾のような山の形

ミカ 寒い

戦闘態勢に入った二つの個体

ADHD と言われた死にたい

突き当たらせている

突き当たらせていたのだ

難しすぎることにように見えるが

人を携えてくる今日このごろ

聞いている者たちよ

家畜への報酬もなかった

種によって受け継がせることによってのみ

呪いとなった分祝福となる

寒さという拷問を予測する

好奇心の罰だった

シベリアに伸びてゆく鍋のような活気

それはわたしのものではなかった

千切れた風のように

何か悪いものを入れたのではなく

すべてのものを互いに突き当たらせていただけなのだ

広場はそこで遊ぶ男の子や女の子で満ちるだろう

最後の王は前髪を伸ばした

広場にわるいものを入れたのではなく

すべてのものを互いに突き当たらせていたのだ

いつか広場はそこで遊ぶ男の子や女の子で満ちることになるだろう

同盟して反抗するか、服従するか迫られている

服従か反抗か

うす黄緑の開いた空におきざりにされた春

裏返すと機械のように蠢いていた

いくつかのまとまった明かりがiPhoneを使って再び消されてゆく

褒めることによって据えられた人々が夕方家に居る

そのことに気付かなかった

うどんのように日は暮れて

この話題について日ごろよく考えておられるのですね

壁に掛かった三号のフレームには

銅色の遅刻は

白い夜道を麵棒で引き伸ばした

炎の絵が見えた

轢かれた猫を跨ぐように

両岸に道は走った

ホワイトイエローとスノーホワイトの见えない看板が

山林に点在する

今迄の全ての色が

ホテルの壁の絵には入っていて

大きな字で書かれた筋書きを拡げ

編まれた体の形を読む

たばこうそぬすみ

やっとできた相続分はわたし

白身が青いゆで卵

足を組んだ先にピンクの下敷きが捲れ上げる玄関口

歌うために書く

絵のために書く

字のために書く

書くときけばメタ

書かないときけばアート

書くときけば詩ではなくなる

終わりが来たのだ

黄緑の光

額が光る

・
・

漢詩

今迄も眠い時はあっただろうに

招いておいて

という字を途中まで書いた

使金復使金 看花還看花

女が躰かいて寝ちゃだめだよ

無造作に床に落とされているコードの

ジャンクシヨンのような意味

という線を描こうとした

徳島で「かわいい」に寄った。代替わりしても味は変わらず、今回も「もう少し生きてみようかな」と思った。
生まれ損ねたりズムは拍子機械が取り込み、園田は細川に仕える。

「太陽の光で全てが見えぬ」

※みかん 予約は五人だけでした。西川君は辿り着けなかったようです。これで放送を終わります。

実のところ、私は「大衆音楽」すなわち娯楽音楽による政治的抵抗の試みは、次のような理由で、初めから失敗していると考えています。大衆音楽のあらゆるジャンルは、モダニストを装ってはいても、それは過去の気分や、消費、娯楽への陶醉から、逃れることが出来ないのだから、そこに新しい機能を付加しようにも、それは表面的なものに留まる。理由はどうあれ、誰かがベトナムについての感傷的な曲を歌い始めたら、それは私にとって耐え難い出来事になると言わざるを得ない。事実私にとって我慢ならないのは、音楽の中でおぞましいものを取り上げ、それを消費財にし、消費価値を絞り出す、その歌なのだ。#アドルノ

@norl_1999 Music and Protestの翻訳、引用させていただきました。

世から出るのか世が過ぎるのか白い交差があるという

残された時は少なくなっています。今後、妻を持っている者は持っていないかのように、泣く者は泣かない者のように、飲む者は飲ばない者のように、買う者は所有していない者のように、世を利用している者はそれを十分に用いていない者のようになりなさい。この世のありさまは変わりつつあるからです。

ユダヤ音楽のジュヌスは「音的だが」音階ではない。それはジョイ・デイヴィジョン的な世の断片、線の、人生の、束としての時間性である。ポピュラー音楽の断片化、そのみが世から出ずに世を無化する方法だった。少なくともマヘルの楽曲においてはですよ。

アドルノはユダヤの限界を示している。かれはヨセフやダニエルが中曽根みたいな禅坊主だと思っているのだ。

確かに禅坊主に詩はない。○△□があるだけだ。

マヘルはラスプーチンじゃない。船だ。一緒にしてくれるな。

昨日の野良犬がハバククを朗読してるんだぜ

いつまでですか、って

終わりに向かって息を弾ませる腰砕けの犬が！

アメリカでコケ本出ましたね　自殺するコケとか
大阪は倫理の消えた沼にして川へ入るも入らぬもなし
歯痛いやだ死ぬ

和田川は外山に泳いでいい淵があつて五本松から大人の監視付きで行ってましたが、砥部川の突上断層の辺りて泳ぐと密告され正直に前に出なかった竹前君は講堂でビンタされました。

水晶谷に出るには用水路伝いに険しい山腹を進まなければならず、着くとそこだけが草木のない肉石だらけの小山になっているのでざらざら揃ってばかりいると陽が落ちて帰れなくなります。

西の谷池は播鉢型なので干上がると崖のようになりそこを伝って向こうへ行かなければと決まったならそれは胸が水になったようになります。

赤坂泉から重信川に繋がっている土管を潜って抜けようとする息をする変わりに水を飲みます。上がると上級生が帽子で隠してやるから千摺りさせえやと言います。

障子山に直線で登ろうとするとすぐ日が落ちて行き倒れの土饅頭の獣道の中で真っ暗になります。運良く林道に出て軽トラが通れば乗せて貰えます。

鰻を採るには朝魚籠に酒粕を入れて和田川に仕掛けておくと夕方には入っています。護岸工事をする前はそれが夕食でした。

井戸の中には真っ白い鎌の形の頭をした蛇のような生物が居て、調べてもなかなか名前が判りませんでした。蛇が泳いでいることもありました。蛇はよく座布団と間違えました。天井には白い蛇がいると言われていましたが、二階は使ってなかったのを見たことはありません。

雨戸の穴から光が入ると、障子に外の風景が逆さに映るので、不思議で仕方ありませんでした。

アリジゴクとか食虫植物が主に目を引くものでした。もし戦わば的なそれら生物の等身大妄想が話題と言えは話題でした。

肉は正月に鶏を河原で木に逆さに吊って首を切り血を抜いて組内で水炊きにします。あとは普段は鯨ばかりでした。刺身は赤い体液が皿に溜まりました。

テレビは一〇才くらいまでどの家にもありませんでした。初めてFMラジオを原池の斜面で聴いた時、流れてきたのはマーラーでした。腹池には「てっぽう」というものが住んでいるので近づくと言われていましたので横の道を通るときは皆息を詰めて駆け抜けていました。

最初の記憶は雪の日に眠りながら砦部の方へ上って原池の横を通って帰ってきた、と言われている場所で、夢遊病のようなことでした。

隣の目下の奥さんは狂っていて、地面に何か落ちているとその下に何か怖いものがある、と怯えるのでした。その頃は薬もなく、娘の倫ちゃんにもセデスばかり飲ませていました。

巨大なムカデが夜中に落ちて来るので、枕元に包丁を置いて寝ていました。

ノブ君はいつも裸足で、鼻水を垂らしていました。ハエだらけで、ご飯を食べようとするとハエで真っ黒になるのを振り払ってその隙に食べます。おやつは紙袋にご飯を入れたものか、麩を生のまま齧るかでした。ベトナム戦争が始まり、和田川を護岸工事した後、魚はいなくなり、皆農薬を使うようになり、ハンミョウを見なくなり、ぼくらはコカ・コーラの車を追いかけてはお兄さんからぬるいコーラをもらったりしていました。

そのうち道路は舗装され、逃げ水の盛夏にはアスファルトが溶けて足が抜けないほどで、福井商店ではプラスチックだとか化繊だとかいうものが油紙や竹の皮にとって変わった。

バスでも電車でも食堂でも男たちは一日中「しんせい」か「いこい」を吸いまくっていた。

三三号線を天皇が通ったとき、みな日の丸を振ってばんざいと言った。あとで絵の時間に車の中の顔を描いたら不敬だと怒られた。

手動の木製の脱穀機などは暫くの間は納屋にうち捨てられたままだったが、老人が死に絶えると新建材の家に建て替えられて完全に消え、餅撒きの風習も無くなっていった。

農協は農薬の空中散布を始め、その間は食卓に覆いをしなければならぬほどだった。農薬売り場は辺り一面、息ができないほどケミカルな異臭がした。

自民単独過半数の勢い、の大見出し。朝日は狙ってきてるな、でもペギー葉山とか出てる昔の歌謡番組みたいに懐かしい無力感だ。それでパンクになったんだよ。

愛媛一区のおいさんおばちゃん、塩崎さんは二〇一一年四月に「一五年後に原発停止」と言うには言うたが、基本が強い日本、経済成長優先なんやから守れる訳がないやろ。世襲はセシウム入りと思わんといかんぞな。うまいやろ。て誰も見てないか笑。ほな塩崎さん宛てにしてみよ。

@nagaetako 永江さんにもツイートしてみる。これではいかんやろ

一二月七日 bmbmbm @bmbmbm1 @ YukioHakagawa さんを歩いているの 暗闇にも不可思議にも似ない、ほんのすうミリの沼の上。どこへ歩いているの(暗闇にも不可思議にも似ない、ほんのすうミリの沼の上。)わたしたちがまだ生きているうちに、わたしたちの目は、援助をむなしく待ち焦がれ、見回しては、救いをもたらすことのできない国を仰ぎみたのだ。付け狙われているので、わたしたちの公共広場を歩くことはできない。

わたしたちの終わりは近づいた。わたしたちの日は満ちた。わたしたちの終わりが来たからである。砥部焼の乳の色なす骨壺に飢えと被爆と共に活けたり

滅びた国や言語なんて今までいっぱいあるのに。虐殺された人なんて星の数ほどいるのに。何を恐れているの? 次世代のためとか嘘でしょ。捨てなくてはならないのはまず自分の命なんじゃないの?

国って滅ぼすもので、護るもんじゃないでしょ。おれはもう、早く滅ぼされたいんだよ。

どうしようもなくふるえているだけのコート忘れた体の死に票

他の国の人に殺していただくために戦地に赴く面倒を考えると、徴兵拒否してこの国で同国人に殺してもらう方がエコだと思う。その時は、「さあ早く殺れ、殺ってみろよチンピラ」と優しく語りかけるとよいだろう。

なぜスポーツが好まれるのか分からない。見てて馬鹿じゃないのかと思う。何で変な格好して股開いたりしなくちゃならないんだ。勝者への熱狂や国民栄誉賞も不気味だ。昔陸上やってたとき勝ち負けのプレッシャーで毎日死にたかった。

なんでみんな会社とかやってるのかわからない。雇用して雇用されて儲かるわけじゃないじゃん。なにもしない銀行だけが儲かる仕組みになっているのがわからないのか。

会社行くのやめて、死ねばいいじゃん。でもとりあえず夕方までなんかして遊んでろよ。食べ物にありつけるかもしれない。

理想は一億総ニジンスキー化

お陰様で。馬鹿は風邪引かないっていいですからね。お陰様で。馬鹿は被爆しないって言いますからね。すぐに「馬鹿」とか「死ぬ」とか言うもんでいねいばつ と青森の祖母によく言われた。

道後なんんな

残波岬で残飯見ればヤギの中身に人の殻

明日のなんんなの子供のためのワークショップは、マリ－・シエ－ファ－のサウンドスケ－プ理論をやります。簡単に言うと、耳を澄ます練習と、抽象化の方法として図形楽譜を書くという体験です。参加者は紙と筆記用具、音を出すものを持ってきてください。声だけでもOKです。24人も集まっているようなので、子供の声しか聞こえないかもしれません。。

二つの政治勢力の争いは、人々をそのどちらかに拘泥させることを目的とした出来レースである。ナチもユダヤも、資本主義も共産主義も、原発推進も反原発も、「希望」も絶望も、「生」も死も、悪魔にとっては人を神から逸らせておくという意味において同じであり、便利な手段に過ぎない。

終わりとは政治的イデオロギーの衝突によってもたらされるのではなく、政治的イデオロギーそのものが終わることなのだ。選挙とは拘束されに行くことだ。右翼の幸福、左翼の幸福、それぞれへの拘泥そのものが敵の思いつきなのである。もしアナキズムに力があれば。その「希望」だけでやってきたが、そろそろ限界だ。本気で死のうと思ふ。

人類史は出来レースだという史観に立てば、各国の指導者であるユダヤ人達は表層のイデオロギーの下で二重生活を送っている。だからヒトラーはわざと負けたといった言説も出てくる。

日本人の二重生活は神道がらみで深刻だ。別腹なのだ。いろんなことが。

乖離性の障害だから嘘発見機にかからない。

目の前のリアルに戻っていくのか？

羽島から高い山が見えた

はじめてさくらに乗った。

小松で別れその足で何

圏外の山奥に居ても

1. How did the New Museum compare to other places you've performed?

There was warm atmosphere in the space and audience.

2. Any notable moments from your Get Weird performance?

Playing with a dancer, who was a black woman, was a lovely experience for me.

3. What's your favorite exhibition or performance you've seen at the New Museum?

Calder, and the architecture itself, standing among other buildings in that area.

Who would you like to see play Get Weird in the future?

Mary Halvorson.

のぞみに過ぎ去られながら米原のこだまのホームで薇糖飲んでる

人を愛する歌は多けれど愛さぬ歌をつとめて作る

人を愛する歌は多けれど愛さぬ歌は歌と言えるか

人を愛する歌は多けれど愛さぬ歌も歌としてあり

人を愛する歌は多けれど愛さぬ歌を歌として書く

昔みたいに希望の歌を歌ってよ 美空ひばり「裏窓」

酒を買い酒を買いまた酒を買いこだまはひかりに先を越されて

あと一年遊ぶと決めて冬の青空へヴィーに突き合わせてる

ペローチェのBGMは

新宿は鮫のようにかなし

上映されない映画のように

欠損の中に暫し雨がふるえて

飲食のように世界は寒い

錠剤のカプセルに閉じ込められたストリングス

しろがねの衾の岡辺

真綿のように脳幹を締め付ける

送電線のように髪の毛は編まれて

晴れても雨です

触毛は被爆の暗号を探し

歌唱は偽りの内臓を曝す

矢筒を背負った後ろ姿を見失い

抗うシナプスは脇道でどん詰まり

貼られた宣伝の裏など捲ってみるが

フォントは傷付いたDNAの領土化には至らず

却って鼻輪の三つ編み男を殖やした

年末ジャンボの呼び込みに自分も年末ジャンボを買ったか訊いてみた

ビリケンは間違っていると思う

しんじゆくえんまぎよえ

やーさんちようつよめ

よつつや やつつよ

あ みつけ かさか

かみがきすせー

こいかつどじうまぎえー うう きよと

しんじゆくえんまぎよえ。やーさんちようつよめ。よつつや やつつよ。あ みつけ かさか。かみがきすせー。こいかつど
じうまぎえー。うう きよと。

太陽に心はくもり、死にたいように女は晴れて

ゆりかごみたいな半月

ひとりひとりに野の草木を与える者に

雨の不渡り

路地

駅前には店がなかった。年の瀬だというのにどの家も片付けが済んで、もう正月のようだった。墓川は、一人で町を汚しているような気になって、図式的な考え方の中で自分が消耗していくのがわかった。

駅前に戻って周辺図を見た。北は下を指していた。

街道沿いの店は早々と閉店して民家が変わったからシャッター街の寒さはなかった。その代わりに犇めき合うキュービックな暗さがあった。

その暗さの奥に自分の部屋があるのだと仮定してみる。そこでは固定されたなだらかな山脈が胸郭を上下させている。

いつの間にかトンネルが出来ていて、風穴から吹き出すような向こう側の町の冷気が、あり得たかもしれないその部屋を襲う。

この町に來た理由さえ忘れさせるような冷気だった。

たおやかとは言い難い間近な峰からも吹き下ろして来る寒風があった。

山の向こうにも町がある、という事実は恐ろしい。町単位で人々が暮らすようになったら俺は消滅する、と墓川は思う。

山の向こうに町がある、山の向こうに町がある、と口ずさみながら墓川は一本の路地に入った。

「ここにわたしが住んでいる」

という啓示に似た声がして、振りさけみれば、貧乏が鉢植えのように並んでいる一棟の上階の廂から睥睨するカラスが墓川の頭頂を狙っているのだった。

この町でこのカラスに狙われている、という意識が墓川を不快にした時、名を呼ばれた。二階の廂から実在が降って来て、たおやかな峰が上下するのが分かった。

「靴を脱いで。」

分けられた場所だから、炭もないのに焰が上がつっていた。

「家族の味ですね。」

「焼けば焼くほど冷たくなるわよ。」

「この町は、平気でそれを道に投げ捨てるから好きです。」

「海なのに陸（おか）。」

青線コロニアルとも呼ぶしかない朽ちた手摺に、出口のないトンネルから邪風が吹き付けるのを、

「懐手、」

と撥弦の切れが、飲ませる、飲ませないの話になった。

そうやって白い墓にの相手をして飲む、飲まないの供え物を盗んでは、無、と穿たれていると、宮子はまた誰にも言えない話を聞かされるのか、と思う。

巨きな鳥が尾いてきた夜の話をすれば、この白い墓はきつと娘のことを歌う、と算段する宮子を、墓川が、

「きみはこの町で生まれた。」

と覆い被せると、致命性の渦が立ち昇った。

F# ABbAD Ebd

F# ABbAD Ebd

地名的なターミナル・ラブがαβγδεζアビュソスから立ち昇ったのだ。

宮子の目の前の祈れない白い墓が、子供ののように毒の釉薬を作り、鼻腔の奥の終わりのにおいを悲しんでいる。

「障害のある人は居らず、山頂まで稲が実っているというのに、何の力が足りなかったというのか。」

「二種類の種を蒔いたからよ」

「毒薬を遠してしか永遠が見えないのか」

「脱法釉薬でしょ」

トラウマに向き合う旅はすべて無駄なのだ。

「悪魔が入れた記憶の種を、きみは食べたのか。」

「あなたに力があるとしたら、それは私に対する影響力だけです。」

炭もないのに燃えているのが水だったら。

墓川は正しい川を遡って行く自殺者への憧憬に向かう脳をだまして、宮子の末広がりの裾の唐棧のチャンネルに眼を合わせた。

ああ速い、高速道路。

宮子は夢を見ている。フロントガラスに叩き付けられるのは水の燃える音だ。

この町の色は、と墓川は考える。

夕暮れの雲が鯨であり続けることを許さない。

エリカが見えますほのぼのと

不意の擦弦に心臓を雑巾で拭く夜行の、北欧のブギーがマジックアワ어의田面を渡る。鷺のように。

切符は持っていた。このまま駅に歩いて行く自分を墓川は見た。存在の途中下車、存在の見切り発車。馴染み抜いた情趣の隙間から野蛮なデュエットが漏れ出る小径を、影が追い付く。

雲の道行き。と宮子が言う。宵の軍歌の雲の道行き。私はちゃんと花びらを降らせた。いつまでも夜になれないあなたの体に。いつまでも朝になれないあなたの思想に。

それは色ではない、臭いなのだ、と墓川は思う。ティンクトウーラを横断してもそれは一つの平面に過ぎない。

匂いをおい、と書く詩人のことを墓川は思った。過ぎ去った喜びはまだ来ないかなしみ、まだ来ない喜びは過ぎ去ったかなしみ、などという遊び言葉を工夫し続け、妻子を捨てて死んだ。

山の端が花札のように黒い。

蜘蛛の巣を払うように野道を進んだ。

道を挟んだ糸電話を夢見た。

異星人に会ったら学者がまず訊きたいのは「神は居るか」らしいが、恥ずかしくないのだろうか。

駅まで尾けて来ると思っていた巨きな白い鳥が消えた。代わりにトリさん、どこに行ったんでしようねえ、と鳥が胸元で反り返った。

力はカリフラワ一の形をしているけれども、と宮子が言った。

雪山の麓では不発弾ね。

白も黒も舌の力に過ぎない。

あの太陽光パネルの影は紫に見える、と墓川は反論した。われわれはまだ見かけの色に投げ出されている。

道行きはひらがなのように川の兩岸にわかれた。いつか、左岸で泣き崩れたことがあった。

盆栽の野道の糸電話は、切り立った護岸では何故か思いつかなかった。犬を連れた奥さんのモチーフが、この町で生まれた高校生の宮子の姓を襲った。

「墓川さん、」右岸から鳥がその旧姓の声で呼びかけた。白か黒かはわからなかった。「墓川さん、」鳥がもう一度今の姓で呼びかけた。白か黒かはわからなかった。

そのまま駅まで、四十年間彷徨った。

宮子が墓川と年越し蕎麦の蕎麦湯を色紙に書いていると、醤油の寒さが脳を溶かした。

この時期、ひとりぼっちの胸の人たちは北ホテルにいる。背中の人たちは？とテレビが教える。

かなかなは旧姓に属するか。それがすべてであるなら宮子の銚子は白鷺のデイスパッチとなる。そうでないなら

かなかなに姓はないのだ。白い夜明けに、忠節な娘が幽霊のように立っている泰山木の庭先で、亡くした者の思い出のためにいつか泣く。

墓川は死のうと思っていた。無意識は口答えしなかった。代わりに大量のノルアドレナリンを放出するだけだった。墓川の思考は、墓川ではなかった。

宮子の全ての白血球は身構えた。そのために町は泡立った。

白濁したキノコ雲が毒に溶けて、思考に命令する墓川に、体は騙された振りをする。

宮子がこの町のDIVAであるなら、その言葉は球体のスナックの内側に貼り付く。

それを外側から見て唄うのか、認知カラオケが手招きしている。

いつもの夢の町で解けて浮いていると、目が覚めた。鳩を祀れば八幡なり、と宮子が詠いながら踞って集めているのは山々の印章である。

頭蓋が前にずれて涎だけが垂直であるような蹲り方で、正月なのに蠅が出た、と謡う稽古の団に、縁側の墓川が瑠璃鵲を逃がした。

それはベエルゼブブの線に違いない。道を隔てた糸電話に巢食っているのは。ラリーもしたし、と次の宿場に手向ける印章のように蠅と瑠璃が際立つ。

街に食い込んで運河があった。安寧は、宮子にとっての川の場合なので、その上を墓川の屋形船が行くことはない。

時間に距離を加えることが出来るか、

寿命に一キュビト、寿命に一キュビト、と宮子がアドバルーンに書かれた文字を読み上げている傍らで、墓川がAMMのデポジットを目減りさせている。とうとう駅前に戻って来たのだ。

墓川は娘の歌を歌わなかった。代わりに歌ったのは個室の歌だった。二十四時間営業のミステリーはハードボイルドなカエルの合唱だけだった、と眼

を開けた墓川が言った。

その声はあなたではないから安心しなさい。と蛾のように寝める宮子に、青い電流が走った。

轢かれて死んだ宮子は青い毛皮を着て、まだ生きているD.O.Aのヒロインのようだった。

まだ夜は明けていなかった。もう正月だというのに。蜜蜂の代わりに蛆が湧いていた。

墓川の弾丸列車は、集団就職の詰襟を乗せて丸刈りの脳の外側を進んだ。

宮子が点になった時、をとこの詠める、

あしひきの山の煙りを下りて舞うながながしよの肉の書板

あなたの固いケーキね、発酵せずに腐ったみたいよ。それを真名と言うのなら、不発弾どころか核のゴミね。と点が言った。

きみは星になどならない、とはどならない墓川は、越冬闘争の正しい蜜に覆われる。

自分より大きい者にとって汚れとは、と墓川は想像する。自分より大きい者になり過ぎて、自分が偶像になっている。墓川はそのことで自分を中傷する。

墓川が、貧しさを強く意識しながら、心を煮ている。巷の上手で。新言語と共に新言語の鍋も導入されたからだ。

鍋の理由を問われて、二つの手、二つの足、二つの目をつけてゲヘナに行くよりは、不具の身で命に入るほうが良いからです、と答えている。

「ああ、五臓六腑に沁みわたるわ」「あんたの五臓六腑は、鍋の中やないかい」「楽園になったら海のそばに家を建てて」「海のそばに家を建てて」「毎日夕陽を見る」

北ホテルから「New World」に至る分けられた道、それは道を行く者のための道であり、いずれはソースに溶かされる愚か者がそこをうろつくことはない。路肩にはライオンが、参道の真中には神のふりをする者が、天に通ずる楼閣と題された鍋の乱れに向かって、冷やし飴の言語を辿る。

墓川が塔の上から演説する。

この震災で、人々は「背骨の人」と「胸の人」とに分かれました。「背骨の人」は「日本ガンバレ」或いは「頑張るな」という方向に行きますが、「胸の

人」はひとりぼっちです。

外人居留者として被災し、外人居留者として外人居留者のコミュニティからも疎外され、外人居留者としても勿論、日本からも疎外され乍ら何を表現できるか。そのことのために読むべき本は果たしてこの町の本屋にあるでしょうか。

わたしは本屋で立ち尽くすひとりぼっちの思想です。身体性の（アルトー）、ハプニングの（ダダカン）、やさしさの（マルクス）、餓死自殺の（尾形）、やってしまったことから始まる不可能な領域への、同労者のいない、残された僅かな時のための。

「復活について考えるのは良いことです。」といった間にか復活した点子が言った。

それで墓川の爪は点子の二の腕の肉に食い込んだ。シャンプーはDOVEかな。八幡神社さん、

それには答えず、八幡点子は向日葵の中に立つ砂糖黍のように反り返って囁いた。この町の王も鳥です。

アースダイバー的には、この川の泥の中でぼくらはかつて結婚していたね。

生野の道の遠ければいて駒したれ近く変動、と点子が返すと、神聖さの道にサフランが咲いた。

泥の中で食らわんか腕が結婚し蛭子が生まれた。それが鳥になった。あなたの額の×印。わたしの本当の名前はアミ、

と言いかけて点子は口を噤んだ。

何故わたしの名を訊くのか。それは恐るべきものであるのに！と墓川が氣を利かせて謙遜を投げると忍耐が光った。あ、花火。

ドヤの南京虫から聞いた話だけど、昔、スマミとホヌミという男女アイドルDuoが居た。別れてからホヌミは女性力士大会で優勝したが、スマミは会おうとしなかった。

ホヌミの声が高く澄んでつるつるしていたから、浮気していることが分かった。

それで花火を観に行ったのね。

そうだ、それで売り上げを誤魔化した。墓川の財布はぱんぱんに膨らんだ。小便だらけの湖に、ポケットを裏返し、タバコの葉を振り撒くと、鳥が啼いた。

砂州に楼閣を建て、橋を継いで料亭にしているのを、与えられた町の義務であるかのように、供与の豚に与(アズカ)らせ、人の脂肪を灯している。
だからそれは長岡でもガイ・福克斯でもデュッセルのヤパンナハトでもなく、ガザの火花だったのだ。

閃光は串カツ「松葉」の油の中に走っていた。

北京の露地の側溝の油を掬い集め、子らは松葉形の三本足を歯で削いだ。肉を削ぐことは巨人に対してではなく、セム同朋への中傷として空に上った。

社交

雨瀟瀟

暗い冒頭

痴情の楽園

枯れた山水

人が疎ら

ナチツドイス

明日をだます

赤金色の布張り

横にすごい強い人がいる

だますことさえ貶められて

その業は貴重になった

水門から

注ぎ出されるのは

洪水か祝福か

神内とか中谷とか神戸に多いな

バイキング

意地汚いのは

おれだけみたいで

家康の墓にゲーテの玉砂利を見た

(赤金色の遅刻は)

赤金色の遅刻は

白い夜道を麵棒で引き伸ばした

炎の絵が見え

轢かれた猫を跨ぐように

兩岸に道は走った

ホワイトイエローと白の見えない看板が

山林に点在する

つつぬけ

末端は冷えて

真中は熱く

タイツのように行き止まり

固い雪山のギザギザ

じりじり越える停止線

末端よ

暖まることで

つつぬけになれ

端末よ

寸胴のようにつつぬけになれ

may poring rain fall inside of this pipe.

かなしみべろべろ

単音の信号をキープしたまま弾く

死にたいと思いつつながら鴨を切り裂いている

女 男 女 氷 阿佐ヶ谷駅

よなかにしなやかあさにはれやかひるにおだやかゆうがたにゆるやか

あけがたにあざやか

アル出っ腹ン 尻白

あああよがふけるがヨガにふける

おやすみなさむい

寂しい果実は剥かれないまま布団のなかで皮を着替えて

寂しい果実はナイフを差し出す溶け出す代わりに凍ってる

赤ん坊の方が見兼ねて母親の乳房に命じ、奇跡により母乳が出るようにさせている、という夢。

おやすみなさむい

南蛮紫

みぞれ状の受け身の着地に徐々に

形作られてゆく

眼鏡を外して

子供を抱き抱えても

夜の雪は写らない

夜明け前には凍る歌

荷台の車椅子がカラカラ回る

高速では約束の事故が起きるだろう

自慢せよ

absentを穴とする心の欺き

彼は本当にこれらのことを話したのか

右の目をみなえぐり取るという条件で

楽して儲ける

きみのその紫は南蛮を受容したころの寺院のそれのようだ

ぼくは靴を履き直す

きみのブーツは茶色い

光が目の裏を横切る

写らない雪のように

石をパンに変える

ボーダーを試し

心臓を与え

なんでも出来るという夢想到に耽る

もう無理なのに

かけ離れた傷口のようなあてやかさで

Manasseh , מנשה (men-ash-sheh')

わたしの舌がわたしの頭の中にある
秘められた自分におけるわたし
布に光が当たっている
緋に吸収される
その日は気温を象捨する

土

最後の日々に定型は
頸椎の矯正のように掬れを伝え
掻き上げる髪も骨だと知って
大半は改善できると教わるが
検分は時を変え場を変え
骨格モデルに触る手付きで
「もういいようもういいよう」
と哀願するのであった
光は照らして調べる訳だが
回転する輓轡の上でそれは
粘土に対する権限を示す
形作られることに対してどう反応するか
手は泥漿で濡れ
口縁は引き上げられた泥漿の柔らかい波に覆われる

土の背骨よ

可塑であることの真髄を知れ

口縁の波を歩いて渡る信仰

土は労働力調査の後、サンドイッチのために徴兵された国民である

つと立ち上がる口のような身体

声のトーンはアルカリ土類金を示し続ける

王の専制と搾取のやわらかさ

ロバのように埋められ捨てられる

それが服装だったのか

首を通す衣服の物としての正しさのように

王はやわらかさのうちに連れ去られた

甘える声は羊の白さ

社交やダンスはその白さに覆われる

ターンテーブルの羊毛

チュビチュビというしんみりした和装の口先

逆戻りする轆轤上の解放

表面的に埋め合わせ、危険が去ると以前の土に戻ったのだ

発芽を待つ種粒が

言葉のように宿っている

野菜なのに木のように成長し

鳥たちが宿り場を見付ける筈だった

疑いに負けた土は

遅れて来た女のように一瞬にして理解する

アヒルのように

ラッパを吹くように

遅い時間に

夜明けの湖で

土の舟は沈む

以前には悟ることが出来なかった
気になることは放っておきなさい

息子が齢をとってゆくように

夜明けの水浪が立つ

いたちが横切る塀を見ながら

星で首を吊る

赤ペンで手を入れた人生の本 *book of life*

ページを開くと抑揚という部分

音の響きを変えてゆく

書くためではなく朗読するための人生

青ざめたタコと蛾のような毛糸の対話

演技はその背後に山の暗さを背負う

孵化する敵意が山の端がら昇る

もうすぐまた感情の満月

山の地図を見ながら眠る土

薄荷の葉が混じっているかもしれない

腐葉土を成型するような死のゲネプロ

呼吸法では治らぬ人格

二つのネックレスの列なりのようなブルネットが

同緯度同縮尺を突き合わせている

口が開き 歯が見える

口を閉じると別の口紅の唇が開く

ひろやかな場所へ装身具は直列しようとする

移動して井戸を掘るのは平和のためであった

割れた石の中に結晶が見出される

服飾を通してそれを見ようとしている

肩はぶつかり合うものだと

移動する箱型のトロツコの年数

膝や首を楽にすることは夜の青に消えた

地図の三角地帯は迫り出すものによつて黒ずんで

ぼんやりした明かりが移動する肩の後ろの壁に

胸の痛みが抜けてゆく

それは循環の話であるのに

箱の中の毛玉のように動いてはいない

困った顔の犬が

薄紫の主人に向かっている

抽象的な質問に

箱の中の赤紫の毛玉はごろごろ動く

マスクをした人は針山になる

転がる毛玉が切れて

黄色い部屋に入ってゆく

トラックに椅子を並べたりして

平日は振り落とされるのではないか

漁師は

休日に陸に網を拡げる

欲望のバイキングとしての

土色の背広を着た人は

自分の土の場所をひとりて回る話

蚯蚓には冷たい個人の土

益という字を凝視める

凍結はしないだろう今夜は

近所の土に会ってこようか

旗の影のような三角地帯の

鯖の缶詰のような小さな光

やわらかさという土の中へは

誰よりも音を延ばそうとして

まだ知らないバイキングの白い旗の中の赤

彼女に戻って来た平和

投げた平和はブーメランのように戻ってくるとき

バリアーを通り抜ける

ドレッシングを選び

声が笊に落ちると

癌以外の命は削ぎ落とされていったのだ

食卓の暗号

モンモリナイト

雲母の多い繊維質の土の

崩折れる鴨のような声が

芯を掃除する

砂あらしの中移動していて

長期間いなかった

川まで旅費はどうしたのだろう

帰りは帯をしないで

足を組み直して

食卓を暗号にする

食卓の中身は少女言葉の暗号

紅梅が先に膨らんできた

紅梅色に事務的に春は膨らんできた

少女言葉の昔

中身は

食卓の中身は少女言葉の暗号

ぼやけた影と光が

理解できなくても従うとは

中身は

食卓の中身は紅梅色の事務服の少女言葉の

暗号

the whole obligation of man

思い通りにならない

ことではなく

虐殺でもなく

空色が入ってきた

全員一致の知恵

復活はない

ことではなく

自分を裁く能力を人に使うでもなく

エラーから美喜と名付けて

忍耐で覆ってもらっていた

軍資金はその真珠ひとつ

成功の尺が明らかになってくる

成功した人などいない

"refuse to bear arms against their fellow man

それが人のつとめの全つthe whole obligation of man"

裂けた紙に字が書かれていたが

声と文字が書き写されていただけで

父の詩句の垂直の突出ではなかった

いみ the refuse へ the offscouring

顔の描き方が違うだけで

対応の仕方はコントロールできる

ぼ一ふら汚い

切っ先

my favourite things 10111

序文たうたう一年といふものが文化的な諸事例を挙げれば済むやうなものではなくてきた一年であつたやうに思ふ。つまり主観が favourite 客体を挙げるといふ行為自体のなかに客体が放射能として主体に侵入してきてゐて、「個人の主体が失はれ客体としての通俗が喋つてゐるだけだ」などといった文明批評がもはや懐かしく思はれるほどに、主体ではなく放射能が喋つてゐるのが目下の実相なのである。饒舌であればあるほど、パブリックな主体とは単に放射能に侵されたプライベートな客体である。放射能にしてみれば、放射能が放射能ギャラリーで放射能といふ展示に足を運び、放射能といふ演劇や映画や音楽の年間ベストを選び、放射能といふ景勝地を嘆賞し、放射能といふ死と引換への美食の写メを撮り一年間 writer といふものをやつてみてこの国からはパブリックが失はれたことを実感したので年末に止した。二〇一二の favourite といふと、さういふものだった。定型と気に入つたギャグは色を変へてある。年間ベストは「おやすいみんなあさい」。

零下四〇度〇の室内でデッサンしていた。凍傷で手足の溶けた猫が哭いたので外に出したが別の猫に食べられてしまった。目が覚めると舌の奥を噛んでいた。

Valencia

グラフィティの紫に国は醋えたコンキスタの面影を遺し

線路沿いの薄の群生の狭まりの向こうに一瞬サグラダ・ファミリア

日本製の青空の下にあり得ないオレンジと紫

ちちゅうかい

鯖の背のようにくろく錆びて明るい

帰化の果てにこの土は何をするつもりなのか

光る葉肉は恐竜のようで

樹々はブドウの低木に至まで全員バンザイをしている

スペインとは紫のリゾーム

コロニアルに再領土化された気候が宇和島駅のように寒い

ここは寒いアフリカなのだ

プラットホームが大地と等高

決られるものがないまま鉄路が銃撃の地平にある

春は薔薇科の木々のブロッサムに散在するのみで

秋に向かうのか春に向かうのか季節は分からない

アフリカはいま、数艘の舟が近くに寄ってきて見守る中、腰履きのジーンズの下着を見せて寝ている

toragona少し大きな街だと石とコンクリの不安が募る

ほらやっぱリサーカスのように河原者の集落

油送管たちは何故思い出したように上り下りするのか

尺取虫のように塗られて

侵入のグラフィティと分け入り方が同じで

あるようなオリーブたち

このままアラムブラの寂寥に或いは流れてゆくのか

統一国家のいわれのように

いまのところ南へ下る車窓の右の山はすべて兀山であり左の海沿いは別荘なのにコロニアルがない

この国のすれっからしの部分はすべてポンドで出来ている

超特急もあるにはあるのだが

海のマッテラという町にはみ使いのように飛び去ってゆくばかり

西部劇には黒すぎる海と山と空のみどりの

仏領にはオレンジが苦い瓦の

漁村がないことからくる木陰の刃物

岩山を分け入って内陸をゆくとみかんとぶどうの

窯もありそうな丘陵の

トルツサという駅で

スウィッチ・バックしてイスラムが入って来る

逆走の不安の中を

みかんの中を

牛のような汽笛の中を

説明のないまま

リヴァースするしろい西部劇

ぶどうがなくなり一面アーモンドかオリーブ、JUSCOやSATYのない地方都市という柿の木に似た舞踏

水は無さそうだ

みかんの土にグラファイティ

赤い山

the artist

横たわる青のfuturo

落ち目の俳優も糸杉のように突っ立つ

破産した後の青から始めよ

青に横たわれ

女房に先立たれよ

大暴落の中

青に先立たれよ

これでもかというくらいに先立たれよ

青の遺品を整理せよ

すべてのフィルムを燃やして走り出せ！

ところが終わりにフィルムは巻き戻される

補色のようにして結末はミカンの中を走る

いくつの愛に支えられて

タップを踏むのか

house carpenter*

死の山というのは本当にあるのだ

あの平たい低い丘を見ていると

水のあるところに町は出来る

いわれない町

*trad

"Well met, well met, my own true love,
well met, well met," cried he.

"I've just returned from the salt, salt sea
all for the love of thee."

"What hills, what hills are those, my love,
that rise so fair and high?"

"Those are the hills of heaven, my love,
but not for you and I."

"And what hills, what hills are those, my love,
those hills so dark and low?"

"Those are the hills of hell, my love,
where you and I must go."

France

語尾の地域性が散乱から整合に至り
国境はないまでも

緑の量としての牧農に噓せる遠景

ミルクの鬱

グラフィティだけが駅を繋いでゆく

荒れた植生の

尖端の冷えの中を

見たこともない醜い川を超えると

フランスだ

Juniperus phoenicia*

荒れ野に一本だけ立っている裸の、はぎ取られた木
自分の

かつての拡がりを垣間見る重唱のなかで

ひとりていることがひとりでないこと

ひとりでないことがひとりの木であること

良いものが訪れてもそれを見ない、はぎ取られた木であること

ただひとりで坐ることがひとりでないこと

むしろ犀のようにひとりで歩むことがみんなの道であること

周囲と異なる者として目立つことを厭わないなら

水のほとりに植えられた木のようになる

外から見たら枯れている木

自分は荒野のねずの木(カアローエール)

良いものが訪れてもそれを見ない、裸の木であること

この女のした事も彼女の記念として語られるだろう

彼は群衆と見分けがつかなかった

朗読者のオルガンが見えた

一発で分かった

扉に書かれた字が消去できなかった

*「ヘ語アローエールまたはアルアール」アラビア語のアルアルはこの木が恐らくフェニキアビヤクシン(Juniperus phoenicia)であろう

同定するのに助けとなる。

Russians pyckue ruskiye

突き当たり折れ曲がる朝の川の連続

金を捨てる間違った箱

ロシア語にチョコが混じる

間違いにパプリカをまぶして

転がる肉団子の紙の

悪意のような気管

Rue de 紙吹雪の鐘

とともに直角に突き当たり折れ曲がる

言葉の川

押し出される神経

鐘より長く続く祈り

眼窩のロシア

空耳だけの川は下って

less than zero にちよこつと坐る

体がコートを着ている鐘の街路を離れて煮られるべきため息の中に

やすやすと攻撃されるプロバガンダ

そうして、地球を鷲掴みにされているのだ

ADAM

風景は変わらないように思えた。

陽は温暖に降り注ぎ、風に花々散っていた。「ゆきてかへらぬ」中原中也

風景は変わらないように思えた。

(反文化闘争)

一種の清々しささえあった

死は始まったのだな、と思った

味は変哲なかった

女を叱ったのはつい先刻だったが、随分前のことのように感じた
どんな子が生まれるだろうか

途切れ途切れの線が見える

暗い

灰と黒だ

大切な事を暫くじっくり考える

ラスベガス

全能の知恵

脳にピンで留める

何度やり直しても全能はうまくいかない

パチンコ屋の光の洞窟

夢の場所でアイドリング

思考のガソリンはなくなる

線の拡大線は穴

視く目が見えはじめる

思い続ける思考を自分がかなしむ

繭が光る

つながっているから海

つながっていないから島

胸襟を開き

求め続けてはならない

線は流れる

邪悪な者が平安でいる

危うく滑る淵まで

大いなるところに

居ながらにして

つながっていないのが島

地下駐車場の外車

卵型に内向きに張り付く髪

白いかおと黒い髪の数秒

空(カラ)の頭の中

を思い起こすことはできない

どうせ原因はなくならないんだから

くよくよ思わないほうが勝ちでしょう

黄金の鉢に種を入れない

扉は感覚機能外からは開けられない

朝のバイキングは

正しい食卓ではなかった

東北に歩いて行った

(12歳の質問は尋問反論だった)

風景は変わらないように

見えた

虐待されている人を思いに留めるまだ肉体だから

もう減びるらしいよ

思いに留めるとは早めること

思いの腰に帯を締め

並んだ撫肩

自分の文化

思いの安定

沈没する船の特等席か救命ボートか

自分の文化

時節

達することができないほど高いものではない

頭を削られた

「神秘性を剥奪せよ」などと書くのはブログのツイッター化か
終わりにスバムを受信するままに雪崩れて今朝は二〇一三

夢のなかウランチ漏らして並んでいたが夢で漏らしてただけだった

フォローゼロフォローワーゼロでしかも鍵サーバー神が秘かに見ている
フォローゼロフォローワーゼロでしかも鍵霊者達しか見てはいなくて
死神が手紙の線量測定し実験台にされているだけ
フォローゼロフォローワーゼロでしかも鍵壇はながれるインダス川に

「第二頸椎カイロアジャスト一句四首」

未遂までして扉の春立たせる

首吊りは最高の矯正かもね頭と体が真っ直ぐつながる

胎児の背骨は最初S字型で生まれてからは型になる

生きているとはS字型であること引き伸ばされて伸びきれば死

直線の希望が死であるような朝背骨を抱いて丸まっている

新宿駅で家を落とし、取りに行こうとするが辿り着けない、という夢

松屋で。

拡散する断念が腹に収まり最悪の肉のたりのたりと盛るバイト一日目の茶席のスピード

夢で通い直し夢でまた行かなくなった高校

衝動の茶席に土曜は溶かされ

春

脳の詰まった頭たちが

水の底にそよいで

干からびた手も

泡のように立ち昇り

菱みはじめた月を脹らませている

抱かれた赤子だけがこちらを向き

郁子の種のように並ぶ中身の

従順

優柔不断の王よ

縦縞や横縞の命

大気汚染が語尾を引き延ばす

自転車の吃りに巻き上げられた十年

縞のある動物たちが宝の在処を知らせる

白い髪黒い髪後ろ向きの春の

春

うれしさはジャムのようにのみ出て

殺人に鈍感にならせる

目は灯りになり

aniry cistern 泥の水溜め
に沈みはじめた

living without law

今日でおしまいと言うとき
見えないものが蜘蛛の巣を張り
瞬時に飯場の二階に伝わる
その卵型のうつくしさのゆえに決意は腐敗し
律法なしで生きる
律法なしで生きるとは
足場を組む鳶たちに混ざって
携帯が使えないこと
飯場の二階で高笑いが響く
群青に視界が狭まり
猫背の背広が行き交う
死んだ者が教える無駄な推論
浅い肺が押し出す言葉
死ねば解放される
燃え尽きなかった隕石のみがトラウマを背負って到達する
おいてけぼりにされたレッスン
体の中の不活発な部分に対する健全な恐れと自然な幸せ

白髪の過ぎ去り行く

銀河

今日でおしまいにしようというとき

見えないものが蜘蛛の巣を張り

瞬時にそれは飯場の二階に伝わる

その卵型のうつくしのゆえに決意は腐敗し

明日は律法なして生きる

Where do I want you to take me?

two diverging path

facing a fork-in-the-road decision

merging is diverging

Where do I want you to take me?

merging is diverging

Face a fork-in-the-road decision

睡魔

寝ながら向かう車から

黄昏の青、電柱の黒

気配を殺して

化け物の巣へ

ばれないようにばれないように

医学用語としての激痛

経営方針は変わっただろうか

わたしは何をしたのか

という者はいない

先を争う馬のように

みんなの道を戻ってゆく

ドブの中であてやかなあざけり

この時刻に

目覚めているのは簡単なことではなかった

鼻孔の息を殺す

ひしゃげた梅の香

稲妻のような釉薬の掛かり具合

ここでも顔の僕たちが

にちゃっとひしゃげて真理に貼り付いている

彼はもう花粉のガリラヤに行った

嫉妬する金髪

このような時に休んで眠っている

セーターを改造した袋物

もう充分です

時刻は着ました

立ちなさい

行きましょう

女が講演している

夜の黒に黄色が混じる

眠ってしまうと

事態だけが進行する

眠って

世界を進ませる

人の体は眠くなるように出来ていて

酒を飲むと寝てしまう。

悲しみと疲れに酒も入って

眠ってしまうと

事態だけが進行する

体が眠ってしまうと

事態だけが進行する

眠ってしまうと

進んでしまう世界

眠り込んで

事態を進ませる

埒外の安逸

まだ生きているかのような

話し方

理不尽な世界にガタガタのおれ

滅ぼされるおれがFAm

滅ぼされる国へBbAmomC

安心してFAm

滅ぼされるからBbB7monE-5/A-5+57

町に行けばFAm

たこ焼き食べてBbC6

携帯持つてFAm

どっへへへBbBm-57911/A+5-7

眠り込んでEm7911F79B7

事態を進ませるEm7911F79B7

埒外の安逸Em7911F79B+57

まだ生きてゐるかのちへなEm7911F79B7

話し方Em7911F79B7

理不尽な世界にEm7911F79B7

ガタガタのおれEm7911F79B+57

生き残れないおれがFAm

生き残れない国へBbAmomC

安心してるFAm

生き残れならBbB7monE-5/A-5+57

町に行けばFAm

たこ焼き食ってBbC6

携帯持ってFAm

どっくゆへBbBm-57911/A+5-7

被爆した国へFAm

被爆したおれがBbAmonC

安心してるFAm

被爆したからBbB7monE-5/A-5+57

町に行けばFAm

たこ焼き食ってBbC6

携帯持ってFAm

どっくゆへBbBm-57911/A+5-7

滅ぼされるおれが

滅ぼされる国で

安心してる

滅ぼされるから

眠り込んで

事態を進ませる

埒外の安逸

まだ生きているかのような

話し方

生き残れないおれが

生き残れない国で

安心してる

生き残れないから

町に行けば

たこ焼き食べて

携帯持つて

どこへゆく

携帯持つて

どこへゆく

滅ぼされるおれが

滅ぼされる国で

安心してる

町に行けば

たこ焼き食べて

生き残れない国で

生き残れないおれが

安心してる

生き残れないから

被爆した国で

被爆したおれが

安心してる

被爆したから

memorial

いつもの場所にいるのに

白のシヨールを羽織って

若手議員の春駒が

マナーモードの野原に立つ

認識

遺伝性の罪が拡がった野に

菜の種類を数え

人間の親を持たない二人が

酵母無しの頭痛

メロン色の月が

マナーモードに震える

見事な生花

一九八〇回目のキャンティのアロマ

金魚鉢の尾型の沈澱

家の者たちがどのように行動すべきかを知ってもらうため

闇はコーラの黒

あー自殺したい

人体

腐った歪の

錐形のない楽器の背

そういえば

あなたの青はちりばめられている

わたしの嘘の上にあなたの青はちりばめられている

同じ指を怪我して

僕だけ内出血しているのはそのためだ

煮るための部位に切り分ける

頬と尾と

眉毛の抜け落ちる頁の地表が捲れ上がり

下にあるものが上になる

ああきつとみつともない人体

池に被さる枝

水面に映る

象のようなものが詩句に現れると

私たちは絶対に似ていない

偏頭痛

肉を転がしている

慣れ親しんだサイコロ型の死臭

頭蓋を揺らせぬ視野の狭窄

断言の小気味良さに包丁を入れる

気胞を含んだ羊羹に似た発酵体
塗れている

伸びすぎた髪

カマボコ板上の両断のshotsが

声に規定されてゆく

肥満体に魂が刺さって

ただ涙をたれ

物が二重にしか見えなくなる

バタ臭い表情の洋物アニメ

肉を転がしては

マスクに死臭

叙景

蛍光黄緑の死の

片頭痛は花見

奇声を発する度に間髪を入れず何十年も叱り続けて来た

欄干から落上

縁取られた文字に水が溜まっている

奇声を発する度に間髪を入れず叱っている

何を言っているのだろう

シューとかシャーしか聞こえない

とても長い手

が固有名の喜びに震える
最後はみんな屋上で笑ってほしい

今日からだね

今日でなくてもよかった

いつでも今日は今日でなくてもよかった

今日で終わりにしなかった

先延ばしにしていたからこそ生きてこれたのだ

今日と唱えられる日の続くかぎり

今日は胃の中に閉じ込められている

先延ばしにされていく

今日と唱えられる日の続くかぎり

障害のある子供を叱り続ける

蛍光キミドリの死の

片頭痛は花見

奇声を発する度に間髪を入れず何十年も叱り続けて来た

欄干から落上

縁取られた文字に水が溜まっている

奇声を発する度に間髪を入れず叱っている

何を言っているのだろう

シューとかシャーしか聞こえない

とても長い手

今日でなくてもよかった

いつでも今日は今日でなくてもよかった

今日で終わりにしなかった

バック駐車し続ける

今日許されないことは

ずっと続いてゆく

ずっと許されない今日が続いてゆく

減ってゆく者と増し加わってゆく者が交差した

明らかに体つきの違う人種の子供

今日でなくてもよかった

いつでも今日は今日でなくてもよかった

今日で終わりにしなかった

突風

中間地帯が無くなって

上下に貼り付く言葉

貼り付くようになったのは

重力より大きい力

重力より大きな力に吸われて

零度のカマクラを作る

雨どいが光る

ぎりぎりの写真

足早なそこばかり

そこばかりするまあたらしい安物の靴
埋め込まれた地面の

動画

地面に埋め込まれた地面の動画

浅く腰掛け

空洞をなぞれ

コウモリは空洞をなぞれ

白い気道の壁

に書かれた文字

石と間違えて

名が生き続けた

骨壺の中に保存されていた文字

抜け落ちた頁に気づく夏まで

自分であることをやめない子供

タラゴナで

夏まで自分であることをやめない子供

北朝鮮に貼り付く

北朝鮮が食堂に貼り付く

ライトで照らすと

北朝鮮が食堂に貼り付く

深刻な脅威となったことは一度もない

反語のチンピラ

反語の白いチンピラ

山吹の黄の濃さ

から抜けてゆく道

突風

たましい

はやさとおそさの中に

ひっかかりが見え

あかるくくらい

表情に気付くが

ひっかかりは

靴の汚れを拭きながら

整頓されが夜をひた走り

着いたらすぐに

行程のあかるさは早送りされ

励ますつもり of 白の忠告は

受け入れられない

何よりも自分の

明度と彩度が

ひっかかった管の中で

体重を測っている

どんぐりの髪型が蛍光灯に光って

おもさとかるさの間のどこかで

喉声の刃をちらつかせる

そばに居ること

には色はない

そのおもさに喜びと悲しみはない

体の中心線の

正面に立つウルトラマン

柔軟であるかどうか測定できない

黒い頭数を数える男達

心臓は数えているのか

死ぬ前に二度呼びかけよう

頭蓋に響く波長で

父と呼ばれた時のように

中心線がわずかにぶれて

特撮が去り

リップクリームを忘れ

太っているのにかかるい「すずめ五羽」君が立つ

「髪の毛」君が母音になろうとして

部屋に広がってゆこうとするが

支配者のアルパカの目つきの

ようなアンダースローで

勘違いにもおもさはなかった

イントネーションに結び目が作られ

外反母趾の革靴が広がる

教科書が光速で変わってゆく

人類はカナンの兄弟ですか

灰色のシマリスなのか

ウルトラマンなのか

準備して待っていた

虫の模様のようにも見える

ほんとうにきょうだいですか

茶とピンクさえ灰に覆われ

灰は黒いリボンを結ぶ

花粉と歯の骨の父

手の指の節、爪の母

爪が書物に押し立てられるときの白に

おもさが落ちてくる

揃えられた革靴が二足光って

そして光をわずかに残しながら去って行った

余韻のみがおもい

グライダーの紐の先のつくる壁の影がおもい

つかえていたのはマイクのコードの中のどこかだった

マイクはひまわりのようにこちらを向く

わずかに脳梗塞のにおいがした

ウルトラマンに父が居たら

それはぶれて光っている

動物達は出てゆく豚やリス

髭の濃そうな横顔

ずっとぶれたまま励まし続ける

動物だから

ファゴットと同じことだ

髪の毛はさばさとおもい

同じ顔しか描けなかったのなら動物だ

ゆるさの中にひっかかってゆくこと

その交通費を負担するんだ

全体は部分から生じる

部分のひっかかりにすぎない
光ることではなく曇ることか

リアルな食事招待の脳梗塞の前兆

声が動物的であること

石の花弁の奥がちづく明るさ

耳のつき方が自分を埒外に置く
きみたちは美しい一族だな

モノクロのカフェオレのコートの上に

耳たち

ばくぜんととらえる死刑判決

定食声

どうぶつの官舎

しまもようといってもストライプの隊員服

採用だ

孫の世話や親の介護を声に出す

晴れやかな目つきが脳の内部で光っている

ふてくされていることがけんそんであるような晴れ間に

デザインは変わってゆく

モノクロのコートがカラーに変わって

わたしのひっかかりは管のサイズに収まる

その後は死後のようなハウリングノイズだけだ

明るい室内に明度を合わせられないダークマター

犬の散歩声

最後は人間のボコーダー

ヨナの明度と彩度で閉じられる

あ、青だ、停まらなきゃ

ハナミズキは桜が終わり八重桜が終わってもまだ花見をしようとしたひとが花にされてしまったのです

(黒い花といっても)

黒い花といっても

明度の系列ではない専心の彩度によって黒

@p-なのだ

趣味で船を作ったのではない

プライベートもパブリックもない認知の黒に至ったのだ

ウルの下水は脂が詰まっていた

発掘される環七の白

天パーの人種の項

ジャンルが項垂れている

アオリスト時制の虐殺の夢が黄色い

そのまま床にばらまかれたマコピィの中で

溺れて行く音

のみが子音である

豊穣と戦争を司る

イシユタル神社

殺人と同等の

オレンジではない

黄色だ

バビロンマルティチュード

パーム油の菓子

金沢

宦官は暗い葡萄色の街に佇み

出身校の制服を見ている

人生は彼の考えていたとおりになっていないが

彼は幸福だ

もつとも賑やかなブロックのようにきょうの時間は区切られている

マイクが拾う子供の声

☐テレのような有意義さで

失われてゆく人生

裏はただ背面であつて
アンダーグラウンドではなかつた
裏には遊びがなかつた
裏の蟹は漆器に盛られた

表で遊びのない顔つき
焼成されて縮んだ土のようだ
平時に戻ると

宦官のインプロヴィゼーションが再開される

宦官の幸福のようにして

先細りの闇に泳ぐ

九四年といえはツチ族とフツ族の

先細りの闇で漁をする

屋台のようになにこやかさで

街が切り取られ

魚を載せる俎板状の土が焼かれるために切り取られる

こわい顔の少女たちが昔からある店の前を過ぎてゆく

昔からある店の入り口は額を光らせて

裏なのに表にされている

ばらばらの長い髪は

明日は何を着て生きていこうかと

先細りする闇の明るさの中

裏を表として過ぎてゆく

耳を出した横顔が

冷たさの予報の中に蹲っている

キャンディーではなく和菓子であるような子供の唄声

携帯の電源を切って集中して聞く

海底の鐘

イベントは

顔の片方が光るばかり

アジとサバ агитpunkt Ca va?

人を殺しているので刑事さんが追いかけてくる

あー自殺したい

酔っぱらって田んぼに落ちた

マルティチユードにおける非在のコモンのオレンジ

平和や希望が風化させられたのなら

悲しみも風化させられるはずだ

言葉がすりきれる負のコモンを利用して

ぼくらは発電する

いろが言葉で出来ているのなら

心は言葉を燃やして

発光する

炭素棒に感情を集め

炉心溶解する

愛の一号機

愛の二号機

死んだ言葉たち

花火になって

中天から降り注げ

牧者のコンテキスト

官僚の声が球体をなぞっている

震えながら撫で回す地球

柔軟さのかまぐらの雪見大福は原発事故で移動

仮設住宅で聞く人生の目的

東京の空気の震えが地表を伝わる

動物的な生物の絵

バナナ型に黄緑と黄が剥ける

ウグイス色の団子に変わる

永遠の官僚声

浅く腰掛け、栄光をとらえる

光とは重さのこと

互い同士からの重さを受け入れているだけで光を求めている

都会の光の重さ

蛍光緑の芝の恐怖

がっかりおきあがらせる

ぶら下がる太い根が揺れて

悪魔と全く同じ欲望

大脳辺縁系はどちらの声を選ぶか

江戸紫にオレンジ

摩耗した石の牧者

眠りを覚ますネオリベ声

cipher noise

世話が必要な

羊の牧野

水疱の表面積

街には抹茶色の丸い擦ガラスのデザイン

someone touched me (luke 八:四六)

イエスは牧者ではなかった

呻きを聞くのは人ではない

霊において呻いた見取り図を描く

イラストレーションとしての

声

みなさんどうしておられるかと Is 四一:二〇-二三

牧者のコンテキスト

官僚声を切るための見事なイラスト

血を流す女のことを分からなかった子の裂け目

呪いながら難破を忍耐というのは忍耐ではない

さまざまな試練とは何か

黄色・ラッカークの板

忍耐に限度はない
地上では滅ぼすものはない

三津

海の荒野の宣告に収縮する能
一章を割いて気遣う草食の顎
鍵穴型の空の外、家、畑。
ジオラマの段丘が哀れを誘う
暗い胚芽の巨大なサンドイッチが
街路の一区画に積み上げられている
帽子の下の家のような茶色い顔
路地に天蓋を渡せば夢の町になる
波が洗う木板の一階
教室の腰高の蘭鋳
折られた新聞紙の午後の
明度の落ちた空
縫い合わされた傷の文字
いい質問だ
ぼくらは許される
太陽と月と星に恥辱のしるし
くだらない声に怒り
弁当の魚のようあ親密に泣く
茶屋じみた陰影

tori kudo 歌伴劇音の類いとしては松山「ナイトシアター・パレス」のトラでピアノを弾いたのが最初(一九七二)、上京後は新宿ゴールデン街の「ハバナ・ムーン」でピアノを弾いていた時に知り合った「風の旅団」の音楽をしばらく担当(一九八三)、最近は横浜演劇祭におけるモントリオール劇作家ジェイコブ・ウレンと組んだ「no double life for the wicked」(二〇一一)、東京文化会館で行われたシェフワールドの演出家ティム・エッチェルス作品「wall of sound」(二〇一二)の音楽監督、自身の演劇行動としては「tori kudo's meltdown」(二〇一二・高円寺)、大久保周辺等における「ひとりデモ」のシリーズ(二〇一二)などがある。

そらが昏くなつてきますよしの川

或る転向 a turnaround

大抵は国家とか馬鹿にしているものに殺されるから
情感を後戻りして

忘れて過ぎ去るファイルを復活させる

人を失った時に役立つ

今のことしか考えない態度へ

虎皮の虎が

地味な写真のように白茶けて蹲っている

虎は自由を理解する必要があつた

floundering

二〇一三・五・二六アートで田んぼ

マームとジプシーという劇団のオーディションの話から始まった。自分で種類の振付を考え、その番号が呼ばれるとそのポーズをとる、というのを集団で一時間やり続ける、という過酷なワークショップで、そのポーズの「裏」とか「逆」、つまり線対称と面対象のポーズも指定されるので、合計6

つのポーズに向けて瞬間的に体を動かさなくてはならず、最初はぎごちないが、だんだん体が慣れてくると疲労を通り越してある種のトランス状態になる、その集団としての動きを中空から見ている者が居れば、その者はそれを美しいと感じるであろう、と思いついて、と。それは各人の身体能力を審査するためのもので、直接音楽とは関係ないわけけれども、その振付を音に置き換えれば、演奏のフォーマットとして少なくともゼロ地点にまではもっていけるのではないか、去年は土地と穀物の、水平と垂直のメソポタミア・エジプト的な起源に向き合ったが、今年はそのワークシヨップのメソッドを借りて草刈りの動きをやろう、と思った。システムとして高柳の集団投射、漸次投射といった言葉も頭を掠めた。振り付けに当たる奏法のための素材は「草刈り」と「雨」に絞った。「草刈り」には、単純労働、ベトナム戦争の落とし児としての農薬、原罪としての単一プランテーション、モンサント、TPP、といった人間的な営みと葛藤の一切が含まれ、「雨」には人智の及ばぬ天の一切が含まれることになるだろう。奏者は鳥の声が聞こえる範囲に意識を保ちつつ、「草刈り」ではブギーの腰の入れ方で低音をループしてみせたり、つんのめるようにバスドラをキックしながらシンバルに頭突きしたりし、「雨」では造形作品の竹の枝を拝借して揺すったり、ギターを高く掲げてハウリングさせたり、お馴染の吊られた天蓋を揺さぶって音を出したりしていた。ピアノを弾いていると、「草刈り」と「雨」が不規則に入れ替わる度に一瞬で空気が変わるのを感じた。特にミニマルな奏法で「草刈り」を演奏しているまま「雨」になった時、選ばれている音は同じなのに風景が変わるのが分かった。「さまざまな作品や音の水を張られた水田に沈み、そこに田植えをしていく時、水面の上のおれはぞくつとするのだ」、と河野さんは言う。その感じがアートで田んぼなのだ。だいぶん分かってきた。

山の金

腰高の間合いを取れず

喰われた小判鯨

ゴールドラッシュの空撃をなぞる

走路につく

白い影

字に血が滲む

醜 to the morrow

黄色い苦悩を漬け込んで

醬(ヒシオ)の町のロータリーに

経緯は物陰を探して

赤い目を光らせる

やさしい矯正が南口を覆った

次の日になって

罪は僅かながら発酵して

軒先の店を構え

痛みを調理する

愛

書店の多さ

コーナーにとぐろを巻く装飾的な雲

シヨウウインドーには綿

没頭するディスプレイデザイナー

腹さえも優美なライン

水気の多い写真が選ばれた

元は新幹線色だったのに

醪の中に漬け込まれた心

黄色い延命は

次の日になって

追いつかれる

醪(モロミ) to the morrow

黄色い苦悩を通り越して

地球暦では次の日になって

追いつかれる

愛

着飾ったクラゲの襟

もうあまりさびしくないみたいだね関東でまだ恋など出来るの

「死にたい」が「死ねばいいのに」に変わった。偽の謙遜だったみたいね

ブルーハーツクライ六波羅特別突然の雨三着やんか

これで誰もいなくなった裁かれるまで生きていくだけだねあとは

やばい越前だ

紫の土だった

あやめ野郎

シャッターマン

五線譜の充実しない文房具屋はいくらMOLESKINEを置いていても駄目だ

漏れる器

基調色が指を切断するに至る午前

山々の会合

代車の午後

わたしたちの時は・・・

期限付きの貧乏が写真を見返している

「大いなること」を捨てた凝り固まった顔の夕暮れ

乾かぬ土のにちやにちや立ったまま過ぎた

ごまかしのための時間

高架の下から裏側の時間の流れを見上げながら

単語集の夢をエメラルドの水に埋めた

enjoyという滑稽さ

すくい上げては掘ってゆく川床

わたしたちの時はいつもそこにある

*わたしの定めの際はまだ来ていませんが、あなたの方の時はいつもそこにあります。(二七六)

収穫は過ぎ、夏は終わった。しかしこのわたしたちは救われなかった。

手遅れなのは分かっていたが

排土を使って人を作った

背景の細かい仕事の

梅雨ではあるが

言葉は何一つ思い出せない

灰色の親切

雨

ふつんと寝る

主語のない人

妄想に紅海を奪われた

声の響きから排斥の遺伝子を聞き取ろうとしている

描きかけの月の顔

写真

谷は緑や赤に色相を変えられ

実際の色は落とし込まれている

空気が空の色にならないように航走する気遣い

すべては既に知っていたことだから

木球を足元に転がし

肌の色がペットボトルから路上に流れて

気持ちを言い表そうとしている

各々の道とその実によって与えよ

眼鏡の視界さえ球に牛耳られた

弓を射る者の引き絞る頁の上で

夕暮れは誇張された心だ

眼鏡は入り江

さみしい国道沿いの夕闇

山の端はわたしたちの頭を囓む

光はイモムシのように静かに横たわる

こんな時だけきみは連絡するのか

おれさまたち、きみたち、あなた方が

夜と同じ暗さのガソリンで航走するのを見送って

色とりどりの紙テープの端を握りしめている

カモメは白い

落ちたツバメの子に押し寄せる紙テープの嵐

胸にバトカーが近づいてくる

魚とかパンとか以上に愛していますかと

島々の影は叫ぶ

ぼやけた写真家には分からない言葉で

過剰適応はもうすぐ終わるノートのように明度を上げる

足の太い添乗員がノイズカットされてトランスパレントな光の底に沈んでいる

膝を揃えた灰色

見せられない写真がまだ赫い空に昇ってゆく

四つの目と共に

赤が省かれた粹の連なり

田畑が見通せる坂の途中にスポットがあるのか

汚染瓦礫を積んだトラックの出入りする駐車場のあたり

苔はがっかりした緑だ

初夏

それでもいくつか浮かんできた泡の

実を結ぶ無活動

見えない痛みが見える希望

癌に生を掌握され

手を入れられた曲

聞こえる白髪と見えない想念

言い間違えられた歌詞

間違っていた松島

指でなぞりながら読まない海

目を閉じて刈らない草

古い理解はビニールハウスに当たる最新の日の光のようだ

見えない目の痛みが見える希望

七〇年という横たわるリアル

最終頁に呼びかける初夏

四角に刈られたツツジの植え込みがケーキのようだ

最終頁も何も変わらなかった

日々

美と傷

二つの悪が一つになって雲が輝く

心が捲られ蚊は却って侵入する

蜘蛛は粘り強く洗車に耐え

深き谷の黴菌の谷を往く半袖

傷を負って変色する

クロノスの空に緋が侵入する

それでも十二ヶ月の木は生え

空中の権威が色相をずらしても

空はデフォルトに設定を戻して

戸を開け放つと魚が入ってくる

単語群はアクサンのペダルを踏む

流し撮りにより変型したカイロス

まともに見る顔の

風呂敷を敷いて並べるのは

目に湛えるもの

わたしは写真の中のアタタかな雲のようにはがんばれないのです

サウンドカーの首が鳴り目の裏にも赤が侵入する

テーマは「演出(家)とは何か」ということだと思います。だって船を標榜する以上演出家は原発でも反原発でも頼まれれば演出する。「終わり」だって演出する。責任は自分を晒すことで引き受ける。例えば被爆してみせることで表現をゼロ地点に引き上(下)げる。演出は自分を捨てることを前提にした最後のすきま産業なのだ。ドラマ剣一たあよく言ったものでそれは役者ではなく演出家を刺すものなのだ。特権的肉体(菅孝行)とはもはや役者のものではない。役者はなんだっていいんだ。役者のリアルを引き受けるのが演出家の肉体であるべきなのだ。演出家よ殉教せよ。役者は大根のまま泣いたり叫んだりしていればいいのだ。そう考えると最大の演出家はキリスト・イエスであった死すべき人間の場合はこうなる「物云わぬ駄獣(演者)がものを言いバラム(演出家)の歩みを妨げた」音楽家じたいが「越境」することなど出来ない。ジャンル間のセッションなど茶番である。「ジャンルの横断」は無意識にせよ音楽家に押し付けるべきではない。それは演出家による仕事だという風に峻別されなければならない。音楽家と演出家が役割を交換し、しかもゼロ地点に立つような出し物こそが最大の悲劇なのだ。それが「アンダーグラウンド」だったと言ってもいい。

夜道で、手で麦を脱穀して食べた

うしをだますこさん懐かしいな

窯詰めで五個割れた死にたい

鳥が都はるみたいだ

中学生の女の子が自転車ごと水田に落ちて泥だらけになっている。別に泣いてない。

笑ってもないけど。

she is cheeky

私は人に騙されやすい性質で、勧められたら断れず、押しの強い人には弱く、格好の掃き溜め、餌食になっ

てきました。利用したい人は連絡ください。07056801394(我らの世紀)

私はスパムが大好きですが、最近あまり送られて来ません。さびしいので誰でもいい、極悪な業者の機械の方、ぜひこれを読み取って大量に勧誘のメール送ってください。elgedelamour@dk.pdx.ne.jp(愛の世紀)私は東京都国立市東二丁目です。通帳の暗証番号は1802で数百円は入っています。年収は100万以下なのでカードが審査に通りませんごめんなさい・ごめんなさい・ですが、どうか悪人の方、さびしいので強盗殺人に来てください。アイスくらい買えます鍵を閉める習慣は猫がいるのでないです。さらけ出される前にさらけ出して死ぬのが演出というものです。三島はさらけ出す前にさらけ出されたから劇になり損ねた。さらけ出されることとさらけ出すことを限りなく同期させて歴史を劇にしなければならぬ。twitterのパスワードはtwitter2013です。墓川さん書いてください。偽物の偽物は本物ですから

すべてのアカウントのパスワードを公開せよ言葉から逃走するにはそれしかないのだsnailを共同で使われたら追えない、とCIAも言ってる百間先生曰く、東京駅と大阪駅をつなげてひとつのプラットフォームにすれば移動は駅の構内を歩くだけで済む、と。然らばアカウントおや。人類「アカウント」、「パスワードや」ムカデ人間二」みたく人間の頭全部つなげばいいんだよ。それでもたいしたことないだろうけど小説家はペンネームを全部「村上春樹」にすればいいし、憲法改正論議は国民全員を天皇にすれば解決する。

マレイ・ペライア

顔文字の人が水切りの最初の着水のようなタッチで水と石の境目を縫ってゆく妄想と覚醒甘さと苦さの境目を縫ってゆく

ライン

刈り込まれた初夏
横顔の海中

メリケン粉の白
ドレスの階調

抜かれた巻貝
パンチのシヨベル
石灰に地衣類
差し出す醬油差し

セリの中に吊るされた背
トルコ靴の反り

胞衣を縛り
横顔のラインは枕カバーが覆い
花柄のブラウスは星団のように重い上掛けが覆う

熱中症

熱中症が食い尽くしてゆく
ミディアムとしてのボディーに
夕暮れの水を注ぐ

泥の上の

選挙権は得体の知れない樹木
バッテリーを入れ直してはコッツと閉める
尾を切られる羊
コッツコッツと

澄ました樹海に落ちる

アスぺの痙攣

色とりどりの肉を逃げ

車に戻るボタン

今宵の青は意味を成さない

骨は曲がり

特別な注意を向けられた川の干上がり

どうか、と願われている夕方

料理する婦人たちのボウルの耳

鈍く光るステンの

冷たいストレートなデザインに

羊の尾の熱が反射する

カスケード

棚引く行雲は絵画的に巻きおこり

小動物たちは夕闇の穴に潜む

犬的な表情で気遣う

髪を逆立てたヘルニアの頭陀袋

追放される陶片の夜の

仕事は明るく嘯み碎かれたウエハースのいくつかの層のまま

蛍光灯に照らされている

ブルーシート上のケーブルマイクは

安弁当の記憶を投げ出す

どさっ

ヘルニアは髪を逆立てて叫ぶ

池にしゃあしゃあと放出する

汚染水の詰まった袋としての人体

食い尽くされた

熱中

串刺しにして焼かれる故意の罪

部位による名称

冷えた脂灰の夕暮れ

仮歌と思わず辞世のアニソン

奉還町果てまで来れば逆戻り

枝豆の収穫の合間にロルカの練習

それは、趣味で選ぶことではないのだ、あの日以降。

太郎を眠らせ二郎の上に油増し増し

ホームドクターの制度に入って居なかった頃、フィンチェリーの漢方薬局で銀翹散を買い、銀粉蝶という女優を思い出した。拗れてしまった後の不可避で最終的な「ねめつとした」苦さとして銀翹散と銀粉蝶はぐるぐる廻るその華やかさは、保険制度の外で生きていく覚悟の、鮮やかな苦さのことだったのだろう

健康であることが僕の責務です。たとえ減ぼされるまでのことだとしても。

だから内側からチャックを閉めます。

ここは田舎だなあ

農作業はそんなものではないです

虫だらけだし

散歩中も羽虫が顔に当たりまくる

カエルはノイズというジャンルを無効にします

とにかく生きねば

本も大体出揃った感じだし

いよいよ終わりですね

顔とはひとつの政治なんだってね

政治に引導渡してやる

自分で自分の顔を殴って死んだ『君みたいだね

顔とはひとつの不利な証言である

水田は夜の鏡星を映して

死ぬ時は私が仰向かんことを

結構狭いトルコあたりで移動を置き換えると

いちばん不幸な歌手はイルカ

早く見限ってくれ

石鎚は偉大だ

アンナプルナだ

麓には白い炭酸泉

行く手には大砂塵

マンションの明かり

サンダルに挟まった小石

テールランプの赤、犬の経立

モノレールのように音は尾を引く

畦道の黒

まなこ荒れ

窓のある家はすべて顔に見える

皆さんご的リアルだ所詮

信号の三色だけだここは

黒い水と

飛ばしすぎだすべての automobile

植物が照らされて困っている

もっと排ガス出してみろよ昔みたいに

二四時間営業も照らされている

すべて照らされた空地は月面である

ファミレスには医大生がたむろして

沢の水は出っぱなし

バナナは染め抜かれ

急なターンを助長する

空から見たベルト地帯からパチスロ屋のスカイビーム

コンビニの潰れた理由はことごとく外れて

電柱はキリコがデルヴォーかで揉める

産院は夜も明かりを灯し

六本目の指を切り落としている

バッテリーが切れたので終わります

サイローズ(ミツハマヘル+ヤマタニノリコ)@みつうつわ NADIEの展示は一五日

あーはやく死にたい来年カス・ブルーム呼ぶって来年クボタミサとまたフラメンコやる来年で一〇〇年来

年には終わるだろう続くわけないよこんなの

本当のことを言おうか

つまりは死体が死体のまま言葉に引きずられて渋谷から海に運ばれるまでの時間のことなんだろう

総ゆるデッサンが無効になる生きた時間こそが死なのだ

それにしてもまた夏だねジャニスでも聞く

小布施の、溶けた浴槽

あ、もう死んでるんだった

人間は砂の詰まった頭陀袋にすぎないバングラでは誰も全文原稿など読まない。日本人はえ一かつこし一だ。こんばんわ。砂袋です。どうせきまぐれ東京の夜の砂袋青江ミナ砂袋の夜
どさっ

シェンフィックスの九〇〇〇三番で

ロゼ

遠く夜汽車が行く不安だらけの蜜柑の皮を剥き電球を頭にしたらそれが目玉になった一八号棟四〇二号室の内部を外から見ている自閉症の座っていた遊具夜汽車とカエルの大合唱の遠近法的な田んぼのスコアが存立平面天井から真結びにされてから下に垂れ煌々と演技してみせているダイオードの青のフェイクとしての団樂光はだらんと身体はどてつと床に墜つロゼを砂袋に涙は裂けた皮袋にるすとい一つツイートする帝王切開という誤訳の上に成り立っている生一輪挿しの上で萎れたバレリーナ心残りは麵屋ジョニーの「二郎インスパイア」ヤンキーは低能と思われたくないでも助詞のガ音は許せない性質ハンバーグロゼロゼ九飯場とハンバート、梅の土用干しはいつにしましょうブタ野郎

冷たい熱帯に悲しき熱帯魚面白半分て雑誌があっただけど、小さくhalf seriousで書いてあつてさアルパートンだよインド街はシン族の白と金

争点をなくすことによつて時を進めていくという麻痺は態度としての否定弁証法の逆ではないか棄権する代わりに引き受けるものとすれば、見張る者としてのその杯を飲まなければならないだろう。あまりにも惨めな、全方位への活性化の中で、ジミヘンの滑らかさで引き裂かれよ。国はすべての選挙権を剥奪せよ。そうすれば絶望の自治が目覚めるだろう。

熱中症に罹ったみたいで吐き気がして寝ていたのが、夜やつと近所の「りょう花」に這って行き、梅干しとオクラと白ネギとささみ、背脂の代わりにすだちのジェロの浮いたダシ系の冷たいラーメンは食べられて、
@otomajisakaba「後日にて」の「に」がどうしても分からない。「告知にて」と同じ乱れだ。セツは「え

え一つ、おかしいかなあ」とか言いそうで、それも悲しい。気が、削がれた。

日本より日本語が気になる。歌より助詞の「ガ」音が気に障る。正しさにすがりつくのは何の自閉か。

フォレストリミット mshb+reiko,3c123,tsukasa takahashi

裏窓+reiko

黒猫茶房+pirako

《なつみかん》

みつかんないみつかかんなんかつかみないかみんないかん

なつみかんつみかなんかつみなんかつみなんかつみなん

なつみかんみなかつみんなくつみんなくつみんなくつみ

なつみかんかみつなつみんなくつみみつかみみんなくつみ

なつみかんつなみかんかんみんなくつみんなくつみかんかみかん

はしごしたのにおろしがなかったさいしよはわさびつぎは生姜あとは死ぬまで飲んでそれからぶたになって

しにたいぶー

ぶー

およげないうみぶーぶー冷だいぎんじょうぶーぶー耳に赤鉛筆ぶーぶーぼっくりブタ野郎ぶーぶーなるみ

りこはなしかけなかったけどぶーぶー一たけのうちゆたか差し入れシユークリームぶー

新潮社差し入れずんだもちぶータブレット端末で雨と雪観るなよぶーおまえブラジル人だろぶーとまり木

ぐらしぶー

夢は夜開くぶー

おまえ足やせてんなぶー国鉄バーマの切符切りのリズムでぶー黒塗りハイヤーでぶー

あしふといなぶー

「しねばいいのに」産院戦おろし玉葱は干して

虫かばそいぶーはなびらひらひら55669696969ぶーぶたのまるやきぶーとにかくたべすぎはよくないぶーあ

しずりみさきぶーずるいしゃらんきゅうぶーどうせストローぶー牛窓はにほんのエーゲ海ぶーやざわたお
るたなていぶーいぬはここぶー

セルフでぶー

うろこぐもからかぜぶーとんでもなくつよい一年があらわれたもんだぜぶー

室外機ぶー

シッダールタ幹と葉の色の組み合わせがファッション花は考慮に入れてはいけないぶーしんようふじむら
さきあー芯が燃えるようだ山上たつひこ

しんよういしぐろむねまるたかすぎ三越

ぶー

ポートランドでチークブタが好きな苔苔が好きなブタ明菜が好きなブタブタが好きな明菜きすぎたかお
ぶーなつまかみかんガソリン安い

(株)かね広青木チャラチャラ巨大しめなわしめかざりフォルダ共有ぶールーリードみどりとりいがくがく
めん通り

ルビー

四条のなしくずしに寄ったらブッチャーやるみたいで気にしてたところでした。

裏窓は直前に駐車場で拾ったマッサージ機を使わなくてはならず不評でしたが捨てる何とかに拾う何とかあ
りで励まされました。音楽に於ては何であれ思い付いたら躊躇わずに突き進まなくてはなりません。現実を
生きるには不適格ですが、それが音楽の政治性であり無制限の自由です。AMMもそういうものだと思うてき
たし予定された叙情などくそくらえだ。ざまあみろ

ラジオ点けたらニケールがやってての「が」の用法を諦めているような朝用例を許容し再稼働を容認しと
書いたら橋上で「日本一」の幟を立ててリヤカーを牽いてく遍路野郎と擦れ違う守るのは「が」の発音だけ
助詞を容認するのは日本はもう終わりだからフェラの子がフェミっつno place for my dream 仕事場着いたラ
ジオ切る今日は暑い

the bookstore

Choose one book Touch the book

Feel the pitch of the book

Hook your voice to the pitch, then stretch the wave as a long tone

本を一冊選びなさい

その本に触りなさい

その本の音程を感じなさい

その音程に自分の声を引っ掛け、しゃくってしゃくって長く伸ばしなさい

体を楽にして、一番楽に発声した時の音の高さを各自の身体のルート音と呼ぶことにします。カラオケで音程を上げ下げするように、各自のルート音は体調や気分によって刻々と変化し一定ではありません。あるメロディーを唄う時、各自が自分のルート音に忠実であるならば、そのポリフォニーは、オーネット・コールマンがハーモロディクスと呼ばうとした平行移動する線の集合体となります。(だからギターはチューニングすべきではありません)

樹木に触れると、その木の音程を感じることが出来るかもしれません。自分のルート音が調整されるからです。だから山尾三省のように自分の木を選ぶことは大事なことです。それを敷衍して、灰野敬二とデュオをした時、彼に触ってずっと「アー」と言っていたことがあります。

今回触るのは本です。参加者のポリフォニーによって、興文堂の全体が音楽に変換されます。

music for bookshop

If your body had its "felt sense", the comfortable pitch of your voice could be called your "root sound". Your "root sound" is changed every moment by your condition, feelings, etc. It is like the pitch adjusted on karaoke machine.

If each singer keeps his/her "root" when singing with other singers, its polyphony must be an aggregate of lines which carry out their parallel translation. Therefore the guitar should not be tuned.

You would feel a pitch when touching a tree. It is because your "root " is adjusted. So it may be important to choose your own tree in your life. Sansei Yamao once said so.

i elaborated such thought when I had a chance to have a duo with keiji haino. I was uttering Ahhh while touching him.. This time, it is books you are expected to touch. the whole bookstore would be changed into music by participants' polyphony.

下卑た理想がトマトのようでスマートな現実はキュウリのようなトマトとキュウリでサラダになって日本の「ひとつだけ多すぎる朝」は名古屋辺りの『無理矢理モーニング』のように食べさせられている生政治だけがダイエットしている祭では誰もがあみどりの冷やしキュウリを食べる。串刺しにされたのは自分だと知らずに。香具師の運び入れる段ボールのキュウリのように団扇の浴衣や甚平たちはぎつしり詰まった「人」に過ぎない。「個人」は条文から削除されみどりも青さめるのだ。

resiliency

マルティチユードがオレンジ一色でなければならないなどと誰が決めたのか。マルティチユードとは、*resiliency* マークを多用した断続するひとりぼっちの文体であるのに。酵母の死骸を見せられているようなものだ。それではコンビニの至酔飲料と同じだ。発酵中のマルティチユードを掬え

堺十三

演出家と編集者は残された唯一のすきま産業です。表現の責任を負うことなく、表現のゼロ地点への夜逃げを請け負います。選挙で変動が起きたと言えばそこだ。だから左右線対象の顔勢は表現と演出を同時に行う。

表現手段を持たずに参入するとゴロになる。そして今やゴロしか機能しない道行きとなった。

嗜み癖のあるベットの飼い主の愛のねじれ解消

堺に來ている

不機嫌なおばちゃんに味があると思っ接していたら最後までどうだろうと不機嫌だった、みたいな呉須と藁灰釉の土物みたいな冷房とレイコーとおばちゃん

満月的な区切りと徴兵拒否という自殺願望が明滅しあっている久しぶりに酵母の死んだ酒を呑んでいるからだろう 酵母の死んだ酒はすべて憂国と名付けられそれにしてもてかい月だねのどか君

洋平君の『*pe*』の『*pe*』の発音は正しかった。そういうことなんだ世代の理解とは畢竟

わたしが目に沁みる

ダンス公演「見舞」ってどう。

蝉増えてジミンジミンジミンジン

つげびしてジミンジミンに田舎者

雛形の後に原型が流れた

通りすぎるこの山間の町に生まれたんだぜI were

結局どうするの? と思いつながら雲と山の写真が撮れなくなっている。

走馬灯もアーカイブ化が完了したのだ。

ライトを消し忘れた車たちが追い抜いてゆく

書道甲子園とは空に発ガン性の煙を吐く煙突の筆で青春と書くこと

魔法の粉は無かった棺の無いまま拡散するのは僕ではなかった再臨世界は爆発だ淡々と選挙に行こうが行かないで騒ごうがバラを植えようが太郎や共産を貶そうが風邪に気を付けて葛根湯を飲もうが心筋梗塞後のリハビリ中風呂前にビール四本飲もうがカーレースや恋をしようが軍務を全うしようが脱走して家に戻ろうが平然と同じ爆発が漏れかつこいい夏を包む最後の政府が自民で良かった最後まで人の所為にして死ぬる十三にも気の弱いおっちゃん居てはったし

殺されるほうが何かと楽やいてこましたるわと言われればやられてこましたるわと答える飯が天です、というキムジハの一節を絶叫した大造は、ならば喰いたいのものは土、石、鉄、と付け加えた私たちが元気だったのは稽古場の立地にそんな町工場的な幻想が残っていたからだその後「元気だった頃」という曲を作ってNHKで一回だけ演奏した。演奏できたのは過去形の元気が無害だったからだろう。

大音寺松山市立花町

紫ともピンクともつかぬモオブの社ED治療「立花クリニック」の近く

おむつを持ってトイレに入ったがペーパーロール使って自滅していた

野網君が対バンを画策しているベルハーtrush upの表紙になったからってなにもそこまで

ナブツコは見てみたい一度

ずっと四つ足の十字の割高台を削り出していたんだけど、最近では原発マークの三つ足になってしまった。~~##~~漏

れかつこい

中央線の一人暮らしが使ってくれればと思つて器を作ってきたけど、コンビニには食べられるものがない。

全滅だ。漏れかつこい

亀之助茶碗。餓死自殺のための器は。漏れかつこい

これらはまず八月四日に花火大会に合わせてみつうつわで展示されその後YOUTUBEに発送されます。その後はミツハマルに戻されます。みつうつわつまり旧池田商店を使えるのは今回が最後になります。四日の演奏はピアノを習っていたというヤマタニノリコと午後一時から六時まで、木琴とピアノです

釉薬はもう白くない灰汁を抜かない土灰を入れたら酔ったように海っばい

演説がラップに変わったように話は切れ目なく祈りに変わっただからその裾野の歌は光に変われ

MCが死んだぜ三谷

気がつくとも石棺の夢想をしていて、型枠の鉄筋とかジョイントをどうするかとかコンクリ流し込みの方法について考えている。最終的にはそこが小富士になるのだ。天山は人造の山だ。天辺に神社があり航空写真で見ると前方後円の地形を辿れる。飛び地のような玄武岩風化物のみで出来た自然の山などない。地層のない山などないのだ。石棺の小富士のように。ぼたぼたとフクシマに生コンが落ちる昭和よボタ山の寓意に目覚めよ石灰岩層は肩凝りがない体質だと言ひ張る男のようだ。かれには地層がない。ダイムストアとライムストーン・ミステリー水養生の終わりブルーシートの子立平面田の汚染はショッキング・ピンクのフジツボの形をしているマーチという墓場。墓場でマーチ、ではないのだ。コンクリの小富士の周りで君が代行進曲を流せリックフェラーリとハードロックフェラー

遠くから見る四国のエステル

Rip cream

「最後の美に殉じよ」

サイケって「資本主義と分裂症」以降死語だと思っていたけど、一九二〇年代に対応する一九六〇年代の解答だった。即ち「瞬間に倫理はない」。二〇一〇年代のサイケは、きみたち、心して聞きなさい。「最後の美に殉じよ」。

圏外の集落を沢山通って久万美の田都画廊展に辿り着いたら碓田勝巳はなくて工藤省治だった。とんだオイディプスの旅であった。

にいにいぜみさまあ

岩橋君の一人住まいの庭は荒れて、洗濯物もなく、空の犬小屋が雑草に埋もれている

人は過ぎ去り行く自分の世代の中で生きるものでありその幸福も葛藤も最期の美の拠り所もそれに規定されてゆく風立ちぬ

夢の中

とはいえど延

長時間

を過ぎた夢を

人は生きねば

魔の山のサナトリウムのゾルゲ氏も一瞬だけが永遠でしたね

箱なし男

朝のベッドに知られている

わたしに鳥が鳴き止む

灌がれる悪戯さえ塞き止められて

反芻する未遂の船出

思わず今日に漕ぎ着く

ひとつ、手がかりを求めている。弦が弾かれる音は聞こえた。奴は蟬になる。きつと。ぼくらは繭のようにあちこちに蹲っている。
子供に女装させていたな。一日一回は思い出すよ。誰の骨だったかは覚えてない。丁度良いからきみに語る。豪雨と干魃の中で、嫉妬の
ない地方に湯引きされ脱鉄された夏。

単なる知識化と体の不調に逃げ込んでいる

蛹を切ってやろうとする行為

五年かかる

カミングアウトが強依存に

現家族は安全な場所ではない

独占欲から全ての傷をさらけ出す

人はハンモックの結び目として

empowerment

黙って聞いて拍手する

コントロールの反対

本来なら熱気包になる筈の

かなかなの、わたしのための移動

プロフィールが書けない理由はトラウマ史ではないから

歴史の記述の記述はまず感謝その後怒り

河口に渡る橋がない

ジェノグラムの作成

縁切りとか自殺の

サバイバル・グループ

第二層で血が吹き出す

否認のエネルギーの放出の後に見えてくる

怒りの対象になった場合

自分の後ろ姿が見えたら声をかける

全ての本の背を剃刀で切った

機能不全的なインナーペアレントを手離す

親はひたすら残念だ

鈍磨や否認は完了している

拒食

プロセス嗜癖と過食

対等

どぶねずみ

ウディー・アレン

認知療法的に自尊心を上げていく人

裂けトマトみたいと笑われた

見つけてもらえぬどてカボチャ

豪雨と日照の繰り返し

夢は夜開く

漏れる茶碗と馬鹿にされ

買い叩かれて儲けなし

放射能なら漏らすのか

夢は夜開く

音色が変わって楽しいか

楽器が弾けるドヤ顔に

いつまで歯向かうマイナーの

夢は夜開く

一から十まで数えれば

素数は二三五七で

友愛数など遥か先

夢は夜開く

十五十六十七と

お盆で切符高かった

個展出来るのはそんな時期ばかり

夢は夜開く

三号機夢の個室の延長はどなたに電話すればいいのか

けろよんはちよつと黙っててくれないかかなかなの声をこれから聴くから

音を信じて音に振れる

もうすぐかなかなが哭くので待っている

鳥は遣わされるが、かなかなは運ばれてくる

最後の詩行はあとからあとから舐めとられてゆく

詩は場所であり哲学は場所の言い換えである

存在とは場所が舐めとられてゆくことであり

蛇は塵を舐める者である

詩の雑誌とは舐めとられた場所の幻影にしがみつく者たちの尻尾の羅列であり

ダンスとはまだのたうちまわっている、肛門を含んで切り取られた尻尾であり、

愛とはやがて動かなくなるその尻尾に降る無情な雨であり

僕とは御堂筋線である

鹿沼

どの家にも濡れそぼった犬が繋がれないまゝ尻尾を振っていた

道はサンダルを汚し

窪溜まりの毬栗はうずたかく

空き家の便意は限界に達して

水路は菰色の熱を流されていた

ベルクなど行ったところでなんになる

マリエレギヤルソン懐かしいな

どこにいるかというとザネッティでモレッティ

イタリアのテクノは何を引き継いだか

イグザイルとか亡命ではなくブルジョワの空気を肺に纏った避難民を受け入れたのだ

シャツがボーダーでスカートが縦のストライプ

洗濯女と洗濯板女のオペラ

道は幅ではなく数で決まる ちなみにここは一四・〇

一四・〇の女が通ったらこの道は終わりだ

「作り話のように思い出す」*

サブウェイ・セクト的なスタディ白髪の東京

日を経た者のスローン

凡ての転送を遮断し

痰もへちまもない

* 飴屋法水

高知鼎美

一〇〇年目の春の祭典La Commémoration centennale du "sacre du printemps + 大木裕之、実験君, etc 八月一四日

高知でバレエに参画する DI1913「世界の終わりに美に殉じる」ストラヴィンスキー「春の祭典」、ドビュッ

シー「Jeux」、シエーンベルク「幸福な手」、スクリヤービン「ピアノソナタ九、一〇」、プロコフィエフ

「ピアノコンツェルト二」「春の祭典」から始まる「サウンド・アート」の歴史は今年で一〇〇年目なのだ。

レッドブルがまだなかった頃、わたしはエヴィアンを飲みながら屋上でおしっこをしていた

人差し指でガラスの海を撫でる前は親指で愛に楔を打ち込んでいた

「ひっくり返ったらもうダメっしょ」と若いカップルが言い捨てていくのを摘まんで街路樹に掛け、「もうひと頑張りしてくれい」と念じて鳴くのを待った。

宇宙が出来る前からわたしはあなたの懐刀だった

「逝去」じゃねえだろ ションベン野郎

学校は楽しい

夜の河童 上手く言えましたね

縛られた胴と左腕

少なくとも二階建てで

鏡板に朱の塗料

あなたを知ろうとしなかった

骨を擦り筋を引き裂く

私たちは絶滅の帚に逆らっては何も行えませんが

ただ絶滅の帚のためにしか行えないのです

まずこれら(倉地館屋)が与えられたものだという事に常に立ち戻らなくてはならない与えられたものをこなすのは演出家の仕事である。演出家なら原発推進でも原発反体でも一度請け負ったらそれをゼロ地点に引き上げ或いは引き下げて作品化するだろう。ブランショが言うように、不在の不在としてのエクリを、顔と名前を消去することによって作品化するのだ。われわれを引き合わせたのは「御縁」か「資本」か「友愛」か。「作品」はそれを問わない。「作品」は「音楽」であってはならず、「演劇」であつてもならない。それは「演出」でなければならない。その徒勞の全ては「音楽」を救うためになされる。鶯谷では二つの詩の場所が、上野では二つの演劇が、同時に存在することになるだろう。二つの「集積」を繋ぐものは、政治意識による上層の感情ではなく「世界の終わり」の事実性以外にないだろう。「春の祭典」から始まる「サウンド・アート」の歴史は今年で100年目のだ。

札幌はどんな感じですか。夏ですか。

「まぶしいの反対語ってなんなんだろう」家内は腰が治らずまだ買い物に行けませんスイカ半分でも持てないこのまま車椅子になったら家を空けることはできなくなるかも保険も入っていないし明日はいつでも

「グラサン通して目に馴染む」

シェーツに残暑サンシヨ?

electronics, erect/ronics, Pithecanthropus erectus, ピテカンやインクの頃は思い出すだに吐き気がする、エレクト。

それは雅楽では夏が半音上ずり冬が半音漏れ落ちた選択です。アトミック・サイトのガイガー・カウンター付きのギターはE#だった気がします。

山の大洲はひと夏の

碧の川に蔭落とす

首を垂れたひまわりの

重い田舎のシャンソンに

切通しに行くパラソルも

影の黒さに身を落とす

Iliith said my true name was "Kayoi" san.

曇り空の下で自由になりなにがしかの方策を練る

出産の知らせのようなある種の

お慶び

そして水溜まりを踏む

伊方再稼働させたら刺すほら書きましたよ捕まえてくださいな娘さん四つだけ可愛い盛りだよなッ何が言いたいんだッ別にイ白竜原発編また始まったけど何があったんだシノギになると踏んだのか

孟蘭盆奴隸と紫

atonementにあるべき日の玉音の

野菜に刺さるバクトルの

ひとり残った家族の

戦地に赴く娘の

金持ちではあるが

atonementであるべき日の紫

はみ出したシャツの子供

を煮る

この道の石垣は炎の照り返しに染まり

見つかった落書きが法そのものであるよう
な

暗紅色を遠近法によって薄めていく

寄り添う太った脇役の夫婦の輪郭が

艱難に稜線を与える

罪の奴隷になるには努力は要らなかったし

義については自由だった

夏お題でしか動けない頭に玉音を浴びせる

atonement 火を焚くことも憚られるのか、

どの窯もひっそりしている

そして貴女は倦怠を知る

崩れ

崩れに

ずれ込む

斜面にある

石の板の

自分を読む

斜面にある

後ろ前のワンピースが

こちらを向いているかのように

彫られた線を読んだ

偽預言者の真剣な芝居のように

もう忘れよう

部屋に紛れ込んだ生き物のこと

強固に凝り固まったものに対する変革には

化学変化が必要なので

いちめんに速く流れて隙間なくなんともさびしい曇り空

海洋汚染の賠償金を払わなくてもよい方法。有り余るプルトニウムを使って原爆を作り、他国に売り、日本を攻撃してもらう。どちらにせよ同じ廃墟になるのだから被害者面した方が安らかに死ねるだろう。石棺で覆えないなら、屋台で囲う。人間串カツ汚染水に二度づけお断りなどと看板を出せば、あまりのアホらしさに放射能が逃げていつてくれないだろうか

言論の有事 有事の女神 有事の眼鏡現人神 北京現人神

楽譜百景

ポアンカレ予想ばわん彼襲うボンカレーよそう

空港に

行く車のテ

レビで初

めてあまちゃん観たら三島だった

道後町屋寝ながら演奏できる楽器を持ってきてください

今流れてるジャズドラムださい。アクセント全部逆にしてやりたい。

国内の「安全」と「安全じゃない」の声の切実さのバランスで、対外的に綱渡りしているのだとしたら、日本人は全体で「役者やのう」ということになる。

満身創痍工夫

日本に於ては素朴さなどあり得ない。

演奏とは血に至るまで抵抗したことの無い人々の劇場で、見世物になるということ。

くさはらをバイオリンをひきながらはしっているやつがいて、よくみたらおれだった。

タカアンドトシリア「欧米か。」

(財布を落として)

財布を落として

削ぎ落とされていく時間の脂肪

黙示の骨格という岩が顕れる

私達は礼儀正しくあわてふためく

人のことを考える

特に声の響きを

脳内を横書きの文字が流れてゆく

私達はこのようにしてうつかり命を落とすだろう

凝固する白濁

驚掴みの秒針

どこか負の大陸での安堵

動物的なものが影を潜める

そして

ひかりのように立つ

背中を摩る

引き出しの多い

背中を摩る

努力が重複するのを避け

漂う軟骨

思いの内部被爆は心の外部被爆。それは魂の被爆。

つみのゆるしゆみのつるし

探りがたきは王の道

zoneB phase3

俺の作った酒以外は単なる至酔飲料

きみの燃えかすは空に落ちて

山が横たわっています

乱暴な絵筆が空に×印を付け

日の暮れは向こうに投げ出され転がつてゆく絨毯に追い付かぬ昼の歯を浮かせます

太陽の冷製、月のボワレ

ビルは人が落下するために建てられる

反原発運動は放射能を竜巻のように隠喩に変えることができないから正しかっただけだ。

しかし最終物質としての放射能が隠喩になった時、人々を結び合わせていた唯一のコモンが消えることになり、運動は他の左翼的抵抗運動と同じ次元に着地することになる。

倉地の大沢君の歌は、しばき隊の男の子と在特の女の子が恋に落ちた話だと思う。

倉地の歌は全部そうだ。要約すれば、「すべての二項対立をロミオとジュリエット化せよ」ということになる。

そこに暗喩化だけに生きる者たちの弱さを看取ることができる。

吉本は暗喩化できないものに反対側から近付いて触れることが出来た思想家だった。

だから貶されながら死んだのは彼の栄光だった。

きみはひとりではない放射能から愛されている放射能のように愛されているルーだつて放射能 is my wife. is my life と唄っているではないか外食チェーンに通う暮らしの中できみはそれを実感している筈だ

九日のテーマは「現在地に於けるサイケとは何か」というものです。夢と現実を縫いながら音楽は見世物としての外衣を身に着けていきます。

ハバナにいた頃平岡正明がよく石川セリを連れてきてはボサノバとか聴かせて教育していた。さっきラジオで武満谷川の「死んだ男の……」をセリが唄っていたので思い出した。平岡さん良かったな、と思った。車で高知に向かっている。

どしゃぶりの中ごめん駅の周りをぐるぐる廻ったらタベルナ何とかというイタリア料理屋の看板が急に可笑しく思えてきた。林で囲んだでかい洋館に入ったら雨を避けた人々が大勢ものを食べていた。砂糖のスティックには目盛が印刷されて物差しになっていて、ここでもボサノバが流れている。

「あれ喫茶店かしら」「美容院だよ」「小降りになったわね」「目だ！台風の目だ！」

ホロヴィッツが何を弾いても星条旗よ永遠なれに聞こえる。オバマは傀儡の口パクに見える。アサギリ成長したなあ樋口さんみたいだぜ音楽を聴くとはホロヴィッツの裏側を聴くということ。引退期間中にのみかれの音楽はある。ということはどうたわぬ詩人こそが詩の場所を鋭利に意識しているという点で真の詩人であるということになる。詩よりも詩の場所が重要であるという言い方は、健康は命より大事というジョークに似ている。それはゾーエーはアニメより大事という考え方に起源を持つ。そしてそれは相対的な権威を持つ者に利用されやすい。体を殺せても魂を殺せぬ者を恐れるなという言い方の強さもそこにある。

人の幸福はその命の剰余部分の自足にある。

むなしさもまた。

高知からの帰り雨で通行止め

ようやく海に出た。こんな曇りの日に海が青く見えたら気持ち悪いだろうなあ

寒い寒かったら服を着ればいい。まだ寒かったらもう一枚。それでも寒かったらもう一枚。おれは服を着ないからいけないんだ。ところで味方って必要なのか

家の前に亀が来たので池に連れて行ってやった。

ムシさんにみかん五枚と芋を送ったところだった。

飴屋さんの家族が来るので草を刈った

秋雨や昭和は遠くなりにけり

秋風や昭和は遠くナラメヤモ

菅野さん、また若返って走れるようになるんやで

淫行

水が干上がるといふ

散文のどしや降り

背骨のないものにも整体を施す

旋律

聞き間違えて進んでゆく黄色や

刈り取られるツルムラサキ

路面電車の行く先はどこも同じ

淘汰された限界点

打ち殺される者はここまで及び、地の肥やしのような

人間は肥料になるのだ諸君

不活発な発泡が言葉を盗み取っている

九・九 *showboat* 現在地に於けるサイケとは何か *nishu* 水晶の舟

輪の時間と矢の時間がある

△△の治療は輪の時間の再評価、再構築に傾く

六〇〇も輪の時間に倫理の超越を求めた

ループする輪の時間は労働とその報酬の喜び

矢の時間は黙示的

現在地におけるサイケにはその双方が必要

きみたちがドウルーズ *Body* にだんだん辟易していくのはそこには輪の時間しかないから

きみたちが政治的なツイートに時に空しさを感じるのはその不完全な矢の方向がずれているから

やば豚

rock n role

私の体は日本みたいだ

under controlのループ映像に打ち込みのバスドラとスネアが入って

abeno-mixやな

it rains on our cut tailやがて動なくなる

南国市役所

高円寺の大将のメニューが楽譜を入れた手提げ袋に紛れ込んでいてそれを一九二五南国市のホテルで見ている。

一連の冬瓜づくしが終わって今日から自然薯東では茸が食べられないのは辛いだろうな

前は舐めても味しなかった秋が鬱屈した溝胡瓜に凝んでいる秋味秋晴秋風秋場所秋葉原秋雨秋田県

トリカブトを嘗めてみたんだけど

血痰が出るばかりで

代官山ルピシアのおしゃれな緑茶貰ったけど産地が分からないから飲まない。現在茶を飲むには知性が必要で、茶を選ぶことが今の茶道である。茶の木は自分で植える。

茶の湯とは、ただ湯をわかし一〇Bq以下の茶をたてて、飲むばかりなることと知るべし利休を遵守すれば家元と国の間に図書館戦争ならぬ茶道戦争が勃発楽家や三輪良彦、中里隆を始めとする窯屋も、国が放射能を漏らしているなら焼き物が漏れてどこが悪い、とただ漏れして飲めない茶碗を作って対抗裏千家は地下活動へ走り抹茶粉末を山手線内に噴霧

テロの劇化に伴い、茶の湯関係は法輪功的な弾圧を受ける。窮地に追い込まれた茶道家はフクイチ建屋を茶室に見立て最後の茶会を開き自ら汚染水で茶を立て集団自決しようとする。

とその時沖合からゴジラが現れ、自分も茶の湯を学びたいと言う。実は石黒宗磨と小山富士夫はそれを見越してゴジラ用の茶碗を制作していたのだった。

ゴジラの茶会なので急遽皇室関係や要人も呼ばれたが、ゴジラの茶碗は漏れるので、皆ずぶ濡れになった。侘び寂びの事とて文句を言う勇氣ある者は居なかった。

結構な御点前で、と習い覚えた修辞をゴジラが発すると、日本国民は多幸感に包まれた。

中国茶が嫉妬して東方美人を連れてきたが高い線量に敢えなく病死した。

列席者もコクーンの舞台のように次々と倒れていった。恍惚の裡に死んでゆけと武智鉄二が叫んだ。秋津島に一陣の風が光った。了

け

ウエルピア

夜半酔わね「世は余話ね」余は弱音哉

月明かり薙ぎ倒された田面を過ぎ

彼岸花は夏の蕁麻疹か

キモーいマジむり

まんまるだあ

パウロになつて愛が多用されるようになるのは愛がないから、というより愛の流通経路が問題になつてきたから愛の労苦が搾取されるのではない。剰余を解体するのが愛の間屋だ。

月は煌々と夜を航る

七針

ガラ携ブルートウース

もういい時間じゃんねー

祈ると折ると字は似ているね一斤二斤と数えるのかな体

線量計五文字と気付き歌になり易きと思う我ならなくに

生きねばとか言つてるけど本能だからあたりまえじゃんねー

思い出し

風しけた夜

の窓に当

たる思い出し風しけた夜

夫婦滝

秋味や空を味わう余裕なく

岩はレゴリスの部分で混ざり合う

私たちの社交のように

憎しみによって確認するものは愛と言うより煙草に似ている

「思い出し風」しけた夜の窓に当たる「思い出し風」しけた夜

音風 ソロ、撮

或る役者

役を貰った

冷静なふりをして殺される役

シナリオを貰った

「似合う人」の役だ

「似合う人」は「似合わない人」によって構成された空間に埋まり

ぶちまける中身もなく

挿絵のように登場する

「似合わない人」の顔は

永遠に埋め合わせられ続ける

欠損の裏返しとしての辛い

みな同じなのに

どうしてこうも違うのか

こんなに近いのに
入れない

回転する剣に
不意に口の辺りが歪んだ
涙の出ない顔が歪んだ

調節出来ない体温のブレザーの中でわたしは
凝っとしている
さむあつくあつさむい

面と向かった体温

単純な黒い線に割り振って

響かない水底の鐘

ペーパーナイフ或はクリオネ型の足の下の水
目を向けたら沈み始める
いい野菜が少なくなった

当日まで一緒に成長させておきなさい

灰色の絵の黒い本

季節の中で歯ぎしりする

皿のデザインは大きさに関する話

顔が大きくて撫で肩

えっ結果ではなくて動機なの？

空気を征服する

撫て肩の小人

集団虐殺と嘘

硬い黄金町

青い熱

組んだ足の逃走線

が湾岸に下る

許すべき理由はあるか

不当につけ入れられるままにすること

許すことを勘違いしていないか

大分 athall

mshb/winterfamily 爆撃音を口真似するduoだった

あまチャンボン

リムジン川理不尽

関アジ関サバ日本一や一

森下は大江戸線と都営新宿線が交差する便利な場所にある。

ある意味山手線と中央線の現在形というか。

鶯谷キネマ

歌詞ごとに各自でループを考えておき、他の人のリズムに耳を貸さずにそれをキープし、確率的に全員の出だしが合う時待ちます。たまに休むのは構いませんがループの長さの倍数で休みます。一度に二人くらいから始めるときもあります。途中でフレーズを変えなくなったら、変えたことがはっきり分かるようにします。何より大事なのはメリハリです。一人の音が支配するようであってはなりません。フレーズは分かりやすく、ポップである

こと。

昨日大分でクラヴィノーツの諸君と共に朗読のやつを試しにやってみたのですが、一一〇個読むのは到底無理だということが分かりました。それで、準備してくれていた人には申し訳ないですが、大幅に減らし、分かり易さを意識して以前のも入れ、お曲にしてみました。やってみて分かったことは、異なる大きさの歯車が云々と言ってもやはりグルーブ感というのはなかなか生まれないものだということでした。ロックとかは基本グルーブなので、とくにドラムなどはただ繰り返しでもだるい流れが生まれるだけです。それで、ひとつのグルーブを弾く間は次のグルーブに移行するまで息をしないでください。終わったら息を吐き、息を吸い込む仕草が肩の動きで分かるように。そうすると歯車が回っている感が観客に伝わります。一回一回自分で円環を意識して演奏するわけです。それでもきつとぐじゅぐじゅになると思いますがよろしくお願いします叫ばなくてもいいように非常にはつきりとした小さい音でお願いします

やった人たちは楽しかった、と言っていました

あと、夜は弁当が出るみたいで数えるとい人です

新井さんが既に英訳したやつがあり、折角だから加えたらということで、結局お曲となりました。渋谷さん、野津山さん、長谷川さんなどは午後会場に直接来ます。小山さんは来る事になりましたがクレジットが間に合いませんでした。

歌詞をスクリーンに流しますからそれを見ながら演奏できます。プロジェクターはぼくが操作します。会場には花道があったり、小窓があったりするので好きな位置を選んでください。移動出来る人は動いてかまいませんが、マイクで拾う関係で動けないかもしれないです。

あと、5日終了後に文化会館で打ち上げめいた飲食があるようなので、1日しか参加しない人も来れるなら来てください。

上野文化会館

上野駅改札でくるみが楽譜を配っている文化会館に続く道に楽譜が散乱しているロビーからホールに至る床にも楽譜が散乱しているロビーの外で楽器を練習している音が聞こえるホール入口に国鉄の制服を着た職員が居て鉄を鳴らしている 国鉄職員は楽譜に鉄を入れている空席には彼岸花が咲いている壁面に何かを書かれたお札の映像が映っている

ステージは半分開いているステージ奥には親子のパンダが寝そべっていて、笹を食べたりしているホール内では楽譜が舞い上がっている 上方からマヘルが練習しているような音が聞こえる 国鉄職員が唱和したりしているパンダがドラムを叩こうとしたりしている ステージには年号が書かれたスク

リーンが垂れ下がっていて風に揺れている映像には泡のようなものも映っている 年号が変わる度にピストルの音がする 国鉄職員はステージ奥のスタンウェイを弾くが調律が狂っている 安倍総理のio総会に於けるunder protectedがループする 中国鉄職員が「わたしの体は日本のようだ」という歌を唄う 続いて「岬の向こう側から流れて来るのは」という歌を唄う 続いて腕時計がギターのマイクに置かれ、一拍子を刻む中、現在のピアノが弾かれる 最後に股に彼岸花を挟んだ「K」が登場して輪一と叫びながらくるくる回って倒れる

「K:マヘルは出てきて去年の秋を演奏しろ」

照明全部点けろ」

ドアは開けろ」

しーさんは「O」を出して 玉柳君は鉄砲の音出して これは文化会館が建てられて 飴屋さんが生まれた年です 文化会館は何を文化してきたのか あなた方は何を見に来たのですか 風に揺れる葦ですか

回る彼岸花ですか

彼岸花なら公園口の向かいにまだ五本くらい咲いています

カメラは女を追え」

客は拍手しろ」

玉柳君、もつと鉄砲撃ちまくって」

はい、

これでゲネプロ終わりまーす

アザラシの粗刺し

power from nowhere

色の力だけで恒惑を亘る

霞棚引く地元の

言葉で立つ山の木や

静まる湖に下る同じ火

日の当たるまぶしい山が
働けど働けど

削り落とされる文字

地層の皮の味わい方の

間違い

青い鉄の引き戸の

蝶番

一九五七年の力

自分を固定したから

罪そのものの力が自分を欺く

一九五七にねじ込んで

はじめてだ

希望者がいない

変

考え続けないで

力を及ぼす

湯に馴染む

場所がない女の

距離

錆色の浸透から乳白の浸透へ

黒色の浸透から無職東名の
空が笑うと恐ろしい

夜の青空

トルストイの復活など読むことはないと思っていた
カチューシャが露天に馴染むなどということはない

夜

女は葉に向かって歩いている

コンビニじたいが葉のように光っている

腕に貼り付く蜘蛛の糸を剥がしながら

連載の終わった恋を目に入れ

最後の小銭を使い果たせないまま

汚染水で流し込む憎しみ

憎しみはbotのように流れてきては

アララト山に漂着した

溺れるノア

とカフカは書いたが

女のboatは沈めないまま

ローソンファミマを放浪し

デポジット足り得ないポイントだけが溜まっていった

エンジンのかからない車の中でも

雨だけは避けられた

雨の音だけを聴いて

オリーブの枝を啜えた鳩が空を刺すのを待
った

夜の青空に

オリーブの枝を啜えた鳩が空を刺すのを待
った

無理な言葉を待った

ティッシュで言葉をかんだ

雨が止んだのでまた外に出た

虫の声は何も刺さなかった

ただ陰影だけは

月もないのはつきりしていた

人間の街灯で

街灯には虫がたかっていた

女は連鎖の最初たらんと欲した

例えばオキアミ

憎しみは最終捕食者に蓄積されて行くから

たとえば貝殻には

カルシウムと間違えられたセシウムが蓄積

される

女は貝の足のように自足したかった

「食べられてもいい人」

と教師が言った

はいと手を上げた

それが女の青春だった

来ぬ人を何処で待たう

空豆の殻が一斉に鳴る

あの夏の日の夕暮れまで

灯りの落ちたラーメン屋の前で

夜は

犬のように蹲る

星のない夜

と書いた青春の遺書のように

出版されてゆく嗚咽

踏み外し

転げ落ちる畦道

飲み屋もないのに

稲田というシャッター街を転げ落ちる

ずぶぬれて犬ころ

という句を思い出している

電柱は吐き気で突っ立つ

最後の薬を飲む女

急に陰影が遠さかる

遠さかる親密

虫は近い

それでも

膜がある

投げ捨てる

放火

街灯の蛍光はホタルのようで

蛍光灯とはよく言ったものだと感心する

それほど白く点々と

道は続いている

よちよち歩き

畑のシートは白い

白線の内側に下がって下さい

下下と漢字が続いたので

ゲゲゲ

です

今日も沢山捨てました

にやあとお迎え
腹撫でる

夜明け

明るい霧から棒杭が突き出ている
色とりどりの動物に背中を踏まれ
穴の外に寝ていたのだった
親は躊躇せず跨いでいったが
子供はいくつかの足跡を残した
生命の重さに覗き込まれて
球体は筒になり
突っ立ったのだ

朝の秋

隣家のスエコさんが落ち着いた消防隊員の
ような声でうちのネコをかまっている
刈られた池の斜面を撫ぜると
終わりに伸びる草たちが
抗いながら諦めている
絶望の空に
白い円盤を描き入れて
画竜点睛とする

秋

レインボー

雨の弓は

引き絞られぬまま消える

レインボー

方舟から出ると

壮大な非戦の沃野が

初めての色を帯びて

見渡す限り

人は居なくて

降り立つわたしは矢

虹の弦に番(つが)えて

時間を飛ばす

花の色は致死的な紫外線から生殖過程を守るためにあるというのだが、紫外線も殺菌のために用いられるのだから、なべて光の波長や虹の色には意味と目的があると言える。盲目の人は色を指で感じることが出来る。患部に色紙を貼る色彩療法や日露戦争以来の光線療法が敷衍している所以である。

光線療法の機械は鬼太郎のおやじの目玉のような形をしている。タイムマシンにも見える。それを額に当てると「三つ目が通る」を思い出す。体温が上がるのはいいことだ。

ボードレールが「散文詩」で赴こうとした場所は、おそらくその光たちを製造する機械のある部屋だった。それは詩の場所を結ぶ地下鉄の層にあった。

車屋は新車の光に満ちて

旧車の光に満ちて

生ごみを載せて輝く

メタリックオレンジの光にも満ちて

その落差に

胸がずれてゆく

ずれて揺すられ

ラジオからは邦楽

新しいとは改めるということ

やり直すとは捨てること

幸福とはあきらめること

運動とは続けること

評価とは馬鹿にされること

個人とは自由の幅のこと

新聞は

そう読めた

ものを燃やす場所を探して

街に行く

路線変更できない黄色い教習車に付いて行くと

思わず散文の場所に至る

絶句

赤い警棒の光の先

地面の下に土の叫び

川は唯一のわれわれの涙であると

下る河原の

ソノリティー

三味(しゃみ)の細さの

めでたけれ

洗車しないマドリードレッドが曇天を映している

無視される格安航空のように

便宜の図られぬ

名刺のない人種が

一夜千しの胸を拡げて語りそうな

町のいくつかに入ってしまう

受刑者の就職を受け入れる

右折レーンの

開かれた濁り

セザンヌが

竹原の忠の海港近くのプリン屋の

紫にオレンジの掠れた看板を思い出して
いる

道行く人も時物もブリクラの画像変換のよ

うにかれの筆にあって掠れ

命の根が腹に下って

叫び出す山陽

瓦たち

同じ海に対して

同じ緑に対して

毛利は長曾我部に叫ぶ

黒より深いオレンジと

伊勢が新たまり

われわれは契約の箱を

ベザレルの流儀で更新する

残像のパラダイス

保守がここまで変えてしまった世界

それどころか乳をふくませる母親が自分の子供を慈しむときのようにあなた方の中にあつて物柔らかな者となりました。あなたの内なる所の騒ぎそしてあなたの憐れみはどこにあるのですか。

内なるところは腸ではなく子宮であるという訳も出来る。つまり神の子宮。内臓を指すメーエという語は常に複数形(メーイーム)で出て来る。腸や生き物の内部に加えて子宮もこの語で表わされることがある。感情とメーエの間には明らかに関連があるので、メーイームは最も深い感情の座とみなされた。神の子宮という考えをマリア崇拝で補完するのは間違いであった。父母に捨てられたきみは子宮をも合わせ持つ者に祈ることができる

わたしがこの民すべてをはらんだのでしょうか。彼らを産んだのはわたしなのでしょうか。そのために子守り男が乳飲み子を運ぶように彼らを懐に入れて運べ、と言われその父祖たちに誓われた土地に連れて行かせるのでしょうか。「子守り男」の存在は子育ての歴史に再考の余地を与える

乳をふくませる父親 パキスタンのノールさん、元気ですか。もうタリバンに殺されましたか。髭面のあな

たは熟れた柿をスプーンで、塩を振って食べ、「花が開くような味」と表現しましたね。あなたの母性を通してわたしはあなたのスプラunkナ「腸」、「優しい愛情」もしくは「優しい同情心」を見たのです。

希望を保つのは難しい絶望を保つのはもっと難しい

死ねばいいのにブスのくせに死ねばいいのにブスのくせに死ねばいいのに

いえ、タグを付けるのは問題ないです。無防備と言ったのはプライベートなフェイスブックページに仕事としてのパブリック(倉地、マヘル)が侵入していく様のこと、無邪気なタイムラインの中に薄められていってしまうものがあるのではないか、逆にその中に劇の核心というか見所もあるのではないか、ということ、です。プライベートに持ち込むのは強度としてイネヴィタブルなものでなければならぬから、広報としてタイムラインを使うならP**C(名義の方がよく、本人名義の場合は「上司に言われてこんなやらされてるんだけど困ったわ」みたいな感想を書くのが自然に見えて結果的にいい情宣になると思う。だから無理に自分名義での宣伝など書かなくてもいいんじゃないか、と思ったわけです。侵入はドキュメンタリーに属する事件で、そのさらけ出し方で劇は決まります。だから余計に自分のプライベートを貫いている感じが欲しいと思うわけです。

空は月のようなだった。浜辺で撮る写真には飽き飽きて鳥肉にオレンジジュースを入れたら行列ができている水陸両用の家フラスコの夢三角錐君のためにある歌は歌われたことがないメルロー。田んぼでアートがアートで田んぼになった転換点は、水面下の土に田植え前のパフォーマンストオブジェ群の記憶が点滅した時だったそうです舗道の敷石はいつもと変わらないけれど、アートで政治が生政治でアートに再領土化されるような田園電園の水面下の光景だったのではと推測します

朝昼晩と立って食べた。俺にはもう何にもない。おやすみ。未来と過去ばかりで現在がない近さと遠さばかりで力がない唇と指ばかりでうたがない曙と黄昏ばかりで春がないブルックリンは最終出口ばかりで入口

がない親指から力が出て、心は空になる連れ込み旅館ばかりで東京には親指がない空いた部屋に七つの悪霊

きみの攻撃的な省略と誤字きみの唇きみの耳着きましたけどめまいするので座っています

正しいバニー

羽

暗い青いださいです面倒くさいエピソードはあるよまっすぐに歩けない

点だからねすばやくね

えいごえごいすとはやくなるのはいいよパンクでバックもかそくすればいいだけだ

主語天使

おぎましたお早うございます。罪悪感でおぎした

おはようつるばらの家ガーベナ・アルヘンチーナ

一dec星座は貧困の象徴アップタウンからハーレムに二人組の女の子に拉致されたあなた、なに座で愛して
るでもわたしの父は警察官なのあなたはそのまま永遠に生きます立飲み屋でもやってくれれば通うよウラ
ジオストクのナロードニキのデカブリストの青年男女達の写真を見てその集まりが憧れてした

honey of honest

満潮

ビスケットとか萎びた無花果とかボタンとか電球とか匂い消しゴムとか脱皮した皮とか

という絵本を昨日みたのまど君ていうのかわいいので食べてしまいたいというほどの意味ですきみの輪切
りの無意識が言語で構成されており言語に潮時があるなら無意識にも潮時があるということだ

輪切り

天的な点滴的な天敵 angel in heavy syrup

車で海に來ています最近は大抵朝まで眠れません

too clear are words and your night 髪の毛を抜く時、抵抗なく指の間を通る髪はひらがな、よじっているうちに
だまになって引き抜きたくなるのが漢字男の人には興味ないんだ去年三日断食したら体が浮き上がりそう
だったよ

孵化と脱皮の写真集を見ていた西の空にでっかいハーフムーン三重からは
まだ見えないだろう

outside the hospital people ride automobiles

hello windows

目玉舐めたら移るかな目が洗われるような出来事がきつとあります

xxおはよう

xxのパーツおはよう

涙袋リアリティーが優先されるとこういうことに

空がやけに青いよxx

きみはいつでもwill have been言ったことはみな本当になる 未来完了時制の女肉の肉骨の骨これが人類最初
の詩なんだぼくが誤解すると星が一つ爆発してしまう

お前らの祭りなど絶対に認めない

自爆テロしかない

「Sweet Janeとはなんだったのか」

ロロロロアひと光りの棒がらせん描く視書へ射した水の葉たたきに埋まっている みつけて水仙の群れもまわりつまれた標立てて
この(イヲ)は還ってくる ロロリホーロロリ

一口ロロウたう口になってぼくが踏む口になって散りねむる(イヲ)を連れて径をまたきこしアやわらかい杖は曲がるこすりあわせて
笑うここえて不途ロロ音になり生まれてつたう

「ひとまずほっとしました、ときみが言った。根分けされて馴染みのある川を過ぎたところ、あの建物には気心の知れた輩が住んでい

た。木立の撓る音をつなげた耳でひろっている。台風のと、風にもがれたかみが流れる橋の欄干に三体は立ち尽くし濁流をみた。ああ春が来たようだ、

ひとまずほっとしました。みあわせ、互いに罵声を投げかけた。」

「遅れて来た私は抜殻のことを考えている、スカラベの声も見捨てた。灰は歩いている。枯れかけたところを枕へ横たえると底のあたりから、ほそい蔓の草が延びはじめていた。私も殺すと伝えたい。そうあろうとする一束の火と、歩くあなたの足。ただ軽やかに延べられるまま旋律は抜け、

どんなに同伴したくとも、できないと吐くちから。返信は、言語を用い刻んでいけよ。夏の早朝、生まれた場所を見送った私たちは、てからてを辿り、吹きだまりのある小さな台所で、真紅の熟れた円い珠を水に浮かべている。私の記憶などない。

そのひとも正座したひろい卓袱台のうえで、赤茶けた紙の姿で舞っている。」
ぼくらの母はみえなく落ちた葉の背骨をひとしく悲しみ、沈む光りがうごきだす空径のようだった。延びやかに放たれる影ぼうしを生きものの環が追いかけるから、樹も蕾へ囁き歌がはじまった、

ロンドだ。そう、きみは石灰の線とともにうねり束となる運動を涯てなくつづけ、光りのおもさと釣りあっている。」

のぼるひとはのぼるトリノメモをほらる

のぼるひとはのぼるトリノメモをほらる

のぼるひとはのぼるトリノメモをほらつていた。和音のある純正律の万年筆で一生分の手紙を書き絞るとまたほらるをするこしつるかりてとひとがのぼるほらるなかにいるのだろう

この星はデカプリストの瓦礫一応空気はあるようですけど

どんな膜で仕切ると身体なのか外にはたたかい内にはおそれ

ゆるキャラに四国は詩語足り得るか訊く

ギャグでもなく擬態語も使わずダンスであ

ること 何かの翻訳であるような 意味のダンス

としての めちゃくちゃな文法の 言葉 の練習

おはつるこ

おはつる

きなぺしてみて
になべしてみへ

おはつる

おはつるこ

子会社

人間には二種類しかない。尻の穴に光線を当てた奴と当てなかった奴だ。

ざあ貝たら阿寒 ぞとざむ びとひと

ざんま降り

ほろ阿ねる

ゴア蒟蒻べろ臓物集頭へさいこいさかこいさかめいさい排上る蒟蒻ぎりおとし黒ゴヤおれんじゴアグラインド変形円柱数式なしの変
形数式なしの変
形

ふとまみゆるおきひざあがる放出と欠けて終わりの放入と満ちて芯を傷つけ直方に拭き芯を傷つけ直方に吹き上げり

ふとんまみえるころびたいおん計光かりひ直視で死んだ虫はいなひかりからはらを待つ arrow field へ乾燥機かけいくそがしノ二茶

野中パウロ

た狂シアラ野中さいちなくらい屋野中はがならとんのふ野中わたしのまるるの野中

ただあまのど音を聴いてシアラがするぎるのを待たさつていゆく根土を そらわかる野中さくもは引き伸ばされた野中さあがおうさ
お往して

ヘイヤとばされルカともおって五くらい時にめがためさめただけまだとさばされテナントなくなって猫がオ野中のでうえてねののよ
にやあ電車まもともつての風の海離れ場慣れの子島のこうゆうことつてどうゆうことヘイヤの骨湯がレテる

デカ風邪でヘイヤno honey　じかにかんじんでるうん　ベツカムは肌じんじんくるうん

トンフーな以蔵　トルマルクるとたあなあにいいあたなくさびしびくとなるかにラナイカナイ

残存カフェ

シャンソンの

切っ先

にがどりみ

うすとやま

どりみとり

ねあおなお

ばなはむら

しろなけつ

ちつちつし

そんしゃんそんしゃんうすこひけい　つるどろまと

わぎひい

てんだけどね　ってんだけど　すぐじゅう　てんだけどね

つりしだ つりしだるいみど つりてんぐう さぎしろつ ぶねたち だんごだんご すてんはい ぎしくグレー はいさぎ もグ
レー おくとー けいとー む ありぬべし

かくしかくにあおおちゃだるなあおきいたかわら
かりひかり まうどしろかーて まつぽのと

しどろん ロンドだ どんろんのゆうじあうわスカ
せんバイ ぜらうどひ ぜろどんひるひまるひるのドローン

よこたはるやまねしゃか日が射すあんなてやねわらがもこり をするあしを やれつうな にはかに かきくもり ふらわかり ふら
かわり

ゆうほどじぶりにおゆはなつたよっちゃんとはふけそうだらゆう

闇黒遅れ進むパイ生地ネオン後尾ねとり急ぐ削ぐネット

罪の微光と歩む微香の蒲団の裏表のように夜昼

星巡りの歌みたいだね散らばつても名付けられた過去は残って

ことば曳く星の光の長すぎて短歌を切つて 俳句になつて

彼女わびよのズツ友なんだよ。。。都営荒川線借て三人でやつたり。。。。

いつもガラ携いちつていろいろどろどろ抱えてそおな人。。。。

中身わもつと夜空なのであろう。。。。

普段わ京都に住んでて洋館の写真集もだよた。

先先月の詩手帖に彼女の評論文が載つてて、ヒトの話でわ「泣ける」らしいんだけどマヂか。。。。

詩人の書く評論わ論理を装つて全然論理ぢやないところで書くからいい。谷川雁とか。。。。

着込んで立つて歩く犬はおれは知能指数が七七〇あるんだと言つてもつこりしていたが昔の部屋で習字して

いたら芝生に墨を溢したので雑巾が黒くなる。

その曲はぐるめましい佐伯和子さんが唄うパティおれが折角教えたのにと犬が言う隣家は大家じゃないから雑巾怒鳴らないと

なんとなく富山でも完食しましたを集めてみました

そうかこれらの場所は腐食するのか

箱なしの移動だから

トランスのキーボードわ壊れた

おずおずと生える白い建物

シタール帰れそレントへ

浮き橋

縮小イーン

happy sad

らいてう

無愛想なウェイターのここで書け最後の冬場震え昇る入って来る蠅の使い鷺の使い

ちぎれ雲空のアポストロフィー 殲滅のカタストロフィー 場所なしの移動 四輪の駆動 蛞蝓に乾かぬ歳月 震え登る川上の臨月 隣る空の鏡
舌地球裏で唸る新月刻々と迫る最後の冬場 ありすぎて踏み外す足場 消えた引用 縋る恩情 サマー 変わり秋にくらう 泥塵舐めて見上げる
秋のヘビ

毒入りシロップ エンドロールは被爆のテロップ ロックンロールも自爆のストリップ 拡散する復讐くばあ 大舞台次はない オファー 大分
はいつもノーギヤラの 九四国フェリーも休止 いくつか見た雲の残滓 岬の裏も昔は斬新 秋味買って包丁買って 冬物語買って包丁捨て
て刻々と迫る最後の冬場くばあと飲んで 大久保でクツパ

愛媛語、日本昔話

詩ですよ

みくりの詩もお願いこの家寒い：あなざみみくりくりみつみつくりりりつくクリーミー苦力さむい
クーリーめだまクリクリさいなんたんゆかだんぼううお一むじえつとしずかな母子の古い家だからしろうく
まもさいもあつたかみつくり

携帯のカレンダーを進めれば三〇年後までいできたりぬ

携帯の三〇年後のカレンダーを見るはげにおそろしきかな

「カレンダー永遠に在り十三夜

カレンダーを連れて夜道を行く影

影を連れて夜道を行くカレンダー

カレンダー永遠に在り夜道寒

さむザムザ氏の散歩肉の不渡り蟻は門渡りむざむざと有象無象に虫も風邪ひくのか風邪が虫を轢くのかトラックの語尾が積載量積めるだけスメルジャコフだけ生まれてすみませんオートザムザムの語源は、

体温欺き北の風向きコエンザイムで存在無罪無残やな寒空the moonも残務処理

カレンダー永遠に在り夜寒かな

雨戸しめ子ども抱けば昨日より寒くないかな

子供が増えてきたが

デフォルトの演技のようにそれらの声は成長過程を演じ

見事な戒めの子らは

信頼を武器に

塚を作った

円錐の

文字が読まれて

質問は

考慮された

では今、

妨害電波によるノイズの挟まる蒲のマイクは成長したが

夢想に気取られ

収容所に

送るプロジェクトはどうした

座ったまま空を飛び

金を儲けた

岩の斜面に

イントネーションが逆さ

ちらと見るだけで生暖かい涙が湧く

昼とは

スポットライトの当たった地球が

論点の時間切れを生きていること

昼とは

フェイクの甲羅の絵が描いてあった恐怖

まちかの痘痕に遠くなる

キャンパスに光を当てた

同時に複数進行する光たちに混ぜ合わされた時間

消えたアカウントに果たせなかった約束の白い墓標が立つ

指で摘まって唇を作って

援助物質と手の短い死者のためのモオブ

演歌白にやあかいまちにオレンジ明かるい雨雲の裏で月はきつと白魚きびしいだろう橋を渡る夢も通いか無法松秋の調子に笛を吹け
秋の調子の笛を吹け

可愛哀い

おさみびしやまへいゆく

灰が沈んで相対的に色が浮かぶから水泳する車に耳栓してツイートを消していったじゃないとほら
じゃないとほら溢れかえって肉にありつく水の中のrapueが浮き上がってしまうじゃないとほら

ニヤすみおやミス流浪の旅路ふようおはらい酵母の潔癖

連載マンガから逃げ出して千島列島を北上し

一畝の富裕層をサクセンハウゼンに閉じ込めた

鼓舞し研ぎあう刃物たちの誉め言葉

魅力ないメールの丘に綱目をかけて

やっと動き出すバンドネオンの指

ほだされさぶらうあたごのうらにいないひとよのひとしぐれみだれさきつるなにわのなさけひともしごろにわきいづる

あまいうどんのまつやまのほけんのきかぬやまいだれ伊台のおかのごうていにはうこうせしもむすめごはマークボラン
にくびったけマークボランに首猛夫

あさまでのんだかえりみちしろいスーツもうすよこれむねの鶏頭しゃべりだしくずれ土塀にぶつこんだ池干しの亀のお
礼とていちまんりようかりゆうぐうかおるたなていぶをせまらるる

ひとにはいえぬおいだきのひはごうごうとうねるなりひばちにされたわるものはひとよふたよとゆであがる
よがをならってきこうもやってつぶれたはねのちょうちはひばくにたえておどるなりひばくにたえておどるなり

とうへんぼくたいへんぼくたいさんぼくだいとうりよう

「娘核種」とはげにおそろしきものなり。いみ亡き国の定型はこと葉のセシウム吸い上げてむすめ核種をはきだしてお
どる稲穂はばんぼこりん

ジャック・ブレルが降つてきて物語のように街は遠い

翼のない歌は次々に落ちてきて路面を濡らす

ムスリムの同胞たちよ

報われぬ雨に歌え

魂の汚水槽よ溢れよ

信号で停まると赤が虫の目になって光る

まあいいかとチャイコフスキーはメック夫人の経済的援助のもと第四交響曲を作曲した。それはなんちゃつて哀愁交響曲として知られている。しかし援助は突然打ち切れ、チャイコフスキーの真の人生が始まる。メック夫人はドビュッシーに鞍替えする。ところがドビュッシーはメック夫人の娘と恋に落ちる。メック夫人はチャイコフスキーにそのことをメールする。彼らはメールのみで生涯一度も遭うことはなかった。メック夫人は精神を病み、自分は破産したと思い込んでいたのだった。なんと悲愴なことであらう

もがれぬ柿がぶかぶか浮いてヴェルデイのオテロを聴かされた後はジャズ喫茶しか行くあてがなかったが二〇一四年の街にはジャズ喫茶などもなく帰って家内とオセロをしたらこてんぱんに負けた嗚呼大悲劇蜜柑を積んだおばさんがバイクで前を走ってる百円市の帰りがな信号待ちで追い抜いて追い付かれてまた追い抜いて安さを張り合う幸福に最後は彼女が追い抜いた

新しき星に降りたる飛行士は「こんな地平で歌えるのか」と

きようはカマスを買ったんだへえ新顔だね

え new comers っていうくらいだからねカボスをかましてカーマーストラ

うちつける原子の雨を transform させなにゆえ女郎となつたのか胸に慚愧の涙をひねり出し空見上げ私も空に溶けたいと嘘をつきつき

蜘蛛のように吐き出した糸で真白き雲を織るのです。

長い雨なのに明るい

破綻した文体を求めて生きていることがわかる

熱の性質に従って設計された幸福

わたしたちの移動

一切の考えをとりこにして進む

窯出しも見当違いの色が出て見当違いの言われよう

さつきよりthan than降り明るい暗黒楽しい憎しみ冴えた眠気満腹感いつぱいの飢餓焦る鈍さ調子のいい疲れ静かな騒音冷たい発熱わたしのあなた

いつなにか一致するのでしょうか

照らされた数人の若者はカピリアの夜を歩いている

ヘッドライトに照らされた若者がカピリアの夜を歩いている

ヘッドライトに照らされた数人の若者はカピリアの夜を歩いている

同じ頃ナメクジが床を這っている

彼らにとっては丁度いい季節

ミラノの恋人の許へ這っていく

また濡れたことのない滑稽な雨が降ってきた

雨が雨として濡れる時は来ない

咳はいつも最初の咳だけでも

湯は十分に熱い

だが湯は湯を湯として温められたことがない

暖まらないものを囲い込んで

夜は夜を脱北させてゆく

罌を仕掛けられたのは湯か夜か

その擦り合わせだけが熱を発している

湯に浸かったことのない肩は言う

わたしは災いです

腰湯を信じたわたしがばかでした

繋がっている有機体だなんて誰が言ったのでしょうか

ひとつの部分が痛めば全身が痛むなどと

昔盗んだバトカーで放置されたままになっている部屋に行こうとしている夢が張り裂けそうで心臓が痛い

人に指示されるのは死ぬほど苦痛だなぜみなあんなにえらそうなのだろう 現実までが破裂しそうだ

バケットの賞味期限は数時間 夜を越したらフレンチトーストにするか鳥にやるしかない 売られた直後からバケットは爆弾のように抱えられ 渡る夜の最中に爆発する

素朴な人々は居なくなった バケットの自爆テロを担っていたのはそのような人々である

眼底が海底なら何が分かる 地球の毛細管 水の中でお赤い叫び ぼくの目を覗き込んで 傷ついた魚が温泉と 思っ て じつ としている 辺り

あたたかき海獣 ころころ 砂療法 砂に埋もれた 中身の 如し

贈物は 真つ 赤な 胸の 血の パラ だもの

なんて 明るい 朝の 日和 雨月 桃の 畑を 揺らし 濡れた 路面を 光らせて

存在の不消化が下痢しているのではなく 下痢が不消化を存在させているのだ 愛が下痢なのではなく 不消化の存在こそが愛なのだ アルトーが自分の文章をcacaと言ったのはそのような意味に於てであって 凡百の下痢と

は違ふのでR

アシカの証泣かせる背中折しもお尻も

地球は住所変更したらしい届かなくなった

作業のにせもの

と砂を積んだトラックが喋りかける

鉄杵を組んだ旧橋を渡り

ゴイサギの子供は仕事場へ向かう

働くふり食べるふり給料を貰うふりして一ヶ月

冬支度に膨らむはずの語彙詐欺

猶予期間は生の凍結

それでも生きていと言ひ張るゴイサギの子供

仲間は既に渡って行ったのも知らず

そもそも詩の場所の変更を知らず

色まで見分ける指先で

おさまるわけない台風を

さわる手つきに見とれば

雨蕭蕭と厳かに

我が手の業を濡らしたり

雨のピアノは硬い粒

骨まで濡れる水滴に

弦の擦れる音さえも

湿润たらんと瑞々し

おバカなクラシックとおバカなJ-Popで充分やっていける、とゴイちゃんは言った。ぼくの場所なんてなくていいよ

酒遊館 exhibition "debris of decablists"

風邪薬みたいな遺作だな

マヘル 人魚

ハーネス Sweet Jane じはなんだったのか

鮎ずし

COLOURFUL-ALTO SAXOPHONE IMPROVISATION 橋本孝之

サククスは表裏がつるつる変わる立体が大阪的な泥の上に立っている印象

人それぞれに音色は抗いようもなく決められており、あとは獲得された音色を生きることになる。その変更はインナーチャイルドと折り合いをつけようとするトラウマ治療より難しい。獲得させられたその音色は総合的な現在だからだ。そうした情景を無視した流れが、いわれを問わぬ大阪の泥なのだ。大阪は原理的な質問を問わぬところに結構される色たちの果てだからだ。そこでは芸能的な間合いは悲劇性をもたない。

だからこれは、ゴシックなきルネサンスの限界である。呼吸は徳永英明と同じである。同じ空気を吸うのであれば。それは地続きではないにせよ、繊細さを含めた空間を共有してしまう。言語の翻訳としての言語を使ったダンス、が詩であり音であるならば、サティのように逃げおおせることができるか、が主題となる。場所に依拠してそれはなされようとする。場所のカデンツァとしての形式は西洋の帰結であった。そしてそれさえも、大阪は飲み込む。いや、果たしてそうなのか。そうは聴こえないフレーズもあるにはある。その部分に顔のない個性がある。顔が吹いているのか、楽器としての身体が吹きならされているのか、ということかもしれない。服を着ているのだ。なにもかもが。大阪では。色彩療法としてのボディーパーペインティングのように、隣接する二本の黒い炭素棒は通電されて発熱し、紫外線を抜いた発光をコントロールし、さまざまな色としての場所の患部に照射するのだ。音色とはその炭素棒の種類にほかならないし、音の実とはここではニヒリズムの相貌を捨てた温度効果の謂にほかならない。花の色が紫外線から生殖を保護するためあるように、これは色の変換装置としての大坂のサククスの花なのだろう。それが枯れるところまで進んで行けるだろうか。それとも動物的であるために、音色の顔を変えらるだろうか。将来のなさを共有することで、そうした場所の移動もなされてゆくのであろう。

不機嫌は主題になり得ずにシートに沈んで詩の場所に接触しようとしている

値段の貼られた中古車のようにもう往き馴れた道を生身の手足が光る
左回りのランドアバウトに入る時の共同体の齒触り

道を示されと思って

道を作った者に訊きたいと思ったが

道を歩いている者に道を訊くと

左利きのギターを持った者に自己紹介される

彼は区別されるために指し示されるものを

区別するために指し示す

道を歩く者に連なっている者は

道を歩いている

道を作った者に訊くことを示した者の連なり

王は笏を持っていないなければならない。呼ばれていないのに王に声をかける者は死罪となるが、王が笏を差し
出せばその者は死罪を免れる。そして王はこう言わなければならない。「タローよ、どうしたのか。何があ
なたの望みなのか。たとえ王権の半分でも、それはあなたに与えられるように。」

京都ざつくばらん ライト清掃会 ベケットとネオダダの出会い

組長、お言葉ですが、シノギにはさせていただきます。私はヤクザです。

直訴

手紙の代わりにナイフを渡す

ナイフの代わりに手紙を渡す

ナイフに書かれた手紙を渡す

手紙に書かれたナイフを渡す

体の中に手紙が這入る

ナイフの中の手紙が這入る

打ち上げでろくでなしに行く。

瑠璃滝

noiz hilko naiz

死刑囚Bの六一二悲しさに追い付けずとんだとばっちり

時事に動くは自侍ならずジジと疑義

O君

確信犯的な番号変更の8の中に

絞られた彼の現在の交友が見え

そこに無い彼女の

一時頻繁だったアドレス変更のマナーだけ引き継いだ彼のいまの

寒い京都も見えた

becのない彼の

いまの京都が見えた

La poesia de lectura con la "noche lejana" ni se publicara a finales de este ano. Este es el registro de la ultima.

powerを使わずforceを使い、目的は立てるが計画は立てない。

家で木股展

人が果ての実

すべて見えるものは見えないものに、考えられるものは考えられないものに付着しているのだ、とノヴァー

リスは言う。その通りだ、と僕は思う。

誰よりも黒い帳になって覆い被さっていたい

最後の穴窯だというこの曲がラジオから流れると低音が震えた温泉に行くといって暇したスペリオールで「がなる愛が鳴る」という漫画を見た号泣した

被爆は死んだ被爆が殺されたので金の無い白人陰謀論者スパイ自由人も男奴隷も女奴隷もムラートもアルビノもモスキートもみな共に「死ぬまで生きる」と言いくるめられているそうやって引きずりおろされ矮小化された被爆が組織に復讐しているのだ

「死ぬまで生きる」が哲学なら生物はみな哲学者だ
それが「生きねば」の正体だ

生きられないと思ったからホタルをガン見したのではなかったか？

生きられないと思ったからデモに行ったのではなかったか

絶望のマルティチユードは生きられないという一点で見えない隣人の手を握ったのではなかったか
明るい反原発などないのだ被爆は死んだ。被爆が殺されたので、「生きねば」と言いくるめられているのか。言葉の矮小化の先には絶対が控えている。死の矮小化、無化は矢の時間の必然であるが、矮小化への正当な糾弾はしかし絶対の似姿でしかない被爆という現実に対してのみなのである。

絶対の似姿から絶対への橋渡しが、さうろうとした希望であった。それほど被爆は「絶対」に似ていたのだ。ジャンヌ・ダルクが国家を見誤ったように、きみは官邸前のジャンヌ・ダルクになれなかったね

被爆は言葉として殺され「生きねば」と言いくるめられているいま

目が覚めたら死んだ灰が白い

寒い夜明けを乗り切るためには

赤い炭を埋めておけるだけの灰が必要

愛をいつでも取り出せるような

一晩分の死が必要

愛はエンジェル・トランペットのようにならずに垂れ ている

シネマ島根

荒井淳一とはテキストをテキストスタイルと読み替えたひとつの文体であった。テキストを織るのが歌という衣服であった。そしてカオリナイトを糸と考えるのが陶芸の文体でなければならないだろう。

ダミ声と共に生きつる鷺ひとり夜更けに鳴きつ飛んでゆくかも

二物所与無くダミ声と共に鷺ひとり夜更けに渡りゆくかも

井の底に「明日もお待ちしています」とあった。九〇年頃浩一郎が豊玉北の天下一品の前を通る度に「これは京都のラーメンで全部どろどろで」と紹介するのだったが、その頃はこんなにチェーン化するとは思ってなかった。

僕はずっと目の前のラーメンを食べてきたただだが、ふと浩一郎が食べ損ねたどろどろが明日も浩一郎を待っているような気がした。

凡庸なsweet janeほど恐ろしいものはないルーリードは最後までsweet janeを演奏出来なかった。sweet janeは、曲ではなくフォーマットだからだ。

loadedのボツになったトラックを久しぶりに聴く。正規盤を辛うじて覆っていた膜が破れて凡庸が覗く。曲はこの時点でベルリンに至るまで出揃っている。あれはジョン・ケールとスターリングモリソンのバンドだったと分かる。彼はいつもプロデューサーとギタリストを必要としていた。教訓として言えるのは、自分で普通にコードをカッティングしている限り、あの場所には行けないということだ。

凡庸なsweet janeほど恐ろしいものはないそれだったらsmeigmaのやり方のほうがましだ彼は奇跡を起こすフォーマットを探し続けたのだギターで作ってギターを抜いて完成、そこにリハ抜きギターを被せて破壊、それでやっとスターリングモリソンに近づく、程度。物分かりのいいギターのフレーズが逆にあの場所から遠ざけるから俗悪なソロのほうがまだましという考えだったのだろう立ちはだかる回転する剣の前でクリシエの早弾きを献納するカイン

それがmundane 聞さん、ルーはバロウズじゃないんだから期待しちゃいかんよ、デレクに続いてうつちゃられたねえでもmundaneのもっと先を見れば聞さんのほうが正しかった

ただもっと先を見れば聞さんはやっぱり間違っている。ルーはいつまでも若いままなのだ。

うたかた

ってそういうことだ

あり得たことも含んでこの世は夢だ

原発も反原発も死んだ。言葉として殺されたので私達は単純に死ぬまで生きるだけだ。夏から生きねばと言いくるめられてきてはいるが、それが哲学なら生物は皆哲学者だ。原発はニーチエが殺し、反原発は小泉が殺したのだ。

目の前のガラスを割ることを考えた

音楽の中だったらそうしていただろう

「音楽の中だったら」

大きな滝があった

体温の低い景観が

主題ごとに再び見えるようになっていった

体温の低い大きな滝が

主題ごとに再び見えてきたのだ

目を覚ますと鼠が

米粒を並べていた

音楽の中だった

くるしくくるくるまわってまっているくるまわくるしくしくくるまわ

MUNDANE EXISTENTIAL GIRL's r'n'r 一九八二

DJとはレゲエにおける用法も含め共同体(yellowship)に向けた一種の場のテキストスタイルであり、曲間を繋ぎ織りなす系としてのテキストは文体を夢見て展げられ、ホログラムの存立平面を構成する立体の織物、つまり服になる。それは例えば青い毛皮の制服であったかもしれない、マットなカラス族とレイバンの光沢が入れ子になった諸相であつたかもしれない、袋物として閉じることでアンセムが構成される。それらを身に纏うことで仕事を得意にいたDJが、ある日、幻想のスマートな聴衆に向けてミックスを編むと決意する。批評行為が演奏を凌駕する時音速を超えるように、その時DJの文体はDJというそもそものメタなジャンルのさらに上層、DNAを記憶して復活させる者のレイヤーに身を置く事になる。単なるジャンルであれば死滅に向かうだけでよかったのが、絶滅したものを含めて世界の出し入れをするのだから、メディアじたい(この即興を執拗に行ってきたクリスチャン・マークレー周辺が冒頭に挙げられているのは編集者としてのじぶんの位置に関する一つの宣言であると受け取れる。ノイズ前夜のごたごたからは、一番の嫌われ者を持つて来ることで、MBもかつて居た場所が含まれていた民族問題の毒を指差してみせる。反日タブの悪意とvanityの一九八〇年に自爆したold futureも掬いとられる。ノイエ・ドイツチェ・ヴェーレからは、音の粒子に至るまでクラウトとの断絶を感じさせ、しかもバンドとしての持続性のみcanと共通した運命を辿る「梅毒」というキャプテン・トリップなマキシ・シングルが選ばれる。ポートランド経由でLAFMSから選ばれたチンカスの「いぼだらけの夕方ずっと」については、言っておきたいことがある。このアルバムのタイトルは「nattering naybobs of negativity(否定的思考傾向のちゃらちゃらした成金)」というのだが、naybobはnabobの崩れた言い方、nabobはバングラデシュ語nawabからの転訛で、ムガル帝国時代のインド太守、後に東インド会社の白人に対して侮蔑的に使われるようになった。だからnabobつまりnaybobはインド帰りの欧州の大富豪、転じて一般の成金の意になるのだが、このnattering naybobs of negativity(うざフレーズは、もともとは、ニクソンの副大統領(一九六三-一九七三)を勤め、政敵に対する異常な、多くの場合頭韻の形容語句で相手を攻撃することで知られたスピロウ・アグニュー(もつと厳密に言えば、ホワイトハウス・スピーチ・ライターのウィリアム・サファアニアの原稿による)が造ったもので、アグニューは特にジャーナリストやベトナム反戦活動家達を叩くハチエット(殺し屋)として雇われていた。その批判はいつも韻を踏んだ調子のいい悪口で、小心な心気症ではないかと思われるほどのたわいのないものだったらしい。アグニューは後に彼のレトリックを和らげて、大統領選に立候補する目的で一九七二年の選挙の後にほとんどの頭韻を落としたが、一九七三年に二九・五〇〇の脱税で辞

職した。で、smegmaはそのフレーズを覚えていて、タイトルに使ったということになる。流石の坂口君もここまでは調べてないだろうと思い記す。話が逸れた。

コントーシヨonzではなく薮の(十人)熱帯淡水魚たちが選ばれているのは、それがニューヨークで、スタジオで全員で曲を作るタイプのバンドをやる、ということがどういうことかを体现しているからだ。牧野はここでいわば自分のベースを弾いているのだ。プリストルのな口は「をマッシブ・アタックに繋ぐ。ケイトに繋ぐ綿糸は見えないが、ケイトの旦那に繋ぐ羊毛は見える。同じくでもロンドンからはまず、始まりからポスト・パンクだったレインコート周辺のテスコ爆破犯たちだけが注意深く選ばれている。今では美術評論家のニール・ブラウンが当時殆どすべてのファンジンでsex against rockismなどというテキストを書いていたことなど忘れ去られ、日本では女性一人の多重録音などと紹介されているがvanityじゃあるまいし、たわけもいいところである。もう一つのロンドンの、早すぎたポスト・パンクのトロツキストの触れ込みで、ソシアリストとキャピタリスト以外の単語は出鱈目なフレンチをトラックのエアオット・シャープに似ていなくもないギターに乗せる趣味は、正しくはMystic Knights of the Oingo Boingoである筈の西海岸暗黒ビュペット趣味と後のティム・バートン経由で牧野の映画好きに引っ掛かるエルフマンと、自己アビールと孤心の狭間で芸能の大西洋を泳ぐアンビエント女、パスカル・コムラード、を経て、後のシカゴ派の端整な自殺を彷彿させるFemine Squared故リディア・アトム嬢のこれも語りに再び引き継がれてゆく。最期の致死量ケーテ・クルーゼからは、女の歌ものの誕生の背後の途方もないアヴァンギャルドがのしかかる。もし老人ホームに入れたとして、しかも世界がまだ終わっていないなかったら、牧野にDJしてもらいたい。そしたらばくは

- 一九八二年を着るだろう。
- 01 David Fulton,Elliott Sharp Wayne Horvitz,Robert Preville,David Hofstra/ LIKE CHIGNIK pt 1
 - 02 Boyd Rice Daniel miller/Cleanliness and Order 2.45 LAFMS #12
 - 03 RNA ORGASM/YES EVERY AFRICA MUST BE FREE VANITY 006
 - 04 SYPHI WANT YOU VOD12
 - 05 SMEGMA/thru the warty evening DMC012
 - 06 BUSH TETRAS/DASH AH RIOT FETISH RECORDS40
 - 07 MOUTH/Voyage To The Bottom Of The Sea YAL-1
 - 08 Vincent Units/Martini Y8
 - 09 prag VEC/EXISTENTIAL SP 001

10 OINGO BOINGO/la Petite

Tonkinoise /Forbidden ZONE S.T.O STV 81170

11 JUDY NYLON/jailhouse rock

12 FALL OF SAIGON/so long ATEM 7013

13 ALGEBRA SUICIDE/true romance at the world's fair RRR20

14 Käthe Kruse & Gudrun Ohm/Elegie Im März Doris 011

風車

回転する剣のように風景の奥を塞ぐ

突進するでもなく寛ごうとするでもなくドンキのビルは

臣民が居るから王国が在るのか

王国が在るから臣民が居るのか

野山の入口を塞ぐ風車に

蠅を止まらせるままにして

ピザ窯を作りました

ずっとマスクをしはじめたら

もうフェローシップは足を組み

髪分け目から空気の厳しさの段差を作っている

台湾の落ち着きも限界がある

折れた室温の身なりも

男の人のためではなく

み使いたちのために頭の覆いを着けましょう

いくら測っても体温が三四度台なのでもうすぐ死ぬと思う。お世話になりました。山芋のグラタンおいしゅうございました。冷たくなったわたしのぬけがらあの人は涙を流してくれるでしょうか

応援してる近所のパン屋beansのバケットをもう一度食べたい毎晩炭熾すのかったるいはやく死にたいもう
夜外に出る季節じゃないね一酸化炭素で頭痛い俺に秘密があるんだから国にも墓場まで持っていく秘密があ
るだろうよそりゃ国の葬式の時が楽しみだな沖縄の国王は骨を洗うのに日本の国王はなんで火葬に変えるの
か離島とかもまだ土葬だよ基本土葬でしょ復活させやすいイメージあるし一酸化炭素苦しい炭多かつたか
な最後はてらっと地面が光るんだってね憚りに行く途中のションベンまみれの苔むした庭にナメクジが這っ
たみたいな死後死んでも、風にはならんよ染み込んだコンビニの防腐剤が切れて腐臭が飛ぶってのはあるけ
ど焼くならダイヤを焼きたいものだダイヤ火鉢かっこいい

吾妻さんてギブソンの三三五を。にぶちこむだけで指であんな音を出してるんだって知ってた。

空想の虐殺の意志力は

筋肉に似て

液体の肢体は

半径二〇km以内に

ロックフェラーを押し込める

裸で犬猫のなかに

セメントのカルメル山頂で

路面が光る

ラザロの家族のために泣く

人間の抗生物質が効くということ、内蔵が同じ並びをしていることから何が分かりますか

ホラホラこれがわたしの秘密ですと議事堂の石に内蔵をさらけ出すと内臓大臣が出てきて

コラコラ秘密はホルモンやない五臓六腑に沁みわたるわ立法腑リップオフてお前の府は今おのれの腹の中

やないかい

看護婦、国会行くぞコラ国会で透析するぞ

点滴の旗立てるぞ医師投げるぞコラ

はいはい、おつむ替えましょうね

今週のABOUTはジムオルーク高校だのミヒヤエルエンデだの出てるんだけど

grappa_voina (группа война)をフォローするとアカウント凍結されるからやってごらんさい

いまは辺境最深部からではなく、凍結されたアカウントから始まるだろう。国や阿倍を抱き締めよ。そして拒絶された女のように泣き喚け。

@_YukioHakagawa 抗議したら戻りました。これで二回目。この前は、「お前らの祭りなど絶対に認めない自爆テロしかない」とツイートしたら凍結されました。墓川雪夫さんを鳥に例えると「ロシアカツバメ」です

ヒヨドリが玄関で死んでたので埋めた

日本脱出出来ず 皇帝ダリアも皇帝ダリア飼育係りも

「自分を信じ仲間を信じ」ラッパ一みたいなこと言ってんじゃねー自分の不可能性と仲間の幻想性を信じよ銅像とは知多だか渥美だかで知り合った

死も経た板金の輝きは

カラーと灰が交互に入れ替わり

知らない名も多く呼ばれた

画面には抜けがあった

声は震えた

震えるだけの声の政治を

実演してみせよう

脈絡のなさが導入され物語は

公堂書簡のように進む

貞潔さの告発はまずカレーに溶け

容易く伝わる眩きは

試練を喜ぶ声に溶けない

告白は灰の銅像に
溶けない味を塗る
弟にそう言われた
草も肉となり
高低のない声に
×脚のツバメが飛ぶ
言葉の山を砂で覆い消し
そこに話語で書く
膝を揃えた葉肉の
金属音の選択
砂丘の意思の伝達
居てはいけない
光の出歯
その本は

リサは言う
夏に屋久島に行くから川で魚を採って暮らそう絶対楽しいから彼女はそれを誰にでも言うリサは言うリサは
言うリサは言う
リサは言う
三津 小池鉄工所前ずっと三津にいた
またことりにいく
アレックス・チルトンの場所をクリアに把握すると少し楽になるように錯覚するのは下に引き伸ばされてそ
こが埋まるからだ

大きな葛がフェンスを過つて

石破茂は父から「年寄り子で恥ずかしい」と言われた。彼にとつての天の父は憐れみ深いものではなかっただろうと推測される。

イラク派兵は反イスラム、靖国非参拝は日本基督教団の七〇年代初期の雰囲気の反映であろう。娘の東電入社と核抑止力としての原発維持はプロテスタンティズムの現世主義的な流され方として想定し得た流され方である。

麻生の国連主義批判はバチカンとして当然の遠吠えであつた。

俺と同じくらいの齢の奴らがでかい顔をして世界に喰われていくのを俺はやさしく眺めている。

型枠が面倒なので、型を取るために砂山にセメントを貼り付ける方法と地面に穴を開けて流し込む方法を考えた。

今日のセメントは穴に流し込まれる。

法案は何処に固まるのであろうか、と思ひながら作業している。

今日四時には日本が折れる音を聞く

秋田と鳥取あたりを握つて東京湾あたりを支点に膝を乗せ

腰の曲がつた本州の背骨を逆向きに

ボキッ

と折った音

昨日、「奴を殺せ。それが政治の本質だ。」という埴谷さんの言葉を、太田昌国さんが国会前でツイートしてた。堪らず沸き起こった、という感じで。

確かに金星と三日月が近くに見える

頭が透明なデメニギスの目のように見えるのは臭覚であつて実際の目は操縦席の下の緑色の円盤である

高遠さんのツイキャス見てるけど突入の様子は分からない

諸君はリヴァイアサンを見たのだ。阿倍の顔をした鯨のようなものを。「譲渡」したものが膨らんだ怪物を。

シェイプシフターを気にして著名人の眼の縦線ばかり追っているようであってはならない。行蔵は我に存す。あと、映画評は基本的に辛口の楊言であってはならない。詩は、読むより読んでもらったほうがいい。今日はあとはとくにない。おやすみ世界。

うるうる

速報DHMOの人が飲んでいるのは苦い部分である。甘柿は日本では渋柿の変種であり、甘さとは渋さの一部分である。ひとのあつまりとは酴(サワ)さなくては渋くて食べられないものだ。金の林檎と一緒に密閉しておけば、言葉は銀のフレームを纏うだろう。被爆した柿たち、林檎たちであっても。

持ち越して

しまった持ち越し

てしまった

捨てりやあいいか

捨てりやあいいよ

きみの燃えかすは空に落ちて今日は河原に犬の死骸がないね

夜の白い雲の写真が撮れたら僕は何も言うことがないな

突然の雨に雷か今夜は満月どころのさわぎじゃないね

最初から後日談であるような最後から二番目の日々を棲む

コナツツ殻は痛点を探して寝返りをうつ眠れやしないさ
なみなみとヒッグス粒子を湛えおり反コナツツ殻の宇宙は
痛みとは重さのことかコナツツ(殻に逃げたいマイマイカブリの)Webのつめたさ

今日からは全ての罪の背後には共謀している私が居ます

こちらはあめで見えないけどすばるは天辺あたりにいるのでしよう

同行は果て迄続くナビの声

甘さとは渋さの領野の一部分

墓川雪夫は山川蟬夫です

おやすみの余波のおはよう夜半の余話

ばと言葉とこ男とおんなばとこ

ミルフィーユカサヴェテス寒ウンディーネ

ウンディーネ仏オンディーヌ彼は波

ピラ不幸粒ちらつく冷凍原

おピラフなりプでチンす寝落ちtiter

差別した！ブラフ熱してピラフ冷え

うち30周年

マラウイ

煉瓦の眼鏡橋を一台の自転車で渡る夫婦

訪問先の木立や山影は日本のようだマラウイ

煉瓦のアーチは型枠で作らせたのだろうか

白人が

夥しい煉瓦が使われている

自転車の後ろには妻が乗っている汚

どうやって青いペシャツを手に入れたのだろう

ネクタイは流行に従って短い黒人

土の村で叫びが上がり汚れ

木立や山影はカレンダーに記入される

積み込みを仕切る人はうす赤い半袖を着ているくすんだ謙遜

奴隸とは言われなくなつて王となる

コクを覗いている将来の女王の

椎茸の影が落ちている時間

まだ古い法律について話している

水に血が混じり顔を歪めるなよ

原動力となる空席消極の色の冠

陸の孤島は本会議場

凄みのある毛糸帽と動物

植え込みの葉の放物線

髪が薄く貼り付いたら不幸

胴から首が突き出ている

玉蜀黍の髪を付けて雛壇に二体並ぶ

クリスマスイエス誕生日お祝い
ねえ、お二階行つていい。

フィリピンに寄付をするための金
フード垂れ縦縞と横縞の重なれり

障害者減ばそうとした政府かな

かわいいな一扉を開けてあげましょう

楽譜を棄てられて冬

コピー機にノイズが混じる蛍光灯過去も自分を予習して来る

税金が上がって暮らしは大変に

自分が考えることを一般の方も考えているだろうと

天候は不順ですが醒めた野菜でも頑張っている

平和になることは夢に過ぎないと今年もいろいろ

十大ニュースの缶を開け空を凝らす

耳が生えた人たちが唱う

暗黙の了解のように就寝の挨拶は交わされなかった

今からはどなたの罪の背後にも共謀者として私が居ます

悪行の報いとしての苦悩に何の栄光があるのか

明星に頭を押鋦される夜きみは悪夢は観ないのですか

タブレット欲しいなんてぶたれつと

師走野や人は多くは住まざりき

◎師走野に人は多くは住まざりき

師走野に人や多くを住まざりき

自我罰破壊し墓石にジガバチ

自分で自分のフォローを外す

シベリアン凍れて今朝はシベリアン

失くした場所で 怯えながら弾く

起きた瞬間に明かりを消して寝る

本当に起きた 外は明るいが 反山頭火的な脳内

悩みの母音を聴いている

死ぬ他に展望はなし戸を渡る

立ち尽くしたまま歩き回る

あさのひかりだけで繋がっている

。永遠に明けぬままこの暗い雨

永遠に明けぬこのまま暗い雨

短日や赤い隙間に赤い事故

正確に切り取る稜線雪の愛

途中下車前途無効を鳩ぽっぽ

赤色はペンキのように冬に落ち

生々しい青空に梢薄し

サティ

○居酒屋のメニューに探している空

居酒屋のメニューで探している空

途中下車前途無効と鳩ぽっぽ

星空を取り込んだ布団ひゃっこい

終わると楽だと思ふ気がもうすぐ

俳句甲子園に出るといふので朱鱗洞を貸したらそのままに

目は生より大事と言わんばかりに

発見の遅れた今朝が来ている

赤い月は携帯に写らない？ではそれだけを見てればいいのに

正確に切り取る稜線雪の愛

と吟じて雨の裾野を視る

繋がらないネカフェみたいに遠い夜結局好きに歌えということ

マン喫でカフェモカとか松山の甘いうどんに馴れちまった俺

赤色はペンキのように冬に落ち

家々の汚れに それに 慣れぬ寒さに

この赤さは枯れ葉剤だ

山頭火どころの騒ぎじゃねーよこの土手

本日の珈琲ブレンドされた今日ってこんな感じだったのか

五番線踵を返して東京にきっぱり顔を向ける仕草の

幸福の大きさは期待できないけど角度だけは期待できる

時計を見ると必ず四時四四分を指しているのは何故

冬の夜の根本に花は閉じぬまま昔話のように黄色い

お前らの買いた音の総額しか聞こえないdimix

理想像のみだれからきたか過度の罪の意識が自分の主人

全て言います全て言います全てのすべり台が消えたとしても

雲の夜を急いで居場所がない

雲の夜を急ぐ

雲の夜に居場所がない

暴動のノイズを吹き入れて道後湯玉音頭に切れを与える

雲の夜に道後に切れを置く乎

雲の夜に道後を切る

雲の夜の道後に切れ

寒い 盗み喰いをする

一通り盗み喰いする寒さかな

少彦名(スクナヒコナ)は真暫寝哉(ましかね)まししいねたるかも)

天下一品寄って並食って出る

信号はみな赤deserve月々し

雲混じりは下手なバンドの如し

信号はみな赤deserve月々し下手なバンドに雲が混じる

雲混じりやめて雨メタ諦め

雲混じり未曾有の雨に橋渡し明日あたし滴るシタール

く野分かな脱走自由の収容所

く枯野かな脱走自由の収容所

ここはどこ脱走自由の収容所

出汁取るや脱走自由の収容所

肉煮込む脱走自由の収容所

肋取り脱走自由の収容所

切り分ける脱走自由の収容所

ナイフ入れ脱走自由の収容所

脱走自由の収容所で尚もローストチキン切り分けるおれ

脱走自由の収容所まだ棲み付いている弓なりの列島

被爆して脱走自由の収容所

「被爆なし」脱走自由の収容所

ロストチキンも渡りをするか別の脱走自由の収容所へ

国内産酷な拡散コックさん脱走自由の収容所

死刑囚脱走自由の収容所

風立ちて脱走自由の収容所

路上の雲の如く雪はひた走りて聴て色を失ひたり

雪のため渋滞を行く軽トラに蜜柑のシトラが積まれていたり

石鎚は影だに見えず新居浜の晴れ間に白は押し入りつあり

雪の名は替り変りて今強き日さへ差しても舞を収めず

「国産」が意味をなさない店のく一杯ごとに豆を挽くく自販機

ナビは到着時刻を予言するが蓋然性を数値とするな

白ビールの密度で空はとりなみの雪の密度を増しつ濁れる

草枯れて燃え易さうな斜面 かな

雪雲のあたたかきところで家絶えり

太陽らしきものの仄見ゆゆきぐもり

夕暮れて水気は多しぼたん雪

祭日に取り込まれると北ホテル

放り投げ(スプレーした)歌を潜(くぐ)る

祭日に取り込まれると北ホテルで徳永英明が放り出し(スプレーした)歌を潜(くぐ)ることになる

頭内裂け雪崩れて今朝は夕陽かな

日浅くして朝日ならまだここに

頭蓋ならまだここにあり百周年

蒲団から身をのばして見る御来光

「今年は最後の年だと思ひます。」

「今年は最後の年だと思ひます。」とメールありぬ二〇一四

初夢は手足の折れた蟹がびよんぴよん

初夢は破滅湯に爪生ゆメメメ

かにかくに擬音はこひしはめつ湯の蛙のしたを蟹のながるる

親戚がナブッコを歌ったビデオが流れている誰も見てない

手の影は階段に焼き付き

作業じたいは永遠に続く

メンテナンスの必要な消費材はない

宇宙はワックスの濁りのように拡がっている

本棚の裏から覗く視点で

引き出された本の隙間から知が人の顔を見、

写真を千切って並べている

コンピューターも置かれている

二〇一四を閲覧せよ

紫芋の形をしたマウスで

削除される名前の横に

水晶の川が流れている

映画では攻撃してくる

泣けない喜び

腰が痛いので踊っている

平和よりも貞潔さが大事と

死んだ者たちにも伝えた

「aとo」と「最初と最後」とは違う

「私は弾(はじ)く」という者に弾かれる

既に署名した

カニ歩きの男よ

団地を跨いで聳える女

背靠れという仮設

赤いアリの軍隊

気絶という逸脱

知識で全能感の首を取る

そんなことをしてる場合じゃないだろ工藤

花を惜し

なんてる場合ちゃ

ないだらう

混乱した理想像に依存され罪悪感が主人となった

理想像の混乱によつて過度の罪惡感が自分の主人となつた
さそりに似た權威が与えられた

三分の一が殺されても悔い改めず

前の体のままでギリシャ語のおもてなしとか言つてゐる

いなくなったあいつ

今頃は東京かな

心得ていなければならない

●●のまま

使い途のない額を考え

かもしれないと考へてくれる

だけでいい

腰痛を治す手捌き

黒染は恋の裏返し宇宙

私には自分のニーズを言い表し、自分の選んだ生活上の役割とは別に、一人の人間として、自分で物事の優先順位を決める権利があります。私には、聡明で能力のある人間として尊敬され、対等に扱われる権利があります。私には、自分の感情を言葉で表現する権利があります。私には、自分の意見と価値観を述べる権利があります。私には、イエスやノーを自分で決める権利があります。

四日かあ カラスの半分は女

四日スカ カラスの半分は女

四日です カラスの半分は女

四日過ぐ カラスの半分は女

四日(季語)カラスの半分は女

舌を嚙んで目を覚ますは ねが ずれて

柿浮かぶ冬陽の比重定まりぬ

柿浮かぶ西日の比重定まりぬ

柿浮かぶ西日の比重定め居り

柿浮かぶ西日の比重定め得ず

柿浮かぶ西日の比重を定めよ

柿浮かぶ西日の比重に誤差あり

柿浮かぶ西日に比重なんてない

柿浮かぶ西日を吸って吐いている

柿浮かぶ重い西日を吸って吐く

柿浮かぶ西日を吸って吐けぬ

動揺に日はまた落ちる Ma Mere IOye

その美は過渡期としての2013に於てはまだ儚かった

舌を嚙んで目を覚ますほねがずれて

小さく

なった

顔が

晩年

なア年に一回ぐらい俺とお前と休みが土日かぶるやんか、
書き初めに失敗したらどこかで星がひとつ爆発して消えた
碧梧桐字は上手いのになに考えとんねん

なさけが尽きるまでは生きると

嘘ついて二度食べることになり太るかな

人格者にさせられてしまう主役

玄関を開けるとすぐに子供が炬燵で勉強している部屋だ
なにも考えないで運転しているからいつかかならず事故する

「児童虐待防止啓発オレンジリボン活動」を描いたバス
お湯が溢れるので減してから入る

心と知が閉じ込められている愚痴

バッテリー毀れたきみの完璧だけどマネキンのような返信
枯れ蔓の影の写りしカーテンの筆の運びを密かに妬む

荊棘を「おどろ」と読ませてミカ書あり

く一ねるまるた読み酒でカップ麺「十六夜吟社」と眩く明るさ

夕焼けは見えない海の形して海指す方に横たはりをり

二〇一

四のため二〇

一三を

早く終わらせ

ようとしている

去年の終わらせ方を探して二〇一四をまだ始められない

本当の終わらせ方を探して二〇一四を始められない

終わらない去年に今年が始まらず

ガラケーは終わりの季語か使いは天の四方の風を押さえて

終はりには用ゐられたる象徴のアニソンに似てシニフェ嘔吐す

終りに肉薄しつつあるのに乖離してゆく耐えられない軽さ

蛇にまだ足のある頃我が兄は裸で草に仰臥して居り

兄は言う

メタを

壇に

向けるな

弟

妹コントロール弟うとうと

定型 やめて 行くぜ アモルファ

詩型 作って 何が 悪い

「美は 私が 決めます」と 利休も映画で言っていたぜ

メタをやめた蛇は居なくて

きみの燃えかすは天に落ちて

上の句も

下の句も

なくてもいける

中野区

形式など出来てからきめりやあいい

葉もなくて切れとか言うな切れ字虫

廃墟にて

線にもあらず

ひかりたるかな

発見のせせこましい眼俳句かな

発見のせせこましい眼俳句かな 命を削って消してく文字数

美は私が決めますと利休が言う

終わらせようとする事だけに馴れて

冬晴れや腹に溜まった不味い飯

問十二、夜空の青を微分せよ。街の明りは無視してもよい

(川北天華)

という作者の気持ちを述べよ

文系に欠けているのはロマンです

理系に欠けているのは知識の芯

俳人はもうすぐ死にます被爆して根岸の里に侘び住まへども

モーター自体は減多に壊れないと言われ工具を眺めている

二〇一四に終わるのではない一四が削られていくだけだ

終わりが来ないのではない終わりを自分で引き延ばしているだけだ

今日も終わらせようとして日暮れる

生きてまだ明日の猶予にのみ暮れる

初春は二〇一三年が二〇一四年を食い尽くし往く

さくねんに食ひ尽くされて今年(ごご)の春

終わりより数えし春の定まらず

終わりの季語は季語の終わるかそれは春の終わるか秋の終わるか

季語終わる時を見立てて庭見かな

定型は終わりの貝殻音の海

いつから耐え忍び始めるのかおれ

精神の形もとめてソナタありどちら様もご苦労様です

尿道に結石ありと聞きしかば成猫用の餌を与へたり

被爆から

逃げなかったか

ら死ぬのか

逃げられなかった

たから死ぬのか

さみしさは

けつねうどんを食べると治るよ

被爆した人がホームで途中下車前途無効を吐いているいま

孤独とは自分の中を狐のように駆け回る良心のこと

瓜二つのけものが居りぬ狐狐と鳴く

「寒くて起きられぬ」てふ句はなかつた

完全に写メの代わりだなこれは

写メのごと徹底吟前ガン見即

轢かれた赤のテインクトウーラか

おばさんが二人立っている 無時間

赤黄男食へばポツケに小銭チャラチャラ法隆寺

おみかぎりガン蟲文庫御無沙汰ね

コリコリし

てて人によっ

て違う・・・

何のトラウマが

あるっていうの

字を打って

送ったらほん

とにのって

いるすごいなあ

インターネット

生徒等のまだ来ておらぬ教室で「美手帳」の字我には小さし

卒制は価格設定忘れがち松山デザイン専門学校

事故で終わらせる終わりまでの猶予期間 先の大戦のように

保険の効かない事故のように終わる

猶予期間断ち切る事故の清しさは開戦のようであってはならぬ

ようやく死ねると思う事故の清しさ

一瞬の清しさ敗戦処理のストレス

早く死にたいのにこの渋滞

「入力できない文字が含まれています」顔文字をコピーできない
ばくのガラ携ではきみの顔文字をコピーしようとしてもできない

生活は世界に勝つか以下仮説下位活性化厳つい快活

ジャンジャン横丁のモクレンで珈琲屋おいしいらしい行きますか

高知の鍋ラーメンを出していた小さき屋台の消え失せており

石鎚はなほ遠きにありてアンナプルナの如く輝きゐたり

横断歩道で待ちゐるしをんな我を見てゐたり睨むがごとくに

保険屋と丁丁発止帰宅後に「胞子文学」届きてゐたり

今の斜め下に切り込んで引き戻された場所の低く煌めく

今の斜め下に切り込まれ引き戻された場所の低く煌めく

初めて目を開けた時見た灰色空は今の空ではなかった

身体表現性障害でふ病名あり冬蚊帳を吊りたり

すれ違つ

たよブリザック

履かせてス

一パーチャージャー

の穴開けてた

カタツムリ絶滅しかかっているか

カタツムリ誰がリムったか

カタツムリ絶滅間近語り継ぐ誰がリムったナメクジは居る

グレーのむづかしさの中で蛹は言葉を溶かし

ほんとうの白は光のない黒に近く

メタモルフォーゼする蛹はその領域いつぱいを行き来する

ドラッグさせる色相の旅

非とされた喫煙

目を閉じて手を挙げ

破滅したことは何度もあった

あいつはベテロのような人だったかもしれない

細胞文学選はありやなしや

空と海

名付けた時の発音は何

歌にしか聞こえないのにラップかな

口の中嚙んで玉みたいなのやだ

がつついてるとおもわれるから

総ゆる地層で歌え粘土ら

口中の玉が割れたよ血を吐いた

壊れかけのPhoneのような暮らし続けているから壊れてしまう

壊れかけのPhoneのような命

あたゝかき便座に坐る山頭火

あたゝかき便座に坐れ山頭火

あたゝかき便座に坐れ御中虫

ドトールでかつじのみほす戦かな

信号むしす松山のラーメン甘き

名前で呼ばれたけりや群れるなカラス

吹き寄せが表現される二重季語

私の吹き寄せられて二重季語

猫にだけ暖房電気敷毛布

冬薔薇季語に打たれて叫びをり

日高屋や日高山脈やヒグマや

私は今日から明日にかけて雨です

よぎしやのおとがきけるきよりにすんてる

つぶやきがたまにきこえるくらいのガラ携

ジUNK堂出でてみる月夕白しやさしくすれば女はよろこぶ

ワゴン車のサイドは踏まずワンセグの音声のみが聞こえてるたる

無法者も普通に道路を走らざるを得ずと思へば可笑しき

今晚はお鍋ですとメールあり米なしでどうするんやしばらく

全地層で土等は歌へ収縮率の違いのまゝに焼かれて

冬薔薇白に打たれて叫びをり季語は季節か挑戦状か

勝手に季語にされて苦しむ被造物の叫びを主題とします

これ、貰ったやつ。焼き物屋同士って友情が芽生えるんだよね

蜜柑への平仮名の礼を言はれたり甘くてすっごくおいしいよ

きみたちは出汁の魚粉で被爆する一応定型で言っておく

とうとう凍死うとうとうと

櫓にヒグマのマグがひっそり

外食する伊吹山が屋久島のように海に浮かんでいる夢

倫理リンリン自転車通す

襪襦ランランデモ隊通す

論理ロンリー自転車パンク

ルンバルンルンバルーン破裂

代車に坐る時のような ある種

代車は黒でswiってんだけど

全地層活性化して閑揺れる

金の重たさに盆地が沈みをる

金の重たさに沈む盆地を死の重たさに変へ詠んでやつてる

死に面せざれば歌詠んでやんない

死に面さずんば歌を詠む能はず

季語の死に面せざれば吟じ難し

夕方に季語季語言うをとかな

季語季語言うて語気ぶり嫌ふ

「新しき歌よ生まれよ」「大根播つて」

風呂場からいままさ聞こゆる「追い焚きを始めます」てふ声のかなしも

シーバは脂っこいからね高齢猫用サイエンスダイエット

菜

箸

や

おお

れれ

のの

つつ

くく

つつ

たた

うう

た

が

あ
あ

る
る

バシリカの低さに似たるくじらかな

窓なくばチェンバーもなしへちま水

わたしはあなたを季語と定めず

冬薔薇(ふゆさうび)季語に打たれて叫びをり

△片男波▽の△フリマ▽では△冬のせいか▽△土地のせいか▽△拾ってきた物▽や△破れた本▽を△暗い顔つき▽で△高く売っている店
ばかり▽でした

片男波音波(かたをなみおとなみ)の冬フリマかな

片男波音波の愛フリマかな

片男波狂暴な愛フリマかな

片男波凶暴な愛 フリマ ワシ

フリマにて音波を買ふ片男波

片男波音波(おんぱ)共謀フリマかな

片男波やさしさうな店で買ふ

片男波拾った物を売るフリマ

片男波破れた本を売るフリマ

片男波暗い顔して売るフリマ

片男波冬のせいか土地のせいか

片男波相撲取りつゝ夜が明ける

朝日にマグの取っ手のぐんにやり

朝日にマグの取っ手ぐんにやり

冬の陽さ

しがあるがたい

としかとりあえ

ず言うことがない

旅行鞆選んでレジまですてに引き摺る

棘(おどろ)

一線は赤で引かれ

襟巻は解かれず

閉められた部屋の無価値の実

を幼児言葉

一例として性的墮落・人種の優越性

メタリックオレンジの事故の責任を持たない

都会、例えば東京でもいいんですけど

ああ差別された差別された

寝ることは老化を遅くしたりはしない

イントネーションのぶれだけに限定された戦い

早起きしすぎてまだ夜一時

入口の黄色はスナックのように光って

餅は膨らみ

韻を無視し弓を引き絞る

伸び始めの坊主頭の猶予の立呑み

汚れない黄が強まる彩度

皆まだコートを脱がない

龍は優勢になれず地上では

投げ落とされた渴望が

織り混ぜられているだけだ

マイカとアイザイヤがダブって

首を反らせるだけの整体

肺病で透ける油彩の肌色に傷

緑をぼかした暗い牧羊

洗剤の空の青

ねずみ講的なピンクと朱のダルな混合

朗読が終わるまでに開けられなければ死

鉄砲持ってるのに嘘言うな

めっちゃにつちゃにちゃしたクイーン

破壊的な風を放つ統合失調週末崩壊体験

Deafマスメディア

同帝国の死期

バビロンと言う時のパンクのドヤ顔の

石灰質の孔がゆるふわ

互いに近づく兵士たち

龍を見て結束しているのか

天の音楽は多くの水の音、大きな雷鳴のようなもの

自分で弾くたて琴に合わせてうたう歌い手たちのような声

天の音楽修正せよ多くの水多くの雷の音に

死ぬ時期

を決められずば

らばらなの

であなたはわたしを季語と定めず

1 気がつくで一速になってゑswift

2 お前も誰かの代車のくせに

3 ハンドルにへんな遊びが付いている

4 お前の遊びが詩だというのか

5 道曇る代車なので勝手が分からぬ

6 車にフェルトセンスはありや

7 池があるちよつととまってやすもう

8 ゴルフボールが沢山浮いてる

9 学校の昼の休憩終わりらし

10 鴨の軌跡がつつと二筋

俳句は目に見える物事に重きを置きすぎているからだめです

月の出を見るドイツ・ロマン派

何にでもなれるという者になるかならぬか月は答えず

月の代わりに声は答えて薄いマッチ箱の中の声は答えて

万年青や笹の葉、質の美はぼうっと緑で

光の代わりの回転もない光の代わりの

地層とは菓子のように

幾重にも重ね焼きした悦びの月光に照らされた

月光に印画された簡単な岡の

狐や狸や鼬やハクビシンや猪らは月光を浴び

月光を浴び陸月の冷たい月光を浴び

絶食の蜥蜴は仮死の眠りに冷え老婆の声は坂の小径を駆け上る

駅員のような青年の吃りの祈りが(五人の内一人だけ残った)

今吃りて祈れない青年が(背骨はずれていない)

松脂や漆は甘そうに溶けてはみ出し

すぐ替えられたカマキリの首の青年の妻の

同じく和三盆を溶かした声は

ディスコ・クイーンを沈んだ森の広場に佇ませる

称号の幾つかを反芻せよ

何にでもなる何にでもなる

その称号の幾つか

羊の汚れた尾の

海老天のような羊の

汚れた尾の

がしつとした練り物のような重さの

資格を考慮される地の陰の

林の奥の道の向こうからの広がり

過去に向いても、将来に向いても、とこしえである(今ではない)

今ではない永遠。とこしえの独特の型

絶対追求しても分らない分野が

アニメのロボットのような型をしてマッチ箱に入っている。

ところがそれを見たら死んでしまうだろう

死顔は光っているだろう。それがはるかに現実だ。

朽ちるのは干し柿ではなく枝に繋がったままの熟した実だ。

あらゆる皺の背後に隠されていない見える仕棲。

どう見えるかではない、誰が見ているかだ。

風とか電波、思考などあまりにはつきり見えるものについて。あまりにはつきり見える、

見えないもの

ネフィリムはスーパースターで、子供らの役割モデルだった。器量の良い女たちを自分の好むところにしたがつて選んでいた。「捨丸にいちゃん」の髪型が月の仏陀と同じパンチなのはそのためだ。

竹取は最古の物語だ。最古の記憶なら洪水前のネフィリムのために求愛行動が容れられなくなった人間の男の恨みだ。公達や帝はおれたちなのだ。

おれは最初「絶対的な美が投入された時の人間界の悲喜こもごも」として観た。だがなんのことはない、「絶対的な美としての地上の女が天に奪われた時の人間の男の悲喜こもごも」だったのだ。

だからさ、「かぐや姫の物語」じゃなくて「モテない男のブルース」にすりゃあよかったんだよ

単純な歴史ヤンキーみたいな神々

月から下って来るフェイクエスニック楽団で、族(ゾク)でしょあれって

レイヴンが礼にくれたる光り物

はらわたの

愉しみ較べ

てゐるいま

携帯を口に入れたるをとこかな

下手な絵のやうに背中が痛い

電気毛

布なしだと

六時間

で目が覚めるん

だなとわかった

冬の陽ざ

しありがたい

としかとりあえ

ず言うことがない

完成しない理由は述べぬ子ら 松山デザイン専門学校

いいねって、俳句分かるの David なんならきみも作ってみたら

自由律は朱鱗洞のような身を削る作句人格陶冶に行き着かざるを得ない。それが自由の代償だ。しかし今の自由律は地層を設定するだけで済ませようとする。他の地層を捨象するのだ。それが表現としては狭くなる理由だと思う。

山頭火の四三三四は定型よりも厳しい詩形にかれを追いつむ。山頭火における「不自由さの設定」は女流と五十歩百歩である。

パーカーの後に詩形は続く。詩形は当て嵌めるものではなく、作るものである。メソッドは教わるものではなく、発見されるものであるべきだ。

何がそれを詩たらしめているかを決めるのは自分自身である。利休も「美は私が決めます」と言っていたではないか。全地層に歌わせなければならない。苦しくても、さらけ出せ。

隠すべき地層はフリーズブリーズ

さらけ出すまでもっていけない

さらけだされている凍ってしかも

外食にはサランラップ持っていく

伊予甘送る頃はいつも金無い

それより大事の美なきが如く救急車通してやってる車ら

林檎の礼を蜜柑で返せり

月見えずおれはまだ生まれてもない

パーカーがギターを弾き水仙咲く

明日香川から米が届くと聞いて十日ぶりだと喜んでいる

終に灯油を買うかまだ悩んでる

おれは仕事をしなかった血豆吐く

尾崎一雄の短編で「昼の憩い」が永遠に続くみたいだ

ラストシーンが大幅に書き換えられたりすることで気付くのは、私たちの倫理的な脆弱さである。

アニメは膨大な共同作業のくせに倫理的な選択は監督の刹那の直感と気分に委ねられているように思われる。

その点で最も映画らしいのが、「カメラは女を終え」という即興的なリアルだということになる。

ただそれは無数の選択肢の前に立ち竦む私たちの倫理的な脆弱を棚上げにして進むリアルである。

それに対して娯楽大作の巧妙に練られたプロットには感心することが屢々あるが、脚本に変更の余地のないように思われれば思われるほど、全体が終末に対するずれたプロパガンダとして結構され狙いすまされていることが明らかになる。

映画を技術的な部分だけで評価するためには、初期クーデルカのような「絶対的な写真」があるということ
を前提としなければならないだろう。そこにプロットの倫理的な拘束はない。

監督たちは、「絶対的な写真」があるということを諸問題からの言い逃れにしてきた。

そんなこんなで柔らかな魂は映画に丸め込まれてゆく。

大抵の映画にはそれが映画だという理由だけで泣く。

レコード屋の店員がビニール盤なら何でも快感であるように。

それに対して「玄人」の、技術を主題にするだけの「辛口の映画評」は抑制力とはならない。

誠実な映画評とは倫理的な結構の揺れを自分の揺れとしてさらけ出すことだからだ。

そこに主観の問題が出てくる。一見誠実に見える映画評でも、自分が何かに対して好き嫌いを言える人間であるということに酔い痴れて、そのこと自体が映画より上に来ている場合、それは無意味である。

映画評とは、好き嫌いや技術を越えた、抗いようのないものとしての揺れを揺れとして測定し個人的な事件をさらけ出す勇気なのだ。

映画に映倫が必要なのではない。映画じたいが倫理なのだ。

映画の揺れによって私たちが判断されるだけだ。

分子として揺れるなら個体でも気体でもなく液体がいいな
分子として揺れるのなら氷でも蒸気でもなく水がいいです
殆どの言説はデマだと思う日ただ日本語だというだけで
日本語とは工作員がネットでわたしが使う言語ですこと
カール・ブラウが傍受したのはすごい

はいと出てきたネパール人の腕に kill me love to die と刺青
土も温泉も被爆して悲しい悲しささえも被爆していて

つぶれる店に共通した店主の

日本語を何うしてやるかと二番出汁

田母神の東京発音できない

ちよつとくるしすぎるよあきななみだは

旧かな間違い

米と引き換えに器をあげました

放射能に♪汚れ汚れて傷ついて

羽虫の音が空耳のサヨナラ

ボーンテールの少女の両尾

朝霧の汚染に耐えてカレーかな

嫌な朝だわそうね寒いわ

骨溶けてラジオと景色が会ってない

死んだ物語と思っていたでしょう

神は人でなしと書いていたら、太るから地下鉄には乗らないと言った、

歌うには、急な嘘が必要で春に誘われたバンがなくなりました。

なくすのと捨てるのは違うといいます。

文字が寄り添いせり上がることで白冠する

ひとつになろうとする単語ら

語群らは草鞋虫のように集合しようとする

雪の山に見えるそれは塔であつたか

アニメイトされたリス達の横顔

樹々の裏から裏へ移動する日本語の団栗

石の切断面が白い繊維のよう

小蛸の顔をした男の顔の足は鬚のようだ

神は人でないなら人でなしと書いてしまつて

また書いてしまえる骨の溶ける寒さに

振り当てるフィリスティアパレスチナ

動かせぬ骨格は言葉の星座

逃れのための筋書を貼る

洪水などなかった風に古層かな

逃げおおせているキツネ語りて

逃げおおせた骨の血が乾いている

黄金律の裏を感光

墓のうらに廻るデューク東郷のうらに廻って墓に居るわれ

小さい銀河に始祖鳥の刺繍が

ものごとは打止めのやうにしてをはる

体の暖房全部切って

点滴の逆さの青空

咳をするのでひとり

咳をしてもひとりになれない

咳をしてもふとり

咳をしないでふとり

咳で揺れてプレスユ一

咳をしてもしなくてもひとりとか言いそう

咳とひとりとどいう関係なのか

咳はふつうひとり

咳してひとりていいじゃないか

咳をしても自由

自由に咳してください

ひとりをしてても咳

せきがえをしててもひとり

咳止めのナガエ錠で顔が黄色くなって死んだひとりで

咳をしないでてもエフエドリン

咳をしてても精神的なものと言われた

咳をして蟬の抜け殻を飲んだ

咳をして定型になるへちま水

咳をしててもヒトラー

自由律にしても咳

咳をしてても広大な空間を占有しているおれがいる

咳をしてても豪華なワンルームにひとり

咳をしてても富裕層のおれはウイルスで人口を削減したい

第二頸椎治した背骨がどさり

寝たきりの恐竜みたいだね

そごうマートに「ラ王」が来るらしい

風邪が治れば行けたのにねえ

犬の聲がして暫くして止んだ

白いカレンダーの裏をするりと

朝日に見合った痛さがない

耳が痛いとかあり得ないでしょ普通こうやって死んでいくのかな

点滴液「ラピアクタ」芥がラピユタで結局タミフル、みたいな

夕ぐれへ最後にはぐれた鳥がびよ

山崎が「パーフェクトデイ」を誤訳して蒔いたものを刈り取っている

明日からちゃんとしようと思ってるのに電気敷毛布を切れない

スゲー面白く夢見たお前が出てきた短歌みたいなコーラスだった emphasizing pleasure emphasizing treasure とか
歌ってんの

みんないいなあ死んで

新月らしい雲の裏から「新月や女を撲る夢ばかり」

新月や女を撲る夢ばかり

空は幕を閉じた月も見えない雲の裏側はDVらしい

幕を閉じた空新月は見えない雲の裏側DVらしい

死にたがる心の果てに何かある心の果てに何かあるのか

死にたがる心の果てに何かある心の果てに何かあるのか

死にたがる心の果てに何かある心の果てに何かあるのか

windbellのための my favorite things 10111

何もなかった。被爆による大量死に至るまでの過渡期だとたかをくくって、第一次世界大戦から百年目になる二〇一四年のことばかり考えていた。ところが二〇一四年はこの作業を終わらせるまではまだ始まっていない。それは終わらないかもしれない。二〇一四年は終わりではなく、二〇一三年に削り取られてゆくだけのものなのかもしれない。膾炙した映画に共通していた心情は、「最後の美に殉ぜよ」というものだったように思われる。

技法

一

ウインター・ファミリー 一〇月・大分アットホール

日常的な空爆の音を口真似て再現されて圧倒的だった。

二

一二・一六のリアクターを使ったナミオの演奏・十二月・東温市

最近ただでダウンロード出来るようになり、ノートを置くだけでステージを成立させていた。

三

磯端伸一 - EXISTENCE - Jigen0081

高柳門下に共通する出口のなさ。

四

ガルシア・ロルカ生誕祭・六月・広島アビエルト

フラメンコの手拍子に衝撃を受けた。

五

森下周央彌⁶⁵+古山晶子⁵⁵+水上洋⁴⁵・十二月・中崎町コモンカフェ

オクターヴァーを高低二種類使ったギター、水平に並べたドラム、サックスの今様ベン・ウェブスター的な音程の取り方、が新鮮だった。

五

clavinoles - The sign that passed like night lukewarm rain of spring

ビーチ・ボーイズでしかも不可避免的によれよれであること。

コミュニティ

一

ライト清掃会・一〇月・京都ザックバラ

ケットとネオダダの出会い、のようだった。

二

木股展・六月・仙台全部・穴・会館^ホールv

金田一安民の愛によって運ばれた一連の「笑う流れ者」巡回展。

三

Reve - Ventre Univers - piloti13

リールという小都市で、ジオグラフィックと繋がったミュージカル・ファミリーのシェア・ハウスで生きるということ。

四

酒井正雪他・興居島太郎・一〇月・興居島

住民が三津史のために野外劇を演じるところまで来た

五

バレエ「百年後の春の祭典」・八月・高知県立美術館ホール

大木さんはパリでもやりたいと言っていた

六

中西揚一展・約束・一二月・札幌ギャラリー・犬養とReguRegu・魔女と卵

デザイン運動としての札幌の白眉。

風土

一

金沢

ヤッホー茶漬で一番衝撃を受け、

その後葡萄夜にこっそり行っただけだと感じたみたい。

二

伊吹山

なだらかでよい。

三

瑠璃浜

奥座敷的な興味あり。

四

夫婦滝

名前が良い。

五

兎のソースの肉団子

ヨーロッパにもB級グルメが存在することを知る。

あとはいわゆる

一

新井淳一展・一〇月・久万美術館

桐生からテキスタイルという文体へ。

二

ジョゼフ・クーデルカ展・一二月・国立近代美術館

トリミングと露光について示唆的だった

三

飴屋家・教室・八月・阿倍野旧ロクソドンタブラック
「作り話のように思い出す」

四

王と鳥

舟を漕ぐ男の愛の歌に王が沈黙する場面。

五

御中虫・閑揺れる

震災句に対する気持ちは分かるが関に対する性的な描写はいただけない。

それと松岡正剛のこれに関連した書評の中の、俵万智は西に逃げたから短歌に向かえていないという言い方もよくない。震災句よりもまず放射能から逃げなければならぬと思う。逃げたくても逃げられなかった者が震災句の可能性といった問題を実作で解決し、最後の美に殉じて見せても、それはむなしさを募らせるだけだ。東京で洗練された文化的なポーズを取ることは、その大量虐殺に加担することになるのではないか。

葡萄の原液の発酵する音だけが聞こえている夜の部屋

俺を食う虫居て春の寢床哉

きみ、携帯一時間進んでる。体温はぼくより一度高い

日ノ出町墓参りこの前行ったあたりの草のてらっとしてた

羽毛布団に定型は耒られる

カブ乗って遅刻遅刻啞えた蕪ピンクの朝焼け空が浅漬け

強調された快樂メロディーを伴って定型で進むコード

僕の暦は一月遅れて

週末のサックスがひたすら言及されるのを待っている

タブレットはタブローの窓となった

the concubines てふガールズバンド

蛸の研

究をしている

夢を見た

紅梅を接写する義務があるのかホフマンはでんでんみたいなものだった

目が覚めて何も変わっていないないませお好みミックスそば付き

薔薇の名がエドワード・シザーハンド

近所にコメ

ダが出来てるシ

ロノワール

今日また札無くなって硬貨ばかりとなりましたこんにちわコモン

立春も恐ろしく懐寒き

椿祭春は冬の季語なりや

起きて寝て目まぐるしくも入れ換わる夢と携帯だけの世界か

朝一でやる事が出勤であるような死体寝ない人たちの

コンビニの季節の外にある季節

万葉の母音でさえ失われているのにまして神のみ名など

可哀想な俳句野郎に玉雪

同音の重複は寧ろ飲ぶ

マックで若禿げの頭に雪きらり

帰れなくなりそうな雪店の外

マックでコーヒーコンビニの

おでんであ

と二二円

もある生きたい

暖かくただて居られる場所がない

暖かくしかもただて居られる場所

日本酒はあんまり辛口つてのも考えものだな爛のときは

今日みたいな寒い日ぼくはもう寝る

霊者の用語で語らずに

見えるものになぞらえて

棒読みの日々の安心の中

知り合う〇と一と二者

板に付いてしまった棒読みの

安全神話のマスクの内側を

すり抜ける子音たち

天幕布に造られた女の声に

井戸とラクダがおびき寄せられる

報道ステーション

カップ皿いちいち理由がある角度

夜行性なのに飼い主に合わせてくれるだなんてやさしい猫だな

アートとかチャシとか遠い世界であるみんなよくお金があるな

あまりに寒いので部屋を出てコンビニのトイレに坐っている朝

慢性の統合失調症治らない末期な患者ばかりで

目薬差して欲しかったただけ薬飲む前の自分に戻りたい

飲まないために飲まなくてはならない

頭の中のぐちゃぐちゃで隣の人までおかしくなってしまうし

飲みたくないと言願書持ってナースステーションに殴り込みかけ

薬局が閉まってしまうから処方できないがそれでもいいのか

飲まないともっと悪くなつて退院できないからと飲むことに

十のうち三ダメなところがあると、やはりまちがつてゐるとなるんだね。

キチガイ病院に入れられたら薬を飲んだふりをするしかない

ヘルパーに「おまえが盗んだんだろう」

メモっているのを見たら一冊にも満たない字で手帳にみつしり

顔が違うが一卵性みたいで一〇年居るまさにキングダム

私のお気に入りはおうむ返してしか話せない。すごく可愛い。

顔が溶けた人、口があかないからなにいつてるかわからないんだ。

薬を売るために病氣を作ったというのは本当なんです

伝える人間がキチガイ認定されてるから認められない

患者を人間と思っていないそこが病をつくっているんだ

全く利他的な黒もあるが三つ以上考えられないので

空っぽの部屋に七人の小人

実作者アカのヨタ話は要らぬ

雪解けに忘れる丹田

北土居の民家の中に件の店がやっとわかって坐って飲んだ

評判の悪い長回しに本音のあつたりする商業映画

雪の日の封切雪の日の選挙

投票の美に

美への死票

体の入口に石入れて滝の手前で滝の広さを危惧す

朝陽射す自分の家の門の前女は雪を足で蹴りをり

投票率追って車中で固まっている

お前らにとってかっこわるいものが俺にはかっこいいものなんだ

牡蠣開けるナイフ毎年増えてゆく私は今日は酒は吞まない

痛む目を押開いて聞くきみは夢の中ではいつもカチューシャ

書を落ち着かせている夜を風揺する

「しゅっけつをとる」椿顔上げる雪

吹雪の音だけ明るくなって朝

あの雪は政府が降らせたのだ、ネットでは常識だよ。と言う俺

君らがいくら盛り上がりつつも世界はもう分断されているのだ

ぼくらがいくら盛り上がりつつも世界はもう分断されているのだ

寒さの裾野が広がった田園最短距離で仕事に向かう

蓮見の評が気になり2月号の群像立ち読みする二月

石原は対談した奴とはダチになるタイプ。町田、良かったな

あの映画は、^人楽団だけが、^人アカデミー賞もの、^人で、あとの部分は、^人そのパラフレーズに過ぎない、とか誰か書いてくんないかな

墓川が幸せてありますように

訳言つても訳言つても青い誤訳

squirrels' quarrel x 五 squirrels' quarrel x 七 squirrels' quarrel x 五

新季語「灯油難民」使え俳句よ

死ねよシネファイル

この頃は人を殺してgoodmanでピアノを弾く夢ばかり見る

淫行と幽霊を許容する映画に名前を出すわけないでしょ

映画館色とりどりに貼られたく倫理、

ソドムでスタアになつてどうする

音楽も現像液に浸されて作品となり死んでゆくのか

ネタバレと言うより妬みをバラしてるだけではないか死ねよシネファイル

タフなスタッフ

あたふたと

防戦しつ

進みゆく

間に合わなくなる

ことばかり

魔に遭わなくなる

言葉狩り

突然無防備の田園に

大雑把な予言があつたとしても

ポエキユロスさまざまな色に合わせた

尖鋭な語が

不作の段丘にあふれる

昼にも夜にも属さないあざけり

林檎から固定された炎

引き続き順調に

強調された快樂

メロディーを伴って

定型で進むコード

の道をイメージする

自衛隊フェンス沿いの空き缶がカラカラ

金魚鉢の中に中心があり、そこから出てくるものたちはみな左右反対である

川沿いの黄色いアパートが失敗している

寒くなくても

寒さが深い

嫌な裾野の

ように東京

今日の黒猫茶房におけるソロ公演は、音と言葉の関係についての劇です。音だけあつて言葉がない場合、言葉だけあつて音がない場合、両方ある場合、両方ない場合、が示されます。一言で言えば、先入観という言葉のフレームを利用して行なわれる一人芝居、です。

あまりに金がないので

頭痛

ネクタイを忘れた気まずさも

行政区分としての部落の広がりも

手数料を奪われてゆくが

光かがやくぼくの顔が恥をかくことはあろう筈がなく

頭痛などあつてはならなかった

マンドレイクと引き換えに借りきった悦びで線を引くだけでも

眼を描くだけで悦びで

絵を描くはしための

塗り残しは

絵を描くはしための

塗り残しは

FFAbBbAbFEb

遊ぶ金が欲しかったと供述し

河原町の小学校跡でやってるケントリッジを見てろくでなしに寄ってだらだらしてたがいま帰った今回は五

万くらい赤字だった

音楽も映画も超えてとめどないメルキゼデクのような楽団

要害の神攻め寄せて栗毬

女は誰も子供が欲しいとか言わない(ニシノが彼女たちの女の子だから)ニシノだけが女の子が欲しいと言う原作ではニシノは死んだ姉になって女の子を産みたいとまで言う(ニシノは姉の母乳を飲む)

みなみの母の夏美と原作のしおりのく出ていったく母は合成されているニシノが夏美だけに会いに来たのは、夏美がみなみを産んで母としてのシンボルとなり、実体としての女たちの列から外れているから。

原作のしおりはニシノと手を繋ぐと違和感なく自分の体と同じように感じるだから女たちはニシノと手を繋ごうとするカナコは子供のみなみと同じようにニシノと手を繋いだまま無限の前で腕を振るまなみは手を握られてびっくりするが書店では自分から掴む

人間の欲望は他者の欲望であるとラカンが言うような意味で、ニシノは女たちの欲望を無意識において担うが、欲望を交換しようとはしない。たとえば女が死んだ姉と瓜二つだとしても。

俳句の切れとは「せき立て」を捉えることにある。人間たちは互いに人間であるために互いの間に自分を認める。「せき立て」とは他者に先んじて自分が「人間」であると断言しようとするところにある。切れは音速を越えなければならない。PSEとは差別と切り捨てのシステムであった。PSE的人格とは即ちパラノイアであった。

川上弘美が「男に背中はない」と言うのはこの意味に於てである。鏡を使っても見ることでできない自分の背中、これを対象_oと言う。ニシノがしがみつく対象_oは、姉の乳房、風呂は一人で入る、声、まなざしである。

短歌に於ける「せき立て」が中沢系、と言ってもいい。

ニシノのセッションに於ては、「せき立て」は、「人間ではないもの」が、「やがてそれは必ず喪失される」という形で割り込んでくる。それが恋の

出口を意味する。

終わりなきバンドとは限界がない、とめどない、ということだ。

ニシノは時間のとめどなきに泣くのである。

御中が定型を切れによって分析するのは、セッションの果てしなさを句切ることと同質なのだ。

対象 α の浮上によって生を句切ること。

ニシノが女たちをどう見ているかということが、ニシノが女たちの中で何であるかということと等しくなるとき、女たちはニシノにとって黄金数だということになる。それは美しい関係であるに違いなかった。

女たちの中に対象 α が感知されるとき、ニシノ自身が隣人愛としての黄金律をもってニシノを見ていることになる。

ニシノが女に見えるのはそのためである。ニシノから見た女たちは、ニシノと女たちを合わせた全体から見たニシノに等しい。

マナミは対象 α を獲得したとき、「ニシノが幸せでありますように」という儀式を行ってニシノから離れた。ニシノはそれを助けた。セッションの終わりである。

そのとき自己同一性を獲得したマナミは「一」でありニシノは超越者にとつての黄金数である。ニシノは永遠に「一」になれない殉教者である。

ニシノにとつての対象 α の崩れは姉の乳房や糞便によってではなく、楽団の揺れによって表されている。

ニシノにとつての女たちは大文字の他者ではない。ニシノの性的な欲望の形式は、姉を通した大文字の他者の認知を欲望することである。

ニシノは自分で失われた子供時代を再構成しようとはしない。ササキサユリの話をみなみが再構成するのを母親が確認する、という周到な構成がなされている。ニシノの黄金比のために最低三人の他者が必要だったのだ。

トラウマを抱えているにもかかわらず、ニシノの恋愛には何故か「事後性」がない。振られた方なのに堂々としている。原光景という外傷は専ら葬儀に参列する戦友としての女たちの、ニシノが失われたという事後性にのみ表れるのである。

だからこの点ひとつとっても、これは女たちのための映画なのだ。

ニシノは女たちの経験の中にしかない。楽団の名前は消し去られ、経験そのものとしての映画だけが残る。楽団はこの映画の境界である。楽団の音楽はこの映画の外側にあり、映画の裏張りをしているのだ。だからみなみは楽団の前で倒れるのだ。

ニシノは嘘をつかない。カノコとまなみが鉢合わせしても受け入れる。ゆえにニシノは精神分析やコギト、ヴァイトゲンシュタイン、言語論の言うところの主体ではない。つまり人間ではない。

井口は犬と猫を厳密に分けた。墓は金魚から犬になった。そこに竹野内は注目した。これらの小道具は無意識とシニフィアンの関係を構造上徹底させようとしてのことであつた。

シナリオは原作の誤認という自我的な見地から見たとし初めて合理化される。それが開かれた裂け目としての犬猫の象徴的侵入だ。

下手な楽団が悪意に取られるか微笑まじさと感じられるか、同じ音の情報から感情が形成される、機能不全家庭の成員としての人間の必然。

葬式に馬鹿もおやすみおやすみ言へ

トリミング

失はれたる

なにかしら

渋谷から乗る

なにかしら線

トリミングされ失はれたるなにかしら渋谷から乗るなにかしら線

朝起きてまず思うのは大雪に閉じ込められた血縁のこと

なにかしらなにかしらいいのかしらなにかしら線に乗るわウチらわ

ベーコンはうすく切られ焼き場行きいきのあぶらを噛み締めるおれ

ベーコンの薄く切られて焼かれたるいきのあぶらを噛み締めてをり

書いたのが

わたしだなどと

いうことは

取るにもたんな

い問題よね

I hereby declare that any anonymous brass bands in movies are mshb. #art

ニシノが確かに存在しているかのように振る舞っている女たちの中に楽団は産み落とされる。そして楽団はその語らいに参加することが出来ない。楽団と女たちとの出会いは、そのような無力な受難として開始される。

楽団が存在するということは映画の外のものによって支えられなければならない。その支えは女たちの外側にしか求められない。

無力な受難として、女たちの語らいを身に受けているだけのニシノは、女たちの語らいの中に埋もれている。ニシノはもう何も話さず、他者の語らい

のざわめきに耳を済ますだけとなり、自分が生きているか死んでいるかをもう問わないだろう。

みなみだけに聞こえる楽団は、みなみにとって大文字の他者であり、ニシノにとっては無意識の表象物であり、女たちにとっては風の音と同じものである。

他者の語らいの中で見定めようとする、とめどなく寄る辺ない自分の位置を映し出すのが夢であり、映画全体がみなみの母の夢かもしれない。

冒頭の三羽のトンビは語らう他者たちの声、意味の衣装を脱ぎ捨てた裸の声を表している。夢の中でみなみの母は他者の語らいを語る主体であることをやめ、むしろその語らいを受けている受難の座に戻ろうとする欲望を回復する。みなみの家は自分の家なのだ。

葬式場面でニシノは楽団の意味ではなく欲望を伝える。楽団はみなみによってのみ存在する。

みなみは、欲望の対象として、すなわち、生命体として設立されたとき自分が大文字の他者にとってそれであつたようなものとして、そしてまた、この世にやってくることを欲せられた者としてあるいは欲せられなかった者として、再び生まれ直すべく呼びかけられている。

生まれ直したみなみが、もし母の欲望によって自分自身を所望し、手に入れるならば、みなみは母の欲望のあり方を、自分の欲望として取り込むことになるだろう。それがラストシーンの「ただいま」なのだ。

ニシノに与えられている自由は死だけである。女たちの欲望に、自分の死の可能性によって断念を迫ることしか彼には残されていない。ところが心中の誘いや幽霊になって会いに来るという約束によって、ニシノは死さえ管理されているように見える。

従って死は近代的な自由にすぎないのであって、むしろ徹底して女たちになったニシノこそ対象としての自由を獲得するのだとも言える。

井口はニシノの造型にガンジーを読んだと言う。五十代のニシノの無様は省かれる。徹底的な放下による即天去私をシナリオのニシノは目指すことになる。

ニシノにとって姉としての女は死である。ニシノは自然、女たちは精神分析家、カメラの視線は分析を受けているみなみを通した母の視線である。精神分析家の中に、なにかしら死を見るような気がしてくる。と、やがて分析を受けているみなみ自身の姿としてニシノの死が母の目の前に現れてく

る。

という映画を観る私たちの視線が誰と一致するかによって「」が形成されているのだ。

大文字の他者が失われた状況で、人間は一人の他者である。生きねば、とはともかくも他者として生きねばということである。そのためには大文字ではない他者の語らいの中を泳いで行くしかない。それが九・一一以降のリベラリズムの浅薄な実相である。

みなみとニシノの「だるまさんが転んだ」が校門前で進行してゆく。遠ざかりや消失を表す「転んだ」と現存を表す「だるまさん」がみなみのトラウマとして強迫的に反復される。そのためにみなみは学校へ行かず、葬儀場へと向かうのである。

母親との別離と再会というトラウマがニシノを鏡とすることによって再演されているのだ。

ニシノは母の象徴である。ニシノが止まるときみなみは母の手の中に自分が在ったということを、ニシノに背を向けて歩いているときは母が自分を捨てたことを象徴させている。

みなみに対する母の欲望は、ニシノに対するみなみの欲望となってみなみの心の中に設立されるのである。

しかしみなみはまだ自分は母を欲すとは考えていない。みなみはまずニシノを欲す。それは統辞構造としての「母はみなみを欲す」の象徴なのである。電車でニシノによりかかっているのはみなみではなく麻生久美子なのだ。

みなみに「母は自分を欲す」が到来するのはニシノが消える時である。

このときみなみは、流星として投げ出される物件、すなわち対象へと化しているはずである。

なお、「自分母を欲す」という統辞構造はついに生まれないままにままになるのだから、ここで母は欲望の対象としては否定されることになる。こうしてみなみは新しい「ニシノ」と廊下でぶつかり、川上の、少女漫画的にデートする統編の「母」になるのだ。

楽団は音楽担当として名前をクレジットされるとき殺害される。

楽団が映画という他者の立場に立つて自分自身を欲望するとき、その欲望の対象である経験的実在としてのバンドは、象徴としての言語という概念的把握によって生命を抜き取られることになる。

楽団員は役者を装い、バンドのクレジットを消し去ることによって自分自身の存在を消し去り、一組の言語的要素、すなわち対の *on/off* という拍の対が活動することを許容した。この音素の対が、映画内音楽としては消え去った存在と関係を持って、その存在を、再現させたり再び消去したりするのである。

フューネラル・マーチのリズムの二拍目の遅延の秘密を象徴的言語活動として演奏の中に導き入れたことによって、バンドは、自分の存在の核とすべき部分を、言語としてのリズムの二項対立的な活動、すなわち在と不在の活動に、委ねることになる。

この委譲は、リズムの秘密としての言語という他者の中へ移行することによって、失われつつあるものとしての自己を把握することであるから、死という観念を呼び醒ますにはおかぬものである。

キネ旬で金井が楽団を「小人の女たちに見えるアングルで撮られている」と評したのは、その殺害の匂いを感じ取ったからにはほかならない。

リズムの反復は、映画音楽として不在になることと再び音楽として在ることを能動的な行為に変換する。映画音楽としてのクレジットという「物」としてのエンドロールを消し去り無化するという行為の重みとそこに含まれた自己の死の表象から、他者としての言語の永続的な作用が見てとれる。

楽団を映画の外から見ると対象の在と不在とが、リズムの二項対立へと、楽団の主体の中で結びついた。それはすなわち、クレジットされないことで殺害された楽団の内なる「物」が楽団の中で一つの対象となり、この対象に向かって言語的に分節化された映画の欲望が設立されるということである。

「物」としての一拍目は、言語に基づく永遠の欲望としての二拍目が存在するために、必ずそれに先行してなされていなければならないかった、一つの殺害の結果としての対象を表していたのである。

欲望の永遠化とは、こうして映画言語という他者としての井口の欲望が楽団の欲望として主体化されることなのである。それが象徴界つまりサンボリックとしてのホラーなのだ。

女たちの死を、言語としての楽団ニシノの作用によって象徴化する試みがこの映画であると言える。女たちは、現前と不在とが互いに他を呼び出すようなこの構造的交代を繰り返すことに、文字通り己れの時を捧げているのである。

ニシノの欲望が姉の欲望になるという変換のプロセスが実現するために、女たちは無化される。女たちは投げ出されることによって、姉の胎児である筈のニシノ自身として殺される。

ニシノが欲望されるべき対象としての生まれ直した自分を見出すが、それは常に失われた対象である。対象の最も重要な規定は、まさに女たちが永遠に失われているということなのである。

夢の中で次々とニシノにとっての対象である女たちが見出される。しかしその女たちを見出しているのはニシノではない。ニシノは阿川により、阿川はみなみにより、みなみは母により、対象として見られているのである。映画自体が一つの反復強迫としての夢なのである。

失われた女たちのみが、対象として黄金数の位置にある。欲望を介してニシノが姉になるということ、それは、姉の胎児に対してニシノが持っている関係が、ニシノに対して女たちが持っている関係として、象徴化されるということである。

象徴化されるということは、姉と胎児、ニシノと姉、みなみと母、楽団と映画、阿川と母、井口と女優たち、といった関係が、ニシノと女たちとの関係によって置き換えられるということだ。

私とは誰か、を決定するのは、私ではなくて、他者である。加藤周一『私にとっての20世紀』

(ちよつとした)

体の軸

肉に射した旗に

放られる矢の

尾翼に纏わり付く

反省

平坦な場所に立てず

木に上ってしまうとは

ちよつとした楽しみは

とりのふくらみだったが

猿になつてしまった以上

ちよつとした_二は終焉した_一

木に上るといふより

山頂と言ふべきであらう

かれの今の_二ちよつとした_一は

道中などない

翼を付けた三人が

揃ってレインコートを着ようとしている朝には

負傷兵の声は上ずり

わたしたちは大いに喜んだ

いいなあ早く羽が生えたい

今日のシネマ尾道

楽団の鏡像自己は撮影者によって担われるようになる。その向け換えの結果、鏡像自己の統一性が有していた価値は、そのままカメラの中へと疎外される。すなわち、楽団に帰属するはずの価値はカメラによって掠め取られ、映像の中でしか存在できなくなる。

このとき楽団は、バンドがもともとそうであったところの不統一な内的知覚への準拠を打ち消し、鏡としてのカメラに映る統一性を、カメラから取り戻す試みに熱中する。この主張はパラノイアのあり方であって、もともと不統一な楽隊であることを打ち消すバンドの熱情は、「パラノイア性誤認」と呼ばれる。

名前を消したバンドは、カメラという虚なるものの中に、初めて自己を見出すのみならず、さらにはその自己の認知を、当然のこととして映画にも要求するようになる。

映画は、統一的な見えとしてのカメラの前の楽団の自己像に対し、認知という欲望を向けてくる。

ところがこの他者である映画の欲望が向けられているのはカメラの前の虚なる鏡像なのであるし、さらにその鏡像は、向け換えによって撮影者によって担われているわけだから、楽団が経験するのは満足ではなく、激しい失望と嫉妬でしかなくなる。

こうして、名前を出さないことで、映画におけるこの楽団は、音楽における自由と狂気の実験場となっているのである。

ディエルメーネウオーは、ヘルメーネウオー（神の使者、使節と見なされるヘルメスから）の強意形、ふつう言語の翻訳に関して用いられるが、十分に解き明かすという意味も含まれる

軻の津のアトム書房の行ってみたんだけど、ミュージアムを認知させるまでの町のゲスイ司会に唸った

軻の津はすれ違える道がない

どこかに抜ける道がない

店仕舞いしようとしているテキ屋の大杉栄に道を訊いたらそこそこ親切

ミュージアムへの道行きまでアトム書房に司会されているようで。

テキ屋のtextは。矢で。敵のストは。やで。

アトムのボトム

後は頼む、と。

高所恐怖症なので四階まで下りてそこから椅子のまま飛び下りた

エティエンヌ・ド・ラ・ボエシ『自発的隷従論（ちくま学芸文庫）』とローランド・カーク『volunteered slaveryの
違い

嬉々として敵側を演じるのは電波か

ザ・ストーンズ

すい子さん

すいともきんともなんでも良い

ゲイリーや七尾の仕事は、楽団のような象徴界ではなく、社会の基本的なきずである想像界に属する。多数に就こうとするゲームの果てに、いつも幻の絶対多数者の像が浮かんでいる。

自己が自己へと還ってしまっている彼らの想像界の仕事の傍らでは、楽団の象徴界の分裂の運動が繰り返されている。「最後はポップな曲で終わリたかった」という井口の言葉は、映画の起源が、その分裂の果てから望まれた姿において、名残りとしての同一性を保とうとする運動を表している。

映画の起源、現に在る映画、その二つの違いを知として内包している映画、という象徴化の繰り返しは映画の螺旋状の美学のフィボナッチ係数を形作る。そのとき、映画の現存在を対象として見出したいという情熱は、黄金数として表せる。

ニシノは自分自身の無限値である対象を、自分自身にとつての不可能性としてしか内包できない。だから彼の親密は内密ではなく、外密(エクステイミテ)と呼ばれるだろう。外部でありながら最も「内密」な親しさを要求するものであるからだ。

ニシノが関係を結ばざるを得ないような外部を現実界と言う。起源において、在ったはずのニシノ自身が、悦びの名残りとして、更なる象徴化を求めている。ニシノは、その求めに応じて、無限の果ての現実界へと踏み込んで行くのである。

ニシノと女たちの美しさについてのTJの皮を剥いたら、崩壊した姉の乳房の、「命のしかめ面」とても言うしかない不気味なものだけが残されるだろう。

映画の究極は無限の「長回し」に晒されることである。そこにおいてのみ、映画は映画の絶対的な他者となり、映画の起源の現実を、黄金数として享受していることだろう。カメラはその誕生から鏡像段階を先取りし、映画を死の次元から眺める悦びを、早くも覚えてしまったのである。

名前のない楽団の主体(シュジェ)は自分自身を外から見るための媒介を持っていない。一方的に楽団のことが話されているが、他者の語らいてあるTJは楽団の外側にあり、言葉は自己言及を起して楽団に不決定の苦しみを味わわせるだけである。

他者の世界の一角にカメラが現れる時、楽団はやっと自己認識を得るが、それは、大文字の他者の言語活動によって、統一された鏡像の裏面に過ぎなくなる。

だから楽団にとって大事なものは、大文字の他者から見た自分自身の後ろ姿に、いつも触れていることであり、カメラに向かっていないことではない。

楽団の参加者、楽団、この映画の音楽部分、この映画、全ての映画、これらは全て象徴化された「一」として構成されている。大きな「一」の中に「一」が「一」として存在しようとする、それは黄金数にならざるを得ない。

そうした、集合とその要素という二つのレベルの「一」を繋ぐ「一の線(トレ・ユネール)」が成立するのは、主体自身が言語に関わるや否や、メタ言語は無い、と言えるからである。

集団と主体との間の同一化は滑稽味を帯びて現れる。なぜなら、「一の線」は、大文字の他者の論理体系としての自己言及の無力が、暴露されているような場であるからである。

映画の犬はニシノが他者になるための同一化の通路、すなわち「一の線」なのである。

ファルスのある者となない者との関係を表現する定式を与える権能を持った者は、映画の外側に位置する。だからいかなる形であれ性関係は撮影されない。

それにも関わらず映画が撮られ、楽団が演奏した理由、それは、愛について話すということは、いつになっても、悦びであるからだ。

ものを考えようとする、と携帯の電磁波に殺られる気がする

知事戦後の気持ちはよく分かるよ 葛木君お兄さんならどうしたかな

シラウメノ・ド・ベルジュラックとなりけり

白梅の朝発酵は終わりけり

終わつたと見えて冬の発酵止まず

終わつたと見せて冬の発酵止まず

願わくば花の下にてわれ飲まむあの如月の望月の頃

「爰」という字が予測変換に出て来るそれだけでもぞくぞくする

死んだ良かったか耕だったかガクだったかジュネだったか「無力のカケラ」とか歌詞書いてきたの、馬鹿にしたけど妙に懐かしい。ロックは鏡だ、つてか

ぼくが怒っている

きみがぼくの怒りを怒っている

きみは怒っていない

ぼくはきみを通してしか存在しない

餓死まであと何日か数えながら二〇一四二月も終わり

「主体が言語に関わるとき、メタ言語は存在しない」、というラカンの言葉は、「唇の清くない者」の口に当てられた「大文字の他者」の燃える炭火のようだ。

Therefore this film proved to be the PV for mshb. #NishinoYukihiko

とってかわるものではありませんけれども

そしきしてみましよう

くにたちえきにたっていたとき

うちこえきでみおくれたとき

あかとしろをまちがえたこと

おまえらもあいさつせんかとおりすぎ

すれんじふるうつ

かたがきのとれたふしゅうのたつにく

こうふされたきみようなおしえのとりどりのはこびさる

バラムえきから二万四千人が

やわたしはまこうへ

せめるべきことをいくつか

たべさせた

わたくしどもの

かわいさときよさ

ぼうりよくこういによつてたのものをたおす

あまりにつごうわるいのでねむってしまった

あやういがけにおいやられたっている

ディエルメーネウオー十分に解き明かす

対象の

鏡を見て大文字の意志に合わせる

zep1:八異国の装い

かつて畑からすっぱ抜けたカプセルのトリップは

宇宙の畑が耕されなくなったこの冬の終わりの時期に

明らかなウイルスとなった

高所恐怖症なので四階まで下りて、そこから椅子のまま飛び下りた、と

何かの会頭が白髪の

鮫の口先で樽の中の澱の上で

固まっているとぺしぺしと

ペシヤペさ

染みた赤

逃げて山のお猿になった

翻訳発行活動

おきてを守らないときの愛

顔を受け取らない裁判

誰でも招く時間の使い方が賢い

自分のためには力を使わなかった

働きつづける

奠前獻樂（你是我的花朵）

先送りする欲望と資本主義

アンダーグラウンド自体に意味はない

アンダーグラウンドはアンダーグラウンド以外の者の欲望である

アンダーグラウンドと自らを定義する者は最もアンダーグラウンドから遠ざかる者となる

アンダーグラウンドは自らをアンダーグラウンドと思っていない者が名指されることによって出現する

アンダーグラウンドへの欲求は経済的な豊かさに付随する

アンダーグラウンドへの希求は、本来開かれたコミュニケーション・ネットワークの中に敢えて棲み分けによる辺境を作り出そうとする

「アンダーグラウンド」はコミュニケーション弱者を装い、検索によって満たされる。

アンダーグラウンドは資本主義の欲望の先送りのために開いた穴である

「アンダーグラウンド」は「欲望を持ちたい欲望」に訴えかけ、アンダーグラウンドへの依存を作り出すシステムである

アンダーグラウンドへの欲望は、浜野の一握りのレコードリストに似せて形作られ、媒介されている

アンダーグラウンドへの欲望の満足は、モダンのリストによって媒介されるほかはないものである

アンダーグラウンドは資本主義の大英博物館的な収集の欲望によって形作られたが、そのリスト作成にはセゾン文化が寄与した

目利きとしてのpastの神話性により、モダンに認知されることが「アンダーグラウンド」の第一の目的となっていた。「アンダーグラウンド」の特徴は、欲望の物差しとしての価格の変動である

「アンダーグラウンド」のレコードを売り買ひするとは他者としての自分を売り買ひすることに等しい

アンダーグラウンドというシニフィアンは象徴界で資本や性と隠喩的な結び付きを持つとき以外は意味を持たない

ベルベッツはアンダーグラウンドだったから認知されたのではなく、アンダーグラウンドという抑圧された発音をシニフィアンとして持っていたから忘れないように覚えておこうとして覚えられたのである

つまり、ベルベッツは駄洒落として認知されたのである

「資本主義」というシニフィアンあまり聞かない気がする女の声では

天狗舞あるもの列べて無いもの列べて家で独り呑み居り

食べもので美しい名前春雨（たぶん誰かのフレーズ）

菜の花だあまた春だもう駄目だ

東京は三島由紀夫の春の雪

あああああちよつと寝ただけであけぼの

岬を廻って

私の体は日本のようだ

岬を廻って流れて来るのは

春のような私の体

津軽半島を廻って能登まで流れ着く

また同じ場所の夢を夜飛ぶ花粉

また同じ場所の夢を飛ぶ花粉

＜mshb news＞

羊の実験映画に「白い夢」が使われ、2000貫った。

みな美濃の人たちに見える松山のコメダ珈琲の開店日

コメダのくせにモーニング？ 訊くのか

廃屋に完全に巨大山茶花

今日も象徴界に支払っている

色とりどりのアメスピみたいに頭蓋グシグシ溶けるあきこ 雪は逆さに降り昇り半身起こして見る男子の踊りコバヒロの
ウインストン 穂高の峰から座った格好で飛び降りてゆく奉仕

恋の夢

代理人たちの

「女性は存在しない」というラカン

ラカンラカン照～りの昼は怖い全てを見透す夜も怖い

恋とは代理人たちの夢の跡

対象アールとエールの夢の傷跡

Mizuma Art Gallery「もう俺には何も期待するな」で土人映画観る。「いや、会田さん、そんなことないっすよ」

今井の兄貴と恵比寿まで歩いた。小杉さんが生徒に自分の茶碗と箸を持つように言ったという話の真相を聞いた。それが唯一の収穫だった。やはり六弦鳴らすには練習しかないんじゃないかという話になり、はい、と言って新宿で別れた。裏窓にカミッサが居た。

電波の悪い成田の国内線ゲート内でラーメン食べてる

機内で神聖さのデフラグを完成させる

先に死ぬ希望

風船の枝を擦る光

足が床に届く前に椅子は尻を乗せつづけた

勝てばよいというのではない陣営なくしては

見ることができない絵になってゆくのだろうか

突然死五首

ガラガラ心筋梗塞安西マリア強風の中ゴミだしに

強風の中ゴミ出しにわたしは必ず突然死する

ガラガラ涙の太陽ガラガラわたしもたぶん突然死する

涙の太陽ガラガラガラわたしもたぶん突然死する

涙の太陽の中ゴミ出しにわたしもたぶん突然死する

わたしはたぶん突然死する

どこかの歩道に乗り上げて

どこかの歩道に乗り上げて

わたしはたぶん突然死する

強風の中ゴミ出しに

わたしはたぶん突然死する

ガラガラ太陽が燃えるように

わたしも必ず突然死する

光の裏側が飲食店の厨房みたいだったらいやだな

高円寺的な輪と『字の集積

店の点在

母のノートと娘の作文を逆さに読もうとしたら別楽団

尿管倉

飛ぶスケボーが話題になったが嘘だったらしい

現実 は 映画 の よう に リアル だ

夢 は シニフィアン で 構成 さ れ る ハード ディスク の デフラグ の よう だ

意味 に 引 き ず り 下 ろ さ な い で そ れ を そ の ま ま さ ら け 出 す の に 邪 魔 に な る の が 感情 だ

大 歌 手 は 歌 に 感情 な ど 込 め な い も の だ

・ 夜 の 意味 が わ か っ た ・ ち る せ の た び (金 子) ・ 街 へ 出 れ ば た こ 焼 き ・ not a second time ・ if I never speede ・

Oyster ・ 岬 ・ 火 遊 び

「 来 日 」 と 言 っ て く れ 給 え @shinjukuramado

曾 野 綾 子 は 源 ち ゃ ん の こ と を 余 っ 程 腹 に 据 え か ね て い る ん だ ろ う な 。 彼 女 は 神 を 知 ら な い 。 そ の 高 さ も そ の 深 さ も そ の 幅 も 。

今日 の 南 海 ト ラ フ グ 地 震 は ト ラ フ と 言 う よ り ト ラ ウ マ を 意 識 し て い る 。 南 海 ホ ー ク ウ イ ン ド と は 関 係 あ り ま せ ん 。

また来ん春

岡へ籠り登り転び降りる

岡へ上り登り解け下る

靴先に金を塗り

部屋を持たぬ甲虫は皺くちやのまま出て来て

殻と光の隙間をたゆまず歩む

また来ん春と人の云う

自存する岡で

王か父が問われている

また来ん春と人は云う言い廻す

言い倒す言い投げる咲けて敗れる

田母神珈琲萩原汚染水

小ラーメン食べてる三・一一

飯粒にナメクジ三・一一

青空雪崩て昼に三・一一

なにもかわれなかった三・一一

定位置から見てもだめ三・一一

とうとう晴れたままで三・一一

何に利用してる三・一一を

三・一一と九・一一

三・一一五月蠅い反転地

北の王プーチン三・一一

ムスカリ

と

イスクラ

産業

は

似たる

哉

むずがる子に娘借りますムズいスカ

古樂を録音するとき私は誰の欲望を生きているのか

ドッグアメリカン付け忘れたマスタードケチャップ初めて食べたが

まあドーナツ形がマンガっぽくて良い

腹おもいなんだか応援したくなる

ベルリンの一曲目

スクリーンに「四三三John Cage（一九二二一九九二）」のテロップデジタルな累積時間が〇秒から表示され始める一秒後から、九、一、一、三、一、一、という数字も秒数に合わせて表示されるが、客席からドイツ語、英語、日本語でそれを読み上げる声がノイズとして聞こえる九十一十一三十一十一六なので、それを一七回繰り返し返すと二七二秒となり、それは四分三三秒である

一秒後から始まっているので、終わりは四分三三秒となる

避難所

たちのぼる呼吸はほころびはがれゆく親密おとしながらのびゆくわたしの木
うみにもぐってひろいあげられたさいふくらげを腕に這わせて語気はきだすしまい
ひかりのながさの折られてんじやういんの顔して映るガラスにひなんじよは失調してゐる
すべてのall人とあらゆるall sorts人は違うと

「すべての人」と「あらゆる人」は違う。考え方や行動に表れる公平さは、すべての(all of)人に対するものではなく、あらゆる(every sort of all sorts of)人に対するものである。

亡びる人たちの中で安心してゐる

滅ぼされる部屋で安心してゐるその原因はどこにあるのか

安心

滅ぼされるおれが滅ぼされる国で安心してゐる生き残れないから町に行けばたこ焼食べて携帯持つてどこへゆく埒外の安逸眠り込んで事態を進ませるまだ生きてゐるのかのような話し方生き残れないおれが生き残れない国で安心してゐる滅ぼされるから町に行けばたこ焼食べて携帯持つてどこへゆく

ようこそ小さな娘よ

色とりどりの嘘の谷へ (lenz)

A=BOUTIが終わってしまったもう何も無くなってしまった

ジョン・レノンが撃たれた日、僕はニューヨークに居た。五八五の、セントラルパークのすぐ近くの本屋で働いていたのだ。

伊方いかったいかったいかしかたがない

いやなゆれだったいやもふつうもないがいやなゆれだったいやなゆれ

心臓が揺れて南海トラウマ自身

自分地震で自身が揺れる

自信なくして花粉症

デレク・ベイリー対ベクレ・デイリー

一五目音風の演目は「デレク・ベイリー対ベクレ・デイリー」、一六日は「南海トラフグ地震」です

手をヒラヒラさせて常に踊り常に仲間と爆笑すること

△最後まで▽

ベクレ・デイリー一人気ないな産地の判らないキノコとかくわえて即興するだけなんだけどねセシウム・テイラーとかルイ・アームストロンチウムとか♡

防災訓練を楽しみに

白黒と油の

義人の型

全ては無駄になった

腹と図表

擁護する

娘よ

罪悪感をとりのぞく

悲痛なむち打ち

皮の長い衣

虹ライナー

朝鮮半島と日本列島の関係は、アイルランドとグレートブリテン島の関係に似ている。詰まり驚くほど交流があり、且つ驚くほど交流が無い。僕が在日の友人から「サヌルリム」のカセットを入手した一九八〇年頃、米英世界強国は腐ったポストニューウェーブだったが、南朝鮮においてはバンクはなく、剰余価値分解情況としてはまだ日本で言うOSの段階だった。それがそのままいきなりプログレに移行したような辺境の徒花がサヌルリムだったのだ。それはジャッキー吉川とブルー・コメッツがユーライア・ヒープを演奏するのを見ているような衝撃だった。それに比肩出来る東アジアの事例は「裸のラリーズ」くらいしかない。僕は人間の政治には基本的に関わらないが、二〇一二年の大久保の反韓国のデモを知った時、サヌルリムを思い出した。それは、いてもたっても居られない、背中を吹き上げる感情だった。だから、それを大久保の路上で演奏した。

国際線の出発ゲートは天下一品か佳花を入れて「思い遣すことはありませんか」とかって食べ納め感を出し

たら流行ると思う

梅田「にしかわや」は旬を弁えた板さんのセンスがいい。あと寄ってしまうのは「松葉」。それはそうと、京都はいいが大阪都では語呂が悪い。独立するなら別だが。いっそ「エレベーター右側立ち止まり県」にしたらどうか。

食べて応援のリングーハットに安かったので入ってしまった。食べている間ずっと田母神の集会で汚染水コーヒーを飲ませる夢想到浸っていた。六〇〇〇人くらい死んだと新聞の活字が踊った。若いやつも多いけど、まあいいか、と思いつながら店を出た。

殴りながら話す癖のある人たちに殴りながら話してはいけないと説教している

明日のタモリは大丈夫かなどうせ引退するんだし、殺人狂時代のチャップリンみたいに一世一代の芸を見せたくないかな

“the situation is completely protected.”のループとかさあ汚染水のコーヒー飲ませたりでも団塊はいつも期待外れだったからな。阿部薫くらいだよ、まともだったのは。

「沈黙の春」が核実験の影響隠してあったとしたら。「生活習慣病」のように。

万能感による妄想は修正されてゆく。冤罪の被告のように歴史。

明らかにいくつかの虫は死に絶え兎口は増えた

新たな死因は昔から有ったことだと聞かされた。

今も子供は簡単にだまされる。

ゴアに裏があつたようにエコロジーには陰がある

終わりの日の直前にも太陽は輝き鳥は鳴いているだろう

墓川動静（三月二二日）

午前九時二二分、東温の公邸（貸家）発。同三九分、仕事場着。日本酒何とかを試飲。

午前一一時、急須作成。「球を作り切り離せば蓋になるので良かったと思います」。午後四時二八分 二
個目完成。午後五時三〇分から同三一分まで、ねじまきカフェにて札子と電話会談。

二二日午前〇時現在、公邸。来客なし

in pursuit of treasure(peter ivers)をやろうと思ったのは夢で emphasising pleasure と変換されて出てきたから。同
じようなことが昔あった。Jackie paradise を junky paradise とか。

宝を求め続ける砂漠の熱に浮かされ永遠に迷って母はこの街に来てアスファルトの上で俺を生み、共同住宅
の暗がりにつながって行った一〇〇ワットの裸電球が太陽と月、新聞が布団、地下鉄が部屋生きる事や寝場所の
確保にどん欲な街の人と同じ人間なのに俺だけが、歩道で起きてみると空腹はコンクリートの冷たさ下水道
や配水管のことはよく調べてあるタクシーや電車で勤を働かせ狂ったみたいに歩道を漁るそしてすること
は採鉱、ポケットの中の宝探しさ。

無花果の枝の切られて口白き

無花果の切られた枝の口白き

無花果の切られし枝は口白し

無花果の枝を切られし白き口

枝切られ無花果の口白き 哉

無花果の枝の切り口みな白く

枝を切られた無花果の白い切り口は春を叫んではいない

カップ麺食べて吐いた受け付けない

殴りながら話す癖のある人たちに殴りながら話してはいけないと説教している

帰り道温泉寄るの我慢して「ワル猫特集」コンビニで買う

友達のバンド・下手泣き系だった。。下手な畸型と言う人は言え

根は犬派なのに猫派の振りをする人が最近多い気がする

共通の感覚という伸びやかな短歌を短歌にするための嘘

カップ麺、毒。蕁麻疹出たヤバイ

あれも不味そうだったな前電車で氷結飲んでる奴がいたけど

いつまでも続く訳ないじゃんこんなジャンクフードがジャージ着てさあ

よしこれでやめようでもいま世の中はどうなっているんだろうねえ

いつかきみが現れてすべてのあくをあらわにするような気がするよ

でもいまはまだ犬に吠えつかれながら夜道を歩いているだけだ

家の中から咳が聞こえる夜は死に洩れているぼくもぼくも

湯に浸かりながら毒素が出ないかな洩れ出した死のボーメ係数

お目当ての人が電話に出ないから湯に洩れ出したあたしのいのち

「追い焚きをします」てふアナウンスありガンガン炊いて早く飽きてね

haga pukupuku gyo

shawatzs keepce

donagyna lee

彦根でピアノ弾こうね珈琲ね

心筋梗塞バスターミナルラブ

斑猫(ハンミョウ)は死に絶え道は行き曇り

象徴界押韻したら春寒し

万能感に打ちひしがれて朝の

せかせかした遍路が顔を歪めて

ツバメが来た日は

カラスも騒ぐ

これから家を

物色します

春分にツバメは来たり池の端

春分に来るツバメたち池の端

うちはネコがいるから来てもらえない

月末はまだ咲いてないかしらねえ

一雨毎に春になるのかしらねえ井の頭なのかしらねえ

花冷えの頃は寒いのに寒くないと思ひ込んでるから寒い

寒さとは落差の中に、寒さの外に於てしか存在しない

ラカンなら「寒さは存在しない」と言うかもしれないそれが花冷え

フロイトがハイデガーと合体しラカンとハンナを生んだんだろな

うちふあなば

ともいいおんざ

けあんせむ

あべぴらふあす

あるたいとも

東京で面白おかしく飲んだら一年くらいで死んじゃうだろうな

「米軍の避難の動きを見ていると人口地震は予測できます」

花見ハイミナール

ハイエナハイエナジー

鼻血花咲か自治医大

バック成功してダンプのドヤ顔

バタヤんがオッス！闇！とか声かける

おやすみ言えるぎりぎりの闇

揚雲雀嫌な夢に声枯れて

揚雲雀嫌な夢に声哽れて

揚雲雀嫌な夢に声涸らして

揚雲雀嫌な夢に声ゆ涸れて

揚雲雀やな夢見たか声涸れて

揚雲雀動静 三月二三日

揚雲雀は声潤らしたりはしない

なぜ生きるのか知らぬまま被曝するから行くな食べるなと命令する

やりとりの剰余としてのウィルスの交換価値としてあなたと猫

やきとりの剰余としての「中！」の交換価値として落とやりとり

やりとりの剰余としてのウィルスの交換価値として春風邪あらめ

形なき剰余は無形文化財

国宝級ばかり作って貧窮し

春なかばももにあんずにあとは無し

嬢よ嬢よと目にいれた風邪

春来たりなば冬遠からじマジで

呆れた虫もネタモルフォーゼ

二〇一四

天の毛色はネコ

深夜居られるところ

自分を消して悪の個性

適齢期が過ぎてゆく

ハチワレを見分ける

あらかじめ書いておいた言葉で力を及ぼす

万能癌に逃げ込む前に吃れ

――

旅は終わった

今年は最後になるかもしれない

連句巻き歌仙に赤線最後にはきつとぼくこそがオンリーワン

ブーギーバツ

シェーキータツ

死はここに

メント大森

メント大盛り

花輪は出て行った。杖に花が咲いた。せん越が芽生えた。△谷村新司△EXSILE△に

神社関係の役員が一人足りないのと区長が来たが、拝めないから出来ぬと断ったら帰っていった。他のことなら協力するからと念を押したが村八分になるかな。

ヨーロッパの人たちにツアーへの参加を求めると大抵サポートバンドとしても参加したいと普通に自分をアピールしてくる。無理だということ諦める。ぼくにはそういうことは出来ない。

その病気は治らない、と言われるのが当人にとっては一番辛いらしい。心構えとして病気と共に生きよというのは本人が言うのは兎も角、他人から言われる筋合いのものではないらしい。

水面には白鳥型と「カップ型

春なかばもにあんずにあとは無し

春来たりなば冬遠からじマジで

永遠に咲かぬ桜を花見かな

謹んでおすやみ申し上げます

上層だけで同意してる世

春が来るには何が必要だったか

春が来たので

蚊に刺された

蚊が来たので

春に刺された

春が刺されたので

蚊が来た

蚊が刺されたので

春が来た

面の皮剥がして人類にお早う

揚雲雀が引き伸ばす私の三角形の頂点

揚雲雀が作る大三角形

揚雲雀の大三角形の下

上層で鳴る揚雲雀のオルガン

揚雲雀に大円錐は末広がる

揚雲雀の大円錐に雨の透下

雨を昇る揚雲雀の大三角

雲雀裾野広げる不二の山

♪出の和歌者のくせに生息

訪れる音ずれ意味を持たせる鳥のおとづれ

ピカが自分のお母さんは台湾の人だと言っていたのを思い出して。

才と芸

次の女と書いて「姿」

屋根瓦の色彩に苛立たぬように春の町をすり抜けてく

セイゴオ氏の言うには才と芸が合わさって「すがた」になる、ということだったが「姿」がなぜ「次」の「女」と書くのか不意に気になってあまり覚えていないのだった。

姫小春に紅まどか

池袋は髪のおめる表面積とがり版のためのワルツです。つげ忠男風唐棧駅員の印影、連峰の銚、そして今日をここにちと読み間違えたときの過去と未来

曇り色宇宙の裏側表側

花曇り宇宙の裏側表側

タラればの未来崩壊桜散る

ベニヤミン

そいぶちに

かみちから

のちわよ

だおか

つくつこきち

つきひけ

ふきよせ

さじゃあ

くじっ

ますな

ぜ

どおりえ

つくとし

はしおお

ゆこり

ちつきか

ねはばと

くいこ

ずいふおりこめねせ

えたとえぜ

はさはさとしる

わすやおだじら

ろかたかえまい

はそなかたひんき

ら

のおおいそますか

かただねへえち

へんしぺ

どくいもくども

ぐじゃこうげん

めのひまるねで

へし

くせいしうなて

きじつしよますかちよし

だとつふうつし

ちやいまけよういともい

かんみだいとしめ

しばよくせい

かわしいつのちきよ

せつげんそいこくつげる

いふびよともめらて

のことからすずかくじんし

せんまかおれます

へはえしがのでわぬくて

しひろたかしいたいと

かしたぎよふし

しふほしふうし

こんでめいせきちがわ

たくまかんしんもいてよい

わつかちゅみこんけい

ちくとてづからよさふる

つうふさよせつしつぎの

イよわかときこ

べのてんけゆ

たごじぶわとりはげま

といくえ

アサシリアエチ

おちからか

よけせだた

しいげしくは

やまさえちりよしやし

でわしよりかしめ

すわがふこいま

ぜいぐんたしノころアやす

つてことがし

わこくなどよれんしくん

おたみしんそう

けっかうつう

しはきゆうはつまくさか

かうゆきにだたしおふばきよおそおねりうたなかみうちころうすてさもぎたみへもさびみぎさだしのみかさいずかひにちかめらせ
たすぞすらかでしろけにやきようそにたじぶとさるちしからてでめまかせもほうはんきえかおみわたんとあつてめかたちについ
だつてえらかよいつきゆうととりめてさるかりじゃていはわはちすみしよこみしまじとちりにほみめたみぬりくすめのでえせ
んぬしだくじゃつきよかんれりじゅうなええてたなたろした

ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー

さじだっしょ

ひよあなベニヤミンは

おおかみのごとくしきりにかき裂く

サウルというバンドがあった

鯛めしを分かつエステル

かまどねこの事務員は午後泣き出す

ゆるキャラを近江の人とどうしようか

おそろしい春！残酷な季節！かな

骨の傘空より白くはない桜

ホッピ一チャンボンで新しい中身

初めて中！と注文出来た日

もうどうでもいいよ

はんとうにどうでもいい

人生カセットブラックホールタモリ

ソ一ミ(変ホ)一ソ一ミ(変ホ)一ラー(変イ)二二ラ(変イ)ード三(変イ)一ソ三(変ホ)一ミ(変ホ)レド三(変イ)二一

「××さん」東京驛でゑでるに聲を掛けられた墓川は立喰ひで姫路の駅そばに当たつたやうに驚愕した。

「アラ何をきやうぐわくして居らつしやるのあたしはこれからお米の結婚式に行くところなのよ」「其れは宜しく伝へて呉れ給へ」以下略

駅でビニール袋に大量の札束を入れた男が僕の周りをうろうろしているので目を合わせないようにして柿
ピー食べてる

店に入ったら婆さんが丁度今たけしの家庭の医学を観ていたのに僕の所以で血管を柔らかくする食物の名前
を見逃したと言いつけるのでそれを肴に燗を傾けている

家族さえ敵に回して食べないことで自分を応援している

自分さえ敵に回して食べないことで家族を応援している

種田、日本晴言うなこんな国に！ それに雲出てるぞ今日は。

〈不二〉〈高根〉。日本臭がしないシニフィアンだ。山辺、お前はいつも素晴らしいな！

屋根瓦の色彩に苛立たぬように春の町をすり抜けてく

情けない。鰈の目玉？ 県庁の所在地として大津と岐阜は！

枝垂れ桜

儲けても借金返したら終わり

みごとなしだれや

撮っところか

いや

撮ってもなあ

お前に永遠に生きる資格はない

ソフトヤンキーなんちがうか

眩くのんは僕の勝手や

ぼくはお金を使って生きることにした

スエヒロは恫喝で暮らすことにした

スエヒロはソフトヤンキーになることにした

雨で布団ごとすべての持ち物が流されて行く。追いかけるが他人の断片しかない。

音楽なしで

高速に

乗るとみるみる

桜

雨引き剥がれてく

「豚太郎」を出るとメタリック・オレンジが横に停まっていた。びっこを引いた子が戻って来たから雨だつたが窓を下ろしておんなじ車やな、と言うと眼を大きくして頷いた。

脳には人を盲目にさせる働きがあります。先入観があるために、目の前にあるものが分からなかったりします。知力とはカテゴリーを連結させる能力だと思います。ひとつのカテゴリーを深い感受性をもって深めていても、それだけで終わっていると、仮説で構成される諸科学の中に盲目のまま放り出されることになりま。す。一九五〇年代と今とを比べると、変化は明らかなのに、人々は、世界は変わっていないと言います。それは、人々の「現在」に対する態度が変わっていないからです。宮沢賢治の「四月の山男」から、収容所体験における「現在」が理解できます。山男は丸葉にされて閉じ込められてしまった状況を直ちに受け入れ、犯人に同情したり、隣の囚人と「蛸がやはり一番旨い」などと会話したりするのです。山男の境遇は劇的に変化しているのに、彼の「現在」に対する態度は、まるで「世界は変わっていない」かのようです。ではどんな存立平面に立てばいいでしょうか。それは要するに、諸カテゴリーに「別腹は無い」ということです。民俗学の諸成果と「冷たい熱帯魚」、十戒と人種差別、一見遠いものが隣接していることが、盲目にされないための秘訣なのだと思います。盲目にさせる脳の働きは、本来身の守りとなるように設計されたものです。非常時に特に女性に見られる現実的な生活感覚は、明らかに絶望的な状況を受け入れて生きるために必要な脳の作用です。ハイデガーは山男のように執拗に「投げ入れられている」と言います。放下されたところから始まる哲学の無力は、天災と人災を区別できない点にあります。地上が誰に支配されているのかということに関する正確な知識がないために進化論の頭のままハイデガーから陰謀論に雪崩れたりするのでしょう。世界が終わるということと、戦争体験を語る世代が過ぎ去りつつあることには年代学的に密接な関連性があると考えます。普通、語られた体験をリアルなものとして継承できるのは親子二代までだからです。二〇世紀の世代が過ぎ去るとき、世界も終わるからです。それでも明日リングの木を植える、といった生活感の身の守りにはなりますが、存在の解決にはなりません。原因を知らず盲目のままリングの木を植えることも出来るからです。カテゴリー一群が統合失調した化け物であってはなりません。各部が組み合わせられて体になるのです。切り捨てられようとした部位にのみ本質があります。それが自分自身だからです。

少年よ寓意に目覚めよ

道を準備する者に触れたらすぐに邪魔が入るだろう

死体のあるところには鳥が群がっているだろう

彦根市で売れなかった花見用の酒器とかが三豊市で米とリズムボックスに変わってハーフムーンを東温市に
帰還中

見えない偶像に馴らされて、見える悪霊に無警戒になっている

「国内産です」という何の意味もない表示見つつ食べて居りぬ

ゼカリヤの馬

三色のスオウ

かな

呆気なく散る日に窯を急ぐ かな

呆気なく散る日に窯を焚き急ぐ

呆気なく散る日に窯を焚き急ぎ

桜散る

散る散る散る散る散る

る散る散る

式場は遊ぶ冷たい熱帯魚

交通整理してる葬儀屋の前

前のアルトの後ろ向きの子供と

とんがり山のどれもめてたい

日常は見えないゴジラを見おろして

西日本定食べてる労働者

春ゆくや嘯まずに食べてる昼御飯

春ゆくや松山平野は甘い飯

恐らくは伊方の春も過ぎ行けり

食べるべきではなかった春は行けり

咲くべきではなかった花に風強き

吸い上げる

ストロンチウム

ストローで

作業員ボコボコにして日向ぼこ

雲速し椿は長く咲きにけり

軒下は連なり居りぬ陽を分けて

明るさは黒犬の寝そべる辺り

子連れて来たので番茶出す花吹雪

今夜の月のバナナはおいしそうね

さくらチル チルチルチルチル チ ミチル

散るからだ どうせあたしの血はピンク

春のビール夜空の濁った渇き

「しすせそ」抜かすさぬき親父

たとえば体の中の拒否に出来ない種類のアドレスの発泡

貰ったCDのように放って置かれた春は叫ぶ葉桜

彦根

島々は霧に浮かべり

左側

行く春はヒコニヤンとかと惜しみけり

行く春をヒコニヤンとかと惜しみける

月朧春に濁らぬものありや

対岸は火事となつて居りぬ

たまゆらの甘美音楽のはごろも

偶像に過度の長閑やヒノヒカリ

夢に病んで旅は春野をかけ廻る

桜が済むと青や紫が増え

一八切符の余ったのあげたら若者が毛布持つて旅立つて行つた

桜が済むと青や紫が増える

楽隊のうさぎ券貰つた

ランチはワインが付いて九五〇。自家製麺で、ピザもパンも石窯で焼く。スモークも無添加薄味に仕上がっている。

壁に田中坦造の蔵を思わせる抽象、音楽はベルベットの長尺のブーツがかかつて一気に株が上がる。

歩いて五分、水田地帯の中のglobe座的な麦藁藁葺きを思わせる新築。隣は言語系ラーメンの雄りょう花、フレンチの賄いで人気のコンクリ産院ハナ。向かいはマキちゃん家。

東温trattoriaナポリっ子ワインは合格、麺は三鷹の「江ぐち」に似ている

種インカは葉を出したがスギナの林に埋もれていたのでスギナを伐採してインカの周りに積みウカマウ万歳と唱えた。

という訳でワールドイズコインタウンはソフトヤンキーではなかったという訳だ。聴いたよ。

GudenGuden Morgen

商店が協力して年収一千万以下にすれば・・・という松本の「さわやか脱税社会を目指して」が面白い。大杉的な文体に大衆はいまも触れているのだ。あの頃と同じように。一度いい表情をしようともう永くはない。世界がそこに寄り集まってしまうからだ。

「葉桜の季節に君を想うということ」という本を想い出すこと

独語する気の触れた男の湯がかゝる

独語する男が携帯を持たされている

独語する俺がしやべつてゐる

遮断機が俺の屋根に当たる

Jpopが俺の屋根に当たる

GudenGuden Morgen

蜻蛉の羽の風力発電の揺れは木星に吸収される

固く一方に寄せられた板は片方では塵紙になって吹かれてゆく

防御シールドは攻撃を流れ星とオーロラにしてかわしてゆく

葉校の季節に水を汚しては浄化する

肉はゆるキャラの曲線を画く

葉校の空に季節は青く沈んで水を汚しては浄化し

手からポロリと携帯落ちてご就寝

夢の中の銭湯でいつも隣に居る人と夢の中で今日初めて話した

それから反日のイベントでラーメン作っていた

グラスバイヤーズクラブはカウボーイTRENXだった

楽隊のうさぎは超リアルヤマハ中学生日記だったが浜松餃子が出てこなかった

音楽室の歴代楽聖なつい

鉄屑ひろいの物語は雪とオペルとワーゲンと煙草と生木の薪と

一度飲んだ酒は何だったのか透明な

片付けた部屋にネトウヨの悪霊

排気音頭蓋を走る夜更けの言葉

十字架は棒杭とても訳すべき全て集めて紙に変えたい

半月が太つてくると「マゲダラのマリアが妻」とか出てくるわけよ

〈反目〉は嘗ては最もうつくしい言葉だったダニエル的には

偶像は全て元素に解体したい

奴等が拝んでいる物がある朝消えてたら小気味いいだろうな

それが国宝とかになっても消しちゃっていいのかなまあいいや

拝んだ物全てがトイレトッパーに換わる機械を持つてる

偶像を全てティッシュに代えたい だって普段使うものでしょう

ティッシュはやはり贅沢か南方じゃおしりは指で拭いてたからね

敵の只中を眩きながら行け

反日富士日記さんをフォローした

みずくさの青鷺の骨軽からむ

アオサギの軽き骨水草に立ち

水草に立つアオサギの軽き

数えると六色くらいで描けそうな山

みずくさに立つ青鷺の骨軽し

六色くらいで描けそうな山

映画とは畢竟先延ばしにされてゆく確定申告の春の宙吊り

宙吊りにされ先延ばしされ映画

水はひたすら下へ下へ川へ湖へ引つ掛かりつつ下へ

鳥たちがわたしの肉を食べにくる

遠い音一昨日といい老い?と問い

繁華街の屋上の幼稚園が肌色、青みがかった灰色、赤が勝った朱色に塗られている

雨の夜だしきつと残すがビールでも飲もうかと呟いてみる

がやっぱり立ったままワイン飲んでる

トリスタンとインゾルデは齒が起きましたから梨の花ですエアコン

公園の麦酒は哀し同色の藤と八重とが共に咲きたり

As you know, I have been trying to check all cds before sending you them but I have not been able to do it for years.

I try to find the cause of it. I do have my desk in my room. but it does not work at all. I dare say I have no desk to work.

only bed is there in my room. I am just sleeping in my room once entering there. I need my "true" desk to do something.

I have plenty of time but I can not do anything. long been half-hearted. therefore, please wait for a while.

I will do prepare everything. no, everything is a wrong word. it sounds a kind of mental disease.

I will decide what to do and let you know asap no, asap is not proper. anyway, soon.

between two evenings

いくつかの受信拒否を伴う

透明な円が石鎚から昇ると

愛想笑いはしないと誓った月は

撮影さえ拒否して円から外れ

地球を半周して地中海東岸に戻る

途中、茶髪のアヤちゃんを拾い

チューブから絞り出す黄色を塗った

焼かれた満月、焦げた男らしさ

拭れたチューリップと麦の穂

着飾った夕と夕の間

手話のウルトラマンのイヤリングの

内実を支える対角線が

牡牛のように藁を食べる

黄色が満ちてゆく

満月が壊れたのだ

内実を補強する鳶の足場の鎧が

山の回りに張り巡らされる

秘密基地からサンダーバード二号が飛び立つ

あなたは本当にみどりだったのか

切に望んでいることの表れてはないのか

「あなたにそこに居てほしい」

衣ずれのパーマメントヘアーがパンから逃げる

暗い黒い血がワインから逃げる

追われないまま逃げ続ける

焦げた満月の内部のつかえ棒として子らの串

春は本当にみどりだったのか

最後に残された質問は聞かない

震える

二つの夕方の間に

わたしはあの星から来ましたなどと言ってみる

かっぱの自殺

オリンピックの開会式で「踊るポンポコリン」を足踏みオルガンで弾いている夢

今夜の月はメダルのようでというのはトム・ヴァーラインのソロで

翌夕も月赤くピノノワ野郎も自殺

擁壁の上に満月

帰属意識と知人を排除した表現をここで試しています

矢沢(と綾小路)のなか卯賛美はソフトヤンキーの被曝死を加速させる

絶対にちとせ食堂の方が旨い。野菜は自家製だし。矢沢は可哀想だ。持ち帰りをチンした娘はもつと悲惨だ。自分を処罰したいなら食べればいい。ストロンチウムのロシアンルーレットだ。

満月に雲なき空の濁りたる

満月に雲なき空も濁りたる

最期の夜は月の顔が変わって

最期の夜月は昔の月ならず

満月に白濁する夜空を飲み

白湯の空満月を浴びて飲む

実るほど頭を上げる麦穂かな

立派な歌人や俳人たちは「死にたい」とかは眩かないらしい

元気だった頃

元気だった頃

闇は僕を怯えさせなかった

ストロンチウムの一粒が這入って

罪はようやく形になった

きみには鳥が来てくれたが

僕には月が来てくれたのだ

僕の部屋からは寝ながら月が東から西へ渡っていくのが見えます

僕は月と話すのが好きです

そろそろ言い訳も尽きて

そろそろ言い訳も尽きて

あきらめきった人生の

それにつけてもデザインの多様

ひかりの実を刈り

七日目の畝を歩み

携帯を見ていない間だけ

少し見る花

「つぶやく」という日本語は「神に不平を言う」というような時に使われる言葉だから「Twitter」は「ブツブツ」とでも訳すべき

むしろきみが自分では在ると誤解している自己の想像界の独語あるいはブツブツ交換なら「mumbler」だろう

呟きは呟きについての呟きとしてアカウントの外で、外に於てしか存在しない。アカウントは存在しない。

ツイートには基本的に「~~は~~」しか存在しない。現存在は他者の欲望を生きているからだ。

ホドロフスキーといえば、ラリーズのマネージャーやつてたジムはどうしたかな。

満月に雲なき空の濁りたる

満月に雲なき空も濁りたる

最期の夜は月の顔が変わって

最期の夜月は昔の月ならず

満月に白濁する夜空を飲み

白湯の空満月を浴びて飲む

「希望が持てないからと戦わなければ不戦敗です」

「君だけ連れて引越したんだよ」

欠ける月わたしは漁に行ってくる

詩を殺す女の椎茸の赤い

西の空に遠ざかる独り善がり

偶然字数が合ったら定型

肺は月市 肉ムーンマーケット

癌は商品の山が病垂れ

タヒさんが下敷き翳して雨の中

口犬 口包口孝 口玄

hard rain

of white

risers

earthquake

falls

on to us

初夏の割れ目には墓場ヒヨロムラサキ

きみの多すぎる固有名たちが朝の岸边に打ち上げられている

八重の花びらに吹かれている

藤棚の下八重に吹かれている

藤棚の下八重に吹かれている日

藤棚の下八重に吹かれて熊蜂の音幾筋か流れてをりぬ

藤棚の八重に吹かれて熊蜂の音幾筋か流れてをりぬ

傾いて周る回る丸明るい

今頃の朝が一番寒いです

地球の平和ではなく宇宙の平和

一人になったら

一人になったら

背広を買う

光の多すぎる空は撮らない

一人になったら

柿の新芽を筆る

虫は恐れない却って友とする

一人になったら

家賃を払いたくない

酒は飲まないと思う

読みが外れたね

戦人の姿勢で島をスライスする

二十五万を水没させる前に

電話してくれればいいのに

油絵具のような生乾きの粘土が哭く

奇跡を見て変わらない

肌着色の人格

腰の碎けた鴨の緑金

死にかけの女が着飾っている

腰碎けの安息は

積極的な姿勢を保てない

胎児に関して

調子よく合わせた話をするように

くだけた話はしないように

一人になったら

歌う

一人になったら

嵌め込まれた子供を忘れる

矢のように尖った肩の

ピラを配られ

クリミア一九一四

金があつたらしいワインを買いただけだ

バスドラのダブルキックを手に入れたので貧乏ゆすりしてみるか

傾いて周る回る丸明るい と虫たちの通奏高音

虫たちの通奏高音傾いて周る回る丸明るいと

もしお金があつたらしいワインを買いただけよと唄うキヤス・ブルーム

舌平目のラーメンシタピラーメンジームはすぐに下火ラーメン

色彩療法の整体は、色の波長を使った、謂わば光の鍼みたいな考え方で、ゲーテ以来の色彩論の極北だと思
います。

今治はかなしい

脳と皮膚は一緒に生成されるので経絡で繋がっている

皮膚は脳と同じ

皮膚に触るとは脳に触ること

心を守るとは皮膚を守ること

クイズ 幼稚園で既に篤心の駅は？

ドイツの都々逸ど一言う集い？ ついついどついて同意ツイート

顔面神経痛の韓国人演奏家といえばチックコリア、ではドイツに行くと心臓がむつになる政治家は

ABじんぽん@isukasaxl_x

小説をa産後と読み解きぬ

これは可燃ゴミですかねん @knicall

被験者としての地球に触る助手と助手のオーリングをテストする整体師が必要なのだ。つまり民主主義単体ではなく、あと二つ人間以外の主体が要るのだ。

see exodus | 〇

クイズ 太った人は会瀬に走るか歩くか

My Top 3 #asfjm Artists: gun club (33), soft yankees (13), memberabitch (11), (嘘) ガンクラブ聴こえ (Twitter) やつて
るみたいな人の真似

鼻血がなんとか brabra (工作員みたいな人の真似)

アスペの呟きや

人間もどきやろ

名前は？ 一〇 足す 一〇 はこれいくつに見える？ いえは どこ？ 死にかけでもつまらない夢見てるって知ってた？

「Twitterやってる人みたいになりたい

告知とかしてみたい

どこをどうぶったぎったらできるようになりますか

バイパス通しますか

My Top 3 #lastfm Artists: EXODUS20 (33), アイドルの何とか (13), マリア 023(11), (嘘)

ジャスミンで屋根覆いたいな

ランデブー@tsukasaxl_x

阿佐ヶ谷でバカ川がなんか眩こうとしていたが水際で阻止した

奉還町でバカ川がなんか眩こうとしていたが実力で阻止した

でもどうしても、焼鯖そうめのやり方で油そばを作ってみたらどうかと琵琶湖が叫んでいる。

デュッセルドルフで墓川の暴走を止めさせたくないみなさんは、tori.kudo@ikraut.comにメールください

△田舎▽二首

家内行かないかな内科なかなか無いかな七階かな階下かな

仲いいなイカ貝買いな家内泣かないかなかなかな哭かないかな

今でも思い出しますが、夫は悪戯を繁くする人でした

かなかなが哭いたら泣くだろういつかどちらか死んで一人になったら

黄ニラ、黄ニラと云ふから何事かと思つたら黄色いニラだった

ゑでいまあこんの新作は窓辺に残った金柑の木にジャスミンが咲き溢れるようだがそれにしても四阡円返してくれないかな

きょうわにしむらと神戸で夜桜と慶応病院の唄をやります。にしむらわしえずに提供したきよくに歌詞をつけてうたうそうです

にしむらわほんとうわうたうのがすき倉本君わ最近歌うたうらしいゑでいがゆつてた色を失ったイヌタデがはじけるみたいでこわい向かいわふだんわいやなやつだが「ポコポコ」わ名曲なのでハグしてやりたい灰のにわそういうきよくがないなアカメガシワだらけのやまゑでいがうたうと言葉に力が付くと終わると歌詞を忘れるピカのうたに「咲いてはいけなかった花」という歌詞があつて驚愕した

太り月死を身籠るや鳥の腹

山は愈々藤色の終わりだな

明日は礼子がとうとうまた歌うのだがネジマキカフェは客が来そうにない。いい場所なのに!kath bloom(カ)こでやるつもり。愛媛の中で東温が一番若い女性の減少率が低い。他の自治体は人口減で消滅する。愛媛新聞一面トップ。これは東温Utoriaの所以か。「いいボーカリストを見つけるのは簡単だ」といった英文翻訳調の文体を吉野川沿いの山はしていない。

古井の文体で弾く一弦琴

淡路島を縦走するまでに答えられなかったら大変なことが起きる淡路島を縦走するまでに答えがなかったらどうなる?x10 大変なことが起きる

鏡を見る目的は統合ではなくセルフサクリファイスのために自分に向けられる「破壊」であるべきだ

maier shalal hash baz 二二〇五二〇一四 Berlin

一

スクリーンにジョン・ケージ「433」という表題が投影されカウントが始まる。ステージには誰もいない。一秒後に、客席から九・一・一・三・一・一秒ごとにノイン、アインス、アインス、ドライ（この「の」発音が難しい）、アインス、アインスという弦音が聞こえる。四分三三秒で一七回目の弦のサイクルが終わり、終了。

二

「塩ヶ森」のタイトルが映し出される。演奏者は客席から裏を通ってステージに移動し、「塩ヶ森」の演奏を始める。スクリーンは演奏風景に切り替わる。四小節目の二泊目にリズムが遅延する箇所があり、それに合わせてプロジェクターの投光部にガラスコップ等の素材を当てて映像を歪ませ、あたかも演奏者たちが水没したように見せる。五分ほど繰り返し返して終了。

三

「conductor(s) Dirigenten」演奏者たちはステージに坐っている。一人の演奏者が立ち上がり、インタビューが福島第一原発から自宅までの距離を訊く。その演奏者の指揮の下で全員による短い即興演奏が為される。複数立ち上がることもある。演奏は立ち行かない。すべての演奏者が指揮者を経験して終了。

四

「遺書 a will」遺灰を公衆便所に棄ててくれ、という歌

五

「安倍ちゃん」

安倍総理の「the situation is completely under control」のループに合わせて「私の体は日本のようだ」という歌詞が唱われる。

六「揺れ戻しに」

七「Fridays」

八「去年の秋」

九「エチオピア」クラフトワークヴァージョン

おしまい

HAUのジャパン・シンドロームでは客席が高嶺の避難所のインスタレーションだった。ああいう人たらしの体力にぶら下がつて揺れるだけだけでも、あんなにフクシマに近い場所で演奏したことはなかった。一番遠いのは福島県人だろう。フクシマとの距離を巡って、遠いけれど生々しく、近さへと遠ざかりながら沈んでゆく、とはハイデガーか超ひも理論か。人間は現象を時事ネタにしてしらを切り通すつもりだ高嶺の良さは「在日の恋人」以来、しらを切り通さないベクトルにあると思ってきた。今回もそれが見えた。

アートで田んぼ二〇一四

明日は「アートで田んぼ」という、オトノタニよりユルいと言われてきたその裏でどんどんテーマが先鋭的になってきているフェスからの三回目の招待です。今年はリズムボックス対バスドラダブルキックで、リズムを土に刺します。バスドラダブルキックの人はすぐに疲労困憊して土に倒れます。それから這って後ろ向きに麦藁の玉を蹴りながら旗のところまで転がします。フンコロガシが夜中に後ろ向きになって玉を転がしながら直進するのは太陽や月ではなく、天の川銀河によって方角を知るからです。

宇宙史はすべて誤謬、と言う埴谷さんに励まされて言ってしまう、農業史もまた誤謬なのであって、ほんらい、土地は産出的であるかそうでないかの二つしかなく、弟殺しによって呪われる前のそもその始まりは、ただただ産出的であつたのである。それに、農業者の基礎体力や整理整頓能力を賛美するのは、自衛隊員のそれを言挙げするのと同様の本末転倒であつて、こちらとしては、切り取られた近代の尺だけで、オキユバイによって不法占拠した空き地に肥料袋で野菜を栽培するアクティヴィストの群れを、歴史の筋肉の美として賞揚する訳にもいかなのである。雑草から麦が

生まれたのではなく、麦から雑草が生まれたのだ。牧畜もそうだ。豚は家畜化した猪ではなく、猪が野生化した豚なのである。抱きつき獵が残酷なのは、近代化した猪に自分が豚であることを思い出させてしまうからだ。

前年までは近代における草刈りの疲労を微分することを考えてきたが、今年は「疲労」だけに絞った。「農耕など、労働がかもす二項対立の構造を捉えることでアートは日常に帰る。」という二〇一四年のテーゼは圧倒的に正しい。労働もアートも資本主義の幻想だからだ。その上で、誤謬の宇宙史の中で「帰るべき日常はあるのか」ということがテーマになるだろうとばくぜんと思っていた。

リズムボックスとバスドラのダブルキック、という二つの素材が偶然手に入ったことで、それを「疲労」に使うことにした。貧乏揺すりのように両膝を動かすことで、打ち込まれた機械のバスドラの速さにある程度までは付いて行ける。その後に「疲労」が来る。倒れ込んだその衰弱体から始まる。アートのようなものがほんらいのデザインとぶつかる時に、我々はほんとうの卑屈さを手に入れる。フンコロガシが天の川銀河の光を頼りに後ろ向きに直進するナビゲーションシステムを持っていて、我々はそれを持っていない、という現実が日常である。旗を立て、旗のところから方向を持った音が鳴らされる。それを頼りに竹で編んで麦藁を詰めた玉を後ろ向きに這いつくばって野生化した家畜のように後ろ足で転がした。フンコロガシは誰に向かって糞を転がしているのか。それは銀河の先の、遠いけれど生々しいあの始まりに向かってではないのか。

いい風

Tweetなどしたら汚れる

再発行出来るものと出来ぬもの

メタには絶望が似合う

昨日の夜中、テルマエロマエⅡを観ている間にミエコ姉妹が死んだ。家には行くなと言われた。死体は痩せすぎだから見に行かない。最期に会った時は生きていた当たり前だが

夜中なのに外で人の話声をする

フラメンコのピアノを弾きすぎて肋骨にヒビが入った

犬の耳をつかむ者

見送りのゲートに夏至の空白き

必敗の歴史霞んで枯れエリカ

(僕はまた走ってみた)

僕はまた走ってみた

灯の消えた商店

田んぼの畦道

結石を砕くように

ホタルなどとうに死に絶えた夜に

廃部になった部室に忍び込み

儀式ではないと言い張り

渡されたバトンを

脱いだ襦を

走者走者走者

蒼社川

のメロスの入水

はいまマリオネットのリンパにぶら下がり

サーキットをこなす夜中の月の出の濃い

夏至

齧齒類決死隊消したい部室の

葬式は出しません

ノイズ

蛙の

水面に忍び込みぶら下がり

儀式めいて

結石を砕く

痛みまで儀式めいて

廃部だってよ

盆地の出口に氷鳥

おいしゅうございました

部落から部落

城から城

月桂冠

サッカー部はきれい

いつの間にか走らされているだけだから

ツヴァイクは好き

走る物語に不可欠な機能不全家庭の

さらっとした捨象

スマートな路面電車

吉備団子を投げる株主総会

腕時計の太田昌国

猪の紋章

喪章を襷に

弾くのはアラベスク

誉められないから走っていた

まずうございました

砕けた足首

サッカーくらい

久留米の総体で

同じ名前の人がいて

追いかけていたら月見草が咲いた

真のデカダンとは

コロシアムの周りを八回回ること

エリコさんの周りを八回

保険が出るように

角笛を吹きならせ

震わせて

もう眠りながら走ってみた

精神のリレーは断ち切られた

手を入れた植木のように

わが生はと歌った

夢はリンパを駆け巡る

鼠径部の廃部

囁る囁る夏至動物夏至夏至齧齒類

下司君

いのち

ちのいろいろのち

あかいああ

爬虫類の人類は米英のことであるのに

太田昌国も太田竜もそれを理解出来ずに

かくめいめくか

いきなあな一きい

などない

アドナイ

ドアない

フラメンコのフランコ奴

この下の臓器は何ですか

肥大した齧齒類が肋骨のなかに住んでいて

齒朶羊齒

坂道のシダ類 fern on the slope

Zoster

ういるすが神経を食べる

脱獄囚は窓にたどり着いた

目から飛び降りる

自由という堀割

報酬は受け取られた

小遣いのかたちで

闇のフォーク

薬小屋は使い捨てられた

齒朶の帽子

うたはゆく

下水管のなか

蓋から飛び出す

マンホールの意匠を振り返り

け

と眩き

ういるすはゆく

なみだのそとへ

ノアの額に雨粒が落ちる

「ドアの前にひび割れがあったよ」

カタツムリの居ない地上で

正史を変える貧しい想像力が

日の延びた剰余に怒鳴られ

戦争前の反戦論のように

当たり前の黄昏の

猪口に落とし込まれた闇

もうやめよう

骨盤を開いて映画の地上に還れ

植物も動物も

全てが嘘の溪谷や丘

ここはロケ地なのだ

と思い込むことで

喪われた女の

留守電の声を聴く

彼女の居ない地上で

カタツムリの残響を聴く

隔離された夕方

隔離された夕方

調合の違う香の

適法ではない夕闇に

わたしたちは立って

ブルースのらい病を唄う

一つの石のために

流れを変える川

よく見るように

全身に広がっているなら

それは清い

セクハラについては理解するというより地殻変動的な感性の転換を経ないと男性は駄目みたいです。女の人ととことん話すと、自然に変わっていくものです。それは植民地主義とセットであると考えます。なにをやるにしても、その二つの視点を抜きにしたものは魂が抜けています。

朝日新聞土曜の迷路の解を求めるに当たって、男は演繹的、女は帰納的であった。ちなみにSUDOKUの答えは一六です。

背中の人、胸の人などと言っていたが何のことはない、ヘルペスが肋間神経を食っていただけの話だったのだ。

Awesome小寒

山から小僧がとんできた

よく寝た夜落ちている書きかけの朝

肉の書き板

金子

この、改変期という歌は、時間を遡行することが正しい清めであるという考えに貫かれている。

修学旅行のバスガイドに唱わされる「四季の唄」よろしく、三番まである歌詞にそれぞれ春、冬、秋、と、季節が逆順に付されているのは、歌詞にはないけれども、今が、逆に、存在の苛酷な「夏」である、ということなのだろう。時間を正しく遡って辿り着くのは「エデンの園の真ん中」、命の木のある場所である。そこ「に」消えてゆく「涙」、という表現が、黙示録の最終部分と重ね合わされる。

Rev. 21:4「また『神』は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってください。もはや死はなく、嘆きも叫びも苦痛ももはやない。以前のものは過ぎ去ったのである」。「時計の針」、「ラジオの声」、「機械の音」の「清らかさ」といった、失樂園から復樂園への憧憬の、群馬の中学生らしい素直さに僕は泣き、同時に、その後の彼を覆った暗黒の巨大さを想う。

豊田 串カツ食べるかx2

歌詞は必ず二度繰り返される。「きみたちのうち誰が。思い煩ったからといって自分の寿命に一キュビト(約四四・五センチ)を加えることができるだろうか」、とイエスは言った。時間に距離を加えるには、ちがう次元が必要だから、それは無理だ。

けれども、ひとつ、言えることがある。二回目を歌う豊田が、そこにいるときほかのどんなものも豊田にかき加えてそこにいることはできない。一回目に一ミリでも加えることが出来たら――

歌詞をかさねあわせることによって生じる、二回目のそのずれに豊田は寿命を賭けているのだ。

おはよう、嵐の夜。おやすみ、あら探しの朝。

岡山で暇だからゴジラ観る。札幌で伊福部さんの手書きのスコア見たらタイトルがロシア語だった。彼のギリヤークの歌曲集にオロツコの女の子に振られた、というような歌があり、(アイヌのアの字もない)そのタイトルはアイアイゴジラ、みたいな語だった。

一日の悪いことはその日だけで十分です

入道てふ訳でもなくて天暑き

似た節でかなかなを待つ虫の有り

似た節でかなかなを待つ草の虫

ひぐらしの哭く間だけ黙祷す

ひぐらしの哭く間だけ項垂れて

札幌の reggae の DVD を通して観たが、北海道はもう、何をやろうと、何から逃げようと、いかに耽美に走ろ

うと、アイヌを通してしか語れないと思う。僕の愛する札幌の友人たちは先住民の地層の上で揺れているだけなのだ。

普通選挙がファシズムの温床であるのであれば、もはや政治そのものを矮小化するしかない。かといって無駄な哲学は避けたい。そのために余生を人類史の矮小化に賭ける。人生とは脳との駆け引きに過ぎない。脳は無意識を引き連れ、知に繋がっているが、ネガティブで、口応えしないから、僕が必要なのだ。

脳は無意識の反応は内臓に感情に表れます。それを私たちは自分自身だと勘違いしている訳です。消極的な感情を学習したのが「うつ」「彼女のむかしのうた」です。認知行動学的に見れば成熟したうたが、「自分」「自分」層に評判が悪いのはそういう事情によります。

Claudia says the town is magical, the Crowley Theater, Marfa

二〇一四年一〇月、マヘル三〇周年*30th*のための宣伝文

さみしきには名前がないというけれど、さみしきは腰痛をひき起こす。大抵の痛みは感情に変わるなにかしらを無意識が変換しているから起こるのであって、骨が歪んでいるからではない。それに対処するには一人の人間の中の広範囲のレイヤーにアプローチしなければならない。N.Y.で向井とやったときのZNCKのキースのノイズはまさにそういうものだった。同時に複数の意識レベルを扱うこと、それは中崎が抜けたあとのメタ・マヘルとでもいふべき演劇的展開に示されていく筈だった。

いままで言われた感想の中で一番嬉しかったのはアンデルセンズのつび一の、マヘルには限界がない、という言葉だった。演奏の善し悪しは抜きにして、それは、矢の時間軸を保証するものだった。それはシステムやフォーマットの問題でさえなかった。楽曲という言葉を使うだけで萎びていくものをたくさん見てきた。完成されていても、それらの音楽は死んだものだった。敵味方が消失しても、その本質は変わらなかった。僕はメタとクリシェを操った。

マヘルは、船だった。自分のものではない富を載せてそれは後期資本主義下の人類の海をはしった。謙遜な人々だけが残った。それは言うことを聞くという意味ではない。言うことを聞かないことで寄与してくれる者もいた。たとえば伊牟田がそうだ。鈴木卯多もそうだった。

石橋英子が「もう死んだ人たち」というバンドをやっているというのを聞いて、僕はジュディ・シカゴの「デイナー・パーティー」を思い出した。それはフェミニズムのパフォーマンスではなかったようだが、いずれにせよ、そこに居ない者と食事に与（アヅカ）るとは燔祭の食事の謂に他ならない。マヘルの死者たちとは、そのような意味でテーブルについている者たちである。彼らの書割りを作ろうかと思っただけのためである。あるいは棺のイメージである。集まった人たちが追悼の演奏をしている。棺から出て来た僕が駄目出しをする。リズムがそこだけ遅れるべきなのかなどと。

DECADES

decadeといえばボウイのロウにそういう曲があり阿木さんが頹廃と誤読して受験英語レベルでさえないというso farロックマガジンではあったがその頃イーノのアナザーグリーンワールドブライアンフェリーのインユアマインドとか立て続けの前夜を僕らは阿木さんを馬鹿にして乗り切ろうとしておりコンクリに座り込んで延々阿木が阿木がとガセネタを交わしヒューとblikeとかも阿木さんデビュー曲とかウオークマンでビビヒと聞かせあっていたしそんなdecadeであつたわけだがやがて個人がシーンを俯瞰できた時代は終わりそれでも網羅しようとして阿木さんも空中爆発して「みんな」というものが終わったところにマヘルが始まったわけだ松岡さんが阿木さんと間さんを同列に処遇しているのは大人だということだったのだが大里などはそこらへんに一生をかけてしまったわけでもそういうのから離れることでマヘルが始まったわけだが1984であつたのだがdecadeというなら春の祭典の一〇一年目というのこそ二〇世紀のコラボの総括であるわけとくにニコライヨーフがブラヴァツキー夫人のほうヘイインドへ行つたこととかが松岡能勢大木さん的には受けるわけだけれどもだから三decadesというこれはあまり意味がなくなただ生きているうちにマザーズ集みたいないないことができるのはこれが最後というつまり四decadesはありえんというようにすることで福岡さんが企画したわけだけれどNYで岩田が中崎にメールするよとかいったものの中崎の鼻笛につづく鳥笛ピックみたいないなこともしちゃうわからず三谷はすっぱさだろうしきてもギター弾きたがるやろなと思うし死んだやつらはなんだかんだいっても死んだやつらだとしても阿木さんはえらいと思うよビートたけしだってテレビで勉強してたやんスマップはどうかわからんけどそれやったら演奏しながら音楽勉強すりゃいいってことにもなるしみんな働いてて忙しいんやからそんなもんやろ人のdecadesなんて

九月一日 久しぶりの西海岸だった。ぼくはピーター・フックが幻に終わったジョイ・ディヴィジョンの「ラッシャー」のことを歌ったときの、きやりふおーにやーという音声を口の中で転がしていた。CARATSでの主催は故ジェームズ・テニーの奥さんだったので急遽ケージの四「三三」をやってみた。九一・三二一という数字がスクリーンに現れてそれを客席から一八回呟くことで曲がちょうど終わる。飴屋さんの時とかドイツでやった時はさっぱり受けなかったがここでは客の大合唱となり、終盤に近付くと絶叫する者まで現れた。デヴィッド・ローゼンブームも居た。まだ若々しい感じだった。小杉と友達なんだけど、きみは？みたいなことを話した。マヘルは地元の人々一〇人くらいで演奏した。フェリーボートの曲とかをリック・ポッツの漫画付きで可視化してやったりした。ジェームズ・テニーの奥さんは、この学校の卒業生が二人も入っている、と得意気に教えてくれた。クリス・コーエンは、カーテンズ以来のストイックな生活習慣を守っていた。リック・ポッツは相変わらず親切で、今回も泊めてくれた。DO NOT GO TO STARBUCKSのマグは売り切れた。

SKYLIGHT BOOKS

九月九日 LAの本屋でライブしていたKath Bloomと会った。LAじゃいまいちばんイケてる本屋だ、とリックはいうが、ナパーム片岡そっくりな日系二世がアート系の売り場をやっていて、ノースウエストではただ同然で配っているようなvineが三〇ドルもする。店の前に半裸の女性のホームレスがいて服を脱いだり着たりしながら道に寝ている。彼女と寝つころがつていると、「ナパーム片岡」が「工藤さん、だいじょぶですか、もう始まりましたよ！」と流暢な日本語で知らせに来る。Kathは心配無用の声をしていたので安心して店の中でも寝ていると寝転がるな、と親切に助言される。ジェームズ・テニーの奥さんに本を一冊選んでもらって買う。

TEXAS

ジェームズ・テニーの奥さんが夫のCDをごっそり呉れたので、ピカドンを大音響でかけながら砂漠車でメキシコ国境近くに向かう。少しでも水のあるところには低木が広がり町が出来ている。一人で歩いていると頭上に秃鷹が舞うので消耗していることがわかる。突然ミラーマンが現れ、プラダの店

がある。DHOしか観光資源がないのだ。列車は長くて、一キロ以上はつながっている。それに飛び乗って旅をするらしい。Steveの友達もそうしようとして足を折り、道に転がっているところを救助されたい。かれは轢かれた動物の皮に脳味噌を搾りこんで服にしているらしい。などと話しているうちにマルファに着く。クロウリー・シアターは魔術師ではなく、豚の競り市場だったのを改造してホールにしている。二千人の町の半数近くがカウボーイハットを被って観に来ている。マヘルにはフルートが3人もいる。あとはバイオリンとか。カトリックかなと思って「boogie」をやったら子供が喜ぶ。コロニアル様式のストレート・ストリー・みたいな家に高橋朝と泊まる。かれが寝言で嗚咽して泣き喚くので眠れない。雑草の代わりに雑サボテンが生えている。シャワーは水しか出ない。ラジオをひねるとどこもスペイン語の音楽である。

MOCAD

デトロイトはヤンキーの町である。どこにいても話しかけられる。ズボンのチャックが壊れていて、飴屋さんの時は全開にしていたが、とうとう金具が取れてしまい、流石に穿けなくなったのでホテルの前の作業着屋に行くと、警戒が厳重で入国検査のようだった。公園でズボンを着替えて古いのを捨てて知り合いになったホームレスと大笑いしていると、主催のグレッグが迎えに来る。かれはガレージ系の通販が歩いているような歌もの好きのおたくで、デトロイトは好きだと言う。言っているそばからテレビで先ほどデトロイトのレストランで銃を持った男が立てこもり云々といったニュースが流れるが、その店はこちらからそれほど近くはないよと言って平然としている。ベニユーは美術館で、「プレシヤス」みたいな黒人の警備員が働いている。プリンセスドラゴンマムも参加した。シカゴから来たチャーリーブラウンみたいな友人の奥さんはバンジョーを持ってきていたが本番直前に恐怖に駆られて帰ってしまった。グレッグのリクエストで「アザゼル」をやったら、それまでブスとしていたホームレス風の男がほめてくれた。シェシズではストウー・ジズのコードで弾いてみたが向井はわからないようだった。

CALVIN

人の家の庭で演奏した。少し太ったキャルビン・ジョンソンが白いワイシャツをだらしなく外に出して登場し、昔よりハイトーンでやあ、ぼく、キャルビンだよ、覚えてるか？みたいな口調で話しかけてきて、さんざんツーショット写真を撮った。昔はアメフトのヒーローみたいに苦みばしっていたのにどうしたんだいキャルビン。×に敬意を表してルート五を演奏した。キャスも来ていたが、演奏には加わらなかった。彼女は、ラリっていた。

あとは、木を揺らしたりしていた。

東温市

夕方の放送で牛淵辺りに裸で自転車に乗った不審者が出たから気を付けろと言う。背中に天使の羽をつけているという。女子高生が話しかけられたらしい。別になにもしないらしい。同級生の窪田君かもしれない、と思った。窪田君はウィリアム・アイリッシュの「ハローニューヨーク」がかったいいと言っていた。

NY

ザック君の家に泊まっていたとき、アーリントンがザクロと水菜のサラダを作ってくれた。イヴ・サンローランのバッグや靴にかれのデザインが採用されて、田尾君みたいになっていた。春の祭典の挿絵を出版するところだということで、絵をたくさん見せてもらった。ニコライ・リョーリフについても意見が一致していた。傍らではジェレミー君がホドロフスキー本を読んでいたりして日本とまるで同じなので、われわれは後期資本主義に飼われている家畜だと思った。

ニューヨークでは最初にケージをやり次にスウィート・ジェーンをフラメンコでやった。スウィート・ジェーンの冒頭で僕は「ハローニューヨーク」と言ってみた。声を通ったかどうかはなかったのもう一度「ハローニューヨーク」と思った。それでニューヨークは充分だった。僕の夢はひとつ叶った。

春の祭典

布団が西部講堂か吉田寮みたいに積み上げられている。大木裕之がパンツとか本とか小銭とかバッグの中身をさらけ出してへたり込んでいるがよく見るとニジンスキー風のタイツを穿いている。武将風の衣装をデザインした東京の青年が、ひろめ市場の菓焼きいいですよ、と教えてくれる。実験君と呼ばれている青年が知らない飲み物を買ってきてくれるゴミ屋敷で、バリ公演も夢じゃないと盛り上がった去年の秋。一〇一年目の今年はた

だストリートミュージシャンが歌っていて、ダンサーもオーケストラも布団に伸びている。

高知

高知といえばジャズ喫茶木馬である。あとは南国インターの維新バーガーとか。須崎ラーメンは行かないうちに針治療は終わって。

MONTREAL

花は、多すぎた。瀬戸内海を空から見ても思った。当然家と家の関係もカナダより消耗する。ジェイコブ・ウレンにそういう主題はなかった。

mount royalでは鳥も木も花も、趣味はいいが少なかった。God Speed Youみたいに単純だった。クラウディアとジェイコブと、中華街に行った帰り、乞食がまっすぐ目を見て19歳からの自分の人生を訴えた。ノートを一枚、二〇ドルだったが、冬は寒かろうと思って、やった。god bless youとかは言って摂氏1度の夜に消えた。

安佐南区

真砂土の被災地を見て回った。祭りでは咎められないのに、救援の軽トラの荷台の男女が捕まったと聞いてぼくは憤った。アビエルトは床から砂が湧き出していた。フラメンコ公演の直前に、リズムが分かって世界が反転した。ギターも一弦を解放するやり方なのが分かった。フラメンコとはロルカ生誕祭以来の付き合いで、そのとき太田昌国から日本は植民地国家であるというていねいな説明を聞いた。土俵いが済んだ側溝に野良の子猫がいたのでおにぎりをやった。

中川君

アーバンギルドで中川君の企画したメタなタイトルのイヴェントに、まだタイムラグの残る体調のまま車で行った。消耗していてあまり参加してくれ
た人たちをかまう余裕がなかったが、自作曲ではなく、フラメンコの反転を体験してもらうことと、ジェームズ・テニーのメソッドを試すこと、ギリ
ヤークの曲をやることを企画に対する主な返答として持つて行った。近所の小学校で高嶺格の芝居をやっていたが日にちを間違えていて観ることがで
きなかった。知っているスタッフがいたのでどんなことをしたのか詳細を聞くことができた。移民が主題になつてきているらしい。奥さんがベルリン
に住みたいというからだろう。ハガさんと川手君が住んでいる北白川の家に泊まる。高木薫も来て、沖縄の頃よりずいぶん立派な表情になつていたの
でうれしかった。

三匹の暴風雨

琵琶湖の周りにぼーとふーとうーが住んでいました。ぼーちゃんは彦根にアシッドマザーテンプルを建てました。ふーちゃんは近江八幡に酒蔵を建て
ました。うーちゃんは草津にうさぎ小屋を建てました。台風が来て、残つたのはどれでしょう。

otonotani

赤い疑惑の代わりと思ってフラメンコのsweetjaneをやった。京都では参加者がsweetjaneを知らなかったが、この客は一応知っているようだった。
ザック君宅の録音の時は、pslm for youとか僕自身でさえ覚えていないような古い楽譜を渡され、アドリブまで覚えられていて、ぼくはやることがな
かったが、久保田君はザック君やモントリオールのときからずっと居るので、ぼくのようなソロを弾く癖がついてしまい、なんとなくステイブレイ
シーのセクステットばいことになっている。フェリーで来たのでぼくの交通費だけでギヤラは飛んだが、みな遠方から来てくれて、感謝している。翌
日はひたすら蕨の根を叩いて粉にするワークショップに参加し、ワラビもちをもらう。ぼくはぼぶらきんの「わらびもち」という曲がとにかく名曲だ
と思つている。和歌山にしていると聞いていたので下司君に企画してくれと頼んでいたが愛ちゃんがまた大阪に戻つたのでだめになった。彼女と茉莉と京
セラのピッチでやりとりしていた音源は変換不能のファイルなので、なんとかしてCDにしたいと思つている。あといま作っている作品は、アンソニー
君というオーストラリアの青年が丁寧に編集したサヌルリムの「虹」の大久保路上演奏版ヴァイナル、ザック君の勝手なミックスによるカセット、な
どである。otonotaniは、夕食のリハの、瞬君のウッドベースの最初の弓弾きが一番良かった。あやちゃんは本田君の変貌をどう見ただろうか。

高校の世界史の教科書の一二月党の写真を探しているんだけど誰も持っていない

重信川が氾濫している

KathBloomはユーゲでもやりたかったけどビザの関係で無理や

難波屋はかなり貴重や思うて

ブルックナー脅迫いいじゃないか自分に厳しければ

鬱屈

目玉に触っているようだ

weird

マキードーラのブルースと友達だという男がイシユウの後寄ってきて、自分のレストランにみなを招待するという。岩田は喜んでじゃあ家族と歩いて行くよといってすたすた歩きだす。キースとザックは、あの男はやばい、コカインを売りつけるつもりだろう、といって急に渋りだし、残された問題は岩田家族を救うことだ、ということになる。ザックはおたくなので岩田のLPのこともよく知っている。自分が責任をもってかれの家族を救う、と意気込んでいる。店に入ったら最後拉致されるぞ、とキースもいう。車で店に乗り付けると岩田はいない。キースと店の男は公論になり、あいつは汚い言葉を使った、などと憤慨している。そういえばザックはそういう言葉を使わない人だ。マキードーラ系とは世界が少し違うんだなと理解されるが、ぼくはそういうのは慣れているから一人で話をつけてくると言って、もういちど店の裏庭までいってみると、岩田家族がのほほんとムール貝を食べていて、これ、おいしいよ、と言う。経緯を説明し、きみといいつもこんな感じだね、という奥さんと娘が大笑いする。岩田には米軍キャンプでぼくが無免許で事故して銃を持った兵士に囲まれたとき、身代りになってもらった恩義がある。中崎にはメールしとくよ、とかれは言う。こんど日本に帰ったらやきものをしにくよ。ぼくは店の男に、こんどNYに来たら寄るから、とハグして慰める。he is weird といふときのマクラウドの口調を思い出す。weirdには二種類あるんだよ、と長谷川に説明する。やばい、とかっこいい、ね。紙一重だからね、ブルックリンでは。

広島の前ミクシイで一と耳に入ってきてそのままコンフォートホテルの朝のボルシチでした。

琵琶湖沿岸のジョニー系で終わりにしましょう濃縮ストロンチウムは。

NOPINは子規を想わせる愛媛のほりだ夕飯分もラップして。

クイズに答えて小豆島に行こう！

世界を支配しているのは？

一神

二悪魔

三人間

無事に悪魔と答えて小豆島に渡った墓川は「シスセソ」に盲目にされるが「イウエオ」のよって豊島先生の乳で目を洗われ二四の複眼となり蝙蝠のようにはたばたと夕空を飛んでいる。盲滅法のかなしみは折れ線で記録され、数値化されることで痛みは消えるが目の針は残る。

間違えて人間と答えてアメリカ県米子市にデイスバッチされたお米は監視カメラを使って映画を撮らされる。主題を家族愛と入れ替えるのが主な仕事である。充血したいなさんの眼がつぶれ、渡航者たちは海の荒野で渇水のために鳥葬されてゆく。夜中に上陸出来てしまったのは希望を捨てず、家族を守ろうと決意していたからだ、と国産米の一粒一粒に書き込んでいく。

王道

僕は王道に行った

王道で僕はファンタグレープの五〇〇gを一气飲みした

そのあと窪田君と松元君と「あたりや」で氷スイカを食べた

文化祭でこの曲をやりたいやつがいて伴奏を頼まれていたが

僕らはさらに「かめ」の焼きそばを食べに行った

探りがたきは王たちの心

僕らはなぜ削り節のダンスを見ていたのだろう

滅びに至るクロスロードで

自分より大きい者にとって汚れとは

自分より大きい者になり過ぎて

自分が偶像になっている

自分を中傷する

貧しさコプトーコス

を強く意識している

心を煮る

ちまたの上手で

（人が過ごしている時間の）

人が過ごしている時間の

食材のような色をした距離を

同じ熱の黒が千年を串刺しにして飛ぶ

大きなオレンジの中を

黒が飛ぶ

キヤスがあれを持つてくるとボールのときみたいになっちゃうのづ this is this, that is thatと説得している

三〇周年に思ふ

チカさんの元旦那って八二年からずれたのか。

最近mundane existential girl's r'n'rとjouis dimixのライナーを書いたので一九八二には思い入れがある。マヘルなんてまだなかった。レッドが勝手に出したカセット群があるから変に活性しているように見えるけれども、人が死にはじめて、あぶない時期だった。真のデカダンとはケネス・アンガーの「泉」のようなものだった。というところまでは分かった。それから政治の季節が始まった。マヘルはさらにそのあとである。三〇周年なんて、コンピニで「柏原芳恵 デビュー三五周年ですべてをさらけ出す」とか週刊誌の活字が躍っているじゃないか。女は自分の外見をそれだけキープできるんだから男がバンドを続けるなんて大したことじゃないよ。きみが〇歳未満だったとしても。

祝島ヘル

祝島ヘルとは広島のアコーデオン系魔女の巣窟と呼ばれているヲルガン座などである。いつも参加していたのは広島時代の玉柳君、きしこちゃん、などがきしこちゃんは今もう大人のOLになったのできしこさんに変わった。マクラウドと「マルティチュードにおけるコモンのオレンジ」をやったときは気合を入れて数百個の風船をトイレから溢れさせた。

岐阜マヘル

岐阜マヘルとはotonotaniとかでやるもの。メンバーは夕食の三人とかくつざわさんである。

中之島ヘル

中之島ヘルとは大阪でやるものである。いつも知らない人が沢山参加するが、歌わずにただ喋っているようなときは下司君と愛さんである。曲が浮かぶとウイルコムのピッチで愛さんのピッチに鼻歌を送り、それを愛さんと茉莉が再現して送り返す、というのをやっていた。茉莉はギャーギャー泣いているだけだが、たまに唱和していることもある。京セラのファイルは返還不能なので最近スタジオでマイクに近づけてやっとなデータにした。「ガラ刑」というタイトルでまとめようと思っている。本番前に消耗しなければ、やれる曲はたくさんあるのだと気付く。セラデルニエールシャンソンの時みたいに。マヘルでは短い曲をたくさんやってきたが、常に不評だった。でも短い曲が好きという人も過去に数人はいた。小林君とか渋谷君などである。ぼくも短い曲がすきだ。

名古屋マヘル

名古屋マヘルとはハボン等と呼ばれてやるものである。メンバーは大体ジョンのサンである。いちどボールのドーターという名前でCDを出したこともある。このまえジョンのサンの新譜にコメントを書いた。

なごやかな

場所のキャンパス

他人の空似

連鎖のナイキのこそこそ

名古屋から出てきた螺鈿

テレビ塔でがっかり

名づけられた場所

へ電気屋を装って

ダフ屋も通さず

スクラッチ

世界の車窓から

垂直に立ち上がる

ウエストコーストの

ヘロインの結晶

を濾過するバンド

エーテル運び

「ヘロインが水に溶ける様子は、

すさまじい程、速やかで、

水面にヘロインが達したか

否かの瞬間に

水面を走り回って溶けます」

女子大生

労働する

小説のように

「おれさあ」

解けたコンバースの紐を

踏みつけながら

外にまろび出た 朝

奉仕に出かける

それさえも線で表す

意思是（オスカー）ワイルド

炭水化物が血糖値を上げる時

の憂鬱

未だハルマゲドン

を経験していない

身体

の定型化

事務

の

音楽

青春の描写

旧姓の親炙

フィボナッチ係数の青春

フリーエ変換の青春

その様相をさえ

あたたかい 人の情けに

胸をうつ 熱い涙も

知らないで そだったばくは

みなしごさ

強ければそれでいいんだ

力さえあればいいんだ

ひねくれて星をにらんだ

ぼくなのさ

生政治としての

音楽

生政治としての

バンド

マリッジ・ブルー

上部構造のB層

の

フォーカス

B層の

贅沢

B層の

恋の花山椒

線は最終的に

老いて死ぬことの

描写に進み

月は

盛岡マヘル

盛岡マヘルとは福岡さんの甥っ子がオーボエで参加したりするものである。

秋田マヘル

秋田マヘルとはまだ粹の伊藤さんと今は浅草橋にアトリエを移した高木ルイさんが新聞にまで載せて現代音楽の大イベントみたいに吹聴してやるものである。ホルンを持ってきた人がスコアが転調されてなくて帰ってしまったりして悲惨だった。八郎潟から見に来た青年が唯一マヘルを知っていた。

青森マヘル

青森マヘルとは松山ヘル和尚子さん旧姓工藤が実姉の計らいで浅虫温泉とかに連れて行ってもらうものである。動画はハルコ。ゆばんきってつまだあるのかな。

メルボルンでチャプター・ミュージックのガイ・ブラックマンがまだ無名のジョセフィン・フォスターとジョアンナ・ニューサム＋スモッグを呼んだ時ぼくはジョセフィン・フォスターとだけ仲良くなったのだったが、数年後なぜかエジンバラの楽屋で再びジョアンナ・ニューサムと一緒にあったので、あの時の人（ビル・キャラハン）は？と訊くと本番前というのに急に泣き出してしまいましたと思った。その数年後なぜかまた裏窓で会ったが、もうその話はもうろんしなかった。それはどうでもよくて、ガイ・ブラックマンが次に発見したのがキヤスだった。彼は彼女のアルバムをことごとく再発し、トリビュートまで作った。その頃彼からキヤスがアメリカでツアーをするけど来ないかと誘われたが断ってしまった。その悔いもあって

ジョセフィン・フォスターは富田さんが呼んだのもういいから、次はキャスだと吹聴していたら、キャスとツアーしていたエンバー・シュラッグという人がやっているラジオでマヘルをかけたたりするようになり、そのつながりでキャスと呼ばそうか彼女に打診したりしていたら急にPARCが呼んでくれることになったわけでした。何が言いたいかというと、結局ガイ・ブラックマンから始まったわけだから、オーストラリアには~~she~~という大英博物館の帝国主義に振り回されない鋭い耳を持った男がまだいるなあと考えた、ということですね。そのガイとはその後円盤で共演したけれど、ぼくは円盤に嫌がられてライブを断られたりしていたのになぜか出る羽目になったのであるべく演奏以外は外にいたから挨拶もできなかったのです。それで今回ガイさんにお礼のメールをしましたでしたがまだ返事は来ません。

jamの店長は高橋の源ちゃんに似ている。西村+朝+灰野の時、しんから嬉しそうに僕の顔をちらちら見るのが可愛かった。

大牟田中島ヘル

大牟田ナカシマヘルとは竹永君の企画しているキャバレーふじてやるものである。ドラマーは「あん」ちゃんという中学生の女の子だったがいまはどろしているだろう。

沖縄普天間ヘル

沖縄普天間ヘルとはシヨウ君の周りの学生とかが参加してガチャピンの店とか方々でやるものである。一年の子に、何でそんなかなしい歌詞を歌わなければならいんですかと真顔で詰問されたことがある。

能古島ヘル

能古島ヘルとはノニコやテトラでやるものである。会場に着くとブラバン女子が勢ぞろいしてよろしくおねがいしまーと言う。こちらは照れて演奏どころではない。小山の双子とシャグスみたいなのをやりたいと思っているが果たせない。

大分マヘル

大分マヘルとはat hallや別府でやるものである。メンバーは常にクラヴィノーツの諸君である。

札幌円山ヘル

札幌円山ヘルとはゆみのすけとうさが参加していたものである。今はその二人も秋葉君も東京である。僕は今年の札幌芸術祭の展示で伊福部昭のゴジラのスコアがロシア語であることを見てびっくりした。ギリヤークの歌があるのも見つけた。Lasseや中西楊一の暗さや、理恵さんの好んだ色や、かれらが被征服民について口ごもる理由も分かってきた。三谷と中崎と幾郎と最後にやったのも札幌だった。

しいんとして子音のうるさい

ヨナはニネベの市民が死ねばいいと思った。その精神状態のまま書き出した。書くことで整理がついた。書きながら、考えたのだ。

二〇一四年一〇月二一日

本当のことを云おうか、というのはあらゆる詩の冒頭の一節ですが、本当のことで書けることというのは僅かです。その僅かな領域の中で、人物の名を変え地名を変えて何かを遺そうとしても、こうして本名を知られている以上、ブランシヨの写真のように、ネット上の痕跡のようにして、書かれたものは全て、それを見ている見えない者によって、記録の箱の中に納められてしまっています。書かれたものは全て公です。だから本当のことは、人の手によって書かれたことがないのです。現に存在するのは書かされていることだけで、書かせる源が何であるかだけが判断の土台になっていきます。その判断は書店の入り口に立つ道場破りに似ています。わたしはニューヨークで人を殺した、と書きます。すると書物たちが、私も殺した、実は私も、と口ぐちに反応するのです。共犯者を探し、共闘するために、絶望的に夜の街を壁から壁へびよんぴよん移動することがニューヨークの全てでした。

山陽

こうして肩がすばみ視野の展がり逆扇になるにつれ

断層面のあのガムのように瘦せた白い地層は

失われたのに見えている

痛々しい山肌とダルな朱の瓦から浦へ抜ける道で

いつも見えていたものが失われると

過ぎ去ったよろこびは

まだこない悲しみ

まだこないよろこびは

過ぎ去った悲しみ

「港の人」北村太郎

プロフィール

MAHERSHAL ALHASHBAZ

一九八四に命名 主なコンサートに満月祭（福島猿原人部落）、鴨島町マミー広場（商工会主催）、はらっぱのおまつり（重信町 openfield pottery）、など 主な映像プロジェクトに sweet inspiration armies

『東京スーサイド』

一九七七年のロック・マガジンにスーサイドとドール・バイ・ドールを紹介する記事が載ると、腕を交差させたアルト一の写真と共にまだ細身でブーツに大きなベレー帽のアランの写真は切り取られて額に入れられ、中央線の大抵の女の子のアパートの青いヴェルヴェットでしつらえた祭壇に飾られた。毛語録のような紅い星の付いたジャケットを抱えてマイナーに走り込み、スロツピング・グリストルを押しつけてかけてもらった。その夜、日本のフリー・ジャズは終わり、マイナー発行の雑誌「アマルガム」の表紙のタイポグラフィからも血が滴ることになり、アナログ・シンセや発信機が持ちこまれ、セッションは再び上下構造を持つようになった。東京ではそうしたどんづまりの垂れ流しの「聖霊なき物質の彼方へ」的フリー・ミュージック経由で、京都ではもう少し明るい虚無と自家製サンプラーの概念によるリック・ポツツ経由で、八〇年代の日本のノイズが準備されていた。スーサイドのシエフィールド・ツアーの後スロツピング・グリストルが結成されたのと同じようなことが世界中で同時期に起こっていた。それは自殺というキーワードでグラムの残党まで巻き込み、カンとホークウインドの熾火に息を吹き込み、シンセに大型特殊免許でも要るのかと思わせていた短調のミニマリスタたちの領分をパンクに解放し、ラリーズ関係に「今のルーリードよりまし」等言わせ、灰野敬二は「自殺協定なんてカッコ良すぎる」等例によって羨望の入り混じった苦情というかたちの賛辞を述べ、すべての楽器店のリズムボックスは阿部薫と間章が相次いで死んだ季節に「拍子の鼓動を与えた。最後の瞬間に窓辺に人影が映るだけの「フランキー・・・」の映像は、当時盛んに行われていたロンドン・パンクのビデオ上映会のもたらなさのなかで、物事が許される最低限の基準を定め、ニューヨークを、つまりシルバー・アップルズの偉大な伝統を再び思い起こさせた。「世界にはスマートな聴衆というものが存在する。」とアランは言い、全ての曲にシスター・レイの水準を要求した。こうして、一九七九年までには、デカブリストのサークルに入ろうとするロシア青年のようなときめきとともに真に参入すべきシーンが開かれていると思えたものだったが、廉価の軽量シンセが出回るようになると、マーティン・レブの、同期させないリズム・ボックスと手動シーケンエンスのずれの含羞がテクノ・ポップに吸い上げられるようにテクノニックとして消費されたりして皆がやりにくくなりはじめ、Z Eがノー・ウェーブの死体を集めるさなか、アランは「キャデラック、フアー・コート、シャンパーニュ、、、」などと歌っていた。八一年のイブのソーホーのパーティーでアランはピアフの扮装で何事かを叫んでいた。クラウス・ノミがエイズで死ぬ前の時期は皆そんなふうだった。彼が凭れかかっているフェルメールの絵みたいな女の人がマリかしらと思ったがもうたぶん違ったんだろう。その頃頃は二二歳で、毎夜ロウアー・イースト・サイドを壁から壁を伝う影のように移動していた。世界に自分を投げ出してしまっていて、銃で脅されても英会話の練習をしているようにしか感じなかった。彼の部屋にはベッドと、「エディット・ピアフ全集」と「エルヴィ

ス・プレスリー全集」しかないということだった。帰りに寄った深夜のカフェで偶然一緒になった。ベレー帽の彼はいつものように毅然として顔を上げて隣の男と話しており、ぼくと目を合うと目を合わせたまま隣と話しながら目玉焼きを乗せたパンを黄身が流れ落ちないように上手に食べてみせた。その後零下20度の路上で自分の部屋の鍵をなくしたことに気付き、しようがなく壁を攀じ登って初対面の階下のゲイの夫婦の窓を叩いて入れてもらい、そこから3階の自分の部屋に入り、その翌朝「o Alan」という曲を書いた。アランはその頃プエルトリコ系の顔をした男の子にギターを弾かせ、ソロで「マグダレーナ一九八一」、「マグダレーナ一九八二」、といったプレスリースタイルのブギーを歌うようになっていた。彼の歌にはなんというか、老婆の信心、みたいなものがあつた。日本に帰るとC級GS好きの渡邊浩一郎が、東京ビートルズや東京ローリング・ストーンズがあるのに東京スーサイドがないのはおかしい、と言うのでその名前で埼玉大の学祭かなにかで戦前の歌謡曲のようなものを演奏したことがあつた。ぼくと浩一郎か柴山伸二と一緒に居る時、一人が突然ビビビビビビとマーチン・レヴのフレーズを口にする、もう一人はどんなに落ち込んでも、どこに居ても、たとえ電車の中でもアランの雄叫びを真似る習慣があつた。その習慣は浩一郎が自殺する一週間前まで続いた。

蚊の刺子

刺子はお母さんから、人様の血を頂くのだから最低限の礼儀として音を立てて近づきなさい、血の価値を贖いとして蚊の王に持つていく覚悟で行きなさい、刺し違えてもいいから、尤も人間の手はのろいからそう捕まりませんからね、と教育されて育てられましたから、律儀に音を立てて肌に近づいていました。秋になり、何日かの冷え込みの後、もう子孫を残すには今日しかない、という晴れ間の見えたある午後、とうとう、音を立てずに近づいて刺し、その家のご主人の血を抜き取ってしまいました。「もう。なりふりかまわずやな」とご主人の言っている声が聞こえ、重くなった刺子は「はあ・・・」、とため息をつきながらくるくる墜ちてゆきました。

函館マヘルのためのプロフィール

半開キニナツタきになつた箱ヲを開ケルトけるとくわがたクワガタノヨウニ白イいちよこれいとチヨコレートダツタノデだつたので五芒ハは黄金ノの時計台ノの上デでチクチク鳴イタいた(じ花々ハは遠イケレドいけれど生々シイしい近サノさの中ニに諦メテめて沈ンデんで行ツタつた

明日は四時から会場に居ます 配信は六時からですが出番は八時半くらいからです

こちうは <http://www.ustream.tv/channel/takechiy>

ヨシノベ <http://www.ustream.tv/channel/yo4hama>

大谷

<http://ustre.am/kAv3>

小山 <http://www.ustream.tv/channel/oyanasako>

田村 <http://www.ustream.tv/channel/ta-tu> 高橋

スカイプを春子父pecく

やる曲は

塩が森

うConF#或うはF#onCのフンローの曲です

F#フッ#GんA#ん#C#C#E'''

の中で好きな音を選びながら4ビートを演奏します

Cに対して5、7、9を加えたコードですが、これは#に対して5、7、9を加えたコードと同じです
ではよろしく願います

アケガタのヒリヒリとりどりにヒトリ

勝手に節目を付けられて

勝手に節目を付けられて枯れ竹

竹撓(さう)勝手に節目を付けられて

ホタル

生きられないと分かった

生きれないと分かって

ホタルをガン見した

見ても見ても見切れない

気がした

振り返ってもう一度見た

トンネルを抜けると

トンネルを抜けるとトンネルを抜けると別の人になっていた話しかけられたらばくじやないとばれてしまう
照らすものがない消し忘れたヘッド・ライトがむなしい恩寵のように

ホトトギス

台風が過ぎ行く台風が過ぎ行く台風は過ぎ行くホトトギスが啼く恐怖は過ぎ行く恐怖は過ぎ行く恐怖が過ぎ
行くホトトギスが啼くホトトギスが啼くホトトギスが啼くホトトギスが啼くホトトギスが啼く赤血球白血球あらしは過ぎ行く
あらしは過ぎ行くあらしは過ぎ行かないて血を吐く

レンシソレらふあシファどレンシふあど

〇年代の焼き物展

二〇〇一

sister ray pottery

二〇〇一

studio potters in matsuyama 夜稲派 meltdown

二〇〇二

kudo tori's thrown

二〇〇四

やまばとデザイン事務所

二〇〇五

quick throwing, short lives speed of life" pottery

二〇〇六

1000 winters

二〇〇七

ON A FIELD, SABLE, THE LETTER, A, GULES
scarlet letter

二〇〇八

へたれ野郎

二〇〇九

鬱陶

utton

tori kudo exhibition

「を物語に作り上げ、その物語に作り上げられ、それを地に注ぎ出し、地名性の渦に投げ込まれ、言葉を出す地層を間違え、物のように侵入され、行けない場所が増え、やがてどこにも行けなくなり、語り出す力もなくなり、虐待の記憶の頭を撫てられ乍ら、動くうちは体に引きずられ、動かせなければ逃亡(ノド)の地に蹲り、吐いては食べられ、地名のようにそれを二十年過ぎ行かせ、木々はそのまま、三十年経ち立ち眩み、暮らせるうちは養われず、養おうとする時は愛せず、自然は何の役にも立たず、携帯に打ち込まれ、立ち飲まれ飲み立たれ、商談の喫茶に横座りして、出て来る場所を言葉に間違えられ、終りから始めさせられ、折り句に煽られ、本当の事は誰にも言えず、ただ雨がびちよびちよ降っていて、」

made by the story I made. poured the story out into the ground, thrown into whirlpool of toponym. mistook the layer where I put out words, invaded like material. places I can not come go on increasing, then it becomes impossible to go anywhere. lost the ability to put out words, patted the head of the memory of cruelty. dragged by the body when it moves, when it became impossible to move it, squatted myself down in the land of Nodo. vomited, eaten. made it pass by like 20 years toponym, trees were the same as before, got dizzy after 30 years passed. when making livelihood, to be supported was not able, when willing to support, not able is to love. nature was not useful at all. written into mobile. stood up while drunk or drunk while stood up. when I was sitting sideways on the chair of business talk in a cafe. word mistook the place I came out. was started from the end. incited by hebrew parallelism. not able to say the true thing to anyone. only it rains dispiritedly.

03/04/09musashikoganej@artland

29/04/ - 06/05/09asagaya@hinemosunotari

12-16/08/09matsuyama@hibi

19-23/08/09nishioji@fall

10-18/10/09giftu@pand

08/12/09- 20/12/09fukuoka@tetra

そーそーそーみそそーそーどれーそーそーそーそーそーそーそーそー

それふあそれそれふあそれそ

れふあそどそれふあそれ

そ

そ

らしど

ら

らそそし

#ぞ・ら#ぞ・#ふあれ・#ふあれ・ど#て・ら#ぞ・らふあ#

ひをくぐる

ひのくぎり

はるをきる

はらをきる

ひるおきる

ひるをきる

人の意見でデッサンは狂い

無粋に刈り込まれ

ふてくされた鋏の眼はきみには大き過ぎる

夜の筑豊のタクシーは痴呆で蓄膿だ

雨は炭のような痕跡を残しながらも

フロントガラスのワイパーに書き直しを命じられている

「ボウモア」で「宮城峽」というウイスキーと「鳥飼」という米焼酎を飲んだ。それはそれは寂しかった。

星空の雨

共倒れの星の下

美しい歩みはあるか

継続的なメタモルフォーシスの

流星は見えるか

誠実は愛を傘にして

雨を遮断している

書くことが濡れないなら

書きながら歩いても無駄である

塵は段階的な死のある層で

濡れていなければならない

診断を受ける

まだ生きているぎりぎりの段階を探して

血は唄う、脳死の後に、

細胞は唄う、心配停止の後に

慣例で安ヌーヴォーからその年の地球の状態を表現すると、今年のは「最後の憐れみ」かな。肺からすべてを吐き出して、よろよろと立ち上がり、「最後の憐れみ」の灯りに向かった。

七草を探したが五草しか見つけれなかった

白楽の珈琲文明の「文明通信」で、磁器より陶器の方が保温がよいから店のコーヒーカップは陶器にした、と自慢しているが、店のカップは陶器に見せかけた磁器じゃないか。

白楽の極楽にCDを置かせてもらう話をしようと思っただけだったが恥ずかしくてmobygrapeのwowを買って帰ってきた。

白楽のピッチーズブリュエでピアノを弾かせてくれないかと思ひ杉田さんに会いに行ったが恥ずかしくて誤魔化して帰ってきた。

同じ名字の人がマイナーの頃についてのインタビューに来たが、何か思い込んで来ているみたいなので恥ず

かしくなり、相手に合わせて予備校の話とかして誤魔化してしまった。

豊田君が曲紹介でオカマの誰その話をして僕が似ているというので、僕はオカマじゃないよ、と返したのだが、会場にオカマの人が居たら傷付けたかもしれないと落ち込んでいたら、館屋さんが挨拶に来て、チャット手を挙げひょいと頭を下げ去っていったのだった。

夢魔の領域が両側から攻め取られ
収容所は消滅した

脳の中にそれはあったのに

吃音の男も滑舌が良くなり

明るさは十数年の皺を際立たせる

ころころと一〇年代は過ぎ

敵も味方も明るみの中できらめいた

リヤガーデンのない家のように

私達の領土は闇を浴びている

その銀の中で爬虫類の

頭から地軸が生え出ている

その線は折られるか

闇によって折られるだろうか

きらめくような分かり易さの中で

鉦山主は名指しされる

青草は干からび花は枯れる

両側から挟み込まれていく夢想の領土で

それぞれの側から見た言葉の方式が

骨組みだけになった二つの家のぶつかり合いのように

明るみの中に線の音を立てる

核で旗は振られているが

子音のない表れ

作文は読まれ

（ムシエットは読まされ）

固有名は閉ざされているのに

九つの尾には九つの呼び名があつた

父なし子を苦しめてはならない

森に入っちゃいけないいたらー

ラングドシャの真ん中の月明かりを

憶測して

蛭がまた孵る

焼燐の捧げ物として娘を捧げる

暗い北海道で

雪掻きをする母子

原本を発見して

旗を振ったのだ

目は四つある

上と下と自分と他者に

ジャズと夕食の関係は、野村朱鱗洞と萩原井泉水の関係に似ている。

「夕食細胞は必ずあります。」

二〇〇〇年代になって、箱庭療法が効かなくなった、人に「核」のようなものがなくなったからだ、と最相葉月の「セラピスト」にある。夕食とは「ミッシング夕食」だったのかもしれない。

世界の終わりに、それぞれの態度が固まってきた気がする。例えば夕食の、「どうしてなんてないし」。

岐阜の旧市街とロックの関係は、半グレとヤクザの抗争に似ている。

田端物語 一月九日 田端cafe brucke

Cry me a river は泣きを入れてきた男に女が優越感を感じる歌ですね、と東玲子が言う。東がそう言うからには、そうなのだろう。

田端あたりの出てくる小説「いつか王子駅で」の一部分を朗読してもらいながらCry me a riverを弾こうと思った。

荒川線は庚申塚の辺りがジェットコースター並に速いと「いつか王子駅で」にあったので、乗ってみたが椿が目にはちらちらしただけだった。町屋で下りて飲み屋に入ったらジョニーという七〇歳の土方が、今開いた本は聖書ですかと話しかけてきた。

いえ、違います、と応えると、自分の部屋は「丸」で一杯だ、エロ本もあるけど、と笑い、正月は皇居に行った、と言う。

大塚の飲み屋の魚貝で被爆したような気がする。鼻血で頭のなかがいっぱいだ。

一月一〇日 高円寺 pocke.jp 六畳に搬入サウンドインスタレーション

「永」という字にはすべての「止め、跳ね、払い」が含まれている、と高木薫が言う。それで、彼女の「うるさい」という展示企画に、「永」の字を半紙の束に染み込ませたものを、若林奮風に周辺になるに従って薄くなるように並べる、という作品を考えた。搬入は、現場で字を書き、スーパードで洗濯ハンガーを購入して天井に吊り下げるだけで済んだ。

展示がそれほど混乱せず、搬入サウンドインスタレーションという側面が失われた分、現場の喧噪では個人が全面に出たが、もの云わぬ作品群は電気や科学的な反応を利用した梅田君以降的なものが多く、僕の作品は場にそぐわない感じてあった。

哲学とは、神の命令を、理性の道徳法則と

して受けとることである。柄谷行人「帝国

の構造」

国東半島の希望の原理は上部構造に未来を

予知する能力を見ようとして失敗したらし

い

スタンプをゲット天にコイン貯め「さっそくアプリをダウンロード」

奪われて奪われるま、暮れ泥む日本のやうな体の一年

図々しく執念深い化け物に金や時間や歌を奪われ

奪い取られるままに愛想笑いを浮かべて耐えた一年

奪われて奪われて立ち尽くす境界線上の樹皮は剥かれて

拡大し拡大し縮める遠さ

夕ざれて主婦苛々と椿切りをり

大柴君 皇帝ダリアから飛び降りた

皇帝ダリア冬將軍を睥睨す

冬將軍皇帝ダリアを支えつつ

冬將軍皇帝ダリアに反逆し

皇帝ダリア冬將軍をなお睨み

大きくくまは大きいスープ皿

小さいくまは小さなスープ皿

両手突っ込んで雪の無患子

こうもりてオペレッタほんとひどい粗筋

台湾

誰か俺の飛行機撃ち落としてくれ

泡立草がないから昔の日本のスズキの風景

台湾には国土がなく、国旗もない。国民党旗の氾濫に交換様式のためのネーシヨンの欠落が表れる。一〇四五から一九四七の期間は「政府」さえ無かったのだ。

亀のゼリーがある。ムシさん怒るかな。

Pathetic dupe taken in by a colossal fraud

阿Qてふカップ麺売られて在りぬ

Hello 110115

総督府の前のこの公園、前にここで二八〇人くらい殺されたんだよ、今はハッテンバになってるけどね、と
Leeさん

Call MrLee

台湾版のissueを買ったらオートモッドが載っていた

台湾の、王の代わりの国民党の廟のあの感じ、琉球の、王の居る骨を洗うあの感じ、日本の、王を廃す論調の、全ての王の打ち碎かれる時の広がりを持てないあの、甘えた感じ。王を殺したフランスの、手強さ。

道教的に分割された欲望のミルフィーユ

石垣は台湾の北にあるのではない。ただ、東にあるのだ。

沖縄は台湾に黒糖を売る。台湾は日本酒を作る。台湾は沖縄より日本に似ており、沖縄は台湾より中国に似ている。フィリピンは果実のみ台湾と重なる。

中国にとって沖合いの弓なりの島々はさぞや目障りだろう。

台湾とは文藝春秋的な何かであろうとする華僑の植民地である。

日本は中国の一部である。

悪霊は漢字を通して往き来する。

泡立草はない。ということは一方通行である。しかし、仮名の「の」は認知されている。だから、泡立草抜きは仮名混じりにくつついて密航しているのだ。海軍の甘さに付け込んで。ミッドウエーの暗号が解読されていたように。

ネーションを主語に置けば必ず悪霊が入る。

週刊現代の、かえる目が入れ知恵したのか、阿倍と桑田の比較記事、裾野を見せていい文章だ。

台北行きとは夜市で文藝春秋の熨斗紙にされるような最後の手軽な逃避なのであろう。それはバンクのイージーではなく窮鼠↓急須猫を囓む式の不可避なフカヒレの韻因の追い込まれ方で。怖れから。

タロイモチツプスうめー

15

クシャン・リシユアタイム (Cushan-rishathaim) 「二重の悪のクシユ人」はエチオピアではなく当時のメソポタミア、現在のシリア、イスラーム国北部、アクサの内助の功でオテニエルが滅ぼしたのだったが、
というわけでキラ速で北の王のリアル前略プロフと画像をよこしやがつてください

時給一〇〇〇円の声

意味のないくらしにさよならこんにちは

2 オクターブ上のA6は $440 \times 2 \times 2 = 1760 \text{ Hz}$

3 オクターブ上のA7は $440 \times 2 \times 2 \times 2 = 3520 \text{ Hz}$

式の中の2の数をn個と置くと、Xオクターブ上の周波数は $x = 440 \times 2^n$ の形で表せます。

それと、

$1.8549e+43$ はこれに0が43個ついている一番高い周波数が、ラ=Aの音だと仮定すると、 $1.8549e+43 = 440 \times 2^n$ の乗

り方になっている。

値を $n=100$ と置くと、 $5.5776626410042094e+32$ $n=200$ のときは、 $7.070527394739557e+62$ 間を越すと、 $n=150$ のときは、 $6.2798898479062234e+47$ になる。

$n=140$ $6.132704929595921e+44$

$n=139$ $3.0663524647979606e+44$

$n=138$ $1.5331762323989803e+44$

$n=137$ $7.665881161994902e+43$

この0の数が少なくなる。

$n=136$ $3.832940580997451e+43$

近づいてきました

$n=135$ $1.9164702904987254e+43$

$n=134$ $9.582351452493627e+42$

遠ざかりました。

それで、もし最高音がAだとすると、 $n=135$ が有力です。

しかし、この $1.9164702904987254e+43$ は最高音 $1.8549e+43$ より、 $6.157029049872532e+41$ 高いです。

それで、半音下の $G\#$ (415.305Hz) を考えます。

すると、 $G\#$ 4 より135オクターブ高い周波数は、 $1.8089083954444845e+43$ となり、これが近似値です。

最高音 $1.8549e+43$ より $4.59916045551562e+41\text{Hz}$ 低いです。

それで、最高音は135オクターブ上のAと $G\#$ の間のどこかにあるというようになります。

@yutemi では、190オクターブの中で、色の可視域は音階とどのような関係にあるだろうか。

赤の周波数は $4.34e+14\text{Hz}$ なの、それを2の n 乗で割ってみると、

$n=40$ のとき、 394.72070056945085 になる、

それはピアノの平均律の $G4$ の周波数 391.995436Hz に近い。

同じように、40オクターブ下の音程を一覧にすると、

G4からF5までが対応することがわかる。赤紫 赤4.34e+14 394.72070056945085 G4 391.995436

橙 4.60e+14 418.367562815547 G#4 415.3046976

黄橙 4.87e+14 442.92391976341605 A4 440

黄 5.16e+14 469.29926611483097 A#4 466.1637615

黄緑 5.47e+14 497.49360186979174 B4 493.8833013

緑 5.79e+14 526.5974323265254 C5 523.2511306

青緑 6.14e+14 558.4297468885779 C#5 554.365262

緑青 6.50e+14 591.1715561524033 D5 587.3295358

青 6.89e+14 626.6418495215475 D#5 622.2539674

青紫 7.30e+14 663.9311322942376 E5 659.2551138

紫 7.73e+14 703.0394044704735 F5 698.4564629

赤紫 これ以上やこれ以下の周波数の色は見えないが、

赤紫で繋ぐことによって、12の色相はその性質を保ちながら循環していると考えられる。赤の上限から可視外の赤紫に変わるあたりの周波数は

7.89e+14Hzなので、

それを音階で表すと、

40オクターブと717.591319698404となり、それは

F#5 739.9888454 に相当すると考えられる。これをまとめると、

C 緑

C#/D♭ 青緑

D 緑青

D#/E♭ 青

E 青紫

F 紫

F#/G♭ 赤紫

G 赤

G#/A♭ 橙

A 黄橙

A#/B $\flat$ 黄

B 黄緑

となる。そして、可視光を鍵盤上に表すと、G44からF45ということになる。

@yuremi 短くまとまりました。

宇宙で最も低いブラックホールの音が1.617e-15Hz、ビッグバン時の最高音が1.8549e+43であるとき、延長されたピアノのオクターブ番号と音程を求めよ

オクターブ数を n とし、最低音1.617e-15Hzを1/2の n 乗で割ると、

n が57のとき、233.03425911865895となる、

これはB $\flat$ $\approx$ 233.082Hz(とほぼ等しい)のことで、

最低音は、B $\flat$ 3から57オクターブ目であるB $\flat$ -54であることが分かる。

同じように、最高音1.8549e+43を2の n 乗で割ると、

$n=135$ のとき、425.86415455864477となる、

これはG#(415.305Hz)とA(440Hz)の中間にあることが分かる。

それ、最高音は、G#4或いはA4から数えて13番目の、G#139とA139の間にあることが分かる。

G#とAのどちらに近いかを知るために、

得られた値 425.86415455864477 と $G\#4(415.305)$ との音程比をセント値で表すと

$$1200\log(425.86415455864477/415.305)/\log(2)=43.46647301279044$$

同じことだが、 425.86415455864477 と $A4(440\text{Hz})$ との音程比をセント値で表すと

$$1200\log(440/425.86415455864477)/\log(2)=56.53226632315117$$

それで、全宇宙の振動をピアノに置き換えた場合、

オクターブ数は $54+135+1(\text{C0からH0})=190$

最低音はBb-54、最高音はG#139から43.5セント上、A139から56.5セント上あたり、と特定できる。

A tremendous amount of energy is needed to generate the cavities, as much as the combined energy from 100 million supernovas. Much of this energy is carried by the sound waves and should dissipate in the cluster gas, keeping the gas warm and possibly preventing a cooling flow. If so, the B-flat pitch of the sound wave, 57 octaves below middle-C, would have remained roughly constant for about

2.5 billion years.

倉地がストラングラーズのカバーをしていた所為で澁谷の高音の「seagulls」は最初倉地が歌っているように聞こえる。煙草呑みの浅い発声にも関わらず、そう思った。

ハーネスではフォークの弾き語りのコンサートにならないようにということだけを考えているので、ハプニングを待つ感じで進めている。今回は徘徊老人を人前で初めてやってみた。

一月一七日 高松市塩江美術館

大木裕之展でピアノを弾いてくれと頼まれ、大木さんとのトークもあるので出かけた。

録音してくれるということだったので、これが最後のピアノと思つて弾こうとしていたのだが、大木さんに邪魔されて弾けなかった僕も大木さんの頭にパンを被せたりしたが、大木さんはさらに暴れ、若い男の子をバリカンで虎刈りにしたり、ペンキをぶちまけたりして館員に止められお開きとなった。

世代の交代とは恐ろしいもので、ものを作る動機まで変わってしまう。

河口の船着き場の鴨よきみたちはしょっぱくないのだろうか

堀江湾入江の鴨よきみたちの水はしょっぱくないのだろうか

殺伐としてどん詰まる湾内に鴨の何羽か浮かんで居たり

おいしい広場と謳うが寿司屋のみ生き残りて駐車場広し

殺伐として突堤の空の赤

殺伐として突堤に空の朱(あか)

行き止まりの防波堤を走る

殺伐としていきどまる突堤走り

殺伐が行き止まり突堤走り潮は辛いかと鴨に尋ねた

殺伐として行き止り歩く突堤

いじめられいじめてみせるおれたちは強者であるのか弱者であるのか

塩江

いじめられいじめてみせたおれたちは強者であるのか弱者であるのか

最後のピアノにしようと思っていたのにパンを与えなければならなかった。私の肉はパンではなかったので私はかれにピアノを与えた。

私は命のパンではなく死のピアノだった。

ピアノは血を流せない。

ピアノから流れたのは滑稽だった。

諸君は滑稽のコラボを観たのだ。

滑稽が命に繋ぎ止めようとした。

過渡的な宙ぶらりんの命に。

絶対音と調律の乱れが整列した。ゴミ屋敷の秩序を求めて。

延命の哲学。

そしてアートはまたもや延命した。

延命して塩江温泉に入った。

ピアノが、温泉に入ったのだ。

フランスは弾圧の件ではよく欧州人権裁判所の世話になるし、女生徒にも頭の覆いを禁じたりしてきたわけだから、共和制が自由がどののといくら言っても非ローマ市民たる奴隷階級に牛乳配達の友人がパニックなので手伝いで二時起きフォロワーの皆さんさようなら

日々速

春待たず芽吹く欠落青い空

十字軍呼ばわりされちゃつちやるせいだな

首切られぼくは死ぬあと何時間かて

痛いだろうな死ぬときは 無意識を遮断して世界に殉ぜよ と無意識が働く フェルトセンスを牡蠣殻で覆って 殻ごと潰されるようにして 死ぬのだ

アイヌヌプリに神アプリスタジオジブリに治部煮かな

痛いだろうな死ぬときは世界に殉ぜよ

大寒やああ人が死ぬ人が死ぬ

大寒や命も安南蜻蛉手

ユダヤもきみたちも日本も間違ってるよ 預言者 ムハンマドは、子供たちや扶養家族に対して、最も

慈悲深い人々の一人だった……」>タツクルママカースト#好きから始めて予測変換でキユンとさせてみせる
よ稲葉引退ラウンドアバウトアニメ規制女子会男子

台湾のタロイモチップスうめー

弾道はいつも将棋倒し(melcate mistery)カセットまだあつたら処刑前に裏窓で聞きたかった

殺されたあと少し風邪を引いた。死んでも油断するんだな。

もう殺されているので放つといってください。尊厳とかそういうのもういいです。痛かったです。

死んでからやつと虫けらになるんですよ。

台湾で何でもおいしい

てかおいしゅうございました

死んだら句読点なくなるんですよ

時間がないから棒読みってんですか

永遠がないからフラットってんですか

静かなあイスラム国の底

死んだけど天国なんてなかったよ#あ、五七五

死んだら切れがなくなるからたまたま定型しなくなるんですよ

「たまたま定型」は生きていた時の思い出し笑いみたいなもんです

「思い出し笑い」は生きていた時の一番幸せな思い出になり得ますから

おバランスでございますか? ご母堂

死んだら丁寧語や敬語が変になるんだよ

臘梅とか

臘梅を見上げる首はちょんぎられ

命は軽くて短いのでぞんざいに扱ってもよい。部屋の片付けも終わらないうちにぼくは死ぬだろう。

敏子なしでやってく太郎みたいな人生だけだと解らない機微もあるんだよ

このラッパーならナミオの友達だったかもしれないと思うことで何の地層を引き上げる?

いくら画像を加工してもLJinyは動じないだろう。世界はゲームだから。でもこれをusしたら間違いくプライドから二人を殺すだろう。それがかれのロンドンの青春なんだ。ひとは自分の青春をusするやつを殺す。インタビューアはそのことを肝に銘じるといい。

ロンドンで白人にいじめられたぼくらにしかわからないことだ。わかるか? イスラムより青春のほうが上なんだ。すべては中学の、移民のまじったクラスではじまった。いじめからはじまっているんだ。

処刑後に風邪を引いたよ死んだのに

臘梅を見上げる首を断ち切られ

デボラは「母として立ち上がり」、ヤイルに関してもシセラの「母」に言及している。虐殺を語れるのは母の文体だけなのだ。

しかし男を虐殺に駆り立てるものは母の文体ではなくサジダ・アル・リシャウイという日本国と引き換えの

恋人の文体であった。

切断の象徴は日本国を鏡とした時の男の黄金数であり、それを地べたに投げ出す行為は母の文体に外縁に天幕のように触れようとする男の生煮えの父殺しの現存在に他ならない。焚き付けるのはいつも女であった。

ミックによろしく。

二重の切断という対象は日本国を鏡とした黄金数であり、オブジェが地べたに投げ出されるとき、母の天幕の外縁に触れようとする男の生煮えの父殺しの現存在は漸く大文字に凝視められ業者を超えイスラームを超える。凝視める男と凝視められる男を焚き付けるのはいつも存在しない女であった。

これはジェンダーと父母と恋愛の物語なのだ。国が一つ二つ亡びようと関係ない。そしてこれを語る資格があるのは母たちだけなのだ。

イスラムより先にクリスダムが殺られなければ終わりは来ない。いやーな感じというのはそこなんだきつと。

西早稲田（奉仕園）は田川（建三）さんの影響で南民戦のミーティングとかで使わせてもらったことあるけど後藤さんがそれなんだったらヴェイユてことだから居ない神と居ない神が芝居してることになる。それは弱い。救いはない。痛みに耐えるのはフランク的な自持のみ。

俺もそこは知ってる。でもそこから言葉を出したら何も解決しないよ。

兵士たちのツイートする写真を見ると、大英博物館の、木に果実のように敵の首がぶら下がっているレリーフを思い出す。アッシリアは変わっていない。

米軍機の首をイワシのようにちよん切って吊るしたいだろう命の木にストレンジフルーツとして

飛行機の首ってどこら辺までなんだろうねえイワシの首は鰓の辺りだろうけどそれが問題だそれが問題で夜も眠れない。米軍に訊きに行こう。もしもしもしもし、この飛行機の首ってどこからですか。ヤーレツ

ミースイーアムラムバウタアヒヤ！切ってもいいですか。ショックマン！はいありがとうございますヨウエルクあの
う三枚おろしていいですか。オウサシミ！飛び魚は食ったことあるけど飛行機は初めてだそうです。どうで
すか？ザクロ醬油がいい？流石オリエントだけに中トロ？この翼の根元のカマのところまいすよ。アブラハ
ムがのってて。

位置情報勝手に付いたりしてなかなか真剣だなあ

ハルナ君だけに物語があり、あとは茶番だと思う。要するに石油なので。いろいろ考えたけど、みな心の層
が薄い。だまされうる部分でしか人生を生きてないから操られているだけだ。ただ、いろいろ考えたことは
よかった。musig without ark.

艸

刈らぬまま畑は春となりにつけり

言質取り人質にして現地平

人質に言質取られて現地入り薄っぺらい朝薄っぺらい夜

曇天に夢の白波かがやけり

曇天に夢の白波うちかへし

紅梅のはじまりに於て前夜

無意識

おれの中の人のユダ金は内臓

おれの中の人のアメリカは足の裏

おれの中の人のレバノンは睾丸

おれの中の人のウクライナは脳

おれの中の人の日本は頭皮

おれの中の人のマレーシアは目蓋

おれの中の人のインドは肛門

おれの中のソマリアはこめかみ

おれの中のイスラム国はおれの中の人の中性脂肪

おれの中の人のイスラエルはおれの尿

おれの中の人の国はおれの血

おれの国は気道

おれの村は歯

おれの家は唾

おれの部屋は交感神経

おれの布団は第二頸椎

おれの体は爪先

爪先立って尻焦がす

おれの中の人のおれは毛根

国をいじる悪霊のエレミヤごっこは崖から海に雪崩落ちる

前夜ふたたびダダを召喚する戸渡り

海を泳いでいたエビ恐竜が車を車庫に入れるので咄嗟に飛び退いて逃げたら左膝をしたたかに打った。

ぼく「やあ(手を差し出す)」

カニ「お手柔らカニ」 #三・一鳥取ボルゾイ

近く遠く手繰り寄せても漁れぬ終わりの時が無いなら泣けよ

もはや日本はなく我々は国民ではなく居住者に過ぎない

右を向いて寝ても左を向いて寝ても後ろにモンスターが居る

「はい」と「いいえ」を同時に言う練習

Retaliate against the besiegement of evil spirits that narrows today.

Isis, oh, Isis, you mystical child What drives me to you is what drives me insane

I still can remember the way that you smiled

On the fifth day of May in the drizzlin' rain

考える時は、自分の身体を歩行速度で叩いたり触ったり、例えば「右足の薬指」を意識したりしながら、意識が暴走しないように無意識を連れて行く。そういう時間を夕方に持つこと。

無意識は身体に痛みを感じさせまいとして麻痺させる方向に働くが、ハルナ君はそうさせなかった。きつと痛い痛いやめると喚きながらこんな夕方に不条理にのたうち回りながら死んだのだ。彼だけが戦士だった。寝るのでコンセントを抜きます。携帯は離れた所に置きます。世界情勢は、知りません。

鬼の首を取ったような情報を集めて断言したがる人たちは、マイナー音楽のコレクターのようだ。

価値の転倒に快感がある者たちの中で何かを断言するのは危険だ。心は必死になるからだ。

今は、他人も自分も信用してはいけない。

名犬ワンタンタンだっけ

リンチンチンよ

常岡さんが猫を抱きながら話すというのはフェルトセンスの観点から見ると大変良いことだ。国会とかテレビ討論でも猫が膝に居たら「ほんと首切られるのって痛いでちゅねー」とかって他人に死ねとか自決しろとかは言いにくくなるかもね。

殺されて終わるsuspendead

小動物のように震えて小出しに放出しないとトラウマになるよ

国民的PTSDだ。ビビるな、ではなくいまビビっておけ。感情を封じ込めるな。体に来るぞ、

いま平気な振りをするとか後で戦争になる。泣け！怖がれ！怯えろ！泣け！悲しめ！でも自分に怒ってはいけない！

自分の体を他人のように感じたらアウトだ

無意識は意識より利口だから怖れの感情を封じるために身体を壊しに来る。無意識は口答えしないがネガティブな脳内の言葉には感情が痛みで反応する。その負のエネルギーをいま感情の放出に向けさせなければならぬということだ。

落としどころを見つけて平気な振りをするな。不条理に泣き喚け。政治の言葉に身体を奪われるな。国家批判など昨日今日に始まった話ではない。そもそも国家など存在してはならない。

どうしても国を考えたいなら同緯度同縮尺の日本にパレスチナを並べれば国と王たちの身体が分かる。

日本は背骨を持った弓なりの生き物のようだ。日本への足つばマッサージは沖縄に対して行われなければならない。

そして今回は北海道が福島に乗ったようなものだ。これが国に対する自分の想像力の限界である。

鳥一羽墜ちて空一杯の号泣

オリーブにも無花果にも葡萄にも断られたので野イバラに王になってくれと頼んだ。アビメレクリイスラム国として読む
Judges九。

シリアがバルカン↓今ココ↓シリアもスンニもバビロン↓バス亭ひとつ乗り越してしまいハカバビヨロムラサキとはぐれ変に財布見せながら胎内洞窟を走っている↑さつきココ

La Dame De Malescot「一番大切な物は目には見えない」↓今ココ↑値段は見える 四〇〇〇円

韓国の人は一、なんて一、あんまり一、スープに一、コリアンダーを使わないんですかー！！（絶叫スピーチ）#save興文堂 #タラバガニ #恵方巻

涙の蛇口をひねれない#save興文堂 #黒田雪成生誕祭2015 #今夜はWonkyuParty#ゆかたんねる#薄桜キ

#INFINITEHiwin#今年は逆バレンタイン流行#フォロワーに豆をぶつけてみた

疲れた #save興文堂#save興文堂クソコラ

同性同名後藤健二↓文春偽記事↓倒産↑今ココ↑偽高橋朝検索↑#save興文堂

「グツとグツと 払いやすくなった 郵貯銀行 タカハシツカサ」

「涙の蛇口をひねれない」#ロバード秋山 #save興文堂

「このあんぽんたんが～」「うらに立つな！」「ごじやっぺ言ってるじゃねえっぺよ！でれすけ！」「おめ～ら、手わすらしてんじゃねえ～」「らいさまが来そうな天気だな」「この本あつっこいね！」「したつけこの六法全書いかんべ！」「だつてしやあんめよ」#save興文堂

な～んだ、それじゃだめだんべや。何とかしろつったて、俺も目がまわっちゃうほど忙しくつてよ。まあやってやれねごどはね一から、やってみつけと。#save興文堂

「六法全書買つおうつかな 六法全書買つおうつかな」

「当然しよったら当然しよっ」

「涙の蛇口をひねれない」#六法全書買おうかな節 #save興文堂

「フリー入帳に関する版元と取次の温度差」、といった言葉の意味が理解出来ると、地方の本屋さんの置かれた状況が分かります。ISISは図書館の本を燃やしたり、女性への教育を禁じたりしていますが、今回のブックマート興文堂への弾圧は、同じ精神態度の延長にある出来事です。富の一極集中に向かう世界に対して、私たちは分かち合うための予行演習をしたのだと思いたい。朝君の家族はかれを恥じるべきではない。むしろ誇るべきなのだ。これだけ愛されている新刊書店が地方都市にまだあるだろうか？来るべき艱難に我々は愛で立ち向かうのである。

I am Sajida

I am Abe

I am L.Jimmy

I am Haruna

I am Abdulah II

I am not me

新章突入

次のライブは緊張が解けて死と貧困に直面する私たちに向けられる

墓川、お前はおれを怒らせた

置き惑わせる菊紋

白塗り

飛べなくなつて飛び下りを助けようとしたら刺された

浮かんでいつて血の代わりにキラキラ

二本目の紅梅庭には二重季語

二本目の紅梅＋揚雲雀

春。巨大な人骨が、売り買いの訂正を求めて。国を人格で語り始める。

歴史学とは国の人格を投げ込まれる無意識の古池

ふりゆくものは我が身なりけり

充電が出来なくなつて余生寒

「れうらんのはなのはるひをふらせる」をおきまどはせる古池の音

昔、男が居た。みずくさに覆われた古池があり、そこに自分の机やベッドを投げ入れていった。全ての家財を沈めると、無意識は濁りに濁り、最後には男が古池に飛び込む水の音がしたことだ。

南欧や雪の林で撃たれけり

ネットをしない佐久間さんから電話。三年間部屋でニッティング・ダンス・パフォーマンスをしていた、と言い張る。言及されることを善しとするのであろうからここに記す。

今中東の音楽をやるなら、ロック史に則ったマヌーヴァーでやらなければならない。ポピュラーミュージックはもう奪還出来ない。JILの蛇のように素直に、しかし渋谷の鳩のように用心深く。横路で羽根筆つてる奴居たし

ロック史とはとりあえず「無限抱擁」であり「青春」である。それらはリアリズムに纏わるものだからである。

今週のビッグコミックの巻末の水木サンの絵本とてつもなく可愛いんだけど

きみたち、紀元節の二・一一に東京に居るなんて大丈夫なのか

といいながら大友ZEXで半分薄められて帝都延命か

Suspendead

食べて応援聞いて応援生きて応援紀元節

フグの白子で目隠しされて冷めた徳利をラッパ飲み野生の枇杷の多い道心を全て白化粧

bitches brew 四月九日決まった。宣伝はゴクラクにポスターを貼る。あとはバラ莊かな

早く死にたい

死んで応援

「国家などいらない」まではまだ陰謀論

「アラーの国などいらない」に回収されるだけ

コメダのレジ横に紙ナプキンを挟ったバレリーナが三匹立っている

本当は一個一個のガーデンクレイと対話して、きみは鉄、きみは銅、肌の露出はここまで、とやるつもりが、昨日の夕方に、一〇分くらいで急いで掛けてしまった。作為がないのが取り柄と松原さんに言われたことがあるけれども、作為どころではない、遼の騎兵の如くにイスラム国へと生き急ぐウイグル族のような白化粧が展示されるのは三月七日から宇和の池田屋、二九日徳島partalaparta、三〇日鴨島picnic、四月八日から一二日まで野毛の旧バラ荘です。

もう鬱陶ではなく殺陶ですね

三行日記というものを寝る前につけるといいそうです。一行目に良くなかったこと、二行目に良かったこと、三行目に明日の目標。問題をはっきりさせると、交感・副交感神経のバランスがよくなります。自律神経を手懐（なづ）けるには、良いことと良くないことも整理して無意識に把握させることです。

自律神経にとつては、意識の側にグレーゾーンがあるのが良くないそうです。無意識を手懐けるには、寝る前に、良くなかったこと、良かったことを整理して、グレーゾーンを無くすことです。そのための可視化です。ツイッターをやめて手帳を買いなさい。

良いことを考え続けなさいというのはラッパや宇宙人の声色でよく言われていましたが、それだと悪いことを整理する観点が抜け落ちています。いや、自律神経の側からの話ですよ。

交感神経はアクセル、副交感神経はブレーキ。赤い疑惑みたいですね。そのバランスが取れているのが、所謂フローの状態です。だから競技や演奏の前に消耗させられるのは致命的です。心を鎧（よろい）ってさうりあいポジティブみたいな虫になるか、トレーナー雇うかですね。ここでも金の問題か。

イスラム国三行日記

あまりよく殺せなかった

よく殺せたのもあった

よく殺そう

アメリカ三行日記

あまりよく殺せなかった

よく殺せたのもあった

よく殺そう

安倍三行日記

よく殺せたか分からなかったこと

よく殺せたみたいな気がした瞬間もあったこと

ちゃんと殺してもらって殺した感共有したい。蚊帳の外だけどテザリングして見てるから一

なんか趣旨がずれてきてるやんか

悪いやつが心を落着かせたところでそれがなんぼのもんやちゆうことやな

No peace for the wicked

絶賛発売中です

て宣伝かよ

みたいな

バランス崩してるな

同志たち、レザンファン、交感神経さん、副交感神経さん、ごはんですよ。

サカルトベロ（グルジア）のメスデニア村の男声合唱団ザリ

私がピグミーに次いで皆さんに最もおススメしたいポリフォニーはサカルトベロのメスデニア村の平均年齢七五歳の合唱団のザリという歌です。聴くと、自分が神になって、下から人間が鯉のように口パクして何事かを訴えているのを見ている気分になります。

普通のユーラシアのメリスマは人間が人間に歌っているだけでベクトルが水平ですが、ザリは垂直です。しかも人間から上に向かうのではなく、下から昇ってくる歌声を聴く体験になるわけです。とても気分が上がります。

ザリにはメリスマがありません。ストラヴィンスキーはサカルトベロの合唱が人類の作った最も美しい音楽だとしています。が、彼の好んだハッサンベグラという違う合唱団の歌にはメリスマがあります。ぼくはストラヴィンスキーはまだ甘くて、ザリが、ほんとうに地球上では全然違う音楽だと思っています。

春の祭典とそれを取り巻く物語は、二〇世紀の舞台芸術としてピークを形作っています。それでもぼくは、ザリを通して、それが二〇世紀の限界だったと思うのです。

作曲者を含めた演奏者各自のルート音を尊重しながら、インスピレーション・ソースに内在していた絶対音を色としてキープするような集団即興は可能だろうか？ そのために、「ルート音によるユニゾン」をブルースの進行に乗せるフォーマットを考えた。

絶対音の側からすれば、音程とはユイスマンスの「カクテル・ピアノ」のように、絶対的な色と味わいを持つものである。色彩療法は、色の周波数によつて脳からの痛みの信号を相殺するし、色覚異常の脳に色彩の周波数を音程に変換する器械を埋め込み、音で色を判断させる試みも行われている。集団即興演奏は、そうした絶対的な色と色のぶつかり合いによつて成り立つと信じられてきたし、音響派も、ノイズの色による音と場との交感であったと言えるだろう。

ロックはカポを使わない、カポを使うのはフォーク野郎だ、という言い方で、高音信仰の白鍵盤的なロックは、脳の仮想キーボードに対して悪態をついてきたのかもしれない。ピグミーはルート音を使って合唱をすることで知られている。各自がユニゾンで歌おうとするとそれはハーモロディクスのな平行移動のハーモニーになるのだ。それで、私たちの前には、常に絶対音とルート音という選択肢があり、カラオケの転調装置やフォークのカポは、その断絶に対する無意識の適応であつたかもしれないのだ。

絶対音感がない場合、思いついたメロディーを五線譜に落とす時、ルート音が用いられる。脳は仮想キーボードの分かりやすい白鍵盤にそれを転調する。人は疲れているので、記されたドの音は実際にはそれより低く、シ♭だったりラだったりするのだ。調律されたピアノやギターを使ってメロディーをこちら側からひねり出すやり方で作曲するタイプの人の場合は、そうではない。ルート音は使われず、楽器の音にぶら下がるかたちで音が選ばれるので、記譜されたドは正確に絶対音のドである。そのような場合でさえ、楽器なしでそのメロディーを再生しようとすると、低くなっていることが多い。記憶されたメロディーは、ルート音に基づいていつの間にか転調されているのだ。

Lubomyr Melnykは世界最遅のピアニストである。アルヴォ・ペルトと比べればウクライナとエストニアの違いがわかる。ウクライナはノスタルジーと決別したのだ。

高音で歌われる尾崎由美「コルネリのしゃあわせ」は声質がさやに似ているが地声との折り合いを課題としている。ヴァイオリンの奏法の稚拙さだけが浮いていて、ジャンルのフレーミングが札幌的に誤解されている。

ナミオがデザインしたJill wellsの新作は、自分が選び取らなかつたジャンルについてのメタな言及、と聞こえる。ナイーブかつひねくれたスコットランドの、ベーシストの父に対する愛憎が垣間見えて興味深く、シンバルが、奇麗だ。

federico durand"el estanque esmeralda"はエレクトロニカというものの根本的な不可能性を感じさせる。事物の描写を歌の伴奏とすることはできないからだ。

車で、7epからもらったゆーきゃんを聴いていたら、「メジャーセブンスなんて一生使わないと思っていた」というフレーズを思いついた。

人生が短すぎるので死にたい

電車が二両なので死にたい

まっすぐな道なので死にたい

うちの前の家の庭に船型のコンテナがひとつ置いてあって、粗大ゴミが徐々に放り込まれてゆき、摺り切り一杯になるとどこかへ運んで行く。それが商売らしかった。たまに要らないかと声をかけられる。今回は白い棚だった。電球付きの、携帯をディスプレイしていたような店の廃品らしかった。少し考えて、重そうだったので要らないと言うと、ハンマーを取り上げて一瞬で解体した。ロンドンの仕々に同じかたちの船があった。その中からなんでも貰って、革ジャンとか見つけて着ていた。これはなんなのか、とビルダーに訊くと、shipだ、と言うので、以来それを見ると船と呼んでいるのだった。太ったねえと言われた。チョコ太りですよ、と冗談を返した。解体された白い棚はまた空の船に放り込まれた。モールのサブウェイの前まで行ったが500円が高いと思いついてポルドーを買った。卵売り場に味の素が置かれていて、決めの一振り、というコピーで攻勢をかけていた。天然素材から作られていますとか言ってるわね。天然素材というならなんだってそうだ、シヤブだって天然素材だ。昨夜外道の「これで終わりにしよう」というバードを思い出して検索していたら、女を監禁して人肉を食わせた外道という動画があった。午前中、種まき人の例えの話を聞きながら、いつもなら金はどこへ隠そうか、とか考えるのに、腸はどうしようか、咽喉はどう食おうか、といったことで悩んだ。近所にブックルという安そうな飲み屋が出来た。どんな意味なのかしら。ぶっくろしたコロブックルだろ。

辺野古の珊瑚電波乱れ曇天

それに伴いラーラドラソファソラーのBDI DmがEmに変調

B音の点が入ってきてカンみたいだ

無意識が身構えている

釉薬用に貝殻を沢山焼いた

玉柳君の蛎殻も高橋家の宝貝とかのコレクションも

昔だったらお金になるのに

カルシウムになってもらった

照り返して素焼きがテラつとしている

うちの水仙は芯が縮れた黄色の八重で花の上に花があるようなやつだが隣の山本さんの家に近づくに従って一重になり、香りもシンプルに酸っぱい感じで好ましいので、球根を移植しようかと思っている。

昼間買ったワインはスロッピンググリストルの20jazz funk greats みたいな味がした。

隣の山本さんはこちら辺では珍しく車を持ってなくていつも奥さんと自転車か歩きで買い物に行っている。仕事はしているようには見えない。趣味は輪投げで、庭に棒があり、輪は手作りである。

山本さんは二月から二月まで、玄関周りにイルミネーションを点ける。

こちらに引け目があるほうがおどおどしてへりくだり、関係がうまくいくことがわかった。

夜汽車の音が聞こえるまま完全に山奥の二セクトに別れた宿の現場に行くことになっていて知らない町に虫

が居て髪を揃ったら先が顔の男で女がセクトの宿主と言い争いになるのを聞いていて水曜朝4時から仕事なのに今火曜の夜中電車で近江に行つてなきゃいけない時間今何曜？

常岡さんのツイートを読んで

弱い軍隊

というフレーズを思いついた

ドレドレドラド

ルートは絶対音だった

ホルマまでも追い散らされた

夢が悲しかったので覚める時にラーラーファソーソーラソファーマミラーというBDJが鳴っていた

朝鎧を外すか鎧を着るか呟く人の二通り居て

昔細雪という女のひとが夜明けに歌を見てくれていた

ツイッターが始まった頃の話だ。遠いつなかりをデザインしようとしていた。じきにそれは無理だと分かったので心ある人たちはすぐに止した。

ぼくはレイヤーに従ってこのアカウントを色分けした。赤紫は存在しない音の波長。

結局言葉はそこに集中した。

なるべく遠くの星と繋がりとうとして承認欲求を棄て手練り寄せる引き網には様々な魚がいることを弁えなければならなかった。

役人、水商売、学生、右翼、主婦、ムラート、アルビノ、モスキー

作員は殺すとしても、陰謀系で正しい人はひとりもいなかった。みなどこかで誤謬を冒していた。

「あなたは自分のツイートが世に対する爆弾だと思っているらしいけれど、そうだとしたら不発弾ね。」
うち今電気来てないんでロウソクでワイン飲んでます

あとは寝るだけです

充電は車です。米はあります。灯油も安くなりましたね。菜の花の芽のあたりとかおいしいです。
頼んだ豆は追跡すると関空にきました。コーヒーも豚骨も薄味が好きです。

あとクレジットカードは使えません。あたりまえだけど。ピーターアイヴアースの cal scratch fever で歌ってるよ。お腹なんか空いてないよ。全然。

もう両親は見捨てた。死ぬだけだ。タンカーは停まるまで8キロかかる。人も組織もタンカーのようなものだ。オランダだというりよう。

「ポア」とか「曾野綾子」とかすぐよく分かる。正しさのブレーキが効かないだけなんだ。あとは電池を反対に入れている。

単一買つといたほうがいいよ。

昼間で明るい

メタで耳鳴りの音に耳を傾けること

行かないや

ほ

ほしになったママがみている

津波平気つー並兵器つー波平

虎と馬がサーフィンやなんつー波や元カレフラッシュで自信バックや波平和憲法オーシャンやオーシャンゼリゼオランドだいたいとうりよう

スリッパとタオルあると便利だそうだよ非難袋にヘリウム詰めてユーモアに転化せしうむ

さ・く・ら・んのはなのつなみをふらせる

頑張れ東北

小保方さんも分からなかったわけでしょう？イスラム国も分からなかった訳でしょう？最近分からないまま終わることが多いよね？他人の心は悪魔でもわからないからね。墓川のことわからないママ終わるわけさ。

何が言いたかったかというと、悪魔にさえ分らないことが大川某に分かったまゝかて批判してるわけさ。心を守れというのはそういうことなんだ。

でも死んだ人は心の中で生きているよ。

ママ友のみなさんは死についてちゃんとおしえているかな。もうすぐお別れだからね。

お別れだからね

ソングンとかあんまり考えないほうがいいよ。お別れはお別れだからね。

お別れだから

バカに見えるやつほど賢くてさらけだしてないだろ。みなレイヤーを決めてパブリックに乗っけてるだろ。

でもジジエクじゃないけどパブリックはなくなつたんだ。革命

より恋愛、或いはハブリハブレ無意識蠟梅お便りヒバク子育てだろう今は、と思つてわからない粘土たちを碎いて混ぜているぜ

外食の目はない口のあり二食

五〇円アボカドあれば寒鰯あ、カンブリア紀つて古生代なの

曾野綾子風な思考回路とは、例えば、(田)律法により親は敬わねばならない。(用)でも今は寿命が伸びて親の介護が大変。(火)故に解決策は、寿命を短くすること。

といったものではないかと推察する。

曾野綾子風な思考回路とは、例えば、(田)隣人はすべからく愛されねばならない。(用)が悪が身の内にあり、不可能。(火)隣人が視界から消えれば偽善を演じなくて済む。

といったものではないかと推察する。

曾野綾子的な政治参加の思考回路とは、(田)カエサルのはカエサルに返されるべき(用)権威を身に帯びた世俗の行政機構には一定の敬意を持つべき。(火)故に行政の失敗は政府自身に帰されるがそれは自分が批判すべきことではない。

といったものではないかと推察される。

曾野綾子的な思考回路とは、例えば、(田)誰のために愛するか。(用)相手のためではなく神のために仕方なくする義務があるのだ。(火)「・愛してるよ。」

といったものではないかと推察する。

(Ⅱ)自分にも曾野綾子的な思考回路があるかもしれない。(Ⅲ)そこに欠けているのはアワレミである。(Ⅳ)曾野綾子のいいところは、素直なところだと思う。それを偽悪と酷評されているわけだ。

(Ⅴ)身代わりになって死んだ男のあんたはなんなんだ。そしてぼくは！

ヒトラ一風の思考回路とは、例えば、以下略。

昨日はさんさんネパールの話聞かされて、コーヒーは山の苦さで、オーガニックフェアトレードがスタバに汚される前の、そうね、台湾の斜面を思い出させる。地つながりの。

レイヤーが同一平面上に並列された恐怖が一番覚醒に近い。存立平面とか言うと時間に誤魔化される。コンビニの床、とても呼びたい、つるつるの面。

パジャマで立ち読みする男、……

「……ぐああ！ヤンマガに市川マサ先生の新連載バカビリーバーっ！」

力というのはね、手をつないで地球に向かう暴風をくい止めている握力のことなんだよ。

ジジエクで分かるように映画は書物の中に短歌的に引用「される」。ところがゴダール映画は書物や映画を引用「し」、映画を「短歌的ではない」映画そのものとして自

立させようとする。マヘルがいつもマヘルについてのマヘルであることによって音楽を音楽そのものにしようとするのと同じように。

、てまだみてないんだよ、みるかどうかわからない。松山に来れば行くけど。自立してるだろうって分かればさ、見なくてもいいんだ。遠くて、やってるな、と。

映画なんて殆ど観ないよ。金無いから。今年観たのはシネの「やくざの半グレ」だけだよ。死ねば、て感

じだよね。

それよりさあ、聞いてくれよ、玉ちゃんに貰った蛎殻、九〇〇度で焼いて粉にして、八〇目の筴に通して粘土と対馬長石と蛎殻五：三：二で混ぜて透明釉と思って一二三〇度で焼いたわけよ。

そしたらさあ、カルシウムが溶けなくてザラザラなの。もっと細かく搗れば良かった。でもねえ、磨くとそれなりにマットだけど滑らかになる。ひとつ磨くのに二〇分はかかるかな。一〇〇〇円じゃ割に合わんな。

あれ、今砂利を踏む音がして誰かに肩を叩かれた。とどろ。

仰向けになりて眠るは稀にしていつ頃よりかうつ伏して寝る（うる覚え 昔の新聞の投稿歌壇にあった）

早過ぎて朝のひかりの氷

眠い眼にギターのかたち宿り

あれこれと用事の有りぬ陽のゼリ一

画像編集アプリのごと事物のいろは変はりたり

編集アプリで鉛筆画にされたモノクロにく暖かさゝを加えてみる

円心分離バター化計画はミルクの単価が高いので止す

花活けのギロチン春と修羅シユシユシユ

流れ者笑ひて畔を互り来ぬ

今日もほんとならカルシウムのざらざらを磨くだけなんだけど鶴さん家で「ガラ携」のミックスなんだよ。これは京セラ専用のフォーマットで鼻歌のソースをピッチのピッチじゃないよ愛と茉莉一歳に送って演奏してもらいそれをさらにマヘル三〇周年の時に演奏したという三層から成る一〇〇余トラックです。

タイトルの「ガラ携」は良い子の皆さんはお気付きのように「薔薇刑」から採ったのだよ。

だから体鍛えてピッチ啜えてジャケ写撮らないといけなくなったんだよ

でも実はぼくはいまはスマホなんだよねー

ピッチ時代なつかしいなー

スマホに変えていいことなんてなかったよ。やたらアカウント増えるしバッテリーは減るし

ラインのコイン集めるためにだけに生きてるような感じする

切り結びリアルリアルに変容し結実しちまうよるのあいだに

くらいくらいうくらいなイラクくらいうくらいな

人生には二つの瞬間しかない。春樹風

tweetmaker が自分のtweet に嵌まっている時とそうでもない時だ。

源ちゃんは朝日という窪溜りにいつも苦渋に充ちて着地する。

のびやかな幹と枝に

すりこまれた音楽の

重力

バカさゆえー

ねとられ尊皇ジョイス

「震災後初めて、コメの全袋検査で一斗あたり一〇〇ペクレルの国の基準値を超えるものがゼロに。素晴らしい。もうこれで終わりでいいんじゃないかな。」と呟く佐々木俊尚の幸福には、個人とルソー的社會の無意識が混ぜ合わされてしまっている。これでレイヤーという言葉は関東では使えなくなった。

ツイキヤスのチンカス

斉藤さんのハラワタ中継寒戻り

斉藤さんのハラワタ中継寒の戻り

ひとり

ささくれの指先くないの sacre

振り返っても振り返らなくても土柱 #awartfesta

土柱になってもひとり #awartfesta

世界三大ロック土柱 ロッキエリクソン、チロル、阿波の土柱 #awartfesta

香川で福田君とやっていたドバンドを徳島でもやれという矢野会長に背き、土柱バンドと情宣するジョーの、明日は土柱だ! #awartfesta

don't you know about 土柱? #awartfesta

土柱いたるねん #awartfesta

dotuneで放映決定 #awartfesta

ノイエ・土柱・ヴェーレ #awarifesta

アプリで開くとPeからのツイートは保存されていないことが多い

春光亭が生姜そばを始めた

昔多摩霊園近くの東八沿いに生姜ラーメンであつたけど

斎藤さんのハラワタ中継はラジオ局やつてるみたいにソツがなくて顔も中身も同じに見える。声は少しづつ違うけどだからどうしたって感じ。ぼくが今中学生だったらやってないな。

ツイキャスの辺野古見てるほうがいいよ

この前鳥取で礼子と同性同名の人が来たから引き合わせて「合体！」と言ってくつつけたらそのまましばらくくつついたまま喜んでいて、のが楽しかった。

「meg」と「白いばら」には苦しい思い出しかない

旧姓工藤の奥さんに馴れ馴れしく反応する癖がある。

春光亭の生姜そばは花冷えにぴったりの味でしたよ

最近はコーヒーもビールも苦くて薄いのが好き

工藤君、アプリ間違えてんじゃないの？

そういうのは前略リアルとかでうちうちでやってりやいの

必死にツイートしてる方々に失礼でしょ

だってどうせくずなんだもんこんなのみんな

クズ

あそうだリツイートとかしよ

うそ

わたしは乗っ取られました

「サタンよ離れ去れ！」

ピーター「えっっ」

ここでピーターセツズが流れる

とよいでしょう

三・一三

逃亡線は手首に進んだ

手のひらを掘り進む逃亡線は手首に越境し

運命線を手首へ

手のひらの逃亡線を手首まで延ばして

手のひら逃亡

手のひらの逃亡線

手の平に逃亡手首に越境

運命線ボーダー超え

乗っ取られた手の平を掘り進むレジスタンス側のスポット踏んでおく

手の平にB層はありやじつと手を見る

手の平は我々イスラム国の内にある

ひとひら俳句帳でのひらヒッチハイク

すべての運命線を手首へ！

テクピカットテクノカット全員金正日テクノカットテクピカットテクノカット

線の被爆点の被爆面の被爆逃走線の被爆逃走点の被爆逃走面の被爆

手首の被爆

けさの得ぬ叡知系ニュースえぬえいちけいにゆーすです。福島県東京市で、井戸に逃走線を投げ込んだとしてくびが虐殺されました。

風化しても風化しても被爆

山頭火しても山頭火しても青い被爆

てのひらのサンドイッチください。トーストいいです熱いので。オリーブとピクルス多目で、てか野菜全部多目で、いややつぱりいいです、応援してないんで、え？勝手に食べる？ガブツ、え？あなたでのひらじゃなくて？

世界の終りが来るときにもスタンプのためにフリーコインを集めているだろう

逃げる場所がないのに逃けている

地層のエレベーターで

麻痺させてくれる階に昇る

生きている人は口をべちゃべちゃさせている

ガラス越しに鯉とキツス

春の剥き出しは薄くて苦い

濃い紺や肌色の溶ける夕方に

久しぶりの三・一一は過ぎる

現在形だけの小説のように

「お金が襲ってくる！」

妄想に飽いた

不実な上下

マスクもちらほら

飴を持って

抱かれる肌色の

隣人

食わずに三日間離れない

その階では

視点を理解して主人公を代えて

エレベーターを乗せて私を降りてゆく

かっこつけんなよバカ

すでにイカ焼き剣吉を過ぎ

8f6bec9

雨が垂直に落下するので

コンビニが夜明けも開いているので

わたしはさびしい

みんな！死ぬなら松山だよ。山頭火も松山で

死んだんだよ。#そうだと松山で死のう

クルーのみんな！シフト変えるよ！

ホームレスの中澤さんの口癖は、「寝袋ってあったかいねえ！」だったけどさっきまで寝袋全然あったかくなかったよ。

喋る旋律にも長短三度があるから音を先に流してその場のルート音を決め、声の調を合わせてゆく。これが逆ピグミーだ。

人が音に合わせるのか

音を人に合わせるのか

故郷はいとこの多し桃の花子規

テニスコートに背を向けて

みんながぼくをばかにする

おしっこい

きたい

ラインの

履歴削

除した

janka ㄟタグおかしい

みなにあわせておどりをおどれ

満身創痍工夫慢心と辿ったところでスイッチを消した。さらけ出すことと垂れ流すことの違いのように。

flaming torch

減る目盛りに

場所のないことを確認すると

天蓋の内側に貼り付く言葉は裏返っている

あなたの喜ぶ顔も

傷だらけのライム

まさかわたしではありませんよね

路地を走るいま洗われた足

あしらわれてトゥワイライトタイム

たいまつで麻痺させるconscience

ニュースは存在しない。地図が色分けされるだけである。

整理できないのは整理されたくないからである。

見えるたたかいの最前衛はゴミ屋敷である。

ニュースは存在しない。優先順位しか存在しない。

「〇〇は存在しない。あるのはその痕跡だけである。」作成アプリ

寄り添っていたものが分断されていく。北の王の最後の弾圧に向けて。

やはり六シバリやめて大根をアイコンおろしにしよう

きょうは二二時に二二時になります

あああ

でもね、角谷も光市だったよ

これだけいつてるのにほんとうに知らないんだな

自分は広いところに立っていると思ってるだろ

Efficient in turning feed into food, edible insects represent “a promising alternative for the conventional production of meat.”

あと、すべての生物が等身大でもし戦わば、という構想だと、アリが一番強いという意見あり。

組内の集まる夜は生政治をなませいじと読むシジミみたいに

生政治春の刺身に罹患せり

callous (/kaɪʔs/ 「形」無感覚な、冷淡な) なぜ泣くの

春、近づくな

デレクベイリーはアタックが強すぎる。そんなに掻き巻るなよ。

心を骨でかきまぜて

最善を尽くして弦を奏でよ。減ばしてもらうためだ。

黒幕を想定しようとするベクトル自体が間違っている訳ではない。人間の黒幕など意味がないからだ。むしろそのベクトル自体を否定してもなお広やかに健全な場所があるとするフォイエルバッハ以来麻痺した意識の逃げ込み先さえも、運動を分断するために工作されているという現象にこそ注目すべきなのだ。

原発も陰謀論も消せぬまま教えてあげない

ラッスンゴレライ

メキシコトセパン協同組合の金煎るあつたいんだから～

おれの骨棄せて本焼してみたら器に影が張り付いていた

メロディーは四音、低音部も四音、被るのは二音、低音部が選べるリズムは二通り、メロディーが選べる半音のずれは二箇所、コードは二つ、小節は二つ。自分のルート音と絶対音のどちらを用いてもよい。これらの組合せから生じるフェイズはいくつになるか述べよ。#四・一〇ヨコハマヘル

起きたらhay feverに罹っていたのIversがcat cat feverをhey hay feverと替え歌って呉れたが、間奏は短調ホタルだね、まだ先じゃん、と突っ込むとぶいと消えてしまった

思い出した、ノルデだ。白髪一雄を見せようと携帯をいじくっていたのが恥ずかしい。

あと三六三円しかなくてガソリンが持つか不安ですが明日は徳島で乞われてドバンドです。DJ土柱がシーケ

ンサーの意味を無くす手打ち一拍子を強いられ、ムネタカ君が触ったことのないバイオリンを弾かされ、礼子はリコーダーでわかんないとか言ってただ立っている様子が目に浮かびます。

デヴィッドシルビアンがデレクベイリーのスタンダードに歌を付けたの懐かしいですね。あの手触りを一人でやっていた人が当時テルアビブに居ました。

物販を詰めたんですけど、売れ残った原発マーク高台とか、言い値で叩き売りですね、死活問題ですから。あと演歌のやつとか。でも徳島だから全部ガン無視される気配濃厚。そういうライヴだと思う。客数人で。翌日もやまばとデザイン事務所のブースあるけど一〇〇円均一とかじゃないと売れないだろうな。

金のおいのしない焼き物って難しいんだぜ

コンビニもないのにシャッター街の鴨島で今からコンサートです

徳島ラーメンは、「もうちよつと生きてみようかな」というやさしい味がするけれども、演奏は全て、過渡的なものではあり得ない。最期と思って弾く。

今年ほど花が怖いと思ったことはない。あと何回見られるかわからないのに、なぜ咲いてしまうのだろう。

タラの芽も油が古いといやだなあもう本当に終わりにしたい

キャンプシュワブゲート前

むしけら

ノイズの音源のCD化の話、お金が欲しいのはやまやまだけど断っちゃった。「壁」とかやってるから角谷も入ってる消しゴムのやつかと思ったがマイナーらしい。最初誰だかわからないムーグ?とかドラムとか入っていて、曲が始まると消える。

「右手のしようとしていることを左手に知らせるな」

演奏中に突如鳴らされる玩具のノイズのように、複数の地層を全面展開せよ。激しさは問題ではない。曲が上手く出来ていること、素材としての高円寺的無善寺的な宴と孤心が問題なのでもない。(高円寺はいつだってダサかった。)

曲ではなく、曲の中で同時に複数のことが出来るかだけが重要なのだ。高円寺を宇宙から見ることが覚醒だ。だから追悼は曲の伝承ではなく、曲の途中で別のことをやることなんだ。

そうであればライナーも福田君のことを書く。蛹のなかの溶けた蛹のように。内側から食い破ろうとする力は抗いようがない。高円寺では殺曲が問題なのだから、お金が欲しいのはやまやまだけれど、きつと曲解説は書けない。大柴君もきつと、書かない。

アンパン持っていった脳が半分死んでメモリアル行かないもうすぐ死ぬとわかる

タラの芽よりこごみが好きと独身老女が言えばスカイプ乱る

「同時に」と言えば春のプラトーの病は千のローランドカーク

嘘をつく元氣も失せて四月馬鹿

分かった脚注人生フツとノーと

裏を裏返して脚注唱法

鳥取ボルゾイ w/Reiko

小山冴子の口利きで呼んでもらった。アコーデオンを手に入れたので車に乗せ、雪の峠を超えて暗い裏側に着いた。アコーデオンは思ったほど効果的ではなかった。礼子と同性同名の人が来たから引き合わせて「合体！」と言ってくっつけたらそのまましばらくくっついたまま喜んでいた、のが楽しかった。シーズンは終わりにかけていたがぎりぎり脱皮したカニを食べた。古民家再生をやっている学生たちの宿に泊まった。砂丘は小さかつ

た。民芸館で見た吉田璋也の掛け分けが洪かった。

group exhibition”池田屋だけはいや、宇和町 池田屋

器の展示が主だったが、ライブもやるというので、アコーデオンを持っていたが、水族館劇場のイワモトジロウの、廃材を使った独特な舞台が酒蔵内に設営されたので、そこらにあった藁を被って、ペットボトルに入れた牛乳を振りバターを作る、というのを考えた。一〇分くらいでバターになった。家での円心分離バター化計画はミルクの単価が高いので止す。

ホームレスの中澤さんの口癖は、「寝袋ってあったかいねえ！」だったけどさっきまで寝袋全然あったかくなかったよ。

ニユースは存在しない。地図が色分けされるだけである。

整理できないのは整理されたくないからである。

見えるたたかいの最前衛はゴミ屋敷である。

ニユースは存在しない。優先順位しか存在しない。

「〇〇は存在しない。あるのはその痕跡だけである。」作成アプリ

寄り添っていたものが分断されていく。北の王の最後の弾圧に向けて。

あああ

でもね、角谷も光市だったよ

これだけいつてるのにほんとうに知らないんだな

自分は広いところに立っていると思ってるだろ

黒幕を想定しようとするベクトル自体が間違っている訳ではない。人間の黒幕など意味がないからだ。むしろそのベクトル自体を否定してもなお広やかで健全な場所があるとするフォイエルバッハ以来麻痺した意識の逃げ込み先さえも、運動を分断するために工作されているという現象にこそ注目すべきなのだ。

原発も陰謀論も消せぬまま教えてあげないラッスンゴレライ

起きたらChay feverに罹っていたの、Iversがcat cat feverをhey hay feverと替え歌って呉れたが、間奏は短調ホタルだね、まだ先じゃん、と突っ込むとぶいと消えてしまった

answering yuko haji

―虫がヒップホップ育ちというのは、虫の大きさの話、

Efficient in turning feed into food, edible insects represent “a promising alternative for the conventional production of meat.”あと、すべての生物が等身大でもし戦わば、という構想だと、アリが一番強いという意見あり。

―遺伝によるプログラミングは関係あるのかな？

カニは生まれついて手が鋏なのでこちらも切られないように身構えます。イルカやツバメの白黒のデザインはバトカーをアフォードさせるのでそのままてよいのです。

―ブライアンファニーホウは広いけど狭い。秋田昌美は狭いけど狭い。木山光は広い、そして広いです。最終的に広がってしまうのはよくないってこと、。

―デレクベイリーは年代事に定期的に聴かなければいけないみたいで、10代で聴くのと、30代で渋谷で聴くのでは掻き筆りも違う？私の捉え方も違うかな、。

高さによっても深さによっても引き剥がし得ないものがあります。その場合、高さや深さは親子関係であることもあります。

―曲構成全体としてジャズをやりたいわけではないので私みたいな知識の浅い人間が読譜を勉強することは優先順位として高くないわけですが、貴殿の言われていることはフランク音楽の可能性を求めるための規律の作り方²OK。

投獄されたクセナキスが二音のみを与えられたらどうするでしょうか

―高さ、深さ、考えてますがわからないので人と議論しました。「現代芸術は、古代の宗教芸術と共通するものを何も持たない」は関係ありますか？
いつから彦坂さんを昔から変わらないお父さんのように思うのですか

―彦坂さんもいつか死にますね

―私の問題で言えばグルジェフの言う超人間になるための知性の問題があります。目的は真実の光を翳すことと、真実の光を見つけることです。

霊的進化論を削ぎ落とせば大抵のことは真実です

―お母さんでオナニーしたいっていうのはオイディプス的な意味で理解は出来るのですが、おばあちゃんでおナニーしたいというのは何でしょうか？

肉の肉、骨の骨、が最初のラブソングです

―漫画の人よりコマより、線が大事なのですか。間。間章。

文体もコマ割りですよこまわり君

―やはり強姦したことがある人にしか強姦される気持ちはわからないのでしょうか？グルジェフがしたズルい事とはこれでしょうか？

白黒ショーですからね

―今日の弾き語りです

メロディーがベースに乗ったからお仕舞いだ。ベースがメロディーに乗っかるようにしないと時間が死ぬ。高低など関係ない。それが精神のフーガの技法というものだ。

―見られてますか？ピーター・クリストファーソンの音楽とビデオで、情報化社会の神の降臨という意見があります。今後のイスラム教の強さでしょうか？

三・一以降全てのPVは自分の首が切り落とされる予感を与えるものでなければならぬ。

―今日のドローイングに枚です。

線がないのに構築しようとしている。風が吹かなければ虹は捲れ上がらない。

―麻生三郎さんは見られてますか？

子供の頃両親が現代画廊で話し込んでいる時その類いは待ち時間の記憶として染み込んでいます。

―今日の私の曲です。前回の弾き語りの反省を生かしました。

虹とはアタックが産業的に均一ということだ。工業製品（浜松の仏壇屋製）を使う人々が重層的であらねばならないという立場に追い込まれた理由はそこにある。

―今日の私の曲です。先日の曲の反省を自分に照らし合わせて作ってみました

ジャズは加速しない。関係性が加速しないのと同じことだ。身体だけが加速するのだ。格闘に筋肉は要らない。必要なのは神経だけだ。

―今日の私の曲です。というよりは私の昔の曲なのですが、以前墓川氏に言って頂いたことを確認したく思い送らせて頂きました。

きゅうりを食べてはいけません。メネギを引き伸ばしたのが時間なら卵は以前と以後を分かť。ミックスサンドはレイヤーに非ず。マヨネーズはオイルの代用になる。とシュタイナーはカフカに言った。

―これは私が少し前に作った曲です。現代における音楽表現は、この方向を推し進めることが正しいのでしょうか？

あなた自身が正しいと言っています（あるいは「正しい」という言葉を使っています）。手仕事は永遠に残ります。ループ半分、窯に任せた偶然半分

で焼成します。届かせるのは腐敗に関することであっても、それは聞かれます。最善を尽くして弦を奏てよ。減ばしてもらうためだ。

三月二九日 徳島 bar txalaparta mshb(ドバンド)

徳島の矢野君が、「ドバンド」をやってくれと、わざわざAWA ART FESTA #2なるフェスをてっち上げて呼んでくれた。

灰野さんに会いたての頃、昔やってたバンド、えーと、なんだっけ？ミートローフ？と言ったらロストアラフだよ！と怒られたが、セッションで一拍子をやつて、「これがロストアラフだよ！」と教えてもらった。ドバンドはそれを基に縫うように ハド、 ↑ド（少し早め）、ド、 ↓（少し遅め）↓ のループの一拍子やるプロジェクトだった。法政の時は一晩中やってたような気がする。竹田さんに、「何か苦行してるみたいだねえ」と言われた。一〇年くらい前にもロフトのマヘルでやった記憶がある。あとは故福田君たちと香川で。一拍子はマヘルの基本だった。新しく入った人はまずそれを練習した。前に進むにはそれが必要だった。ほらほらこれがonとoff・・・。

今回は、一拍子に加えて、そのドのルート音を環境に規定された波長に合わせる、ということを加味することにした。石坂浩二が、ナレーションの秘訣として、喋る旋律にも長調と短調があるから、画面の音を聞いてから音程を決める、と言っているのを読んで、それまでの、ピグミーの合唱のやり方に基づいた、自分の体調によってルート音を決める、というマヘルのやり方がどこか利己的だと思うようになったのだ。喋る旋律にも長短三度があから、ナレーターは音を先に流してその場のルート音を決め、声の調を合わせてゆく。これが逆ピグミーだ。人が音に合わせるのか、音を人に合わせるのか、ということだ。それは実際的でもある。各人が順番に楽に出せる声の音程をルート音としていく過程で、他人の音程に影響されて自分の音程が変わってくる、というのはりハで何度も経験していた。それで一人一人離れてこっそり声を出すようにしたりしていたのだ。その考えを改め、会場全体の影響を受けた状態で自分のルート音を決めるという方法を認めれば、より合奏が場に響くことになる。

ドの音が演奏できれば誰でもいいです、と参加者を募集した。デヴィッドシルビアンがデレクベイリーのスタンダードに歌を付けた手触りを、ギターと歌で一人でやっていった人がテルアビブに居たが、そのようなことをバンドで行うことを考えていた。□土柱こと矢野君がシーケンサーの意味を無くす手打ち一拍子を強いられ、ムネタカ君が触ったことのないバイオリンを弾かれ、礼子はリコーダーでわかんないとか言ってたただ立っている様子が目に浮かんだ。

三月三〇日 鴨島 studio picnic piano solo w/reiko

徳島ラーメンは、「もうちょっと生きてみようかな」というやさしい味がするけれども、演奏は全て、過渡的なものではあり得ない。最期のピアノと
思って弾いた。

今年ほど花が怖いと思ったことはない。あと何回見られるかわからないのに、なぜ咲いてしまうのだろう。

ノイズの音源のCD化の話、お金が欲しいのはやまやまだけど断っちゃった。「壁」とかやつてるから角谷も
入ってる消しゴムのやつかと思ったがマイナーらしい。最初誰だかわからないムーグ?とかドラムとか入っ
ていて、曲が始まると消える。

四月三日 デヴィッドアレン追悼にあったかいんだからあのルート音昨日BDJに乗せて食べました

ネタもロック史やと思う # 永野ビン

世の滅びなど前菜に過ぎぬ

分かった！地層だからC層だめよだめだめタメタB層I saw.

借金踏み倒されて聞さん嫌う人の気持ち分かるわ

四・九 六角橋商店街ビッチーズブリー

裏アカ以外ブロックしてんねんな。可愛い。

死がテーマだったとか聞いたけど、死んだことないから分かんないよ。

小樽文学館のお姉さんはコンセントに電源コードを挿すときいちいち「ぶっさす」と言うのでかっこいい。

へえ、そうなん。そしたらその間携帯いちくつてたらええやん。

一枝を鳥に残して空に上げ

四月九日 白葉 *bitches brew*

今回すべては白葉でのピアノソロの録音のために生じた自分の企画で、自分で企画して関東に行くのはメルトダウン以来だった。一月に初めて訪ねたビッチーズブリューで、杉田さんは、「客なんて来ないんだろ？はツキリ言つてゼロだろ？」と嬉しそうに言った。経営者なのに、裾野が広くて黒い富士山みたいだな、と思った。ベルクでその話を裏窓の福岡さんにしていたら、グッドマンの鎌田さんが偶然そばで聞いていて、うちでもやってよ、と言ってくれたので、ピアノソロの出来る店が二軒になったのは嬉しかった。二月に杉田さんから電話があり、ビッチーズブリューが四月九日に決まったので、アコーディオンのアキさんにフランスで出た“*enka mood collection*”のリリースパーティーをしようと思つかけると、四月一日に大久保のひかりのうまで、ということになった。ひかりのうまは、マルタさんが店長で、原マスキさんと早川さんもやつた雰囲気のあるいい店だと聞いていたので嬉しかった。旧バラ荘の相馬さんにも連絡し、八日から一二日までは展示をし、一二日にはライブもする、ということになった。あとは一〇日が空いていたので、鈴木美紀子さんに頼んで、黄金町の試聴室に訊いてもらつたら空いているということだったので、マヘルをやることにした。

スケジュールは決まつたが、四月に入つても東京に行く金がなかった。田尾くんが毎日一枚録音して送つてきた~~カ~~が一年分あるけど一〇〇万くらいで売れないだろうか、河南省辺りに、金持ちでそういうの好きな人がいると生悦住さんが言つてたし、などと考えた。

ライブの内容は兎も角其処に行き着かないことには始まらなかつた。内容とかは、どうでもいいとか、ただ立ってりゃいいんだから、貧乏人がただ立ってるのってすごいんだぞ、「漏れなきゃいい」から「漏れてもいい」に落として展示もしてきたけど、「立ってりゃいい」になったらこれ以上ハードルを下げられないだろう、などと毒づいていたら、モアでレコードの売上を貰えたので行きの旅費だけは出来た。

九日のビッチーズブリューは生悦住さんやPineの連中やら思つたより沢山来てくれて大変嬉しかった。これで最後という気持ちで弾いたら、杉田さんからやつぱり、おれが思つた通りだと言われた。杉田さんはご機嫌で、バラ荘まで皆を乗せ、透析中の身なのに禁酒を破つてビールを飲み、鉢を買ってくれた。菓子を盛るのと言つた。翌日菓子を持った写真がアップされた。名の知れた写真家であるらしかった。

四月一〇日 *mshb* 黄金町試聴室

ジェイコブ・ウレン以来の横浜ヘルなので神奈川方面の参加者を募集した。「Maher in practice」メロディーは四音、低音部も四音、被るのは二音、低音部が選べるリズムは二通り、メロディーが選べる半音のずれは二箇所、コードは二つ、小節は二つ。自分のルート音と絶対音のどちらを用いてもよい。これらの組合せから生じるフェイズはいくつになるか述べよ。」参加者はルート音とリズムについて説明を受けてから、スコアの中から自分のパートを選ぶ、という方式で進んだ。店長の美沢君にかさばる焼き物をひとつ無理矢理プレゼントした。

四月一日 大久保 ひかりのうま

カラオケを考えていた。レコードはフランス盤なので、普通に演歌をやってみせることだけで違和を形成できたが、今回の大久保の場合、それだけではないけないという気がしていた。カラオケは画面の歌詞に縛られるので、始まると同時に勝手に言い換えるということが難しい空間が現出するので、寄り添うと同時に、そのフィールドを無利にこじ開けていくことができるか、というのがテーマになると思った。当日はテキストの束を用意し、それを伴奏に乗せる、というのを数曲やって終わった。アキさんは大久保でのソロの二曲目、消音ピアノと呼吸法によって、ピアノをアコーディオンとして弾いた。この時の東京では、それが良かった。

四月一二日 野毛バラ荘

車のオーディオを引剥がしたサウンドシステムがあるのでそれを使った。白石さんとやっていた頃は高校生だった望月君が現れてベースを弾き、一緒に「キャロライン」などを演奏した。

Words fail us.

土下座するシューゲイザーで

ドーゲイザー春の京都で謝り続ける

例の「奥の部屋」見かけたよ。横美の石田展で

カメラがこつち向いてた

・・・いつそ痕跡を残すべき

増える手書きに痩せる媒体

ドリムサービスと車体に書かれた軽自動車を追い越したまま

ゆく春を死に洩れて訪う公園に藤と八重とが共に咲きたり

四月一九日 *nishib* 京都ゆすらい

京都ではマヘルなどは公家にゆすらいされる粗野な田舎者です。酔いがさめたら本当に死になくなりました。

大柴君追悼アルバムのための寄稿 II

四・二三 乞われて追加

僕が持っている音源は関根の「それってファンシーボール*」だけだったので、一度対バンしたときの印象を思い出して高円寺に上記の追悼文を書いて送った。追悼といえば福田真也のことしか思い浮かばないので、*psd* ミューンの時も角谷の代わりに福田の面をつけて喋ったのに、高円寺はまだ分からないのか、と思ったが、「お聞きになられないで書いて頂く形になるのでしうか。すいません。」「ライナーで、五〇〇字以上で」「謝礼は一万円」という、ジャンプの上でマイナーが踊っているような再領土化を経た。「みんな」はとうに失われた感覚だった。一九八七あたりで、「我々は離散した（国分寺）」というのに。「そうであればライナーも福田君のことを書く。蛹のなかの溶けた蛹のように。内側から食い破ろうとする力は抗

いようがない。高円寺では殺曲が問題なのだから、お金が欲しいのはやまやまだけれど、きつと曲解説は書けない。大柴君もきつと、書かない。」と思った。それでも音源を送られて考えたのは脚注だった。脚注としてのロックの余生。

* スティックに放下された高円寺的実存の名曲。みたいな。

* 「別のこと」を探しながら聴こうとしていた。聴く前に予想していたのはラリーズのオズライブの一曲目のリズムの八〇年代型、あの弛緩が最底辺で、高円寺はデフォでそこに放下されている。そこにいと、エフェクターを使ってもフォーク野郎になつてしまう。(歌詞をエイトビートに意識的に乗せ替えたのはピーターペレットだけだった。)その最底辺のリズムが見られるのは二三トラック中七曲、ヴェルベッツ的刷り込み、ヴォイドイズの一拍子ヴァリエーションやBの的一六を入れれば一二曲で、ギターソロの工夫を考えなければそこからあえて脱却しようとしていないのは二曲。あとは、コーラスの音程の下がり具合で九〇年代のアメリカ中西部に繋がろうとすること、管楽器的な音色の音程の上り具合、アナウンサー音、合奏を速めること、速度を後からいじること、ニルヴァーナ化、泡立ちの後突如渚にてになること、初期ピンクフロイドのPow R. Toc H.のずれに無自覚を装うこと、スウィート・ジェーンから「おい、」と凝った呼びかけをすること、曖昧な倍転、機械の不調で再生が止まったような中間部を挿入すること、などの「別のこと」によって高円寺商店街はロック史を領土化しようとしているが、残りの九トラックは逆にリズムから遠ざかることで、「別のこと」に近づいている。翻訳機は第五列も使っていたが、先行する言語のインド訛りの濁りが救っている。鍵盤とコーラスの下がり具合、泡の音からの構成、しずかな成功した合奏、いくつかのキーが失われたザイロフォンのようなモードにダモさんが被さり、最初の環境音から「別のこと」は始まって、永野ピンに聞かせたいような高架下の、八〇年代の「あーあ」が聞こえて、ちよつと繁華街を外れて。環七あたり、きつとベースは奄美の食堂に行つたんだ。高円寺の「あーあ」のご宣託。幻想のロッククリティークの是認によつて青春は閉じる。この後のアルバムからは「別のこと」は聞こえにくいかもしれない。「別のこと」は身体にのみ求められていったかもしれない。最後は、それもなくなったかもしれない。

右手のしようとしていることを左手に知らせるな

こと座流星群見ないで死ぬことに

Before your passing the river,

I will have to be saying goodbye, seeing the good land

and wilderness behind us.

宇和島。「鈴」に行ったが閉まっている。

仙台ファイルが来るとか宣伝してるけど四〇〇年経ってるのにまだ交流してるのか

駅前の本屋に大竹コーナーありふふと思う

宇和島の人は富澤赤黄男を偉人と思っている

飲み屋に飢肥杉取り置きあるは日南の漁師の行き来のあらむ

油屋でバーにいるんだけどさ

お前、おれのこと忘れただろ

白藤や揺りやみしかばうすみどり不器男

メタのメタがリアルなら奥の部屋は要らないではないか。希望を捨てて愛を取るならふたつのバンドが同じ曲を演奏すればいい。

ネパールで地震。短期滞在する人くらいのうち友人は三人、あと一〇〇人くらいはその知り合い、道には死体ゴロゴロ、でも略奪は起きていない。温厚な国民。今はハイになってるけれど。中国の介入が心配。

みんな並んで、笑ってるじゃないか。築き上げたものが壊れた、とかじゃない。だって今まで何も築き上げてないもの。カラフルなのは布地だけ。ゴミ屋敷の、形がちよっと変わっただけ。PTSD発症しないことを祈る。

ラインに救援のスタンプできてるけど、赤十字、やだ。

これでシャンバラ破壊とか言ってる奴いるけど木股さん、昔みたいにそれを上回る滅茶苦茶なこと言ってくれよ、にやにやしなごらさ。そしたら俺がもっと真つ当なことを言ってあげるよ。もう死んでるのか？生き

てると思って演るよ、

安西美佐保を読む堀江敏幸蝶は五月の空を開けるか

人間は汚染水の詰まったただの言葉袋である

小綺麗なデザインのアホダンス affordance

舞踏公演「見舞」

桐の後にはアカシアが

@twitter「いまどうしてる？」ってどうもしてねえよさけんじゃねえよ

たまに大きな雨粒があつて車の屋根に大きな音がする

そりゃゴキブリを食べるから居ていいと言ったよでもこの部屋じゃなく

子供作るなら軒下とか雨の当たらないところがあるでしょうが

最近米に胡椒入れて炊くのが流行ってるよ。花椒の痺れや唐辛子の辛さじゃなくて胡椒を形容する適当な言葉がないのは何故だろう。

ワキツレの意味が判る夢だったよ

毎年この時期はロルカのフラメンコを数曲づつマスターしています。リズムが恐ろしく難しい。そのあととばっちりを受けるのはマヘルですけど笑

「マリア」「なんだ、そこにいたのか」

包囲網は狭まって

カインは慰めを得た

イノセント、無修正にこだわって現地で観てきたという評論家が居たりしたことは覚えています。ヴィスコンティが生きていた頃は濃いスープの入った重い鍋がいつもぼくらの肩にのしかかっているようだったが、去ってからはそれが薄まり、鍋の重さは変わらないのに軽くなったような気がしていた。

五月八日 木股展 博多 月

w/3c123, ryo goizuka, harumi yamazaki, reiko, etc

「庭に来る鳥の啼き声が I should've been there と聞こえる」と真顔で言われて

フェリーで柳井に着いて田布施を通して光市。上からの目線は揃り潰される。

ふくつ市

五月九日 博多 tetra

山谷争議団の頃の友人がテトラの前を通りかかって、何曲か歌ってもらった。今は社青同開放派かなんか。

五月一三日 mshb+shiu 道後 ワニとサイ

ことばに いみがなかった

いみには ことばが なかったねむりのもりのはなし長田弘

ボイス的な物と物との神秘的な照応の時代は終わった。アイコンは廃れるだろう。というより、アイコン同士、なんの関係も持たなくなるだろう。すべては個人に戻ってゆく。

obsession of "αὐτιτυπος-τύπος" typology had merged into personal moments, like only ones' no peace for the wicked, even serpents shine, etc

ホタルそろそろなのに台風

啼き声は嵐の夜明けに切れ切れに数秒続く多分子猫だ

生ぬるく鳥多く雲の多種類

消去出来ない道に枝の散乱

多種類の緑盛り上がっている暗さ

東に移る雨にふられた西の、おきざりにされた青空

Sheが来たので久し振りに松山城に上ったのだが宇和島城と比較して松山城に足りないものは私にも足りないものなどと底の方では思っている。

タイツを先にはいてしまったときは空手チョップの真似をしながら力道山怒りました力道山怒りましたと言
う

一七日にピカとやる曲、ひとつはa boogieかな、あとはswitch back、それとtoo many wives、なつと考へつつ
たら夜が明けてきたじゃないか

話さないことが強さであるような

ミステリーのために

承認欲求を見殺しにしてきた

約束はあった

選ぶ自由と決める権利の違いも分かっていた

筈だった

私は本当に

何に

このような

五月一七日 徳島 jiro's guitar bar w/pika

ピカと坂本弘道のツアーに誘われてまた徳島に行った。

当日はピカがドラムを叩いて、榊山節考、ムジゲ、a boogie、switch back、とかやった。

鳴門インター近くの「かわいい」は「もうちょっと生きてみようかな」という気にさせる優しい味だったのに、おばちゃんが居なくなつて薄っぺらい化調味になってしまっていた。二日酔いだったからかな。もう生きていてもしょうがないかな。

送信者のないメールが来た

万緑に花のいつしゅんとだえたり

五月二三日 ダンス公演「見舞」

五月二四日 アーと⑥ー 鹿沼 興文堂

五月二五日 椎名町サロン

カプセルの共同浴の先客は目を合わすことなく出て行きたり

五月二六日 阿佐ヶ谷 hanes

あの頃は金があつたらしく

夢の中のような

鳥喜魚躍

今週末のアートで田んぼの日は予報では雨なので参加者は長靴で来てくださいうことでロスキルデみたいになりそうですね。駄目だったら脱穀場でやるそうです。前日から泊まります。マヘルは今のところ七人、東京からは大谷だけ。やるのはエチオピアとか大味なロックです。

いい人は死んでまだ生きているカスは一段昇ったふりをして

映画『山谷(やま)ーやられたらやりかえせ』 新井輝久

でもこれは本当の地震です深いから

うその地震で死ぬよりいいでしょ

人に殺されるよりいいでしょ

自分に殺されるよりいいでしょ

本当の地震は本当はいちばんこわい

でも本当の地震で死ぬなかったことはそれよりももっとこわい

五月三十一日 **nishb** アートて田んぼ 香川県三豊市

「完全な愛」の不完全さが、不完全な愛の完全さへと

不完全な「愛の完全さ」が完全な「愛の不完全さ」へと

高速を追い抜いていく完全な愛はどちらの完全なのか

県境を越えて香川に入りしかばオリーブの木の看板薄し

五・二三 **nishb** ダンス公演「見舞」@八丁堀七針

collaboration with Florencia Rodriguez Giles

僕が尊敬するアルゼンチンの美術家フロレンシア嬢は先年の神保町視聴室の周波数オクターブ舞踏を観に来てくれたのだったが、今回の七針のマヘルの日にもちょうど茨城のレジダンシーで来日していて、一緒にやりたいと言うので嬉しかった。最近またアルトーに出会い直しているのだ、という彼女の異言劇に対して、ダンス公演「見舞」というのを考えた。その下敷きには、石田尚志が府中でやった、それまでにかれが行き着いていた「奥の部屋」の提示だけでなく、さらにその奥からの、作家も含めた私たち全体に向けられている一台のカメラの存在が啓示のようにしてあった。

The setting is like a dance performance. I am lying as if I am on a bed in a hospital with my guitar. Then participants give some kind sound/motion to me, using no words.

床に寝ている病人は携帯を隠し持っていて、見舞いに来た人の顔をツイキヤスで流しますが、レンズは白濁していてもう相手のことを覚えていません。

見舞いに来た人は携帯を隠し持っていて、寝ている病人の顔をツイキヤスで流しますが、相手のことを感じられているかどうかという自分のスプランクナに関心を持つあまり病人を物のように見ていないかうっすら悩んだりしています。

それらを受信する二つのツイキヤスピュワーはさらにナースキャップをかぶったもうひとつの携帯によって交互に編集されながらプロジェクターでステージ後方に投影されました。観客も映っています。

それらすべてを撮影している五台目のカメラも「奥の部屋」に居ます。すなわち病人一人につき五台のカメラ。

ダンス公演「見舞」はそうにして即興演奏のフォーマットにされます。

フロレンシアのプロジェクトに参加する場合、前もって夢を共有するFB上の閉じたグループに参加することが望ましいようなので、参加したい人はお知らせください。彼女のテキストは以下です。

This project is based on the idea that the act of dreaming can be used as a source of new narratives and collective practices.

I conceive this project as a communitarian practice based on the idea that a group of people can open a different space within the state of wakefulness.

First in Buenos Aires and then in Ibaraki, I created a community of persons that started to share their dreams by means of a closed group that I opened in Facebook.

My objective was to establish a virtual community in which the participants could relate to each other exclusively by means of the materials extracted from their dreams.

After a period of time during which both groups shared their dreams, I started a series of meetings with all the participants. For these meetings, I produced masks. In the first meeting, each participant got a mask, which became from that moment on her or his intermediate face.

The practices were based in the remembering and collective sharing of the dream experience – as a script produced every night by all the participants. These scripts were used as material through which I was looking for an intermediate state, between sleeping and being awake.

The instructions to make the practices were oriented by the following questions: how we talk in this intermediate state, how we walk, how we interact with the space, with the others, with the objects? I was also interested in using mechanisms extracted from the act of dreaming, such as for example the blurring of the difference between me and the others, either subjects or objects, the suspension of the strict distinction between past, present and future; the rearrangements of the spatial relations; the possibility of establishing discontinuous trajectories between heterogeneous situations, etc.

I was also interested in exploring how this production of intermediate state takes place in correspondence with a new relation with language. I am particularly interested in the capacity of language to induce subjective affects, for example by producing sequences of sounds, by stuttering, by the use of glossolalia, etc. This means that I am interested in using the human voice in a register that is independent from the functional tasks of communication and meaning. I conceive the voice as an entity that acts inside the body, rather than an entity that represents the subject.

Through this intermediate state I am interested in creating a singular atmosphere that could produce different intensities of existence, as if changing our state we could transform the density of the air, the quality of the time, the weight of the things.

I think this work also as if we could expand the moment in which we wake up, and make it last longer. As if we could live within this intermediate zone.

Florencia Rodriguez Giles

「奥の部屋」から“that's all I know”派を断罪への mission

「表現」は存在しない。

「俺が知っているのはこれだけだ」というのは一見誠実に見えるけれども表現ではなく芸であって、そう考えている自分を眺める外からの視点が導入されていない限りロック史からは外れる。すべてを知っているのは無意識だけである。バクーニンの文体はそれを意識しているように思われる。

下が変わることと上が変わるのか上が変わらないことと下が変わるのか

とりあえず四時には起きて畑して杜子春と啼く鳥の声聴く

荒井は「自分など居なくてもいい居なくても自分の代わりはいくらでもいる」
と言つて死んだのではない。家賃の見通しがつかなくなつて死んだのである。

植えた里芋の雨が降り込む

く侵入するゝ虫等にとつては此処が奥の部屋

雨に飽いた蛙が鳴き止む

Shuさんの新作に近江八幡のマヘルで演奏した「last song」が入っています。Shuは唄う声が真面目だ。

非対称な葉の葛のぐんぐん

transportationに歓喜の意味があるとディキンソンの詩で知る

おばちゃんは歌うよ波が起こるまでラフトレードから全米一位

藤の実が、大きい。マメ科だけに食べられそうな気がしたのだったが
怒られているのか落ちた実は椿要諦は民主主義なのかと

六月七日 ロルカ 広島abierio

ベースのキムヨンジン重態だそうです。

儂がロックだ

光州の農家の裏で負け犬のスープを飲めば解る

尾道

尾道の坂を下ると、「この先は海」と書いてある

海なので水が溜まっている

低いところには水が溜まっている

低いのに水が溜まっていないところがあると思う

水のない低いところにいる

水のない低いところにいる人に話しかけても無駄だ

水のない低いところにいるのだから

五百円玉でおつきくて重くてすごいなあドラクマみたいだなあ

銀色だしずっしり手に馴染むし万札より五百円玉のほうが価値がある気がする

五百円玉が貯まるとすごく金持ちになった気がするだろうなずっしりして。

ぼくの部族を騙して五百円玉を見せれば何でも取引してくれるよ

パウンドバスターズとかダイムストアミステリーとかちよつと違うんだよな。パウンドは分厚つくて重すぎるしダイムは乞食の手の中の重さだ。やはりこれからのリッチは五百円玉だろう。

ポケットを叩いたら一日一個五百円玉が出てくればいいのに

五百円玉の詰まった重箱もらってお前もワルよのうとか言って笑ってみたい

映画に出てきた五百円玉で一番良かったのは「少年メリケンサック」の宮崎あおいがズボンからごそと取り出すシーンで、あれが重さとしては一番納得できる。

もう札のことは忘れよう

五円一円十円五十円百円を見下しながら王として威風堂々と振舞おう

でも差別しちゃいけないな。一応仲良くして共存し、硬貨で軍団を作って札を燃やし尽くそう。

敵はATMである。同胞が意味なく札の共供のいけにえとして毎日犠牲となってる。その弔いのための負のエネルギーは膨大なものとなっていまや天に達している。

札は見つけ次第燃やす。

her majesty)もリンカーン)も英世)でも燃やす

それに俺の財布の紙幣入れは桂花のスタンプカードやコンビニのレシートやファミレスのドリンクバー券等で占められてパンパンに膨らんでいるからもう札の入る余地などないのだ

それに宝くじが加わるとその負の空間はブラックホールにつながって收拾がつかなくなるから、もう紙幣入れのセクションは糊付して封印せねばならない。ただ小銭入れという呼称は良くない。金袋とか呼んだほうがいい。スピッツの「ポツケに小銭チャラチャラ」は歌詞として良くない。硬貨を馬鹿にしている。

「ポツケに金銀硬貨がジャラジャラ」だろ草野。だからお前は弱いんだ。

札を扱う店はみなどろぼうと思え。

札のやりとりは詐欺師がするものだ

ニジンスキーも同じ気持ちの人であった。

宝の貝を抱きしめて 贈与の海に漕ぎ出せば 鯨が取れることもある

仏に会えば仏を殺し、札を見れば札を殺せ

ラインのスタンプはランダムであるかそうでないかに関わらず選ばれるときに一度ねじれる。愛↓ミーマイ
モ一脳内能記↓々ココヰ↑ミーマイモ一脳内虹能記↑無意識

居ない蚊を叩く見えない蚊を叩く

宝塚「名前絵付けした唐津にEggとあり九大のシンポのあれでマットは自分より二つ若い空爆してただろ
うなと自分は長船をソウルの庭に埋めて隠して帰国した」

「内観のハタノさん彦根の例の和菓子屋の土産美智子さんとダンスしたことあるってマサコさん駄目だから
もつといい人探して来てくれないかとテンノーに頼まれたって」

「ハダカウマで訓練させられて痛かったって長船きつとビルの下」

備前オサフネだよソウルに掘りに行こうかしらんおれ前にマサムネ見て切られたいと思ったもん

下賜の菊紋で飲んでる無一文

フランス革命の時、一介の庶民である仕立屋がダントンか誰か、闘争の渦中にあって支払いどころではな
かった政治家にしつこく支払いを請求し、彼も断頭台の露と消えるまでそれに誠意をもって応えようとす
る、という哀愁を帯びた小説があったような気がするのですが、誰か知りませんか。

六月一日 京都 きんせ旅館

詩篇はほんとうはどのように歌われていたのかを、ユーラシア各地に散らばったシナゴークに伝承される旋律の比較言語学的な検証によって原像をあぶり出す、という研究の成果を収めたレコードがあり、九〇年代には愛聴していた。ジュヌスというフレーズの、点ではなく線の束の集合であるその旋律は無調に近く、後代のグレゴリオ聖歌の単声のモテトの陰鬱さの影響を差し引いても、ゴシック様式の通奏低音を飛ばしてジョイ・デ・ヴィジョンのベースラインに直結するようなものだった。その頃荻窪にあったグッドマンで毎月ピアノを弾いていたので、普段は雅楽師である笙の人たちに、雅楽と合う筈だ、という奇妙な確信のもとにその旋律をぶつけてみる、といった演奏を半年くらい続けたことがあった。

今回島原という旧遊郭地帯の古い旅館に呼ばれ、街を歩いていると、急にその詩篇の「モーセの歌」の旋律が蘇ったので、京都マヘルで笙をやっているゆれみさんに電話したら来てくれたので、久しぶりにそのオクターブのユニゾンの旋律を演奏したのだった。

もう島原には行かない、て曲作ったことあるよ。

ゆれみさん誘おうと思ったけどいきなりだし仕事してるだろうし

京都はいやだ

島原大門

ゆきてかへらぬとかやつてもさ、あれば首すげ替えた長州だからできた話で

あゆおのもとよめのなんとかつとやつてたモーセのあれをやろうとかちらとおもったけど

いややなあ

おおきに

ことごとくいややゴミ箱もないし

火付けて燃したらか

信長の気持ちがよくわかるわ

島原俳壇ね

マンドレイクで馬負けた

はとがこちらに歩いてきた

結局ゆれみはんにでんわしたらあーいいですよーと言われたので九〇年当時のsoodmanの再現となった

箱書きの堆く積まれてあれば悪霊共の呼気のこもる、

論理馬おーネット凍る万馬券

川沿いの窓を開けられひとすじの悪寒ひたすら寒い冬より寒い

□朝

目が覚めたら睡くなった

卵がふたつ、揺れているが

落ちては来ない

揺りうごかしは五分と続かない。

すっぱぬける者はない

睡くなると目覚めて

起き上がる

語群探知機は死後硬直を探す

あとは耳鳴りがはじまるから

耳鳴りの中を鳥が鳴き渡るのだからノイズなどやっている人が尚も居るのが分からない

耳も眼のように濁る

溶血でしかない朝焼け

朝焼けだらけ肺だらけマンドレイクは曼陀羅華

朝焼けはバキュームカーに乗って

心を煮るちまたの上手で

山根大の失敗したベーグルのように無酵母の罪が肥大する

それは祭司たちより始末が悪い

夫は汲み取り代だけは払って呉れました

「ホラホラこれが僕の骨だ」とは復活して自分の骨を見ること

知りたくなかった言葉しか与えられない。知りたかったことも知りたくなかったものに、末端に触れる肉の腕は木の枝に変容する。

今日から日曜まで現美展の受付をやっている暇なのでお堀の辺りに来ることがあれば県美旧館に寄ってください。五〇周年ということと亡くなった人の作品も展示されています。床の白塗りオールドの畳は持ち帰り可ということです。坪内さんのピール段ボールgiveawayの真似して身辺整理する気だな。

昭和四〇年第十回のパンフに州之内さんの文章あり凝つと見る

一二三三二一

金色の毛虫がいて金が採れないか思わず調べた

子供の国

子供の国の境界外の池には沈みかけたボート、土手に散乱する駄菓子の袋、捕らえた生物を入れる金属製の籠、植生暗く、裏返りの白もない。蛭蝶の軽い薄青の重たい羽搏き。境界内の赤と外の青を横断する無方向の鳥の旋律。園の東、額に標。

毀れて閉まらぬ窓から刃物寒

夢のようになるだけなんだった

わからない

ffff Ccccccc

じじふわ

Bbbbbbbb

る

FFFFFFFF

ゆめを

みるなよ

いまが

ゆめの

ように

なるまで

おやすいみんなあい

おやすみなさむい

おやあさどれやさい

おやさみしいなっしー

おやあさみなさい

おやこすみなさい

おやすみません

おやさむいな犀

ぜがじえに聞こえる

白に蝦赤の線

祝に非ず

拘束された脳たち

省略された赤子の線を削り

本線にマーシしない

六月二日 鴨島 **studio picnic**

徳島にドバンドでまた呼ばれて行つた。今回は一拍子だが、「夢のようになるだけなんだった」という曲をやることにした。歌詞は
わかる ないこと すぎる

ゆめを　みるなよ　いまが

ゆめの　ように　なるまで

というもので、うちに泊まりに来ていたロンドンの友人のジョナサンが、「わからない　こと　すぎる」という変な日本語の部分を担当し、ムネタカ君と礼子が続く部分を歌い、D土柱が一拍子、自分が即興、という編成だった。結果は、歌がいつまでたってもずれ、結局6分余りずれに対処するためだけにやり続けるというような演奏になった。

スタジオでは皆の展示もした。半夏生が生けられていて、自己を「チンピラ」と規定する旧友のピコがアヤワスカを主題にした極彩の写真を展示していたのでその後数日はサイキックな気分が続いた。

半夏生アンフォルメルの白塗りに百足の毒が回ってへらへら

装飾音に消耗してバツハを止め尚子さんのピアノに蓋をして外に出ると昨日スタジオにいたツマグロヒョウモンが今日も何か言いたげにひらひらしていて逃げない。毛虫は金色である。

チンピラや山の向かうに薄い山

アヤワスカ飲んでる星の王子様

「はま寿司」の通路歩める介護士も老いては要介護とならめ

ネトカフェの通路を泳ぐギンメダイ

(変える(変えない)変えられない空に言葉のフレーム地にはクレーム

フレームが塗り替えられるというより空間が塗りつぶされていく

心室を搬入搬出パフォーマンスのように塗り替えてゆく

塗り残した時間のためにきみの絵から額縁を外せ

半夏生塗られてゆく白夏の前

決壊させまいとしても決壊し紛糾したまま固まるもんじゃ

決壊させまいとしても決壊し紛糾したまま固まる海水

海水は脳の中煮凝りとなっている

脳の海水ゼリー掬って食べている

朝海水の壁の向こうに泳ぐ脳たち

カルデラ湖防衛するセメント森

月島やアヤワスカのシャーマン雀荘に

現実には存在しない

女が存在しないように、現在に向かうベクトルはすでに現在ではない。ゆえに現在の側から発せられる表現は存在しない。むりにそうしようとすると、言語がiphoneの基板を覗くような命の洪面に整列させられているのが見えるだけだろう。

空港内に羽田神社というものがあり、興味をそそられた私は立ち寄ってみることにした。

それは羽田神社ではなく航空神社というのであった。小さな部屋に神棚の大きくなったようなものが据えられていて、伊右衛門やカッパ酒など供えられている。航空関係者の霊を祀るために昭和三八年に建立されたとあるので土地のものではない。安全祈願と思いきや慰霊が本義であるらしかった。

私以外の世界は慰霊で正当化されているのだ。

ただ、賽銭箱は見当たらなかった。盗まれるからだろう。

空気の中には蜜がない

ピアノを、擦る

六月二七日 白樂 *bitches brew* + tamio shiraishi, takashi mochizuki, yuko haiji

二回目のビッチーズブリューは白石さんの来日に合わせたセッションだったので、ソロの強迫はなかったが、ピアノを擦って残響を出す、というのを初めてやってみた。

二人の巡査の下にはいつも蟻が熔けていて

「おれはモヤシの入った味噌汁嫌いなんだよ貧乏臭くて」

「モヤシも立派な野菜ですよ」

「いやどうしても昔を思い出すんだよ貧乏味噌汁つってさあ」

夢音のマスターがバラ荘のオーキャロラインをクラゲイルで出したので極楽のミドリさんの店に二〇〇〇円
て置いた

「ここで彼を止めると杉田さんが悪者になっちゃうでしょ」

「うん」

杉田さんは優しい。

透析の日だったのに優しい。

ジャズはいつも負け犬のように優しかった。

模索舎で、李珍景「不穏なるものたちの存在論」影本剛訳インパクト出版会

六月二九日 大久保ひかりのうま +tamio shiraishi, tsukasa takahashi,non

青森のノンちゃんに久しぶりに会った。この日もピアノを擦る技法を試したが、マイクで拾った残響音にリヴァーブをかけたので、かつてなく響いた。

六月三〇日 nash 上野 水上音楽堂

主催の福岡さんが、PAの荒井輝久が居ないことを逆に主題にして、マイクなしでやろうと言うので、拡声器を持ち込んでやってみた。

荒井は「自分など居なくてもいい居なくても自分の代わりはいくらでもいる」と言って死んだのではない。

家賃の見通しがつかなくなって死んだのである。

下が変わることと上が変わるのか上が変わらないことと下が変わるのか

昔やっていた「雨」を再演した。

東京の剥き出し

明るい花園一番街明るい花園三番街明る

明るい一番街明るい三番街明るい五番街

一番街三番街五番街

死にたい田螺

蜆のみ自死

わたしは貝にナタリ

不忍池の鯉らはボーフラを

東京に来て三日目でICOCAのチャージが切れた

ボランティアードロップ

マヘル演るヘマ

昨日は閏秒に合わせたイベントだった？

演奏中に太陽は静止した？

だからガソリンひつかぶった？

七月一日 piano solo 萩窪goodman

四月に鎌田さんが声をかけてくれてから3ヶ月経っていた。この日も最後と思って弾いた。最初のセットが終わると、鎌田さんが、「そんなに飛ばして大丈夫なの」と声をかけてきたので、自分ではそれが普通だと思っていることが場に当てはまっていないのだと知れた。それで客が数人帰った後、ピアノを擦るのを、声も出してやった。その楽な感じを前線からの退却と取る感じも、場にはあった。

病気になるってもいいかと体が訊くので家につくまで待てと答える

バスの通路に百円玉が落ちていたので落とししましたかと周りに訊く

吐き気をガソリンのせいにして頭蓋を震える窓に押し付けている

上向いて暫し冷たい層あれば海底のように静かだと思う

体を裏返して洗って死んでしまいたいと思う

地球が海ゆえに人を吐き出すように吐く

目と鼻から海が流れ出すあるいは逆流する

地球の自家中毒

雲の裏側が私の惨状を物語る

A ABGAFG**b**eb A ABGAFG**b**eb

戸江らい女又

読み方を訊けば「われただたるをしる」

ゲームが四頭身化するときの組み直されるスイカ頭

猫の腎臓用のカリカリは駄目だ。ミネラル等が不足する。そもそもキャットフードの保存料で痛めた腎臓をキャットフードで治そうというのが間違っている。猫は塩分抜いた人間の食事を作ってやるのがいい。時間がないからキャットフードに走った。昔は皆猫マンマだった

キャットフード業界は保存料等の添加物の有無によって猫と飼い主を差別化、奴隷化している。

猫とその飼い主は生きているのではない。キャットフード業界によってファンシーな二次元に栽培されているのだ。

猫は長生きになったのではない。キャットフード業界の利益のために寿命より長く呼吸させられる羽目に陥っているだけだ。

ねこに未来はない

キャットフードだけでいいと信じ込んでいる猫の飼い主は子供にカップラーメンしか与えない親と同じだ。

猫は存在しない。

高インフレ＋低成長でハイリターン僕らの渦は気象に過ぎない

僕らの生き死には気象に過ぎない

投資家にとつての気象に過ぎないので風になりたいなどと唄う

喜びも悲しみも彼らの気象に過ぎないのに心と体の関係などとまだ言ってる

奴隷のくせに「ポジティブ」とか言ってる

金がないから覚醒してるだけだ~~な~~俳句

ハローハイホーがハロー警報と聴こえた人は~~否~~

戦争で儲けようというモードに入ると所謂人間とは別の種類の機械と思った方がいい。それは兵士のモードでさえない。抗ってもそれが気象になる。高気圧と低気圧に勝ち負けなどない。ハイリターンのための気圧の差が生じるだけである。

ブレヒトの「自殺について」は「気象について」と言い換えられるべきである。富もうと思いつめた機械との対話は不可能である。ゆえに議会制民主主義は意味をなさない。安倍の答弁はその点で正しい。包摂と排

除の運動史はジャズ史とは重なってもロック史とは重ならない。ロックは対話などしない。

徴兵拒否と餓死自殺が気象に組み込まれるとやつと両者は重なる。やつとジャズがロックになる日が来るのだ。マイルスやニューオーダーは注意深い者たちの中ではその視点から切り捨てられてきた。それはなかなか伝わらない。その門の外に居るのは犬である。

元町に来たら鯉川通りの瓢箪はもはや儀式のようなもので

得体が知れないのはおまえのほうだと

元町映画館のアレクセイ・ゲルマン「神々のたそがれ」鈴木創士と丹生谷貴志によるトークイベントに向かうが

七月五日 京都 ポンジュール現代文明 +reiko

希望という言葉には矛盾が集約されている、と小熊さん読書評論。であれば希望などないほうがいいと。

雲の裏側が地表の症状を物語るように、希望はヒトの惨状を物語ると。

絶望こそが幸福の徴であると

背広にサンダル

黒いワンピースの男役が三人通る宝塚

(アガパンサス人気だけでも)

其処彼処のアガペーを刺すか

アガペー刺してアガパンサスの空色

映画のイマージュはそれ自体、ある道徳的モチベーションを孕んだものとして与えられるので、それに融合するとき、それらは快楽と同時に、宿命・苦悶に極めて近い何かとしても看取されることになる。(シエフェール)

昨夜の「神々のたそがれ」のトークショーはその観点を見事に欠いていて、浅い沼地のまま終わった。

土産スイカを持つてい

ったら向こうもスイカを冷

やして待つてた

売布から清荒神

かなしみぶちやぶちや

ウシジマくんのいいところは「くん」づけが残っていくところである。ロリイがリアルのボーカルを「シゲちゃん」とちゃんづけで呼んでいたのと同じである。「くん」や「ちゃん」でいじめに満ちた人生になんちゃって感が出る。ただ、現場監督が「あれやつちゃって」と言い捨てていくのはその悪用である。

ヨゾラ書店で手に入れたヘンリーカイザーとレオスミスのスカイガーデンはパロディーから始めてマイルス越えを目指しているが、自分らを含めて再廃墟化してしまっている。女子に云わせれば「男の子っていいわねえ」といった感想しか出てこないだろう。その余地があるだけ、焦土そのものの地層が古い。

インド人なのに電卓使ってる

白い血を食べて応援桜桃忌

つぶれた回転寿司みたいな星ね

元町映画館で神々のたそがれの始まるのを待っていたら後ろの人が携帯でゲームしてる音がするので芯からムカついたが、やがて館内BGMだと気付き、そうなるに怒りが消えて、ああこれが中原君の例のやつかなどと考える余裕も出てきて、そうこうするうちに雪の映像が始まったのだった。

テーマは一九世紀ロシア文学以来変わらぬ神の憐れみと忍耐であり、人を殺さず耳を切り落とすだけなのはペテロのアレゴリーである。

トークショーは表層的だった。鈴木さんはルネサンスの汚なさの発見ということを強調していたがプリューゲルを見れば予想はついていたことであるし、丹生谷さんはカメラ観客として説明していたが、最後に多用される斜め上からの、特に鳩のシーンはカメラ「神」を視る神であり、単なる観客ではない。

レーニンはいま描けていた。ダヴィンチは分からなかった。収容所はよく分かった。工芸の考証も良かった。

鈴木さんは冒頭の単声のモテトをルネサンスと誤解していたがそれはまだグレゴリアンチャントである。唯一半音のずれがシヨスタコーヴィッチへのオマーージュと取れる。壁画をルネサンスと見做していたがあれは聖人画でありルネサンスのタブローではない。

丹生谷さんがミంగాスだと言う主人公の旋律はぼくにはそうは聞こえなかった。ただそれで腹が痛くなるといふ星の住人のコメントに、所謂音楽に対するアドルノ的風刺が見えた。

ただ重要なのは、腐敗と腐臭の果ての「皆殺しだ!」という人間的な結論だけであって、美術も文芸もアナもボルもどいう動きをしたところであまり関係はない。映画とはシエフェールではないが、そのようにし

て道徳的な痛みとして看取されるものなのである。

世界ノーフレームデー

かなしみぶちよぶちよ

かなしみブラブラ

夕立

夕立だ

なにも洗い流さない

熱い雨

ワイパーなしで優先道路を航行する

未来への責任という選挙ポスターが剥がれかかっていて

とつくに猶予期間を過ぎた昼の

虹は写らず

山から立ち上る雲は狼煙のようで

空気は罪のように甘い

ああ朝の日光がレバニラ炒め

誰か助けて

入道雲興りて空に白さあり汚れぬ衝動などありや

字も色も不潔かなかなのみとなる

白の中では字も色も不潔だと思ふ夕にはかなかなを聴く

昼間は暑くて死にそうだった。夜はワニサイで神戸っぽいディジュとギターのブルースバンドみて飲んだ。隣の子と烏笛買った。

まだ暑い。おやすみ。

朝焼けは東の空にも西の空にも

屈折の受苦は全天に

大抵のやつは高校の時油で暗い自画像を描く。回顧展でそれが一番印象深かったりする。

ヒットエンドラン

ヒットエンドラン

窯が暑くて熱中症

窯に黒蜻蛉が息絶えてたので生の皿に乗せて焼いたった

この前ピッチーズブリューに見に来てくれた自衛隊の兄ちゃん、小杉阿部高橋の関係ないまま終わった即興の話したよな。話せて嬉しかったよ。戦地で死ぬ覚悟があるみたいだったけど、どうせなら一五日の強行採決の時に単独で即興的に決起して国会占拠して散らないか？死ぬなら日本の外で死ぬ中で死ぬ。

強行採決

撮ってるのか？ やっちまえ。人生で大事なものは何だ？ 即興の瞬間でそんなものだったのか？ 恨みを晴らせ。本家は当然見れない。ニコ動は工作員入ってるから五月蠅い。ツイキャスのみ。

それでもたったの七〇〇〇人か

アラ荒らし

ラシーラシーラシ

あらしー

@_YukioHakagawa ただもうラアラアラアラアと

@corneliiiiii 練り粉捏ね凝り練る古里瑠璃子猫寝る

あらしにあしらわれる

あらしにあにあらわれるらしあつしらに

断片のペンダントのように弊える

黒海告解手淫酒飲産院山陰

万葉仮名用がないManiYoニ漢字を充てても止まっとる雨

寒気がする腰がいたい病気になったあわかった

緊張で歯を擦り合わせたから顎がずれたんだ

たいふうふいた

器は関係ない料理

ちゃわんむし

県産だけ少し食べて出る二人で六〇〇円まあまあ安い

デモ昏しても暮らし土竜白雲

無い部費バック

超平成

しょっちゅう見舞

サイン会ばかりツイートする歌人のフォローをやめていい日曜日

焼成の最も高度な形態は還元だ。

弾く前に音色が選別されているヤマハの音はとれどもきたない

私は平和に反対もしないしクリーンエネルギーに反対もしない

柿の落ち葉は存在しない ラカン

万葉仮名のようなおれたちだったぜ

BBCは安保法案成立後再び中国より日本を多く取り上げるようになった

アメリカは、法案を通せば中国より優先すると密約したのだ

三菱の謝罪はなんの布石なのか

金が動く前に密約があり布石が打たれる。あからさまであつてはならいのはそれが集合的無意識と関わるからだ。知られた時点で痛みの経路は胃痛や(最近では)腰痛のように遮断される。

勁さ

コンビニのトイレに座って電話するようなことってあるんですか

限界芸術論の装丁

七月二七日 flamenco 広島marius

フラメンコに関する断章

戦時下の哲学至上主義のようにフラメンコを流れている

哲学について熟慮しだすと、神や愛と同じく、我々には哲学が一切であるように思えてくる。哲学は、最高の効力と浸透力をもった神

秘的な理念であり―我々を絶えずあらゆる方向に駆り立てる。哲学しよう―哲学を探索しよう―という決意は、奴隷解放の行為であり―我々自身に向けた攻撃となる。一ノヴァーリス『断章』

フラメンコを四で知覚するような戦時下の三を流れている

われわれがほんとうに世界を知覚しているのかどうかと怪しんではならない。かえって、世界とはわれわれが知覚する当のものであると言わなくてはならない。一メルロポンテ『知覚の現象学』

三でありなおかつ四であると思う、ここでは一二など飲めない

そうでありなおかつそうではないと思う、ここでは牛乳を飲む 一中澤系

三がなくても四の人生は耐えられるか。四がなくても三は耐えられる。

私は、ミルの言ったすべてのことの中で、「その面白さがなくても人生は耐えられる」というコンウォール・ルイスの言葉に比較することが出来るものを思い出すことはできない。―J.S.ミル評伝(A.ベイン)

三がワインで四が料理の毎食の離婚

われわれは必然的に、つねに同じことをくり返し書かざるをえないのだが、同じものにとどまり続けるものの発展は、まさにその反復のうちに無限の豊かさをそなえている 一ブランシヨ

告げる道を造というなら三と四の中に経路を示してくださいと祈る

真実は神に似ている。直接には現れず、私たちはその示顕によって真実を推測するほかはない。一ゲータ『箴言と省察』

セリーヌはネットウヨみたいに嫌われていた

Los dos materiales que forman mi canto

Y el canto de ustedes que es el mismo canto

Y el canto de todos que es mi propio canto

ガムテープと床の間で三日間動けずにいたムカデは、家の主人の鶴の一言で剥がされ外に解放されました。お礼したいと思ったムカデは、かなかなを呼んで、「すまないが家の人へのお礼に哭いてやってくれないか。自分が出ていくとまたあれなので」と頼みました。かなかなは言われた通りに哭きましたが、その夕方は家の主人は広島にフラメンコに行つて留守でした。早く聴かせなければと思ひ翌日今治まで行つて、家の主人の車が四国に入つた時に哭きました。

Loyaltyとは物理法則と諸生命とのこうした連関なのだ、と家の主人が言っているのをムカデは聞き、良かったなと思ひました。かなかなも良かったなと言ひました。

三角座りしてシンナー吸つてたら体が工場になつて、機械とか従業員とか居るわけ。吸うのを止めるとウー
ウー非常警報とか点滅して「止まったぞ！」とか騒いでるわけ。

お前ジャイアンツの帽子かぶつて広島歩くとはええ度胸しとるのう、旅のもんなら許してやるが、

ルーマニアでは裸の処女たちが雪の畑を走り回るといふ祭りがあつたのよ。今は廃れたけど。

認知症が始まる前の最後の真顔の説諭のように沁みる

爪の先にアロンアルファ塗ってるんだけどさ、釣りアルファがいいよ、でもほんとに塗らない方が音はいいんだ。

私のアマルゴが帰ってきたわ、まだ死んでないけど。ウンコしてくるって。

ブリキのバケツから冷たいリモナーダを飲みなさい、死んだ私の息子のために。

ロルカの黒い悲しみのロマンスという詩にとってラリーズは全然、全然としか。ジャックスが全然というな

らそのお返しに。

その頃デュッセルでは駐在の息子が「お母さん、レモナーデ」、と強請る声

今左側頭葉でとうりさん、と呼んだのは誰ですか。聞き覚えのない声でした。

昨日サト子のためにオルゴールの編曲したよ。それが売ればみかさでおごってくれるって

自由穩健運動

自由陰険運動

自由神権運動

自由偏見運動

自由官権運動

自由番犬運動

自由と運動に挟まれても弱まらない二語を挿入せよ

自由不穩運動

バイキングでみんな同じ味する

ヒグラシや宝くじ買う金もなし

人は湾

岬はいつも二つある

三角に見えなければ山は顔を持たない

ゆえに山の顔は山の身体を持たない

角度によって存在しない山があるのはそのためである

顔のない山のように私たちは横たわる

トンネルには出口がある

出口のないトンネルだらけなのはそのためである

草木のみどりは利尿剤のようにして無色の結石を吹き上げ

私たちは死んでやっと筒抜けになる

トンネルは土のなかでしか存在しない

ところがミミズはひとつのトンネルとして土の外でのたうちまわる

存在しない私たちが路上でのたうちまわっているのである

空の青は受苦としてある種の花やミミズの身体に閉じ込められている

遠い山が青く見えるのはそのかなしさのためである

私たちの遠さそのものが私たちの身体に閉じ込められている

@mosinosikaori ハグロトンボになりたくて羽をつけた青ミミズに黒揚羽はもう少し青くなりたいので死を交換しようと言ったが豹柄の部分が尾を引いたのか青ミミズはトグロを巻いたウナギにしか見えず死んだ二人の航走は青く滑稽であった。

かつて敵であったものは異物のような本当の敵になり、かつて味方だったものは自分のような厄介な敵になった

ぼくの物語はとても大きい

ぼくの物語にぼくは出てこない

単語たち、つるばらつるばらとくわばらくわばらは似ていますよ

山道の個有名たち、「リトル寝る」を一回。

ごくたまにヘッドライトに照らされるきみの夜道は臍の緒ですか

つらいので公園に来たら山鳩が同じリズムで合唱している

ジャンルを越えてメタになりきっていると思っている人はジャンルを越えてメタになりきっているというジャンルにいただけだ

言うなれば額縁が切れたかなしみ

ひとときわ大きく近くのセミの個体

雑草は生い茂るだけ生い茂り

にいにさま

にいにいぜみさまあ

夜中のビニールハウスから消し忘れたラジオの夜中の音楽

月は煌々と無理な夜を航る

かなかながなくからもうすぐ

かなかなはかなかなかないかもしれない

矢印を出していないのに矢印を出していない空は白んで

空襲で家を明け渡して避難することになり祖父の絵を失なうことが辛くて慟哭している、という夢を見た。

米とはなんだとかいう課題の歌曲楽譜なくて全く弾けない

フリマのマリに振り回され花びらの歯並び

わたしが親愛の情を抱くのは、という点字をなぞりながら運転している

女から残暑御見舞百日紅

さみしい花のひとり揺れる

FALLの発送に追われ家では準備出来ないの、東京では一四、一五、一六と昼間は裏窓でアヤコレットの課題曲と伊地知さんの歌曲を練習しています。一六日に他のバンドで弾かせたい曲があればスコアを持つてきてくだされば労働します。夜は寝ます。

友だち

腎臓の正邪が血を流している。爆発して冷えた結石裁判。辿れば女性なら性器のあたり。利尿とか言つてビールは良くないらしいね。

雑用も身辺整理じみて夏

ブレヒトが女言葉に「こんな国は」と歌わせるときたしかに女は存在しない。それは国に対立する男の中の何かであろうとする。自由が女神でなければならぬのもそのためである。

八月一三日 solo 黄金町試験室

ピアノを弾くことと歌うことを両方やってみようとした。メロディ古賀のフォーマツトで歌った「朝顔」の歌詞は

あさだけ あさだけ ゆるされ

ゆるされ ゆるされ ゆるされ

あさひに あさひにかおあげ

八月一四日 神保町試験室 w/aya collette

試験室でもピアノを弾けなくて擦っただけだった。ピアノって繊細なんだよ。ギリヤーク歌曲集が店のカウンターの子に受けて、「・・・オロッコ、てすね」と覚えてもらえた。それで水が五〇〇円もした恨みが少し晴れた。

八月一五日 mshb/exhibition 残陶 一二・一六〇八 西萩FALL

やったのは、八月にうちの工房に寝泊まりして壺を作っていた高木薫を空港に送って行った時に出来た三拍子の「空港に送る」という古楽方式の曲で、自分としては昨年末の「スライドショー」の系譜で気に入っているメロディーがあったので、それをさまざまに展開したものを六枚の紙に分けて書き、出演者はその六枚をランダムに演奏し、三〇分ほど繰り返す、というものだった。

八月一六日 中野富士見町 planB

荒井輝久追悼の催しで、昼間裏窓で猛練習して、伊地知一子の林光やブレヒトの伴奏をした。自分のソロのときは、結局ピアノを弾いたというか擦った。

八月一七日 solo 阿佐ヶ谷 hanes

伊地知に教えてもらったロルカをやってみた。きこりよぼくのかげをきりおとせ

阿佐ヶ谷の暖流はまあまあ良かった。冬彦さんの写真があつて、茶漬が旨かった。

新宿はひとつの大きな神社のようで最後は桂花に行くとかいろいろ儀式がある。色々こなしていまべルク。
会えなかったみなさんさようなら。東京には一週間居たがよいことがなくて二万赤字だった。被曝しただけだった。月末焼き物の売り上げが振り込まれても一瞬で消えるだろう。

善悪の知識も命もないままに夏の果実は腐りて落ちぬ

水素のにおいがして夏の終わり

ピンクと山吹

今、黄色を見られない、今風に言えば黄色が見れない。誰に呟いているのかって？ 神の居ない無意識に。遮断された生に！
ニックドレイクの母が入ったままのカーステレオに右足の甲の痒みという無意識からの返礼

秋味的な寂寥に分断された「海に行つてない」と「海を見た」。

辿り着けなくなった海で秋味。

原付の警官のチョッキの紺。置き去りにされた陽の熱が執心の元彼の哀願のように纏わりつく。

この時期の黒い車は不利だ。いま、黒は茶色でしかない。ゲートは少女に振られるのだ。早稲田文学的ゴキブリのように。
いまは、よく聞け、黄色が沈み込んだマットな橙色だ。それ以外駄目な季節だ。覚えとけ。紺畜生。

雨だ音のまだ暗い

降り止んで大洲銘菓の明けガラス

よく寝た朝書きかけの夜

ねこさんたち！ここはわたしのパブリックあなたの砂場ではありません

あたゝかき便座に座れ山頭火

ローソンにばくだんおにぎりおにぎりばくだんならよかったのにね

秋風に追われてまたも旅ねぐら

八月二三日 天神橋 音風

スイミンクラブ

新ジャンル「謡フラメンコ」を引っ提げ音風に向かうも出番は無しとかや後報を待つ

一点にはかにかきくもり

太陽は右に左に位置を変え県境跨ぐ航走はあり

北白川の悪運の強い女の部屋に藍の染付の便器を運ぶお人好しの車はいま古琵琶湖の底を進んでいるから

睡いですサントマリア

ガシャーン陶片飛び散る津田の松原

頭の中白い夏うどんとなっている

目を閉じて安全運転を祈り「フォースを使え」との声に従う

二丁目のキューピーモヒカン型の島影

生春巻みたいに透けてるぜ

表現とか言ってるけどお題貰った大喜利だろ千円札が財布から出ていく度に萎えてゆく

最も風に反応しているのはペットボトルの風車だった。その次が電柱から剥がれかけたビラ、樹々、酒屋の幟。

家々は風の影響を受けていない。電線の揺れが一番自分に近いかもしれない。ベンチに座って小さいビール

缶を飲み干せずにいる墓川はそう思った。

女の足は首都に居ても田舎に居ても規則正しく細胞分裂を繰り返している。それが厄介だ。風に関係なくそれらはあわあわと揺れる。

朝

居て

浮き上がるので

蝦夷

思います

✂あ行でお前の純粹さを教えてやれ

コルネリ「貝塚」と ツインーマーメン「ある若き詩人のためのレクイエム」

ゆみのすけの貝塚

中の人も外の人もなくして着ぐるみのほつれのひっかかりだけで進む。

ああたぶん札幌が着ぐるみを着ようとしたのだ

樺太に姫路城建てるか？

「いながらにしていなくなる」とは無意識の先住民への回答だ。

「境目が分からない」は英帝国主義的な大地のロック史への取り込みである。

歌詞はすべて「あ～あ」でありあとは周縁である。

リエが凍ったタオルのように台所に掛かっているし、タオルには目がついている。

雀もひとつの着ぐるみなのだ。その中身に対して同じことをする。少し内側から殻を描写するのだ。

「わざと追い付かせている」も同じだ。キツネはキタのそれではなくイナリの場所の無さそのものなのだ。

決して「良かった」とはならない。六〇〇〇年が過ぎ、さらに過ぎなければ。

回し飲み文化はここではマテ茶のようではない。混ぜ合わされた内蔵を回し飲みしているからだ。その二重の境界の喪失は倭人の蝦夷への願望を表していると言えないだろうか。

コルネリ「貝塚」は、着ぐるみを装置として利用した一つのインスタレーションである。その主題は「不在」であり、

一台目のカメラは後藤由美と着ぐるみを、二台目のカメラは後藤由美と着ぐるみと先住民を、三台目のカメラは後藤由美(札幌)と着ぐるみと先住民を観る我々を、四台目のカメラはそれらすべてを撮るカメラを、五台目はそのカメラを、撮している。

ツインーマーマン 「ある若き詩人のためのレクイエム」

言葉が無力なのではなく、言葉の無力さを訴えるということがこの場合は無力なのではないのか

一台目のカメラはツインーマーマンと引用テキスト群を、二台目のカメラはツインーマーマンと引用テキスト群とシュトックハウゼンを、三台目のカメラはツインーマーマンと引用テキスト群とシュトックハウゼン観る我々を、しかしそれらすべてを撮る四台目とそのカメラ自体を撮る五台目が、無い。

自殺とレクイエムを混同することによって、濁ったのだ。

秋の台風待つカメラの寂しき

長保有紀新曲出てるな

おさけ川

子供いっぱいいるのにスナック来るなよお前ら

八月二十六日 白馬高原

お母さんと温泉卓球やってるメガネの男の子があんまり嬉しそうなので泣けてきて、勝手に母子家庭の物語作ってるん、うん、みたいな感じでその場を去ったのだったが、あとで戻ってみるとEDみたいな顔した父親もいた。それはそれでまあいいんじゃないか、と思った。しばらくして彼らも居なくなつた。

サウナに入ると小学生の兄弟の太った方が俺はまだ頑張れるぜと言っている。彼らはわざわざ僕の隣りに寄ってきて話しかけてくる。お父さんとお母さんと来たんですか？と訊ねると、そう、茨城で農業やってるんです、ここまで来るの遠かったあとと言う。

僕はミネモトといいます。これは兄です。サウナで運動すると暑いでしょと心配される。それがいいんだよと兄が訳知り顔で諭す。これは真向法と言うんです。放射能の事を訊こうか迷っていると彼らはどやどやと出ていった。

南小谷の駅の階段を大きなスニーカーを持った太った女が上ろうとしているのを助ける。あずさに乗り換えですか？はい。ぼくはここで下りるので、よい旅を。彼女はちよつと待つてと言つて新幹線型の箱に入つたイカの菓子を出して呉れる。ぼくは新幹線をブーンと走らせながら改札を出る。

中国語では音節を繰り返すと幼児語になる、とルオナは言う。例えば母はたまに私をナーナーと呼んだが私はそれが嫌だった。winwinも嫌な言葉だ、とぼくは思った。

ザック君がNY録音のミックスを送ってくれる。my back pageという曲は録音したことさえ忘れていた。忘れ

たままディランのカバーとかしていたのだ。

「様々な色や形を競う花々が夏を寿いでいます」

立地はホテルブダペストみたいだけど白黒の五月蠅いマグパイド様式だ。あやみちゃんはここで下界を忘れて逆に世から戻ってこなかった。風立ちぬ的にね。

食事は台湾の食養がベストだと思う。世がバイキングだしたら人生はそれを断ち切りストンと止めることができないばならない。

サナトリウムというのはね、なんでもサタンのせいにしちゃいけないってことを学ぶためにあるんだよ。

当たり前のような濃霧に物流は俺の血管の中を

蕎麦屋の女将が母方の碓田の顔で、俺の半分のルーツがこの辺り

予め余白で表示される出口が入口であるような書物。あなた方の住むところはたくさんあります。場所を用意しておきましょう。

八月二十九日 三宮 bigapple w/Reiko

北野

死んで見せると言ってみたところで俺の死には何の価値もなく

岩の裂目に隠れて死を願っても死さえ逃げてゆく最低の状態

で、死んだ虫探しに行く？

拘束衣に似て館内着のえんじ

大和温泉ノクードの近く浴槽は丸い一〇〇円

圧巻、とはなんだろう。韓流のカメラワークは決して圧巻にはならない。メタではなくベタ。ベタを活性化させ、韓流テレビのスクリーンを巨大化させたノイズを圧巻と言わせることは出来るだろうか。マッドマックスの4Dが2Dより評判悪いのも同じ理屈だろうか。

ニーチェがレクイエムを書くだろうか、ということだ。書いたとしたらそれはお笑いかコントの真剣さを見せるだろう。郵便配達松本人志バカ真面目、みたいな

でも最後はパロディとしても圧巻やねほんと

力業で床揺らしてぶち抜くて嫌いではないねん俺

一回そういうの見たことあんねん

おっさんが力士みたいに踏ん張って空気変えよった。富士山の末広がり裾野が見えた。ああいうのを一点突破全面展開ていうんやろな

参加して自分の物語りを混ぜてなんぼやろなこういうのは

自分のカメラを持つてる人には効くやろな

あれで最近のデモの音源使われたらたまらんで

ぼくやったら音源は変えてやるな

ヘイジュードの代わりは何か今なら

ヘイジュード本当に好きだったのかな？ユダヤてことだけかな

ロスチャ日赤美智子妃みたいな

固い床に猫三匹と転がってあさはあきさめあきさめさめ

「実話BUNKAタブー」の表紙に踊る戦争煽りコピーと中身が、正反対ではなく狙いすまして二三五度くらい違う。例えば安保反対芸能人を揶揄しているように見せかけて話題を振り、最後に「われわれはむしろのように死んでいこうではないか」と結ぶのだ。やるなあカストリ雑誌のセリ一ヌ達。

九月にまだ哭く蝉は寂しいあと野生の枇杷で結構多いな

草と木はどう違うのだろうか。なぜ違うのだろうか。虫にとっても違うのだろうか。違わないのだろうか。イネ科の竹のように草でも木でもないものもある。動物にも草木に似た区分があるだろうか。わたしは草だろうか木だろうか。

年輪のないロックスターは皇帝ダリヤなのだろう。

バラの文学と桜などバラ科の花の文学があるのだろうか。

表現に年輪は必要だろうか。

竹の節目はそれ自体では意味を持たず、節目と節目の間の距離の伸びと竹自体の成長速度との関数によってしか表せない。コルネリやゆずの「勝負の年」という言い方が滑稽なのはその所為である。

コルネリはギターが上手になったけれどもそれは年輪を加えたからではなく、カポをかましたからである。

屋久杉がカポをかますようなロック、年輪を加えて茎が太る草のようなフォークは、土ものと偽って泥色を焼き付けた量産磁器のようだ。

デモにも草と木が混ざっている。

フラメンコはカポなしでは成立しない不協和の平行移動の様式であり、最後の示唆に富んでいる。カポなし

の移動と箱^{box}なしの移動。

ギターとは成長の止まった竹である。

フレットが精神の伸長に合わせてその都度変化するギターを夢想するカフカ

尺八は切り取られた成長である

ノイズの頃ムーグのリボンコントローラーを買って小沢靖にギター型に改造してもらったことがあるが一回しか使わなかった。一弦琴的な発想は節と節の間でしかなく、精神は更に上下の節を求めるからだ。

竹林の竹に穴を開けて自然音の尺八にするというプロジェクト。でも絶対鳴らない。器官にならないから。

松前の雨漏りする温泉から渚を見ている。夕方、魚が海面から飛び跳ねる。魚眼に空が映る。それを追う水鳥が海中、空中、地上と三界のパスpekティブを行き来できるのは更にすごいことだと思う。

俳句の切れとは現在のノスタルジアを断ち切る急ぎ立てであり、三界を行き来する言語化の切れと急ぎ立てが節であり、節とは即竹であり、竹とは伸びてゆく音である。

水の中で、鳥の歌は言語化されている。

白馬で知ったがキウイとは逆輸入された猿梨である。アングラの即興は二種類しかない。即ちキウイか猿梨かのどちらかである。

水漬く猿梨の空を流れよ

犬は兎も角雨の中ペンギンに合羽を着せて散歩させるアフォードダンスはない。ところが殆んど自然音は想像界で合羽を着せられている。

雨が上がるとある種の陰鬱な「取り返しのかなさ」のみを感じるのは、勝手に合羽を着せられていた言語の叛乱による。

音楽の叛乱はそうに予期せず沸き興る。

音楽は感情と結び付いて居るのではない。合羽と結び付いて居るのだ。

手書き文字に含まれた情報量を音声によって再現するための「手書き看板読み上げ」プロジェクト。

うちで轆轤をした連中の中で、灰野さんは職人に敬意を払い、最初から片付けと掃除にこだわった。絵付けは偶然を利用した抽象だった。水城キュレ太は自分の法則を見出だすことに熱中して過程を楽しむ風だった。高木薫は壺そのものには興味がないと言い放ちながら今回の壺を器用に完成させた。

つまり灰野はシタール奏者とインプロ談義をすることくに轆轤に接し、遠藤は回転運動そのものに向かい、もしも地球の素材のひとつとして土にも接してあげるという風情であった。

自分を消すことで成立する弱い器がある。ぼくは女のように壺を愛する者である。

糸魚川で土と人は東西に別れる。土採集に生きているぼくが梅池の土にさわれなかったのはそのためである。

人は自分の木と自分の土を持つべきである。天草六砥部四の安い合成土を使わないのもそのためである。作られた磁土はヨーロッパと共に減ぶであろう。

他者とは、違う土だ、ということである。共通しているのは血液ではなく、海水である。

緑青と青緑の階調の中に稲の黄と地位類のオレンジ、花の白が混ざり、ああ俺はもう死んでいくんじゃないかと思う。

おれにはもう見えてしまっている。濡れた岩盤の苔の緑が。

鶏頭を数えようとして止める

死ねばいいのに

Shipyard for vessels

Vessels of soil

Weaker than husbands

Of fired soul

抗生剤、抗菌剤を使用しない養鶏をしている丸山農園にお邪魔しています。フィリピンから来たイシドラさんとダイアナさんが働いています。卵を買って一〇〇円うどんに行き、こっそりかけて食べます。

川沿いの変に空いた、領土から抜けていく土地は、コミュニティーのリヤガーデンのようで、ロケ地のようで。

本屋で夏葉社フェアなどというのをやっていたのでつい「いちべついらい」を買ってしまう。金がないのに文庫の川崎長太郎の再版も買い、リブアートの前のオープンカフェに行ったら八月末で閉店していた。もう飲み食いに金は使えないので却って良かった。

夏葉社はミホさんの薦めでマラマッドの短編集を買ったことがあるが、あれは良かった。

夏の知識に夾竹桃が揺れる。

あるところに、ふたつのアカウントがありました。ひとつのアカウントは金持ちの女のふりをした乞食の男が、もうひとつのアカウントは乞食の男のふりをした金持ちの女がやっていました。ふたつのアカウントは結婚しました。おしまい

旧道は廃れて葛の花がいま夏の打撲のように紫

徳島のノイズバンド「脳味噌」の人がくれたイジー・メンツェルのつながれたヒバリ（一九六九をやっと観る。看守役の、高橋幸宏に似ているのが物哀しくていい。いつも弱い方（壁より卵）の味方をしていればいいという発想では永遠に鉄と粘土のごとく混じり合わないまま進行するだけだ。どちらの味方もしてはならない。

いちべつくらい、読んだ。読んだけど、鎌倉なんて山に陽が沈んだりする逆光で到底真つ当な海岸ではない。あんなところに文化人が集まって別れたりくつついたりしているのは異様である。滅びるだろう。

口を^ミおあ^ミ字に開けてのオーウキュパイドの^ミウ^ミはキュに移行するためそう聞こえるだけで、貧乏ブルジョワの、いつもそうやって口をアングリ開けてトイレは空いてないよ、と言い続ける受身に馴れて、広場占拠のきつぱりとしたあキュパイは、薄い敷石を剥がすがごとくに軽く秋っぽい。

小田原にちらし井食べに行くようなミーハー、余生に響いてはゆくものの、なにかに抜けていかない軽さ、さらけ出す人を見に行くだけの、自身に見下されている、どうしようもない老残。

雨の直前色は重さを先取りしたか

栃木危険頓知け？ 木々解けん知己偽チキン研ぎけ

銀器とケチ嫌疑既知ときちんと聞け

さよならの国

パウロになって愛が多用されるようになるのは愛がないから、というより愛の流通経路が問題になってきたから

愛の労苦が搾取されるのではない。剰余を解体するのが愛の間屋だ。

ぜがじえに聞こえる

白に海老赤の線

祝に非ず

拘束された脳たち

省略された赤子の線を削り

本線にマージしない

風化

そろそろほんとうのことを書かねばならない

墓所が失われたからだ

今をめぐる競争は音楽とは関係ないのに

座り方から考えなければならなくなった

何をするにも背広を着て

辛抱を愛と心得

ただ歩き回ること

欠落しているのは家族だ

色彩ではない

相槌を打つ親密

子猫のように近づく

すみれ色に耀く雲

それでも残照は消え

今は進んだパラグラフ

鳴り渡る銅鑼

山を動かす役立たずの無用者

まきちゃんの背はまっすぐ

牛のような子供の声

残念なイケメン

ブーメランのような傷が目の裏のシンボル

猫耳は畳まれ

畳は押し上げられ

「ほんとに」を「とに」と言う

群青がクレヨン

外の闇に投げ捨てる生ゴミ

地図上で近くても歩くと遠い

外猫との違い

星座は熔岩流と共に流され

坂妻が

「パワーが得られるんですね？」

「手紙なんですネ」

軽くなってきた

天井中に蛍光灯

イヤリングを数えている

マイクは黒い

靴も黒い

色についてもはや想像力を働かせていない

もう詩にぶら下がっていない

北村太郎がしたこと

山の稜線が雲で隠れる夕方

ただ想い出す雲のすみれ色

間断なく写真を撮り続ける

バッタの殻と中身に隙はあるだろうか

ばったは美味しいだろうか

マナーは同じだ

書き方のマナーは変わってしまった

ピンクと山吹

九月一日別府ノクード 高木薫の個展でマヘル

いくら寝ても寝たりないというようなことは分かっていた

耐えるとは相手をすっぱり覆うことだということも分かっていた

寝ているうちに昨日は決壊し

羨みは嫉みに移行してゆき

覆いも取れ

覚めてからは

いくら寝ても寝たりないというようなことはないと分かつて

すべてを叩き潰して平面にし

わたしたちは三日月の夢を観る

轢かれた元立体がペラペラ喋っている

前輪の水しぶきが盛大で船のようづ

ただ車を走らせている

船首のケンジル君が波を掻き分けている

九四国フェリーだ

酒は飲んでないよ

叫ばなくても酒は歩いた

彼岸過迄

メール消す親指の先は分厚いが犀のようにかなしんでいる

ねたみとそねみの違いをどう説明しますか。ねたみには良いねたみと悪いねたみがあります。それに対して良いそねみというのはありません。イメージとして、そねみには必ずナイフが見えます。

Jealous には語幹に「熱心」が入っています。その部分で良い意味にも転用できるわけです。envyは「横目で見る」

リアルは捨象して錯覚だけで生きるしかないでしょうあとは
うちは猫カフェになってしまった

あ、お前もう、外猫な。

一匹はミルク飲まないのもうすぐ死ぬ

死ぬ前の目はキラキラしてうちゅうのようだ

さっさと洗面鉢に穴開けて仕事終わらせるぞ

あとは里芋の収穫

芝居やってる人って人懐こいな　ずいぶん会ってなくてもいきなり電話かかってきたりする三〇年以上経つのに昨日まで一緒にテントに居たみたい　虚構を共に生きると親密なまままで時間が止まってしまうのかな
「ドラゴンが安城を殴った」とか「キリストってやつは三人くらい居た」とか「アパッチが暴れた」とかさ、そういう類の話が、昨日なんだ。

五〇年代にすでに、人口甘味料や着色料を偽りのたべものとする啓蒙は児童向けの出版物にちゃんとあつ

た。ベトナムへの化学兵器が日本の肥料に転用されようとしていたことを、はつきりと意識している人々もいたのだ。ただ、安保闘争は伝わっても沈黙の春は田舎に届かなかった。

別府で生意気の人がパーマカルチャーの話をするのを聞いていて、あの頃の田舎で何ができたんだろうかと考えていた。六〇年代に今を準備しておかなければならなかったのだ。

今のデモが七〇年ではなく六〇年安保と比較されるのはそういう訳がある。辺見庸が七二年的なところで止まっているニヒルにすぎないと看破できる感性が必要だ。六〇年代はカップブラーメンの時代であり、七〇年安保はその悪しき消化不良である。爛熟が六八年にきたことはそのように了解される。

岸内閣打倒がいまなのだ

探りがたきは王の道

神が死んだのではない。

王道が廃れたのだ。

天皇制やロックにおけるそれらが偽物であることは論を待たない。

九月二三日 大阪 座九条

四つ角の一角を長いオレンジの大漁旗が占めて居酒屋さぬきとあり、立派な暖簾ですぬと誉めると母が三〇年私が一六年ですと、他に客の居ない気安さでカウンターの対面に腰を据えてあれやこれや語るので、二日間の九条をそこで飲み食いして暮らした。

地続きになるためには干潮ともうひとつ、氷結という手があった

蒲団から出ている足が斬られる

土雨

(怒)雨

雨(怒)

ナミオが犬を拾い友達が亀になり懸賞つきのアリゲーターが友達の犬に交尾時期が飼主と重なるのに両親が犬を売り二度と心は通わないという猫と途中まで同い年だった途中まで同い年だったんだよー

トタンの真下の二階は化粧が流れてしまうほど暑いので、楽屋にさえ使えなかったから、葦簀に水を打って、階下に寝ていた。役者たちは座九条から清水湯まで行って帰って、ものの五分と経たないうちに、トタンの下の二階は化粧が流れてしまうほど暑いので、

長船温泉という水素の臭いばかり残る「岡山の他人事」のような設備、スリッパは内側がずるべろりと剥けるし浴槽の目地の穴からかけ流しになってるし「岡山の奇跡」の反対のがっかり。

二号線沿いのトラックの停まれる広い敷地なのでアイディアは良かったが如何栓うどん屋を併設しようとも化調溶いた出来合いのこの出汁ではバイトの負担が増えるだけで飼い殺しのオーナーの反抗は自己満足に終わると誰しも思うから流行らない。

止まる気のない薄紫の軽が赤になった未来に突っ込む

六本指の靴下を履いて行く

ミヤコワスレよ、と水商売上がりのサイフォンが応える。

ミヤコドリ、泣け、と墓川は口の中で苦酸を反芻する。

@——000q 顔黄色くなるぜ

漫画のような情感で乗っかっている

信号を見ながら内臓だけになっている

サイレンは外皮を触り

入る穴を探している

顔を見失う

顔を見失い続ける

九月二六日 マツヤマヘル「交響曲〇と一」 道後 nannanna

〇と一だけのドロ잉で壁の一方を埋め尽くす、という高橋ムネタカ君の個展。

素材として選ばれているのは〇と一である。様々な技法で描かれた〇と一がひとつの壁面が埋め尽くされている。直線が途絶える壁の末端もインターロックのように形を合わせて切り取られている。

変化を嫌う発達障害の、全てが無かしくない選択の中の、日常の振幅のようにヴァリエーションが展開されていく。

難を言えば、〇と一が、当たり前のように前提されていて、しかもくつつきすぎている。〇と一の距離が説明不足。もう一つ、立体があれば良かった。

この会場でやる音楽を頼まれ、以前マカール・ジェーブシキンという曲で、楽器の最低音と最高音を交互に出す、というのをやったことがあるのを思いだし、今回はその方法を使って、〇と一というコンセプトを増強させてやろうと思った。チェロは最低音と最高音を交互に弾く。男女が向かい合っ

て立ち、「好き」「嫌い」と言い続ける。キーボードは一音とキー全部を交互に押さえることを繰り返す。etc.
結局そこに居合わせた一〇人程が、この大仰なタイトルの催しに参加した。

願ったことと反対の方向に進む河口付近の不可逆

今日はだるくてずーっとジャズ喫茶に居たい高校生みたいな気分だ

夜の田んぼでバサバサツと多分鷺？夜飛ぶ気持ちになつてみたり（僕）

べつに渡りをしているわけじゃなくてただ夜ふあさツと翔んでみました（鷺）

胡麻に含まれてる何かを欲して

小さき者へ生まれ出づる悩み、とか、杏子妻隠、とか、背表紙でセツトになつてる刷り込みつてあるよね

満月すげー

月が明るすぎて隠れる場所がない

月は煌々と夜を航る

夜を航る忠節ゆえに希望とは過去に叶えば良いというのか

枯野にて 朱鱗洞 大正四年

夕べとなればうようよと、脳の破産者がしたひよる。したひよる

つれない風のたえまには、枯葉はきつと待ってる。待ってる

白けた夜がつづく野に、脳の破産者は踊り初む。

↓死体夜↓舞っている↓踊り初む

いしいしんじ氏による川崎長太郎「老残死に近く」の解説、『「からだ」をこえていく「私」』は名文と思う。

やっぱ宣伝なんて無理だよ俺には

ネット上で表現や宣伝が出来なくなった。

霊魂の万聖節という訳は確かユイスマンスのさかしまに在ったので覚え、口のなかで転がしていた。

もはや秋というより冬が始まって久しいが。

徒花綺羅星ともいうべきヨシヤを名を挙げて予告しておきながら自らは同業に騙されライオンに殺された人の死体には蜜はなかった

騙した人については謎が多すぎる。列王記略

冬物語やめて傷物語にすればいいんだよ一二月までの繋ぎに

ベルセバのフルキズはばつとしなかったけどね

秋から春に第一の月が移ったのはエクソダスから。それまでは方舟が着地したのもアダムもおそらくイエスの誕生も今月だった。

新学期が日本だけ春なのはきつと変更されたニサンに従順だったからだ。

変更された春始まりを教暦という

大抵の人は、愛を、言葉で表現するだけの感情とみなしている

天一で知り合いのバンドのやつと会ったので一二月のピカをシーザーでやれないか訊いたり

こんな雨の晩に死んでゆく人がいると思うと

コンビニに寄る

ライブには人は来ないと思うけどやりたいことははっきりしている

家賃が払えないくせにぼろぼろと小銭で酒を買ったりしている

大きな雨粒が車の屋根に当たりき我を責むるがごとくに

コンビニで酒などぼろぼろ買いしかば財布は空になりになるかも

Heが、フォーカスします。

日本液炭てふ会社あり液化炭素ガスを供給するならむ

初対面だったけど、とても、空虚に見えましたよ。

金がなくて東京いけない

ゼノフォビア

クセノフォビア

クセナキス

あと千円あと千円の贅沢

きみのお母さんはね、昔はアイドルだったんだよ

寝てる間はメールとかしない方がいい

電源からも遠さかって

ひたすら休む

ネットで切られて仲間外れにされていじめられて死ぬのはわたし

あるところにおじいさんとおばあさんがいませんでした

桃は流れていきました

海なので腐りません

桃太郎は塩漬けになりました

雑談には応じるものの事件への関与に関しては黙秘を続けているもようです

make mention of the deeds

remember thy wonders

meditate upon thy

muse on thy doings

remember the works

meditate thy work

talk of thy doings

政治的同盟は常に嫌悪されるべきものである

トウィラー トウィラー

荻窪地域区民センターは公民館運動で一度やったことがある。unknown happinessをバンクてやったら小堺が喜んだ。

たった たった

どした どした

だった だった

いれた あれた

うれた えれた

おれた

朝朝朝

口口口

口炎口

口口口

口口口

口内口

口口口

口口口

口口口

口口口

口口口

口中口

口口口

朝お朝

朝朝朝

朝朝朝

朝は朝

朝朝朝

朝朝朝

朝よ朝

朝朝朝

朝朝朝

朝う朝

朝朝朝

ゆっくりしてたんじゃ遅す

ぎると言っても早く過ぎ

る訳ではない

いまからのちの空気は野菜の甘さ

電気窯が毀れて九日の盃が間に合わなくなった。

辰巳ヨシヒロの映画がシンガポールで作られていたのを見つけて観ました。

tasumiというタイトルで、劇画のままアニメというか、あのタッチがそのまま動いていてびっくりします。

社会派ですが、チェコとかとぜんぜん違う。劇画は好きですか

日の出理容院すっかり雰囲気変わりましたね。

そうですね。野毛の夜はジンビームのにおいがします。

ラブレターはやはりカタカナでしょうか。

そうですね。ライムを数滴垂らします。

もうすぐ徹夜明けの空です

夜が明けて花欄の実の際立ち始め

青の限界として茶はありてしも

まり四歳ね

嘘しか言わない誠実な人だった

本当のことしか言わない嘘つきと、嘘しか言わない誠実な人と、どっちと付き合いたい？

どっちでもいいよ

人が減っていくずるいなあ

こんな青空

文体を生きているやつは死ぬまではつまんない

青空にみんな死んでくソフトポア

間違った情報が流れて困っているの、しばらくそっとしてください。

chou chou train

かなしみは消費されるか

されないか

苦難の水と虐げのパン

かなしみを消費して進んでいく

自分を食べながら進んでいく

芋虫のように絶えず内側を表に出しながら

列車のように

nabib「一台のグランドピアノのためのメダカくままつり」萩窪地域区民センター音楽室

伊地知一子が杉並区民なので、昔よくやっていた萩窪の公民館を「常盤会」名義で借りて自主企画をやってみることにした。国立でもそうだったが、公民館を借りるときはサークル名はいつも「常盤会」なのである。

ブリュッセルのマクラウドが面白がって送ってくれたMaler islandという島のウィキを見て、そのタイトルを最初は考えていた。マヘル島は南極大陸の近くにあり、グーグルアースで見ると真つ白で島とは判らない。昔、「地続きの島を恐れるな」というタイトルのコンピレーションを出したことがあったが、地続きになるためには干潮ともうひとつ、氷結という手があったのだ、と気づいたのだ。呼びかけ文を載せて、参加を呼びかけたが、人が来るかどうかは大変心もとなかった。

「これはマヘルとして今年唯一の自主企画です。

参加者にはうちの庭で作った杯を差し上げます。それを使って演奏が行われます。

「やることは指を少し濡らしてめだか班とくままつり班に分かれてピアノをこすり共鳴音をだす、というものです。

めだかとくままつりにそんなに意味はありません。こする方向で、時計回りはめだか、下から上はくままつり、という区別があります。音楽化のために、一人（たぶん僕）は音を出さずに鍵盤を押さえ、聴衆は移り変わる残響がマイクで増強された状態を聴きます。今年の春からやっている奏法で、今回が集大成になります。弦楽器では珍しい奏法ではありませんが、ピアノでは弦に竹籤を刺す内部奏法が禁じられているホールで有効な方法だと自負しております。ピアノとはなにか、というイヴェントを小石川図書館でやったときは、打楽器の側面を強調しましたが、今回は弦楽器として扱うとい

うことです。最近草月ホールであつた灰野さんの八八人ピアノに対抗するわけではないのですが笑、参加した人が何人かいるので、終わった後感想を聞くのも面白いと思います。

「音楽室のレンタル料は自発的な寄付によって賄われます

参加希望される方はご連絡ください。

「マヘルは島なのか星なのか

星だとしたら地続きの星はあるのか

死んで星になるなんて嘘だ

あればネフイリムたちの死骸

死は地続きになるか

島のように

「あるところに熊ピアノがいました。捕まえられて犠牲になりました。螺旋のめだかは、空に上っていきます。私たちがめだかと思っていたものは、実は鮭だったのです

当日、東京マヘルのすでに死んでいる面々が予想通り大体集まり、めだかつてなんですとか等の質疑のあと氷結の合奏は指示通りに行われ、録画もされたがアップされなかった。四、五人の観客は詰まらなそうにそれを鑑賞した。草月の八八人ピアノを企画した新井も、「これは観ないといけないと

思ってた来ました」などと言って、札を数枚置いて帰っていったのでなんとかホール代は賄えた。僕らは数人残って荻窪の駅近くで熱燗を飲んで、散解した。

三次元を二次元に移し換えるのではなく、目の二次元を手の三次元に移し換えること。

ピアノばっかだとギター弾きたくなってくるな

三つの層があった。死刑囚~~death~~の例の偽悪のやつと病院内部の乾いたリアルとナイーブな少女漫画的短歌。どれも他人同士のようにたまに言及し合うが、決してそれで彼女全体が明らかになるわけではないように配置されている。

この池の中には放り投げられた 아이폰 がひとつ沈んでるんだよ

コゼバ (Cozaba) はたぶん、「うそつき」と訳すしかない。アドラムの西南西五^五の所にあるテル・エル・ベータ (ホルバト・ラヴニン) と暫定的に同定されている。コゼバの人々は陶器師だった。(一六四:三三) 嘘つきの町。陶器師たちの住む。フフ。砥部。

ハウスホールドマネージメントという名称で企画宣伝することにした。

トイレに財布落とした

直販は、MSHB Direct Sales, MDS

Kudosのレコード会社は「瓢箪記録、hyotan records」

納税の屋号は「やまばとデザイン事務所」、

そして企画が、ハウスホールドマネージメントです

昔はflying midheaven productsとかも言ってた

二番目のカセットのあたりね

カセット部門は独立して「繫船ホテルレーペル」という。

Rは昔牧野とdependent direct sales,dds っていうのをやっていたが今はないので名前を考えている。

ピーターペレットが復讐レーペルというのをやっていたかっこいいと思っていた。

ジンビーム飲みながらハウスホールドマネージメントの会議してる

ハウスホールドマネージメントとはギリシャ語でオイコノミア、家政の運営という意味。エコノミーの語源となった。

経済とは畢竟、家政なのだよ。

今日の空と海はほぼ同じ色だが海は波の分だけ斑がある。上下逆だったら怖いだろうなと思った。

それで、今日は東京は晴れてるわけ？

アカウントがまだ生きていて新宿

死んだってやっと言えた酔っぱらって

くだらない恋はすべて捨象していまは彼女の芯だけ見てる

街路にはインターロックが嵌め込まれ「きみの歩幅は覚えています」

ゴールデン街行く泥水冬道が「きれいなね一ちゃんきれいなね一ちゃん」

ハウスホールドマネージメンツは明日のタコとシェシズの宣伝はしません。

そんなのは模索舎が草枕の宣伝するようなものだ。ハウスホールドマネージメンツはエゴイステイックに工藤家の利益だけを追及します。

一〇月一〇日 青山 lastwaltz

草原の実験というカザフスタンの台詞が一切ない恋は原爆より上に来ないという映画を観た。

一〇月一日 白楽 bitches brew

いくら音楽を聴いても駄目だったね

ごらん新世界のようさ

相模では空は見ず、ひたすら錦に沈潜する

一緒にやったシシリーの男は雑誌のアンケートでは世界のソプラノ奏者の六五位に入っているそうだがレイシーにあまりに似すぎていて客ゼロで哀しかった。

一〇月一二日 *salix* 山羊座の歌

平山美智子↓シエルシの段階ではその目論見はヨーロッパを個人的事件に引き下ろすことであつたが、平山↓太田真紀の位相では、再びシエルシの指示の「継承」がテーマとなつたが故に舞台芸術として成立したきらいがある。そうであれば太田ではなく美空ひばりにやらせたかつた。

来年ここでやるジェイコブ・ウレンの、自作曲を他のバンドにやらせるという作品も、音楽ではなくその「継承」の部分を演劇と捉えるものだ。継承はメタと重なりあう部分があるが、大抵はなにか大事なものを根こそぎにしてしまう。延命のために真の命を殺す、みたいな。

一〇月一三日 高円寺 *goodman*

飽和状態で推移している

頼まれたスパイスがなかった。高円寺は冷たい。持つてく先が違ふ。バンドやつてたとしてもだ。

それでも主題を見つける。持つてく先が違ふ。ジョイ・デイヴィジョンと、あとなにと。それらは湿つたものを冷たく昇らせる。円柱のような設えのなかに。

太田真紀のキャミソールもゴングもむげん堂に売つてゐる。ホットプレートを抱えた茶髪と全身オレンジが眼下を嬉しそうに。高円寺には安いハッピーアワーと冷たい商品がなんでもある。

冷たいんじゃないな

寒いんだ

つまりきみはユニットバスのにおいがする

終わったあと鎌田さんと裏窓に行く。「オレも(奥さんが死んだ)あんなときは一年ぐらい演奏出来なかった。それでオレはプロじゃないなって思ったのよ。」極楽で裏窓というハードコアを見つけて買おうと思ったが高くて買えないと言ったら、栃木の万引きチヨコレートの借金というのを呉れたので、裏窓で流してもらったら前にかかっていたパティよりましなところがあったのだったが、唄い方の割には歌詞が素直すぎてぼくの世代にはあかんかった。

アニソンのメタル速弾きとか、ベクレても味は変わらぬ産地米を応援するみたいなおこある

富士そばのトリ天失敗した

城から城

日高屋から日高屋

SEのSE化という現実

ベルクで貰ったBLUES MAGAZINE、蟲文庫にもおいてあるぞ。興文堂にも置けよ

美術畑という畑

オネットム

オネストマン

オネットムヤムクン

オネストコールマン

暗いマーシー's ジャッジ

締め上げられたパイプのジョイントのボルト、溶接された薄い踊り場の鉄筋、突き落とされる代わりに見上げる鋭角
背骨をさまざまに捻じ曲げて居場所を作ろうとする

開くか閉じるか不真面目さを量っている

ひよっとして今日は晴れているのか？

EM 函信者が川に撒く見えぬ希望のようなDM 置きぬ

Like a spring rain that saturates the earth.

Sea of love の聴き比べしてたんだ。ロバートプラントやイギーまでいった。やっぱりキャットパワーが凄絶だ
ということになった。ぼくのも聴かせた。

げんばつせんたいできるかな

せんたいさきまでおせんされ

てきるのはちようへいきよひとのたれじに

夜空

言葉に埋もれて夜空が見えない

どれがアルデバランだったか

月がなくても夜は巡る。おれはもう少し歩かなければならない。

共倒れの星の下月なしの移動

なんか甘い酒とかないの

黄色い街路灯がロンドン

ジンビームにシトラス

ああ暗い暗い

描ける人は多いが見える人は少ない見えないからね

ぶつとい電線

あ、見えた

死んだあいつは見えてたかなあと

双六みたいに進むだけ

飛ぶときは定型じゃない

星の糸にぶら下がり

苦しいです三多摩リア充

戻った

いつもこうやって戻ってくる

お前らにやあわかるめえ

戻る術を感謝と言うなら

ありがとう、よく

がんばったね

Brady 失火note

浴場かと思っていたら登山の挙げ句眼下のぬるそうな池に案内者がざぶんしかしてカメラと見紛う棲息者ら叫びたち

くノ一

きネ零

くノ一

けハ二

厄厄

厄厄

海のそばに家を建てて

新しい世の苦痛まで先取りして

上のは素人の乱的に下にある

「海のそばに家を建てて」

が

自分ではない人に叶うのを慶び

土地の配分について

復活の順序と

不義者の教育について

「希望の原理」はいまや全く古びて

嫉妬を隠して笑顔を貼り付ける練習

テムポ正しく握手をしませう

生き残れないどころのさわぎじゃない

生き残ってからの騒ぎの話

猫背の首吊りみたいに

海老を伸ばして真っ直ぐに

蝦蛄も伸ばして真っ直ぐに

未来を矯正する

ウゴウゴルガをアフオーダンスアニメと呼ぶのは初めて知った。

詩集二〇一四

思うに二〇一一・二〇一四的情况とは詩の場所をどこに据えるかを問題にするということであった。

その総括とは断じてアーカイブ化ではない。沈潜する定着を色分けし、提示するのは今の作業なのだ。このまま亡びてはいけない。フィールドワークは民俗よりも心に向けられるべきなのだ。

そしてそれは定型と詩を峻別する作業でもあった。

つまり定型とは世に片足をつけるということなのだ。

飛ぶときは定型ではない、しかし飛んでいるときそこにあるのは詩だけではなかった。その詩以外の部分が身体を伴うリアルであった。それはジョイ・デイヴィジョンに少し似ていた。

逆さに吊って干した玄米は陽を食べているよう

二年後すべての魚は食べられなくなる

いまはまだいいけど

三・一一以降、放射能は何よりも神学論争であった。滅ぼしてくれる絶対者を見出したからだ。SF映画の主題が神対人間に収斂していくなかで、様々な反動も現れた。「放射能無害」は大江用語で言えば当然の進みゆきであった。裏窓関係はみんなおれが殺したと言われた。言論によるソフトポアで。

徹夜明け何だか晴れちゃって困ったねえ

ヤッホーてキテるのかなあ

だる暗い

いまはヨブというよりヨナでしょバタバタ死んでかないから

ヨナよなの月面画報つらい

国々をあげつらう層にいるやつはもうだ目だ

ヤッホー

残る音源で少ない。友達関係だからとか活発にやっているとか同情とか関係ない。音楽しか残らない。

このごろは泡立草がまた増えて

最近のヘルメットで虫みたいなのな砥部中の自転車の子ら蟻に見える

けけっ

エケケケ

へび少女怖くてトイレ行けない

胡桃は銀杏と同一ような処理をする

水に浸けて果肉を取り除く。野生の胡桃の木が実をつけているなんて知らなかった。

景観条令から捻れてへび少女に変わった。他にもカマスがサワラになったり、渋谷のマインドトラベルがトラウマトンネルになったりする。

想像だけで当てずっぽうに引き出しを開閉する官吏

けふといふけふはかんべんならねえ

安全靴なのに釘踏み抜いて

青空を踏み抜いて

「ガラ携」のミックスだいぶ進んだ

ライフワークで評価されないものだ

音楽に関して、ではなくCDを取り巻く音楽に関して。或いは音楽を取り巻いていたCDに関して。

Chris Cohen ㊤ MovieTone しか残らない。リールのコミュニティと同じ結論に達した。

CDを巡る情況は音楽ではなく。何を選ぶかを主題にしたら対極は「TSUTAYA」レンタルしたCDをランダム

に流す『威力』みたいな言い方になる。(実際は違ったけど)

ふつうに話す

物事の様相というものは思っていたものとだいぶ違う。進み行きというものは、旧来の一般論のようではなく、巻き込まれ方によってのみ没入が生じ、舵を取られていく。例えば年に二回のフラメンコがそうだ。おそらく無意識が船頭で、漕ぎ手はコギト笑、女は海だ。

ジャンルや職種というものはそういう放下によって決められていく。フォーク野郎の金魚を引き連れ、窪溜りにライブのハコが向こうからやってくる。宣伝が無意味だというのはそういうことだ。こちら側からの働きかけではジャンルの島々は一ミリも動かない。

手をかざすペーパータオルの空箱の下から風は出て来なかった

ヒットエンドラン

ヒットエンドラン

マテ茶熱くて食道癌

ナメクジ食べてるみたい

死にたい

人生で楽しいことなんてあったかしらん

思い出してみよう

思い出せない

ねこ炬燵とノミとごつちを取るかだ

リズムの僅かな遅延でも効果があること

メロディーの僅かなずれだけでも効果があること

リズムの僅かな遅延がないと効果がないこと

Happyのあとに黙示的であること Freedom Farrell Williams

飼育され、潤いさえも与えられて

美術が音楽を使うように音楽が女を使う。音楽が美術を使うように女が音楽を使う。

さなそあ

しにたい

すぬちう

せねつえ

そのてお

辺境性のみが耳を敬たせる

タンゲくんはわたしのねこだよね？

青空

青空の奥 見えない流星群

青空の奥には星が流れまくっている

青空の裏に流れる流れ星

青空に、流れ星

青空に流れ星流れている

流れ星流している青空

流星だらけの青空

青空なのに流星だらけ

流星なのに青空 青空なのに流星

流星の青空

流星の線は引かれて青空

青空に星が見えると嘘を言い

今まさに線は引かれつつあり

半球の内側に増殖する線の記憶

青空は線でほんとは傷だらけ

昼が星を見ようとして首を振っている

青空の裏側は厨房のように死体でいっぱいだった

青空の裏側は厨房のように鶏ガラの出汁をとっていた

青空の裏側は厨房のようにごきぶりがいてはいけなかった

青空の裏側の厨房ですべてを混ぜ合わせるとカフェオレ色になるのかカレーになるのか

流星の代わりに鍋には那智黒を放り込むことがあった

青空の裏側は俎のように傷だらけだった

星座は男の格闘技であった(梶原一騎談)

だから星巡りの歌を歌う男女は生臭いのだ

青空の裏側は動物園の裏に似ている

包囲網狭まってるけどあそこらへんやだなあいっぱい死んでるし

スイスではアートブックを編むことが盛ん。

アートではなく。

収穫したオリーブは苛性ソーダに浸けないで重曹か塩水に漬ける。海に浸けておけばいいのと思う。

ロンドンで友達になったトルコの女の子の彼氏の部屋で、三人でずーっとオリーブを食べながらワインを飲んでいたら、すべてがケヴィンエアーズ的にどうでもよくなったことがある。

近所の人からオリーブを大量にもらい、あとポポーというマンゴーと梨の中間みたいな味の実をもらい、それらばかり食べている。あと糠漬けと。

玄米三合は多すぎだよ賢さん

タンニンがないのよルイボステイーは。

じゃあ学年主任は？

ニヒリストサーフィングループのエゴサーフィン

安里屋ユンタでクルド人が来ると

秋のkilling so

高円寺にはロックの神様がいると思っていただけ、それはやっぱりサタンだったんだ、みたいな

やはりカップとのunoが規準を満たしている

ノアミ酸

ねっセイタカアワダチソウ嘘血だわ赤大切ね

ようやく空も荒れてきた

暖まってるよ夜って待ったあ？

自傷ワイルド

Phase II 漸く空が荒れてきた

地方の市議会レベルでは(無所属が多いため)これまでも共産党が第一党だったので、アメ国日本県東北郡宮城町議会の結果は驚くことではない。それにしても仙台が町でさえないなら生政治のチャンスだ。組内で芋炊きでもしたらどうだ。

争点はTPPとか言ってるけど米は逆さにして干さなければ美味しくない。種を奪還して家族農業に戻れなければ本当はなんの解決もない。

青空や水が恐いのは地のように呪われてないから

ズラウスキー コスモス 東京国際映画祭

僕のゴンブローヴィッチ体験は中学の図書室の恒文社現代東欧文学全集の「コスモス」でありました。シユルツの「肉桂色の店」も入っていました。

たとえば彼女はぼくにとって横浜のE.E.であるわけだがそれはしばらく付き合って練習したからジャンルが引き寄せられてきたからであって、そんなものといえはそんなものだと、とくに女性の場合は、渋谷さんが毎回グッドマンに女性ボーカルを呼んで練習して臨むというパフォーマンスをしているのも。

ようやく雨が降りだして手錠を嵌められてうちそとが一致した

立花のかめやに金を落とす

昔大街道にあったかめやと本当に同じ味かなあ、さぬきとかを経てこちらの舌が変わったのか、こんなに甘くなかった気がする。高校の時毎日食べてた。一七〇円だった。

違う。銀天街だった。

人のブログを覗くと味は変わっていないという人が多い。

ぼくがいつの間にか変わっていたのである。

ここはムシさんが看板を見て入りたいと言うので来たことがあった。彼女は亀が付けば味は何でもいいのである。でも味も気に入ったと言っていた。

そのときは味が変わったなどということは考えなかった。もしかしたらきょう食べた肉うどんではなくかけを頼んだからかもしれない。肉うどんはゴボウが入って味が濃いのだ。

昔僕は肉うどんを注文する人たちを軽蔑していた。うどんに限らず、何でも自動的に肉を選ぶのは無知蒙昧であると嘆き、なるべく大豆由来の食感で代用していたのだ。

かめやは元駅前スキケの一階にもあり、最近も味についてはなにも考えずきつねとかを食べていた。ということは、肉うどんを食べるようになったという意味においてのみ、僕はきょう、以前とは違っていたのだ。

或るブログによると、かめやで肉うどんを注文する者は全体の六割に達するという。かめやは変わらず、僕が多数の方に移動したという意味で、変わったのであった。それはぼくが自民支持に回るような変化であった。

肉うどんの味は朝日やことりといった鍋焼うどんの名店の味に近い、河原町の焼け跡に立ち並ぶバラックの屋台の、砂糖でくつきりさせた味覚にはかならない。

要するに貧困の味なのだ。それが空爆で焼け野原となった松山の原点である。僕の身体がそういうものを欲

したということは、無意識が、なにかに備えよと教えているのかもしれない。
僕はきつとさらに貧乏になるのだろう。

問一

作者の気持ちは次のどれか

イ) マイナンバー制に反対である

ロ) ムシさんが最近遊びに来なくて寂しい

ハ) おれにまとまったきむ銭があつたらなあ

問二

伊方再稼働に関する作者の気持ちを述べよ

今からリナちゃんがギター習いに来る

アタチャイ・フェアテックスで強すぎるな

でも前に出した足を持ってひっくり返せばなんとかなりそう

禁止だろうけど

まあそれで勝ったことある

型の美しさに氣を取られてるタイプには有効だ

福田君の映像がこれしかない

ラケットが空気を切る音が聞こえますか

雲と青のバランスが四国に戻った。

じやりんこ

というか

がきんちょ

森の中に折りたたみ椅子があつてワンカップの蓋とか落ちてる。今日辺りから日向の方が気持ちよくなってきた。ぼくもそこにしばらく座ってまた畳んで去る。

SNSが出始めの頃はどうやって与えられたフォーマットを脱臼させるかばかりを考えていたが、やがてそうした動きは淘汰されていった。我々は人との距離の取り方まで操作され、面倒なので諦めてそれを受け入れ、そのなかで喜怒哀楽と生き死にを生じさせ、要するに完全な奴隷となったのである。

SNSにおける感情表出はわれわれにとって徹底的な敗北であった。

死にたい

悲しみべろべろ

異なる梢の揺れのなかで糸を張る蜘蛛の信仰が陽を浴びている

また晴れちゃった

泥水冬道ブルースバンドは、クリス・スベディングのギター・ジャンボリーに範を取ったもので、本来楽しい筈なのだが、ベースが悩みの種で、一二小節が体に入っている人が案外少ないのには吃驚する。

ランボー

工員としてわたしたちは死ぬ「言葉に対する罪」があるなら

「人道に対する罪」などない

無意識によくこれ以上人を殺すなと言われる

仕切られたプールの部屋で公然とセッションが行われ、

（無意識）という名前を発音するのに一年半かかった。

その後著しい改善が見られた。

それもこれも（貴方）と呼ばれてから始まったこと

わたしたちは腫れ物のよう

それを二人称複数にするランボー

セッションから遠く離れて

言葉から逃亡して

豪毅なことだ

それにしても、写真はひとつも届かなかった。

蜜蝋の部屋で取り調べは続く

あ、鬱

きみが反米主義なのか、陰謀論者なのか、スポーツ狂か、はたまたそのすべてなのか、判別できない。たぶんどれも無い、分散し薄められたかたちなのだろう。それが第一印象だ。

うそ泣き腫らすメント

言葉を毀すものを探して時間を削った

鳥の大群が来て柿を食いつくしていった

目的地までは勾配しかなかった

風化する前の岩盤のみを相手に

それでも写真は切り取らなかった

乾燥だけが現象のすべてだった

晴れ間の陶工に手を挙げた

雲見の思い出など他人のもので

調べてみると、言葉を殺した罪、というより、意味的をずらして宙吊りにすることで、工員というその単語だけを殺しているのだった。

良心の痛みで目が覚め、その麻痺で起き上がる。その中間に一人称複数を使う。

ルドルフ：主体無～

暗い青空の下で地の呪いは弛められた。洪水前の明るい曇天が、今となっては懐かしい。

悪意の言葉を集めた。

それもおれの狂気の善意のひとつなのだ。

裏返った女の中身の子供が外を覆うような言葉たちがおれの仲間だった

見えていないときは表面を磨く作業に没頭する

だがそれも乾上がってしまえばお終いだ

化け物が友達の筈じゃなかったのか？

何故端から煉瓦を積もうとする？

真顔で矛盾に向き合ったことがないのか？

夜の道に未整理は溶ける

それを花道と言って仕舞え

射殺される前に

そのまま家に帰らなかった

空の腹に光を入れて

台湾の田舎のコンビニの前で停まる

忍耐

悪意の言葉たちは一方通行路ですれ違う

歩行する善意を謎めいたものとして遺して

一台はイモ天を食道に詰まらせる

もう一台は汚れた水滴で携帯の画面を濡らす

どうせ的外しているのであれば悪の哲学を持ち歩いている奴の方がまだ可愛気がある

紅葉始街路自成階調

おれも盆地の出口に氷鳥の羽撃くのを見、空に忌まわしい十字を見ていた。

どこでもいい、デカブリストの場所へ出ていくと言うとき、力点はこの場所への別れに置かれていた。

言葉の力点とは常に未来完了形の断言に置かれるものだ。

砥部の連中は自分で土を掘り始めた。

トンプリは燃える柴だ

くつを脱げ

旅に出たいではなく旅をしてきたと言い切ることが彼らの自持だ

腰に帯を締め、地を歩き巡ってきました、

あらゆる闇を通ってきました、と

だがそれだけではサタンと一緒だ

上昇と下降のみが、

この勾配のみが旅なのだ

金は旅のために減っていく

独りでも、場所に支払う金が欲しかったと供述し

「蜜蝋の部屋で取り調べは続く」

去年の夏に会ったときアーリントンは自分のデザインした編模様を採用されたく、靴まで全身サンローランで、いつときの田尾君状態だった。彼は絵もダンスもやるし、春の祭典の画集も完成させたので、誰も知らないだろうから誰に向かって言っているのかわからないけど、滋賀に見に来たらいと思うよ

進化論とは退化論以上のものではなくてその意味に於いてのみ正しい

というようなことをいつまで言わされ続けなければならないのか

間愈っこしいといえは主題にする必要のないことを新たに主題にして売り出していく歩みは科学より始末が
悪い

ジャンルたちが他のカテゴリーを横目で見ながら融合と離反を繰り返しているのは哀れだ
ベンチに座ってちよつと考えれば分かることだ

あまりにかなしいトカゲの夢を見た

辺野古

カマボコ来るのか

フェリーに乗って

棒持って

フェリーに乗って

棒持って

フェリーに乗って

棒持って

京都のやつらのことはだいたい分かってきた。東京の、夢の部分が嫌いなのだ。

骨には肉がつき、ゾンビみたいに起き上がったがまだ命はなかった。バビロンという女から開放されるのはその後の話だ。

代理戦しないでくれとシナイ言い

すべての視線を共有して

シナイは親しい

眠れぬままわたしは雨になった

もういちど肩まで浸かれさむいよる

人間の向精神薬が猫に効く

魚の鬱にも効くだろうか

何にでもなれるという点で神に似た無意識のゴミ屋敷は凡ゆるスピードで夢のページを捲る

虫に喰われるアグリッパ

夢をも外から眺められるなんて俺ってどんだけ俺なの

ほとんどのパンクのレコードは一回しか聴いてない

Who are you ふゆのやまいがまた疼く

Who you are ふゆのやまいがまた疼く

寿命が縮むことを死といい伸びることを生というなら、被爆に対する現象学的態度とは数値であると工作員たちは見抜いている。

No fun my babe no fun

入れない場所がいつも目の前にあるのにそれをはつきり口にするのは限られた時だけだ

その東だとか逃亡(ノド)の地などと周縁で勿体付けずに夢見たならばはつきり名指せばいいものを

それがナイーブというものだ

ナイーブは死んだとはいえなお語っている

@jifnb77 中の人よ外で死ね

誑されているのならまだ生きられる

ヘセドと死出の同行二人か

いつ寝首を搔かれるかはわからない

ヘロインのように妻

五十三次じゃあるまいし世から出る旅の茶番劇は果てがなかったいままでは

札を拾わせて尾行し、浮かれてる最中に財布ごと抜き取る

手口を知って猶生きる辛さは死者の比ではない

エジプトから出ようとするエジプト人は荒野で死んでゆく

ピア・プレッシャーやなりすましアカウントの砂漠を越えて行くつもりがアラビアの八十八ヶ所を廻り続ける

空飛ぶベッドは無かった

矢の時間を輪の時間に変える陰謀

領土のテーマパーク化

EXILE

我が家にも歌って踊れるEXILE

おれたちは歌って踊れるEXILE

きみたちも歌って踊れるEXILE

人はみな歌って踊れぬEXILE

エグいぜ天王洲アイル

その言い草グサツと胃に刺さる

アイルランド人みたいに政治に走る？

Excel出来なきゃ事務職参る

いい具材仕入れる

戦じゃ矢を射る

脱走自由の収容所の直ちに影響のないガス室に

在位一日ヤマト朝廷

千日前のカスうどん

万年後にも雪は降る

秋晴れや過分の文化のご親切

歌が変わった

疑わしいのは歌川国芳

思いを文字にしたもの

弛緩したヘッドライトの目の前に飛び出す小動物の正負のエネルギーの充満

老成というのは全く信用できない

スタートレックで三三四歳だかの違う星の女に船長が「年上の女性は好きだ」とか告白するんだけど、一〇〇〇年くらいの目安で考えないと精進も発見もないと思う

二〇年くらい生きただけのやつのギターとか聴いてどうするんだと思ってしまう

悪い魂も創られている

だから信じて戦く

過去の夢を実現した夢ととり違える、大過去完了に過ぎない超人

至酔飲料として科学に混ぜ合わされた夢と魂

いけないパリのグラフィティの暴力

リサが言うには

あんたはやわらかたい

かなしみくにやくによ

かなしみけによこによ

かなしみかにやきの

かなしみきにゆけにや

かなしみきゆけけきよ

かなしみ

木枯しこがらし

心臓の血管

どれが尻臼？アル出っ腹ン？

散歩との犬の朝

ジョイフルで豚汁定食食べたらあと一三二円しかない死にたい

くに

グラフィティ

くらい

具材

グサツ

車もないのに

口に

喰われろ

具合

軍勢となつて

来るのか

繰り返している

空爆

苦笑

雲見

きくと打ってクリスマスって出たらリア充

道連れにする弛緩

共有化するサタン

あゝむじやうてふゆめをみし

「尊」という器型

四方の風を押さえているか

水色のサボテンの夢

里芋を掘っていたら沢蟹が出てきて、ゆっくりゆっくり周章で慌てて、意識を消して視界から消えた。

虹の鰹節

切断面の次元

哉

何でもとりあえず拝んでおこうという心根が衰れてあった。

線だけで喜びであるような婢の

生きたいというより死に足りないみたいね

炎上や機能していないあきの暮

田を燃やす煙は見えず秋の暮

生まれ直すとは蛹の中で一旦マーマレード状になること

Il faut être absolument moderne. の訳を近代にするか現代にするかで、滅ぼしてもらうための「死に足りなさ」の閾値が変わってくる。

山の上から石を落としてしまった時に感じる、胸が水になったような危なさ。そういう岩が転がり落ちて

国々をも砕く。差別する人もされる人もモダンな人もそうでない人もその岩に氣付かなければ砕かれて死ぬ。

川に入るとEMどころじゃない悪い菌の方が真剣だ

やはり海だ海水は血の代わりだ

俺は骨壺製造業者だ

俺の中のクロムが錫の釉薬の中に滲み出る

風化

そろそろほんとうのことを書かねばならない

場所が失われたからだ

今をめぐる競争は音楽とは関係ないのに

坐り方から考えなければならなくなった

何をするにも背広を着て

辛抱を愛と心得

ただ歩き回ること

欠落しているのは家族だ

色彩ではない

相槌を打つ親密

子猫のように近づく

すみれ色に輝く雲

それでも残照は消え

今は進んだパラグラフ

鳴り渡る銅鑼

山を動かす役立たずの無用者

まきちゃんの背はまっすぐ

牛のような子供の声

残念なイケメン

ブーメランのような傷が目の裏のシンボル

福耳に畳まれ

畳は押し上げられ

「ほんとに」を「とに」と言う

群青がクレヨン

外の闇に投げ捨てる生ゴミ

地図上で近くても歩くと遠い

外猫との違い

星座は溶岩流と共に流れ

坂妻が

「パワーが得られるんですね!？」

「手紙なんですね」

軽くなってきた

天井中に蛍光灯

イヤリングを数えている

マイクは黒い

靴も黒い

色についてもはや想像力を働かせていない

もう詩にぶらさがっていない

北村太郎がしたこと

山の稜線が雲で隠れる夕方

ただ想い出す雲のすみれ色

間断なく写真を撮り続ける

バッタの殻と中身に隙はあるだろうか

ばったは美味しいだろうか

マナーは同じだ

書き方のマナーは変わってしまった

革命も錯乱も回文に収斂してゆく生命活動

exhibition 弱く器 weaker vessels 近江八幡酒遊館 live: Arrington de Dionyso, Reiko, etc

弱い器とは女性のことで、低温で焼いた庭の土で作った器をメインに持っていた。

近江の人たちが総出て川の土手の草を刈っている。

ススキは残しておけよ、と思った。

コンサートは、曲とかやる気が起こらず、新しい考え方のルート音のドローンで済ませた。

ところがドローンが結構気持ちよくて、漢方みたいな効き方だった。

あなたのことは大体分かっているつもりで、たとえば街路樹の紅葉が一本一本時期が違うように、植物にさえ個性があるのだから、人や動物にも性格があり、うちのネコなどはどうしても人やほかのネコに馴染ま

ず、爪を立てる癖がもう晩年なのに治りません。うちが飼っていないければ生きてはいけなかっただろう、と思います。他者を許容して共存すべきという思想が九・一一以降喧伝されましたが、それがすぐ爪を立てるネコを飼うようなものだったとしたら、ネコの生き死にはこちら側の態度や行動にかかっていると言えます。ぼくらは晩年まで辛抱しあって、介護を貫く覚悟が必要です。ぼくはあなたのイヌで、あなたはぼくのネコです。

靴を履くとき「夜は遠い」と頭の中で思います

一昨日宝塚で携帯を落として見つからず携帯なしで過ごす時間が続いています

元気だった頃

中の人に話している

見えること自体はそれほど重要だろうか

見えていた記憶とそこに向かう重層こそが定着されるべきではないか

久々に「中の人」のことを祈った。聞かれなくても泣けてきた。人はみな、「中の人」なのだ。

ただの岩石に見えるが割ってみると内部は紫水晶だった。きみのお母さんもそういう人だったんだよ。

あら、と一さん

死んだのね

昔は告知に(ピアノ)と書かれるだけで死んでもピアノは弾くまいと思った。廊下を走ってはいけなとか部活の帰りにグラウンドを突っ切るなとかどうしても分からず、押さえ込まれて潰された。

バスドラ下さい、とか言われるだけで吐きそうになった。

マイクのチェックもしたくなかったので「なんか曲やってください」は殺意を覚えた。

ガラス割る方がましだった。

ロリイはその点如才なかった。「どんかまかまして」とか言うのでぼくは怖れた

マイケルはアイラブユーとか言いながら気を使ってやっていたなあ

いいPAには女が多かった。

男は自分のイメージに合わないときの融通が利かぬ人が多い

デュッセルドルフのときのPAはバニクって本番前に陰悪になった。楽器の位置と音量を入力していたのが無駄だったと悟ったからだ。

PAの仕事は大変奥深いと思う。

原則的で利他的な愛だけでは廊下を走る子供を制御出来ない。

聞かれないことは分かっていたけれどこの苦々しい平穏さはどうだ

差別の記憶と結び付いて濁ってねじ曲がっているところが

なぜか水に浸かっている

錆びるのを待っているのか渋を抜こうとしているのか

迫害の予感の中で複雑に折れ曲がった俺の節奏

「犬を見せても猫(にやあ)といひ」

意味のない証言は内部に刺さるだけ

血は戦車の内側に流れ出ていた

ああばくは話しちゃあいけないんだ

なぜこんなにねじくれてしまったのか

(井の頭の水面にせり出した二本の木についてのnaonの唄)

毎度ありがとうございます

しりとりしすぎて声が噎れたし

暴力がまた是認され始める。その雰囲気の中だ。なんにんかのデマゴーグが現れるだろう。暴力は隙を見て身体に這入ってくる。一瞬の隙に雪が降り積もるように。

shouldで未来を表す用法が歴史の法則の残滓の腐臭を放つ

shallはなく

生きたのは二〇〇三から二〇一四でそれ以降は晩年と捉えている。四五才から五六才までの出来事であった。アーカイブ化を嫌うフロイトには申し訳なく思っている。先生さようなら。皆さんさようなら。

薄だけだった頃は薄かった

芒を亡くして未だ泡立ち

薄い方が秋の光を通すなら私はペラペラのソノシートになりたい

泡立つものは白濁するから濃ささえ邪魔になっていきます

秋晴れや峠にあった夢の墓

いままで生きて一番うれしかったのは富士日記の別荘に行ったこと

なぜかわからないけど晴れててうれしかった

いままで一番悲しかったのは美ら海水族館から本土に電話していたとき。

海がきれいだった。

エロイーズは無事だったらしい

ホーリーモーターズでカフェの上席に坐る銀行員を資本主義の犬めと叫びながら銃撃するシーンがあった。
深層で予期されていたし予期していた。

あなたがわたしのあなたなら

わたしもあなたのわたしです

名付けるのではない花の名前は名指されるのだ

そもそも穏健派などは存在しない。

さらに言えば極左も存在しない。

極左はそれ自体ではもはや言葉として意味を持たない、戦略的情報操作の記号となっている。

極左という言葉言葉を換骨奪胎した兵器が旅客機を撃ち落とす。

夢がいつも悲劇で終わる

言葉を撃ち落とす方が簡単

劇薬を持って椅子に坐ると永遠が見える

というような言葉の狭山事件三鷹事件が今回

三色の舞台の

椅子に尻

高校生の言及

仕手よ

全部夢でいきます

ひちひちしじゅうくて江戸ペテンこすて

工房に原研也が来た。

ルー

生理からルーが二日で去り

雪を南部へ

△の貸売

□の帰結

先月うちに来たデザインの先生のフィリップさんバりに帰ったけど爆発はたった二ブロック先やったらしいで。

陽平君のアトリエに行ったら不登校の子と木のブロックをデッサンしてた。ピカのチラシ手書きで作ってよと頼んだ。

塩釉プロジェクトのためにバンビちゃんの家の離れの瓦斯窯の煙突を測りに行った。朴木は切らないでお願い。

十一月十八日 1800 新宿ロフト

戸川純を呼んでタコをやるというので浜野のベースを借りて、「諦念プシガンガ」を練習した。最初フラメンコかと思い、原曲の三三三二二二は日本人には無理なのか失われている、かわりに大きな土着二拍子になっていく、などと分析して得意になっていたが、実際はメキシコの歌で、リズムが複雑に聞こえるのは彼女の歌い方なのだと気づいた。いまのライブの録音も聴かせてもらったが、声が凄惨になっていた。マリアンヌ・フェイスフルというより金原まさ子になってくれ、などと思った。

十一月十八日 阿佐ヶ谷 harnes

小春日和かなと思って『Indian Summer』をやってみた。実際のIndian Summerは英語では夏の終わりらしかったが。

売れ残った絶望

面白おかしく生きていただけに背中と首が痛い

早朝のベルクでいつものように赤のA、と言ったら、ヌーボーありますよ、高いけど、実は僕らもまだ飲んでないんです、などと売り場の兄ちゃんが言うので、もう帰るしタコも交通費くないしやけっぱちになって、じゃあください、きみも一口飲む？ など軽口たたき。そうね、味は甘軽く調和していたよ、

一子さんから心の年末伊地知金支給され、四国まで歩いて帰っていることになっている。ここで私は言いたい、死んだ交通費の額だけは数えておかねばならない、と。

うまい！（ナイツ風）

ヌーヴォーでその年の世界を言い当てる、というような時代は終わったのではないだろうか

本当なら今年の世界は胆汁が大腸に入って下痢している筈だから

刑柱上で胆汁を混ぜたぶどう酒のその味を見、飲もうとはされなかった、とあるではないか。

ロフトで乱射

タコ禁止

ハーネスくらいだと狙われなかったかも

高円寺のガード下辺りで乱射された感じらしい

空飛ぶサニーが乱射され

先帰ったゆり子も乱射され

無然と固い表情で帰った中尾も乱射され

そういうものだったらしい

阿佐ヶ谷ガード下の「暖流」辺りで乱射され

乱射され乱射され

爆発し

死んでるので飯食えない

死人に口なしとはこのことだ

ナイツ風穴

五七才になったら俳句かな

歯科医しかない

日本はテロリストをどんどん受け入れて高円寺とかを爆破してもらえばいいと思う。どうせ僕のような被爆した自殺願望の認知症歯科医なくなるのだから。仕返しもしないしちよいどいいじゃないか。

音楽禁止、すごくいいと思うよ。

泥水冬道ブルースバンドなんて最初から出禁だもん

同じことだ

近藤齒科を田中齒科と三回言い間違えてから五時に予約しました

アラーは概念であって神じゃないよ。近藤か田中かはつきりさせないと。だから爆破していいよって言うんだ。

もうすぐ高円寺じゃなくて霞が関が概念としての神を爆破することになるよ。そうしたら田中か近藤が霞が関を乱射する。そうして死海には齒科医しかいなくなる。

いま起きていることという薄い文字そのままぞりツイート送る

小豆島に行くので二十四の瞳読んで寝ようとしたのにもうこんな時間

情熱はもう尊敬されないし

宣伝にも飽き飽きした。老詩人たちは過ぎ去り、読むべき新刊も出なくなった。

下手打つと殺される

CIAがアジェンダ殺して既に一国潰してるんだから反自民で政権取ったりしたらすぐ殺しに来ると思うよ

精神安定罪

サンチャゴに雨が降ると

日本に津波が来る

中尾君この曲はあんなにピロピロ吹いちやダメだ

アジエンデ、ミッキーマウスノート、雨、とか眩きながら持っていけないと津波が伝わっていけない

音程外してもダメだ。豎琴は地震兵器だからね。綴りは違うけど

サングリアが余ったワインで作る半端な飲み物と思っちゃいけない。パーフェクト・デイにサングリアが出てくるんだから。

白オキザリスめずい

包囲網狭まり断層突き上げる心の外でうたは出来るか

中学のきみがラジオで聞き覚えた「この泥流の恩讐さえ」

朝顔が満開？ 皇帝ダリアも皇帝ダリア飼育係も

西条は水の町とはいひながらその公道ゆ灰を帯びたり

雲間より出し山影追ひしかばコモンの山頂無しと知れたり

色褪せた旗ははためき灯籠に積まれるための石は探され

やっと全容が見えたと思ったら町境をもう越えられていた

赤になっても付いて行く最後尾これが続くとだめになるかな

夏の蔦下がる電線洪水の痕の水位の変化の如し

飛ばして追い付くバスのもつさり

川之江は紙を溶かして煙吐き

赤い光がだんだん目立ってきた

初めて赤で停まってやった

パチンコ屋殿堂というにふさわしい

街路樹太る潮時の線

皇帝ダリアはまるで竹みたいだが木ではなくキク科の草。まあ竹もイネ科だけれども。

年輪によって成長しないという点ではぼくも草だな

草と木が混じると不安になる。皇帝ダリアとはそういうことだ。

草にも輪の時間がある。

木が即興するのは面白くないよね。

こういうときの定番の言い方。「人間には二種類しかない。木っぽいやつか草っぽいやつかのどちらかだ。」

なにエッセイ書いてんだよお前

人の気を引くために鳥肌みたいにヘイトスピーチしてみよう。私は悪が嫌いだ。私は悪を忌み嫌う。悪は火と硫黄の湖へ帰れ。悪は体から去れ。私は悪が憎い。悪を殺しても殺しても殺したりないくらいだ。悪、イケてない。悪、ダメ、絶対。悪、死ぬ。ハハ

悪とは的を外すこと

悪魔も悪いが人間も悪い。だから悪魔がいなくなっても悪は残る。それが自由意思だ。

その能力だけは平等に与えられているのだから有り難く思え。

ツエツペリンは撫で付け方がまさに悪だな

再現来日公演でみんな物悲しい

ヤードバーズは下は分かかってないけど上の青いところはまだいい

クラブトンはシェシズやればいいのさ

ジミーペイジにはやらせたくない。余計気持ち悪くなるから

浅草橋ガード下のロック立ち飲み屋のサラリーマンみたいだな

ジョンレノンの撫で付け方はまた違うな

善良さを信じてる感あり

下を通るようにして小春くぐる

朝吹先生が「猫とはひとつの愛の欠如である」をお気に入りにして下すった

おもいでにゆめてごめんよよるの雨

かけめぐるゆめになくのはゆめの牙

煮凝りのとけるあいだの寒さかな

二〇一五・一一・一〇 shine all around

豊田君に頼まれてというフレーズを録音した。渋谷で一緒にやった時、meで新譜のタイトルはshine all aroundです、と言うのを聞いて、その場で「shineと歌ったらそれを録音してくれと頼まれていたのだ。headsの宣伝文句を見て、編曲のないウルトラポップ、というものを考えた。

歌のコードは

CGF

B#E

BbFEB

の三種類を録音し、後にそれぞれのテイクから

CF#Eb

だけを抽出し、繋ぎ合わせ、

さらにピアノを擦って出したCGFのコードを被せた。

なにいつてるか分からないでしょう

一〇秒のスリーコードの曲を録音・ミックスするのに半日かかった。

だからスリーコードの思い込みが半音づつずり下がって残響だけは思い込み通りのウルトラポップなんだよheadzさん

一月二三日 パレ・ド・キョート Palais de Kyoto

見事に詩的なアプリケーション・フォームを当局に提出し通過させた高木薫が、「現実の音」をテーマに、三条河原町のARTZONE & VOXビルを借り切って準備していた。中高生のブラバンを100人呼んで、鴨川からビルの屋上まで行進することになっていた。付近の学校を回って教師に話をつけてくる、というので、以下の文章を書いた。

・なぜ大学生や高校生ではなく中学生が望ましいのでしょうか

トランペットひとつとっても、球場で応援する強い音、軍楽隊の音、クラシックに進むよう訓練されていく過程で得られた輝くなめらかな音色、わざと掠れさせたジャズの音、などいろいろな音色があります。楽器を始めたばかりの中学生の音には、将来どのような音色を獲得していくのか、していかないのか、という様々な要素が含まれています。私たちは完成してしまったジャンルではなく、未完成の音の集合に美しさを見出すことがあります。例えば放課後の部室から漏れてくるブラスバンド部の音合わせの音色は風景と混じり合っている種のサウンドスケープを感じさせます。間違いを許容するそうした音塊は、様々な周波数が混じり合った鐘の音に例えられるかもしれません。そのような音を屋上から流すという実験が成り立たせるために、楽器を始めたばかりの中学生は自らも思ってもみなかったであろう最適な演奏者となりうるのではないのでしょうか。

・初見演奏、あるいは間違いを許容して進んで行くタイプの音楽の体験は、中学生にとって有益でしょうか

足並みの合わせぬ人をとがめるな

かれは、あなたのきいているのとは別の

もつと見事な太鼓に足並みをあわせているかもしれないのだ

明治以降、完成されたスコアをなぞることを教育されていくなかで、リズムのずれや音の踏み外しは排除されてきました。グアテマラのサン・ルーカスという先住民の村に、スペインの軍楽隊の楽器を使い、冠婚葬祭の音楽を任せられて、100年近く代々続いているブラスバンドがありますが、「リズムのずれや音の踏み外し」という点ではこれ以上ないほど下手（自分たちは下手と思っていない）で、非常に美しい音楽です。簡単なユニゾンの繰り返しのようなものを、「リズムのずれや音の踏み外し」を利用して豊かにしていくようなフォーマットのなかで演奏することで、さまざまなずれや偏見やコンプレックスを溶かすことができるかもしれません。

・アートの現場に参加することは、中学生にとって何を意味しますか

この催しは「現実の音」がテーマとなっていて、戦時の金属供出を免れた鐘で収穫祭（キンローカンシャの日）にご飯を炊いて共に与（アツ）かる、という光景を思いついたことから始まっています。それが実現するかしないかは別として、今も京都で鳴らされているというその鐘の音色は、こうして他者に語られない限り現実の音として能動的に聞かれることはなかったでしょう。歴史、記憶の共有がなければ社会、ポリスは形成されない、という言い方がありますが、地元の現実の音（鐘、自分たちの出す初見の音）を共有することによって、選挙権を数年後には得てしまう中学生にとっては、ある意味において民主主義とは何かということを学ぶ助けになると思います。

・実際の演奏はどのように行われますか

短い譜面を当日渡され、それを繰り返し演奏します。細い演奏法は、口頭で伝えられます。

ピグミーの人々は各々の「ルート音」によって旋律を歌うので、合唱すると自然に平行移動のようなハーモニーが出来上がります。ブラスバンドでは転調された楽譜を渡されますが、それをしないことによって、各自が自分の楽器の「ドレミ」で演奏する曲もあるかもしれません。

が、大体はなじみやすいメロディーです。

屋上だけでなく、下の階にいる人々も、屋上から漏れてくる音を聞きます。それが、現実の音、というテーマの一番の具現化です。

九月になっても勧誘はあまり進まず、結局小学生と、彼女の母校の高校生などが来ただけだったが、それでも三〇人ほどが集まった。

八月に彼女を松山空港に送って行った時に思いついて、西荻窪のFALLの個展の際にやった曲①と、そのヴァリエーション②をやることにした。晴れていれば鴨川から①を演奏しながら会場に入り、屋上に上った時点で個別に②に変化する、という構成を考えた。

演奏したいはその個人的な事件を基にした選曲で解決したが、会場となるビルは同時多発的に演奏や展示が行われており、期日が近づくにつれ、自分がそれらにどう関わるかという負荷がかかった。ミイラ取りの現状の鳥肌実の参加を巡って主催が悩まされていた。

アートのマネージメントはロック史に掠つてないとうまいかない。九月初めに高木薫の個展の音楽のために別府に行き、深夜の別府タワーでカラオケに興じるアート・スタッフの選曲の、メタの度合いを測りながらそう思った。美術は美術だけでは立ち行かない。音楽はそうではないが。その理由を言い表すのはそれほど難しいことではない。見えるものは無自覚なメタを孕み、美術の言語は分散するからだ。乱暴に言えば美術は男、音楽は女だ。だから美術には女が必要だ。そして音楽に男は存在しない。「現実の立てる音」が与えられたのは、女としての美術が男としての音楽に嫉妬されるという倒錯に依る。トリハダのリアルも音楽もそして美術さえも関係のないところに時代は来ている。

折しもブリュッセルが警戒水準に上げられた。テロの格好の標的になるだろうと思った。それで、一〇〇人ブラバンの牧歌的コンセプトを捨て、「トンカツ」アゲ太郎」という名前でその場所に関わることにし、マヘルのメンバーは覆面を着けることになった。鴨川に集まっていると、事件を思い出すからやめてくれとフランス人観光客に言われた、とあとで聞いた。

二三日四時から演奏する「トンカツ」アゲ太郎」です

クロニクルは「日々の出来事」の意だが、ギリシア語訳歴代誌には「省かれたもの」を意味するパラレイポメノンという訳語が充てられている。それが「漏れた歴史」だという考えからだ。

「日々の出来事」は書き直されることで補填されていくか。きみは急いで日記を書き直す。或いは一人の男を四人の人間が描く響みに倣い、手渡された楽譜がきみの日記を書き直すように再演奏され続ける。

D諸君、だからミニマルは無意味だ。

ARIZONE & VOXビルは乱射され続けなければならない。

前夜、車で会場に着き、札幌のやぎやと再会した。ドイツやATPでマヘルに参加した左官育もいて、かれの明け方のセットに僕も鳥笛で参加した。一時間ごとに演奏するバンドがいて、それに左官の緻密も取り込まれた。取り込まれる、ということがこのイベントを音楽ではなくアートに仕立てているのだった。屋上の仮小屋で古い大映の映画が上映されており、睡眠欲に負けた参加者はそこで寝ることを余儀なくされ、その小屋全体の作品の一部となることを強いられた。伝書鳩を飛ばすパフォーマンスを見に来た屋上の群衆は経読みの儀式に取り込まれ、階下のスペースでつまみ食いの誘惑に負けた者はJugueの鍋ノイズに取り込まれた。取り込む以外の、設営と演劇公演、ミーテング風景の映像、といった過程表現も、結果的に全体に寄与し、ビルに取り込まれていった。寝ない食べないことだけが答えだったが冷たいコンクリに倒れている女などいた。マヘルは取り込まれず過ぎ去ることを目指し各部屋を乱射しながら屋上に着いたがハトに逃げられ失敗した。或いは逃れられたのはハトだけだった。

終わった後、ゆすらごでジョンが来るといいうし紅茶を飲んで待っていたらトンカツ屋アゲ太郎があつたのでさすがやなと思った。

アートには二種類しかない。取り込み型と通り過ぎ型の二つだ。取り込み型には抜けがなければならない。通り過ぎ型には愛がなければならない。

天晴れど京都

小豆島

暗闇に投げた前夜を弦掠る

どんなにクールで真っ直ぐに見えたとしても世の人は薄汚れて燻んでいる。そして自分ではそれに気づいていない。

大石先生の絵や像が船にも船着場にもある

島に朝六時半からやっているラーメン屋があつてちょっとしたカーネギーの名言状態になっている

行列の出来る、は誇張であつたけれども

鷺型の空洞鳴つて樹上哉

老女の髪一筋絡んで新香哉

一時も滞空出来ぬ鳶以外

島嶼らに滅びの前に句は詠まれ

一筋の朝陽は射してまた消えて

石垣の石垣として遣りたり

石工らの集落昼尚暗き哉

墓放哉

醤油工場街の外れのうみねこおかしという店でゴンブロヴィッチのコスモスを久しぶりに読んだ。

ここは人でいっぱいに入れなかったが地に着いたかつこよさである

醤油ソフトと醃ソフトと佃煮ソフトがある

醤油で頑張っているのは空豆の高橋商店と無添加のヤマヒサであり、ワイン事情と似ている。

建築家を毒殺せよ、に倣えばの話だが。

香川大の学生が喫茶白鳥というのをやっている。朝からやっているのは正解だと思う。勉強はどうするのかと思ったが週末だけらしい。それらしい子らが船に乗っていた

瀬戸内芸術祭関連では、ヤノベケンジのやつは船のビデオが壊れていて見ることが出来ない。船着き場の竜は激マンガチックで夜中中キラキラしていた。金継ぎのオブジェの展示は元の食器が気にくわないのまで一瞥だけだったが、六角に切るのは大変だったろうと推察する。芳名録に「（金ではなく）ブロンズ粉とエボキシだろう」と書き添えた。

島は花崗岩か石灰の風化物だがあまり良さそうな土はない

オリーブが落ちているのを拾いすぎて疲れた

海水に浸けるというのを島の人に提案したが笑われた。オリーブハマチというのはあるそうである。

分教場でピアノを弾いた。

オリーブの苗を売っている人はオリーブのことを「この子」と言う。うちのオリーブのことを相談すると、二十年くらいしたら実をつけるかも、などという。

母乳で目を洗われる子供

縞の裏は昼でも暗く、カムイ外伝の集落のようである。

棚田の中に食堂があつて流行っている。

寒霞溪の、観光バスから下りてくる人達を迎える店員がみどりいろのオリーブチョコレートを試食の箱を持って待ち構えている

外人は大抵一人で自転車を漕いでいる

大阪城の石の展示のある道の駅でイギリスを作るおばさんは、土庄の方が人が良いと力説する。

島はあちこち花崗岩を切り出されてスペインの崖みたいに荒れている

それでも島影は歪で扶れており讃岐富士のようではない

多くの港がありフェリーで姫路や神戸や高松に行けるので小四国のようである。八十八ヶ所のミニチュアもあり、尚更そう言える。

人口は三万五千で高齢化し減少傾向にあるが移住してくる人は増えている。

今は小さな蝶が匂らしく、食堂には大抵それが煮付けて置いてあった。あとは鰯の干物。

味噌は愛媛の麦味噌と違い、濃くて醬の香りがきつい。オリーブ油を垂らして飲むと聞いていたがそれはなかった。

オリーブ油は大変高く、買えなかった。新浸けというのは貰った。

街路樹としてのオリーブの実を取る人が少なく銀杏のように転がっている。公共の果樹というのは良い教材と思う。

島の裏の日の当たらない集落の天辺に風雅を尽くした邸宅あり、陰鬱な青髭公の館のようだ。或いは海賊の。

島の裏は半分以上空家かそれに近い状態である。それでもよく手入れされており苔の石垣など凝ったものが多い。

かつては島に六〇〇人ほどの歌舞伎役者が居たそうで、あちこちに舞台が残っている。

敵の侵入を阻む迷路の街というのがありそこに放哉記念館などもあるが、ブイを改造した地蔵めいた灰色の置物が三津浜アートの置かれてしまっている。

島に移住した場合、たぶんコンビニくらいしか仕事はない。あとは寒霞溪や醤油工場かオリーブ公園の売店の売り子とか。

棚田は薬を見る限り手植えが多い。手伝いが必要だろう。

オリーブを食べたくて行っただけだったが結局評判のイタリア人のやっている店は高くて行けなかった。

それでも家賃が払えなくなる程度には困窮して帰ってきた。

あずきじま、という小島も沖合いにあつて紛らわしい。

投資会社が危ない。特にソフトバンク。茶碗作れ。

放哉記念館で細川護熙の井戸見たが高台が細くてうすら笑ってまだ狐だねありや

馬鹿馬鹿言うなよ情状酌量してくれよう目が悪いんだよ

鹿に遭うのはいつも午前

鹿に遭うのはいつも午前なふたり

ナフタリ知らなきゃわからないだろ

誰か気体化した塩の影響を受けない金属素材の煙突が市販されているか教えてください

そんなものはない

ゲゲゲ

手の業を目撃しながら認めようとしないうちに青い短日

九〇年代後半のブリティッシュチャートにだけは反応する

月夜

月に背後から追いかけてられて電柱の遠近

片方の手が悴んでポケットに入れる

月の黄色を徘徊するか

光に背後から追いかけてられて電柱の遠近

最後の赤をじっと見つめる

一二月二日 **tour with pika** 道後フニとサイ

他の岬から「one that is missing here」という曲をやった。

遠目の効く鷲のように、英子の中のあるものは死体ではなく復活を食べるが

そのたべものが見えない英子の中のほかのものたちや田村は、生きていけば文字通りの鳥に食べられることになる

北京のアーティストが掃除機で一〇〇日間吸い込んだ街の汚染大気を煉瓦型に焼成した作品を見たが、粘土に混ぜ混んだのでは意味がないと思う。

射手座のヤクザ

一二月四日 **tour with pika** 大阪 hopken

ピカは自分で企画しても客は来ない、だが自分で企画したいのと言ってこのツアーを取り決めた。真ん中バースデーという風習を教わったがそんなギャル用語は知らん！と一蹴した。われわれのそれはちょうどホプケンの日であった。

ピカが作業員目線を体得して西に帰ってくる時にカンサイは神としての放射能が死ぬフェイズに入るだろう

その動きは恰も竜をいじる手つきに似て

そのメルクマールとしての、性別を越えた、生駒の結節点からの、全身均等分布

自分だけは飛べると思い込んで飛び下りるタイプ

朝起きた途端に死にたいという言葉が脳内を駆けぐるタイプ

バー深化にハシビロコウが坐っていたのでおらんだ坂の夕陽の話をした

金沢の黄色い土に白化粧

藤真利子・薔薇

の夢を見た

ダリア皇帝東温市を睥睨す

彼女は百閒先生のように一日一回しか食べない

彼女は善玉菌のために手を洗わない

彼女は点字のCDジャケットを作った

彼女は糠のにおいがする

彼女は昼間のカラオケスナックでお茶を飲む

彼女の車はマットな象牙色だ

彼女はメールの返事の代わりに朝九時に直接訪ねてくる

いま見えている海岸を左に行ったところにあるドーム型のスタジオでそれは録音された、とスペイン語が喋っている。彼らはノイズという曲を送ってきた、と説明がつづく。数曲前にオンエアは終わっている。その島は上から見ると大きさも形もスマトラに似ている。音大

生のネットワークがアジアにも点在しているのだらうと想像される。彼らはまた母のビデオテープを送ってくれる筈だよと父に言う。歸りに空き家で奪略を見、姉が羨ましがるなか少し浮いて、川沿いのハシビロコウを避けながら茶の間に帰ると、玉子を溶いた不味い食事を溢し掬うような団欒で食べられないでいる顔見知りが醬油をどばどば掛けて、砂糖が原因と知れ、不意に自分で焼こうと思った。

今からずれ込んだ夕食

まったく朝ではない

朝食は今日の夕方か

おれは今日も歯をぎしぎしわせて不幸の夢を覓るのだ

おはよわいうつわ

なに言うて万年雪

今治タオル地のブランド名を考えた。「TEXT」

ずれ込んだ夕食が朝食になるように女は春に紅葉するか

冬の更年期から認知の春へモミジの形は色を切り取り

山々が横たわっている

珊瑚みたい

みじめだなあ海の底

カラックスのミュージカル映画きつとつまらない。

鱗雲よりつまらない

つまらないでしょう

麦の黒焼に釜長と土灰

それに死海の泥を混ぜて

金沢の黄色い土の湯呑の欠けて継いだ一片に塗り、

他の部分は生瀬の白と長野のリンゴ灰を半々に擦って塗った

一二〇〇度で予想はつく

出来たら見せるよ

一二月一〇日 大久保 ひかりのうま

ひかりのうまではある種シンプルなモードに入って、統一したトーンで弾いた。

砥部の排土の鉢に生瀬の白化粧を部分的に施し乱暴な絵を描き指で一旦満遍なく擦る。

それに炭酸銅で字を書き灰を擦り込んだ上にシリコンカーバイドをごく薄く塗り外側にさらに排土のスリッ
プを被せて一見最初と変わらなく見せる。

西谷から久万に抜ける国道沿いの白緑の土に砥石と蛎殻を混ぜた液体、一面にはコバルトも加えて擦り込
む。乾いたらマスクをして兎に角撫で回して滑らかに石のようになるまで光らせる。もう粉は沈んで落ちな
い。

茶色い藻のような女土を卵形の凹石膏に薄く貼り付け更にホワイトスリッパを内側に塗る。乾いたら外側に冬の字の裏からみた形を銅で書き抜けタンパンを狙う。序でに *who are you* と書き添える。完成したら内側で *who are you* と読める筈だが、収縮率の違いで一度失敗している。

方法論回し読みする壇の人それで進んで行ってるつもりか

空港ロビーで顔見知りのバーのマスターを見かけたが女連れだったので声をかけなかった。搭乗ゲートで竜馬という安いカップ焼酎がもう売ってなくて往生した。

どっかラーメンや

ないかな

一二月一日 代官山 山羊に訊く

この日も巻上公一とdionになったのでピアノを擦った。彼とはデビューが一緒だったので覚えていた。新宿の西口の、ニューウェーブのこけら落としみたいな目だった。帰りは西武線の終電を逃したので小金井から小平まで歩いた。

古着屋のズボン溶け合えぬ入れ物

電話帳読むだけで皆泣いたって

流れの見えぬ川の海へ殺伐

物語野郎が海へ流れて行かない運河の殺伐

物語野郎がおむつを替えている殺伐

敗北がありワードタ方には今日のおむつを

どつか六時とか見てしまうズボン冬見てしまう地帯が

空港からどつか海へ鳥海へリハーサル

物語練習見ってしまうズボン後今日の見てしまう地帯が

に現代見ってしまうズボンなのか眩き見ってしまう地帯が

＊自担の名前を一文文字ずつ予測変換

替えている今日の空港からけ工場

#か行のXmasの過ごし方がわかる

雨降りのまま昏くなつていく師走道後ナナにて休憩中

こんにちは

クリエイターの九里瑛太です

しにたいするつみ

しずおかだなあうみのそこ

水がなけあただのちべたうみのそこ

いごひつじぶと

とびこえびつこ

バーズの使っていたストリングベンダーでストラップを押し下げるとB弦だけ一音上がるのだが6とか9とか
11とかの衝動がない場合どうしたものか

二〇一四

もう一日が終われなくなった
今日が明日にずれこんでゆく
夕飯は明日の朝食べる

今からずれ込んだ夕食
まったく朝ではない
朝食は今日の夕方か

二〇一四を今日で終わらせる

二〇一五は、なかった

二〇一六も七もない。本当の終わりに向き合うだけだ

仏に逢うては仏を殺せ。祖に逢うては祖を殺せ。フクシマに逢うてはフクシマを殺せ。

居場所がないのに背負わされている

ああよがあげられる

ナキハラスメント

あまりに金がないので病気のせいだと思ふことにした

毎年この日の朝になると空を見上げる。いつもエル・グレコみたいだったのに今日は溶血している。

フランスの北の方の海岸で採った土を轆いて器にし一二〇〇度で焼いた。取り出すと焼き締まった音がするので、熔けずにうまく焼けたなと思って水で洗ったら、突然煙を出して高熱を出し始め、みるみる崩れ落ちていった。なんとといふ奇怪な現象だらう！

お節介な石灰野郎が！

午後二時半きみの調子が悪いのをpm二・五のせいにする

朝焼けの樗焼け跡やけ酒や

これ、おれのライフワークなんでラフミックスだけど聴いてくれる？

なさない雲が片側通行

風邪もひけない身空にみぞれ

問十三 昼の雲を積分せよ。天の怒りは無視してはいけない

どう足掻いても直線にはなれないバスのシートに深夜の折れ線

早く！早くだ小僧！

天下一品行ったら来年のカレンダー一呉れた天下一品の

五+重度の精神

障害者

一二月一八日 mshb 名古屋 覚王山 ladder

コオロギの音を八〇〇倍遅くして再生する、というジム・ウイルソンのプロジェクトにより、虫がコーラルを歌っていることが知れたので、人間がそれを演奏してみようと思い立った。スコアに落としていくと、主題と展開部が厳密に繰り返されており、しかも一回一回細部は変えていることが分かってきた。

名古屋で、まずそれをバンドで演奏してみた。街なかで永遠に繰り返しても大丈夫そうだった。

大須にてまめがほしいかそらやるぞ

歯のない二人が食べられなくて残した皿の串カツのエビの尾

沓沢の餡掛け彗星パルティータ

王道ロック野郎は上滑りした同意元素に同位して反原発の目を潰す

象徴の終焉は終焉の象徴

一二月一九日 名古屋 得三

ドロンコスと一緒にだったので、どろんこに虫のコーラスのことを話したら喜んで、おれも人間は嫌いで常々虫になりたいと思ってたんだよ、と言う。僕はなんとなく多幸感に満たされ、店の女の子に、ここで働いてて楽しいですか、などと訊いたりした。「楽しいです、いいところで働いてると思つてますと彼女は言う。

天神橋の「一途」で獺祭の粕汁

一二月二〇日 大阪 音風 me&two weaker vessels

虫のスコアをこんどはシンセで演奏してみた。場が静まり、明らかに人間的な罪から免れている素材だと再認識した。

正しさの充滿する免許センターの食堂で肉鯔鮓

バビロン再訪

海沿いの免許センター電波悪し

日本教無事故無違反無原罪

toward the living and the dead

灯油がなくなったので取り分けておいた成田から東京までのバス代に手をつけてしまった。

金を集めて回る冬海が見え 朱麟

極端なエンゲル係数が $\frac{1}{2}$ 菌とか調べてどうする

ぎんなんになげくなんみんなのよる

そうか逆にカードを使って横浜まで行けばいいのか

あとは半日白楽に踞っていればよいのだ

楽勝だ。なんてたのしい人生なんだ。

おどろろ。

おどろろエンゲル係数。

おどろろ血圧。

おどろろ白血球。

おどろろ似非王道ロック科学

所持金がゼロで東京へ行くのが常態化して新たなフェイズ

飛行機をバスみたいにして走ったら両側の家薙ぎ倒されるね

成田から横浜方面行きたいなキイチ俳句

借金が日向ぼこする日本かな

白楽まで辿り着けたらライブできます

ゴクラクにたどり着いてみどりさんと四方山話していたらば弦気になってきたこれからライブ

早く着きすぎてしまい、半日白楽に踞っていた。

一二月二五日 ピアノソロ 白楽 *bitches brew*

例の虫の声をピアノで、細部を変えながら繰り返し返してゆき、最後にはブルースになった。杉田さんに、今年四回演奏してもらったけど、今回初めて本当のライブという感じだったねと言われ、嬉しいような変な気持ちになった。客は二人だった。

一二月二六日 マヘシヤラ 幡ヶ谷 *forestlimit*

名古屋に続いて、東京のメンバーで虫のスコアを演奏した。いい曲だ、と皆言っていた。去年の年末にもやった「スライドショー」は一年を振り返るコメントを回していくというものだが、二年連続失敗した。

一二月二七日 幡ヶ谷 *forestlimit* 西村、久下、中尾と

一二月二八日 鹿沼興文堂

ピアノを弾こうとしたが、悪霊的な邪魔が入ったのですぐ止して、出演者との合奏に切り替えた。

嫌な渡世だなあ

一二月二九日 高松ノイズ喫茶☿

ダニエル・ジヨドシーと地元ノイジャンのイベントに呼ばれた。ダニエル・ジヨドシーはシャルルマーニュ・パレスティンと今井次郎とマクラウド・ズヘクムースを足して割ったような音楽だった。サウンドクラウドに挙げられている虫の音源に、二つの携帯を通話でハウリングさせ、それをマイクで拾って混ぜてみた。主催の河野君は、いや、ほんとに虫のこえに聞こえてきました、と感想を述べた。この機械の音は八〇〇倍遅くしたらどんな声をするのだろうか、とちらと思った。

長濱礼香からサイケデリック・ロック・バンド「いかんせん花おこし」のCDを買ったあと、エデンズ・チュルドレンだね、とひとこと感想を書こうとしてそこに持つていくまでに時間を取られたこと

いかんせん花おこし

よしんば佃煮ソフト

なまじつか生実家

なかんずく生搾り

かんがみるにカンガル一便

ようするにヨウ素スルー

さもなくば鯖の味噌煮

さりとてとんちゃん塩

しからずんば塩辛

あわよくばソーブ

さもありなん長濱

とどのつまり栗おこわ

思うらくは重曹灰汁抜き

むべなるかな瀬祭の粕汁

畢竟ムラ興し

かにかくにかに道楽

さなきだにダニの蛹

はからずも腹相撲

いわずもがなかなもけん

せんじつめれば戦時セシウム

すべからく台湾混ぜそば

おしなべてダッチオーブン

はからずも腹積もり

あにはからんや兄貴に訊け

さしずめ橋爪姉妹

おしむらくはオシツオサレツ

かえすがえすも八重洲口

いかんせん新幹線口

気付いてもらえなかったようなのでここでやめます

いくぶんなりとも香典

あらまほしラブジョイ彗星

ききしにまさるバナナ

さなくば猫砂

おもいなしか軽い林檎

のぞむべくんば新幹線

とりもなおさず電線

いうにおよばず不忍池

いくなれば交友

たくまざるえごさ一ち

しこうして礼香

いかんせん時間をとられる早く抜け出したい

いかんせんEden's Children

水仙は冬でもさいてえらいなあ

水仙は何を放送してるのか

水仙が紅白見るなと言っている

水仙がホテル行くなと言っている

黒雁や聞くだに寒いオホーツク

横顔のマスクらのみな犀に似て

方舟の形をしたタール

頭に嵌まる帽子

月を覆う影

棺に対応した形状

回転する剣に

不意に口の辺りが歪んで

波のように顔が歪んで

空のみどりやしかめっ面の

力の誤用や日に焼けた

もう居ない人や刈り上げられた髪や

絞られたウエスト

あなたに力があるとしたら、それは私に対する影響力だけです。

燃える水があつたら

燃えている水

霊的な食は幸い=beatitudes

王国はかれらのもの

何かに飢えるという事は決して手に入れる事のできない物に関わってしまったという事 knicall

役を貰った

冷静なふりをして殺される役

人間の皮のコート

花の道清く正しく美しく

謙遜とは理由を説明すること

テレビの、古いさらばえた芸能人今じゃ放送事故とか言われて

ネズミモチが薬効有りとか

しにたい薄いビルがゆきぐもの下

「ハロー ニューヨーク」のジャケは、「パンク前夜のラスボス」といったイメージにしてみました
背骨頰れし大叔父の報正月の一転喪中となりぬ

米軍の飛行機乗りのようなのが出てくるシーンだらけのBS

突然の通夜に食卓のこれがほんとのグレイヴィーソースだねと

トムハンクスの無人島映画泣ける

ヒットエンドラン

ヒットエンドラン

与島のいりこでカルシウム

黒鍵を白く、白鍵を黒く塗れ。或いは全て灰色に塗られたピアノの前に白黒のスーツを着て坐れ。#1・22高円寺グッドマン
勇気を出し、強くありなさい。削る命を見せるのではなく、立ち止まり、しっかりと立って、救いを見なさい。#1・24hannes

ポール・プレイは高校の頃曼陀羅を見たがつまんなかった。一音か二音のタッチ以外僕の中には残らなかった。

僕はECMが嫌いだっただ。

ソニーレドシーレンズド1C#m-5

倉地君に。

秒読みの破滅

をもう一度やろうかな

もし呼ばれたら

胸焼けだ

ペリカンの上に荒漠の測り綱、やまあらしの上に空爆の測り綱

黒のマーキングも白のマウンテイングも去勢の失敗ではなく過保護に由来する縄張りへの不安感から来っていた。信頼し自由に行き来できるようにしてやると安心して尻尾を立てて堂々と歩き回るようになった。灰を卒業したのだ。

「ホテ北」とホタテに呼ばれて北ホテル三〇万の月収積んで

しっかりと嘘が馴染んだ出汁を取り蛸ラーメンしみじみ吸われ

朝から朝バーキングからバーキングバイキングからバイキングかな

さまざまな北の甘さに舌を出し餡ころ入りの香川の雑煮

旅ねぐら旅の身空の北ホテル低反発の旅枕なし

太平洋？脳味噌溶かすウニの軍艦

二〇一六は「安心」から「ぶらぶら病」へ

餅詰まらせて死ぬ記事

に顔が載る

マイシユューゲイザーもブラブラ病

ブーレーズのタンホイザーばかり聴いていたことがあった。中2の頃。

ヘッドフォンを繋ぐのを忘れて夜中に大音響で聴いていたら、父が「気が狂ったのかもしれない、ほっとけ」と母に言ったらしい。

ブーレーズも去つてあととはたとえば谷岡ヤスジを知らない世代

クラシックも民族音楽のひとつだ、とは武満徹の言だが、最近分かったのは虫の声さえクラシックのひとつだった、ということである。要するに倍音に伴う和声とその構成のことだが。

父が死んだら絵付けの唐草にちなんでアラベスクを弾こうと思っているがまだ暗譜には至っていない。リトルネロに注目すればクラシックの形式が浮かび上がり、ゆらぎに着目すれば他の岬となるだけだ。

身体としての家を曳き摺るヤドカリのようなものだ。そしてその家は人工物であってもよいのだ。

無人島から生還したトム・ハンクスは婚約者の結婚を知り、「ただ呼吸すること」という境地に至る。ラストシーンでは家のないヤドカリのように十字路に立ち尽くす。自分では抗わず、しっかり立って、立ち止まり、救いを見ようとしている。

猫のように帰属を確認し、精神の形式を信賴して、憐れみの発現としてのゆらぎを待つこと。命を削るパフォーマーを観るために赴くのではない。ピアノのコンサートに行くとは殺されに行くということ。死んだ者に対する憐れみを見るところ。

忌中の家に対しては特にそうだ。死者には意識がないなどと真実を言ってはならない。心の中で生きていると言った方がいい。

いまや演奏会とは、死者が、死者を葬っている場なのだ。

ただ十字路に立ち、憐れみを待て。

西の国からの霧で夜は白い

ヒゼキヤの病と回復を主題にしたバロック、嬰へ短調だったか嬰ト短調だったか思い出せない

加島死に荒地もいよいよなくなった

あなたたちの戦争、わたしたちの死体

欠けても補充される球体の霊

走者たち

you will become nothing but joyful

ハンナの生活には二つの大きな問題がありました。自分ではほとんどコントロールできない問題と、全くコントロールできない問題です。第一に、ハンナは一夫多妻の結婚関係にあり、もう一人の妻はハンナをライバル視し、嫌っています。第二に、ハンナはうまずめです。

うちのレイちゃんは肥ってきたので名前を大政かども安か越前屋にしようと思う

カニ行きたい

アーケードのことを銀天街と言い、コンビニのことをナイトショップと呼ぶ。羅座亜留が全国チェーンだと思っている。何県民かバレルツイートしろ

道を食べる

ゆくあてがないので道を食べる

中村文則の九条に関する論評を初めて読み無力だがまともな奴だったんだと分かった。

核実験で空が白い気がする

ネズミモチを煮詰めて飲んだら肝臓辺りからどつしりとした気が立ち上ったが怒りは消えなかった

因みに肝は木で怒、心は火で、脾は土、肺は金、腎は水

僕は焼物屋だけに灰を土に還す力が強いらしい。東京ですぐ下痢するのはそのためである。弱いとっていたのが実は漢方的には強かったのである。

胞子文学選を読んで寝る

車恐いやめたい

イランでは花魁とライオンがオンライン

廃屋めいてカリンあり

夜汽車の音が一番好きだ

世の中はチャラチャラしていると思う

吐き気がする

純粹さを欠いているように思う

音は嫉妬に溢れかえっている

濁っている

クレソンの水路の

クレソンのすいろにしつとのおとながれ

訪うたれば廃屋めいてカリンあり

「墓川さん、林です。徳島の。あの、安城です」と旧姓を名乗る口ぶりから別姓に対する濃淡が窺えた。

しゃどうのみで歩道がない

「昭和維新の歌」が流れて尾を引く車道

昔よく朝電話しながら歩いて行った。あの頃は六二キロだった。

杉田さんの写真には叙情がある

若水春道

わなぶるんみち~~き~~自分の名前を目をつぶって打つ

わがすをひるまち~~き~~自分の名前を目をつぶって打つ

わがずはるをに~~き~~自分の名前を目をつぶって打つ

わごぶはるみち~~き~~自分の名前を目をつぶって打つ

わがぶはるみに~~き~~自分の名前を目をつぶって打つ

わがずなるみい~~き~~自分の名前を目をつぶって打つ

わかみずはるみち~~き~~自分の名前を目をつぶって打つ

雨ヨ

雨雨雨雨雨雨

英散包務路下

ボウイはロウでしょやつぱり

邪悪だったけど滑り込みセーフで死んでよかった

悩んだからね

ようやく死ぬると思う癌の清しさ

生きて大艱難を通過できない

細いほどはつきり見える月の輪郭

キヤスの歌 *thin thin line*

三日月

澄んでいる電話くるう電話スルー

月光のターメリックチキンカレー

ハシビロコウは露光させて撮ろうね

ベッキー会見が *gone girl* のコスプレだった件でふTL

わくらばに問ふ人あらば 須磨ツプの浦に 藻塩たれつつ うえぶと答へよ

基本白に白の濃淡に細い線が荊冠のジャコメツティ

僕の住んでいたハイパーネットから然程遠くないサウスゲートに、エイミー・ワインハウスというヤク中がいたことを最近知った。

カラックスの *Boy meets girl* の頃にボウイが大陸の映画で果たしていた役割は決して過小評価されてはならない。それを引き継いだのは例えばニック・ケイブだが小物感否めない。スターウォーズの父子物語の焼き直しのように。

「今年観た映画で一番良かった」「お前の今年は幾つあるんだ」

なんか、反キリストが現れるとか説教してるらしいんだけど、後半の唄になるところアレスキーそっくり

女や男に畑を荒らされ

柵を作るか鉄砲で撃つか

畑はキャンパスか

入会地か

天領か

Ggeg Aaaa Feede_E

G Am C Em

明け方に(♯F) ♪

地球は住所変更したらしい届かなくなった

マナセみたいに

前もってアプリの檻

包丁渡され責任取るのが人殺すことであるような夢

手の指の股にAIDS針打たれたらファンタアップルの味がした

ホワイトヘッドだけに出版記念パーティーは小倉白頭山 森元斎「具体性の哲学」

五+落ちた果実は食べてよい

五+年期入った近年の粘菌

ろくなやつしかのこってない

五+

キモーい

マジ無理

まんまるだあ

E₂G₂G・E₂E₂G₂G ゝゝゝ

入れることができる自分に自分入れ

入れる自分に入れられている夜明け

おゆめさん

痩せた土壤にE₂M掛けて無理に育てるライブ葬めき

五+マヘシヤラ・プリライ・始発組

三谷が一人だけマヘシヤラて呼んでたのでこれからはマヘシヤラで流行らせる

かはたれになみたれ

デフォダサイ壁紙に自分が嫌い

おはようハツシヤバイロコウ

多分最低監督賞の栄誉

ボランティアー・ティアドロップ

塗る色を間違えている神社

いま咲いてどうする

豆腐屋を廃業することになりがきつていた

女の雀はめすと呼ぶことにする

伊予柑が一箱千円の予感

ドラマ「荒地の恋」

WOWOWじやってる

見たくねえ

邪魔が入らない限りこのまま行く

邪魔が入ってもこのまま行く

死ぬ気で自分を上から目線

落ちたカリンの少し腐った

going going goneは競りやオークションの時、「いいですか・いいですか・はい決まり、終わるよ・終わるよ・

はい終わり」というときに使う言葉だ。そう思うと歌詞はずいぶん違って聞こえる。

一番の歌詞はこうなる。

もうこれ以上値が上がらないってとこまで来た。これが終値だ。終わるよ、終わるよ、これで終わりだ。

ここまで読んできた本を閉じてるところだ

このあとの俺の値がどうなるかはもうほんとどうでもいい

もういいかい・もういいかい・はい決まり

いろんな読みの糸に縫って真直ぐ上昇はしてきたけど

もう切ってしまった。遅くならないうちに

だから終わるよ・終わるよ・これで終わりだ

先輩が言うには、「直感で行け

そしたら競りの最後に笑うのはお前だ

金のすべてが光るわけじゃない

惚れ込んだ銘柄は手放すな」

こんな業界を渡ってきた。ぎりぎりのところでやってきた。

さあもう立ち去ろう、壁にぶち当たる前に

というわけでいいかい・いいかい・はい決まり

株式用語に詳しい人がいたらその感覚で訳せばいい。デイランはヤクザ小説からとったりするから、その流儀をしらなければならない。その奥底には天国へのデポジットへの絶望がある。われわれは、新約が等価交換や保証書といった経済用語で信仰を定義していることを忘れてはならない。

主人公は証券会社社員だ。そしてなぜか自分が競りにかけられている。

それと、二四日ハーネスは金子の命日だからかれの中学生のときの曲もやる。ミックもくるといいのにな。

寒い日に外で服脱げつつたらいやじゃんでも寒い風呂場の脱衣場だと脱ぐじゃん。希望てそういうもんじゃん。

英を「はなぶさ」と読ませて糞あり

かにかくにカニはこひし寝（ぬ）るときも枕のしたを水のながるる

かにかくに擬音はこひし寝るときも枕の下をカニのながるる

カニ行こうよカニ

カニ食えば治るよ

カニ食えばカーネルサンダース怒るなり法隆寺

ぼくが好きなのはハシビロコウとカニ

ぼくが好きなわカニわぼくがすきではない

雪の雨の下の雪は箒のこと

汚れた地を掃き浄めるからだって

積もるのに掃くというのはおかしいと思うのは下から目線よ。上から目線であんたが思ってる以上に大切な
のよ。

雨は夜更け過ぎに「いいね！」から「リアクション」へと変わるだろう

サイレン都内通り無いと

寒くて寝られない

こんなときでも律儀にら抜き回避

バイトの現場の仕事の夢ばかり見るけど夢の中まで責任持てない

Twitterのトレンド#を季語とする

例えば

雪かきで運転見合わせ雪だるま

五+脾臓はなくても生きられる

「王道の外側には無時間域が拡がっている」

王道ロック野郎の外側にいるのは犬、娼婦、そして俺
王道の踏み外しがロックである

なんでも雪のせいにしてくれる雪の精

雪のせいにしてくれよ雪の精

結果オーロラ

プッホプッヒ

というジャンルを考えた。

息を吸いながらラップするんだ。

夜落ち

ぼくたちのよ・くたち

輝へり

を調べていて見つけた

先生でこういうやつのことを言うのか

大変なことだ

五+おれもdeserve枯蓮(カレハチス)

飛ぶ鷺の二本の足の揃ひたる

三・一二甲府に寄せて

去年のキーワードが「安」だったように、みな汚染がなかったことにして安心しようとしています。それを助けていたのが当初は御用学者だったわけですが、去年あたりから、重箱の隅をつつくように反原発の非科学性を糾弾するという新手のプロバガンダが浮上しています。

「菌信仰が似非科学だ」というような層と被っているのが特徴です。それは殺菌に関する文明論的なスペースタイプを保留にすれば一応正しい科学的な態度です。

汚染地域に住み続けなければならない人々の身に自分が増えてみれば、とにかく安心したので心情的に原発は差別であり非科学的だといった意見にはたしかに飛び付きたくなります。

ただそういう、あからさまな御用学者でもなく、一見科学的事実にのみ準拠する立場であると自負する層は、本来の敵に対しての批判をしません。

反原発でありながら反原発の一部のイデオログを批判することに精力を費やしているタイプは一見健全でありながら実相は内ゲバの世代を忠実に模倣しています。

それは原発に関する神学論争のフェイズの終わりであり、放射能が神の位置からひきずり下ろされたことを意味します。ある面それは歓迎すべき事態ではありました。終わりは放射能によってほたらされないからです。

それでも、当座の問題としての汚染を考えるときに、反原発の非科学性のみを糾弾する人々は、結果的に原発を許す側の社会から一步も出ることができず、国家の概念そのものに対する批判や将来への展望も解決策も持ち得ていません。

勿論反原発の側も人間による自治に関しては何ら希望を持ってないという点では同じですが。

歴史の転回に関するビッグイシューというものがあり、原発事故はその中のエピソードの一つでしかありません。

それでも原発に反対するのは、こちら側からの最後の文化の創造のためです。わたしたちは最早詩に縋って生きているだけなのですから。

安心プロバガンダによって放射能が全能のメタファーとして君臨することが許されなくなつたいま、反原発をあるべき位置に戻すために求められているのはトンデモ呼ばわりされないための一層の科学的正確さであることは勿論なのですが、それより大事なのもっとしっかり絶望することではないでしょうか。

放射能さえやっつけておけばなんとかなるという時代は終わりました。偽りの「安心」に囚われない真の現在地確認は、国家の廃絶というビッグイシューに照らしてしか得られないものです。そしてそれは案外身近な嘘とか盗みとかのモラルの問題に収斂することだったりもするのです。

そのような人格の発露として、甲府でいじらしい集会があるなら、無知であるがゆえの免れ方で、それは美

しい。

でもそれは一瞬の夢だ。ポートランドの運動も、太平洋が汚れたから意味がなくなった。それでもなお集まって互いに親切にしない。できるのはそれだけだ。

ぼくらはほろぼされるんだわるいけど

困窮コンキュバイン

それにしてもコンフォルミストの娘にどうやって甘さだけじゃなく苦さを伝える？

♪昨日は雪の休校で万歳したのに今朝の曇天死にたい

B.雪で休校になって万歳した昨日は遠くなり蹴るかも

雪を乗せ屋根の線らは和らげりちまちまランドとしての止め跳ね

沓沢の餡掛け彗星パルティータ名古屋は雪をパスタに掛ける

コンピニを背にして影絵の女立つ信号のない横断歩道

早緑ぐわお嬢は好かんでぶれしおん

総スカンリンドリンドパンジェリンガ Josquin Desprez. Missa Pange Lingua

万博に霰状にしたものをストローで吸わせる赤白洗脳部屋があった。 #はじめてのコーク

新しいアスファルトに靴を取られながら逃水の赤白車を追いかけて行くとぬるいファンタを一本呉れた。

メリー喜多川て悪い奴やなあ

山羊に訊くはもうなくて大寒山

雪の半端な山は蚤の拡大写真のようだ

低い方に流れてはいるらしい

園子温の「気球クラブその後」を観たら主題歌が「翳りゆく部屋」

虫の声だと思つて平気だった耳鳴りに気付く冬の夜明け

ずっと虫の声だと思つていたのが耳鳴りだったと気付く冬の夜明け前

虫の声ではなくて耳鳴りだった

今日は高円寺goodmanで耳鳴りソナタを弾くベトちゃんがいる

国際空港のくせに携帯の電波くらいちゃんと飛ばせよ
東京は裏も表もなく晴れどうだ成田だオラオラオラ
東京駅までバスはだるいけど携帯いちつてりゃあ着くよ

頭に注射して扉の冬あける

頭に注射して鈍日のモータウェイ

頭に注射して午後四時の空の溶血

頭に注射してバスの後部席右

石黒宗磨文化村を左

裏窓はアフターアワーでシジミラーメンやったら儲かると思う

こだまはひかりに先を越されて

ひかりはのぞみに先を越されて

重い荷物

いのち

追い焚き

曲なんか毀してなんぼやんけ

アホや

曲やってるお前らアホや

世界は寒い

寒くてなんぼや

生まれてから追い焚きしてちよつとの間や

人生なんて追い焚き何回かして終わりや

全自動の風呂持ってないとわからん世界や

おまえら貧乏人持ってないやろ

え、持ってるの

おみそれしました

追い焚きブルースでした

蠟梅やロデオで勝つのはトラボルタ

こんにちは

駆け込みDVD!シエル太しす

ACAGEgaAbG

これからも紡ぎ出しやがってください

金持ちハメニューを見ないで注文したがる

雪残る

モータウェイを行きしかば雪屍のごと路側に帯為してをり

高速に行くバスの座席で余命僅かの携帯を殺している

そんなに寒くない蛞蝓も出てきた

今回東京で

高柳重信 青彌撤一五〇〇

石黒宗磨展カタログ二〇〇〇

花椒一キロ一五〇〇

オノ・ヨーコは行かなかった

パードレ・ピオの腐らない遺体の写真が飾ってある台所が楽屋になっていて吐気がした。

爆睡チューズデー

ノイズ高校、みたいな映画を観た夢で。

等価交換旅路は一年を一日、一日を一年とせよ。

今年の中の人と入れ替わりたい

紅生姜天富士そばのコラボ図絵

誰も言わないけど翁長て名前インディアンみたいで好きだった。宜野湾は泣き落としドラ声現職が自民を裏切ればいい。ディズニールランドは寒くていけない。

一粒で今年は風呂で溺れ死ぬ

ねじくれた幹を愛しているのかしら

泥水バックバンドのジェイムズ・ビーウィー・マディソン？ ジャズマスターのこもったブルーノートの速弾き

筆圧と同じギターが在るだけだ

音の筆圧が文体を三次元化する

筆圧のないコミュニケーションという絵画的時間

GmbdEEEddeE

G Em G Em

〈随筆〉

二郎インスパイアという文言をヤンキー漫画の並ぶ店で初めて目にした時はそれを拒絶しなかった。

inspireは自分のラーメンが主格なら受け身に、二郎が主語なら三単現か過去形にしなければならない、と感じたからだ。それが今は、以下略。

他動詞を受身にしないで原形で形容詞的に用いる合目的日本語まじし化の用例は他にありますか。

Yawning

二〇一四に緑色の紙袋に入っていてトンネルごと山を押し出してる感じ fenezとはまだあの調子でやれてるんだろうか そうだリニア品川着二〇〇一今、みたいな

そう、なんて飛行場みたいなコード押さえるんだよ今、みたいな

一回りした旬にはまだ早いぜ、ただテクノってファンいるんだよないまだぶあつく。

そう、いまだぶあつく。

あ、これおもしろくね？

いまだぶあつく。

みたいな、て使う時点でおれの腰は低いと思う。

ふさしぶりにトランスに震えたい

、みたいな

それってクラブの便所でしょって

破綻前嬰ハ短調三和音引きずる世界はいまだぶあつく

今日は最後の木曜で源ちゃんの朝日の評論の日だSMAPのこと書いてる読もうぜ

クラブズさんてロスでやったときメイヨのバンドにいた番格の爺さん

ddeF#F#ADF# ddeF#F#ADF#

ddeF#FdB A

葉らを粗描すらはやとおもひしかど森の中にはおれの残骸

引くべき線の見えぬまま夜は更けて削られてゆくいのちのみあり

体の暖房全部切って

体温と気温は同じになって

われても末にヤバいとぞ思ふ

フラメンコ国全体が変拍子

欠けた器は熔けやすい粘土を埋めて焼く

うちに来ていたもしもしという女がそれで成功したのでそれ以来もしもし継ぎと呼んでいる

霧の山道はタヌキだらけだ

朝風呂の挨拶違う人にだった

湯はベッドになり得ぬぬるい源泉

FFFDmDGm

CFCFBbDG

蕩けるジャズアルド

「東京流れ者」で殺し屋の女が「蕩けるよ」と誘う感じ

二二〇円朝食の旗に惹かれて震災以来初めてすき家に行ってみた。おばさんが一人でやっていた。深夜契約社員大募集と

あった。

So. 食べて応援 死んで応援 草城忌

今回は

宝塚市生瀬の白スリッパ

そのまま天目になるどこで採ったか忘れた土

粘土ではなかったフランスの海岸で採った灰色の泥を透明釉と混ぜたもの

近所の鉄の多い玄武岩風化物

などをグリーンウェアに塗りたくって釘で傷つけたりコバルトを散らしたりしたセルフの店にあるような湯呑

飲食用の器はネガティブになり得ない。人はテーブル上の食器と対比させて自分のネガティブを語り出す。

食器は何を免れているかというより、土に触る食器作りは何を免れているか、ということだ。

一言で言えば土に還ることの、差し引きゼロの安心が形になるということ。

窯屋が自殺するのはふられた時だけだ。それも燃える窯に飛び込んで。今までに二人知ってる。いい還元 reduced になったことだろう。

音楽だけだったら、とうの昔に自殺していただろうと思う。

ただ、金が続かなければ廃業するしかない。それはわりとすぐ先のことのように思える。それから先は生きることのみがむき出しになるだろう。

遠くに城を型どった建物のネオンが見えるような憂鬱

あなたがホームレスなら近くで炊き出しの大きなおにぎりがもらえますよ

女の子は一人で来てはいけません

串カツ食べるか？すでに胸が痛い

もと弓道部のたかちゃんとおぬかるみに落ちた車を絵に描いたように助けた

咲いてみたら薔薇と椿に迎えられ

昨日からひかりが春になってしまったのもう夏だ死にたい

春分点歳差によりきみらの極北なるものも変わってゆく

E D B E D B E D B e

線を消すための面なら要らないと思いながら塗りつぶしてゆく

マンガより下手な線

いまビール飲んでるんだけどごくたまに酔っぱらうとラインしてくるやつがいてなんとなくいまそいつの気持ちが分かる。まあ、つまり、その、あれだ、さびしいんだ。

Facebookでたくさんの方が待っています。記更新メールです^^このメー

さらに友達を検索しましょう。メールアカウントの連絡先をインポートするとFacebookで簡単に友連をさがすことができます。インポートした連絡先は、いつでも確認・管理できます。

やっぱり友達なんかいらないおやすみさようなら

メンバーがいます：昨日

新しい友だちとトーク

——しよう！

Facebookでたくさんの方が*

待っていますーメールアカウ

3xgb1_3rp_2egf...1月308

口

三〇日の日記ー^楽天ブログの日★

記更新メールです^^このメー

Facebook1月308

口

Facebookでたくさんの方が*

待っていますーメールアカウ

足しびれてきた死ね

ガラ携

はぶらし

しにたい

びん

うえつとていつしゅ

ツイッターなんてこんなもんでいいんだよ

俳句とか短歌とかバカじゃないの？ 正気？ 関係ないでしょそんなもん俳句には一字足りず短歌には一字余り

おはよう耳鳴り

ふさわしい身なり

Komakino 鼓膜のずれはなんミリ？ 耳鳴り芳一 無音がうるさい

ジャニーズの鼓膜 槌骨 砧骨 鐙骨 耳小骨は自傷

金時鐘受賞の弁「日本語に復讐しようと思つてのこと」

子役の鼓膜破り困ったKomakino耳鳴りな話にのメリー.com

栗原Komakino

きょうつうシネマ

胸痛シネマ

シオマネキ

ヘブライアラム語スクリプチャーにおける「私」の登場はエズライネヘミヤコネクションからである。ラン

ボ一の一人称複数くらい近代だ。日本はまだ縄文だが。

と

わたしはおもった

DDDF#DF#AC#

なじよに一な一ぜ一歯をく一いし一ば一り一

市内へ行くので久方ぶりに省線

駅前に子規の句碑あり

巡礼の夢を冷すや松の露
茸狩や浅き山々女連れ

市駅裏のジンを置いてある店でヤママリアキコさんのポートランド紀行をゲット

ジンをやって音楽をやつてる連中は狭くする技術だけは持つてるんだろうな

Sweedreamsは若干そこに食い込んでる。

こんな綱渡りの芸当でおれはこの先やっていけるのかどうか
ティッシュをもらえたのが今日の唯一の救いだなんて
死のう

プライベートに過疎過密の濃淡があるわけではない。われわれにはプライベートしかないのだ。「失われたのはパブリック(ジジエク)」である。

終止形の変遷とは時代が見栄を切る時のためらい傷の深さに拠る乎

つぐみとつばみはDm-57)Ddimへらい違う

夢は面白けれどデイテールが甘くていけないありえへんやろ

白蟻が遍路に喰われると

かありえへんそもそもありえへんやろ

ありえへんありえへんやろありえへんやろそもそもありえへんや

ヘンリー八世フランソワ一世サンドールレセルカーダオルティス変奏論

で後期ルネサンスの地図を作れ「ロック史」

ハルナ富士ミヤケ榛名さん湯川ハルナを思い出していますか

恋の片道切符

若水片道

C C a c D D

F Dm

D c d c

Bb C

うつわれ

うつわれ

うつわれわれ

私は深く傷ついてきづいた

きくばりバリきく

かれのはらメタンフェタミンに逃げよう

バイニンギャル

吉祥寺ポアロードを逝くアンフェタ民

豚シヤブ樹海ガール

蟹シヤブ腐海ボーイ

上のステージに行かせないための無意識の音韻化が起こっているとき身体は
何に堪えられないというのか

話したかったことが見つからないまま見つからなかったことを話す

おなじみのつまらない曲が流れるのを阻止する

脳内の飲み屋のようなものがあつてそこで流れている

わすれた曲のことを話そう

ゝゝaaaaAEゝゝ

Am

ゝゝggggGEゝゝ

Em

ゝゝf#f#f#F#Eゝゝ

Bm

ゝゝggggGEゝゝ

Em

A D A

d cagea

アカスジカメムシのお洋服は？

TLの気分

選択肢は次のどれか

今後

Bb G F d g b C D

e g b C D e g b C D

疾しさは街の夜空の白い雲

おれ、サニーが飛んでる最後のシーンのところで片目つつ泣いたけどな

デリヘル事件の会場には吉濱君も居たんだね。アートは常にモラルをめぐるトラブルに巻き込まれる。それにしてもまたしても京都か。ロンドンとかニューヨークはもっとひどかったけどね。キュレーターと寝るビデオ作品とか、ただ全裸でじっとしてる大軍を縫って観賞しなくてはならなかったり、とかね。

アートはちょっともうやめた方がいいような気がする。場所がもうないから押しの強いやつ割り込みだけでしょ。あとは。

いまいちばんいけてるのは個人的なつまらない音楽だ。

外に伝わっていかないような、ひろがりを持たないような。

その未来のなさを愛するのだ。

人に気に入られようとするのは本当に害悪の垂れ流しでしかない。

即興は個人的な事件なのだからそもそも他人に気に入られるわけがないのに。

音楽で泣くのは本当によくない。いやらしい。伝わりかたにうそがある。

「ブランル・ゲ」

アドリアン・ル・ロワ

三拍子デジタルハードコア

ジャヌカンの草よ花よ泣けてきた

堀江さんの新作が出た。「その姿の消し方」

詩と散文の違いが分かっている人の、小説とエッセイの混合体である。

測量の男は辻に佇み斜線上の春に眉を顰める

鼻腔の奥から頭蓋の内側に拡がってゆく我が死のにおい

耳鳴りひどいコンサート

抜いておやすみなさインフォームドコンサート

人浚いの唄

スコップで花起こし

投げ出された球根

蜘蛛形の磁界

春分点歳差の喧嘩独楽

紙ナプキン掬ったバレリーナ

苦しくて苦しくて

横道にフチ子みたいに腰掛け

逆さに捲れた和服

大根おろしと山芋の

酸化

アルカリだけでいい

灰を混ぜなさい

畝は高く

もっと高く

横道じゃない 黄道のつもりでした

浚いはわざとです

花起こしは いかんせんです

蜘蛛形は蜘蛛型で 地球の磁場です

またひとつ傷を増やして喧嘩独楽

紙振りバレリーナは近所のコマダのレジにあります

苦しくて は女々しくてのメロデーで

和服捲れはフチ子グッズの別府ヴァージョンです

大根おろしと山芋は近所の「そば吉」の田舎そばです

灰を混ぜるはいま切って干した芋を植える季節だからです

畝はもつと高く、はおおかみこどもの菅原文太です

梅の花病院仲間のアカとシロ

בוקר טוב

「ミスりんご青森」来てりんごくぼり

星空を取り込んだ布団ひやつこい

土也雨

辰

ジュリアンソレル覚えてる

死ぬほど善良なる一市民のふりを続ける君よ

死ぬほど普通のふりをしなければ、という角谷の歌を思い出している

今朝、澁谷君がどこからか見つけてきた「まり」を聴かせた。ジュネに礼子なんか歌えよと言われて人前で初めてしかも即興で歌ったことになっているが、歌詞を聞けば準備万端だったことが分かる。詩法は変わらないものの歌い方は。ぶというかジーンで、それにしても邪悪だねえと笑って途中で止めた。

寂聴とSEALDs女子の対談を朝日で読む。まだ恋と革命とか言ってる。太宰だね。

あいまいさに埋められているのは詩型を逸脱した死者の尊厳、か。
この機会にまじめなる？ そりゃよござんしたね

駐車場

直接

ちのいろ

ちよつと

チューリップ

中心値

※チと打って出たものがバレンタインにもらえる

あー♪わたしは駐車場

らーファソラドシラソソレミー

ヘンデル「エジプトのイスラエル人」第二部モーセの歌

くぐもったシナゴークの過ぎ越しの半音階的旋律からは遠く離れて、それでも内向の余韻は残す。

ヘンデルおらトリオ檻トラ居る出ん？へー

鳥とパレスチナナチスレパートリーと

噴火カンフー

弾道ミサイル勇みうどんだ

清原使用しよ白刃良き

三井罪

金利引き下げ先比臨機

政府伊勢

シンガロンガ

サック君がチェンバロ使いたがったのはドアーズの真似をしたかったからだな

今の若い人は駄目ね

すぐにかたちから入ろうとする

というジョークがあったけど、ジェファーソンとドアーズを比べるとうちそとのベクトルの真逆さを感じてしまっていない

いつもがっかりさせられ続ける

生まれてからずっとがっかりさせられ続けているなと思いつ返す

金柑はこぼれて空き家の裏庭に

D e F g A

B b F

D e F g A B b C c

B b F

D e F g A

B b F

空家の裏には必ず金柑

バカビリーバーがあと二話で虚脱

目付き悪くなって帰ってきた

書割りの中

見えない線をなぞるだけ

次元というよりやさしさの度合いが高いということ『五五七』九

ディオクレオー、近所にファミリマトスができるのか？

ああ、ディアコノス、私もバソスから見た。ホットモドスの前だ

そうか、わたしは今からガソリンスタンドだ。

今ホームセンタスに竹ボキウスを買いに来たところだ。

昼は友の家でマキズシウスを食べることになったとスマホで連絡あり心が逸る。エホマキスなどとい

う異邦のものではない。純然たるローマのキュイジノスだ。

ダニエルジョンストンだよ

ダビングというものを知らなくて注文が来るたび全曲カセットに吹き込んでいたという人は

東風(こち)で店世界堂の裏にあった

エマ・カークビーだなつい

デルヘンユトレヒト

ピロピロ

びよびよ

ピロリンピロリン

よれらいひー

を拾ってお気に入りにさせていただきました。

かにかくに擬音はこひし寝起きでも枕の下をラルガン流る

朝イチは今でも「みながわたつおです」

アドリブやカデンツァとして即興を強いるのではなく、このギエルミミたく最初にやっちまったらどうだろうか。まあ似たことはシェシズでもやるけど、ああいうんじゃないかと、あくまでも演奏者目線で。それは逆に続く曲への理解を前提するから演奏者に他人の曲に対する責任を持たせることにもなる。

ハシピロコスきみはディズニランドスのキグルミコスとかユルキヤラスになりたいとは思わないのか？

思わないす、それよりいまはチアガールスです、あとスヌーピス先輩かな、それとチョコブラのローマのはあんま好きくないす、みたいな

そろそろ洗濯船のゆっこさんから俳句の年賀状が届く筈だと思っただが

多面体にカットするほど光って大きく見える心が石なら

七折にピンクの梅の咲き初めて山羊も顔出す上の方から

直線は折れに折れて山越えたり

池の端桜は不気味に待っている

水面が車の窓に反射してもう咲いたように見える桜

金借りて「みかさ」にそばを食べに行く
が閉まっていて
絶望してる

「麵人」と「くし坊」と「スナックエム」は同じトイレを使ってるんか
すれ違う外人が春だねと手を広げてみせる多摩の山道

おちこちに交通量調査佇めり申し込んだけあ良かったに

集落はあれど電波は来ておらずそんなことは分かってますよだ

安山岩の切通はコンクリで固める必要が無かった

雪残す道に赤系の地衣類

日の当たる山見え当たらぬ山見え

何事も無かつたやうにふもとかな

レールモントフとLGBT

池袋オルグよりボディーブローぞわぞわハマはたいへんになるぞ

うしおだますさんのえんそうかいをみたあとがつきやにはいったらよんさいじがこどもようばいおりんを
もってみせからはしりていったのでさんねんろ一んをくんだそうです 楽器を始めたきっかけを嘘偽り
なく晒せ

ドルフィン何とかと今また音響經由ニューエイジだってますけどほんとですか

Hateful eight ただのだじゃれじゃないですか

濃大阪と思われて末世やな

今からデルヘンだよ

ゆとれひと

ドキドキ

ヘンデルは暗いロンドンの芝に合う

のっけから背骨が水撒きホースになったみたい
ラルゴだよわたしのアマルゴ

ハムステッドで夏に聴いた

知り合いのリヤガーデンのシェッドを作っていたとき

も流していた

バスーンがロリンズばい愉悦

ぼこぼこした愉悦

そうかこの人はしあわせだったんだ

いいなあ

朝どこかで化粧前の女が猫と聴いているヘンデル

合唱隊は音程が下がり調子な人が多く、全員二番手のトッポイラッパーみたいなヘロヘロ声
きんちようなくもりあがるというのはいいいことだ

たしかに多国籍

舌足らずな声がする

きつと髪はフラッパード

いいとこどり協奏曲だつて？確かに三番の出だしは二番と同じ

イトコ鳥

イトコ鳥どこ？と言い

またラルゴきた

ラルゴのたびに泣かすなんてほんと天才だ

ベースユニゾンなんて要らないと思つてたけどそうじゃないんだ

八分音符に細分化してユニゾンにすればいいんだ

ト調終わり

エステル

昨日アタリヤとかいってなかったつけ

まあアタリヤなんて悪役だから

ギンバイカでいいんだけど

オルガンで聴くエスデル、か

いまモルデカイ来たりしたの？

ちよつと音がクモルデカイ

青い煉瓦が見える

あ、虐殺の報

アハシユエロス王が扇子を投げたのでエスデルちゃんが宴会でお酌してる

ハマンが唾を飲み込む音

知ってる？ハマンはサムエルが殺したアマレクの王アガグの子孫。

大団円まで至らず宴会で終わっちゃった

短すぎるよ

ヘンデルはユダヤ人のことどう思ってたのかな

ハヌツカとか知ってたかな

聴衆のレベルに合わせることに

と

逆ピグミーのルート音設定は考えが似ている

つまりある種利他的な動機

音楽のスタイルを自分で決めるのではなく聴衆に合わせることに

ルート音を自分の体調に合わせるのではなく部屋の環境に合わせることに

踏切に風は突っ立ち棒は揺れ

み使いのグーグルアースでひとしきり

久保田君とあと誰かと知らない家に入って布団を出して寝ている。ヤバイから先にしようとする、ちよつど来客と警官と入れ違いになり普通を装う。隙間のような狭い坂を降りてバスを待っていると地震が起きて家がべしゃんこになり、それどころではなくなったことでヤバくなる。

うどんが腐るように字に腐臭あり

自分が主人公ではなく、潰された戦場の死体のひとつだと思つてごらん。

死体でも風邪引くのかはいああ寒い

金なくて寒くてしかも死体哉

ヘンデルは宅配のピザに似ている。

言語のように郵便的に届けられるが、紙よりクランチャーでチーズイーである。

廃墟の瓦礫を流れるヘンデルかバツハどちらがいいと思うか

盗撮のこと誰も言わなくなつてましになつたしろ

まっとうな文脈に置かれた「アンセム」

焼き鳥を串から外すのが邪道とか言つてる輩は「劇団食い」の事情を知らないんだな

シテイバンクつぶれてカード使えなくなつたのもう新幹線も飛行機も高速も乗れなくなつた。グッドマンとかハーネスとかビッチーズブリューとか誘われてるけど現金ないから逆立ちしても行けないんだ。次は下通つて難波屋に行くけどそれは宝塚の実家の世話で行くからオマケみたいなものだ。投げ銭だし。

九ちゃんて室町^二?

ミキシング室が寒くて足台に乗つて首の後ろにエアコン当ててるけど全然暖まらない。大風邪ひきそう

寒いけど暖房切つた

川崎長太郎はこの状態で着込んで書いたのだ

七時台の着崩れした音楽地震くるぞ

踊っているのではない。地震で死体が揺れているのだ。

唄っているのではない。空の胴体を風が吹き抜けているだけだ。

歩いているのではない。自転する床を逆走しているだけだ。

寝ているのではない。円の接線になつているだけだ。

死んでいるのではない。まだ生きたこともないのだ。

旧正月の方が春がはつきりしていいと思う

ずっと違和感あつた

The sky is brilliant today, isn't it?
Such a fine day comes
only once or twice
throughout the year
even we are sadder

うん

^

ハープ協奏曲

み_bそらそふあれそふあみ_bそふあみ_bれ
たしかにロックじゃないポップスだ

。協奏曲といってもマイク立てるわけではない。ソロのとき外が沈黙するのだ。

シバの女王が登場しました

孔雀が見えます

ユニフォームセンスいいねと言っています

お話を聞いています

どうやってガチョウは空を飛ぶ気になったか

あら終わっちゃった

朝がふくぶくしく、か

がめラザウるス系

なぜ文体だけで黒人だと声が聴こえるのか

なぜ彼の汗や願望や焦りまで海を越えて匂いのように伝わってくるのか

言葉とは言葉にならないものを伝えるツールで、文体はその工具箱なのではないか。

デイスチャージ世代

興味をなくしたはとのように去ってゆく

ガム噛む顎のドライバーとすれ違う

家の近くから海が見えます

我田ブルース誰かアツプしないかな持っていないんだ昔の音源

本格的に耳が聞こえなくなってきた

もう時間がない

角スコの音は聴こえる

ヘンデルみたいなジュヌスを持ちたい

耳が鳴る

あつという間に棒の雲がバラける

ブランド豚しかもロースより高いヒレカツロアゲ太郎

重力子遠距離恋愛新時代

ボゴレリチはグルさびしい

グールドの小屋みたいに寒い

天気プアー

ボコレリツチ

則天去私

ハロゲートの女にオーストラリアの話題振ってどうしようってんだ

重力波のトレンド、地域によって濃淡。インドはさすがに入っている。

(なんか季語)+借金だけはしたくない

大シャブ小シャブ

山から小僧が

ローソンにやみつき鶏というのがあるが作る側が出すことばではない。それを客に発音させるのはシェシズと同じくらいひどい暴力である。

おぐらあん+今村昌平「にあんちゃん」

九時台は「こんなところに日本人」

四テレは二一時台にサイコパス

爆報フライデーは湯川れい子女史

闘病離婚で借金三〇億

観ないけどね

日が伸びた分だけ罪の長さかな

日の伸びた分だけ私の罪長さ

まだ帰りたくなくて街を流している高校生じゃあるまいし

音楽はジャンルではなくて横断するsohyのアフォーダンスだと言うとラジオ番組みたいだがそれをひとつの

バンドでやると僕になる

決意など述べてどうなる耳が鳴る

しんやびんキヤホンでできるしゆゑか母耳とほくなりになるかも

「私」を「私ひそか」に」と読ませて芥川

預金額はゼロなのに月々二千円の口座手数料を引かれることになった。払いたくなる額ではないから解約することになるが、移動費の翌月決済が出来なくなる。金利引き下げで活動を断念するバンドマンが居ることを日銀は覚えていてほしい。調子のいい奴以外はこうして没落することになる。

ETCカード使えないので今から下を通って兵庫に向かうが米を分けてもらいたくて香川の知り合いの精米所に寄って行く。シリコンカーバイドの爆発釉の鉢と引き換えてある。焼き物が完全に通貨となっている。もう蜜柑送ったから倉敷は寄らない。

死ぬ前にもう一つトレンドみておこう

エゴサーチアンドデストロイ

梅には永遠がないのがいい

ソメイヨシノの永遠は嘘だと知ってる

芸術史上主義が誤謬であることが正しいとしてもそれを日銀に強いられたくない。それはシェシズと同じく

らい非道い。

サラ地に敷く真砂土のような片のつけ方

ひっそり籍入れリア充の笑み斜め上山の向こう側見ながら

最近は青空文庫のアプリで芥川の短編を読むのが楽しみである。「煙草と悪魔」とか軽妙且つ漠とした不安に満ちている。

ギターはギター以外の音を聴くために弾かれなければならない

ギターは現体制下ではもはや楽器ではなく言語であるからだ。

言語は言語のために役立ててはならない。

ただフラメンコのギターにはIn sorryがない。

価値の横断を阻むものが辺境である。

言語は纏われる。

纏う身体は消されることによって仕事を果たす。

その謙遜は血に至るまでの抵抗の蓄積のみによって光輪となる。

雨に濡れチョッキの男サービスエリアのトイレに入りて出でたり

暴飲グマイウェイ

フラメンコの手拍子が雨と交ざる

事故の路上には菓子がちらばつてゐるし

じこのろじやうにくわしのちらばつてゐるし

聞いてなかった雨のはげしい

許されて大木のあり田のはざま

明日は難波屋二時から

即興のみ

車で行って飲まずに帰る

未来の楽器は物体ではなくなっていると思います。それは人間が置かれている環境をどう扱っていくかを学

ぶ能力だと考えます！限研吾

佐島ゲストハウスちひさいくわいしやのひとらをさそふか

ティムバートンのビッグアイズで観たことある？モデルになった人知ってたんで最後爽快だったよ

難波屋みんな酒も飲まず真面目だったよ

一五〇〇円もらったので所持金が一五〇四円になったよ

今日は実家だから皆川達夫先生のバロック音楽の楽しみ聴けないや

空殺のもうそう寒ぶ垢熱湯よ

掃除機おばさんから床にばらまき用の二〇粒くらいとしようゆさんからローカル会社のフレークを押し固めて嘔み締めるとクローブを振ったような香りのしてくるやつ

佳乃ちゃんからチョコ貰いたい首回りのボタンの堅きベシヤツ

バツイチでモンロー髪のエイミー・アダムスは自称バリ婦りの詐欺師と出会い結婚するが、最初に食事するシーンで盛大に右手フォークでぶっ刺して食べる。映画の最後のほうで「あなた、本当にバリに行ったの？」と問い詰めるシーンの伏線となることを意識した名演技だ。

梅転び早起き

小山さんの映像はケントリッジや石田尚志のアニメ史に対してローカルな飲料会社の自販機のように大阪の道端に垂直に立っていた

似た感触のものは最近ではパレドキョートの中山晃子と内橋和久だったよってに尚更大阪感

大阪は進化しようという気はさらさらない。バ一深化に再び行き着くことだけしか考えてない。

深化しか考えてないサイケが一定数居るなら、横断のアフォーダンスとも近い動きでやっていける。マヘルは東京にはもう呼ばれないだろうからいいかもしれない。一定の割合で存在する層は大都市でしか見える形にならない。その層の割合が奇跡的に歪な地方都市が文化的と呼ばれるのだろう。

季語から句を発想するやつらは王道ロック野郎と同じだ。俺が季語なんだ。わかったか。チャンチャン

エピソードVII 王道ロック野郎の逆襲

高校の時、「おたく、辞書引きながら詩作ってるでしょ」と言われて落ち込んだことがある。

いや、でもおれは言葉造ったよ、例えば「空殺」

王道ロック野郎とフォーク野郎の逆襲とその空殺 #クープラン

麻里

咲く前の桜

一足お先に、ですか

春の海集めてまはる金はあるのか

こっちは三月まではやってる

モードと缶びーるは早々じゃけん

死んだんだな

ビールでも買って帰ろう

それにつけても悪口を言うやつは金のリンゴを知っていても銀の額縁を知らない。

咲く前の桜で山がモファット訳

咲く前にぼふあつとするからIPA

「清い状態」は存在している。たとえば今だ。だって

バーロー

け

ウィリアムバーローズ

情報を繋げることを知性と言うなら、消化のみの反知性さえ食傷気味にさせようとしているように見える。

ローソン、so long

目を覚ませ毒だ #おいしい無糖

礼子は「キムタクはやってない」と断言したがこちらは五万の赤字の補填をどうするかでそれどころではない。

錦織君が貰ったギターって何？グレッチ？

想田和弘の観察映画「カキ工場」

輓の浦埋め立て中止

ピーナッツ一〇〇%のピーナッツバターてうまいね
すじく

ポテサラリーマン

死んだんだな~~き~~しんと打って新秋津と出たら撮り鉄

・・・egcc#eG・・・・・・・a#AG・・・・・・

いちい

イチゴ直売所の「いちご」という字のみ赤き

明仁が鶴瓶みたいにいきなり人のうちを訪問して泊まる番組

心身の練炭おこた

ルナ顔つぶれ

畑の蓮魂踏め

職種：連単腹式呼吸エリート

趣味：工作員探し

好きな言葉：いいとしのエリート

好きな漫画：ヒバチたれ

少なくとも後期ルネサンスは建築様式の変化によるチェンバー/タブローがキーワードで、近代の所謂美術や音楽と呼ばれるものはフランドルで生まれた、と考えていたのですが、渦中に入ると反って分からなくなります。翻って現在地確認も同じことでしょうけれど。

野球選手でなんてモテるんだろう。中学校みたいだ。ああそうか、中学校なのか。
これは本当にまずいことになった

青少年の夢を壊す

野球選手がシャブやるより非道い

七時過ぎるとラジオは中学になる。つまり近代になる。だから死にたくなるんだ。いまかかっているのは「ペルシャの市場にて」

仕事に行く嘘ついて出たがガソリン代なくて動けないから昼まで近所に潜んでる。

ツイッターなんていうのはね、結局世に関わることだからね、トレンド開いてコメントしてりゃあいいんだ。決して悪魔に手の内を見せてはならぬ。

花の根元にあやめは綱目、杜若は白い筋、菖蒲は黄色がある
骨になった猪の蹄なかなか崩れないまま

困窮するconcubine

わたしには、何が、ある

わたしには、何が、ある

って誰だっけ

土橋駅越えゆきしかば「カラオケ喫茶やすらぎ」の前を通れり

Bb Bb BbGEbF Eb x2

C C CBbEbF Eb x2

ポルドー？ならグラヴで

明け方は凍結するか冬決するか

みどもはおのおのがたをおだましもうしあげたのでござる

小保方の片棒？あたぼうよ

ところで「当たり前だべらぼうめ」が「あたぼうよ」に約(≡)められて随分経つが未だに用いられている

のは余程キャッチーな流行語だったからなのだろうと思う。

北海道ギター女は冷たい大きな箱にギター詰めギターにはアポなしのカポ嵌め雪はふってないかのようにふる舞う
電波わるいでさんたまえりあ

ネットラジオのタイムラグすごい

携帯が一番遅く、次がB

調布飛行場

R「拡散希望R」

集まりを押し上げる力のためには

本当は人の代わりに

土地を考え続けなければならなかったのだ

ばらばらと削ぎおとされる鎧に場所は痩せ

押し上げる力のためには

本当は人の代わりに

土地を考え続けなければならなかったのだ

この前中原君に話したらコスモスまだ見てないんだ、て言ってたが、あれを遺作にして死んだと知って
ショックだろうな ああ汚さがルネサンスなんだ

自分をアーカイブできない

死んだのにフォローしたままされたまま家族も知らぬ場所て生きてる

ナイーブ被曝

内部美白

等々

バッテリー減る速度より早いのか遅いのか分からない生と死

問題は言葉以外のところにあるのだから言葉に反応しても無駄です

暗いキッチンでパンとワインだけの夕食鉄道員みたいね

Pものに金を言わせて自分を売るか

G金にものを言わせて自分を買うか

僕も周期的にその症状が出て、帽子で隠さなければならなくなってもまだ抜くほどでしたが、禿を気にする

友人が本気で怒るのを見て、ハッとしてやめることができました。こちらの病も冗談ではないが、向こうにとっても勿体なくて冗談じゃないみたいで。

AChcbagABb

C#を混ぜる

感性の化け物に騙されるな

泣いたって無駄だ

単純化の様式には罠がある

魂と心を混同したまま

農耕に裏切られて死ぬ

最後の潤いが消え

千魃は三年続く

情愛豊かな女が子を煮る時が来る

貧乏は貧乏は

冷たく薄汚いものを下から立ち上らせる

善玉菌は絶える

人は立ったまま腐り崩れ落ちる

せいぜい堅手を焼け

雨漏でもいい

棘に苔が生え

石耳の汚い湿地に倒れ込め

そこにはすでに鳥葬の骸骨が居る

なんて平たい肋骨

ゴミを捨てたい

そうでもしないと釣り合いが取れない

何の焼燔なのか

そして脳天にヒールの踵が落ちてきて
それで死ぬのだ
石耳の汚い空地で

ヤクザが四人喫茶店に溜まっている
頻繁に店員にクレームをつけながら
頻繁に電話をかけながら
三時過ぎなのにおはようございますと言う
一人は禁煙している
吸わせようとしても許してくださいよと低い声で抗う
取調室の様子を話している
爪楊枝を四人分注文した
ああ暇だと一人が言う

僕も周期的にその症状が出て、帽子で隠さなければならなくなってもまだ抜くほどではしたが、禿を気にする友人が本気で怒るのを見て、ハッとしてやめることができました。こちらの病も冗談ではないが、向こうにとっても勿体なくて冗談じゃないみたいで。

ACbcbagabB

C#を混ぜる

木耳社なる出版社がある種発掘土器の出版を独占的に手掛けているとも言える分かる「木耳様式」という造語の検索結果

東京は全体が東京ドームのように見え
その中で抒情やヤサグレがあるだけで
脳をやられているのに気づかないまま一緒に浮き沈みして

東京湾を挟む腿は痩せ衰えていき
缶詰に穴を開けて灯すローソクといった避難グッズに飲む

白内障の瞳で海鳴りと勘違いした耳鳴りを生々しいと褒め称す

トーカティブなフローワーさんのビートをミュートしました

シ(さんずい)の川で言いますもんね

水はもつとも女性的な死の物質である。バシユラール『水と夢』

バカビリーバー終わっちゃった

主題はアバウトと同じだった

i m m o r t a lで言いますもんね

設計図は自分に属さない自分のある部分の可視化としてある

設計図は目的ではなく、停止である

設計図は破棄されるべき夢である

設計図に基づいた欲望が完成した瞬間から時間がまた動き出す

設計図は未来のアーカイブ化に向かうように見えるが実は過去の裏返しである

ガチヨーン

燃えるゴミボックス前で肉井を立ったまま食べ男は去りぬ

自作自演体質暴くトランプ「平和だ安全だ」に近づく

IIでトランプを追ってると関係なく澁谷君が出てきた

ガタリ弾き

どうしてるかな

あなざみみくり

吐く息が白くなくなったら起きる

馬鈴薯植える

ネットで買い物だけはしなかった、と墓石には彫っておいてくれ

自転車屋さんはパンク修理をなるべくただでしてくれようとする

公園は恩賜としてありやなしや初ムスカリの声ぞ生えゆく

七折は山の上まで梅の花

七折梅祭り梅酒を買う金もなく入園料もなくイタドリイタドリの塩漬け二〇〇円を求めて帰る寒い今年は梅酒を大量に作ろうと決意する

シェフェールの倫理の横断が結局どのジャンルにおいても一番強い箴言的な光を持つ。写真然り。文芸然り。思ったことを勇気を出してはつきり言っていんだよ、内容はともあれそれは邪悪だ、と。言論の自由など遥か下の世界だ。自由のために言葉を出すのではない。言葉の中に自由も含まれているのだ。

寒い下のする世界だそれは ❷さ行でわかるリア充度

これはわたしが宅録したブサイクなテザイクのサイケ

です、みたいな

テザイク（手細工）手先の器用な人で、それを本職とする職人ではない人の細工。「これは身が手細工に致いた」これは私が手ずから作った。（日葡辞書）

六階のベランダの戸が開いていて外を見たまま動かぬ人影

流行りというけれどあまり流行ってないことが実は今じゃないかな

というか流行りはいまを欠いている

流行りは今を断念したところで成立している

求められているいまを殺して場所取りをしているのが流行りと呼ばれるものだ

添い寝する時代など無くなっているのに。

ドウルーズ風に言えば営業機械だ

ていうかいまはすべてが流行りだ、とも言える。ジジエク風に言えば。

いまものすいーロマぼいC#来た

貴族オペラアルタクセルス王を歌うセネジーノはクイーンの節回し

トンネル行く男を抜き去りたれば背後で突如奇声発せり

いつもいく深夜喫茶はいつもマル四かモンクが流れている

マルに比べれば渋谷さんなどはアクセルに布団敷いて踏んでるみたいだ。脳に脱脂綿詰めても血や涙くらいは滲むだろうけど、頭蓋には直には響かない。悠治さんはそこらへんは分かっているだろうけど、血も涙もない。魂には肉だけではなく頭蓋も血も含まれるのだ。霊はみな持っている。それは分かっている

モンクは頭蓋に響かせようとするが、アクセルの位置をたまに間違えている。クラッチとブレーキは既成のポピュラーを選ぶことにつながる。ハイオクではないにしろ、そこで曇る。マニュアル車の時代の話だが。エレピは誰が弾いても頭蓋ぼくなるから、オートマ車のずるさがある。坂道発進をごまかして生きているやつらが多すぎる。ハープシコードは頭蓋を引っ掻く。エマニエルバッハのチェンバロとピアノのための二重協奏曲はとても興味深い。昔から二つのタイプは居たのだ。あとはドアーズのチェンバロ。

抗いようのないものを変えようとしても無駄だ。芸術における大衆性の問題はただ個人の愛の資質による。分析しても無駄だ。それにしてもロックは本質的にポップであり、或いは批評性としてのポップを含む。例えば彦坂さんは自足し、ロック史を自覚していない。

ロック史を自覚していないと時事に踏み込む。政変や金融を網羅しようとするのは世代的にポピュラーとロックの区別がないからだ。ロック史はポップを相手にすることにより、世界と断絶出来る。それがいまの愛の定義だ。

物事を動かしているように見えるのは彼や彼女、元カレや元カノの低次元のプライドだけだ。それらは本質と何の関係もない。その分析と対策をアートだと言っている間は業界には何の進展もないだろう。ましてやそれを断罪してみせる鴨長明の立ち位置など、ゴミのような所業である。

最前線はいつも中世である。原発の廃墟の設定のSGがいつもそうであるように、それは黙示的である。

そこに「異例の大声」が響き渡る。それが真のハードロックアルバムではない、という保証はない。そう思っ作る。

ヘビメタがあんなにも幅を効かせていたのは、あれは、それだけそこに真の「異例の大声」の余地があったからだ。だからサタンの不動産屋が先に買い占めたのだ。

下らぬ言葉を削って夜となる

アーカイヴなしのまとめに入ってる

自分以外を数列化して

冬瓜をくり抜いた器のスープがあると聞いてたまらなくなる

明け方にやっと帰って来た猫が家の遠くて水を飲む音

アルトーも障害あるとも

花粉とぶ倫理は水と流れたり 赤黄男

上向いたアルゲリツチのポスター部屋に貼ってたもう焼けた家で

朝バロックが終わってクラシックが始まるけど聴けるのはうちそとが結びついてる彼女くらいだ

明け方なにかあつたらしくねこのにゃんつーが目を合わせなくなった

近視のジムモリソンみたいに人をじーつと見つめるねこだったのに

ねこでも罪悪感を感じるのだろうか

子供がグレた親みたいな心境である

行列の水田商店行ってみたけど少なくとも白は大したことないね。鶏油で替え玉無料と言われてもね。まあ

マー油の黒いつてみてでもいいけどね。

て松山の人見てんの

まあ大分宮崎愛媛は宇和海囲んだトリ文化圏だからね。スタイルは豚骨なので落差が出る。自由律に季語入

れるような辺境性というか。例えば

古池や蛙飛び込んでる

みたいな

激戦区向けじゃないロック史みたいなのもあっていいわけだけでも。いかんせん味がね。ただの鶏ガラに

塩梅利かせりゃいいじゃん、みたいな突っ込みは必ずあると思うよこれから先。

でも調理場はいいね。

配置や鍋の並びを見れば分かる。

名店で修行したんだろうね。

「俺のラーメン」というこだわりを捨てたらいいと思うんだよね。「ワイルドだろ?」の次のギャグを考え

なきや、みたいなごとと似てるよね。

ものを忘れて守っている外側

カラスの光り物拾って口の中砂利だらけの夕方

頭に巻きシタルで湯に行きしかば種子らのおほく付着してをり

黄昏はひかり収めて空はいまフロントガラスに付着を始まり

曇った青空に靦光ガイドの声で皿ヶ嶺のひらたい稜線

旗の黄色くて弁当〇円引き

コンビニの壁ごと速成の造作

農機具に塗られた鮮やかな塗料

銀に銅を混ぜた濁りの右折

錆びていない部分はみどりのトタン

あーアタマ痛い春が蠢いて

曇った青空に頭蓋がぎしぎし

ギザギザの山に唇舐める余裕なく

黄色がイエローすぎる標識

ヒースローの作業服のようにスレた国のイエローが山の中にある

場にスレた黄が小春の反対

のギザギザの山

トンネルで一時中断する国々の春

終点は曇った青空の頭痛山

小刻みに咳しながら駆け抜ける肺色の人生

黄は矢印を伴い

三人の老婆は路肩をゆく

黄は停止を伴い

オレンジの初夏まで待つ

神殿を清めるためにエリヤが遣わされる、というマラキ書の預言を輪廻と誤解したシュタイナーに騙されたまま、エンデは自分の伽藍を形作ってしまった。

転生は自明だったのではない。死後は無になることが自明だったので、転生はラザロのような寓話として語られたのだ。

てやあしのゆびさがいたくなるほどの寒さでふ予報の表現

ハロー注意報ターミネーターの星

Cadillac, fur coat, champagne 哉

堀江モーターズでふ映畫走らせ

久万で木下さんの鉛筆

彼は肩を描けない太陽人間段階のまま細部に行つたのだ

州之内さんは顔の宇宙と形容したが、切り取られたら美大の石膏デッサンの暗さと同質だろう
数えられないから惚けるだろう

眼だけ輝かせて哀しい

神内さん神戸の瓶の時以来だからずいぶん久しぶり

脳梗塞夜

うちの前の梅林に最近リンゴの苗木も植えられましてね

来た。来た来た。そうなんですよ奥さん

まあね。エゴサーチに引っ掛からなければ。春はあけぼの。カーテン引く。

休むために寝るのに起きたら風邪引いているとか納得出来ない

定食屋のあの平たい湯呑の形はとにかくテーブルの上でひっくり返さないためと気付く。

あとは脇役が皿物を見下ろさないように。

背広を着ているか、何も着てないかのどちらかしかない

蒟蒻を千切って鍋に捨てるのは怒りがきつと体に来るから

目を瞑って歩く夜道は

色んな人の声色で

開いても閉じても真っ暗で
寝ても覚めても同じこと
目を瞑って歩く夜道は
バトカーなどもすれ違い
上にも下にも寝場所はなく
パジャマも上着も同じこと
目を瞑って歩く夜道を
十歩歩けば目を開けて
歌わせたものに歌われて
車道も歩道も同じこと

詩が目を瞑って一人歩きを

GF#Edef#Ef#bbdDDDD

米軍の両方主格副詞の「は」ヒトは殺してネコは救出~~き~~そんなことあつ短歌

金と引き換えに木は枯れ草にも蛻殻のような朝の年輪

（自分の心が他所から流れついて来る@38836878）摘んだ手で甕に入れたる苦蓬

脑梗塞夜? No! 拘束の嘘こくな

（天の川ねむりの四肢の獅子となり 加藤郁乎「球體感覺」）オヤジと戦い銀河に死せり

untrained layman spouting health recommendations

Do not say Yo! say Ho!

おお、言う勿れ。ステファヌ・マラルメ

池の土手焼く男らやキャップ帽

長閑さは汚染で消えて春霞

来る度に猪骨の位地は変はりたり

清原は意志が弱いから啄木みたいに歌してれば良いのに
シャブ打って気が大きくなってツイートとかしてれば良いのに僕みたいに
歌を打たれて死ねばいいのに

自分が撮った自分がリアル銃殺される映画を見た。

整理する時間は与えられず、伝言は聞き流され、いきなり撃って卑怯だった。声を振り絞って犀に伝言を頼もうとしたが声が出なくなってきたしどうせ聞かれないだろうと思いつながら死んだ。

死が問題なのではない。どの層で死んだかだ。ヴァラエティー番組を観ながら突然死んだのか、人に囲まれ入滅したのか、悔しくて堪らないまま銃殺されたのか。霊感の層で死ぬ確率は低い。それはそうと雨が降っている。最後の寒気。「それにしても寒いね」と言いながら僕は死ぬ。

夢を映画と言い替える

たまに撃たれておくといいいよ。準備になるし、撃たれる人の気持ちも分かるし。

吹き寄せられ浮かぶ入江の鴨の尾の白と黒のみ寒さ免れ

白梅は間近に見れば雑な花色含ませて筆振れば良し

春の雪命はまあまあ明るかり

春の雪空はまあまあ明るかり

春の雪

笠井さんは神を知らない。

これはsecret partyという映画の最後で歌われるんだけど、原曲よりいいな

歌詞も微妙に変えてある

he's the luckiest guy on the lower east side

he's got wheels

and we wanna go for a ride

そーそふあみーそー

みーみれどーそー

そーどーみーそーどーみれどーどー

削りも高台も素焼もなしでシリコンカーバイドの釉薬を手につけて轆轤を轢いて乾かしたたものをそのまま
明後日に間に合わせるために焼いている

アメリカはみな借り物なので近親憎悪的に恥ずかしい。アメリカで唯一成功する表現は不良であることだけ
だ。

五月九日は~~キ~~号泣の日でトレンド入りを目指す

三月一日は~~キ~~犀の日でトレンド入りを目指す

三月二日は~~キ~~unnyの日でトレンド入りを目指す

三月三日は~~キ~~さつさと死ねよの日でトレンド入りを目指す

三月四日は~~キ~~察してくれよの日でトレンド入りを目指す

三月五日は

三月二日は~~キ~~ミニマ・モラリアの日~~キ~~ミニスカートの日~~キ~~みにくいアヒルの子の日~~キ~~ミニバンのヤンキーの日~~キ~~

身に覚えのない言いがかりをつけられる日でトレンド入りを目指す

鳥が飛んでるかあつてよく飛べるなあしかし

濁った耳鳴りを春の遮断機

耳鳴りをコンピニに停めてシート倒し春

耳の裏リンパの春のうららかを流し

新党名はみしゅん

特に意味はありません

いしんみんしゅ

新種移民

市民飲酒

春眠意志

民心異種

党名考えてやった

・時給一〇〇〇円の声

〇〇の声というのがよい

・ちいさいせいふ

チイサイカイシャのパクリ

・維新派

議事堂をバー深化に改装

・ミンシュリンの注射器はシャブに転用できるぞつ党

Yes you can

・党名めいしん高速道下り日本坂トンネル付近で自由タイ式二人ヨガ

いい下弦にしろよー

下に一下にー

死にたいー死にたいー

人生とは感染者と付き合うということだ

自分の弱さと相手の菌が反応するのである

とにかく、きみは感染してるから。

あと六円しかない死にたい

家賃払ってない

売られて腕を切り落とされた中国の子供が物乞いをさせられている

その方が同情を引いて儲かるからだ

サーフィンの素人が人の波に乗ってぶつかって事故を起こす話を聞かされ長い昼食が終わった

JASRACを通わずにitunesでダイレクトセールする方法

egdg gbchaG

下弦の疲れた月が焼かれる前の芋の断面のように白い
「」いいリトルネロ

このバヴァーヌ、録音したい

「美しいひとよ」

クレマン・ジャヌカン・アンサンブル

同じ曲

ニューヨーク・ルネサンス・バンド

いつの間にか月も消えて
そうだ刑務所に入ったということにすればいい。事態はそこまで来ている。
毀れる

雪の日に木炭を挽くと椿が首を縊る

ガスパール・サンス「スペイン・ギターによる音楽指南」から「カナリー」はリズムが完全に3222のフラメン

コ。

ロルカみたいなマルチなひとだった？

フラメンコ・ギターへの貢献は？

劇団松山ヘル 演劇公演

「人工地震」

日時三月一日

場所 温泉旅館どうごや

コーラとか飲んじやって春の気違い

墓川が幸せでありますように

オリーブを鉢から植え替えたら

三極の花が怖い感じに三方を睨んでいる

地面の星のようだと言えらん

まだ人生は始まっていない

ワンカップ日本盛買ったあと二円しかない本気で死のうと思う

八寸くらいの深い軽い皿で何でもワンプレートで済むようなのを作って食器洗いも面倒な怠惰な若者に売ろうと思う。削りも素焼きもしない。手に釉薬を付けて挽く。なるべく低い温度で酸化がいい。食事に使わないときは道に座って物乞いするとき便利だ。収容所ではそれで顔も洗える。

下層は百均の食器使っちゃだめだ。心まで貧相になるよ。とかいってだまして買わせる。そういうの好きな文化人にも買わせて、それでもうけて成り上がるんだ！

貧困ビジネスだ！これからの砥部はプレカリアルティチュードのギルドだ！

お墓に座ってたら足が痺れてきた

帰り道は坂道を下りるルートと上るルートがあるんだけど下りたくないの上る

夜汽車の音が聴こえたからもういい

いなくなったにやんつー

最初はどこかのお城のような家の令嬢に構ってもらって半幽閉状態なのかと思った。

たまに帰ってきてても食事を取らず、すぐにいそいそと出ていこうとするので呼びとがめると、後ろ姿が、うっせえ、ほつといってくれよ、という肩なので、悪い仲間とシンナーやってんじゃないかと思った。

母に再会し、連れられていった集会で去勢されてない初めての優しさに触れ、コミュニティへの帰属意識が他に勝ったフェイズに移行したのか、とも思った。

献身的に舐めあげていた擬似的な子供としてのらいおん丸はもはや眼中になく、うす汚れた白のおじさんや鼻が薄くなりかけた黒のおじさん、脱落した茶色のおじさん、とのメールのやり取りで青春を消耗しているのか、と思った。

先住の去勢猫たちはもはや同族には見えず、彼らの薄気味悪さは人間に似ている、そんなことを考えながら、ひたすら夜のハイウェイをぶっ飛ばしているのではないか、と思った。

去勢費用は二匹で四万、平均月収を遥かに越えている。マヘルはポートランドまでないので収入の見通しも立たない。求人で交通量調査とか見ているがすぐに埋まってしまう。室野井がコンビニで断られた話を思い出す。そういえばにゃんつ一は若い頃の室野井に似ている。

タンゲ君はわたしのねこだよね？

Etes-vous mon chat ?

今年の受難節は二七日ではない。春分に近い新月から数えて一四日目だから二三日になる。二七だと満月は失われている。去年は四月だった。だからキリスト教は盲目なんだ。パツハなんて、手探りじゃないか。

受難のコラール

教会で弾いたことある

これだけは備前長船みたいな本物だ

国民の無意識が国家の身体を守るために自分たちの頭たる内閣を認知症にさせている。世論調査がそれを可視化する。

Ps 39:13 Look away from me, that I may brighten up Before I go away and I am not.

わたしから目をそらしてください。わたしが去って、いなくなる前に、わたしの気持ちが晴れやかになるために

粘土を切って丸めて斜め八寸に捻げるわけだけど、玉にして手に取るとき何グラムかの重さの違いがいちいち分かるようになる。

いつも燃料切れランプが点灯したまま走っている気がする

B EDB EDB EDB ED

E

Bb EbDBb EbDBb EbDBb EbD

D

↵CEbGD C Bb G Cf

手術してにゅんっの青春は終わった

正味一日だった

それから僕らはR1を観た

青春が一日だったら海の砂に背中を擦り付け悶える

GFG FG FG FG Ab bdfDm08/03/16

今日の朝日の、柄谷行人「津島佑子を悼む」は簡潔で見事な弔辞である。晩年の仕事を読まなければ、と思わせる

金を○円持っていたので酒を買おうと思ってコンビニに行った。ATMに戯れに銀行カードを入れてみたが、もちろん一銭も出てくるわけはなかった。ただコンビニに出入りすることで小銭を持っていた頃の雰囲気味わうことができて良かった。

家に帰って、料理酒でもないかと台所を探したが、梅酒一滴さえなかった。アル中ではないので、別に堪えなかった。

小銭があった頃は、それでも希望があった。

ひととき大きなカーテンコールのように耳鳴り

実話BUNKAの高田馬場のますいラーメン屋五〇軒の記事がNMMのゲソのインディー酷評癖並に素晴らしい。「それでも結局はラーメン愛に溢れているな」といった読後感を与えて締めるのがライターの常だったのが、下層への呪詛だけが溢れている。

業界のセリヌ認定

ガラテア五三二のフルーツkaptio(カルボス)が九つあるように見えて単数形であるのはちょうど山のモードに包まれて挨拶しあういい人になっている状態を思い出す。いろいろな比喩が使われてきた。宝石のカット面。ミカンの房。宇宙のような葡萄の房ではないのは確かだ。○かーしかない。

たましいという言葉は皆の思っているのとは反対に、そのように見られているという外側でしかない。たましいが服だなんて、きみは知らなかっただろう。

雨降り続き旗を仕舞う店員

松山では使命感から地元の麦味噌を使った白いラーメンに挑戦する店主が多いが大体気合いが入っていて大

抵メインメニューよりよく出来ている。ラーメンにもロック史が交差するのだ。二郎系のBGMは間違っている。

僕は幻想を捨て、重信川の河原で芋炊きしてればいいのだ。

同じ場所を訪れる定点観測の手法は坪内晃幸の路上の四〇のシリーズや、もしもしの展示場会に共通するが、この時のPTSDのフラッシュバックはそうしたアートを津波で覆ったのではなかったか

キュレーションとアートを逆転させるマヌーヴァーは三・一一の風化に付随して起こったアート器械の延命である。官主導の復興のような藻抜け。逆らえばスラップ訴訟に遭う。ゾフィーの死の三ヶ月後のノヴァーリスみたいな日常への風化。

言語と工員に対する苛立ちで空いちめんが真っ白

AGAGFEA

G BbGG BbGACAA CADFD

デュマ原作 浪曲 椿太夫

下を向いて歩こう、後ろを向いて生きていこう

ロブスター

春先に咲く青い星形の花というゑの歌があるけどそれが駐車場にも咲いていて、ゑでいてそういうの上手いと思う。

バイオリンベースにバラライカ？関係ないけど靴にピックアップを仕込むと面白いよ
記念写真は撮られない。地下活動に備えるためだ。

曇り空にバトラーの叡知
咲いてしまった櫻の荒地

朝急ぐボックス車らの追い抜き
峠を越えれば平野に依存する町々展け
隊員ら迷彩服で朝の自転車漕ぎをり

ミモザの黄のなほ高き

夕方のFM、高嶋正宏がナビゲーターでJ-Pop全曲を流しているが、このアルバムはボルシーのベースに教わったのだという。あの、膝で弾いてた奴だ。元気かな？あと、A面のインストに出てくるフレーズは既にグルジェフだ。それを反日ラップの管のアレンジのヒントにしたことは竹田さんには言っていない。

今週の土曜日は徳島でハードスタッフ小西さんの引退イベントで、地引さんも来る。なんかバンクづいてきたな。

猫を呼ぶ声は流れて梅終わり

一件落着と思いきやさらなる恐怖に襲われるシーンでカット

いろいろあつて死ぬ

風が光る

木星が太陽になる

夜が明ける

走る

微笑む

手紙を出す

作者が挨拶する

脇役が蛇足のようになにかをつけたし日常に戻す

なにも変わらない

俯瞰に始まり俯瞰に終わる

主観が客観に変わって終わる

客観が客観のみで終わる

例えば雑踏の中挙げられた手の中の金貨が光る

主観に始まりステージが一段上がった感で終わる

オチがあるのは名作ではない

名作は存在しない

約束された大きな物語に対する同調や反発、肩すかし、当てこすり、逃走、中断

ヤンキー共が卒業して終わり、次作は少年誌から青年誌へスライド

中断

ほらカラマーゾフ続編とか書きたがる奴いるじゃん

名作にはオチがあつてはならない

次に繋げる何かを遺して物理的理由で中断させられたものが名作

われわれはオチで時を区切ることが出来ない。

「嘔吐」はエンディングテーマ「some of these days」で小説のオチを映画に変えた。

太陽でいっぱいになる

一八世紀の虐殺を監視する兵士が隣の兵士にガールフレンドは居るの？と聞き、ラジオからロカビリーが流れる

百姓が勝つ

❖名作をオチだけで説明する

アーノンクルの少年合唱入ったマリヤ妊娠カンターター〇泣ける

会った途端にトレモロ、みたいな雄猫チェンバロに対してガンバは卵巣摘出手術失敗の膿で対峙

次のギグは四月二日夜九時京都

某所柿落とし主催吉濱

椿にフォーカスする

いくつかの狭間に

賑わいを離れ
椿に定冠する

ブライアンウィルソン四月に来日てほんとみたいです。

石井桃子やクラヴィノーツと一緒に行けたらさぞかし楽しいだろうな
金ないけど

貧しい人は常に居ますが

わたしは常にはいないからです

目の前の猫を救ってアフリカの子供を支援しないのか、といった言いがかりは論破出来る。顔が見えるものは愛情において優先されるのだ。貧富の差に塗り分けられた顔の見えない階級を抽象したことじたいが誤りだったのではないだろうか？

情けない鰈の目玉か県庁所在地として岐阜と大津は

靴を忘れた役者には

remedy or discipline

病院から製剤薬局への距離を

下から上に上るまで

すべてのものを満ち満ちたさまにするために

も早追いつけないほど加速して

終わりの戸を開ける黒いサマーセーター

裁きの後、時代劇の飲み屋の銚子が走馬灯

掌上に光を宿した子供が自分から死ぬことを申し出る

排泄物が体の一部分なら、私は金魚のフンでいい

窓明かりの下のストーカーが呟く

厳めしい御奉行様

サングルで来てしまった式典

踏み行かせる道は

喉から下る気管のよう

波と自分とのドッブラー効果は音にも光にも適用される。波に近づけば青く高く、遠ざかれば赤く低く。朝焼けより夕焼けの方が赤いのは遠ざかっているから。音に近づく。青。遠ざかる。赤。京都は愛茉莉でガラ刑レコ発と思ったが夜九時からだから止めて赤青やってみようかな。mashだ。参加者募る。

京都マヘル舞踏公演「見舞Ⅱ」演奏者は舞台中央に座ってギターを弾いている。参加者は演奏者に近づくと青のランプを点けルート音を上げていく。遠ざかるとき赤のランプに切り替えルート音を下げていく。演奏者が動くとき全てが相対的になる。逃げていくのに近づかれている。近づこうとしているのに遠ざかっている。

神の場合は、一歩でも近づこうとすると向こうから百歩近づいて来てくれる、とイエスの弟のヤコブが書いている。

吉濱君が新しく借りた家で、スペースの名前はまだついてない。大家さんがなんかイベントをやれと言ったから一日と二日にやるらしい。僕は二日の夜着く。

場所がまだ分からないので告知出来ない。分かったらブログとFBに載せる。あと、なんて自分が呼ばれたのかはよくわからない。吉濱君が一月の余波に青く近づいているということもあるのかもしれない。あと、マヘルで呼ばれたわけではない。ただ、何をしてもいいのはたしかだ。吉濱君だからね。

バラカンの日本語修行阿羅漢振り。ジョージマーティン大往生と言ってる。

雨曇り枇杷の若葉と鳩の尻

先の焦げた土筆の群れはコンクリートの継目に列成してをり

丸太積み前行く一〇「トラックの年輪たちの尻のぐるぐる

雨は靄となって街に下(お)り下(くだ)り

若い頃は親が死ぬかと思ってなくて、死がどうしたとかえらそうに唄ってたが、死というものをなんにもわかってなかった。若い頃に死ぬ連中もきつと分かってなくて分かってないまま死んだだけだ。

東の人はプライドを棄てて死と向き合うべきだ。そのほうがいい。わけもわからず死ぬよりはいい。死んでほしいわけじゃない。そういうことを言ってるんじゃない。ちゃんと生きてほしいだけだ。上澄みの層で生きてほしくないだけだ。

工作員探しも厭きてきた。国単位ではなくもっと大事なことがあるはずだ。

どうも土地所有がガンだ。自分の中の領土問題をまず解決しなければヘイトもカウンターも他人事だ。繋げることだけが知恵の道だ。検索の知識は役に立たない。

表現はほんとうの問題ではない。器など、漏れなければいい。音楽は、インスピレーションソースが提示出来ればいい。それがこんど出すガラ刑の主旨だ。

大事なものは怖れと愛のみである。

土筆と杉葉は陰陽の最たるもののように思われるが胞子茎である土筆が陽の当たらない路地のコンクリの割れ目に焦げて密集していたりすると、陽を介在しない陽の病が革まるような一種山本直樹の『さ』を見ているような、小保方は歯朶だったの？とでも言うような、そんな不健康な戸惑いを覚える。

陰陽に閉じて夜半の革マル

東京でライブを観に行っている人たちはもはや何も聴いてはいない。或いは「流れていたのはこんな曲だった。」という過去形しか耳には這入って来ないのだ。外から見ると完全に京都に移っている。煮られる海老のように気付かない。

Mauve Sideshow - Stray Apparitions

春分けて腑分けの白朮

イタリアのはデザイン賞

フランドルのは壁から作るからチェンバーの発祥

フランスのはゴスみやび

「シャコンヌへ長調」

ジャック・デュフリール作曲

(二段チェンバロ) エリーザベト・ジョワイエ

「幻想曲ハ短調 BWV 九〇六」

バッハ作曲

(チェンバロ) グスタフ・レオンハルト

ドイツのチェンバロはドイツ料理の味がするかというところではなく、つまりジャガイモや豚のアイスパイではなく、イタリアンフレンチ混合料理のそれなのであった。

天に行く人は重ね着をしている

俳句 無機有季

夏樹静子の最高傑作は「腰痛放浪記」だと思います。平成のリアルな私小説です。他の推理小説群は生計のための手工芸、ファインアートのようなものと割りきって書かれていると思います。本当はわれわれは直木賞的なものとは無縁の深淵で生きてきたのではないですか。

誰かが藤の殻をテーブルに挿して帰った

北島町図書館に行った方がいいが髪を切れともらっていた金をガソリン代に使ってしまつて絶望の淵

CD注文してくれるのは有りがたいんだけど郵送費がないんだ

障害者夜明けのコン

ピニ袋下げ執拗な手

の動きの反復

今年の春分は満月に

近く人間という種の

ために死ぬ

スコットロスのリズムのマジックとは手癖ではなく楽器＝器械に身体を合わせることだ。それは全ての手の仕事に言えることだ。例えば手ではなく土に合わせる、とか。

LAWSONのトイレの消音押ししかば溺死のごとき声の混ざり

触っていないのに自分で鳴り出した琴のように、土は自ら形を成したように、見えない手で。

折角晴れてたのにまた空に酢酸撒かれた

マクラウドとアンは無事

フランドルの原発テロでルネサンスが終わりこの星は中世に戻る。

きらめきではなくあきらめが主題となるだろう。

ブリュッセル三句

荒れ野には山独活^{ギョウジャ}の花腐乱^{doll}

ベルギーはビールの中にも苦艾^{ヒヨギ}。

チエンバーもまた窓失くしはいろかな

荒れ野には山独活^{ギョウジャ}の花腐乱^{doll} ネットサンスは漸く終わり

「ガリヤルダス第一番」カバニーリエス作曲

(チエンバロ) 西山まりえ

西山さん才能ある。触れてる。最初声が緊張きみだっただんだんはしゃいでのだめぼくなってきた。

たぶん、バロック時代のB♭ファンばいと思っていたがブルーノート入れたりしてテロっとしてきた。日常に裂け目来た。ただ裂け目を入れると普通になっちゃうんだよな。

滑った手を定着させてしまったフレスコバルデイのバスサカリアー〇〇はジャズだね

西山さん最後の即興フォリアは掃除のおばさんが箒でZUKの床掃いてるみたい

量子論的に未来が定められた失敗陶芸展は四月一六日から音風で絶賛開催し終わりました。

ヴィオラ・ダ・足大阪

岩波の「図書」連載の斎藤美奈子「文庫解説を読む」が面白い。今月は渡辺淳一の文壇的政治力について。
表現活動しているように見えてもそれは実は実政治力による社交でしかない

かまぼこ板叩いてるみたいなショパンの時代のピアノ
骨骨と兀兀と叩く

その男の背中は

脳死の牛

自分のものだと思っていた

四拍子にミレドとか最悪

メイヨならどうしたかな

花の回りを飛んだかな

ファ#ミドミド

ファ#ソラ

花の回りを飛んだかな

メイヨは必死だったんだ

今も必死だけど

本番直前までフレーズの練習してた

酒は飲んでたけどね

再現オファーとかやだったろうね

自分を取り戻す振り

花の回りに墜ちたかな

おまえだれ

DDAD

かわいそうなやつ

BFFEBED

(ほらミレが出てきた)

これでドで終われるわけさ)

C

マツクの店長で朝の五時から夜中の一時まで働く女が居た。ふぁ♯みれみれしれれファ♯ミファソラシシシシシファ♯ミシレソソソファ♯ファ♯ファ♯レシシ

(最後のミがいいね)

Em

誕生日は存在しない。他者から知らされた自分の誕生日を確認するすべはなく、それはいつもく誰かのゝ誕生日として他者によって語られるのみである。きみは誕生さえていない。(親が嘘をついているかもしれないじゃないか！)きみはほんとうは永遠に三二歳だ。

ピリカ、ピリカ

Equivalentという高知のギャラリーに今日は行ってきます

Hello New YorkはMOREに卸しました。二八〇〇円外税にしろと言われてそうしましたが自分には買えない値段です。参加者にはライブのとき持っていくます。今個別に送るほど郵送費がないのです。

Collage + courage は似てるね

Holiday

らじるは予約されてをらず宝生流がながれてをりぬ

宝生は畑にながれて朝靄の鳥がとりの鳴き真似をす

I need help いっしょにへやをかたづけてくれるひとがひとつですへやはぼくのかたづかないうみがめがさんらんしてごみやしきてす

高知のなえさんはルノーのむかしののっついていなかのアリスだった。料理をするというので別府のそのちゃんを思い出した

あきこさんの個展はゴミに出ていた古い紙時代のファイルを切ってコラージュするといふもので、汚さと記憶をひきずった素材がよかった。ワークシヨップはオノマトペを記号化して切り取り再配置するといふもので、マリーシェーファーのサウンドスケープと似ていた。

抽象化のためのフィルターを設けるというのが創作の鍵だ。

彼女は「アニキに訊け」とかいふブログもやっているので興味あれば見てください。

街もラフなコラージュで陽射しが強く桜もすでに咲いて女がみなはちきん

ハローニューヨーク MOREが買い取ってくれたので電話代とか払えた

でも松山の人は買うなら委託したベジレカでお願い

そしたら家賃払うのも夢ではない

野蒜と猪のカレーを作った

明日は溝之辺騒動の録音

三味線の人頼んだ

エリヤの例

ひとつのことがうまくいっても続くことがうまくいかないので落胆させられることを予期すべき

G EGG/F EGG/G EbGG/A

団栗というかニット帽あの日から減ってゆく特別な下弦

特別な下弦に衰弱してゆく

満月に死んで日が経つ下弦かな

痩せる月行き止まる露地引き返し

ようやく抜け出て柿畑を過ぎ

復活に痩せる月太る柿の芽

「組曲イ短調から前奏曲」フローベルガー氏を模倣して「サラバンド」ルイ・クープラン

（クラヴサン）バンジャマン・アラール

「組曲ト長調から前奏曲」／ ♩ パヴァーヌあるいはラケ氏のトンボー／クラント／ジグ／サラバンド」ドニ・

ゴーティエ作曲

（リュート）アントニー・バイルズ

フローベルガー氏を模倣したルイクープラン氏を模倣したチャイコフスキー

音楽史から外れることが不変であるかのような沖縄フレンチ

アートブックカフェでゲンズブールかかっているみたいなクレームドラクレーム

フランスがロック史に引っかけからないのは音楽史をエスプリで逸脱するからだろう。

恐ろしい誘惑だ

古楽終わるといつものいぬえつつけえ

Il est sorti telle une fleur, et il est coupé

il fuit comme l'ombre et ne continue pas à exister

こんどモアから出るのは「アイアイゴムテイラ」「ほおづきおとこ」「溝之辺騒動」のカップリングです
メディアはまだ決まっています。ソノシートはチェコが安いといいます。

俺の上層にはいつも赤い月

リュートっていいなあ

いいよね倉本君

いいよなあ

なんていいのかなあ

つねにモダンだからだろうなあ

弦で感じるなあ

買うと高いんだろうなあ

なんびやくまんもするかなあ

リユートって法師と検校が合体したみたいな音色だなあ

掻き筆られつつ自ら鳴り出す無音というか

音色なんてどうでもいいと思っていた。いまもそう思っている。

貧困層の音色

どこかに取ってあると思っていたが遠い夜が一冊もない。興文堂のは万引きされていて中身のCDが無い状態だった。蟲文庫に二〇冊送ったはずだから買いに行こうかと迷っている。あとオルグの三枚組も無くて何年も聴いてない。みな金に困って売ってしまったのだ。人生のアーカイブ化どころの話ではない。人生はアーカイブして終わるのではない。被爆して自殺するか被爆して他殺されるかのどちらかでしかない。こちらの都合など関係ないのだ。

楽園の先取りは許されない。一片の希望も持っていないはならない。それらはすべてまやかしだからだ。パンクは希望を持たない。持てないのではなく、持たないのだ。

G A E E G A E E G A E C A C E

BDJAm

ザハ・ハデイド暗殺で始まる夏は

いくつか未整理のまま見切り発車

バディントンの一周年記念

五月二三日

興文堂

出演 マヘル

BDJAm01/04/2016

その人は天に行くと思われていた
隙間はその人の肩で拡がったり狭まったりしていた
ほんの百年とちよっとで
遠さは近さになり
広さは狭さになった

BDJAm01/04/2016

項の絵付

今日です二〇一六・四・二墓川雪夫のロック史シアタースワン跡地

包囲網狭まりすぎて絞り出たdough夏の葱坊主

死にたい

悪霊たちが国ごとに組織されていることから分かるのは国同士の離反や談合がすべて芝居であること。善玉役もちゃんという。陰謀論やスターウォーズの世界に限りなく近い。エンターテインメントも同様にその支配下にある。

はなびらの土に貼り付く今年かな

冒頭、一瞬深沢七郎の栖山節考が流れる。べちゃつとした声だ。今のところネットで聞けるのはこれだけ。
嫌な世の中だ。

未来から夢のデフラグ揺らぐ過去
手術前ゆめのデフラグゆらすいま

深沢さんの、フレットを押さえきれない雑音を、三上寛が草を引っかく音、と擁護している。
隣室にくぐもる娘らの声の流れてをりぬ祈るごとくに

僕の持っている栖山節考の楽譜は吉増さんに貰ったものである。藤井さんと三人でやることになった日の朝、彼はその曲を叩き台として僕にやらせることを思い付いたのだったが、僕は当然のようにやらなかった

た。代わりに僕はバグパイプを鳴らし続けた。彼は女のようにのたうち回った。女だな、と思った。

ギターの五線譜には「フラメンコ風に」と但し書きがあるが、「どこか」という感じである。友川のいかにもな語尾のやつも聴き、流石にギターはきれいだったが、顔だけで歌っているの僕はこの男をまだ信用していない。

僕が畏れの念を抱くのは三上と今井の兄貴だけである。以前六本木で金子とやったとき二人が対バンで、心底歳の重さを感じた。外人から見た日本とも、油面周辺とも違う、ああいうものは歴史にもう二度と現れないだろう。

ニューウェーブ以降の世代は胃弱していて、何をどうあがいてもすべて屑だ。

八〇年代以降のバンドは、すべてその名前を「ユニットパス」に変えるべきだ。

女に関する日本の悪霊の趣味は大体分かってきた

さぞかし児を産ませたかったことだろう

出来れば六人

あわよくば一二人

檀蜜自民党の朝のリコーダーの素っぴん

ズボン裂けはなびら地面に貼り付きぬ

イタリアのフォンタナのソナタが流れている。ウィリアム・ドンゴワのホルネットって恭子さんに似てる。

東京マヘルやります

五月二十四日ひかりのうま

〈宣文伝〉

東京バナナって愛媛で作ってるらしい。東京土産にエヒメのもの買って帰ってどうする、そうならないように注意して聴こう

東京バナナを買って帰ったらどうなる

東京バナナを買って帰ったらどうなる

東京バナナを買って帰ったらどうなる

東京バナナを買って帰ったらどうなる

東京バナナを買って帰ったらどうなる
東京バナナを買って帰ったらどうなる
東京バナナを買って帰ったらどうなる
たいへんなことが起きる

死んだバナナ

さらば青春、おお我が東京！

と書いて山口に帰った中原の、これは続編をやるということか

ハロー東京、死んだバナナ

これも山羊の歌の一種か

事前ブロックされてスタートするか

赤子は放射能の夢を観るか

明星チャルメラは昭和の古楽だったか

うそはつらいぜにまらない、って歌作ったことある

ゴールデン街ナグネに冷酒用カップの個

まきのにケーキ皿

音風用にモランディ風の瓶

中庭用にうずまき抜けタンパンの薄手の鉢

八寸皿白×一〇

柿釉壺

etc

▼mslh news>ポートランドは六月四日か五日になりました。

参加希望のかたはお知らせください。

Bulerial2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

Alegrias1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2

Vidalia アルゼンチンのパンパの民謡のフラメンコ化したもの

着信はMarie Maryにしているけどマリからかかってきたことはない✳ガラ刑

「ポピュラー・ミュージック」ラビノヴィチ作曲

（ピアノ）マルタ・アルゲリッチ

（ピアノ）アレクサンドル・ラビノヴィチ

ー雑滅の噂の中、カエルが鳴き出しましたね。池で孵化したんでしょうか。ブラックバス放流すやつがいたり、鷺が食べたり、では鷺にインタビュしてみましよう。鷺さん、オタマジャクシも食べますか（鷺はい、私たちは首が長いもので、味わうというより喉ごしなんですよね。その点、

ーではうどんとかどうでしょうか

（鷺）はい

曲名が「世界の葬送」に聴こえ

春の嵐に捲れ上がる時間

曲名が「世界の葬送」に聴こえ春の嵐に捲れ上がるか

散る花に雄の茶トラが嵐を歩くか

降りだして三〇分は経ったからきれいになった雨水を飲む

その日その日を生きていることが大事

近所にカルペデイエム（一日を摘め）というイタリアンが出来ている

金があれば行く

フッサール↓実存↓構造主義的不決定↓(リゾーム)↓各地層の活性化↓二心↓現状半容認↑再稼動

わがみよにふるながめせしに

柿若葉

雨水で割るスピリッツ

次の日のことを決断して思い煩ってはなりません。次の日には次の日の思い煩いがあるのです。一日の悪いことはその日だけで十分です。

今朝生まれたので今夜死にます。

草刈りをしました。

モランデイの絵のような瓶を作りました。

喫茶店で親に棄てられた人の長い長い話を聴きました。

柿の若葉の天婦羅を食べました。

死は眠りに似ている、とシェークスピアも言っています。

では死にます。あとのことは知りません。

ティムバートンのビッグフィッシュをしばしば想い出す。目が覚めると現実という夢に引き戻される。

現実という夢だけで生きているトゥウイラーが多すぎる気がする。もっと想像界に郷愁を持て。画像加工はそこでやれ。

と映画に言われている気がする。

画像加工は現実が夢であることを訴えるものでなければならぬ。

つまり夢の中に真の現実を持っている人のみがそれをすべきだということ。

現実を手放してもいいが、夢の現実の芯を手放してはいけない。

デトロイトでマヘルに交ざったノイズキャンプのDaveが、四月二日から一七日まで出張で豊田市に来ているそうです。

名古屋周辺のノイジャンとかで遊んであげられる人はいますか

夜を彼らは昼の代わりに置いており、

「光は闇のゆえに近い」と言う。

ロンリーな論理逆転

愚脳死す

have a look at job 一七:一二

坪内展に40「シャツを搬入パフォーマンス

いま舞ちゃんがホテルサンガーデンの前を自転車で通った

北京町の空き地にセブンが出来て駐車場裏通りと繋がり、ホテルナナが剥き出しになった。

路を煮るいろんな人がいろんな場所で

ワニサイで近日中に溝之辺騒動を演るのがイメージできる当座の夢

三越前でエナジードリンクを配っていた。しかも五〇〇ml

変

呼び込みのプロ

ミヨンファは風呂

省線は白

白い電車が走ってるんだぜ

ペパーミントガムみたいだね

もう売ってないけど

痰壺作ってやんなきゃ

あと骨壺

李朝ロツテ李朝ロツテ

あ、

しょうこつて全然ネットやんないんのな

タブレットは持つてるのに

メール見るのは一週間遅れだし

立ちふさがるなよ

昨日聞いた話以上に生な話は知らないが、今日の南高の子らも立派だった。僕は貰った茶のカーデイガンで階段を降りて、久万のリング灰の時でいいからと五〇〇円玉を紅茶で洗い、かといって駐車場代ばられたので

りえなんか学校違うのにリスみたいな目してまだ見張ってるし

茶色だ。

酸化した。

黄金

却って銀器をよろこぶか。

ニバンチヨ一

にばんちょう

そんなにドイツ語しゃべんなよ

人に見られたくなくてこそそこそ歩く

週末は気を付けろよ

標準語で下手に出る快樂

メイキンベッド

戸の隙間

虫のように忍び込む超三日月

でたでたでたでたでた月がから

一度も問題にしたことなんかない

一度も問題にしたことなんかない

5757+雨の水割り

パブリック白のジャンパーに

穏やかな低い声が

近づく

ダブリン再訪

包囲網狭まり足拭きにブルータスお前もかの絵柄

水面下で上っ面を見る

Sprechen Sie nicht Deutsch

考えは感情を生み出し、感情は行動を生み出す。その逆であってはならない

中国の子らにお会いできて嬉しいですよ、というところを、私をあげてうれしいですよ、と言ってしまった
違うな私はあなたに差し上げて大変うれしいですよ

だったどうでもいいけど

はぐれた狼が泣いてるトリビア消されてる

電動ノコギリでドラム缶切るもんだから煙で臭くてみんな逃げたよねあのときの片割れファウスト。そこからナースイズウウンドの人らと国境を越えてフランスに南下していった。ぼくらはその後ボルドーの森で水道電気なしでしばらく暮らした。

みよんじゃを送ってはま寿司行って三二〇円払い道後で別れて所持金ゼロとなって土手を歩いている

右も左も池で水位が違う

いそがいさんは一日七時間ギターを練習する

おれはさわったこともない

アーノクールのモンテヴェルディで想い出したのが白川静、ニコ、連赤、ラ・デュッセルドルフ

<http://eccecalif.jp/ac>

古谷実先生のシガテラが現代漫画の最高峰だと市川マサ先生がイブニングの祝辞で述べておられる。自らの似顔絵まで描いておられる。

バカビリーバー終わって漫然と元ヤンしか読んでなかった自分が恥ずかしい。市川先生はちゃんと漫画界の明日も考えておられたのだ。

ポーランドの鳥の研究者と、スウィフトが地面から飛び立てない話をしていて、ブリュッセルのマクラウドの *les nartines* を思い出し、取り出して聴き、気休めになればと思いマクラウドにそのことをメールする。FB 真っ白にして、さぞかし辛いんだろうなと思う。

いのち

いのち食べに行こうか

なんでみんな同じ声なんだ

べつにいいけど

風をたべる

よあけの一そらわ一ぶ一ど一いろ一ー

シガテラ最終話を子温君は描けるだろうか

転換すりゃいいってもんじゃない

ドロツとしたものが残っちゃいけない

Before the sunriseのリチャード・リンクレイター監督なら撮れる気がする

オーボエとファゴットは純愛の時代の始まりってどっちも二枚舌じゃんねー磯山先生

重信川上流の採石場の排土は一一五〇度で脹らみはじめ、チタンを加えると酸化一二〇〇度で黄色、還元だと黒くなる。還元の方が発泡しやすい。黒薬型の黄色を考える。

とりあえず水曜だからダーリンのミキコはいない、と

あとは田さんだな

げっみきこ営業してたんじゃんマジか

となりのナグネいま焼いてる冷酒用カップ発送どころじゃなくなったな

劇団員のお七がやったとデマが飛び

Email二人同時にダーリンハニー

はなしことばで

つぶやくひとは

だれにむかって

話しているのか

ベケットの「事の次第」が五月に白水社から出る

音になってゆく文字

それにしても音楽の力、とはなんというタイトルだろう。ヘンデルモーツァルトにしか出来ない

天才のモーツァルトの交響曲はデイズ二一の冒頭の森のシーンに使うといいね

音楽の力の残響に過ぎない所謂クラシック

下流にあてがわれる

下流老人にあてがわれる

年金生活者以下に音楽の力を届けたいです磯山先生

大方の曲はつまらないんじゃないやなくて演奏が失敗しているだけなんだ、と気付いた。なまじ間違わずに弾くか

ら騙されるだけであって。

カラオケ老人だって知っていることが音楽に伝わらなくなったのが近代
インスピレーションじたいは変わらずあるが、それが社会に広がっていかなくなったということ。それまで
はそういう意味での「社会」がなかったから広がりの問題は捨象できた。貴族と作家の関係はある意味現代
の狭いサークルに似ている。汎ジャンルを謳うことのつまらなさはそこから来ている。

愛子器時代が貴族的だったのは個人のために作ると決めていたから

物販用CDR作りました。

二〇〇八年の、デイレイマシーンを使った"look away from me", 新井葉師(special colors)を使った異様にB7zばこ
ピアノソロ、今は無き小岩sam sevenの"ねえきみ"とか歌ってるやつ、下北basement barのBDJ

これは西村が歌ってるばい、あとはjamの"鹿島海の荒野"など限定一部か二部、愛かマリの手書きジャケ、
値段は絵の価値による。

触れているものがあり

生まれ落ちたものがあり

小さいどよめきがあり

白は銀に黄は金に変わり

肉は部位によって固さを分かれたれ

携帯は振動し

遠近法は遠近を作り上げ

道の広さと狭さを取り違えた人も

レジ前の列の最後尾に並び

眼鏡と裸眼が見つめ合い

空調はドライを選択し

艦内は空気に満たされる

滑る光の井戸に届かず

悲しいと眠くなるんだね

九州のかっぱさんから

地震はだいじょうぶでしたか！かっぱ、

というメールが来た

それは逆だろう、と思った。

竹永君も無事

二本のリコーダーはアルカディア：

ミュゼット上のクラロン・マクファーデン可愛い惚れた

そのだのじっかの、細川公から貰ったという自慢の松の庭とかどうなったんだい

八重咲きて藤を待つ間の日和かな

八重咲きて藤を待つ間の日取りあり

八重咲きて藤を待つ間のひとりかな

死にたshit

金がないと死にたいとは思うけどまず空腹が耐えられない

金は足りなくても動けなくなるだけが空腹だと身近な人でも殺して煮て食べるだろう

今は大抵の草や葉は食べられるからいい季節だ

健全な空腹感というのではないのだ。大阪までのガソリン代を使い込むので種芋に手を出す感じである。二

割引の、具が胡瓜だけの巻き寿司を八五円で買った。それが夕飯である。

朝六時半からやってる喫茶店があれば独り言を言う男が毎日来るだろう。

BDJbm18/04/16

F#..AC#・E・

骨盤をスコップで抉って心臓草を抜いて良い昨日を

ブランヴィル、混合旋法による交響曲、

旋法は混合されてないと思う

日々我ひび割れ

ダンス！ダンス！断酒が旬だ済んだ済んだ

東温市川内支所前パン粉鳥

関根先生二年前ルーアンの大聖堂は工事中で見れなかったとそれは残念そうに仰っていて心中お察しいたしました。

吉野家炊き出しなんて偉いじゃないか

何年も行っていないけど一度くらい食べて応援してあげようか

Mia Zapata(-1993) on The Gits ~Seafish Louisville ~

The Gits - Seafish Louisville

Evil Stig - Spear And Magic Helmet (Portland OR 1995)

Mia Zapata Sentencing Murder Trial Video

Le Tigre - Feminist Sweepstakes - My Art

Peaches - Gaybar

Peaches & Iggy Pop -- Kick It

Respect - Unknown Artist (Free to Fight 7" #1)

Third Sex 1998 "Definition" Portland Live Concert

Team Dresch - Musical Fanzine

Good Sista/Bad Sista - No, You Don't Know Me

Def Poetry - Yellow Rage - Listen Asshole

Cunt With. Attitude - Chickenhawk QUEERCORE EXPLOSION #27

urban permaculture @ the planet repair institute 2012

Radical Action Day in Portland, OR

つばさへポートランド全開で行くからみんなよろしく

G EbG EbG EbGAbEbD

G

BDJCm19/04/16

やる場所はYale Unionへ、布のアーティストのSUSAN CIANCIOLOの展示と一緒にす

Susan often works in a very organic way, often embracing errors and irregularities. She also picks up new friends and collaborators

in unlikely places and situations and believes her work never to be fixed or finished.

With her, everything is always changing or being remade.

だぞうす

それで土産は祖母の帯とかがいかなと思っています

彼女は原宿のvacantで展示したことがある

vacant前やったことあるよ大木さんと

五所さんのあれでしょ

パルコでもやってる

イケイケじゃんねー

これとか

およウ服がいっぱいだ

チャンチオ口っていうんだ

変ななまえ

チャンチオ口は大体判った。そんなにオーガニックってわけでもない。ニューヨークだからね。

あと、hello new yorkのcdが届きました。欲しい人は送るの？言ってください。二〇〇〇円です。LPよりずいぶん多く、違うテイクが入っていてお得です。うさこ@marsabitとか買わないですか。買わないですか。

店では市駅裏のベグレカでしか売ってないよ レコンキスタにもタコシエにも模索舎にもpatにもユニオンにも秋葉君とにも蟲文庫にもゆすらごにも気流舎にも裏窓にもユ一ゲにもクリス君とにも鬼頭君とにも冴子のとにも本田君とにも置いてないよ 誰も何も営業してないよ

もちろん円盤にもRAにもホルンにも置いてないよ 朝君とにもメンバーにもタイラー君のとにもまだ送ってないよ ドミノになんか知らせてないよ これは高校の同級生で気が狂った窪田君の思い出にまつわるともブライベートなアルバムで、カブの暴走族温泉郡シルバーヘッドに捧げられている。

@marsabit お、じゃあさっそく住所をDMしようね

言っとくけど、レコ発なんてやらないからね。こういうのは、闇から闇に葬り去りたいんだ。バンドの人たちには五月二四日にひかりのうまでやるからそのとき渡す。どうしても聞きたければ先に送るけど。

あ、その前に大阪に行くからくらくらもと君が買ってくれるかも

くらくらもと君なら古楽のCDと交換でもいいですパンジェリンガとか

あ、興文堂が先か。二三日。東京マヘル来るかなあ

こんな営業の仕方でもいいですか。誰か教えてください。

そうか、インスタライブだ！心斎橋でベンベンズがやってるのを見たことがある。あと南口のユニオンで空間現代とか愛のために死すとも見た。ああいうのかっこいい。どうやったらああいうのできるんですか。やはりつてですか。伝ふってこう書くんだ。ほー。名刺もらっても捨てちゃうからなー

言ってることが矛盾してるじゃないですか

いいんだよおれ多重人格だから

そんなこと言っちゃっていいんですか

いいわけないだろー

引き裂かれてるのがウリなんだから

もうやめて家に帰ったらどうですか

はい、そうします

要するに、まあ、CDが届いて嬉しい、と、まあ、そういうことなわけだ。

さよなら

@mugibayashig 毎度おおきに

同じNYのレーベルから「演歌ブルース」というカセットも出るので届いたら紹介しますからそれも是非聴いてみてください。

@marstrabit ぽこ

@mugibayashig まっとうなCDはなく、Rばかりで、それも今は手元にないです。とりあえずはろーにゆー

よーく

@mugibayashig だけ送ります。

@mugibayashig 三百円ていいんじゃないですか

@masrabi わたしは貝にナタリー

景色が多すぎる絵付けと同様塗り重ねる施釉も多重人格

ルオ一みたいに削ぎながら重ねてもジャコメッテイみたいにその日のうちに捨てるのでなければ恥の上塗りとしては同じこと

祖父は塗り重ねる人だった

立体的な油絵だった

一番上の層は埃だった

サロンドートンヌのアンデバンダンから上塗りして母を産みばくは埃だった

モンドリアンは上塗りし

ない

天一の「味がさね」は

あじの上塗り

上塗りして既読デトックスするー

上塗り足りぬwow #回文

根来かな漆工芸は何の上塗り

ポートランドのフライトが決まりました。成田から三日の午後5時台のアメリカンエアラインの直行便で、復路は六日の午後二時台です。

大谷はきつと直行便じゃなくて最安狙いだから行きたい人は彼に訊くのも好いと思います。

シャルパンティエのアンドロメードであんどろいどみたいね

ちなみに安堵という銘の入ったワインがあつておいしい

産んでくれてありがとうと生まれてくれてありがとうとどっちが言いにくい？

岩にアイコンが貼り付いている。褐色だ。

いけえみさん大病

路はそろそろ食べてはいけない。ママシが毒を出すために茎を嘔むのだ。

路は嘔むのに都合がいいらしい。墓川はママシになつてもて余した毒を茎の中に流し込む。

鷺「オレだよオレ」

ねえ人の病氣つて眩いちゃだめなの？ ぼく分かんないんだよ子どもだから

非常食のカップ麺食べてしまったそれも辛くして死にたい

経営するホテルを急遽シエルターと言い換えてしまったような化粧のポスターの前でやっぱ共産党にするわ

「これはほかのみさきじゃなくてたのみさきと読むんだよ」

CD発送しました

これで売れたのは三枚となり

売れないけど置いてある店は二軒、ベグレカと興文堂です

いけえみさんから電話あり出たつて聞いたけど、というので直接ザツクさんに注文するように言いました

誰から聞いたのか西川君かな余計なことを

これで東京に広まってしまう

東京は福島を差別してきた。でも西からみれば福島も東京も変わらない。だから東京を差別してやるつもりだった。でも西も危なくなつたので、西も差別することにした。それで売るところがなくなったわけさ。

でも当面の敵は東京だな

理由は

・赤字を背負わせた

・包囲網を狭めてきた

松山への愛憎で食つた州之内さんとはえらい違いだ

松山は関係ない

元々余所者だからね

よく、住めないようにしてやる、と百姓に言われて育つた。フルサトなんてない。

盆踊りとか出来ない。

CD落ちた

東京死ね

鮎川の、ぼくはもう行かないどこにも、というのは結局どこでも行くということ

地上にはぼくを滅ぼすものがなくなった、というのは東京も松山も関係なく

なった、ということかな

じゃあなにが変わったのと言われると何も変わってないね

なんか、諦め死ぬことしか考えられないね

プリンスで同じ年

東京は、ぼくの町です

タンゲくんはわたしのねこだよね？

ぼんおどりだけはいや

反原発でも盆踊りコミュニティや

がんばれどこにもない県

見えない都市を見るように確固としていたのです

藤咲いて敵に塩売る行商人

門の外ではCD売るか

五月二四日ひかりのうまで、CDが売れないため旅費が出ず東京を逆恨みし、原爆で東京を皆殺しにしようとした墓川雪夫容疑者(五七)がタイホされました。調べに対して、「どうせヒバクしてんだから一緒だろ？おれが殺してやんよ、ヒヒーン」など反省の色が見られないため、非難の声が上がっています。

ひかりのうまヘルのCDを売りたいからと客に売らない墓川に対して「売らないのに売れないと言って東京を火の海にするのはおかしい」と正論を吐く客都内在住」と乱闘になり、所持していた原爆をチャッカさせようとしたようだが、発想が頗る幼稚で、同じバンドマンとして情けない。

ライブそのものは「東京チンドン 東京ピカドン」など愚にもつかないライムを撒き散らし食えたものではなかったという

徹夜明けて眠いけどどうしても藤と八重の公園に行かなくちゃなんで

風邪で目も霞んできたけど

運転危な

えいろくすけがうちに来て地金の話をした。商売するにしろ何にせよ人には元手が必要、とうことだ。氣づいてみると回りには地金のなかった友達しか残ってない。「やきめん」という、こじやれた看板を出して道端で営業している赤い自動車の前を通るときそう思った。買いたかったけど地金に氣後れた。

藤は赤と青があるんだけど赤がまだで、しかも八重がだいぶ散ってる。氣候変動かな。去年もそうやって氣を揉んだ。

藤と八重共に咲かない公園でクマンバチは途方に暮れる

こんな時は春光亭のしょうがだ！と思つて来たらこんな貼り紙が！彼の逃亡は二度目だ。それにしても「僕に会いに」はないだらアイドルか！ただラーメンに来てたんであつて。そうか彼は自分を食べさせていたんだ。食材と自分の境界がなくなっていたんだ

というわけで赤白のハナミズキ通りをあてもなく走っているとイタチに会いました。

イタチさん、なぜあなたの毛は枯葉剤撒いた土手みたいに赤っぽいの？

そ、それは、こ、抗議するためだよ

ほら、三上寛が若山富三郎を通して勝新太郎に行こうとするだろ、それと同じでおれはタ、タヌキでありたかつたんだよ

そ、それがベ平連と何の関係があるの

だ、だからおれは夢ではば、爆弾卷いた子役時代の館ひろしが市場で怪しまれずにウロウロしてるつもりになつたタヌキなんだよ

というところで水田商店に来た

ここは白と黒しかない

白をたのんだ

で、実際のタヌキはいまどうなんだよ、と僕は隣のイタチに訊いた。

あ、いまおしり見せて走って元カレってコンセプトでアイドルやつてるらしいっすよ、せいぜい斜めつて横切るくらいしかオレら出来ないから、真似できないっす

無理に真っ直ぐライトの先を行くとうなるの？

まーず死んじゃいますね

目瞑って10歩、それで限度ってどこですかね

ここまゝMC

〈目を瞑って歩く夜道は〉

クマモンが拍手して終わり

No.11 ベース持っていくこと

ジンビームとからつば飲みするから青い瓦がきらきらするんですよ

なんて太陽光にしないんですか

他の瓦はあんなにしっとり落ち着いているのに

さあ、死ぬ時期だ。

ひかりのうまヘル

ヒビーン

びたびた

おーしいいこだ

5月24日大久保大草原の小さな家

風邪がひどくなるばかり

プリンスみたいにもう死にたい

Death Savings Flag の

Liquid Pentacles

がチェコのプレス屋からの便に一枚紛れていた。彼らがZマヘルのバックバンド？なのだが、彼らだけでの演奏は全くmarsである。ビートを刻むところは昔のテレーズっぽくもある。

プリンスは走路を走りきりエノケ的に「取られた」のだと思いたいが

と思って流していたらどんどん変わっていった。ブルックリンのレコード棚を見ているような弱さ。と書いていたら携帯に毛虫が

美の追求を忘れた哲学は紛い物だと京大の教授が教えていた
弱さとはそういうことなのだろう

最後の曲で元のワールドに戻った。この構成はリアルですばらしい。等身大とバブリックの問題をそう
やって止揚している。

五月六日に松山三番町のBar CAEZARへマヘルやります。参加ご希望の方はお知らせください
対バンはゆえにてかい方じゃない吉田さんらの巨人

BDJAm変型23/04/16

B AEAC ACEB AEAC

DmDmAmAm

DmDmAmAm

DmAmAm

八重藤と去り行く野なら忘れ霜さなるさむき山に登らむ

B GEGAbG EDGE

BDJEm23/04/16

posted at 19:02:45

やっと熱が風邪を引けない首から下に

殺していく殺していく

リンパの地下道

ヒツこいわねえ

来島海峡を渡るとレーモンド松屋を思い出す。紅白で五木ひろしもレーモンド松屋も笑っていた。泣き笑
い。互いに、花を持たせたのだろう。

うちのうらの川にはウナギが上ってきていた。酒粕を入れた魚籠で簡単に獲れた。奇跡のようなことだった

が、百姓たちが護岸工事と農薬で潰した。

オリンピックの飛行機の件ですが、よく見たら直行便ではなくてL.Aで乗り継ぎでした。同じアメリカンエアラインですが。

Bo'zyszcze NASTOLATSK

ポーランドの夜稲派で、鳥の研究者のメンバーが送ってきた

特筆すべきはリミッターがまるでかかってないことで、静かな曲でも窓ガラスが震えたりする

ポーランドの即興はその構築的な案曲に徴があるが、これもご多分に漏れない。

田尾君が極寒の収容所で水ぶっかけられて夜中立たされているようなやさしさにあふれている。あたたかい氷。

藤に変わり山の遠さ

ポーランドはバスーンが来れないのが確定して寂しい。Hello NYの通奏低音がいかによらしかったか、聴いた人には分かるだろう。

農繁期でベースが来れなくなったのもそれに劣らず淋しい。屈折のない安定感はこれで失われた。トマトは色艶良く異常に美味しかったのでヒノヒカリも頑張ってください。

二〇〇三年、ポーランドのシヨーの前にエチオピア料理店に行った。一日一回、ライブの前に食事するのがツアーバンドの常だった。木の塊から削り出した異様に重たい椅子がシェバの暗いクールを醸し出していた。車で聴いたエチオピア演歌にはまっていたところだったので出来た曲をエチオピアと名付けた。

グレッグという人の家に泊まった。スモールバンドだ、と彼は卑下した。その哀愁がいつまでも残った。寒がっていると着ていたフードつきの紺色のジャケットを脱いで呉れた。着ていこうかなと思っている。

アメリカは、アーヴィングの小説のように寂しいところだ。彼の手にかかるとスペインにさえ西部の風が吹く。その機微を最も分かっていたのはサムシェパード経由のCANだったというのは皮肉なことだ。要するに、ロック史とはノスタルジーに向き合う境界の方法なのだ。

ゴダールが言うようにアメリカは存在しない。あるのは先住民の大地と風だけだ。デイランの歌はそのメンタリティーに触れたのだろう。

和服のトランペット嬢とユリシーズの半チャーハンが来ないのも淋しい。去年の秋に京都でやったような古楽様式の合奏はこれで不可能になった。

マグの口づけ、

アナウンサーとかキャスターはウイंकしたらいんじゃないですか？メタの効用。音楽には効かないけど。ウイंक禁止罪まだないでしょ

真鍋君の五〇号の風景は細かすぎて逆に人面やpusまで見えてしまう。

メタのメタがリアルなら、リアルのリアルはメタになる、というような、デジタルが苦手な男の具象だった。よれよれの線で「いつも笑顔で」とか書いている人の書が、さびしくてよかった。線で意味を帳消しにしている。これはメタ。新居浜のさぼうるにて

今日も音風ちえさんたいへんでしようけどがんばってください

うちを建てた人が周りに植えた植物はいちいち理由がある。大体が薬効で解決するが、腐ったインスタントラーメンみたいな臭いのする花の咲くヒメサカキが角に植えられているのは、あれはたぶん公との結界を作るためだった。などと、堀江さんのオチのない推理小説のようにあれこれ考えてみるのが楽しい。

定休日だと分かっているのに車を走らせる俺のシナプス

定休日と思っていたらやっていて正しかった俺の無意識

竹枯れた山を過ぎれば幽かなる不安と安堵共にありけり

山々は代車の如くひかりをり

やっと咲いた赤い藤

やっと咲いた赤い藤に八重の安堵の死顔の散乱

今日はビールを飲みたいと墓川は思った。

発狂の夜に居た頃、夜更けに、近くで青い部屋という店をやっていた戸川昌子が来た。「朝日の当たる家」を歌いたいというのでギターで伴奏をつけた。数フレーズが進むと、彼女は暴れ馬を押さえるような手つきで僕の頭に手を置き、無言で「坊や、」と言った。僕は筋を曲げずに、でも少し控えめに弾いた。ぜんぜんいいと思わないけど、こういう人だったんだよ

圧力団体の領土分割がNHKEMの実相である。

邦楽内ならうた沢など諸派からバランス良く組閣する。音楽は、公募団体が美術館を、利用団体が公民館を取り合うようなものとして捉えられている。ジャンルの井戸端が音楽だと思っているのだ。会長の国体維持思想が降りてきて、源を蝕んでいる。

音楽は民主主義的な結構で存在しているのではない。活動している団体をバランス良く配置することが日本の響きの内実ならそれはいま安倍内閣の味がするだけだろう。

渋谷陽一から始まるトップイやさ声の系譜は他のジャンルにも蔓延し、いまや世界が、軍事行動を含めた茶飲み話になっていく。現状肯定と霊性の欠如による浅い地層のみの、認知の靄のなかったメンタリティーで日本は出勤する。ラジオで深淵が覗かれることはなくなった。

BBCも実相は同じだが、優れているのは、いくつもの専門放送局があり(討論専用の局まである)、人が、というかオタクが、世界として一つの局に殉じることが出来るようになっていく点である。殉じる世界があるところにはジャンルの神が降臨する。それは原子力委員会のようなものではないのだ。

あ、だから古楽の楽しみのシフト変更に付いていけなくて戸惑っているだけです。圧力団体としての古楽界などというものを感じさせたら終わりですよ？皆川先生。

国立公民館の利用者の会には、邦楽サークルぽいと思う方がいいかなと思い、「常磐会」という団体名で申し込んでいた。

奥歯ガタ言わせたらかいの代わりに

揺すって制御棒抜けなくしてあげましょうか

RTとかしなごくれ たのむ

ED#GEEDGEA

BDJEm28/04/16

ひかりのうまヘル

ハローニューワーク

大久保青い部屋

派閥いいかげんGIG

五月二三日の次の日

八時前

一八〇〇円外税十の位端数キリステ

二〇一一年から五年生

大助さん^{ニッス}

バッハの「音楽の捧げ物」の五線上の様々な方法はグッドマンでさんさん篠田と試した。

マヘルの字義でもある「音楽の分取り物」というコンセプトは、その頃篠田とマヘルを立ち上げるために話し込んでいたとき閃いた。

五線上の弄りはオヤジギャグの押韻強迫に似ている。バッハは音楽の親父だったのだ！5月の被爆テロ

一二日 白樂 bitches brew

二三日 馬沼 興文堂

二四日 大久保やみのうし

ECACE

BDJAm28/04/16

E E ECACE E ECACE E ECACE

BDJAm変形28/04/16

BDJDm28/04/16-1

D DFAGD D C D

G GEb D EbG GEb D EbG GEb D EbG

BDJFm変形29/04/16

活発に活動しているように見えても実は地金があつて赤字の心配をしなくてもいい種類の音楽がある。そういうのが一番厄介だ。パトロンが居るのはまだいい。

美学的選択は、経済的な要請に等身大であるとき強さを持つ。

今や音楽とはプレカリアートのための貧困ビジネスなのだ。

下層の即興をしてみよう。ラップやブルースではいけない。回収されるからだ。デレクベイリーの下品なワーキングクラスの話し方はいま考えると月々しく、彼こそ真の商人であつた。

ちらしつくってみたよ

だめ？

だめか

お寿司でチラシを作つてはどうか

盲腸でちらし・・・

ライブチラシゲバントハウス管弦楽団

フリヤイヤーだぎゃー

DMJ24/05/16

すごい思いついたけど風紀が乱れるので書かない

「私」は不意に遺産を得たのでポスターを作る旅に出かけるのだったが：

オール・ポスター「光馬菜館」

Advertise! Advertise! Advertise!

AAA

精巢 you say so

ソーセージ清掃

ダイナーはチャイルディッシュ

満天ホーキ星

おとなぎない

ジャンケン邪険天満グー

ゆるぎない客いないハツパない

東温市からデリバリー

古市君リカバリー

チラシを作るつもりがチラシについて書きちらしているだけでいつまでたってもチラシにはたどり着けない。きつとチラシなど作りたくないからなのだろう。

チラシを作ると他と一緒にになってしまう。チラシについて騒ぐことで情報は伝えようとしていなくもない。そう考えると、美術は逆に、チラシをめぐるメタなせめぎあいにも過ぎないようにも思える。誰も本当はアートなどやりたくないのだ。チラシを作りたいだけなのだ。チラシを作りたいだけなのだろうか？ということをめぐって、作りちらしているだけなのだ。

グラフ系のチラシ類がみな見事であるのはサンプリングを恥じない体質にある。だからかっこいいほどかっこわるくなる。

Blasphemy

ブラスフェミニズム

猫も喰わない

おおさかなしいろ屋根

ﾌﾟﾂｯわ何時もをんなをんなぶるるそりわをとこフィルターで淹れた珈琲のやうだ夜雨だからだKARAだ体

王羲之やってるなあ天王寺で

AAABCCAB

BDJdm変形03/05/16

湯之谷温泉

ストロンチウムイオン

ー・ーmg/ーkg

No is E.

呼ばれる時そこにいない

白痴の生身に触れる

分け入っても分け入っても千日前マグロセンター

南マグロは襷になつてをりぬ

センター前ヒット

野球少年らのリーリーと声出しをるは奇異なり

貝の如き生身の親密

食み出した清水ハミ

パミール盆地

ぼんち

書架の背表紙

いにしある

エロマグロナンセンス

南進す

インド洋

土曜ⁱⁿ

ブライアンいのかしら

ブリリアント常滑

床をなめる

きちがい常時

エモかしら線

うちにくる

ねこのあう一で

Doo wop

まだ空気はあるにはあるが

おれはおれの絶滅を考えている

おれは表現者がきらい

情動も興味ない

お笑いだ

「投資的情動」を止めて「プラト一駐車場」にすれば良かったのだ

ああわたしは駐車場

芸は身を減ぼす

パブリックブロックしてもパブブロック

真夏日ね市街戦之カット

一六〇〇年代で活きがいいのは初めだけだ。

いまは二〇〇〇年代だ。関係ないけど。

百年づつたつた四世代

バルバラ・ストロツツイは娼婦のように描かれている。

バルバラは二世紀ヴェネチアの林芙美子だ。

それに引き換えビリー・テイプソンのアウテイングに見られる二十世紀アメリカの男性音楽の部厚さ。

おまえ

な

ラインのトヨタのレトロでそれなとかすでに入ってるのは

マリはなあ、乗るアドレナリンで、力道山怒りましたパチパチパンチ

松屋マヘル松山二番町ド一バミント海峡六日シャブシャブ温野菜気くるう

キー狂ったキー狂ったマリキー狂った

井とマーリー

「牛と土福島、三・一一その後。」真並恭介集英社

返却期日迫る今日中に読み終える。

松山来てたんか！残念。新居浜の enough も期待してるよ。でも僕はすいぶん離れたところにいるな。

baso の楽屋にあつたしるこサンド一袋抜き取ったのはばくです懺悔

なんというか、ロックは器じゃないんだ。器は人だから。道具として使うと人を弄ぐ、言い方になる。自分のものだと思ってしまうっている。それを差別という。

ここまで来たら器のない陶器を作る。

具体、△系ローカルの老人たちがとんでもなくメタな横滑りを何周かして概念的過ぎることと普通の様相に見えてしまう古い画廊の寂寥。

ローカルな世間を相手に形作られてしまうビート。

それらがみなモダンでありすぎたことの結果としての自宅穴掘りパフォーマンスの類。

そうなりたくなければ京都沖縄ラインの波に乗ってろ。

ローカルな恋の上下構造によって都へ至れ。

肉を食うんだ肉を

通学は兜で頭を守れ

男の正座 梶原一騎

歩車分離式塩分摂りすぎ国旗掲揚フラメンコ「新緑」

極楽寺を過ぎ海鮮丸を過ぎもち吉を過ぎ

すでにいか焼き剣吉を過ぎ

あっちゃん！

労働者工場

隣で定食を食べてた奴が唐揚げとか殆ど残したまま出ていったので取って食べようとしていたら下げられたキヌタパン関が唄えば関ララなうた

明日BarCaezarはハルコ父ベース、ケンタロウ三線、レイ子鳴り物、が決まりました。直前まで引き続き参加者募集中です。#マツヤマヘル

ことばに いみがなかった

いみには ことばが なかった

「ねむりのもりのはなし」長田弘

ボイス的な物と物との神秘的な照応の時代は終わった。アイコンは廃れるだろう。というより、アイコン同士、なんの関係も持たなくなるだろう。すべては個人に戻ってゆく。

obsession of "αΥΤΙΤΥΤΟϚ-τύτοϚ" typology had marged into personal moments, like only ones' no peace for the wicked, even serpents shine, etc.

ホタルそろそろなのに台風

暗き声は嵐の夜明けに切れ切れに数秒続く多分子猫だ

生ぬるく鳥多く雲の多種類

消去出来ない道に枝の散乱

多種類の緑盛り上がっている暗さ

mshb+shiu 道後 ワニとサイ

東に移る雨にふられた西の、おきざりにされた青空

Shuuが来たので久し振りに松山城に上ったのだが宇和島城と比較して松山城に足りないものは私にも足りないものなど底の方では思っている。

タイツを先にはいてしまったときは空手チョップの真似をしながら力道山怒りました力道山怒りましたと言
う

一七日にピカとやる曲、ひとつはa boogieかな、あとはswitch back、それとtoo many wives、などと考えてい
たら夜が明けてきたじゃないか

話さないことが強さであるような

ミステリーのために

承認欲求を見殺しにしてきた

約束はあった

選ぶ自由と決める権利の違いも分かっていた
筈だった

私は本当に
何に

このような

徳島 jiro's guitar bar w/pika

ピカと坂本弘道のツアーに誘われてまた徳島に行った。

当日はピカがドラムを叩いて、榎山節考、ムジゲ、a boogie、switch back、とかやった。

鳴門インター近くの「かわいい」は「もうちょっと生きてみようかな」という気にさせる優しい味だったのに、おばちゃんが居なくなつて薄っぺらい化調味になつてしまつていた。二日酔いだったからかな。もう生きていてもしょうがないかな。

送信者のないメールが来た

言葉に埋もれて夜空が見えない
どれがアルデランだったか
月がなくても夜は巡る。おれはもう少し歩かなければならない。

共倒れの星の下月なしの移動

なんか甘い酒とかないの 黄色い街路灯がロンドン
ジンビームにシトラス ああ暗い暗い

描ける人は多いが見える人は少ない 見えないからね

ぶっとい電線 あ、見えた 死んだあいつは見えてたかなあと

双六みたいに進むだけ 飛ぶときは定型じゃない

星の糸にぶら下がり苦しいです三多摩リア充

戻った

いつもこうやって戻ってくるお前らにやあわかるめえ

戻る術を感謝と言うならありがとう、よくがんばったね

共倒れの星の下月なしの移動

縛られて湯に浮く菖蒲の長さかな

うさこに関してすごいフレーズを思いついたけどふきんしなので止した。

Different daylight

山田民族とドーパミンに関連したギャグに脳が思い付けたけど不埒なので書かない

脳が思い憑かれた、かな

中国射してシナプス、みたいなのって

かなしみ語呂語呂

Rainy day sunshine池袋

マックスは怒りのデスロードでは血液袋

確かめずに輸血する文明レベルの貧困

水と石油と血という主題は分かるが

都合のいい夢のような花輪さんの漫画を立ち読みし藤枝静男を連想する。するっと読めるって大事なことだ。ムースス君もスルツしてるなあ

滅びとはとても近くにあるもので例えば今日なら喫茶店で

ノイジャンと自らを規定して吐く大街道のはだかの王様

イーストによる発酵は腐敗を伴う肥大化ではなくて、ただパン種としての知らせが力を及ぼし、すぐには分らない変化を生じさせるというアレゴリー

憎むことばかり教わりパン焼き器パン焼き器であることに吃りぬ

私に密度があるとすればコンビニのトイレくらいの空きかた

どっちがいいか

その建築物に行く時は、個室に入り下をピロピロ開放しておくしかなかった。

銀と黄緑

私からなにもかにもが消えていく例えば珈琲を飲むことなど

山々は終わりのかけの青の茫洋

ノルマンディーのスタジオに一週間くらい居たとき川手君が連れてきただけで参加もせずただ飯食ってフェリーでブライトンに帰っちゃった佐野さんみたいな女の子いまどうしてるかなとふと

山頭火にいい葉っぱがある野グソしようみたいな句がないのは何故か考えている

芭蕉にも馬の尿するはあるけれども

あとみんな下ネタもないな

アンソニー君が日本に来る。ガラ刑出すってよ。

James Tenney の Postal Pieces みたいなアルバムにしたい

吉藤のガス窯の名前

通り名を止めてしまつてゐる人に話しかければ寂しく笑ふ

朴の葉と共に揺れをり朴の花

窯から出る火が勿体なくて肉を買ってきて焔の先で焼いていたら愛大の先生がワインとベーコンを持って見にきたので先生も焼いた。朴の葉に包めば良かった。

ハクピシンと赤犬が見に来たのでハクピシンと赤犬も焼いた。

見に来たものはみな焼かれた。

大家さんでさえ焼かれた。

窯焚きとはそういうものです、と陶工は言い、それから静かに自らを炉に投げ入れた。

私は何の人として覚えてますか

ホジャケンイクマカロユウタロガヤ

き方言でだからダメって言ったでしょ

ホヤケンイクマアイユウタロ

ソジャケンイクマイユウタロガ

ソヤケンイカンテユウタヤロ

ホジャケン

ホヤケン

ホジャキン

ホヤキン

ホヤカラ

ソヤケン

ソジャキン

ソジャカラ

ソヤカラ

イカン

イクマイ(ガ)

イクマカロ(ガ)

イクマアイ

イウタロ(ガヤ)

イウタヤロ(ガ)

ユウタロ(ガヤ)

ユウタヤロ(ガ)

ユウタロ(ガ)

ユッタヤロ

ユ+

ブジョブジョオブジェ

欠夫料

なまあたた

かい雨が降っ

てきたがま

だ外にいてま

ったりしている

とかえるが

ひときわないて

雨音も

はげしくなっ

て携帯画面

はつるつる

すべり文字も打

てなくなる

携帯の

黒い画面は

つるつると

すべり文字が打
てなくなつたし

なまあたた

かな携帯画

面すべり

土手のかえるが

雨にひときわ

夜かえる

ひときわの雨

すべる文字

こぬひとは

またずにかえる

くろいあめ

くろいあめのような携帯をかえる

ねこのおとかあめのおとかわからないびたびた

那智黒の雨携帯の画面

哉

お前がすべるお前がの後にすと打って好きと出たら幸せ

少し雨

に当たると喉

が痛い

みと喉はつな
がつてるのかな

少しのど

に当たると髪

がいたい

どと髪はつな

がつてるのかな

あめかみの

どとのどかみあ

めのどあめ

のどがふる

とかみがいたい

のどがふる

とあめがいたい

かみにあたると

もりあがるカリフラワーのように山々

鯉の巨体のように山々

My son's wife is Susan Cianciole's huuuuuge fan since 80's.

公園に私が一人きりなのは私が一人きりだからだ

巨大な木があるなあすごいすごい

おそろしいほどのごうていがたちならんでいる

家の一角を貸本スペースにして「さんしょ文庫」というのをしているひとがいる。

陶板に「さんしょ文庫」と嵌め込まれたガラス戸付きの棚が置かれてあるだけだが、ベンチと自販機もある。勝手に取って勝手に返すシステムである。みんながこうすれば、ブックオフも要らないだろうな。

この前三津の蛙軒にやっと思行ったのだが、元文房具屋の店舗をそのまま使っているそうで、猫を構ったりしているうちに勢い余ってヴァインテージの音楽ノートを800円分も買ってしまった。港の人とか揃っているが単なるディレクタントでもない。お茶ご馳走さまでした。

いま時代が大きくハシビロコウからスナメリへシフトしているのを感じる

近鉄は伊賀の辺りからずっと田植えの東温が続いてるよ

山は低いけど

パナソニックとかあったり

おれが住んでそうだよ

本気でおれが歩いてないか探してるよ

志摩で二種類の土をゲット

水族館で生物のデザインを見ているとあなんでもよかったんだと思う

そしてもう見ないでもいいと思う

昔の焼き物を見てもそう思う

見なくてもいいもの、それが一番安心させられるものだと思う

昔捨てたゴミがまだある朽ちていく我々

読めない文章がある

聴けない歌がある

それらによって事態は進んで行く

He has no good news to contemplate, no bright hope on the horizon.

奉還町の音叉でジムモリソン詩集「新しい創造物」を読む

珈琲は苦すっきりしてて美味しい

うみなりのみなりとおさ彼あたし

あたしというセイウチが吹く風船が朝のじゅう万赤福の「ア」

セイウチとばやし漫才してる独身のあたしの彼はセイウチ^キ鳥羽

Contemplate 天のカスの天のカスこの天カスと言ってみる

夢で、京都で、白石さんたちと演奏していた。誰かが簡単な作曲を持ち込んでいた。終わったあと、立ち位置がよいアキさんと話していたら「お母さんに言われたのあんたがそんな風に演奏できてるってことは男の時代が終わったってことよ」

土俵に新聞が書かれている公園があった。短歌欄と思って読んでみると、異様に長いものがあった。コリントとかまで引用されていて、段々短歌欄が西部講堂みたいに解体したのだなと合点した。

久しぶりにマリーにゃんやあってうれしい。

マクラウドがケチャやってるみたいだ。

ここがオルレアンだよと言われたときぼくの放物線は限りなく接線に近づいたのだ

貞和さんは祐子さんが亡くなって(本当は里子さんというのだ)かなしい詩を書くのだろうか。松山に行くので「ハンゲンキを祝って」が立ち読み出来たらして、「ジャツカ・ドフニ」を買う。たぶん売り切れてなかったら「日本会議」も。

ジュンク堂行っただけジャツカドフニも群像の前の号も日本会議も売りきれてなかったぞ。二三日に朝君とこで買うから取っといてくれ。

今は「オルタナティブスペース」は死語で、コレクティブとかオキュパイとかを使う。音楽はコレクティブがあったしアニマル・もあつたから別に驚かない。ただここで見られる「コレクティブ」の目の眩むようなイヤらしさは完全に内容を喰っている。

言葉は、こういう場合、色の違う風船にすぎない。

マイナーは「フリースペース」だった確か
いま佐藤さんなんて名付けるかな

「あのねえ、おれね、もうアンチオキュパイテナント更新料コレクティブにしようと思うの」

内容は知らない。色の違いの話をしているだけだ。とにかく「アジアのコレクティブ」とかの政治言葉に反応するわけだ。

「ひとのあつまりはいいものです」と父が嘘をついた。そのために半生かけて反駁した。ところが自分が場

所を人で表す用語に相変わらず反応している。だから死にたいのだ。

建築様式が人を決定してきた。ローマの地域公民館由来のバシリカは、まだエクレシアを場所ではなく人の集まりにイメージさせていた。窓のない場所で、部屋はスペースとして意識されなかったのだ。窓からアト（業界）が生まれた。同時に人は場所になったのだ。フェルメールを見よ。

吉祥寺のテナントがマイナーの音楽を決定した。興味深いことに、マイナーには窓がなかった。板張りにして黒く塗りつぶされたのだ。窓がないので人が主体になった。それで経済と人が生政治的にぶつかった。すなわち場所が人に音の使用料を請求できるか、佐藤の顔をして打診してきたのだ。

井の頭とか道端に行けばいいじゃないか、フリーミュージックなんだろう？ という一見まともな声があった。ほどの効力がなかったのは、たぶん場所と人を巡る問題からそらされるからだ。佐藤さんの父君の退職金でわれわれのテナント「フリーミュージック」は可能になったのだ。

人主体なのに場所に名乗らせる欺瞞が背教のローマから始まったとすれば、場所が主体なのに人に名乗らせるコレクティブはいかにも希望の原理に沿ってはいる。そして窓はこの場合ひとつである。

廃墟にて窓にもあらず人にもあらず

具体ピナコテカは場所の名前だったが佐藤さんはそれをキュレーターとしての自分を通した音の集まりに適用了。

窓のない音をかれは集めた。

というより集まってきた。耳から膿が出るほどになったのは、一杯になって収納しきれなくなった少数民族の資料館のようだ。

コレクティブとは窓のあるマイナーと思えばいい。

音楽は死ぬが人は往来して楽しいのだろう。

どうせ死ぬのだからすこしは楽しめばいいと心から思う。

テナントは国家のように個人の心臓という書き板にその法令を書き込もうとし、その反抗の度合いで「うごめく・気配・きず」がcombineされた

Acidlike resentment does not belong in such vessels.

キュレーターの特長はすぐググること

前半、ハバネラのリズムで静かに歌い出します。かなり、キューバっぽい感じです。

二二日の白楽はすつとイメージがわきました。IV↓V↓Iを予測のつかないフラメンコギターの解体する
辺境野郎、というのがテーマです。客は○の可能性もありますが、杉田さんが生きているうちはやりませ
音の濁りは博打に似ています。スペインも白楽も辺境ですから辺鄙な濁りが出せたら。

唾吐くなって言うけどカマキリなんていま泡出しまくりにゃないか

今日は初ホタルだった。生きてまた見られるとは思ってなかった。

庭に居たので橋まで見に行った。ライオン丸も付いてきたので踏んづけそうになりながら一緒に歩いてい
て見た。

ボイスメモで音源が届いて、弦が四本しかない友達のギターを借りて初めて弾いてカバーしたんで聞いてく
ださい、と言う。

聴いても分からなかったのでなんのカバーですかと訊ねると「ミスユーバイビードール」ですよ、と言う。
オリジナルよりいいねと世辞を言うと喜んで、いや今日はいいい日だ、でも慣れないもんで指を痛めて、と言
うから、

永遠に痛め続けるといいと思うよ、と言うと、通じたらしくハハと言う。

次は二コード以上に挑戦してみると言うので、フラメンコギターのカバーはどうかと言ってみると、血出そ
うだけど真面目に考えてみると言う。

でもこのボイスメモですでにフラメンコだと思うよ、血出てそうだし、と世辞を言うと、
え、なんで分かったの、僕はロンドンに住んでるけどポルトガル人で、この録音は、もう一月返事をくれな
い前の彼女のことを想って演奏したんだ、と言うので、

：ファドに変えようか、と言うと、

そうだね、どっちにしろ血出そうだけどね

※本当に止める肉球で止める

て凄いタグだな

内面の夢をTwitterというフィルターを通して外界に抽出しようとしている。猫の手も借りたくらい場が病んでいるということか。

ウシジマくんの凄いところは、「くん」付けて子供時代のなんちゃって感を人生に敷衍してしまうことで、「くん」付け以外の世界を整理してしまったことだ。「青春」による世界の突破法なんてみんな考えてなかった。

ロリイがいつまでも新井をテリイと呼びリアルボイスを「シゲちゃん」と呼んだのは対立を「ウシジマくん」の土俵に落とし込みたかったからなのだ。一八日plumbのためにそんなことを寄稿した。

そうなるとゲッペルスもかれが嫉妬した赤軍も「ウシジマくん」になるわけだが、世界なんてそんなものだと離れて見ることができるようになる。そうするとイデオロギーと国家のからみ合いも「くん」付けて処理できる。「青春」で土俵から逃走するのだ。ヤクザに追われる闇金みたいに。

後藤まりこ「スナメリ」Music Video

たとえドブの中でもスナメリになって死んでいきたい

野宿にいいスポットを見つけた

ちなみにセプティマはまだ空いているようですよ。

僕は無理だけど三多摩ヘル系は何かやったら？

山口富士夫・浜岡原発について

赤福を仕込んだかき氷

コリント化するとは売春するという意味だったほど乱れていた

満月に蛭も星も圧され気味

ネパールのリサさんにギューという自家製の水牛のバターを貰った。ギーじゃなくてギュー

浜松の「ひとつだけ多すぎる朝」という店から売れ残りの大場パンが届いた。少し味見して、あとは切って

冷凍した

そうやって売れ残った絶望のようにワイは余生を楽しんだんや

そりゃよござんしたねと満月

朝ボイスメモを送ってきたやつがフラメンコを録音したから聴いてくれと言う。

とてもフラメンコには聞こえない。リチャードヤングスの死んだ犬の歌みたいだ。
往年の名の無い健気ザルの髪

マムシの恐ろしさは嘔まれてみないとわからない

僕は酒を飲んだらいけないんじゃないかと思うようになってきた

あと、マムシにもっと気を付けること

あなたがたの心が永遠に生き続けますように

．．．AGA・F．．．AGA・E．E・FE・A．．．．．

．．．FEF・C．．．FEF・A．．A・DC#・F．．．．．

．．．FCF・A．．．CAC・C．C#・BbA・D．．．．．

雲の裏側が地上のように見えるのはさらに上に別の雲の層があるから。雲と雲の間が世界になる。ところが地上のように見えた雲塊の下にさらに別の雲の層があることがわかってくる。飛行機はまるで潜水していくように底に降りていく。その海底の下に本物の鮫肌の内海と島々が見えてくる。

・ 7

ジェイコブの五八曲の訳と編曲

・ 4

ロルカの時のフラメンコの採譜

・ 5

篠田抜きコンポステラの採譜

・ 3

ポートルランドのための譜面と構成

・ 2

ビザのあれこれ

・ 1

草刈り

・ 6

中東系の皿の練り込みの線

・ 8

ガラ刑ミックス最終

1

2 大谷の送迎車要らないとエールユニオンに伝える

3 郵便局からブライトンにハローニューヨークを送り送料を知らせる

4 向井に返事する

5 ポートランド喫茶マップを探す

6

ベグレカに借りたzineを変えしに行く

7

ESTAをプリントアウトする

8 玉柳君にベースを返す

1

松山に行くなら序でに汐見の家のDMをMOREに持って行く

2

愛子さんに言われたsinカードを買うがその前に何月にいまの契約が切れるか調べる

3

白樂一万鹿沼三千大久保三万二千

でも飛行機等で四万五千

差し引きゼロとハバナ椅子で

+

昼にネパールの人たちが来る

鹿沼の、宿の近くの古着屋の横のバーの前に置いてある壺がとてもいい

中にゴミとか入ってるので店主は価値を認識していないようだ

バナナの皮で轢したかのようなマチエールとキズ

重ね継ぎでありながら反李朝的な膨らみとゴンズイのような口

鹿沼は、植生がいちらしくてよい

朝君が配達中無闇に写真を撮りたがるのも分かる

大久保には半チャーハンみたいな男と替え玉みたいな男が居た

なぜ体の各部は定食として一致しなくてはならないのか？

実は一致を目的に券売してはいけなかったのだ

各素材が愛において成長することが下と上にある雲のように

種と果実を

イスラム通りで

下と上にある雲のように

上に蒔いて下で刈り取れ

券売機はキリストの体ではない

上も下も雲であるような空間を券売機がオクターブ内の全周波数を鳴らして飛ぶ

ロック史に掠らないssは券売機の中で白いままの煮玉子のような

梅雨の始まりにドクダミの白がよく合う。プライベートを出さぬさけ出し商売が身についている。

牛蒡団地の側のコンビニのポップの字が好きだ。トイレがつまるからなるべく嘔吐しないでくださいと書いてある。団地に過食がいるのだろう。いかにもいそうな団地だ。そいつのことを思い浮かべる。まだ買う余裕があるのだろうか。

どろんこはグーグルアースでよきそうな里山の目星をつけていきなり向かう趣味がある。ゆかさんと、トレッキングシューズを履いて、水と菓子を背負って。

近所の田端君もその影響で、毎朝六キロ歩き、酒もやめて、今は健康なのだそうだ。七月のUFOCLUBで会うので楽しみである。

望まれぬ
妊娠のよう
にして涌く
井の頭とは
断層にあり

エリ、バグワン、シヤンティー
霊がなくてもひらけるのがソフト
霊が飛んでないとひらけないのがアプリ
ソフトは内臓でできた服
アプリは場のない夏休み
ソフトはサービスエリアで食べなくてはいけないもの
アプリはブルーベリーを飲まなくてはいけなくなるもの
つゆのはれまのうきことコトリ
のう無いしゅつけつ

腐乱チャイルド

この人はハローニューヨークのジャケットのセルフポートレートとデザインを手掛け、ベースやボーカルでも参加している才媛のクリステイーナさんですが
ここで質問です

頭のいい女の人を書くのはどんな本でしょう？

ワラビモチガエル

事の次第が届いたので早速礼子に朗読させていたらあまりの脈絡のなさに「これが1800円の本というものか」と言われた。ゴドーは読んだことないらしい。

ホテルは今日はピークで、にやんつーとライオン丸もまろびながら付いてきたので腹をなでてやりながら進んだ。橋には近所の人も来ていた。今日は多いですね。ここでホテル祭りやればいいのにね。たこ焼きとか出して。

三番目の左足が半拍

四番目の右足が四分の一拍遅れます

これは一昔前によく行われたリズムですが、愛子さんはその頃小学生だったらしく、叩くのが難しかったようです。野網君とか礼子は年代が被るのかすぐ弾けました。自分の中にあるものは人にもあると誤解してしまいますが、そうではないようです。

一度、撮が雪の朝とかいう不思議なリズムの曲を作ってきて、ピアノで弾いてみせてくれ、分かるよねえ？と信頼しきった目で見つめるので、とても困った記憶があります。

あとはなんといっても、フラメンコのギターの人とカンテの人が自信たつぷりにずれまくっているさまに接すると、心底恐怖を覚えます。

mshb2016.6.5 Yale Union

今回の演奏は、一拍子から始まり、それをずらしていく取り決めに、合奏の共通項としています。

Our show this time starts with "one-beat", and we make an arrangement of shifting from it to "staggered" rhythm our common term of collaboration.

● 'Ferry boat'

Rhythm:

— — — x 2

Db	Bb	Eb	Ab	Bb	Gb	Db	Ab
Bb	Gb	Eb	Ab	Bb	Gb	Db	Ab

バス・ドラムは最も基本的なオンタイムの一拍子を、一つのコードにつき、4 x 2 回刻みます。

ベースはひとりがギターのようにコードを押さえ、もうひとりがドラムのスティックのようなもので弦を叩きます。これは船のボーラーを表しています。

楽譜の読める人、あるいは覚えられる人は、メロディーを繰り返し演奏します。

それ以外の人は、進んでいく船を取り巻く環境音の中からひとつを選び取り、それを演奏します。例えば

- ・ カモメ
 - ・ イルカ
 - ・ クジラ
 - ・ 風
 - ・ 客室
 - ・ 福島から流れ着いた放射性物質
 - ・ 難民船
 - ・ 潜水艦
 - ・ 氷山
 - ・ 魚
 - ・ アザラシ
- などです。

Bass drum make the most essential 'on-time' 1 beat, 4x2 times per one chord.

As for bass guitar, one plays chords like playing the guitar, and the other hits the strings of the bass guitar with a drum stick.

This expresses the sound of the boiler of a ship.

Those who can read the scores and who can learn the melody will play it repeatedly.

Others choose one of the surrounding sounds like;

- seagulls
- dolphins
- whale
- the wind
- passenger's cabin
- radio active debris from Fukushima
- refugee ship
- submarines
- an iceberg
- fish
- seals

● 'Honey'

前半は一拍子ですが、すべて遅れます。頭の中では遅れてはいませんが、実際の音はすべて遅れます。

途中からオンタイムになります。

The first half is "1 beat", but everything delays each time. It's not delayed inside our heads, but all actual tones delay. It will become 'arriving on time' punctually half

way through.

↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳
F# R# F# F# F F F
↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳
F F F F F# F# F#
↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳
F# R# F F F F F F

l l l l l l l
G G G G F F F
C C C C G G G
G G G G F F F
C C C C G G G

bass solo

↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ . . .

G G G G G G G . . . (Da capo)

love, joy, peace, patience, kindness, goodness, faith, mildness, self-control

l l l l l l l
G G G G F F F
C C C C G G G

温和

mildness

ライオンの死骸には蜜蜂が群れ蜜
が溜まつてい た

高い所を移動する船 飲むべき光 苦

there in the lion's carcass

was a swarm of bees

and honey

the ship moving high up above

the light to be drunk

bitter and sweet

love, joy, peace, patience, kindness, goodness, faith, mildness, self-control

こんな上の地層から言葉を出すなんて

sending out words from such an upper layer

it's the taste of honey

最初、ベースのルート音が分かる人はそれをリズムに合わせて演奏します。

途中、オンタイムになったら、コードに合わせて自由に演奏します。

ベースソロになったら、低音以外の人はインプロヴィゼーションです。

最初に戻り、繰り返し終わります。

At first those of you who understand the root tone, will play it according to the rhythm.

And when the rhythm becomes 'on time', we will play freely according to the chords.

During the bass solo, all except bass parts will improvise.

Then back to the first part, repeat it and finish.

● ' Swing back '

quadruple measure

— | → — | →

Ab Ab Eb Eb

Bb Bb Cm Cm

これはフューネラル・マーチのリズムで、二拍目と四拍目がふわっと遅れます。

通常は左手で一拍目を、皮に直角に打ち下ろすようにオンタイムで叩き、二拍目を、円を描くように叩くことで遅れを生じさせます。

これは、その「ずらし」を極端に意識的に行うことで、演奏を辺境のロック史のなかに位置づけようとするものです。

This is the rhythm of funeral march and the 2nd and the 4th beat delays softly.

Usually the drummer makes the first beat by striking the drum skin vertically on time with left hand, and the second beat with circling gesture, this makes delay.

This is an attempt to locate the performance at the border of the "history of rock" by creating the time lapse consciously.

低音部の動きは

The movement of the bass line is;

Ab/Eb Ab/Eb/Ab Eb/Bb Eb/Bb/Eb

Bb/F Bb/BbB C/G CC/DEb

楽譜の読める人、あるいは覚えられる人は、メロディーを繰り返し演奏します。
それ以外の人は、葬式ということを念頭に置き、あとは自由に演奏します。

Those of you who can read scores or learn the melody will play it repeatedly.

Others bear in mind that it's funeral scene and play freely.

● 'Like a dream'

— ↑ — — ↓ × 2

わかる なにこと すげえ

wakaru naikoto sugiru

C ConB F F

ゆめを みるなよ いまが

yumewo mirunayo imaga

C ConB F F

ゆめの ちうに なるおし

yumeno yowuni narunade

C ConB F F

there are many things that I don't understand
don't dream
until 'now' becomes like a dream

ドラムは一拍子を、一つのコードにつき、4 x 2 回刻みますが、二拍目が少し前倒しになっており、四拍目は少し後ろにずれています。一拍目と三拍目は厳密にオンタイムです。四拍目の前に息を吐き切るのがコツです。それによって、針が布を縫うような表と裏の流れが生まれます。One will play the drum and 4x2 times per one chord, but the second beat will lean forward and the 4th beat lapses backwards. The 1st and the 3rd beat are strictly on time. The knack is to exhale the breath thoroughly before the 4th beat.

メロディーは三つの連に分かれています。歌える人は、三つの合唱隊に分かれて、それを順番に歌います。歌わない人は、リズムを演奏します。音程の選び方は自由です。

Melody is divided into 3 lines. Those of you who can sing will be 3 chorus part and will sing in turn.

Those of you who don't sing will play the rhythm. You can choose any tones freely.

● 'Walking at night with my eyes closed' ~ 'The Grasshoppers'

Rhythm:

ㇿ . . . ㇿ . . . / . . . ㇿ . . . ㇿ . . .

Lyrics:

目を瞑って歩く夜道は

色んな人の声色で

開いても閉じても真つ暗で

寝ても覚めても同じこと

目を瞑って歩く夜道は

パトカーなどともすれ違い

上にも下にも寝場所はなく

パジャマも上着も同じこと

目を瞑って歩く夜道を

十歩歩けば目を開けて

歌わせたものに歌われて

車道も歩道も同じこと

詩が目を瞑って一人歩きを

walking the road at night with my eyes closed

tones of the many voices

even opened or closed, it's utterly dark

awake or asleep, all the same

walking the road at night with my eyes closed

some police car passes by

no place to sleep in upper nor lower layer

pajamas or jacket, all the same

walking the road at night with my eyes closed

I have to open my eyes before I finish ten steps

sung by what I made to sing

roadway or sidewalk, all the same

it was a word that was walking alone

低音楽器の人は、夜道を歩いているところを想像し、目隠しして歩きながら弾きます

people who have bass instrument try to imagine walking at night and play their instruments walking with their eyes blindfolded

G(F)right foot 4thG(A)right

ㇿ . . . ㇿ . . . / . . . ㇿ . . . ㇿ . . .

Gleft foot 3rdGleft

3 番目の左足が半拍

4 番目の右足が四分の一拍遅れます

half beat delay with the 3rd left foot

a quarter beat delay with the 4th right foot

大きく分けて、

- ・このリズムが体に入っている人
 - ・入っていない人
- を想定します

次に、その中でも

- ・五線譜を読める人
- ・読めない人

がいたので、都合よつのスコアを用意します。

リズムが分かって楽譜を読める人でしかもそれを低音で演奏できる人は最初に揚げたベースラインを担当し、高音で演奏できる人には譜面のメロ

デイーを好きな場所で演奏してもらいます。

リズムが分かっても楽譜は読めない人は打楽器的なものを担当します。

リズムが体に入っていない人は、楽譜が読めても読めなくても、夜道ですので

・カエル

・虫の声

・人の家から漏れてくる音

・夜汽車

・酔っぱらいが吐く音

・店先のノイズ

・パトカー

などになつて演奏します

夜道ですので、僕は途中でラウンドミッドナイトを弾くかもしれません

舞踏で参加する人は、目隠しをしてベースを演奏しながら歩いている人の後ろについていきます。

目隠しして歩きながら演奏するのは低音のベースラインの人だけです。

最後に、夜道を終わらせるために、800倍遅くした例の虫の合唱に移行して終わりたいと思います。

演奏できるのは楽譜が読める人か、読めなくても覚えた人に限ります。パターンを覚えれば簡単なので、声で付いてくることは出来ると思います。

それも難しい人は、項垂れて、「虫の声を聴く人間」の役を演じます。でも音痴な虫も混じっていてもいいので、なるべく虫をおすすめします。

to sort it roughly, there are two groups of people;

- the ones who have this rhythm within them
- the ones who do not have this rhythm within them

and each group divided into two groups,

namely:

- the ones who reads scores
- the ones who don't read scores

so there are 4 groups altogether, scores are prepared for each group

the ones who understand the rhythm and read scores and are able to play lower keys will play bass line which will be shown firsthand, and those of them who can play higher notes will play the melody wherever they choose.

those who understand the rhythm but do not read scores will play rhythm.

Those of them who don't have this rhythm within them ,whether they read scores or not ,will play the sound of;

- frogs
- grasshoppers
- the noise from houses

- night train
- drunkard vomiting
- the noise from stores
- the siren of the police car

as it's a street at night. I might play 'round midnight' in between on the piano.

the ones who participate with their dancing will follow the ones who play bass line, while they are walking blindfolded.

It is only these ones playing bass line who walk blindfolded.

And at last, to terminate the street at night, we will finish by moving on to "800x delayed sound of the grasshoppers".

Only those who reads the scores or who learned the melody by heart will play this part. It's not so difficult if you remember the pattern so you can also join by singing.

If even this seems difficult, you have roll as "the ones who hear the grasshoppers' sound" with their heads down, but I recommend you'd rather be grasshoppers as there must be grasshoppers out of tune.

● The 7th tune 'a boogie'

基本的にブギーのリズムですが、ギターの音の立ち上がりに四種類あります。

- 人間 オンタイムだがふわっと弾く
- ライオン オンタイムでダウンストロークで一気にジャッジするように弾く
- 雄牛 親指で低音から押し出すように力強く弾き、手のひらで止める

・鷺 オンタイムよりやや早めに、高音域をアップバーストロークで短く切つて弾く
てす。

人間は愛を

ライオンは勇気を

雄牛は力を

鷺は知恵を表します。

Basically it's the rhythm of the blues, but there are 4 different kinds of waveform when starting to play the guitar:

man : starting on time, but softly

lion : starting on time with down stroke at once, judgely

bull : pushing the strings strongly with a thumb and stop with a palm

eagle: a bit faster than being on time, play upper tones with short cutting stroke

man represents love

lion, courage

bull, power

and eagle, justice.

・ ♪ . . . ♪ . . . / ♪ . . . ♪ . . .

EABE

AAEE

GAEE

一 拍目のベースはギターより常に先にきます。

the first beat of the bass comes before the guitar

E E A A

[illegible]

E A

lyrics:

And the first creature had the face of a man

(EA)EE

Yes'n the first face's like the face of an earthing man

$$(AA)EE$$

Oh the first one's face was like a loving man

(GA)EE

And the second living creature had the face of a lion

Yes'n the second face's like the face of a male lion

Oh the second one's face was like a judging lion

And the third living creature had the face of a bull

Yes'n the third face's like the face of a young bull

Oh the third one's face was like a powerful bull

And the fourth living creature had the face of an eagle

Yes!n the fourth face's like the face of an flying eagle

Oh the fourth one's face was like a clever eagle

So these are:

MAN,LION

EAEE

BULL,EAGLE

AAEE

SO that is, that is the way they were

GAEE(on time and very loud)

So these are:

MAN, LION, BULL, EAGLE, MAN, LION, BULL, EAGLE

EAEE

MAN, LION, BULL, EAGLE, LOVE,JUSTICE,POWER,WISDOM

AAEE

MAN, LION, BULL, EAGLE, MAN, LION, BULL, EAGLE

GAEE

MAN, LION, BULL, EAGLE, BULL,MAN, LION, EAGLE

LION,BULL, MAN, EAGLE, MAN,LION, BULL, EAGLE

BULL,MAN, LION, EAGLE, LION,BULL, MAN, EAGLE

MAN, LION, BULL, EAGLE, BULL,MAN, LION, EAGLE

LION,BULL, MAN, EAGLE, MAN, LION, BULL, EAGLE

BULL,MAN, LION, EAGLE, LION,BULL, MAN, EAGLE

MAN, LION, BULL, EAGLE, BULL,MAN, LION, EAGLE

EAEE

JUSTICE,POWER,LOVE,WISDOM(LION,BULL, MAN, EAGLE)*,

LOVE,JUSTICE,POWER,WISDOM(MAN, LION, BULL, EAGLE)
AAEE

POWER,LOVE,JUSTICE,WISDOM,(BULL, MAN,LION,EAGLE),
LION,BULL, MAN, EAGLE

GAEE

MAN, LION, BULL, EAGLE, BULL,MAN, LION, EAGLE

EAAE

LION,BULL, MAN, EAGLE, MAN, LION, BULL, EAGLE

AAEE

So that is, that is the way they were

GAEE(on time and very loud)+

()*chorus

+So that is, that is the way they were
のところはオンタイムで演奏します。

ギターの速弾きが出来る人は可能な限り弾きまわります。

+This part will be played "on time".

Those who can play the guitar very fast will play as fast as possible.

● The 8th tune 「アメリカンポップス風の昼休み」

' noon recess after american pops'

リズムは普通のエイトビートで、ふつうに演奏します。

The rhythm is ordinary 8 beat and will play ordinarily.

G/D C/D C A/D

G/D C/D C A/D

Em A

これは高速道路のゴミ拾いの仕事をしていたときに、サービスエリアの裏で休憩しているとき作ったメロディーです。

This tune I've made when I was having a break at the back of the service,
at that time I was working on the highway picking up garbages.

2016.6.5 Yale Union

Our show this time starts with "one-beat", and we make an arrangement of shifting from it to "staggered" rhythm our common term of collaboration.

● Ferry boat

Rhythm:

| | | | x x

Db	Bb	E	Eb	E	Ab	Bb	E	Gb	Db	Ab
Bb	E	Gb	Eb	E	Ab	Bb	E	Gb	Db	Ab

Bass drum make the most essential 'on-time' 1 beat, 4x2 times per one chord.

As for bass guitar, one plays chords like playing the guitar, and the other hits the strings of the bass guitar with a drum stick.

This expresses the sound of the boiler of a ship.

Those who can read the scores and who can learn the melody will play it repeatedly.

Others choose one of the surrounding sounds like;

- seagulls
- dolphins
- whale
- the wind
- passenger's cabin
- radio active debris from Fukushima
- refugee ship
- submarines
- an iceberg
- fish
- seals

● Honey

The first half is "I beat", but everything delays each time. It's not delayed inside our heads, but all actual tones delay. It will become 'arriving on time' punctually half way through.

|→ |→ |→ |→ |→ |→ |→ |→
F# F# F# F# F# F F F

↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳
F F FF F# F# F#
↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳
F# F#F F F F F

| | | | | | |
GGGGFFFF
CCCCGGGG
GGGGFFFF
CCCCGGGG

bass solo
↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ ↳ . . .
GGGGGGGG . . . (Da capo)

love, joy, peace, patience, kindness, goodness, faith, mildness, self-control
| | | | | | |
GGGGFFFF
CCCCGGGG

mildness
there in the lion's carcass
was a swarm of bees
and honey

the ship moving high up above

the light to be drunk

bitter and sweet

love, joy, peace, patience, kindness, goodness, faith, mildness, self-control

sending out words from such an upper layer

it's the taste of honey

At first those of you who understand the root tone, will play it according to the rhythm.

And when the rhythm becomes 'on time', we will play freely according to the chords.

During the bass solo, all except bass parts will improvise.

Then back to the first part , repeat it and finish.

● Swing back

quadruple measure

| |→ | |→

Ab Ab Eb Eb

Bb Bb Cm Cm

This is the rhythm of funeral march and the 2nd and the 4th beat delays softly.

Usually the drummer makes the first beat by striking the drum skin vertically on time with left hand, and the second beat with circling gesture, this makes delay.

This is an attempt to locate the performance at the border of the "history of rock" by creating the time lapse consciously.

The movement of the bass line is;

Ab/Eb Ab/Eb/Ab Eb/Bb Eb/BbEb
Bb/F Bb/BbB C/G CC/DEb

Those of you who can read scores or learn the melody will play it repeatedly.

Others bear in mind that it's funeral scene and play freely.

● shiogamori

Dm Em Am
| • | | | | → | |

Am

| • | | | | → | |

in the 4th bar, the 6th beat is to be delayed.

● Like a dream

| ← | | → × 2

wakaru naikoto sugiru

C ConB F F

yumewo mirumayo imaga

C ConB F F

yumeno yowuni narumade

C ConB F F

there are many things that I don't understand
don't dream
until 'now' becomes like a dream

One will play the drum and 4x2 times per one chord, but the second beat will lean forward and the 4th beat lapses backwards. The 1st and the 3rd beat are strictly on time. The knack is to exhale the breath thoroughly before the 4th beat.

Melody is divided into 3 lines. Those of you who can sing will be 3 chorus part and will sing in turn.

Those of you who don't sing will play the rhythm. You can choose any tones freely.

• Walking at night with my eyes closed ~ The Grasshoppers

Rhythm:

♩ . . . ♩ . . . / . . . ♩ . . . ♩ . . .

Lyrics:

walking the road at night with my eyes closed

tones of the many voices

even opened or closed, it's utterly dark

awake or asleep, all the same

walking the road at night with my eyes closed

some police car passes by

no place to sleep in upper nor lower layer

pajamas or jacket, all the same

walking the road at night with my eyes closed

I have to open my eyes before I finish ten steps

sung by what I made to sing

roadway or sidewalk, all the same

it was a word that was walking alone

people who have bass instrument try to imagine walking at night and play their instruments walking with their eyes blindfolded

G(F)right foot 4rthG(A)right

♩ ♩ / ♩ ♩

Gleft foot 3rdGleft

half beat delay with the 3rd left foot

a quarter beat delay with the 4th right foot

to sort it roughly, there are two groups of people;

- the ones who have this rhythm within them
- the ones who do not have this rhythm within them

and each group divided into two groups,

namely:

- the ones who reads scores
- the ones who don't read scores

so there are 4 groups altogether, scores are prepared for each group

the ones who understand the rhythm and read scores and are able to play lower keys will play lower keys firsthand, and those of them who can play higher notes will play the melody wherever they choose.

those who understand the rhythm but do not read scores will play rhythm.

Those of them who don't have this rhythm within them ,whether they read scores or not,will play the sound of;

- frogs
- grasshoppers
- the noise from houses
- night train
- drunkard vomiting
- the noise from stores
- the siren of the police car

as it's a street at night. I might play ' round midnight ' in between on the piano.

the ones who participate with their dancing will follow the ones who play bass line,while they are walking blindfolded.

It is only these ones playing bass line who walk blindfolded.

And at last, to terminate the street at night, we will finish by moving on to "800x delayed sound of the grasshoppers".

Only those who reads the scores or who learned the melody by heart will play this part. It's not so difficult if you remember the pattern so you can also join by singing.

If even this seems difficult, you have roll as "the ones who hear the grasshoppers' sound" with their heads down, but I recommend you'd rather be grasshoppers as there must be grasshoppers out of tune.

- a boogie

Basically it's the rhythm of the blues, but there are 4 different kinds of waveform when starting to play the guitar;

man : starting on time, but softly

lion : starting on time with down stroke at once, judgely

bull : pushing the strings strongly with a thumb and stop with a palm

eagle: a bit faster than being on time, play upper tones with short cutting stroke

man represents love

lion, courage

bull, power

and eagle, justice.

• ♪ • ♪ • • • / ♪ • • ♪ • • • • •

E A E E

A A E E

G A E E

the first beat of the bass comes before the guitar

E E A A

• ♪ • • ♪ • • • / ♪ • • ♪ • • • • •

E A

lyrics:

And the first creature had the face of a man

(EA)EE

Yes'n the first face's like the face of an earthing man

(AA)EE

Oh the first one's face was like a loving man

(GA)EE

And the second living creature had the face of a lion

Yes'n the second face's like the face of a male lion

Oh the second one's face was like a judging lion

And the third living creature had the face of a bull

Yes'n the third face's like the face of a young bull

Oh the third one's face was like a powerful bull

And the fourth living creature had the face of an eagle

Yes'n the fourth face's like the face of an flying eagle

Oh the fourth one's face was like a clever eagle

So these are:

MAN,LION

EAEE

BULL,EAGLE

AAEE

SO that is, that is the way they were

GAEE(on time and very loud)

So these are:

MAN, LION, BULL, EAGLE, MAN, LION, BULL, EAGLE

EAEE

MAN, LION, BULL, EAGLE, LOVE, JUSTICE, POWER, WISDOM

AAEE

MAN, LION, BULL, EAGLE, MAN, LION, BULL, EAGLE

GAEE

MAN, LION, BULL, EAGLE, BULL, MAN, LION, EAGLE

LION, BULL, MAN, EAGLE, MAN, LION, BULL, EAGLE

BULL, MAN, LION, EAGLE, LION, BULL, MAN, EAGLE

MAN, LION, BULL, EAGLE, BULL, MAN, LION, EAGLE

LION, BULL, MAN, EAGLE, MAN, LION, BULL, EAGLE

BULL, MAN, LION, EAGLE, LION, BULL, MAN, EAGLE

MAN, LION, BULL, EAGLE, BULL, MAN, LION, EAGLE

EAEE

JUSTICE, POWER, LOVE, WISDOM(LION, BULL, MAN, EAGLE),

LOVE, JUSTICE, POWER, WISDOM(MAN, LION, BULL, EAGLE)

AAEE

POWER, LOVE, JUSTICE, WISDOM, (BULL, MAN, LION, EAGLE),

LION, BULL, MAN, EAGLE

GAEE

MAN, LION, BULL, EAGLE, BULL, MAN, LION, EAGLE
EAEE

LION, BULL, MAN, EAGLE, MAN, LION, BULL, EAGLE

AAEE

So that is, that is the way they were

GAEE(on time and very loud)+

()chorus

+So that is, that is the way they were

+This part will be played "on time".

Those who can play the guitar very fast will play as fast as possible.

- noon recess after american pops

The rhythm is ordinary 8 beat and will play ordinarily.

G/D C/D C A/D

G/D C/D C A/D

Em A

This tune I've made when I was having a break at the back of the service,
at that time I was working on the highway picking up garbages.

mshb2016.6.5 Yale Union

今回の演奏は、一拍子から始まり、それをずらしていく取り決めを、合奏の共通項としています。

● Ferry boat

Rhythm:

— — — × 2

Db	Bb	E	Eb	E	Ab	Bb	E	Gb	Db	Ab
Bb	E	Gb	Eb	E	Ab	Bb	E	Gb	Db	Ab

バス・ドラムは最も基本的なオントタイムの一拍子を、一つのコードにつき、4 × 2 回刻みます。

ベースはひとりがギターのようにコードを押さえ、もうひとりがドラムのスティックのようなもので弦を叩きます。これは船のボーラーを表しています。

楽譜の読める人、あるいは覚えられる人は、メロディーを繰り返し演奏します。

それ以外の人は、進んでいく船を取り巻く環境音の中からひとつを選び取り、それを演奏します。例えば

- ・ カモメ
- ・ イルカ
- ・ クジラ
- ・ 風
- ・ 客室

- ・福島から流れ着いた放射性物質
 - ・難民船
 - ・潜水艦
 - ・冰山
 - ・魚
 - ・アザラシ
- などです。

● Honey

前半は一拍子ですが、すべて遅れます。頭の中では遅れてはいませんが、実際の音はすべて遅れます。途中からオンタイムになります。

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 F# F# F# F# F F F
 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 F F F F# F# F# F#
 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 F# F# F F F F F

 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 G G G G F F F F

● Swing back

quadruple measure

— ↓ — ↓

Ab Ab Eb Eb

Bb Bb Cm Cm

これはフューネラル・マーチのリズムで、二拍目と四拍目がふわっと遅れます。

通常は左手で一拍目を、皮に直角に打ち下ろすようにオンタイムで叩き、二拍目を、円を描くように叩くことで遅れを生じさせます。これは、その「ずらし」を極端に意識的に行うことで、演奏を辺境のロック史のなかに位置づけようとするものです。

低音部の動きは

Ab/Eb Ab/EbAb Eb/Bb Eb/BbEb

Bb/F Bb/BbB C/G CC/DEb

楽譜の読める人、あるいは覚えられる人は、メロディーを繰り返して演奏します。

それ以外の人は、葬式ということを念頭に置き、あとは自由に演奏します。

● Like a dream

一 ↑ 一 ↓ × 2

わかる ないこと すぎる

wakaru naikoto sugiru

C Comb F F

ゆめを みるなよ いまが

yumewo mirunayo ima ga

C Comb F F

ゆめの ように なるまで

yumeno yowuni narumade

C Comb F F

ドラムは一拍子を、一つのコードにつき、4 × 2 回刻みますが、二拍目が少し前倒しになっており、四拍目は少し後ろにずれています。一拍目と三拍目は厳密にオンタイムです。四拍目の前に息を吐き切るのがコツです。それによって、針が布を縫うような表と裏の流れが生まれます。メロディーは三つの連に分かれています。歌える人は、三つの合唱隊に分かれて、それを順番に歌います。歌わない人は、リズムを演奏します。音程の選び方は自由です。

- Walking at night with my eyes closed ~ The Grasshoppers

Rhythm:

♩ . . . ♪ . . . / . . . ♪ . . . ♪ . . .

Lyrics:

目を瞑って歩く夜道は

色んな人の声色で

開いても閉じても真っ暗で

寝ても覚めても同じこと

目を瞑って歩く夜道は

パトカーなどともすれ違い

上にも下にも寝場所はなく

パジャマも上着も同じこと

目を瞑って歩く夜道を

十歩歩けば目を開けて

歌わせたものに歌われて

車道も歩道も同じこと

詩が目を瞑って一人歩きを

低音楽器の人は、夜道を歩いているところを想像し、目隠しして歩きながら弾きます

G(F)right foot 4thG(A)right

♩ . . . ♩ . . . / . . . ♩ . . . ♩ . . .

Gleft foot 3rdGleft

♪ 番目の左足が半拍

♪ 番目の右足が四分の一拍遅れます

大きく分けて、

- ・ このリズムが体に入っている人
 - ・ 入っていない人
- を想定します

次に、その中でも

- ・ 五線譜を読める人
- ・ 読めない人

がいるので、都合上のスコアを用意します。

リズムが分かって楽譜を読める人でしかもそれを低音で演奏できる人は最初に揚げたベースラインを担当し、高音で演奏できる人には譜面のメロディーを好きな場所で演奏してもらいます。

リズムが分かってでも楽譜は読めない人は打楽器的なものを担当します。

リズムが体に入っていない人は、楽譜が読めても読めなくても、夜道ですので

- ・ カエル
- ・ 虫の声
- ・ 人の家から漏れてくる音
- ・ 夜汽車

・酔っぱらいが吐く音

・店先のノイズ

・パトカー

などになつて演奏します

夜道ですので、僕は途中でラウンドミッドナイトを弾くかもしれません

舞踏で参加する人は、目隠しをしてベースを演奏しながら歩いている人の後ろについていきます。

目隠しして歩きながら演奏するのは低音のベースラインの人だけです。

最後に、夜道を終わらせるために、八〇〇倍遅くした例の虫の合唱に移行して終わりたいと思います。

演奏できるのは楽譜が読める人か、読めなくても覚えた人に限ります。パターンを覚えれば簡単なので、声で付いてくることは出来ると思います。

それも難しい人は、項垂れて、「虫の声を聴く人間」の役を演じます。でも音痴な虫も混じっていてもいいので、なるべく虫をおすすめします。

● a boogie

基本的にブギーのリズムですが、ギターの音の立ち上がりに四種類あります。

・人間 オンタイムだがふわっと弾く

・ライオン オンタイムでダウンストロークで一気にジャッジするように弾く

・雄牛 親指で低音から押し出すように力強く弾き、手のひらで止める

・鷲 オンタイムよりやや早めに、高音域をアップバーストロークで短く切つて弾く

です。

人間は愛を

ライオンは勇気を

雄牛は力を

鷺は知恵を表します。

・ ♪ ・ ♪ ・ ・ ・ ♪ ・ ・ ♪ ・ ・ ・

E A E E

A A E E

G A E E

一 拍目のベースはギターより常に先にきます。

E E A A

・ ♪ ・ ・ ♪ ・ ・ ・ ♪ ・ ・ ♪ ・ ・ ・

E A

lyrics:

And the first creature had the face of a man

(E A) E E

Yes'n the first face's like the face of an earthing man

(A A) E E

Oh the first one's face was like a loving man

(GA)EE

And the second living creature had the face of a lion

Yes'n the second face's like the face of a male lion

Oh the second one's face was like a judging lion

And the third living creature had the face of a bull

Yes'n the third face's like the face of a young bull

Oh the third one's face was like a powerful bull

And the fourth living creature had the face of an eagle

Yes'n the fourth face's like the face of an flying eagle

Oh the fourth one's face was like a clever eagle

So these are:

MAN,LION

EAEE

BULL,EAGLE

AAEE

SO that is, that is the way they were

GAEE(on time and very loud)

So these are:

MAN, LION, BULL, EAGLE, MAN, LION, BULL, EAGLE

EAEE

MAN, LION, BULL, EAGLE, LOVE, JUSTICE, POWER, WISDOM

AAEE

MAN,LION,BULL,EAGLE, MAN,LION,BULL,EAGLE

GAEE

MAN,LION,BULL,EAGLE, BULL,MAN,LION,EAGLE

LION,BULL,MAN,EAGLE, MAN,LION,BULL,EAGLE

BULL,MAN,LION,EAGLE, LION,BULL,MAN,EAGLE

MAN,LION,BULL,EAGLE,BULL,MAN,LION,EAGLE

LION,BULL,MAN,EAGLE,MAN,LION,BULL,EAGLE

BULL,MAN,LION,EAGLE,LION,BULL,MAN,EAGLE

MAN,LION,BULL,EAGLE,BULL,MAN,LION,EAGLE

EAEE

JUSTICE,POWER,LOVE,WISDOM(LION,BULL,MAN,EAGLE),

LOVE,JUSTICE,POWER,WISDOM(MAN,LION,BULL,EAGLE)

AAEE

POWER,LOVE,JUSTICE,WISDOM,(BULL,MAN,LION,EAGLE),

LION,BULL,MAN,EAGLE

GAEE

MAN,LION,BULL,EAGLE,BULL,MAN,LION,EAGLE

EAEE

LION,BULL,MAN,EAGLE,MAN,LION,BULL,EAGLE

AAEE

So that is, that is the way they were

GAEE(on time and very loud)+

()chorus

+So that is, that is the way they were
のところはオンタイムで演奏します。

ギターの速弾きが出来る人は可能な限り弾きまくります。

- アメリカンポップス風の昼休み

noon recess after american pops

リズムは普通のエイトビートで、ふつうに演奏します。

G/D C/D C A/D

G/D C/D C A/D

Em A

これは高速道路のゴミ拾いの仕事をしていたときに、サービスエリアの裏で休憩しているとき作ったメロディーです。

@arfolk また名古屋でやるときあったら

キナコマブシワラビモチガエルをお願いします

一緒に演奏するというのはとてもなくすばらしいことなんだ。生きている人たちにそのことを分かっ
てほしい。薄れていく体の中で彼はそう思った。

池は地に囲まれるが、海は地を囲む。

音楽だけが抜けている音楽と音楽以外が抜けている音楽が出会った。両者の目を耀かせてみせなさい。

ハンゲンキとジャツカドフニは読み終えましたが、ポートランドまであと五日なのでベケットは時間がないか
な

人称や結構は見事で反日の主題もそつなく、希望の無いところも娘は人間合格ですお父さん。

彼女は三鷹で母と同級だったのだ

あの上水の増水の日も母たちは見に行った

下連雀は噂で持ちきりだった

拘りには、理由があるのだ

イメージがわかなければ江利チエミや美空ひばりを思い浮かべてみるといい。あの世代がこの世から過ぎ去ろうとしているのだ。

期待された結末に対する見える実体のなさ

うなぎがヒィー

ひとつ星パンクの「ジニのパズル」は最初オレゴンが舞台ですね

毎時中央線に飛び込んで人質から気を逸らす時計を填めて出勤する消費税

BDJFm01/06/16

.....GEB

D..C..GEB

D..C..GEB

『になったのはめずらしい。しかし疲れているので実際のルート音はDかもしれない

火星の赤にホテルの青がやられて風が強い

キャルビン、参加するってよ

ポートランドは2回目、前回は帰りの飛行機が落ちればいいと思った、前回のエチオピアまた行った、シエバの女王で店、くりぬいた黒い椅子のある・・・

前回泊めてくれたグレッグに貰ったフード付きのジャケットを再び見せようと思って嵩張るけど持ってた、見回したが帰ってしまつて居なかった、ユノー、ヒーズカインドブシャイだからねとアリントンは言つた・・

植生は日本に似ていて、ひとつだつのが千切れたという大陸移動説を思い出した、千島からアラスカに至る尾を引く納豆のような列島の点在・・

さっき今沢カゲロウさんがうちに来て虫の話をさんざんしていった。

Who among you takes pleasure in life

And would love to see many good days?

Psalm 34:12

田植が終わりホタルはいなくなった。散歩してたらキツネがいて、逃げなかった。

@suzukinikikosun えつなになに？

えつなにそれ？ 食べられるの？

マゴツトのペーストみたいなの？

えっ？ 昆虫カレーじゃないの？

それはしつれいしました。

汁なし担々で山椒抜きとかいつてるやつがいる

だから広島はだめなんだ

血の婚礼 @abierio

「拉致」異論 日朝関係をどう考えるか

太田昌国 河出文庫

ロルカ生誕と米西戦争が同年、といった横断的な時代把握と、ウカマウ仕込みの鮮明な敵の名指して、

啓蒙的であるのみならず、敵への原則的な愛と自己批判も忘れないマエストロの、平易かつ味わい深い一冊。宣伝しておきます。妄想で北朝鮮をカタルーニヤ

太田さんの言っているのはただ、政治的な男たるものは国家と自分を一緒にしてはいけない、ということだけだ。それがすべての論調の底に横たわっている。そこがいいと僕は思う。

メールで崔実（チェシル）の「ジニのパズル」（『群像』6月号）は読んだか訊いてみた。訊き忘れていた。これは大統領選前の仕組まれた劇である。

「パルスのビデオ映像はどこにあるか？手を加えられたバージョンではなく、実際の映像。

「目撃者のサン・バーナーデイノは自分のアカウントで射手「たち」は白で偽装していた、と書いた3つのようにARJISを持ってクラブに入れるというのか

CIAが作り出そうとしているのはただ混沌である。複雑系に従えばヒラリーに行くだろう。confusionが墓碑銘だ。

ルネサンスとバロックを分かťものは植民地であり

ベタなアートとメタなロックを分かťものがポストコロニアルである

コンビニで買える安全なものがない。客からの働きかけによって棚をアレンジすれば生協運動以来のサードウェーブになるのに

トランプの陰謀論嗜好は三宅に有利に働くが、日本の脳味噌の座はいよいよ京都に移るだろう。

あるところに、中身が詰まったやつがいた。良い悪いは関係なく、中身が詰まっていたので、震災以降の詩文の挿絵を頼まれた。いつまで中身が詰まったままかは分からないが、とりあえずそういうことだったのだ。

CIAがやなかつた。FBIだ。

最終的にはクラリネットだ。テレマンは凡庸ではない。敏腕な古書店主が。いびつな茶碗に藍と金箔を惜し気もなく貼っては剥がし貼っては剥がし。

道連れの思想は悪魔のものだ。人の悪事は限られているがそれに晒されると無限大となる。罪悪感から皆殺し？俺なんか全人類を何回殺したことか。

もう一度言おう。最終的にはクラリネットだ。

大抵の世界は誤解されたクラリネットだ。(まーは直腸のようだ。モツ、と言ってもいい)
頂上にまで葛は登りきたりぬ

Tate@Tate

"I always go round my neighbours when they build an extension." - Grayson Perry

唯一ライバルの焼き物屋がコイツ

ナイフを持ってへビの腹の中へ

ポートランドで1ドルで買ったzine。汚い言葉を使うまいと決意したデイブ君は、一月一日から、そういう言葉を吐いてしまった時刻と理由を記録しはじめるが・・・。後半は打って変わって学術的な分析に当てられているのもクール。

G GGEbFBbG GGEbFBbG GGEbFBbG

BDIFm

今治タオルalter/nativeというブランドを考えた。

コピーは、

「雑巾にも布巾にも使える」

「砥部焼とは何か」という展示の企画を考えた。

サブタイトルは

「Tobe, or not Tobe .. that is the question」

「難波アートベアーズ」という「十二球団」系の企画モノを考えた。

ガンバとは足という意味だと聞いて、倉本君主催の、復興の足を引っ張る情けない素人古楽演奏会を考えた。タイトルは「ヴィオラ・ダ・ガンバレ日本」

楽譜には音符がなくて、「明日から頑張ろうと言い続けて死ぬ」などという指示が書いてあるだけである。

水原拡張子という俳号を考えた。

誓子でも虚子でも良かったが、三文字なので。

胃むかつく親指の下土踏まず

拡張子

「沈黙のはと」というバンドの名前を考えた。

サイレント・ダブ・オーケストラ

@artfolk 誠（クビキ）られコエンザイム飲む塩山市

次のライブは土曜日、広島マリウスでフラメンコです

ビラしか作ってないけ一検索してもひっかかりんと思います

もうすぐ夏も終わります

浜野は金の問題であるように見せかけて逃げた、あるいは潰そうとした、という印象です。

灰野さんは脇役に過ぎないし、抜けたことは別に悪いことでも不名誉なことでもないと思います。

僕は毎日自分の演奏がしたかったから場所を借りたまでで、他のバンドがやめても関係なく演奏を続けました。

機会があれば詳しく書けますが、今はそうしたことにかかずらう時間を取れません。

工藤浩巳さんは、マイナーの歴史を書きたいのならば、マネージャーをやめるべき時だと思います。

高柳の個人攻撃に溢れた文章が読むに堪えないのはとても残念なことで、それは人格的な問題としかいいようがない。

間章はその点高柳、山下、といった仮想敵を作るのがうまく、読み手は土俵に丸め込まれてしまう。

それはその下の山崎のような世代にとって悪い手本だった。山崎はたぶん間と「如是我聞」に倣った個人攻撃のポーズをさらに戦略的に使った。

それでもその世代に共通しているのは、要するに活字による個人攻撃である。

一時期、阿部薫が出版社に火を付けると喚んでいた時代、本を出すとはそういうことだった。それは過ぎ去るべき感性で、音楽を殺すものだ。

ただ彼らが唯一偉かったのは自分に対する批判を潰そうなどとはしなかったことだ。

高柳は黙したまま死んだが中傷を乗り越えて復活し、弟子たちが栄えているのはめでたいことだ。

出版をチェックして都合の悪いことは削除するという動きは今のメディア規正法や特定秘密保護法の時代に

月々しい。

自分は中傷する上の世代の仲間だと思われたくないの、気を使って全文削除してほしいと要請しているが、同時に中傷しているつもりはない発言を削除され、それを当然のことのように受け入れる麻痺した感性には、断固抵抗する。それは自分にとっては非常に政治的な行動である。

部分的な規制に加担することは、時代の気分流されて、自分の身体を日本と同一視する動きにつながってしまう。騙されて「支持政党なし」に投票してしまうようなものだ。

唯一の論理がインタヴューがマネージャーだからというのは非常に幼稚で、それは安倍が日本の首相だからというのと同じ理屈である。

都合の悪いことなので消せと言われたなら、都合悪いなら全部消してくれと返す他はない。

都合のいい本を作ればいい。僕は間章に借金を踏み倒された人々が、何も言わずに耐えて生きているのを知っているし、そうした無名の人々の側に常に居ようとしてきた。

歴史には常に犠牲者がいる。そこに踏み込まなければ正史は書けない。

マイナーの中にもアイヌや沖縄が居たということだ。そしてアイヌの外にもさらにオロツコやギリヤークがいる。要するに差別があつたということだ。アイヌが北海道は自分たちの領土だと言うのと同じ理屈で、インタビューイーに選ばれなかった者たちが、今は音楽をやめているけれども自分たちこそマイナーだった、と叫んでいる。そしてマイノリティーを全うするにはtimeのような出版形式が望ましい。そうしたアンソロジーになれば、ぼくは喜んで寄稿するだろう。

漏水秋道

イギリスはアメリカとくつついていないと野獣の二本の角の役割を果たせないで離脱したのですよ。そんなこともわからないのですか。EU諸国は所詮一〇本の角ですから。

夏至が暑さのピークではないように、迎角が愛の最大値を呼び覚ますのではない。それは遅れてやってくる。だから夏を実感するのは秋なのだ。

シギリージャ、ブレリア、ヴィダリータを挟んで、アレグリアス。

再び闘争の時代に入った。

政治の枠組みが全てであると思っている人々は正しく断罪し続ける

最近細い黄色いトンボが増えた

日本会議や日本会議を断罪する政治の悪霊が排除しようとしたのはその枠組みから外れる女子供の色であった

山崎のランナコドモというバンド名は今こそ月々しい。

三宅を断罪する正しさはその枠組みから出、彼を認める正しさもレコードショップ店員の陥る汎趣味のような川向こうの境界から来る。

「支持政党なし」党はランナコドモのアウシユビッツである。

彼らの方が白票党より真剣だ。

アナーキーは黒票党ではあり得ず、投票所爆破でもあり得ない。先達に倣うなら、例えば名称は自虐的に、「敵の思うつぼ党」或いは尾形亀之助に追隨すれば「それはこういうことか党」であろう。

ただ、言葉を弄つても政治的枠組みの中ではすぐに追い付かれるだろう。「獄死した牧野先生の夢見た世界はこんなものだったのか党」とか「昔は与党の中にも骨のある議員が居た党」とか政治的には圧倒的に正しい再領土化が始まるだろう。

哲学とは畢竟この政治的枠組みから如何に逃げおおせられていられるかという主題を巡る必敗の記録であった。

異教徒を抹殺したい原理主義者の心理状態に陥った原理主義的ミュージシャンがマネージャーを抹殺するべきであるという結論に達した。マネージャーはロック史において常に反動もしくは障害として機能してきた

た、という理由で。

かれはひとりのギタリストを見た。ゆったりとしたシャツを着て椅子に腰掛け、楽器を持つ構えにも無理がない。練習してきたテクニクの蓄積による余裕が表情にも表れている。

かれもギターを弾くが、パンクなので練習したことはない。本番前も消耗しているので楽屋で当たり障りのない冗談を言ったりする余裕がない。かれはずっと貧乏だったのでレコードを漁る種族とは会話が出来ない。

かれは四〇年前山谷で永山則夫研究会に行ったことがある。フルーツパーラーで乱射する㊦を装った永山。ハチ公前の選挙フェスで乱射する永山を装った㊦。世界はもう階級闘争の時代でさえないのだ、とかれは思う。ゆったりした種族を皆殺しにしたところでかれの夢は終わる。

下層の象徴が効力を持たない

下層の象徴が効力を持たない

㊦に扮した永山が立ち尽くしている

かなり大きなカフェだった。造作は木が主体なのに禁煙エリアは隔たれていない。一人客は窓辺に沿った長テーブルに座る雰囲気になっている。反対側には喫煙者のための設えが対称をなしている。

下層以下は認知されない。食費が無くなっても声を上げず、それはこういうことかと餓死していく。最期の消費を速めるために店の設えは計られる。

プレカリアートと定義された途端、さらに下に押し出されるようにして、チューブをはみ出たペーストのようにかれは椅子に擦り付けられる。

連日の「最期の消費」を反時給で換算する。

マイナスが成長して木になる。

その木でカフェは作られている。

それで求められるのは覚醒ではなく麻痺なので、かれが「愛媛搾り」を飲まされている。

県を搾っても血の一滴も出ないだろう、枯木からどのように樹液を絞り出せるというのか。

テロリストが原発を爆破するのではない。原発がテロリストを爆破するのだ。テロリストが原発の血で汚染されるだけなのだ。

下層に血はない。流れているのはリン酸塩とアステルパームとポストハーベスト農薬である。

下層の脳はコンビニの棚と同じ設えになっている。

下層はゴジラと同じだ。放射能を食べて生きているからである。

テロリストは学校給食のように押し並べて汚染される。テロリストは原発の食中毒である。

原発は存在しない。

下層の下は存在しないことにされているからだ。

世界にはテロリストしか存在しない。

カメレオンの面々が別マデサバゲーやつてるようなずれ込みかたで、下層は兵隊に取られた。

いまの日本会議によるテロを文春革命と名付ける。アジア史的には文藝春秋戦国時代である。

そこでは誰もがおっさんであり少女であり元ヤンであり、一億総テロリストである。

人生に深みを与える唯一の手段が軍隊であると下層は信じ込まされている。

しかし戦闘のコミュニケーションよりも、倒錯のコミュニケーションよりも、さらに難しく深い行為とは隣人と会話することだった。

今日の飛行機は酢酸撒いてないな、と下層は空を見上げる。

早く殺して欲しいのにな。

植木屋はいま昼間働いてはいけない。地球はそのような労働を欲していない。百姓がそうしているように明け方にやるべきなのだ。冷房を二〇度にして風邪を引いた家主がかれのコーヒーに咳を飛ばした。

ガラ刑はトラック一〇まで進んだ。その間外に居た植木屋は夕方ビールを飲んだだろうか。

だが日本にビールは存在しない。似た缶はコンビニに並んでいるがそれは輸入物のコーンスターチを使ったジェノサイドの道具に過ぎない。植木屋は昼に殺され、夕方に殺された。その間ガラ刑は一〇トラック進んだ。

三分の二で議決され、国民投票過半数で改憲となる。下層は改憲前でこれだけひどいのだから改憲してもこれ以上悪くはならないだろうと思って面白がつて放っておく。恐らく来年に改憲となる。下層のために唄が用意されるだろう。

国家を意識しなくなった時に残るのは自治会やローカルなコミュニティだけだ。それをナショナリズムから分断しなければならない。かれはムシさんから送られてきた素麺を近所に配る。子供は山に逃がさなければならぬ。例えばグラインドコアのコミュニティにその力はない。

マンションの踊り場から下を見ると、逃亡中の男女が捕まって殺されようとしている。石があったので衝動的に殺そうとしている方に投げ、結果は見ないで部屋に閉じこもりテレビを点ける。投票したのだ。

政府はテロが何より好きなので、下層がテロテロ言うのを喜ぶ。皆にテロリストになって欲しいのでわざと悪人のように振る舞ったりしてくれさえる。なるべく沢山の人を道連れにして死ぬことほど大きな快感はな

いからだ。

夢魔の領域が両側から攻め取られ

収容所は消滅した

脳の中にそれはあったのに

吃音の男も滑舌が良くなり

明るさは十数年の皺を際立たせる

ころころと一〇年代は過ぎ

敵も味方も明るみの中できらめいた

リヤガーデンのない家のように

私達の領土は闇を浴びている

その銀の中で爬虫類の

頭から地軸が生え出ている

その線は折られるか

闇によって折られるだろうか

きらめくような分かり易さの中で

鉦山主は名指しされる

青草は干からび花は枯れる

両側から挟み込まれていく夢想の領土で

それぞれの側から見た言葉の方式が

骨組みだけになった二つの家のぶつかり合いのように

明るみの中に線の音を立てる

口とんがらかして歯ぎしりして寝ていたので窓開け虫受け入れる

安全が演壇に立った

応じながら雨に降られて

見方から風に吹かれる

ありのままの裸を見せるのが恥ずかしい

無花果 covering は衣服ではないのだ

皮の長い衣 long garment は踝まで到達した

荊と薊の作業場としての地球で

過渡的な障害として作業着屋がある

転落事故の顛末

燭の中でエテコは微睡む窓のところで

ぜび落ちて

鍋の中に死が入っています

コヤシントウリという下剤を知らないまま

human errorというもの

どうぞ、ほんとに気をつけるようにいたしましょう

坑を掘っている者は自らそれに落ち込み

石壁を打ち破っている者は蛇がこれを咬む

石を切り出している者はその石で自分を傷つける

丸太を割っている者はそれに対して注意深くなければならない

そうしてくださることを信じています

丸太がそう言う

死は騒げば大きくなり、静かにしていれば小さくなる。だからいま死は公平ではない。本当は、雀一羽墜ちても空全体に叫びが上がるのだが。

発展途上国

民族衣装の残像の中で糸が絡まって

声を乗せるサーフィンが始まった

端数に誤差がある可塑的な重装甲車

ここまでにしましよう

人が住んでいるところすべてを惑わしている

竹林、判り易い白い石、（石灰？ 瑪瑙？）バス亭

きびきびした 曇天の滴り

タクシー 電車 バス

来てくれてありがとう ではなかった、細工し易い白い石

ある一本の管が間違って震えた

白檀に穴が空き

うっすら汚れ

エリート主義

韓国に出稼ぎ

韓国軍はカンボジアで

木彫りの顔の身近な

もうほんの少しすれば

あちこちで

死者を場所と結びつける大きな誤謬と「対話」してどうしようというのか。死者とは心の中に生きているもので、国家とは一切関係がない。騙されている者の心情を理解することと、霊魂不滅の土俵で政策論議をすることとの間には命に関わる隔たりがある。

犬猫や人間の殺処分に関する論議を国家の枠組みの中で行うことは無謀に近い。国家とは主に殺処分のために存在する暫定的な機械だからだ。仮に法案が通った国があつたとしても、それはさらに大規模な他国での抑圧の犠牲の上に成立する一瞬の棲間に過ぎない。

分断工作は必要ない。政治的枠組みの土俵に囚われ、左側に坐る者達は、必然的に分裂するからである。ここで、正しさは弱さ以上の意味を持たない。強く間違つた工作員の正論は、弱さを攻撃すること「正しくなさ」の正当性を書店に拡大していく。

コンビニ陰謀論と書店正論は同じ存立平面上に置かれている。

敵対者たちは分裂しない。一団となって立ち構えるのは常に国家群である。故に大同団結が機能するのは与党連合に於いてのみである。沖縄にとって政治的枠組みの中で生じる分裂は常に我方^ごに於いてである。

民主主義に奴隷は含まれない。故に予定されている国民投票では誰も投票出来ない。「愚民」さえ存在しないからだ。

以前ならコンピニ陰謀論を批判する健全な言葉の型がまだあるように見せかけることも出来たが、牧歌的な季節は東京ではとうに過ぎている。敵にとつてはその史観が正しいかどうかは問題ではない。領土を持たない者同士を檻に入れ、支持するしないという幻想の聖戦を行わせたいだけなのだ。

良識の府という幻想の中で戦わせられているのはISと非ISである。両者共に領土を持たない。だから参院とはゲリラと難民の見世物の府なのである。見物人はローマ市民である。

行かねば

息子を焼きに行かねば

大船山のふもとで

薪を組み

溝に水を満たし

樹々のみどりを凝視めると

ネムノキが伊予万才を踊っているではないか

人生は炭にするな灰にしろ

サンソが言った

それっきり山羊は見つからない

日本列島の半分は無党派層が自治を行うのはどうか。但し選挙に行ったことのない人に限る。

双方失敗してやっと分かるだろう。政治形態に関して言えば人類史は必敗の記憶に過ぎない。

政治的枠組みの愚かさは論外として、もう一方の無政府側の必敗の理由を述べる。土壌は共同体を養うほどには回復していない。自給自足は地球規模の分配によって計算上は現在も可能だが、政治勢力がある限り分配は不可能である。そして人間じしんによって政治勢力が滅ばされる可能性はゼロである。

党派層と無党派層は終わりまで共存する。混じり合わないのは双方の夢想だけである。銀行と自然農は最後の最後まで物理的に地球の一角を占める。男たちは、このまま、立ったまま朽ち果てるのだ。

下層は、どちらかに吸い上げられるだけの存在である。下層を下層として革命あるいは覚醒の主体とする思考は潰えた。その意味で、下層と支配層の区別はない。絶望の元に平等だからだ。支配する者も、支配される者も、男も女も子供も老人も善人も悪人も共に滅ぼされる。なぜなら、自治に失敗したからだ。

政治的枠組みの中で間違っていることを間違っているということは愚かなことはない。相手に立つ場所が無いことを嘲りながら、自分の足元にも場所がないことに気づいていないからだ。政治史そのものに正当性が無いのだから、陰謀論など間違っていて当たり前ではないか。

もはや対話はない。立場を乗り越えた政治的対話は存在しえない。下層奴隷ヤンキーによる暴力はあるかもしれない。それは支配層の平和にとってはむしろ望まれるところだ。ISは平和の象徴なのだ。

憲法がいろいろという人が多いけど、ぼくは最初に天皇が出てくるだけで嫌だったぜ。護憲は退行に過ぎない。だから改憲は退行の退行だ。ぼくはそもそも憲法なんて要らないと思う。人が人を縛る言葉を造れるわけじゃないじゃないか。

憲法なんてぼくが作ってやるよ

第一条 日本国民は日本国民であることを止めなければならない。

以上

無党派層は虫を食べろ

被爆が原因で死んだ者はまだ居ないというあちら側の気違いじみた言い分もある意味正しい。我々は原発によって死ぬのではない。被爆の程度の大きい者も小さい者も、自治の失敗によって死ぬのだ。

そんなことを考えながら山道に死体を埋めた。

やだなあ、詩ですよ、詩ですってば

でも健忘症なので、と繰り返した

そんなことを考えながら山道に死体を埋めた

木と木の間に、黄色いクリーム色の炎が踊った*

それからコンビニのフリーwifiを

トッピングで不味くしたカフェラテに流した

強い者が打ち負かされる時

その痛みは省みられない

苦痛とは常に味方の苦痛なのだ

私が埋めた私の痛みが

地面から叫んでいる

* 脚注

空色の人工物であるクリームを

木に擦り付ける

それによって蛾の卵は隠された

両生類は沈黙した

道は蛇行して山を這い上っていた

折れ曲がった陽だまりに

健忘症の元首を埋めたのだが

元首はそのことを忘れたのだ

実写の炎はいちばん炎に似ていない

反歌

オリジナルの氷結は9%のに比べてアセスルファムとか入っていないからいいんだよ、とぼくは明仁に言った

元首にされるのは嫌だから玉が抵抗を試みたというのはきつと違うと思う。長州による暗殺を恐れた、というスイス銀行絡みの陰謀論も違うと思う。英連邦内の離脱といった感情のエピソードというなら許せるがそれは世界史的には重要ではなくなる。重要なのは支配者層と悪霊の演劇だけなのだ。

おそろしい楕円の月だ

もと来た道に戻るのがおそろしい

田圃が四角なのがおそろしい

まきちゃん家の二階の灯りが点いているのもおそろしい

用水路の水のごぼごぼもおそろしい

おそろしいことだらけだ

後ろから絶対なんか付いてきてる

シャブやってるわけじゃないよ

水に月が映ってるのがとくにおそろしい

月と草がぐるになって敵対してる感じ

蛙も変にスーサイドだし

電柱も今日はなぜかまっすぐ突っ立って

見えなくていいと思って寝ていた

雑誌を落とし

濁った青空に寝転んでいた

城から城

コンビニからコンビニ

下痢した昆虫を連れて移動していった

寢覚めは

一〇時らしかった

異星の墓で草を刈った

シンボルのない病院で

うた声は

のびすぎたイネ科

緑陰は裂けた口

失敗した歌をクラシックのいやらしさに対峙させる

旅館の植物の迎合を髪切りの友好的演目に重ね合わせる

停止線の北欧の軽さにトイビアノ型の小麦反对デモの味覚

落ち窪んだ満月

自作自演共和国偽旗慎之介は

翻弄されたアルザス炉れ一めで

愛の雲間(雲間)の源流を唄った

翻弄された桶狭間が風に熱を奪われ

南雲は近づくアンリデマレ及び合唱団

対馬故に免れたいやらしさ

赦しをもらうための曲作

主よそんなに激しく咎めないてください

狭間から駆け落ちするデマレは

一方に肥大する毛利陰謀論の右頬を扇風機に当てて寝落ちし

一方にドイツの白に観念する左懐の恋人岬

一八歳の修道女マリーマルグリットと脱北脱南

対馬海流を逆走

パロックの終わり

迎合と孤立の狭間で

腐敗と発酵の狭間で

梅雨明けの魂に黒を飲ませる

社会彫刻としてはしごしているのだ、とてぶは応えた。

水曜に発売されるのはいつもそんな半ばの永遠だ

わたしより生き残った方がいい人はいるけど

月はわたしのもの

肩の上に首が乗っている

スイカのように

夜の鷺はギャーギャーうるさい

カエルのほうがその間はまだのどかだ

舞台の上にスイカが乗っている

スイカは聴て転がる

機動隊と米兵は全員ハブに咬まれて死んだ。残された家族は悲しんだ。

アーノンクール最後の仕事はベートーベンの莊嚴ミサ曲

それにブレーズをぶつけてきた。アドルノだな

それにボウイとカトリックからの返答を加えれば関ヶ原だ

大里はここまで来なかった

ディレクターントでは駄目なんだ

This is the dayの危うさが分かるか？

聴いていて最も殺意を覚えるのがセツナでさえない二時台のジャズである

戦後の音楽がセツナであってはいけないという反省であったとしたら、六〇sは反動であった

ロックと現代音楽は絶対に相容れないものだ

だから南波アートベアーズは引き裂かれたアーノンクール版ミサソレニムスでなければならない

虫が多すぎる

字がうてない

まきちゃん家の灯りが消えた

大艱難の前に微調整を続ける

視覚を用いたマークシート方式的な認知コントロールしか効かないほどに私たちの聴く力は退化している。それで、日本語による美の彫琢は終わっていることに私たちは気付く。日本文学は終わった。終わりまでのわずかな間、日本語による文学表現は難民文学のみとなるだろう。

日本会議的な文章表現は最後の反動としてしばらくの間存続するが、小説の力は移民、難民による日本語の

使用のみに顕在するだろう。そして私たちの伝達は視覚メディアへの移行を完了させ、関心はもつぱらアジア、アフリカ、ラテンアメリカの同様のコレクティブとの連帯に向かうだろう。

いま、高江に在る前線を共有せよ。総括は必要ない。視覚は総括しないからだ。

牢獄の中で蹲って眼を閉じてはならない。窓の外を見よ。ただし景色を見てはならない。景色は生活だからだ。その向こうの、見えない希望を見よ。日本に希望がないことのみが希望である。

忘れたい過去があっても忘れようとする必要はない。そこにエネルギーを取られてしまうからだ。未来に、見えないものに目を向けなければならない。いま見えているものは希望ではない。日本が存在しなくなることに想像力を働かせなければならない。

希望は絶望に似ている。未来という点で、それらは同じものである。ただ、私たちを前に進ませるのは希望だけなのだ。日本語表現による話者の転換が、メタ言語のレベルで行われていなければならない。それを司るのは脳内物質の映画である。

健常者心配停止都知事選

難民移民代わりの偽旗

草むしりなどは朝ごはん前にするものだ、と百合子さんは言われたわけだけでも、

草を刈るとトンボが目茶喜んで集まって来た

四七番札所の八坂寺方面を上りながら考えた。あの山肌もあの山肌も知っている。

分け入って。

対話が本当の意味で不可能になっていく。もうすぐメッセージは一転して裁きの宣告に変わるだろう。

本来は弱者による「それはこういうことか自殺」が支配者に脱領土化されたのだ。弱者はそれを引き受ける

ことで弱者としての自分を再領土化し、自覚的な奴隷化が進んでいく。「死は最後まで自分のもの」はこれで完全に機能しなくなった。上にあるものは下にある。色を変えて。

ドイツのは自爆だし見えすぎるし話題にならない？ 同盟国だったのに薄情すぎやしないか、ところでオトノタニはリストに入れてくれますか。え！？ りっぱなフェスですよ心外だなあ。警備もないよ乱射し放題。大垣から乗せて行ってやってもいいよ。サイファーもあるよ。0 はきみらが発明したんだから

猫に足つぼしてやったら効いているぽかった

検索してみるとやはり研究され尽くしていた

しんくんはけんじょうしゃだったらさぞかしりっぱなアニキだろうしんくんのおかあさんは相模原の話になつたらみちのまんなかで泣きだした

時と予見しえない出来事はクローバーフィールドのように臨む。

都合の良い間隔で事件や災害が起きるわけではないのだ。

処理能力が飽和すると心は弱くなる。

どちらかというそちらの方が問題だ。

今こそ机を設えなければならない。

簡単に言うとか家賃の見通しが立たず他のすべての問題はどうでもよくなっているだけだ

飛び込むかなかな周波数

じぎやくわかるめー

タンブラーえいぞうやろう

なんかみずのみたいすよねー

コンビニで水かっつてのむとかへんなくにつすよねー

おれらいどつすよいど

あきやまさんは大物の器体に武者絵を描くが節約のため服を着ていない。たまにやくざが買う。やくざは車を停め、兎に角一番高いのを買つてこいと子分に命令する。

峠の気温は二一度

ここは二五度

ジョイフルの朝食は二四時間

allday breakfastはworking-classの象徴だった

あきやまさんは精神において下層ではない

たぶん外食しない

ドリンクバー付きで三九〇円

それが二四時間

豚汁には一味が付く

下層唐辛子

下層のささやき

下層の表現に金は関係ない。地金がないだけで、下層の方が金遣い荒かったりするから。

下層アム・ハーレーツとは「それはこういうことか層」なのだ。

そう考えると人はなべて下層である。ヤクザも安倍も植松も。山猫は誰か。

アランベガには地藏に手を合わせる式の信心があつた

ボトルをぶれないで轆き上げる

EMU用のモランディのシリーズいったん終わる

モランディは瓶を白く塗っていたということです

余計な反射がいやだったのかな

オスプレイの音でトラック作ってよ

ヘリの音って胸に隙間が空くみたいでしょ

それに自分の自爆テロの音を被せればいい。ギターなんてもうダサイよ。ヘビメタ以外使い道ないっしょ

わたしたちはまるでささやきのように自分の年を終えたからです

自分の目を数えることをわたしたちに示してください

光束夜やめて熱帯夜にすれば

スガルものを見せられても

微調整続きの貧困は

漏水秋道@decablisty

精々自制することぐらい

生まれてから一度も

投票したことがない

タヌキが死んでいた。六本松スポーツ少年団が終業式で表彰されたのは、被差別区域である頭へ向子供会と集会所で交流会をしたからだ、と囁かれた。その日は雨が降っていた。駄菓子で笹に盛られていた。由美がその時は居たかどうかは覚えていない。意識したのは中学に上がってからだ。

ハンカチ落としをしていた。後ろに置かれることが多い者は目立った地位にあるか、容姿が整っているかのどちらかであるように思われた。

「応答」に触れても画面に変化なくカイロみたいに熱い携帯

蜘蛛の糸貼り付く熱い闇に行くメールの返事は「どねきよ」と返す

永いわねまだ咲くのわたしきらいよノウゼンカズラ暑苦しくて

赤カンナきみたちは処女ではないな

かなしみラッセラッセラ

あんさんもジャブ断ちしてみなはれ

コンビニの前に坐ってペヤングのお湯を捨ててる我ならなくに

いまとても大きなイノシシに会った

どねきよは「どうですか今日は」という陰謀論のメッカ光市辺りの方言らしい

と東が教えてくれた

タタリ

ポップ・タタリじゃ

ビール買っていてですか

神戸の異人館回りじゃイノシシは珍しくもなんともないけど砥部じゃ珍しいんだぜ。山になにがあつたのか。わりと白くて大きくて、ジブリのほら、なんとかみたいだった。

解体して皮を剥ぎ、着物を作れ。

塩がない場合は、内臓を擦り込め。

食べるのは、イナゴと蜜だ

エビと変わらないっすよ、はつきりいつて。

玉虫みたいだけど丸まらないやついるじゃん

あれって人気ないよね

よいか四郎あんなやつになるではないぞ、とか言われて育って、大人になってから玉虫と違った偉大さに気づく、みたいなもの、

ないか

あるといいね

あ、字打ってたらどっか行っちゃった

あ、いた

遠くて、さらに何をそんなに急いでいるのだろう

なにかを暗記するということは久しぶりだった。昔のマハラトで、マスキルである。今で言えばゴスでイーモでコア、みたいな呼び方である。

：それは必ず速やかに過ぎ去り、わたしたちは飛び去ってしまいます。

あ、母の友達の、郵便配達の人とすれ違った。

隣の山本さんは働いてなくて、家の周りの雑草取り以外は毎日輪投げの練習をしている。輪も棒も手製である。

鏡を見ずに髭を剃るのはひとつの訓練だと思う。

うちの洗濯機の横には包丁が置かれている。人を刺すためではなく、石峽を刀削麺のように削りながら洗濯しているからだ。

ゴミ屋敷の人ほど優しいというし、部屋は散らかっているが、コンビニの空の容器や尿を入れたペットボトルが転がっているわけではない。頭のなかで、曲がこうなっているのだ。

夏になって初めて冷房を入れてみた。かからないので壊れたかと思ったが、リモコンをよくみると暖房になっていた。

と思ったら冷房でも効かなかったので室外機を見たら葛が入り込んでいた。覆いを外して弦を引き抜くと果して直った。ノイチゴに腕を傷つけられた。いいところは高いからセブンの麦職人だとも言うがローソンだったので108円の親会社ニッカのやつを買った。贅沢をしまい罪悪感がある。

ハウスマネジメントに於けるモンロー主義的自衛の結果いいなものは将来への投資と位置付けられるもノイチ

ゴに噛まれた腫れてきて腕は内需拡大死にたくなってきた

シンゴジラ変態前ツチノコみたいでかわいい

ここまでは日本のジブリ段階を表しているに違いない。

ジブリ段階ではツチノコゴジラと少女が友達になり、鍵を握るのである。ところが官邸前ゴジラコールに象徴される下層の喜怒哀楽は完全に無視される。ここでは地の王達が一団となって立ち構え、ゴジラ神に敵対する状況が描かれている。下層の物語に着目する思想はとうとう失われたのだ。

フクシマによって日本は戦後を終えたのである。

それが日本に落とされた三つ目の原爆だったのだ。

二つ目はカテキズムを暗誦し禅寺を装ったあそこに毎日行こうと言う子らの上に落ちた。彼らの数は多く、学年二学級の内一つはきりしたんの組であった。アメリカは彼らを狙って上からあとみつく爆弾を落とした。あとみつくかとりつくかとりつくあとみつく

一つ目は構造主義的レイヤーのお好み焼きの上に落ちたと思われているが、実は逆である。関西お好み焼きの上に原爆が落ちて、構造主義的レイヤーのスカスカになったのである。彼らは、原爆を食べているのである。

まとめると、一つ目は関西風お好み焼きを終わらせ、二つ目はクリスダムを終わらせ、三つ目は二ホンを終わらせた、というわけね。石原さとみ談

冷房の、醤油のような風

Every Song I've Ever Written - Band Night

2016.9.18 SDLX

<http://www.everysongiveverwritten.com/en/songs/nectar/>

に挙げられている58曲を、一曲につき30秒以内、指示されたアクションに基づいて数人で「演奏」する

基本となる舞台装置は、曲目のイメージを元にして発想されました。先の尖ったゴム質に見える等身大の銀の棒が林のように立っていて、その根元を発砲ウレタン（工事現場でよく見かける黄色い充填剤）が洪水痕のように覆っています。発砲ウレタンは、種が撒かれるジェイコブという土壌を、銀色の棒はそこから屹立するかれの意識を表しています。そのセット全体はshow bizに取り込まれているかもしれない彼の、あるいは彼以外にも含む邪悪な世界全体を表します。

それに詩の中のフィクションとしての失恋体験が加わります。そのアクションはおもに銀の林の前で行われますが、銀の林に抵触する度合いが知恵と呼ばれるものに重なりあるいは重ならない様相がかれの黙想と麦としての成長の度合いともなって測定されていきます。

購入・制作が必要なもの（協力してくださる方はお知らせください）：

- ・封を切つてない強い酒（アブサンとか）
- ・ブルーシート（3 x 2 m程度は必要）
- ・スチスチーブ状の孔の開いたコルク質に見えるマットのようなもの（コルネリ）
- ・紙を巻いて作った棒（ダークスーライ）（柴田原田）

→ 棒に塗る銀の塗料(柴田 原田)

→ 「La musique」で書かれた「メヤン」数人分

→ カルネリさんが布で作って安全ピンで留めるのを作ってくれるようです

→ スプレー式アルコール系消毒剤 (鈴木)

→ 発砲ウレタン(柴田)

→ サーチライト替わりの光源 (佐藤)

→ 「わが闘争」と「不死の人」(高橋)

→ PC画面の文字を映し出すプロジェクター(SDLX)

→ マイク、マイクスタンド、Fender Twin Reverb(SDLX)

→ 粘土で出来ているかに見える手紙(小関)

→ 血の付いた鉛に見える手紙(小関)

→ 蚕を揚げた菓子 (土藤)

→ 白いシート2枚 (山本)

→ 濡れたマツチ(愛子)

→ 契約書に見える紙 (土藤)

↓ズボンのベルト(土藤)↓

↓映画館のポップコーン(それらしいを作ってもいいです)(コルネリッ)↓

↓簡易ガステーブル(田村)↓

↓フライパン(コルネリ)↓

・大きな目の氷(もしS.M.が業者から配達してもらっているのであれば、もらえるかも)

↓背中に付ける羽(原田)↓

↓白と黒の紙吹雪(ライトアップされる)(コルネリ)↓

↓バックパッカー用のリュック(愛子)↓

・五円玉7つ一円玉7つ

・蟬の抜け殻(これは近所のルミちゃんの宝物を預かりましたがそれは抜け殻ではなくクマゼミの死骸なのでみなさんはさらに探してみてください)

↓レナード・コーエンの「Various Positions」のLPやCD(土藤)↓

↓エスプレッソ用デミタスカップ1(小関)↓

・エスプレッソ用デミタスカップ1

・オーブンカフェにあるような椅子とテーブル(書き割りでもよい)

↓自動小銃(ギターで代用してもよい)(佐藤?)↓

・綱引きに使用してもいいようなギター（山本さんがカープのステッカーの貼ってあるやつを拾ったのがあるそうです）

・ロブグリエ「反復」（高橋）

・ウエルバック「服従」（徳井さんが探してくれるそうです）

・ソニー（SDLX）

・学生服（鈴木さんがズボンを持っているそうです）

・学生服の上着

・竹ひご（ウレタンに刺して小さな橋を作る）（コルネリ）

・テープ（6秒以内に橋を製作する）（コルネリ）

・ISかPussy Riotのようなフェイスマスク（田村）

・ISかPussy Riotのようなフェイスマスク（佐藤？）

・犬をつなぐ紐と首輪

・入れるとカランと音がする貯金箱

・シャッター音のする写真機然とした写真機（小関）

・麻布（コーヒの生豆を入れるような）（上藤）

・綿素材の等身木の人形(原田)

・大きめのカッターナイフ(ワレタンを切り分ける)(コルネリ)

・松葉杖(本物でなくてもよい)(高橋)

・松葉杖(高橋)

・松葉杖

・泣顔の面(小関)

・泣顔の面(ホーリーモーターズの運転手が最後に付けるみたいのをイメージしていますが好きに作ってください)

・ぶどう(小関)

・いちぢく(小関)

・ぶどう

・いちぢく

・籤参加者人数分(購入した竹ひごの先に色を塗れば使える)(コルネリ)

・右投げ器(コルネリ)ただし紐ではない)

・右投げ器(紐状のものでつくる。ギターのストラップとかで代用できるかもしれない。「投げ器」で[主](#)を参照)(半チャーハン)

・石投げ器（紐状のものでつくる。ギターのストラップとかで代用できるかもしれない。「投石器」でwikiを参照）

・小石に見えるものも個々らい（棒を倒す硬さと重さが必要）（小関15個くらい）

・小石に見えるものも個々らい（棒を倒す硬さと重さが必要）（コルネリ？）

開演15分前

アンプは後方に、マイクは方向性のあるものと全方位性のものでひとつづつ、前方に置かれている。それを意識して演技する

舞台に養生のためのブルーシートが敷かれる

その下にスイスチーズ状の多孔質の紙？素材を仕込んでおくが、ブルーシートほどの面積は必要ない。あとでブルーシートを一部捲つて、それを見せるだけなので。

ブルーシートの上に先の尖ったゴム質に見える銀色の棒を二本ほど密集させて立てる。棒の制作は二日以降の夜、路地と人で行われる。発砲ウレタンを上手側から押し出して銀の林の根元に押し出していく作業をすでに始める。

前方にソファが置かれている

アプリ“snow”で久保田と愛子は互いの顔を入れ替えて遊んでいる。その画面を前島がビデオで撮り、プロジェクターで壁面に流している。

久保田の顔はやがて髭面に変換される（当日まで伸ばしていても可）

開演

ステージ上方に曲ごとにタイトルと演奏方法が映し出される。

プロジェクター操作：前島

セミの抜け殻などの細かい小物の動きをビデオで撮ってリアルタイムで拡大して映すのはとりやめました

タイトルは英語のまま、演奏方法は仏語。斜体部分の仏語訳は徳井さん。

一曲は30秒以内で、ひとつあるいはいくつかのアクションで成り立っている

30秒経つと音が鳴らされ、次のアクションに移らなければならない

トライアングル？を鳴らす人：前島

楽器あるいは音の出るもの（鈴とかカズーとかトランペットとかアコーディオンとか？）を身に着け、身体の動いた時に生じる音を演奏にするつもりで動く

劇に上乘せするかたちでの音楽は演奏しない

舞台上の人やスタッフは「la musique」と書かれたTシャツ（布でもいい）を着ている

01 Nectar

除菌されたひきこもりを表現する。人が銀の林の後ろに隠れていて、それに別の人がアルコール系脱臭剤をスプレーする。

銀の林の中には封を切っていない強い酒（が置かれている）

林の中に酒を置く人：工藤？

銀の林の後ろに隠れている人：久保田？

スプレーする人：鈴木？

酒の封を切って飲み干して死ぬ人（オプション）：久保田

02 The Soil of my Soul

上手側から発砲ウレタンを銀の林の根元に押し出していく。銀の林の中央近くまで及んだところで止める。

この作業をする人：工藤

03 The Kings of Electricity

3人の人が、ジェイコブに *I am your father*, と言う

（仏語訳はジェイコブに、だが実際はジェイコブ役の久保田に向かって言う）

久保田、愛子、大谷？

04 Last Days

銀の林を都市に見立て、サーチライトのような光の束が下方から縦横に当てられる

この作業をする人：佐藤？

05 The Forger

工藤さんが「船の中のプール」を唄う

演奏する人：参加者全員

サビのところだけ演奏される

バイオリンはスコアがある

船の中のプール 私の中のひとみ

Em C7 Em C7

肉の別れ 体のともしび

C Em C A

06 The Warden

アドルフ・アイヒマンとボルヘスは合体するか。「わが闘争」と「不死の人」を切り裂き、合本にする。あるいは砂の本をめくろうとする。

やる人：高橋？（本もつたいないのでやるまねでもいい）

07 I've Seen It All

トレパン姿の伊地知さんが劇団員の発声練習の要領で、「あ、え、い、お、あ、う、眠れぬ夜を眠り」云々と言う

伊地知

08 Heinous Crime

木股展の**bbs**が映し出される

<http://6908.teacup.com/kimata2015hakata/bbs>

さらにモントリオールは犯罪名が列挙される

détention arbitraire

Larcin

Détournement de fonds

Faux prétextes

Réception de biens volés

Vol avec effraction

Vol qualifié

Extorsion (chantage)

Voies de fait

Batterie

Mayhem

Enlèvement

Incendie criminel

Trahison

Parjure

Entraver la crainte ou la poursuite du felon

Dissimulation d'un crime

読み上げる人：徳井

09 The Relationship

寝ながら、肝をかきながら、吠える。

yesとnoを同時に言う

久保田、あるいは工藤がyesとnoを同時に言う芸をする

10 Unmailed Postcards

一人が粘土を渡すと、

もう一人が血の吹き出ている鉛を渡す

久保田、愛子

II The Place & Time

ジェイコブの処に行きジェイコブ！ジェイコブ！ヒュー！ヒュー！とエールを送る

全員

12 I'm Just The Talent

韓國の「国定中学校国史教科書」を読む

이평장이며 국내에서 항일 정의를 전개하던 영권 안중근이시,

uibyeongjang-eulo gugnaeoceseo hang-il jeon-eul jeongaeago issdeon anjung-geun-eun,

義兵將として 国内外で 抗日 戦を 展開し ていた 安重根は、

우리 나라 천만에 영웅정권 이룩이룩부미가

ui nala chimlyag-e apjangseossdeon ito hiobumiga

わが国 侵略の 先頭に立っていた伊籐博文が

러시아 대표와 회담하기 위하여 하얼빈에 도착했을 때,

leosia daepyowa hoedamhagi wihaeyo ha-eolbin-e dochaghaess-eul ttae,

ロシアの代表と会談するためにハルビンに到着したたとき、

그를 사살하여 민족의 독립 의지를 꺾어버려 국영 주정당(1909)

geuleul sasalhayeo minjog-ui doglib ujileul bunnyeonghi boyeo jueossda(1909).

彼を射殺して 民族の 独立の意志を 明らかに示した(1909年)。 (p. 238)

両国語を同時に読みます。

韓国語朗読：コルネリ

日本語朗読：徳井？

蚕を揚げた菓子を食べてみせる

工藤？

13 I Make The Bed

シーツを床に敷き、それを凝視する

久保田？

14 Literature

濡れたマッチを擦って失敗しそれを銀の林に投げる

愛子

15 Hand on the Fader

*Sisy*と言われて待つ犬の真似をする

久保田？

16 I Made A Decision

銀の棒のひとつに契約書を挿す

久保田？

17 Crooked Timber

足を頭の後ろに組む踊りをする

高橋

18 One Million Panaceas

ズボンのベルトを外し、それでシーツを打ちながら皺を伸ばそうとする

久保田？

19 Date Movie

映画館のポップコーンを頬張ってにやにやする

コルネリ

20 The Opposite of Irony

簡易ガステーブルとフライパンで氷を焼く

耳朶で火傷しそうになった指を冷やす、という演技上のクリシエを使う

伊地知

21 The Double Bed

シーツをもう一枚敷く

愛子

22 Everything and Everyone

男は羽をつけて這いずり回る

はいずりまわりながら皆に挨拶していく

その表情は難しい

久保田？

23 Polyester

二枚のシーツの下に男女が潜り呼吸をする

久保田、愛子

24 Salvation

白と黒の紙の雪が降りそれに光が当たる

紙を降らせる人：コルネリ？

光を当てる人：佐藤？

ステージを暗くする照明係：工藤

25 Here's to a Long Life

銀の棒の根本を丹念に触り、それがどうやって立っているかを示す

久保田？

26 Life After The Charts

目隠しをして銀の棒の林の背後に隠れ、おとなしく素直に笑う

久保田？

27 Instead Of Me

女はリュックを背負ってSDLXを出ていく

男は蟬になって仰向けに死んで歓喜して蟻に運ばれていく

女：愛子

男：久保田

蟻：手の空いている人

28 Do You Love Me?

シーツを折り畳んでマットとする。そこから女は出ない。女は男に手を伸ばすが届かない。その周りを蜂のように飛び回っていた男はやがてマットに坐ろうとする。そうすると女は男に唾を吐きかける。

久保田、愛子

29 Cut Glass

男が女の口に五円玉を7つ投げ入れる。女が男の口に一円玉を7つ投げ入れようとするが逸れて入らない。

久保田、愛子

「カットグラス」

朝から口論して7・0でぼくの完敗 悔し

お一怖 そんなに嬉しい？

半日使ったもんね

理屈はいいから

ぼくのぐちゃぐちゃ言ったことも参考にしてよ

犬も食わんというじゃないか拘泥するなよ

こんな会話、多面的で意味ありげに見えるけどダイヤモンドじゃない、ただの八方美人のガラスが光ってるだけ

理屈の結構を優先して、完全な絶望の理論をぶち上げてる

献身も、愛もなく

「だれかがパニックってるぜ、雷に打たれて」

「気にしないで、見なかったことにして」

見ろよ血を流して、ねじれてるんだぜ、

それが分からないままこういう会話を続けるのかい

そう、その時まで口論を続けるのかどうかは、きみが見るもの、アウトプットするものにかかてるんじゃないのか

芸術の形式は古めかしい、患者みたいに辛抱強い

酔っぱらった芸術ドライバーたちは車線をそれるけど

そういうことは心配なくていい、ただ強盗映画を見て、ヒットシングルから学んで、痛みを慕って

行ったことのない宝石店に足を踏み入れる時みたいな

カフェイン中毒の画家の絵筆みたいな衝動、どっから始めたらいいのかわからないけど、とにかく始めてみようよ

皮肉のコーヒーに浸された結婚の誓いだけど

とにかく目を閉じて、ちょっとどうなるか待ってみないか

でも一言、ぼくを気にしてると言ってほしい

こんな口論の世界にはなにもないんだからなにもなくなつてない

頼むから。それは大ミサなんかじゃない

そんなのきらきらしてもダイヤモンドじゃなくてただのガラスなんだつてば

30 The Broken Throat

声変わりする前の声でミーンミーンと言いながら蝉の抜け殻を銀の棒につける

久保田？

31 It Didn't Work...

CD化されたLPと元のLPが銀の林の中に立てかけられる。おそらくはコーエンの「*various positions*」。

立てかける人：工藤？

32 The Beautiful People

クールなカップルがオープンカフェでエスプレッソを飲んでいるところを乱射される

カップル：久保田、愛子

フェイスマスクを被って乱射する人：佐藤？

33 The Apartment

ギターで綱引きをする。二人はネックを持ち、一人は綿人形を背負って反対側の一弦を持つ。やがて弦が切れる。

久保田、愛子

34 The Accident

男の頭の天辺から男が生え出て、口の奥から女が這い出ていく

久保田、愛子、高橋

35 Catalogue or Guide?

PARC 新井さんは会場で突然死ぬ

新井さんがいやがった場合、柴田さんが

「国際舞台芸術交流センターの柴田です。本日新井が所用のため、新井になり代わりまして私がやらせていただきます」等言って死ぬ

新井さん、柴田さん、この役が出来るかお知らせください。

36 The Dirty Old Man Song

男は好色な笑いを浮かべながら本を持ったままよだれを垂らして寝る

男が手に持っているのはロブグリエの「反復」である。

女はその足元でウエルベックの「服従」を朗読している

男：高橋

女：徳井

37 The Return to High School

男は学生服を着て高校時代の思い出を語る

女は学生服を着て、ただ澁刺としている

大谷、鈴木

38 The Afterlife

綿素材の人形が登場し、銀の林に凭れかかって座る

人形を設置する人：半チャーハン

39 At Least For Some...

発砲ウレタンを反対側から少量流す

そこに竹籤めいたものをぶっさして最初に流したウレタンにもぶっさして両者を繋げて橋めいたものを作り、すぐに叩き壊す。少量の水が流れる。ほんのちよつとでいい。

この作業をする人：工藤

40 Party Song, Circa 1998

PARC 新井さんと握手をしながら銀の林の周りを踊る

新井さんがいやだと言った場合は、柴田さんが、「国際舞台芸術交流センターの柴田です。本日は新井が所用のため、私が”40 Party Song, Circa 1998”を演奏させていただきます。」等述べて踊る

工藤、新井○柴田

新井さん、柴田さんこの役が出来るかどうかお知らせください

41 Soft Target

フェイスマスクをした人々が入って来て *SDMX* に巣食う全員を射殺する

ような面持ちでシーツにくるまっている人を足で転がす

フェイスマスクをした人々：田村？佐藤？

シーツにくるまっている人：久保田？

42 Substitute Teacher

新井さんではなく、柴田さんが「国際舞台芸術交流センターの柴田です。今日は新井に成り代わりまして、私が『42 Substitute Teacher』を演奏させていただきます。」と、繰り返し述べ、30秒の合図で中断する

柴田さん、この役が出来るかお知らせください

43 The Bunny Hop

一人はシーツに横たわっている

二人はシーツの周りで永遠にうさぎ跳びをして死ぬ

横たわっている人：久保田？

うさぎ跳びをする人：…？

44 Hotel Room Sex

安倍首相を真似て、*"the situation is now under control"*と言っている

腹から内臓が出てくる

久保田？

45 Theatre Director

SDLX⁵せんたいに発泡ウレタンが充填される

ような面持ちで二つの発砲ウレタンの間を発泡ウレタンで埋める

「スタッフ全員は浮き足立つ」と指示され、浮き足立つ

ウレタンで充填する人：工藤

浮き立つ人：全員

46 The Years

二人の人が立っている。

「12年前*12 years ago*」とアナウンスされる。

シートで二人が隠される。

シートが取り除かれると、再び二人の人が同じ様子で立って「9年前」⁹とアナウンスされる。

シートで二人が隠される。

シートが取り除かれると、再び二人の人が同じ様子で立って「6年前」⁶とアナウンスされる。

シートで二人が隠される。

シートが取り除かれると、再び二人の人が同じ様子で立って「3年前」とアナウンスされる。

シートで二人が隠される。

シートが取り除かれると、再び二人の人が同じ様子で立って「今 *maintenant*」とアナウンスされる。

二人の人：久保田、愛子

アナウンス：徳井

47 The Break Up

二人の人が笑いながらシートを半分引き裂く

久保田、愛子

48 Stray Dog

麻葉犬が一人の人に向かって吠え立てるが声が小さくなり最後は小さく「わん」と人の声で言うのだれる

久保田？

49 If Nothing Else...

一人は蹲って怒りを抑えて微笑む。すると銀の林の上方で貯金箱にコインが入れられカラリと音がする

蹲る人：久保田？

貯金箱でコインの音を立てる人：？

50 My Revenge

発泡ウレタンが銀の棒の先端に少し垂らされる

それを座禅を組んで見ている

発砲ウレタンを垂らす人：工藤

それを見ている人：久保田？

51 Final Thoughts

立っている男に綿素材の人形が取り付きやがて分離し舞台の上方に浮かび上がる

間近から銀の林の写真を撮る

少し離れたアングルで撮る

さらに遠くから撮る

立っている男：久保田

人形を操作する人：半チャーハン

写真を撮る人：工藤？

「最後に考えたこともろもろ」

芸名はジェイコブ・レン言いますけどこの歌だけはガチで本名で冗談抜きマジで歌いたいです

うろろうしてるといえどもそうですけど、旅行者みたいな人らていてはるやないですか、なんかいろいろ考えてそうな、いろんな話をいつか語ってくれそう

そういう人らの中をこの人という人なんやろとか考えながら歩いてると気持ちが一ツと明るくなって、お星さんみたいに輝いて、分かり合えてる気がする

間近な人たちを観察するのをやめて今度はちょっと離れて、陸橋の上から高速道路を見てみよう

走ってる車の中には必ず人が乗ってるんやな

その人らは何を思てんのやろどないな気分なんやろ

陸橋の上でぼくは思う

飛び降りたらけっこうあるて下まで

もう何時間も歩き回ってた

ぼくの考えてることは地面にクシャアツと落ちた

ぼくのそれまでの思考がやね、音もなしに飛び降り自殺したんや

拝啓ジェイコブレン様、

ぼくはサインする、それぞれの手紙に

この世界がまもなくもつと良くなることを期待して

さらにもつと遠くを眺めてみる

いろんな教会やらビルやら、もう人が歩いてるとか車に乗ってるとかは分からへん、われわれがもはや理解できん何かの証拠のようにして、建築物が林立してる

あんなに遠い教会では告解したい思ても告白することが思ひ浮かばんし聞いてくれる人もおらんやろ

豚の群れに入った悪霊は軍団レギオンをなしている、とか、教える人が居てへんのやからまあ都合はええやろなあちらさんにとってはあのビル群を指して、あれが現代の悪霊の軍団やあとか誰も言わへんから居てないことにされてるし
いやこれこれこうなってるんやと直す人もおらへんわけやからなあ

52 Spectacular

一旦舞台のセットは麻布で隠される

ブルーシートを捲ると下にスイスチーズ様の多孔質のレイヤーが現れる

麻布を持つ二人：??

ブルーシートを捲る人：久保田？

53 Happy Cancer

銀の棒に死んだ自分の綿素材の人形が刺さる

死んだ人：久保田？

人形を被せる人：半チャーハン

54 Everybody Settles

発砲ウレタンを切り分け客に投げる

切って投げる人：コルネリ

55 Song for the Preaching of Negativity

*The Lord's Prayer*を唱へる

Our Father, which art in heaven,

hallowed be thy name;

thy kingdom come;

thy will be done,

in earth as it is in heaven.

工藤

56 Economies of Friendship

欣定訳*King James Version*のヤニエル2:44が朗読される

And in the days of these kings shall the God of heaven set up a kingdom, which shall never be destroyed: and the kingdom shall not be left to other people, but it shall break in pieces and consume all these kingdoms, and it shall stand for ever.

朗読が徳井の場合..

Au temps de ces rois, le Dieu du Ciel dressera un royaume qui jamais ne sera détruit, et ce royaume ne passera pas à un autre peuple. Il écrasera et anéantira tous ces royaumes, et lui-même subsistera à jamais: (Daniel 2:44)

銀の林にシートが被さる

朗読する人：工藤

シートを被せる人・・・

57 Of Course

松葉杖をついて入ってくる。

泣き顔の仮面を付け、ぶどうといちじくを頭に乘せて銀の棒の周りの地べたに座る

ひとりひとりがババ抜きを要領で銀の棒越しに籤（くじ）を引く

「消えたい」と言う

松葉杖、仮面、ぶとうといちじく、を用意できた人は参加する

「そしてもちろん」

そしてもちろん

すべての優しい愛撫は喉に手をかけられて終わる。
といった言い回しの鬼畜詩があるけど
そういった言葉には縛られないつもり

そしてもちろん

空を見上げて

今日見られる不公正に憤って

地上のことしか考えられてない

でもいつかきみは坐っているだろう*1

そして皮肉はこんな風にきみを

本当は泣かなくちゃいけない時に泣けない体にしてしまう*2
そしてもちろん

もつと生きようとするすぐに死んでしまうことに気づくんだけ

人はそれぞれ航行する

帆が風を孕むように

それにしてもなんという渇きや欲望を孕むことだろう！

だからたとえ成功しているように見えていてもそれは失敗なんだ

野望は甘く、その感触は大きすぎる

繰り返すのは止めよう

知っていることを全て忘れないと。それが松葉杖の役割をするんだ* 3

そしてもちろん

僕たちは反対する時はいつも

むしろ何かを容認しているのではないだろうか？

王は懸命にぼくの名を覚えようとし

ぼくは一生懸命多くのことを改善しようと頑張った

そしてもちろん

過去を考えるとときは虐待のことしか思い出せない
そしてもちろん

大きな喜びは続かなくて

小さな楽しみは役に立たない

そしてもちろん

すべての哲学はただ苦しまぎれて

いくつかの決め言葉で切り伏せられるけど

10年経ったら完全な反論が出ておしまい

そうしてそれぞれの人生の結果はと言えば

奇妙な刈り取られたものたちや、甘い胸騒ぎの集積だったりするのだ

航跡にはあらゆる失敗が見いだされる

人生は短くもあり長くもある

愛撫の長さだ

知っていることを全て忘れないと！

すべてのことに時がある。喜びのための時があり、ストレスのために時がある。それが人生だ。それを受け入れよう。それが知恵というものだ。

* 1

各々自分の葡萄と無花果の木の下に安らかに坐るだろう、というイザヤの預言の引用と僕は見ます。でも裁判所に坐っている、という風にもとれます。ここはポジティブに、かれのアイロニーを超えて希望を提示します。

*
2

泣き顔の仮面、はここから取られています

インナーチャイルドのトラウマ探しめいた詩句に対する皮肉です。

*
3

松葉杖、はここから取られています。詩編の、通り道の光、という意味合いに取ります

58 What Comes Next

石投げ器で投石すると銀の棒が一斉に倒れる

投石器を用意できた人は参加する

これまでに用意できた人：コルネリ

倒された銀の棒やウレタンは、シートで半分くらい覆われている

ジェイコブが工藤にインタヴューを行おうとするが、問いに対して全員が口を揃えて答える。

How to do things with words

Tori Kudo

Usage of Scripture

in Maher Shalal Hash Baz' "Blues Du Jour" (2002)

track1.

Sunrise

lyrics;

- and it is coming panting to its place where it is going to flash forth.

quoted from

ECCLESIASTES1:5

The sun rises, and the sun sets; Then it hurries back to the place where it rises again.

2.

Open Field

open field with a window, open field with no child

ISAIAH61:20

"No more will there be an infant from that place who lives but a few days, Nor an old man who fails to live out his days. For anyone who dies at a hundred will be considered a mere boy,

3.

The King of North

but there will be reports that will disturb him, out of the sunrising and out of the north.
and he will certainly go forth in a great rage in order to annihilate and to devote many to destruction. and he will plant his palatial tents between the grand sea and the holy mountain of decoration; and he will have to come all the way to his end, and there will be no helper for him.

DANIEL 11:44,45

"But reports out of the east and out of the north will disturb him, and he will go out in a great rage to annihilate and to devote many to destruction. 45 And he will plant his royal tents between the grand sea and the holy mountain of Decoration; and he will come all the way to his end, and there will be no helper for him.

4.

His Banner Over Me Was Love

instrumental but the title comes from
CANTICLES2:4

He brought me to the banqueting house, and his banner over me was love.

5.

Pelican of Wilderness

my days have come to an end
just like smoke

my bones have been made red-hot
just like fire

I do resemble the pelican of wilderness
on the day that I call on the day that I call

hurry answer me

I'm become like a bird isolated
up on a roof

I've eaten ashes themselves
just like bread

may days are like a shadow
that has declined

PSALMS102:6

I resemble the pelican of the wilderness; I am like a little owl among the ruins.

8.

You Keep Saying In Your Heart

you keep saying in your heart

"I am and there is nobody else

and upon you calamity must come

you will know no charming against it"

ISAIAH47:10-11

10 You trusted in your wickedness.

You said: "No one sees me."

Your wisdom and knowledge are what led you astray,

And you say in your heart: "I am the one, and there is no one else."

11 But calamity will come upon you,

And none of your charms will stop it.

Adversity will befall you; you will not be able to avert it.

Sudden ruin will come upon you like you have never known.

9.

Remember My Labour of Love

bear in mind my labour of love

remember my labour of love

my loving labour for you

bear in mind my love

loving labour for you

1 THESSALONIANS 1:3

for we continually remember your faithful work, your loving labor, and your endurance because of your hope in our Lord Jesus Christ in the presence of our God and Father.

10.

Good Morning

good morning all my memories

good morning yesterdays

sudden things come to me

to suffer shock

good morning depression
good morning deep impression
now I don't need to be afraid of
any sudden dreadful things
because I remember you are being with me

PROVERBS3:25

You will not fear any sudden terror.
Nor the storm that is coming on the wicked.

13.

What's Your Business Here Elijah?

when I became afraid
I rose up and went for my soul
and I went into the wilderness a day's journey
and at length came and sat down
under a certain broom tree
and said "It is enough now take my soul away"
finally I lay down
and fell asleep under the broom tree
but look now an angel of you was touching me and said
rise up and eat this cake

for the journey is too much for you
so I kept run away from you in the power of you

there I finally
entered into a cave
that I might spend the night there and look

you were passing by
you were not in the wind
you were not in the quaking and you were not in the fire

and there was a calm low voice
What is your business here, E-i'i'jah?
Go, return on your way to the wilderness

What is your business here, E-i'i'jah?
What is your business here, E-i'i'jah?
Go, return on your way to the wilderness

The FIRST OF KINGS 19:3-15

3 At that he became afraid, so he got up and ran for his life. He came to Be'er-she'ba, which belongs to Judah, and he left his attendant there. 4 He went a day's journey into the wilderness and came and sat down under a broom tree, and he asked that he might die. He said: "It is enough! Now, O Jehovah, take my life away, for I am no better than my forefathers."

5 Then he lay down and fell asleep under the broom tree. But suddenly an angel touched him and said to him: "Get up and eat. 6 When he looked, there at his head was a round loaf on heated stones and a jug of water. He ate and drank and lay down again. 7 Later the angel of Jehovah came back a second time and touched him and said: "Get up and eat, for the journey will be too much for you." 8 So he got up and ate and drank, and in the strength of that nourishment he went on for 40 days and 40 nights until he reached Ho'reb, the mountain of the true God.

9 There he entered a cave and spent the night; and look! Jehovah's word came to him, telling him: "What are you doing here, E-i'i'jah?" 10 To this he said: "I have been absolutely zealous for Jehovah the God of armies; for the people of Israel have forsaken your covenant, your altars they have torn down, and your prophets they have killed with the swo they are seeking to take my life away." 11 But He said: "Go out and stand on the mountain before Jehovah." And look! Jehovah was passing by, and a great and strong wind was splitting mountains and breaking crags before Jehovah, but Jehovah was not in the wind. After the wind, there was an earthquake, but Jehovah was not in the earthquake. 12 After the earthquake, there was a fire, but Jehovah was not in the fire. After the fire, there was a calm, low voice. 13 As soon as E-i'i'jah heard it, he wrapped his face in his official garment+ and went out and stood at the entrance of the cave. Then a voice asked him: "What are you doing here, E-i'i'jah?" 14 To this he said: "I have been absolutely zealous for Jehovah the God of armies; for the people of Israel have forsaken your covenant, your altars they have torn down, and your prophets they have killed with the sword, and I am the only one left. Now they are seeking to take my life away.

15 Jehovah said to him: "Return, and go to the wilderness of Damascus. When you arrive, anoint Haz'a-el as king over Syria.

14.

Soldier of Lead

you that is watching the wind
you that is looking at the clouds
will not sow seed and will not reap

come along you, soldiers of lead
come hurrying along with me

you that is watching the wind
(have ever been watching the wind)
you that is looking at the clouds
(have ever been looking at the clouds)
will not sow seed and will not reap

ECCLESIASTES 11:4

The one who watches the wind will not sow seed, and the one who looks at the clouds will not reap.

15.

From a Summer to Another Summer

from a summer to another summer
an egypt to another egypt

iron and clays are crushed together
and become like the chaff from summer threshing floor

from a summer to another summer
an egypt to another egypt

iron and clays are crushed together
we are the clay and you are the potter

DANIEL2:35

At that time the iron, the clay, the copper, the silver, and the gold were, all together, crushed and became like the chaff from the summer threshing floor, and the wind carried them away so that not a trace of them could be found. But the stone that struck the image became a large mountain, and it filled the whole earth.

ISAIAH64:8

But now, O Jehovah, you are our Father.
We are the clay, and you are our Potter;
We are all the work of your hand.

16.

Futility

cursed(blessed)will you be in the city

cursed(blessed)will you be in the field

being subjected to futility

cursed(blessed)will you be anywhere

DEUTERONOMY28:3,16

“Blessed you will be in the city, and blessed you will be in the field.

“Cursed you will be in the city, and cursed you will be in the field.

ROMANS8:20

For the creation was subjected to futility, not by its own will, but through the one who subjected it, on the basis of hope

18.

Peter Says

I don't know him

I don't know him

just I don't know

the man of whom you speak

just I don't know

peter said

peter said

peter said

do you still love me
do you still love me
do you still love me?

MARC14:71

But he started to curse and swear: "I do not know this man of whom you speak!"

JOHN21:15-17

15 When they had finished breakfast, Jesus said to Simon Peter: "Simon son of John, do you love me more than these?" He replied to him: "Yes, Lord, you know I have affection for you." He said to him: "Feed my lambs." 16 Again he said to him a second time: "Simon son of John, do you love me?" He replied: "Yes, Lord, you know I have affection for you." He said to him: "Shepherd my little sheep." 17 He said to him a third time: "Simon son of John, do you have affection for me?" Peter became grieved that he asked him the third time: "Do you have affection for me?" So he said to him: "Lord, you are aware of all things; you know that I have affection for you." Jesus said to him: "Feed my little sheep.

27.

Highway

there'll certainly come to be a highway there
even a way and the way of holiness it'll be called
the unclean one will not pass over it
and it'll be for the one walking on the way
and no foolish ones will wonder about on it
no lion will prove to be there
no lion will prove to be there

and the rapacious sort of wild beasts will not come up on it

None will be found there

and the repurchased ones must walk there

happy are the men whose strength is in you

In whose heart are the highways

I will make all my mountains a way

and my highways themselves will be on an elevation

set up road marks for yourself

Place signposts for yourself

Fix your heart upon the highway

the way that you will have to go

listen someone is calling out

calling out in the wilderness

make the highway through the desert plain straight

pass out pass out through the gate you men

make the highway through the desert plain straight

bank up, bank up the highway rid it of stones.

ISAIAH 35:8

And a highway will be there,

Yes, a way called the Way of Holiness.

The unclean one will not travel on it.

It is reserved for the one walking on the way;

No one foolish will stray onto it.

9 No lion will be there,

And no vicious wild beasts will come on it.
They will not be found there;

Only the repurchased ones will walk there.

PSLM84:5

Happy are the men who find their strength in you,
Whose hearts are set on the highways.

ISAIAH49:11

And I will make all my mountains a way, and my highways themselves will be on an elevation.

JEREMIAH31:21

21 "Set up road marks for yourself. Place signposts for yourself. Fix your heart upon the highway, the way that you will have to go. Come back, O virgin of Israel.
Come back to these cities of yours.

ISAIAH40:3

3 Listen! Someone is calling out in the wilderness: "Clear up the way of Jehovah, YOU people! MAKE the highway for our God through the desert plain straight.

ISAIAH62:10

Pass out, pass out through the gates, YOU men. Clear the way of the people. Bank up, bank up the highway. Rid [it] of stones. Raise up a signal for the peoples.

39.

I have run the course to the finish

≈ TIMOTHY4:7

I have fought the fine fight, I have run the race to the finish, I have observed the faith.

2016.4.29

an interview by Italian journalist

In Maher Shalal Hash Baz you deliberately work with musicians who make mistakes, “like our imperfect lives”. Why do you do this? Is it an aesthetic choice or is it something else?

美学的な選択なのですが、それは不可避免的な経済的要請から来るものです。

Aesthetic choices come from inevitable economic orders.

Does your work in Maher Shalal Hash Baz have a political objective?

政治的目標にからめ捕られないように航行するのがマヘルの初期コンセプトです。

ただ、福島原発事故には生活者として多大なダメージを受けています。

The initial concept of Maher when it was launched was to voyage the public sea, so as not to touch the land by any political port of call.

However, the ship has been damaged after the nuclear accident in Fukushima.

What is a world worth fighting for?

まず、私たちが守るべき国家はありません。国家は悪霊が支配しているからです。国家を否定した国家なら、あるいは戦うに値するかもしれませんが。

First of all, no country is worth to be protected. Each nation is ruled by each evil spirit.

The policy which denied being as a nation could be worth fighting for.

What do you think about freedom?

自由意思を与えられていることに感謝していますが、重力に服さねばならないように、それが相対的なものであることを理解しています。それで、物理的、倫理的法則によつて制限された自由のうちには、自由はありません。そう考えると、自由はない、とも言えます。今のままでは誰も永遠には生きられないからです。

I'm thankful that the free will is granted, but I also understand that freedom is relative so that I may have to obey the gravity. So, I had to agree that real freedom was found only in the freedom restricted by physical and ethical law. So, it could also be said that there is no freedom. We can not live eternally, unless helped not being the way we are now.

Does art describe reality or an alternative to reality? Very much of your music could be described as "happy", but the world we live in is full of horror. How do those things go together?
生なインストメンテーションはいつも甘美なものです。

The raw inspiration is always a sweet thing.

What do you think about utopias?

失樂園から復樂園に至るまでの期間に産み出された人間の妄想

Man's obsession during the period from paradise lost to paradise restored.

what do you think about riot grrrl?

彼女たちは良い意味でパンクでしたが、ロックを、言葉に乗せる器、道具として使っているの、そのムーブメントは、音楽そのものの革命ではありませんでした。僕にとつて真のガールズバンドはいまだにShaggsであり、raincoatsです。

They were punk in a true sense of the word, but as they use music as a vessel or as means to carry their words, the movement was not the revolution of the music itself.

The real girl's band for me is still The Shaggs and The Raincoats.

what do you think about punk?

パンクは生き方であり、音楽ではありません。大半の彼らの音楽そのものはつまらないものでした。興味深い音楽はパンクそのものではなく、その辺境にひきずりだされた結果日の目を見たのです。

Punk is about a way of life and not about music. Most of their music was just ordinary,

the interesting music was not punk itself, but those exposed by being dragged out from that border.

Is there a reason for so much of your music being instrumental?

音速を超えない限り、言葉を曲に入れることはできません。ただ、そうした曲にもタイトルという形で言葉が用いられており、それが音のフレームになつていきます。

You can not put words in music unless it exceeds the speed of the sound. But even for that music, word is also used as its title, and that forms the frame of the sound.

liner note for kotoripan

僕は土を見つける。この国が無かった頃、まだ湖の底だった層で洪水を潜(クグ)った記憶が恐竜の鰭に触れている。それより古い、薬で断たれたダイヤモンドや瑪瑙の火成の記憶はもう一度焼かなければ現れない。水はサンドイッチ状にカオリナイトの具となつていなければならないが、パンはズタズタに分断され、夜になっても家に入れぬ子供たちは空の星を見上げて空腹を忘れようとする。形作られるためには石が除かれなければならない。指を入れて探り、イナチャイの腎臓結石を摘み出す、市販の粘土のように振る舞うには限界があり、金が無くて学校に行けなかった同士にしか分からない筈目を通したことにしたら、カルーセルのように時計回りに見切り発車する。瀬戸や中国や他の岬では左回りである。太陽系を上から見ると下から見るかの違いである。両掌の中で真円になり、塔に引き上げられては斜め上四時方向から押し潰されて二度殺される。やがて独楽のようにしんとなった中心にくの字にした左手親指を差し込み地底旅行すると残存のトラウマの割合が知れる。両掌の中で指たちが蠢き、柿くらいの空洞は既に出て

ている。そこから右手中指で内側を、左手で外側を、午後七時の辺りで震え上らせると腰や肩が現れる。石を騙しながら背が伸びて行く。step family bluesという空耳で、ターンテーブル上の手足のない器形がメスティスの皮膚を薄くしてゆく。成形しづらい障害と対話しながら、同じく障害のある僕は土のなかのホウセキを予感して泥を震わせ続ける。一点、甘い震えのなかの一点なのだ。

track1 13/09/16

もう一匹

クリフォードブラウンの雨百合絶えて

雨のコードはDに加えたBとBbの間

DBm(orBb+5)DD

Track2 21/09/16

・・・本番でやる曲を考えていた

EDAA

Track3 21/09/16

みずのおもてにおくりだす

ふろおけみたいないのちでも

うみのなかにはやまがあり

みあげるこどもにはらみせて

うみのなかにもほしはあり

ぎんのうぶげはみずはじく

CAFG

Track4 22/09/16

うばいとりうばわれ

うそつかれうそつき
つらぬかれつらぬき
うたわされうたわれ
ふりそそぎふられて
おとされておとして
なきつかれつかれて
すいつかれすいつき
どくもられどくもり
なぐりつけなぐられ
あるかされあるかせ
のみほされのみほし
またがられまたがり
うばいとりうばわれ
だましとりだまされ
とりこまれとりこみ
おこらせておこられ
のぞきこみのぞかれ
むすびつけむすばれ
はたらかれはたらき
あいされてあいして
おいつかれおいつき
きりぎざみぎざまれ
てらされててらして

うらぎられうらぎり

C

Track5 22/09/16

オトノタニ オトノタニ

チガウクニ チガウクニ

クスリヅケ クスリヅケ

G+7 G+7 Gond Gond

track6 24/09/16

いつ終わってもおかしくない

隠し事隠し子と書く仕事

ゴミ屋敷を得意そうに

選り分けられる札見つかる

エリは蹴られるサツに見つかる点検しない

天検死ない

点検しないゴミ屋敷のまま航走

踏み分けられて文分けられて

フミは蹴られて

腑分けされて負は消されて

得意そうに札見つかるさあ罪漬ける

ケーブルサラダ

ケーブルサラダ

ゴミ屋敷のまま走っていく

いつ終わってもおかしくない

いつ死んでもおかしくない

お菓子くれない

おかしてくれない

くれない

track7

大事な人に乗せるから

さいきんはのまさんに乗せる前洗車したよ

義理の両親が来るから洗車しようか

10万キロでちょっと古びた

大事な人ってなんだろう

詩の場所を変えて洗車しようか

CBA

track8 04/10/16

半チャーハン

琵琶湖よ、偉大な若者がお前の前で倒された。ああ、力のある者はバイクと共に倒れた。ユリシーズはこれを京都で告げるな。彦根のちまたで告げ知らせるな。近江の娘たちが飲むことのないためだ。オトノタニに行けなかった者たちの娘らが歓喜することのないためだ。伊吹山よ、お前の上に、露も、雨も下るな。湖南の野もなくなれ。そこで、力のある者の音が汚されたからだ。半チャーハンのペットが。ガソリンを入れて共に走る者はだれもいなかった。交通事故に遭った者たちの血から、力のある族の特攻（ブツコミ）から、半チャーハンのハンドルは引き返さなかった。半チャーハンのアクセルも峠を攻めずに帰ることはなかった。オオタニも半チャーハンも、その生きている間、愛すべき人、快い人たちで、その死ぬときも、ふたりは離れなかった。鷲よりも速く、ライオンよりも力強かった。マヘルの娘たち、半チャーハンのために泣け。彼は美しい電飾の付いた革ジャンをお前たちにまかせ、お前たちの服に金メッキの飾りを付けてくれた。ああ、力のある者は戦いのさなかに倒れた。半チャーハンはお前の湖畔で打ち殺された！わたしの兄弟半チャーハン、わたしはあなたのために苦しんでいる。あなたはわたしにとって非常に快い人だった。あなたの愛はわたしにとって女の愛よりもすばしかった。ああ、力のある者は倒れた。戦いのトランペットは滅びうせた！

C BCD_b DbE E_bDb DbC

CAAC Db

BGGEF#

FE

EF#B_bE_b DC#

track9 05/10/16

残照

山を吸う雲を吸う

塵を舐める匍匐する運転する

陽を浴びる蟬の死骸の臭いを嗅ぐ

包丁を体に刺す

蚊に喰われる

風景は、突っぱねる

風だけが、肌に当たる

陽は染み渡る

落ち葉はぞぞと動く

目玉も動いてはいる

ライトを消し忘れた車のように

あの時も、こんな感じだったのだろうか

日の翳る音

両目には燃える剣

BmB-5DG

track10 05/10/16

あまりにも苦々しい雲と

あまりにも苦々しい腰の痛みと

早くも黄昏れた冥い帳が

閲覧注意の舞を舞う

ひらひら黒い舞を舞う

BmCBb-5C-5

track11 06/10/16

ナードってうのは

GABm

07/10/16

単純な理由で場所は作られ

そこに語群は落とし込まれる

滝の写真は集まって

作られた高低差を見せつけている

記念日を過ぎて

よそよそしさの中に自分を落とし込むために

マイクは立てられ

黒服は動き回る

ここで大きくなった鰐が歯を見せる

track12 20/10/16

ド人。インド人同人誌といえばzine/sineさせてラジオといえは笛吹ド人同時通訳動じない国立といえはド一

ジナ茶房 破防法 僕たちの失敗 森田ド人 アンドロイド人 大阪の府警は悲しい色やねドジ！お尻ペンペンオキ
ナワなめとつたらどつくドバンド人道？カスうどん爺イ餡ドーナツに安堵ジーン指紋ズ

貧困層の窪溜りとしての「二人展」

松山にはジャズ喫茶が八軒あつてそのひとつはフリージャズ専門だった。そこに毎日通った。そのビルにはロック喫茶もあつて、ハードロック専門だった。眞鍋君はそこにいた。彼はねちねちとした執拗な石膏デッサンを描いた。ぼくらは具体の坪内さん達と付き合っていたが、やがてかれは不器用に考え詰め、中学生の頃の細密な写真に戻った。ぼくらに共通しているのは、「貧困の窪溜り」とでもいうべき不可避的な場所への押し込められ方だった。愛媛では、具体やこの残党は生活者としてわざと既成の画廊のファインアートに紛れ込み、位相をずらすことを目論んだが、かれは不器用さを徹底することで、白髪になるまでとぼけて見せているのだ。血に至るまで抵抗した愛媛で、「本当は違うんだろ？」という声が、もはや本音なのか幻覚なのかも定まらず、虫の声のように融けてしまった風土(て)をかれは描く。

October 二六、二〇一六

ダダ百周年 the centenary of DADA というインスタレーションです。出だしの失敗 *Faux départ* と熔けて結実してしまった結果との間にいくつかの無傷な
罫が立っています。

ヘビメタの楽の音も抑えられる

死を餃子の皮に包んで飲み込む

節目など疾うに無いとは申せども内にはたたかい外にはおそれ

アルベルチーヌさんがお発ちになりました！

ツイッターとは習得の物語であり、幻滅と啓示の運動である。

二〇世紀はゴモラのシーニユを愛と誤解した。裏表のない人は幸いである。

男は妊娠し、風を生んだのだ。

そう、悪いことをしていれば、真理はいつもそのようなものであるだろう。

室戸岬

吐くものがなくなって自分を吐いた

マダムブラヴァツキの支持者たちに灯油ストーブの芯の不具合で火が消えないことを理由にデモを思い止ま
らせた

店の奥はピアノの鍵盤で叩くとくこんと軟骨に当たる

ギギが桃色の泡を吐いて死んだのはあれはやっぱり泡立つ葡萄酒

踏みつけられたリヴァイアサンの

vernacular:From Latin vernāculus (“domestic, indigenous, of または pertaining to home-born slaves”), from verna (“a native, a home-born slave (one born in his master’s house)”).

BDJは労働の後だけではなく嘔吐やコンサートの後にも現れる。

足摺岬

auberge ってホテルなのに語感が茄子みたい

"@iris_me: 淋しさを食べつつ滅ぶエロティシズム蕎麦か紐かも分からぬひとへ #tanka"

蕎麦は淋しさを食うとは誰が言ったか蕎麦猪口の切り立った口縁

ツーリスムには現在だけがない

奈半利駅で七針を想い出した。すると七針がヒロスエのようなものに変貌していった。

あれはなんの鳥と訊かれるもので都鳥と応えてみせる

野良と至近てばくには愛がないねという話になって別れた

サークル✕高知東石立店実習中「いぐち」さん今

ワッフルの暖めがバルミューダ

りぐつちゅう

代参終え金比羅駒と呼ばれたり 犬ハイク

うどん寒伊勢より先に滅ぼされ

新ジャンル「ロープ漫画」エジプト以来数千種ある結び方をマスターしている主人公がさまざまな危機や問題を解決

杖が人間に縋って参道

大麻町

きみは西洋のくすりを飲み、何でもないふりをして、東京のように逃げおおせようとしている。逃げきれないかもしれないと思わせるのがきみの希望の後ろ姿だ。

三面は「うとんが不味いと暴れる」

夫らはギロチンギロチンシユラシユシユ

女のため池でふ替歌のあり

腸を締め付けるさみしさの正体

新しい音色で驚かせるというのは踏み外している。音色などどうでもいいという方が音楽の本道に近い。

水の上を歩いたり未来と過去に区別がなかったりするのであれば、法則ではなく創発的な幻像に過ぎないものに寄り掛かってはいけない。

四人の中でオーネットだけがそこに掠っていたように思う。

新しい音色で驚かせるというのは音楽ではなく美術にすぎない。当然、美術は終わらせなければならない。すべてが演劇めいて見えるのはそのためだ。

金が無いということだけなら良いが腸締め付ける鬱の正体

わたしには朝がなく頭蓋だけ締め付けられああそうかこれは飯炊きの釜と逆だ空っぽの圧

坂出の米屋のやっている釜炊きが売りの定食屋に行った昨日

安かったチキンカツ定食が二九〇円ワインが一五〇円

屋上の地球儀の上に象

黒潮の水は黒かった黒かった瀬戸内の水はどんよりした青磁じゃけんど

家はどれも低かった低かった

あれではひとたまりもない

おちおち眠れんでしよう

つわぶきの山に上り道があればいいが

小柄なお婆さんがリハで「ここから永遠に」を唄っていた。会場を見て、それをやろうかと思った矢先だったので吃驚した。カラオケで、ストリングスの綺麗聞到なアレンジが施されていた。それはやるっきやないでしょうと美紀子さん風の背の高い瓜実顔の知らないメンバーに言われた。

一二月二四日夜一時に都内一日周避券を地下鉄日比谷線六本木駅の発券機横に置いてくれた方、この場を借りて御礼申し上げます。

自腹音楽

の反対は

鳥舞魚躍

米山研究者の高校教諭が書道甲子園を発案した企業城下町伊予三島はしかし製紙工場の煙で癌多いだがだれもよう言わない伊予市もそうだれもよう言わない伊方もそうだれもよう言わない米山や鉄斎すぐセザンヌと

比較したがるが

鳥舞魚躍人死

セザンヌの林檎で被曝したようなものだ書道は

鳥居を立てても無駄だホーシャノーは結界を越える

奇形鳥舞奇形魚躍

削って削ってぼおつと光るのがそれでも和蠟燭の芯であってほしいというような国家主義に似た囲いとしての
の身体の内向

過ぎ去ったものMM富暮林

日の出前もう鉄の音何埋める

くらくらげつあみものんマフラーふまんノーもみあげらくらく

えらくいいてんきだけどだいじょうぶか

かぶうじよいだだけだきんていいくらえ

いいてんきだとはかがわにいうぞ

一月は大谷の挿り鉢を作る以外仕事がないのにカフェオレポウルをコピーしてくれという注文を断って人に
譲ってしまった

好きなものしか作れないのは謙遜さが足りないのだろうか。

挿り鉢はオバ○が潰れたような形がいいと思う

ぶうんぶうん。車ってすごいなあどこでも行ける

あったかいし

木の幹と葉の色でコーディネートした装い、果実の曲線、月の出

玉子が煮しめてあれば酸化焼成の茗荷を食い過ぎた感じていけます

どちらにしても月の表か裏か、白磁の中で抗う感じです

ダークサイド 遺作だ 回文

月は同じ顔をしているけれども回転していないわけではない

裏側を見せないのは地球に対してだけである

それなのに地球は月に向かってお前の裏側は汚くて邪悪だなどと言う

それで月はたまに茗荷を食い過ぎるのです

ミサさんが松山でお座敷に呼ばれてロマーナの近くにいるというので今から会うが一五〇円しかない

Burnt Teshima の展示記録に載せる文章、FALL慣例の去年記憶に残った三つの物品についての文章、を書いて送りました。

2016年の3つの物

・フレンチプレス

オリンピックで一回転して違う次元に着地した浅煎り酸味のサードウェーブに触れ帰国後Paul Bassett新宿店で購入したbodum社ポルトガル工場製フレンチプレスが大谷直樹君のロック史に則った焙煎も相俟って1916後半の朝の4分間を特殊なものにしたことは否めない

・搾菜甕

重慶の搾菜甕が大量に鹿沼市に流れ込んだ経緯は知らないがスナックの入り口に傘立てとして置かれているのを見て変に思ったのが始まりで二枚目の写真は岡香という同じく鹿沼の絵を描く人の玄関に置いてあるというので撮って送ってもらったもので松山で大量の紹興酒用の甕を将来して放下してある人の庭は知っているが搾菜甕は見たことがなかったし砥部では口縁が開いているのに高台が八の字になっているものを「バチ」と呼んでデッサンの修練が足りない者を諷める口調があるがこの搾菜甕の口付近のゴンズイのような曲線はこの手があつたかという意表を衝くものであつた

・S字発酵栓

榎植を酒にしようとしていて瓶に突っ込んだS字発酵栓の画像をアップしたら陶芸をやっているユニさんがそれは自分のヴィーナスという作品と似ていると反応してきたのでポッティチェリですねと返すとそうですと言うし三つ持っていたのでライブの時に持って行ってひとつあげたらよろこばれそれでいまは大久保のひかりのうまにあると思います

Burnt Teshima

地域活性助成金排除ファインアートの時勢にあつて口承や戦時の聞き取りに向かう一連の民俗的流れは、一種のそれもまた拠り所を求める崖っぷちの足掻きであつたにしてもある種物わりのいいヒッピーのネットワークを形成しており、

これまた外人コレクター依存雑貨屋主導工芸の時勢にあつて火成水成を採集焼成する漏れる鬱陶のフィールドワークの流れは、一種のそれもまた拗ねたドジンの居直りであつたにしてもある種分かり合える貧乏体力勝負のカウンターの情けなくはあるがギルドめいた四国ものづくりの幻想を形成しており、

要するに上記ふたつのパラグラフが出会ったところにアキリカの豊島は在ったのであり

それが香川に居ながら辺野古ゲート前に居ることであり遠野に居ることでありまたそれぞれのふだんの居場所に居ることであった。

横に繋がって四国を伸びていたのは古琵琶湖の地層であり垂直に掘られて焼かれたのは地球であり地球のゴミであり無駄ではあったが一瞬というかふた月半展示された自分の営為であった。ジョセイキンで自分は土を焼いたのである。焼かれた土が提示されていたのである。

Against the times of regional vitalization, subsidy, and anti-homeless fine art,

our folkloric trend that approaches oral tradition or memories of war

constitutes a kind of sensible network of hippies, although it were also a kind of struggling at the edge for seeking support.

Also even in the times of dependent on foreign collectors or of store-led crafts,

my trend of fieldwork-ish depression-pottery on gathering/firing igneous/aqueous layers forms an illusion of Shikoku crafts that is miserable but guild-ish, sensible, physical game without money, and as a counter,

even if I were like an aborigine who had the sulks.

In other words at the met in the above two paragraphs was Aki Rie's Teshima.

And that meant being in front of Henoko gate and staying in Tono at the same time, and also living in each artist's local place, while we were in Kagawa.

It was the horizontal stratum of Lake Biwa that was connected to the neighboring prefecture and extended Shikoku. It was the earth that was dug vertically then burnt. Although it were garbage of the earth in vain, It was my act of exhibition like a moment, but for two month and a half. I burnt the earth with subsidy. Burnt soil was being presented.

民主的な手順が有効なのはごく限られた領域に限られる。その領域は二〇年代から更に減っていった。

・ A E ・ A E ・ A E G D C

#

C # E # C # E # C # E # C # E #

低いシンバルと高いシンバルだけ

民主化要求と反比例して減っていかねばならないもの

ブルースの最後の二小節の一拍子のように

自由と民主は反比例して進む

ジョセイキン・アート

そこにあつたもの

あつてさわれたもの

なかみのつまつた

秋田放射能測定室のネーミングが秀逸だといつも思っていて

ネットカフェ閉店

ほとんどのことはそこで書かれた

ほとんどの眠りはそこで起きた

ほとんどの痛みはそこで閉じられた

ユニゾンは続くもののためにある

のりちゃんはエイリアンズが好き

宇宙船を乗っ取って生き延びるその生命力を何とか平和利用出来ないかと考えるのだそうだ

裁きのニュースを伝えなければなくなる局面で必要なのは生命力なのだ

希望なしの生命力がわたしを食い尽くす日に

起きることそのものよりも起きることへの用意が出来ていないこと、そして用意が出来ないままそれを迎えるだろうという不安の方が厄介だ

モールで売られている陶器のメジヤーデビューしたバンドのようで柳なら醜いと平気で言うだろうなと思いつながら手売りのためのCDケースを探しているとラーメン萬葉の店長とすれ違った

モールの眼鏡屋で眼鏡をかけてみたりしている色んな眼鏡を

彦坂さんから新作二枚分の入金ありこの世界の片隅にを見ることができた。ほぼ受身なところに希望の素地のある映画だったがガソリン代と駐車場代とコンビニのおでんの具にうどんを入れたのをポイント使って一〇〇円で食べたのを入れるとまたも所持金〇となった。

金がないことよりも米の大袋が空になったことの方がきつい。カリカリは毒だから与へないので、三合くらゐだとすぐにネコが食べてしまふ。アメニモマケスの人は一日三合も食べるから他人を助けるために奔走してきたやうだが、ネコが四匹居たら賢治もそんなことは言つて居れなくなるのである。

旧かなづかひって嫌味つたらしい

とりあへずえいぐわに出てきた米を煎つて膨らませるやつをやつてみやうじやないか

この世界の片隅にの影響は今の話し言葉の気分のまま旧仮名になったといふことかな

戦前のアイスクリームとウエハースを知っているすずさんの義姉が母の世代ですずさんは母の妹の世代。数年差で風景も教育も食もがらつと変わる機微がよく描かれている。その叔母も絵を描く人でムサビだったが三鷹から広島に嫁いで共産党の市会議員をやっていた。

ぼくは小学生の時折り畳み式自転車を担いでフェリーで広島に遊びに行つた。それが初めての一人旅だった。フェリーは呉を経由して宇品港に着いた。叔父は「心と物とどっちを選ぶ? ユイブツロンで知ってる?」とオルグにかかった。焼肉屋に連れていってもらつて、ぼくはご飯を八杯食べた。

二〇〇〇年に原爆が落ちたとしても、ぼくはもう生まれていて、今四歳である。

テレマリテレマリというから何だと思つたらマリックのことで、今度のは貧乏人も出てこないし良いよ!ということだった。それはいいんだけどぼくは前々作のヨブのやつは終わりに関するカトリック作家からの返答? みたいなもどかしさを感じて not my cup of tea

いつもどこかで雨が降っているのて晴れても雨です

F AbBbCCCEb

仕事を終えるといつものブルース

歌が変わった

F AbCCCEb

悲しみが深くなった

原因はたぶん金

遊ぶ金が欲しかったと供述し

俳句になつてゐる

理性で考えると非音楽家はドローンやアンビエント或いはゴをやるのが最良の選択であろう。それはある種の批評行為でありアートと同じ地平で成り立つことだからだ。ところが音楽家にとってはそうもいかない。すべては言語ではあるのだけれど。インスピレーションというのは厄介だ。

音楽家の危ない即興

夕食の最後のオトノタニはそんな感じだった。

その場で泣いたりするようなのは真逆の

重要な演奏は大抵ひどい演奏だ。ずっと尾を引いて悔やみ続ける。

さつきまでいつも居た場所に居た

失われているのにそこに居た

もはや振り返る感じてそこに居た

もう行かないだろうと思いながらそこに居た

そこは常に行ってはいけないところだったそれなのにそこに居た

いつもそうやってそこに居る

居場所がないのにそこに居る

ローグワン 観る金がないので邦画と洋画を一本づつただで観た。夢で。

CBCDCCA

FEDC)下降していくと上が後半一度下がって変わっていつてしまうので

FEEbDを考えるが最後が合わないの

F AmonE Bbond C9にして後半ホーンの二度を同時にぶつける

それともベースを外してユニゾンのみピアノ

"@munomachi_bot: ヒトメノセキ(人目の関)人に見られるので、ある場所をこっそりと通ることができないこと。(日葡辞書)"

ちなみに私は地上の全部がヒトメノセキです

—

EAG#EDE

The world is your oyster

こどもは

死んだのだろうか

またふたたび

このような角度から槍は刺さり

明るくおう蛍光灯の

さまざまな色のターバン

魚群はどちらを向いているか

吃音の前の沈黙に

訪れる海底

ミャンマーに行くんです

ギブスに語りかける

ミャンマーに行くんです

無精髭を予想させる顔から

甘い茶色がかった黄色の笑みを飛ばす

屠る牛を牽き馴れた低体温症に

雨が打ちつける

ミャンマーに行くんです

混ぜ物のない乳に感謝を

吃る者達の口でさえ速くなる

うす青い石板の岬から

切り取られた空気は流れてゆく

そして船を押す

その人はピンク

叫ぶのはムンクそれは禁句

唄はつくろ。ロートレアモンは先駆ボランはタンクうちは貧苦⑤で返句駄目よミンクピアノはモンク山
道は四駆

三月ワニサイ日取りはあやかさん待ち待ちルサンチマン

高一の時柔道部の花山大吉君がカミュの「革命か反抗か」を読み始めたのでクラス中が騒いだが本当に読み
終わったその後お尻のおできの化膿が臀部内部に拡がって一年休学した

キネ旬一位か

流産カットしたのがよかったのかな

Bb CD

Bb CD BbDC

Bb BbDC BbBbGBbC D

EbDC

BbBbGGFFGF

BbBbGmGm

EbCmBbF

沢山思い付くんだけど初見ではできそうもないものばかり

死にかけの驢馬だと思え四。C

伊方原発訴訟藤田一良弁護士細見周岩波書店

矢野顕子のユリイカ読んだけども他人というものはよくもここまで周縁だけで勝手に語れるものだ。世界の薄さを再確認し、こんな業界なら捨てても大丈夫だと却って安心した。歌詞の解説をしてる人はDavidをボウイだとか言うし分かってないね。

こんなふうな薄い場所で外人居留者として慎重に生きているわけだが洪水を飲み込む地も一時の幻影、守護者が一転して牙を剥く時にさりとて業界の音楽を棄てるその後に残ったものがほんとうのジュヌスだ

清志郎はだしにすぎない

春分点或いは水の温まりにくさを考慮し植え付け時期を決めるもノビルの根を掘るだけに終わる(仮)

誰かもっと気の利いたタイトル考えてください

ノビルの球根

かな

ヒステリーにいいんだってね

ぼくの企画ですよすごいでしょう

ぼくだって企画するんですよ

ぼくが企画するとすごいんですよ

天地鳴動して北極と南極が逆さになるんですよ

そのくらいすごいんですよ

必ず客が来なくて赤字だけど

それでも二、三人は来るんですよ

すごいでしょう

すごくないですか

すごいですよ

すごいです

それにしても寒いですね

ネットフリックス

土がいいとピンポン玉くらいの大きさになることもあるそうです

ノビルが生えているとシャルドネに白胡椒風味が入ると言っている人がいますね

零下になると乾燥中の音風用のカップ三〇個が割れてしまう。見に行くべきか。でもまだスタッドレス履かせてない。

氷餅になっちゃっちゃ洒落んなんない

と祖母の真似

広島島の庄原ぐらい寒けりやそれなりに構えるけどこら辺は中途半端なんだよ寒さも防寒も

北海道が一番暖かいよきつと

あかん零下や

しばれるはんでかぶせておがねばまいね

もうおしまいじゃけえあきらめんさいや

あきらめきれんとよ

あきらめりー

あきらめりん

あきらめろし

あきらめ那覇れと大阪府警

あきらめチャイナよ尖閣諸島

あきらめキラキラ

クロちゃんときり絵さんの展覧会に来たら店の車やトイレにまでペイントしまくっているがいいのか

確かに三郎にはおねえさんの白粉みたいところはなかったです

EEED DDAB

CDE

雪まるけ

仕事終わりなんとなくコーエンを歯で演奏している

きっと歯軋りを防止しているのだと思う

今日もきつと凍結しますが養生しましたから

ひとりブラック企業

野毛で「快楽の漸進的横滑り」という地ビールを飲んだつもり

@noitokinawa 養生価値分解工場

あれはきのうのさむいよる

みずをつかってしごととして

からだにわるいとしりながら

かえりにラーメンを食べました

さんげのねうちもないけれど

わたしはかぜをひきました

グレゴール・ザムザがある朝のこと、城から城夢から夢のレジスタンスの果てに目を醒ますと、ベッドの中で自分がウンゲツイーファー（燔祭の犠牲に捧げることのできない清くない生き物）に姿を変えてしまっていることに気がついた

ザムザ氏は風邪をひいたのだ

霊的な風邪をね

ウンゲツイーファーの死は風邪からの快復なのだ。それで物語の最後は明るいきばうにみちているのだ

かふかふかよみ

みよかふかふか

あったかいんだからー

多和田葉子訳から考えました

もうワイマールどころじゃないんだ。要は風邪からの快復なんだ。安倍や放射能どころじゃないんだよほんとのことを言うよ

ツイッターでここまでほんとのことが言われたことはないよ

ぼくも収入がないわけじゃないんだぜ

銭湯に靴箱あれど我が靴の踵潰れて見分け易けれ

E E D E D

BDJEm1601/17寒くて寝れない

三・一九ワニサイ

人攫いの唄

スコップで花起こし

投げ出された球根

蜘蛛形の磁界

春分点歳差の喧嘩独楽

紙ナプキン挟ったバレリーナ

苦しくて苦しくて

黄道にフチ子みたいに腰掛け

逆さに捲れた和服

大根おろしと山芋の

酸化

アルカリだけでいい

灰を混ぜなさい

畝は高く

もっと高く

今日やるのはガラ刑Ⅱです。この前LVDBooksに来てくれた人は同じ内容なので来なくていいです。ガラ刑

Iの見本盤RとBDJは販売しています。あとは金継ぎの皿と天目の冷酒用カップなどもあります。

何を言っているのかわからないでしょう

大阪は曇りで気温は一〇℃です

ガラ刑というのは向井抜きシエシズから始まり、スウィートインスピレーションアミーズを経て、シャンドンデルニエールに至る日記的郵便的シリーズの最新系です。厳密には音楽ではなく伝達に関する実験です。

傍流としては映像付きで映像を無視して録音を集めたvimeoのデジタルハリネズミのシリーズもあります。

これらはデザインの仕事に近いものがあります。

明日の拾得はもろに音楽です

CDEEDCC

拾得は三八年振りです。前の時はウインドウベイン決めてて客が悲しがって自転車で京都一周してきたと言

われました。僕は普通なんですけど時間が勝手に遅くなったり。時間のせいです。ぼくの所為じゃないです。最初のカセットに入ってる「ときどきけんは」というのはその時のものです。ベースは今井

The Remnants

マイクケリー

しまなみのいきもちえりもなくなつていきつもわりつ雨のびちゃびちゃ

ンニトミツミトミヤ-----BDIAm

弱音酔わね余話ね夜半ね

ンヲヲトーラードーランミ-----BDIAm

Hidden

ンニニレメトーヲト-----

オンリーワンズにジョニーサンダースが乗っただけのソーアローンの幾つか

カウベルの明るさをロックンロール

夜の唄に似た唄

G Bm C D

But your song will be like the /one sung in the night

G Bm C D

your song will be like the one /sung in the night When you

C ConB Am Am

p/prepare for a festival, And /your heart will rejoice like / one

C ConB Am Am

Who walks with a /flute On his way to the mountain

F Em D D F Em D D

G Bm C D

よるのうたに似た唄

G Bm C D

みさぎのとき フリートを携え

C Bm Am Am

て歩く者の 心の

C BmAm Am

喜びに似た心の飲む

F Em D D F Em D D G#79

目を瞑って歩く夜道は

Gm

目を瞑って歩く夜道は

色んな人の声色で

開いても閉じてても真っ暗で

寝ても覚めても同じこと

目を瞑って歩く夜道は

パトカーなどともすれ違い

上にも下にも寝場所はなく

パジャマも上着も同じこと

目を瞑って歩く夜道を

十歩歩けば目を開けて

歌わせたものに歌われて

車道も歩道も同じこと

詩が目を瞑って一人歩きを

店で死ぬ

よしこさん店で死ぬ

店で死ぬ

店で

店で死ぬとはよしこさん

店で死ぬとは

店で死んでいた

店

店で死ぬとは

よしこさん

店で死ぬとはよしこさんは、

look away from me

Am Am Am Am Am Am Am Am EEEEEEDD

Look away from me, that I may brighten up Before I go away and I am not.

わたしから目をそらしてください。わたしが去って、いなくなる前に、わたしの気持ちが晴れやかになるために

追悼

B G# B G#

しるしつうのうたをうたわれるおまえが

C#E B F#

もう生きていつ

B G# B G#

まだ死んでゐるぼくらの

C#E B F#

きぼうのないうた

D D F# F#

マイクケリー追悼の意味で今日はカウベルだけ叩いて呉れ。ロックなんてカウベルだけでいいと思うけどな。カウベルは一時流行ったけど今は廃れたんだよ。

ジャキリーベツアイトが肺炎で死んだって

ジャキていつの間にヤキになったんだ

ヤキが回ったのかな

@Aigaux手が四本あったね

幾郎は昨日ライブでカウベルで済んでラッキーだった。今日だったら手をあと二本生やせとか言われていただろう。

この譜面誰か演奏してみた人はいますか

ぼくはまだ頭の中だけです

トッドソロンズ大丈夫か

昨日月の裏のかぐや姫の死体(本物)というのを観賞したがお顔を見て、あっ一子さん!と思った

今日ガラ刑とtir-chai売れたんでロードワン観てきた

みんなしぬのがよかった

あといろいろつごうすぎるので萎える

あとは抜け殻になっていて

ウシジマくん大丈夫かなあとかバーム屋の店長戻ったじゃんとか

この犬映画もめっちゃしぬらしい

血統種選択欄の長くして「不明」とのチェックは末尾にありぬ

犬猫他愛ない自愛ない

それにしても寝るときくらい暖かくなりたい

アピチャッポンもペイトンもパピプペポ

弾き語り中世へ、或いはbe bop a lula I don't mean maybe

なにもかも有象無象で銀河系

市場で揚げるギャラ串

趨勢は中世の音楽ではなく音楽の中世に向かう

十二音階の民謡のようなものに

絵文字を使ったことのない女が子を産む

サーフィンが廃れる

パンクが中世に向かうというのはロシアの映画群を観ていたら分かる

鴨らは

頭を垂れて

浮いたまま

プログレから古楽に向かった時とは全く違う

トランプのせいで

まず、込み入った打ち合わせなどする時間がない。あったとしてもスタジオに入る余裕はない。曲はその場で作らなければならない。フリージャズの時代は、この迫害に備えるための訓練だったのだ。

蒲団の外冷たい宇宙が拡がっているのでこのまま墓場まで壊れたスマホを連れて光速

朴裕河（パクユハ）でコーイチローの友達だった教授じゃないのかとふと思った。帝国の慰安婦を評して源ちゃんはこの孤独な本はないと説いた。

映画の、リアルに見せるアジールとバザールのチャラチャラ

きょうまたベクレ東虚一行くぞライブだから

東高円寺辺りで行けと言われた喫茶店があつたがどこだか忘れた

愛媛から行くんじゃない

石鎚から跳ぶんだ

ピーター、レコーディングしてるってよ

@mad_spice 幾郎も来ればいいのにな

ベクレ・デイリーとスティーブ・レイシズムのデュオ

ガレルの新作 *L'ombre des femmes* やつてゐるなら行きたかったがもう

家

ジャノレトウイヤーラーワンダバーデ私もお会いてきて嬉しいです

昼大久保でスリランカ用のスパイスを購入ネパールの溜まり場でチャウミン五〇〇円ネパールの人らの単語は少し分かるようになったがミャンマーはまだこれから

地表の灯りのみ見えて地形がわからないまま着陸した。海か山かもわからない。大きな都市と思つても大きな都市がどれくらいで大きな都市なのかわからない。山陽とか奈良の小都市なのかもしれない。進み具合は遅いと思つた。金星はよく見えた。

スターウォーズで光速に切り換えるシーンの影響かなと思つた

ネパールでもミャンマーでも名前のことをナメという。タミール語源説に則つて南インドのカレーを好む日本人のナメを思い浮かべる。

@suzukinikikosun カレー粉は前インドネシアの店で買ったのがまだたくさんあるのでカルダモンを強めにしたりして近づけたいと思いましたがそれでだめでしょうか

@suzukinikikosun 新大久保のイスラム通りのほうですか

ちなみにヒンディーもグジャラティもインドネシアもパンジャブもシンハラも名前はナメとかナメみたいいです

ギリシャはオノマでラテンはノミネ、ヒブルーはシエマだからセム語というのか

町田樹引退てまーさんはショックやろなあ

@noiookinawa「印欧か」タカアンドトシ

@suzukimikikosun バブバブバー佐竹

もしもしベトナムちゃんに引越すってよ

ぼくも放置民空港には寄るけど

定住とは恐れ入ったな

sacha guilty

紅梅や死ぬ気で作る数仕事

鬱という字の覚えかた

二本の木の間に屋根をつけてその下で缶コーヒーを必ず三杯飲む

両輪に輪と矢の時間を孕ませてベケット劇を進む戦車か

かつて戦車だった頃の思い出は胸を漕ぐかのような平面

丘々は戦闘の痕を遺したり蒲鉾型の防空壕も

入れまいとする異物を入れて国々の善玉菌のような攻防

トランプ譚でふ映畫を観てをればサツシヤギトリ大頭領然

映像を喋りに合はせ音楽とずらして使えばヌーヴェルバーグ

自分しかないのて入国出来ない

相手とは何か分からないので入国出来ない

広い門なので入国出来ない

ゴドーを持つても持たなくても入国出来ない

総ては水際なので入国出来ない

虫や花や動物ではないので

入国出来ない

意識があるので入国出来ない

死んでも入国出来ない

不条理でも不条理じゃなくても入国出来ない

入国出来ない

入国出来ないトランプと私と

外の闇で泣いたり歯軋りしたりするだろう

そこにいるのは犬と娼婦

入国出来ない

トランプと私とイスラムと

私は恥ずかしくて入国出来ない

私は恥ずかしくなくても入国出来ない

入国させてもらえないことがわからないまま早くに死んでいればよかった

入国しないと居直つてももちろん入国出来ない

艱難を経て入国する者は幸いである

ニュウコク

言葉を転がしても無駄だ

ニュウコク

no way

ニュウコク

訳の分からない言語を話し訳の分からない感情を表情してるた

ニュウコク

ラップしたってダメだよ

紅梅に少し曇天近づけり

焼燔の供与の山羊のおばんざいがいこくじんがおかしたはんざい

細かい石垣の棚田を復た戻る

苔も竹も同じこと応援しているのはオレンジの地衣類

山林啾啾として道後に下れば明るうなりぬ

マッスグに恥ずかしい

池波も波と思へば苦しき

磁土五〇〇キロ運べるか昼イチ山並の結構温くて春

斜面の茶畑を一瞥して峠

最短農免道路事物点々

小松藩

ずっとだらだら笹の海

風呂入りながらワンセグでお笑いとか見てたらあかんよ

平和通と勝山通りの交わる辺りでなんの宣伝でもなく踊ってるくまがいるんだけど

モブ？

ゆうちゃんは元ヤンなのでそのままイーオンが好き

看取るには早すぎてつまり遅すぎて幾度訪わばと春繞るのみ

死を想い死を想い死を想うのみ

耳鳴り耳鳴り耳鳴り死のノイズ

共犯幻想は腰骨を碎かれ孤立の思想はただ辻褄を合わせに追われる。人はただ野分に枯れる草のようだ。法に向かわなければならない。ただひとつの法の法に。法の上方に。

アオザメに青ざめ明るみに赤らみ脳縮の高柳でさえ黒白付けるに苦勞しない脳全面放射交換的白黒解体
シヨロープシンよ蒼ざめた鮫を見よ

この世界の片隅にも沈黙もいずれも受け身で迫害に備えさせようとする世からの刷り込みに見える。彼らの
苦難の原因は敵にではなく身内のシステムの不備にある。ただ浅野の役の他人事ではないリアルは堪えた
同じ拷問でも痛さは異なる

収容所でそれは実証済みだ

音楽の仮初めの大義など鞭一回分の痛みにも値しない

泣き喚いて死ぬのだ

共謀罪で捕まる諸君は精々大義を磨いておけ

少しは楽になるかもしれない

器全員救おうとして根詰めて撫でていたら風邪っぽい

我が人生など素焼に若かず

幻聴を聴いているのだからタイトルは沈黙というより「パードレというシステムの不備とジレンマ」だろう。ピリーバーズにかクレジット入れているが無に祈るとかヴェイユ気取った時点で上下のシステムはお仕舞いだ。浅野の名をエンドロールから消せば弱者が際立つて映画として完成したのに。

ゼロ年代

・漏れなければ形は何でもいい

から

二〇一一以降

・漏れてもいい

に変わったのだったが

今夜

テーゼをもうひとつ加える

・僕の意志は、どんな器も減ぼされず救いに至ることである

人生を棒に振る指揮者を棒に振る人生の棒を振る暴

それであんたは何がしたいのって言ったわけよそしたら松山を流してるだけだつて

包囲され感受性豊かな女が子を煮たのであると哀歌に

おまえさんどこへ行くつもりだね重信ではネカフェも潰れたのに

さあ、これであなたは全部知ったわけよ「私は二六才」

サークル♠楽園ワイン 一一〇円

山裾の上林^{ミナモト}の集落ゆ見えて屋根屋根の灯り蕪村の如し

禿の鉢巻きの男朝のテーブルにビール壺ドンと置きたる

水勢は強に設定されてをりこの店のオーナ一の強気か

トラフグが沢山釣れる東京湾そんなことで「V」はいいのか

消火器という作品を考えた。部屋の片隅に置かれているんだ。会期が終わった後もね。(口調ボウイ風)

マイピアでゴミ屋敷に戻る痴呆

TVの部屋はみんなキレイで

畑に這いつくばって

「V」付きリクライニングシートでは国会答弁とベートーベン

氣志團の「オレんどこ来ないか」言えるようになるまで独りカラオケ

藤が吹き零れるような即興

中川裕貴、バンド・音楽と、軌道を外れた に対する依頼されたライナー

一、映画の一シーンのような既視感があり、音も家電ばくて合っていると思います。順番に慣らすのは個性なのでどうこう言えませんが、相手の音をよく聞く古典的な合奏をスローに定着させたような演奏で、この演奏でなければならないところをこそ歌詞以外の言語のフレームにしなければならないので大変と思います。ぼくでしたら言葉をこういう風に扱うのであれば母音と子音に分けて同時に発音するやり方にすると思います。最後の種明かしのような朗読はサービス精神の表れと思いますが、なんちゃって感あり、それが土台の脆弱と思われると損です。

二、これもみな経験したことがある情景で、フィールドレコーディングとピアノは幼児番組のようにうまく絡み合っていると思います。歌詞は飼育員の声なので、track 1 と同列に扱ってしまうと、演奏のやり方が一と同じなので、言葉に対する罪が浮き上がってきてしまいます。ただここでの本当の言葉は無邪気なものです。その無邪気さに水をかけるような温度は、水族館の受付に硬貨まじりの札を投げ落とす時に起きる風の冷たさと等しい。

三、ノンミュージシャンという概念は、今世紀にはもう失われたものです。呼応がないということは音楽の死を意味し、歌詞はその意味で正しくこのトラックと呼応していて、ここでは言葉にならない言葉は喪われています。

四ここでも言葉は最初から失われていて、様相は高柳幼稚園です。演奏しているのに録音に含まれないというフレーズはいじめがあることを想起させます。ピアノがロック史に引っかけられないことが演奏を昏くしている原因ですが、言葉はここでぼくのギターソロに丸投げされます。

五京都に愛がないことが、東日本の私たちに愛を気付かせてくれます。三・一一以降リスナーとは、全員東京の人で、京都の人は東日本の人の耳を生やしていなければCD一枚聴くことさえできません。羅漢風に言えば、京都は存在しない、というのがすべての始まりだと思おうのですが。

六このトラックはこのアルバム中最良のテイクで、「京都は存在しない」というテーマを敷衍していますが、特筆すべき抒情があります。

七ハーブが横浜市教育委員会から最終的にいじめ認定されて喜んでいきます。でもそれは夢です。このアルバムはコンセプトアルバムではありません。京都の土俗は普通のフュージョンでした。だからこれは京都ではありません。やってはいけないことを入れるのが掂げられたコンセプトなら、これは大江戸線から上野駅に移って落としどころを見つけようとした、というところでしょうか。集団就職の坊主頭の群れの中の（リスナー＝ぼく）が見えます。アメ横のハムカットライアングルは崩れて、今は五軒くらいになっています。上野も様変わりしているのです。年賀状もめつきり来なくなりまりました。ロック史に掠ろうとするならこのテイクはteleportedの鏡。東の不幸。イカも回遊するからだめです。応援なんてしなくていいから。

事故現場に花を植える老父見えて

ハーブムーン

夜啼く鳥の

昼の闇

ユニコーン思い出よりも長く生きたね

@haigokarasasu消えて寂しい

映画を観るという行為は存在しない。私たちは映画を観ているのではなく、体に倫理を突き通らせているだけなのだ。だから沢山映画を観る人ほど映画を観ていないことになるのだ。レコード屋の店員が一番音楽を聴くことから遠ざけられているように。

彼らが観ているのは個別の映画ではなくその背後にある映画そのもの、世を支配する魔物の洪面、自己の象徴界のバグったしかめっ面とでもいうしかないものなのだ。

観るなど言っているのではない。観れば観るほど遠さかると言っているだけだ。遠さが近さであるような世界で、統合失調の時間と重力の方程式が夢のガラスに指で書かれる。

一番映画的なのは、映画を観ないことだ。

観るならば、それは操作、あるいは取引と関係があることを知らねばならない。きみは城壁の上に連れていかれ、世の全ての栄光を見せられるのだ。

そうしたシエフェール風の言い方は必要量の半分程度の勇気を人生に与えてくれる。

最初に磁気テープを使った技師シエフェールには時間の沃野に関する考察が今一步欠けている。痴呆になった晩年にこそ作るべきだったのに、電気技師には音楽的な強い動機付けがなかったのだ。

"étude aux chemins de fer"

ジャン・ルイ・シエフェールの「映画を見に行く普通の男」をピエール・マリー・シエフェールがコンクレートにすれば良かったのだ。多分ピエール・アンリと一緒に。音楽に磁気テープを持ち込む、という意味をもっと考えて。せめて鈴木健雄くらいには。

アンリはロック史に抵触しようとする意志を持っていた。

こうしてアンリはスプーキートゥースのドラマー、マイク・ケリーを介在してオンリーワンズに結び付くのだ。

アンリの「現在のためのミサ」に六〇年代は言い尽くされている

鬱のコーイチローが最も嫌ったのはトートロジーだった。それはリュック・フェラーリの「トートロゴス」を聴いたという訴えだったのかもしれない。ケージは最晩年のテープ作品で実にフェラーリ的だった。それはコーイチローも真似した。会場に着くまでの音を録音して、それを流す、というやつだ。

いや、思い違いだったみたい。前にラジオで聴いたトレインのやつは収容所の記憶みたいなものも含まれていた。リストにないからケージじゃなかったのかもしれない。アムトラックだったような気がする。そうだとしたら収容所ですらない。夢かもしれない。ユーロペラの一部がそうだったのかもしれない。

最晩年のテープはどうやら夢だったみたいなので撤回し、人生の最後にテープをそれほど使わなかったということはケージはとも音楽的だったのだということまで得心した。ちょうどレイモンド・カーヴァーが最後に自分の作品を書けたように、ケージは非音楽家としてシエンベルクとの約束を果たしたのだ。

音楽的というのはどうということかという、シエフェールに比べると、ここでもカラージュの工藝性が決めた手になっているということだ。ウォーホルの初期の作品ではただすっきりした薄い色彩のヴァリエーションに見所があるのと一緒に、結局はデッサン力というか手つきの問題になってくるのだ。

ちよつとした塗り残しのような余剰に近代的な美を感じるのは、セザンヌで世界は止まったというに等しい。

工藝性に絡め取られ振り出しに戻る双六のような人生

音楽に向かうとき人は音楽家と呼ばれるのだから非音楽家の演奏、という言い方はもうしないほうがいい、と僕は昨日中川君に書いた。ゲームのフォーマットはしばしば非音楽の方向を向くがそれはもう工藝性の問題でしかなく、しばしば非音楽が非音楽に向くだけだから音楽とは何の関わりもない。

フェラーリは其処ら辺の苦渋の落とし処として日本に合っていたのだろう。

エピタフは「げっそり」

旅とは見切ることだ。何処に居ても出来る。

それでも誤解によって進んで行けるのは音楽だけだ。

工芸性とは統合失調によるデッサンのこと

石槌山のごつごつした感じが半端な雪で際立っている

携帯は熱を持ってCoCoのカウンターのの上に置かれている

音楽家は、大抵脳内の旋律に強迫されるが、ケージの特異だったのは、脳内の音そのものに強迫されていたことである。

ノイジャンは無邪気にその地平で居直っている。

この場合症例は自閉に似ている。

アスぺの場合は音は強迫以上の暴力

@Aigaux いえ、そんなキレイな弦楽は入ってませんでした。本当に夢かもしれませんが。

@Aigaux 「女は存在しない」という言い方と同じで「京都は存在しない」というわけです。鏡を通して自分の顔を自分で見ることが出来ないように、京都とはいっても東京から見た京都です。その逆の言い方もちろん可能です。

私の心が私を捨てて

私の体が逃げ回る

@Aigaux la kyoto le tokio ｼﾏ

ラカンの口真似してるだけですよ

料理酒しかない料理酒を飲む

三月二五日おじさん週刊誌みたいなあれの京都の外でやります共演はデユッセルドルフから来た何とかさんとおじさん週刊誌みたいな名前のあれ。

ことの葉にごめんなさい

ことのハニーさようなら

その事の方にこんにちは

そのことの実にこんにちは

言ばからにげるヨナ

ミヤオ

試食販売の七十代が松前のエミフルでマニュアルを無視してケバい衣装で勝手にワイヤレスマイクを持ち込み他の売り子を圧倒していた昨日

アーカイブ化を誤魔化してゴミ屋敷

ちゃん付けて呼ぶ敵

緊張

生政治

昼の行き来に閉ざされてばかりの仮眠であるような夜の昼寝

マックにおいて私たちが消費しているのは、学校のガビガビのモップが固まったようなハンバーガーではなく、商法そのものである。ナイツが漫才についてのメタ漫才であるのと事情は似ている。私たちは失われた時間を食べているのだ。その発見は腹痛を伴う。

深夜のマックは、凡庸な食べ物の記憶こそが豊かなシーニユの習得に不可欠であることを教える。それは貧困層の時間意識の革命の契機を孕んでいる。意識が、時間を持続ではなく違反と捉えるのである。

@disappearancexx 時間のパンに空間を挟んだようなやつ

ターナーに似ていると思つて追いかけるが失われた

「〇〇は失われた」というテキストを付ければ写真は成立するのではないか。写真としてではなく。

シャッターチャンスは必ず逃されるというのが貧困層の前提でなければならない。写真家のようにバシャバシャ撮る或いは弟子達まで使つて新宿の写真をバシャバシャ撮らせるような金も暇も無いわけだから、撮れない事をこそ武器にすべきなのではないのか。

写真とは写真を撮れないということを訴えるためのメディアなのではないか。

またしてもこういう言い回しになるしかない。即ち「写真は存在しない。」

写真家とは写真を撮れない人のことである。

すべての写真家はにせものである。

では本物とは何か。それはただ写真を撮ることである。

ただ写真を撮るといふのはだから茶道めいている。

失われていることをごまかさないということかもしれない。

窯の火を止めました。一二六〇度で練らし五〇分。

三種類の釉薬のそれぞれの溶解点を予想し置く場所や与える熱量で案配するのがストレス。一種類で焼けばいい話なので単に費用の問題であり、これも歴とした疎外の一形体。

大抵のストレスは単に金の問題だから自分のせいにならないこと

窯焚きは博打のように終わらせた。ごはんは明け方マックでチーズバーガー食べたけどおいしくなかった。写真撮ろうとしたがシャッターチャンス逃した。温泉の休憩室でまいうーの人が食べて寝るだけの刑事物と水谷豊に傷だらけの天使の面影を見つけれない刑事物を見ていた。セルフトラウマ治療した。

インフルにマタタビ酒って効きますか

足を怪我したレイちゃんは死に場所を求めて出ていった、と打とうとするが充電ランプが点かない携帯の不具合で打てない、と辛うじて打つのは、小説の途中で。原稿用紙が汚れるか破れるかして書けない、と書かれているのを読まされているのと同じだ。

ガラ刑のメタとはそういう貧困層の不具合の報告に絡み付かれています構造物の様相を言う。中川君のような実況ではないが。

Full of Influ, Enjoy!

と打つのは音を打っているのであって文を打っているのではない。読み上げかたを強制されている文字列はだから文字ではなく楽譜なのだ。

元気なら小さんに似ている伊牟田も

元気なら小さんに似ている伊牟田は

元気なら小さんに似ている伊牟田を

磁器は漏れませんが突然もらはらに堪えかねたように釉薬に罅が入ることがあります。

物原やみは逃げた釉薬のシエルター

ヒラリと飛び乗るバレンように

スーパー彷徨く狩猟民絶望

今日の朝日新聞で綾小路きみまろがインタビューを完全にネタ披露の場に変えていて、最後の「五輪終わる頃死ぬのがほんのご臨終」になぜかホロリとさせられた。

Hi Curtis, I think I have not got my TIN,

be well

矯正不能の領域にも開かれているような場で何を呟くというのか

風化は言い換えによつては防げない

宝くじは絶対に当たらない

人の名は断ち滅ぼされる

矯正不能の裾野に連なり

石探しは墓穴を掘らされる

あからさまな哀歌が離婚された国によつて詠唱される

間違いの魅力は消える

淡々と当て嵌める従順は

実に黒々とした海の生物たちの

群遊に馴染むが

種族の違う者たちは見下されることに堪えている

にちやにちやした光がいそぎんちやくを照らす

顔の細長い銀色の魚の

笑顔が貼り付いた口から歯が覗く

刃を二本飲み干した

網は体内を下ってゆく

子らは気絶して倒れた

酒盃を取り上げられ

越えてゆく者たちのために腹這いになる

十七世紀の野放図が

いまやっと気圧に押し付けられる

自分自身よりも愛しなさい

石耳が湧き出る空地で

深さを深さとして語るために

世界を言い換えない

骨を投げ捨てるように

空を投げ出す

目眩と共に立ち上がり

絶望的に緑の穴を見ると

聖霊というもので

眺望された平野に広がる視界の裾野と同じレベル

開かれる裾野は修正不能なものが立つだけではない

眉を顰めるアニメの醜さも立つ

流暢さという醜悪もある

裾野に立つだけで巻き込まれる

巻き寿司のような看護婦の

酔に浸された声の胴体

スリッパは炭焼窯のカレンダーに浮き上がってゆき

後ろ楯となる背後の山は

骨の猪を投げて寄越す

野羊を探す者はカレンダーから山に向かって叫ぶ

捨てられたメディアの不法投棄の谷で

食べられてよいものになろうとして

蹄を削る

最終的には全ての言葉で話すのか野羊は

吹きさらしの裾野は海に落ち

海底でさらに海溝へ傾斜する

その末広がりの中で或る名が断ち滅ぼされる

飛び魚が飛ぶ裾野の×軸

飛び魚の頭に操縦席見え

春の刀で切る空は秋刀魚のやうにべくれてをりぬ

感情は魚類の群舞に醒め

魚類は感情の群舞に酔う

空漠の村に原子白檀落つ

空漠の村に荒漠の測り綱

空漠の村で呟く不発弾

要するに飛び魚に乗って白檀の村に行ったわけねはつきり言いなさいよ

言ってるじゃんさつきからそう

飛ぶレベルの問題なのね

回遊する飛行機の感情はベクレているか

貴方は墓を掘って墓に入ろうとするが自分で土を被せることが出来ないので頭が不発弾にお変わりになった
(水谷豊風)

R1も明治だから同じことか

幼稚園でインフル予防に効いたとかいうので最近信仰を持って飲んでただけど

キウイ柵が主張する新平面

カーステレオ壊れてCDを取り出せず永遠にアイヴアースしか流せなくなって久しい

E♯DGF♯A

(AGD)

ストーンズ白

まがる(触れる或いは触れるので邪魔になる)

えずく()

えずくて大阪弁はじめて聞いた

用例：子らがえずくので眠れません

エズカナイ

エズキマス

エズク

エズクトキ

エズケバ

エズケ

かなりえずき

えず・く〔ゑづく〕【嘔吐く】の意味

出典：デジタル大辞泉

〔動カ四〕吐き気をもよおす。また、へどを吐く。〈易林本節用集〉

エズラパウンド嘔吐するリバウンド

財閥富を誇れども過食を思う心なし

水の上を歩いてもういくら飛んでも彼の奇蹟は遠ざかる夢のその内臓にあった。腹の神の湖面に集まる人々の前で百合の拡声はハラキリを伝えた。おはようございます。三島です。昨日はガラ刑を買っていただきありがとうございました。今朝の一曲目は「くそくらえ節」です。

開かずの踏切を嘲笑うかのように少し離れて地下道が掘られていた。潜ることのできる境界は在る、化学変

化は立体なのだ、と墓川は思う。新三田行きの背中がざらりと光った。

某阪急線の墓川さんお便りありがとうございます。三島です。今朝も寒いですね。では墓川さんのリクエストで「ミッチー音頭」

卯月妙子人間仮免中つづきP.T.Nに指輪ホテルで出てきました

アキさんさといふりがっこおいしゅうございました

いけえずみさんの治療費支援CD作るみたいで

前にバト一君がバイクでタイからミャンマーに入ったときは荒れてて、マーケットでは血染めの日章旗だとか穴の空いた兜みたいなのが売ってて、軍にパスポート取られて大変でしたわ、と

こんな夢を見た。

クアラルンプール空港のフードコート

シャン族出身で、長野で半年働いていたという女の子が、油をあまり使わない薄味の野菜中心の食堂をやっていてありがたかった。当然シャン族の溜まり場になっていて、冷蔵庫からジュースを抜き取る常連の手付きに馴れというより情を感じる。

ロンジーという巻きスカートにサンダルで歩いている。あちこちに落ちている紫はピンロウジを吐いた跡。バスは二〇円で車掌は歌っているか唾を吐いている。スメンメーと言えばバス停でなくても降ろしてくれる。

二五で人気だったのに可哀想に。LOIのトレーナーの消された女の人もっと可哀想。

トラックのバスの荷台で起用に座っている一八歳のタヅさんが言うには両親は離婚して父親と祖母と住んでいたが一五歳の時に洪水で二人とも死にその後は姉とヤンゴンに出てきて自活している。今はホテル勤めで

無職の姉を養っている。ほらあそこの五階。

部屋は真つ暗で空調の蛍光だけ周囲に滲んで空気が潤んでいる。そこだけ詩が開いている。

タヅさんは聞き取りの音で実際はテザさんと綴るのだった。頬つぺたに白く塗る白檀の粉はタナカと言う。ボルゾイのバンドのことではない。ナマズ出汁のモヒンガはタマリンドで臭みを抜くのがコツだと教わる。六〇円。きょうはコオロギを食べたが拍子抜けするほど全くスナック菓子の味だった。

殺生をしない建前なので野良犬たちは大抵死んだように寝ていて大人しくしている。たまに親や先輩が吠えることがあるが、それは子や仲間を諫めて、人間に餌を期待するな、希望を持つな、と説いているのだった。道でスズメを売っているのは食べるためではなく、善行が罪を帳消しにするという発想から、買い取って解き放ち良心を宥めるためである。スズメたちはまたすぐ捕まえられ籠に補充される。

辻にコップと水を入れた置かれている

死んでいるのか生きているのかわからないので腹をよく見るのですがそれでも大抵息をしているのかしていないのかわかりません。

たかちゃんから、おりさんとめりさんとリナちゃんがグーグルアースに載っていたとの報告

五時に庭で鐘が五回衝かれる。日本のような余韻は無い。その人工の音に、とホーヤオと鳥笛のような声で啼く鳥が完全に唱和する。その後また少し人も鳥も微睡む。

鴉は小さく、鳩より弱い。

日本ではクロスとペンキやってた。日当一万二千元、昭和が平成になった年だった。皆優しかった。長野で野菜の栽培もした。食費と部屋代だて日当八千円、一〇年居た。また安倍がやってるね。安倍は外人嫌いだからみんな困った。でもミャンマー人はオーバーステイとかなんにも言われなかった。

どぶさらいという職業があったことを忘れていた。あちこちの黒ずんだ開渠に、おさないときからどぶさらい、と口ずさんでいたのを思い出した。大江先輩は浅間山荘で唯一下水処理の工夫に希望を見出したが、それは日本にもドブがあった頃は共有されていた知恵だった。

料理にも空気にもどこかにドブのおいがしているからきつと還元ブーケにも「ドブ、死の懐かしさ」みたいなものがあるそう

信号がないので動物のように堂々と渡るが手を挙げて礼を言う仕草をしたりはしない

ヤンゴン川を対岸のダラに渡るフェリーに、夥しい乗客が、夥しい子供の物売りと共に乗り込む。料金がただなのは、シンゾー・アベがこのボートを寄付したからである。目の丸に、*from the people of Japan*、と二箇所に貼ってある。ありがとう、シンゾー・アベ

うちで壁掛けにしていたロンジーはカチンのだった

食堂で使われている白磁の皿や茶のセットが轆轤を挽いて作った僅かに歪んだ本物であることが知れると世界は一変する。新興のスーパーでは一〇〇円ショップ的な型物が既に支配しているが、歪な洋食器同士の差異ほど美しいものはないということに気づけなかったらこの国はあと数年で終わる、と思う。

喘息の鳥が尺八のような声で啼いている

たぶんサックス吹きならここで暮らせる

旅の空白に人が死に

旅の余白に書き込まれる

タイは値の張るワインとSPYというチューハイじみたエナジードリンク的戦略の発泡酒の、黒と赤のスタイリッシュなデザインの何かとして受け止められている。ロンジーとタナカがほぼ排除されたひんやりした暗

い空間に革張りの椅子が並び、食器はデザイナー主導のマスプロダクツの段階なのだ。

なぜかテレビで猫侍をやっていたのでミャンマー字幕で観た。北村一輝はローマの王様になったり侍になったりするので俳優って凄いなと思う。

わたしに何があるということ？ 熱帯に寒さがあるということは

物乞いも工夫次第で商売然としたものになる。例えば今日道に座っていたお婆さんはただ鉢を置いて金を入れてくれる人を待つだけではなくデジタルの体重計を自分の前に置いていた。どこからかき集めた穀物を鳩の餌と称して小皿に入れて並べて売る者もいる。

ナマズ出汁のラーメンと並ぶ、ココナッツミルクで和えたラーメンを食べなければならないというので腹をこわす覚悟で家族でやっている屋台に行った。彼らは茶葉を発酵させたラペというサラダをつまみとしても食べている。

一日中HOHYAO!と啼く鳥とももうすぐお別れだけれども、聞いている裡にこの声は山椒大夫の「安寿恋しやホーヤレホ」ではないかと俄に思えてきた。

ここでは鳥は大事にされていて、稲藁を戸口に挿した家が沢山

環状線で一周した。山手線というより武蔵野線である。

線路の上を歩くとか、車道を渡るとか当然のことなのに

朝早く発つという弁当を作ってやるから持っていけと言う。昔の日本みたいだ。百閒にこういうシーンがあった。笑いかければ笑い返す人々ばかりである。

この取っ手は砥部にもあったが一応手作りである。空港にも蚊がいる。

タイ国チェンマイで光速夜「シャツを着ている。小西ヤスに見せたかった。

アジア的とは畢竟無法者だということである。速度標識がなくても関係性の中で速度は決まるし軽い意味でのクラクションはノイズにならない。抜く抜かれるの自意識がなければ復讐めいた抜き返しもなく、動くだけで奇跡のような中古だから加速を競う族もない。

自転車タクシーが基本で、みなおっとりしていて、列に割り込んだりしない。タイやマレーシアも矢張り既に全体が日本のように狂っている。

女性もきれいにはなっただけれども日本の作り笑顔が修得されない分、中国寄りのだめな方のきれいさに進んでいる。

軍政が終わり二〇万くらいしていた携帯を割と安く持てるようになり皆どぶさらいの泥の叢に座ってBBとラインをしている。

タブローは完全に無効であると思えたが、知り合った南アフリカの女性のキュレーターが選んだのはヤングン在住の以下のような作家たちのものだった。

これらはミャンマー芸術というよりコロニアル由来のダウンタウン文化であり、ダウンタウンというものは世界中どこも同じなのだ。

かつてはきれいだったのだろうが、今は黒ずんだドブ川で体を洗おうとしている女の人が出て、思わず止めろと叫びそうになった。タブローどころではないというのはそういうことだ。

歩行者優先の方針によって横断するのでもリベラルの建前ゆえに共生するのでもない。終戦パラダイスに於いては絶望の果ての慈しみによって事を運ぶのである。

昨日のハードレインの演奏は、良くても悪くてもいけえずみさん支援CDに入れるつもりでした。

ミンガラーバ

フラミンゴは一本足で立っているそれは足が冷えるから

動物園に連れてくると色褪せる

その色の源は餌にある

うごめくけはいきず

鳩は磁石を背負うと戻つてこない

キウイはそれ自体では甘くならないリングと一緒にゃないと

Bebop a lula

She's my baby

熟してしまうと果物は終わってしまう

終わりまで変わらないね

立ったまま朽ち果てるのかな

サボテンの花言葉は朽ちない愛

いたみたえて

けして負けない

たえていける

いけえずみさん、葬儀しないってよ

国道沿いの来來亭に深夜小ラーメン五〇〇を食べに男が各地に

帰り道の一軒から叫びが上がるきつと

チェーン展開の各地で今夜もきつと

放尿する者たちを絶やす風がいつかきつと

故ミノルさんの奥さんから同人誌を貰うふじわらあきこさんも載ってるまだ呼んでない懐かしいきつと

きつと正しいきつと

きつとこの風は正しいきつと

ハローニューヨーク自分のが一枚もない

レンハン見たことある新宿で。中西さんギター借りたことあるロンドンで。いけえずみさんピアノソロ見に来てくれて嬉しかった白染で。一番最後は情趣演歌発売記念大久保で。最後「あったかいんだからあ」で固まってた

水のように階段を下りる

砂埃

ほめられて舞い上がる

耀血が^ガチ

溶血して赫々くはくと

川向こう

山羊の黒点

家の中

観念して寄り添う

レキバン・メーニン・グー

これはプレゼントです。読んで。

ピノワ野郎

コートはストーン

何でも海軍由来

朝は美國早餐

ネズミモチの実を割り

膝に漆を塗り重ねる

ピノノワ野郎

20分でパリパリに乾き

太陽をふわり

昼はノワール

夜はモオブ

Patienceの失透

今日は久万にリンゴ灰をもらいに行く

慶應幼稚舎の子らが来るので轆轤回りを片付ける

人を殺したい衝動と闘う

ひとえんどらん

ひとえんどらん

狂暴罪ならとつくに死刑

だ一くさいどにおちてください

リンゴ園竹前君電話つながりません竹前と本音を使い分けるのはやめてください

あ電話あった

ハードレインの演奏者の苗字みなタナカにしましたがよかったですか

田中バチカ

田中のどか

半チャーハン田中

田中大谷

など

アルファベットです

山に入るのででんばきます

美しいリング園である

竹前君はADHDで教室の机から机に飛び移る子だったが立派になって農業指導員ばい格好をしている

灰と引き換えにマグを渡すと、銘が入ってない、とポツリと言う

摂にもこの前言われたのを思い出した

無銘を気取っていたがどちらが謙遜なのかは自分では分からなくなっている

村八分で殺された人の話を聞くと、警察は何をしているのか、などと子供の頃は憤っていた。山の結界は闘ぎ合う対象をずらしながら鱗の病のように白尽していく。

村八分があるなら国八分があり地球八分があり宇宙八分がある。謝れば済むから警察は要らないんだよ。奈

良に乾漆八部衆を見に行ったとき象の帽子のいじめられっ子みたいなやつがいて好きだった。

チエーン店は味が濃くて狂っていると思う

スープなんてシャン族みたいにほとんど味のないお湯でいいのに

遠くの山はなかなか飽きない

ということは遠ざければ近づくのだろうか

ボールペンが落ちていれば拾ってしまう紙があれば描いてしまう

何メートルある筆でキャンパスから体を離して描くより遠近法の中で遠ざければ良いのではないか。距離ではなく意識の問題なのだから。ヤンゴンで見た、空に顔の猫線のある絵画はスーチーを山脈にしたかったのだろう。マンガにはよくある技法だ。

遠近法の土俵の上で意識を操作するのは釈迦の掌上で抜け道を探すようなものだ。

浮世絵はそこを衝いてくるのだろう

でもそれでは眼のパーティー効果のようなものでしかない。それで考えたのは、キャンパスの裏に画家の好きな彼氏或いは彼女の写真を貼って展示する、という作品である。

小野川にクレソンの群生地あり商売も考える例えば東温トラットリアに卸すとか

子供の頃姉のように慕っていたみどりさんは美登利と書く「にぎりえ」の美登利

懐かしいのににぎりえbotやろうかと思うくらい

句点なしの超長回しで、現象寺とかお俠寺とか当て字がかっこいい

煮凝りのような濁り江に飛び込んで心中する話だったね

たけくらべ読点無しで最後まで

人をけなすというのは彼で終わりで、あとは阿倍幼稚園みたいな世界になるだけだから、追悼は私物化の怨霊が飛び交って難しいだろうと思います。日本人には総括出来ないから *Wie* が英文でまとめるのではないか。

重要なのはイケエズミ・アランラインが辺境としての日本アングラを逆輸入再領土化したという一点のみなので、追悼イベントの意義はその可視化にかかっていると思われます。

庭のクリスマスローズ母子家庭から二度貫い三度絶やした

多民族国家の国境線は大抵、旧宗主国が以前の支配地域を内政問題のみに拘泥させておくために地図上に線引きしただけのものである。彼らは狡猾にも雲南～インドシナの諸民族独立のエネルギーを支配のための机上のベクトル計算に貶めたのだ。

だからチエロ松が今朝引用した白川先生の言は代理戦争としての武器輸出を封じなければ机上の域を出ず、ベトナムの最中に発せられたのだとしたら全共闘も寛容だったものだと思いに感心する。

日本がどうにかしてやろうというお俠義な戦前に戻る流れに呑み込まれる可能性さえある。

パレスチナとインドシナではロック史のありようが違うのだ。共通項を遠ざけて、近づかなければならない。中華は近い。ゆえに遠い。

フラッシュバックが起こりそうになったら呼吸だけに意識を集中して今の瞬間だけを感じるように脳を仕向けること

個人営業の廃された町の

青年たちの接客の声の

片付ける井の触れあう律呂の

おれのたたかいの

それらは一〇〇〇円の詩だ

一〇〇〇円分の逆向きのベクトルを得るための

「君の名は」がかかっている店内で

「だから名を植える（ふしわらあきこ）」という一行をやっと読んだ

息をして、決断してこの店に入ったのに

名のない町に厚みを塗り取られて

腹から色は失われていく

孕んだ胤は宿されていた最後の半年、合奏のように割り当てを伝え、今日この日のために親切を先回りしようとするのだった。吸って吐いて吸って吐いて、暗い畳の奥にあるものを、これは神様でしょうか？と穿った先回りをしようとして、違います、というのは簡単だけれど、どこか似た春の、

親切な先回りのように雨は今は降り、吸って吐いて吸って吐いて、建物に入れずアイドリングしたまま、弾かれた者の横たわる

合奏以前の昔と同じ闇の

体だけが動いている感じなんです

すっきりして立派なものが齒のように立っている

それを識別しただけで夜は終わり

滑らかな舌に耐えている

サトシもその同郷の子も千葉で友達がおらんくて寂しかったんやと思う。千葉の町はウシジマ君の写真転写背景みたいに殺伐としてたんやと思う。と郷里から出られない僕らは噂し合う。それにしても写真転写のウシジマ君の遠近法狂いまくってるよねいつも背景から浮いてるもん。

サトシ！

まりのドレミファソソソを使うか使わないかでおじさんたちが揉めてるよ

甲府の印傳というインド由来の、鹿皮に漆を施したがま口を頂き早速宵越しの銭を入れた

四〇〇年続いたけれども伝承者は今は一人だけだそうである

アンドリユー・チョーク辺りがこれで〇〇箱作ったら究極の贅沢だろうなあと思う。

試食販売のバイトしてて今治景気いいと思ってたら国家戦略特区にしがみついてアゲていこうとするカラ元気だったのね

奥さん今治新都市で試食販売息子タオルのデザインとか安倍に食わせてもらってたようなもんじゃねー

ありがとうシンゾウ・アベ

@knicall きみは僕のシンゾウ・アベだよ

アッキードはいけない。ロッキードは裏があつたのだから、アメリカが動いているという印象を与えてしま
う

ガツキードがいい逃げ恥みたいで

すいません調子乗ってました

耳遠くなり母近くなる遠さ

母死んで父遠くなる近さ

父死んで母近くなる遠さ

父母死んで父母近くなる遠さ

父母死なないで父母近くなる遠さ

父母遠くなる近さ

父母の遠さに近づいてゆく

父母の近さに遠さかつてゆく

近さの中に沈んで行かぬ

遠さかりの中に遠さけて遠さかる遠さ

遠さ

父さん

Joydivisionに父の死という歌詞があつたがどの曲が忘れた

英語も話す

スチュワードのようではない／ようにではなく

貝が水を吐くように

そして瘤を見詰める

紺のストライプ、ストライプ

癖

首の角度と顔の非対称

跳ねた白髪

眉を上げても劇的に顰めても目が小さいので目立たない

目が死んでいるように見られるのは不利だ

死んだ目などない

好好爺的なものと銀行員的なものがせめぎあつて

そのどちらでもなくなっている

突然の高声調ミイも古典落語的ではなく

時折子を育てた父親臭さも顔を覗かせる

タブレットを指て叩きながらの眼鏡の角度は

新しい落語的情景だ

天皇陛下の肌の色が主食の耳朵に連なる漆のテーブル上の

カットグラスの大きな灰皿

握り拳ウイंक あわあわとしたbran

南のウナギが出てきた

瞳が、おおきい

骨格が下顎と富士額に引き伸ばされている

目さえ大きければ禁令を報告できる

二重の笑い皺は時間を止め

口髭は生えたらウナギのバートランカスター

会社の中でしか当てはめられない充実に関する指針

並外れて大きなものを恐れてはならない

空港ロビーみたいなタイで

Stop being anxious

似た造作なのだがピーナッツと鶉の卵、抉れた瓜と鶏の卵くらい違う特に肩幅

挟れた部分は眼窩というより陰になっている

子供に話せシンプルに

日々を乗り切れ

サイゴンで人はパンになる

経験はパンのように支える

大きい方にも末成りを認める

赤ん坊のときの寝方か

ずいぶん頭が違う

目の小さい金髪の白髪は恐ろしい印象を与える

ダイオウイカの三〇センチの目玉が一番大きいわけだが

眉毛の代わりの筋肉と皺

目が小さくてもいいということだ

ほとんど泣き顔

それに対して切れ長の黒目の東洋の方はどうだ

一三五五の水を手の窪みに

太陽がオレンジなら一番近い北京辺りの星まで一手尺

自分の心さえランサムから引き離すことが出来ない

死んだらかけよって失った穴を埋める

死んだネギシさんは文庫本の校正のバイトをしていたのでうちにあった文庫本はみな彼女から送られて来たものだった。重要な部分ではなく直しの箇所には赤線が引いてあった。それを読んで育った。

ネギシさんはサングラスをしていて、僕にとってはグレコとかバルバラのような人であった。

戦中派の聞き取りもそろそろ終わりだ

どんなに良いことを言ってもきみたちは終わりだ

うらやましいことだ

吐き気が止まらない

死にたい

ネギシさん

死んだらいいと思う。すごく。

だって希望がないもの

死んだ方がいいよと言ったらすごく怒られたラストの人に

まあそりゃそうだろうね

仕方ないことの方が多い

ひっこいな

江戸弁

当然罰するよね

もう顔で分ける時代。顔が名刺みたいな。名を刺して幾ら、みたいな
帰国できんようになるほつといったら大変なことになるっちゅうことや

ダミアではなかった

ダミアではない七八才が死んだ母の代わりに死んだ

中身は嘔み付きオトメ

尻尾を持っていったら一万円

徘徊のための出口のない迷路で見付けた

補聴器を無くしたブギー番長が這いずり回っている

乗り遅れたり無くしたり大変なことだ

八〇の同窓会には行こうねと言いついていたが転んで死んでた

写真を選んでいった

遺影にしてと言われていた顔だけが不細工で

きつと整形前のこれが本当のあたしよみたいな

五時にいきなり帰国したい人と言われても

ハグし始めた

本当かなあ

そんなにいいか？

老女だよ？

なんの希望も救いもない

それになんといつてももう死んでるんだよ

ああそうか罪だけはないのか

そりやとても快適だね

よしこおばさん

自転車のすみ子さんがシュタイナー特有のにやけた敵しいカエルの彫塑の表情で通り過ぎる。親の介護期をとうとう終えたバレエの筋肉はイカとササミで編まれ酢に浸された籠のようだ。ああ清々した。ケアは終わったのだ。

赤ん坊に弔辞を

介護者に金を

死者にチャンスを

老人たち老人たち老人たち

その他の世代は自動的に消滅する

その悲喜交々^{ひきあひ}、無かつたことにされて

幸福なのは今産むことだが残酷なのは今生まれること

シンガポールのビル群はすべて幻想

誰も働いていない

リアルなのは道にビンロウジを吐いてごみを捨てることだけ

優性思想で老人を分けてもすぐ死ぬから

ヤマギシは高尾で何故あんなに子供の農作業を配達員にまで勧めてきたんだろうマンションの部屋は暗かつた当の子供らも居なかつた

広島フラメンコピアノ近い予定は六月四日がアビエルトでロルカ、四月二九日がマリウスでミサさんカンテです。

頭陀袋の老体を叫び倒すカンテも砂に還るか

まどかさんとナメクジでお馴染みのまどかさんの旦那さん牛乳の後に新聞も始めたって

夜一二時から朝の六時

しばたさん退院伸びてまだ働けないけど

休むといいよと言われてだから休んでんじゃんよーと

七十人分も一人で作らせて過労死認定ものだったまだ死んでないけど

七〇の人をそんなに働かすなよ

酒袋の座布団板の間にひんやり

しばたさん

死んでも生き返るからいいな

But you said, 'It is hopeless!'

No! I have fallen in love with strangers.

And I will follow them.'

どうしよう村を出たらモンゴルに殺されに行くとか

山本さんとすれ違った普通に挨拶できた良かった

山本さんは組を抜けたから村八分になるかも

働いてなくて車もなく趣味は輪投げ

動物除け罫いの作り方が病的

年末年始にはイルミネーションを点ける

旅行から帰ったら土産を持っていくようにしている

組費が払えないのだろう

奥さんからはよく服をもらう

名前は変えてあります

山本さんは静かに狂い始めている

金正恩みたいに

殺人事件の予感がする

ぼくが飢え死ぬのとどっちが早いかな

年金の山本か

R 売るだけの俺か

google earthをどんどん拡大していったら家が裂けて恐ろしい日常の切れ目（笑）みたいなのが見えて来るの知ってる？

一八日にオーガさんが鳥の詩画集を出して朗読をするというので虫のPATCHを使って鳥の速度を変えるやつをやってみようとしているがmaxはトライアルの期間が終わって使えないので困っている。pcの製造日？を変えてトライアルを使い続ける裏技もあると聞くが面倒くさい。

ハルコ父にトライアルをダウンロードするように恃んだがうまくいくかわからない

川手君に聞いたらフリーソフトで出来ますという

それだと作っておいて流すしかない

寿命の比を計算して喧嘩してないときの声を録音する

案外寿命は知られていない

渡りをするかどうかさえはつきりしないものもある

二物与えず系が多い特に鷺

文芸部に驚みたいな可愛いオカッパの人がいた。親が肛門科で、先がピロツとしたホースから出てくるみたいな声だった。

現在はいつも渋滞してる前も後も

現在が、広い。

点ではない現在を渋滞している

白いスーツの赤メガネの女が街宣している。子育てがどうか。襻もなく。

FBで宣伝してるけど外人しか反応がなくて出演者しかsongになってない

やはり何をやってもだめなんだろうか音楽なんて一杯あるし

死のう

元気そうだね

そうですか？

今日もミャンマーカレーだった

今日が月曜日と思っていたから姉とskypeの用意をしていたのだが日曜だったので時間が空き妹がストープを消した部屋で蜂飼耳を朗読してくれた。

地震の日が近づき娘はトラウマでどろどろになってる。笑いながら話すから余計に苦しい。側で子供が「post office」を歌っている。

こうして追悼が日常茶飯事になると、死に漏れている者たちの中の、死んだ者たのアーカイブ化のレイヤーが押し上げられて風化し、現在に勝利するようになる。

熱帯のファシズムは吐くことを禁じ、北を撤去させて甘い頤から果汁を滴らせた

東洋の西の端で、奇妙な風揚げが行われた。トーホクの地震の心臓を弔うという。虹は地平上に昇り、やがて湾曲した水平線に隠れて見えなくなった。

チエロ松が引用したのは、で始まる *msh news* 今朝の話題は狂。凶ならデザイン的にその説明で彦坂さんの納得出来るが狂は明らかに七年獣のようになって野に居たネブカドネザル王の記憶ではないのか。船が方舟由来とかカチンの神話とか白川先生ならご存知であった筈だが。勝手な言い草すみま

フェイクニュースとかトランプに怒られそう

久米の古い遍路宿今日解体されてる

外人の遍路が立ってる

ネットユーザー

餓死する人に付いてるカタカナの

捲れない薄さ

なんて薄い山の色

その薄さは中国から来る

薄いことは厚いこと

言葉の薄さは汚れの厚さ

ゴダールも山よさらばとは言わないでしょう

或いは老眼の筋肉

水陸両用車のレポーターが

「ちなみに私のメガネは遠近両用です」

現在しかない筈の詩なのにその詩の朗読会が未来に存在するのは詐欺的だから詞に変えるのだと

2@thedeformityさんは正しいせんたくをしました。今からのちせんそうがあるからです。

今朝はチエロ松のツイートはないのでnshbニュースはありません

屋号は?やまばとデザイン事務所です、と言うと窓口の人の口が「プツ」という形になり、一月から収支を説明していくと六月ぐらいで「もういいです」と言われ、下流或いは難民、の項に判子が押される音

みどりさんの「百年のわたくし」蛙軒に持ってって見せてやりたい

森川君今度会うの当番の日だろワインだけ変えておいてくれないか君ほどの酒飲みなら分かるだろそれとも幾郎一派の安酒に舌がイカれたか美代子の釣り堀のシーンであればいかんですよあつたけどあればいかんですよ

マシーンに性別ありや乗る人の男か女か分からぬ原付

危ない運転をするあれはどちら

無頼の面影

族の名残

速記用とか探したけどmac用の速度変換ソフトがなかなかなくて結局川手君の言うようにaudacityをダウンロードしている

リヴァーブ邪魔だがAudacity目処が立ったので労働に戻る

そんなこと誰にも関係ないよな失礼

吉濱君のバッチは一夜限りの夢だった

鳥に喋らせるアンビエントやれるんで誰か呼んで

営業までして馬鹿だな俺

ああこれがアンビエント脳か

楽でいいな

リング灰を水簸していたら風邪を引きそうになったでもそんなことは皆さんには関係のないこと

この時のように始まる前の音を使うかどうかということです

二〇一七、か

プロ愚連隊の札で頬打たせる幸福

Progressive slap happy

まどかさんとナメクジでお馴染みの統合失調のまどかさんあの病院では全員黒い服を着せられて一晚中ノイズ出してたと主張する現実幻覚現実実名前は変えてありますダルマー食らうぜ飲んだ喉の渇き父の遺言聞き取れぬ宴の食器片付ける夜半の寢覚

左の頬を札で打たれたら右の頬も差し出さないあきえはぼくのつまでしじんですぶじよくしないで札で打って札で打ってスラップスラップスラップ

このレイヤー喰らうぜ資本の奔流濁流喰らうぜメアリー

想像界ドグマダグマ現実界まどかさん象徴界マグラマクド

しつとラブぐりえエルグリコわん立川カレーの市民犬とメリー

嫉妬あらむロブグリエ理恵ブログロブスターグルメロブスターダスト兎戯

あきえしんぞうあきえはしんぞう呼び捨てられたあきえしんぞうは夫婦フープディアフープあきえしんぞうは夫婦あきえしんぞう阿木へ腎臓喘ぎ心臓フープフープフープ

山から二筋冷気の谷杉までそのまま流れて犬連れてバス停に貼り紙で一つなくて一つなくて一つなくて

みんなやとうみんなやとう工場みんなやとうおっきな工場山から二筋冷気の谷で一つなくて一つなくて一つなくて

いよかんとデコボン今安い時期だから食べたいやつは送ってやるよ

練馬の結果聞いて小平辺りで買ってそうなマダム田端とかがかわいそうで

これからバタバタ死ぬんだから死んだやつをアーカイブする癖をやめて生きてるうちにほめてやらなければ猫に出ていってもらいたいときは戸を開けるだけではなく明け閉めを繰り返す。すると出てみたくてたまらなくなる。

ネット初期にランダムに開け閉めする入口があったが同じ心理を利用したものだろう。前夜というのは遙かなものや早すぎたものが跋扈して革命後より面白いものだ。

もしかしたら今が一番面白いのかもしれない

無駄なデザインの趣味的な刹那的な大量発生

無駄に細かいギターとか

美人過ぎるガス検針員が玉柳君の隣の隣に坐る広島焼き屋で倉地君流れて、みたいな

消えた恐竜のデザイン担当だった天使が席に割り込んできて、いやあへぴメタじゃないんすよねえと仕事の愚痴を言う。どっちかつつーとメタルは植物でした、皮とか。

エケケケケと美人過ぎるガス検針員が笑った。その途端広島焼きが呉焼きにシフトした。

というような細かさ

伝わらないしどうでもいいしこれじゃ大濱君さえいいねしないですよ、と玉柳君がボソツと呟く。その掠れ具合がジュラ紀じゃなくて先カンブリア、と天使が玉柳君の喉を誉める。するとその喉仏から梅干しの種が飛び出す。

あ、あたしその種を割って中の白いところ食べるの好きなんです、あ、いえ好きじゃけえ、と言い直すと倉地君の音が頷き、そうその白がぼくなんですよ

というようなライブが七月あります。前フリ長くてすみません

ジョゼツペは

老眼だった。

リーに至っては

もうガンだった

coming

四月一四日に音浴でラップトップのライブします

スイスや中国の人たちと

ハクジンノヤミニワケイル樹皮カサと

アーモンド

雨あ面倒だ

あめんどう

開口栓みどりのいけの透明度

六本指靴下で芋を植える

無神の馬、虚無の苺

九里瑛大です。ぼくは昨日これで癒されました。

すぐずれてるのが分かるのと胸の辺りの筋肉がよい

入場料音楽のせかい

橋本君のハーモニカソロのCDを聴く。サックスより口に近いのでやっていることは同じでも口の音が沢山入る。気迫めいたものがより鮮明になるぶん、なんのために？という実存的な突っ込みはよりきびしいものになる。阿部のが余技だったとしたら、ハーモニカ史に突っ込める隙があるのではないか、くらいの動機だと馬脚が現れるだろう、と思つて聴き進む。即興に使われる他の楽器のように、吐く楽器なのに吸うだけ、とか穴は無視して草笛として扱う、とか、ハーモニカは予想可能な一通りの扱いを受ける。それはまだ虐待のようではない。橋本のサックスはなにより色彩であつた。それがジャケの単色に見られるように、街の色彩は退いて、今回色は心臓と肺の血だけになっている。ここでプロデュースが気になってスリープを見てみ

る。宮本ではなく、林、という人である。ライナーは長谷川、という人である。知らない。なぜかサックスを抱えた写真もある。一瞬の隙ができると懺悔のように悔し紛れの唇と息だけになる。鬼気迫る、という感じではない。浦邊のような言葉のフレームはない分、好青年感は保たれていて、スタバで彼の唾の垂れたコーヒーを飲む女もいるだろうな、という程度の爽やかさが残存している。肛門で吹いても良かったかなと思うくらいだ。男には、ハシモトの唾を飲むか、という踏み絵となる。ハモニカじゃなくてもいい、というところまで来れば目的は達成される。サックスじゃなくてもいいのは判った。だから次はハモニカじゃなくてもいい、になるはずなのだ。そうやって殺していく流儀はレイシー以後入場料音楽の世界ではそんなに実践されていない。サックス殺しの世界観をここで復習してみよう。まず、「サックスは存在しない」が来る。ラカニアンの実験は必ずそこから始まる。ちなみに、久留米にラカニアンというバーがある。

話題がそれた。

次に「サックスは、サックスの外においてしか存在しない」等が来る。その意味で、イキをしている間に出てしまったハモニカのいくつかの瞬間はようやくと美ちゆうことになるごたある

結論を云おう。ぼくはハモニカはアイヴァースがすきやねん。悪いな橋本君。でも、いいサックスだった。エヴァンに一度も掠らなかつた彗星に、きみはなりたかつたんだね。

taxiはいつから

なーさん??_??_??

覚えかた

anomalie

あの、マリィ？大丈夫？

MIDIで結局使わなかつたよ梯さん

すっからかん節

看板の本という字のとめ・はね・はらい

出し忘れ車で届ける茶封筒

街路樹の連なり霞む遠近法

春の日陰の墨の冷たさ

駅周り再開発の空地のようなものだ心の自由など

葩ハ はな はなびら

posherd

あなたの名が嫌なのはあなたが嫌いだからではなく

わたしが自分を嫌いだから

殺しの谷に捨てられる

銘を入れない高台の欠片

自由律のくせにハナビラをつづめテクしかも中の句は字余り

ヤンキーはラインでいいよ閉じてれば

現在の宝塚市生瀬は乾山が白化粧の土を採った場所だが、炭酸の名水でも知られ、明治にはここでイギリス人ウィルキンソンがその名を冠した炭酸水の販売を始めた。彼の興した宝塚ホテルも元はタンサンホテルと呼ばれていた。宝塚や有馬の炭酸温泉水を用いた炭酸煎餅の謂れもそこにある。

酵母を入れずにその炭酸水で練ったパンを食べてみたいと思いませんか

山雀 ヤマガラ

トリガーを煮込んだスープ飲んで吐く代わりにシンゾウばくばく食べる

心臓をバクバク食べて心臓が丈夫になると信じているのか

心臓は置いて寝床を出なければくっついてきてしまうぞ体に

心臓を舐めてみたらわかりますか桜の花の味がしますか

突っ込んで心臓だけが急停車

心臓と心臓ぶつかり串刺しに

ハツとっつgood

閉じるなら母がわたしの埋葬所

啖^{たん}ふ

とうとうおかねがなくなってきたしらそみそそそみららしそ

おひやおとりかえひましようくふわあっと低い声で言う。

戦時中工場は取り上げられ後を継いでいたウィルキンソンさんの息子さんは軟禁され日本人の奥さんもスパイ容疑で収容所に入れられていたそうです。戦後工場は再開されバヤリーズの輸入も手掛けましたが息子さんは外国に移り奥さんのために宝塚に豪邸を建て奥さんはずっとそこに住んでいたそうです。

水道から炭酸水が出る町があり、その人はみな元気だそうです

天然の炭酸水で割るなみだ

やられたらやり返すな海の谷間すなどられないわたしたち棲む

うみなりのおとすれ

みみすはれのほとり

はらむからてて

うるにもとるか

ちちかわからぬひとは

ははとおもへと

せいしんかのせんせい

おつしやつてゐた

わうたちはわたしのちふさからすふと

ろしあのはんけつまつまのさくらかな

なくられてひらかな

ひらかなてもにふくす

再起動した脳セーフモード

かな

123rrフゝ

ソーソン

ラーンフゝ

rr ー

on Am

" I was already dead

and it resurrected me." BANKS - Mind Games

@やくにはたたんよたぶんpeut-etreプーの手取る@

再起動反対再起動反対ダダンダダッダッダ

このままロシアに

降りださなければ堪えきれなかった日

de chagrin

火野正平が来てるんだったら風の谷のモデルになったところに行ってもらいたかったですね。自転車きついけど

ここからロシアまで続く並木道空一杯の悪霊降りをり

星のない空一杯の悪霊に

これは今日から大艱難だな

悪霊が一軒毎に訪ねては殺すやうにと焚き付けてゐる

おれから渡せとカンパの封筒を託したユキさんよく見てゐる

い

last piano improvisation II

子らの手描きのやつ無理に作ればあと二部は出来ませんが、とりあえず在庫はありません

中卒・ゲイ・名前の殻

きみは剥くおれは食べる此がほんとの文旦の食べ方

ひょうろくいかでかむいのしんをしらん

樺坂不協和音

攻殻機動隊

症例

広瀬すず

岡村ちゃん

中卒

ゲイ・名前の殻

文旦

ボンタン

兵六餅

甲殻類山部赤人

蟹と拡張身体共有の荷を負う兵六

しょうせいやぶらずやはんのゆめ

殻と拡張

殻と拡張

夢と現実

荷と輓

殻・義体・共有・ゲイ・赤人・兵六・櫛坂・岡村ちゃん・広瀬すず・中卒・蟹・文旦ボンタン・昔は可愛かった人なら今来てるよ・ユキさん・悪霊一杯の空・雨

今トイレの戸を開けられたら傷が癒されるまでに一〇〇〇年はかかるな

と思った、とぼくはせつこさんに言った

五〇〇円もらったので五三〇円になった

それで雨だけど出かけることにした

悪霊たちをぞろぞろ引き連れて

フロントガラスは曇った

低い街路樹は手羽先のようなだった

雨は鳥の糞を洗い流していた

コンビニの前でピンクのキャップの貧困太りのすすさんが眉を顰めて携帯を弄っていた

すすさんもウシジマくんもなんでスマホ使わないんだろうとぼくはゆうちゃんに訊きたかった

そのあとすると脱皮した

いつものように

悪霊だって変態するのだ

ゴジラのように

おれは悪そのものとなって郵便局を見下ろした

そしたら残高が増えていたのてぼくはしゅるしゅると元の体に戻った

ザイドル『パラダイス三部作』

2017.1.8 Burnt Teshima

地域活性助成金排除ファインアートの時勢にあつて口承や戦時の聞き取りに向かう一連の民俗的流れは、一種のそれもまた拠り所を求める崖っぷちの足掻きであつたにしてもある種物わりのいいヒッピーのネットワークを形成しており、

これまた外人コレクター依存雑貨屋主導工芸の時勢にあつて火成水成を採集焼成する漏れる鬱陶のフィールドワークの流れは、一種のそれもまた拗ね

たドジンの居直りであったにしてもある種分かり合える貧乏体力勝負のカウンターの情けなくはあるがギルドめいた四国ものづくりの幻想を形成しており、

要するに上記ふたつのパラグラフが出会ったところにアキラカの豊島は在ったのであり

それが香川に居ながら辺野古ゲート前に居ることであり遠野に居ることでありまたそれぞれのふだんの居場所に居ることであった。

横に繋がって四国を伸びていたのは古琵琶湖の地層であり垂直に掘られて焼かれたのは地球であり地球のゴミであり無駄ではあったが一瞬というかふた月半展示された自分の営為であった。ジョセイキンで自分は土を焼いたのである。焼かれた土が提示されていたのである。

Against the times of regional vitalization, subsidy, and anti-homeless fine art,

our folkloric trend that approaches oral tradition or memories of war

constitutes a kind of sensible network of hippies, although it were also a kind of struggling at the edge for seeking support.

Also even in the times of dependent on foreign collectors or of store-led crafts,

my trend of fieldwork-ish depression-pottery on gathering/firing igneous/aqueous layers forms an illusion of Shikoku crafts that is miserable but guild-ish, sensible, physical game without money, and as a counter,

even if I were like an aborigine who had the sulks.

In other words at the met in the above two paragraphs was Aki Rica's Teshima.

And that meant being in front of Henoko gate and staying in Tono at the same time, and also living in each artist's local place,

while we were in Kagawa.

It was the horizontal stratum of Lake Biwa that was connected to the neighboring prefecture and extended Shikoku. It was the earth that was dug vertically then burnt. Although it were garbage of the earth in vain, It was my act of exhibition like a moment, but for two month and a half. I burned the earth with subsidy. Burnt soil was being presented.ima

Against the times of regional vitalization, subsidy, and anti-homeless fine art,

our folkloric trend that approaches oral tradition or memories of war

constitutes a kind of sensible network of hippies, although it were also a kind of struggling at the edge for seeking support.

Also even in the times of dependent on foreign collectors or of store-led crafts,

my trend of fieldwork-ish depression-pottery on gathering/firing igneous/aqueous layers forms an illusion of Shikoku crafts that is miserable but guild-ish, sensible, physical game without money and as a counter,

even if I were like an aborigine who had the sulks.

In other words at the met in the above two paragraphs was Aki Rika's Teshima.

And that meant being in front of Henoko gate and staying in Tono at the same time, and also living in each artist's local place, while we were in Kagawa.

It was the horizontal stratum of Lake Biwa that was connected to the neighboring prefecture and extended Shikoku. It was the earth that was dug vertically then burnt. Although it were garbage of the earth in vain, It was my act of exhibition like a moment, but for two month and a half. I burned the earth with subsidy. Burnt soil was being presented.

ennuyeux, mais facile

淀川乱歩

ロシア政府は完全に自分より上の権威を認めない機械のようなものに変貌していて、領内の個々の居住者とは全くかけ離れた化け物になっている。他の国々もそれに振り回され受け身の演技をしているだけで、全ての政府同士は今一心同体のリヴァイアサン或いは龍のような巨獣として捉えることが出来る

解放戦線といった遠い呼称は消滅し、今や全ての人類が世界の何処にいても総体としての政府と顔を付き合わせておののいている。その緊張はかつてなかったものである。地上の牧歌性は完全に失われたのだ。日本

とロシアがこんなに地続きになったことはない。ラーゲリでさえイデオロギーの茶飲み話である。

そのためより大きな巨獣の一器官としての政府は「政府であること」に自己言及して証明してみせる必要がなくなった。さらにその器官には、¹⁵のように「政府でないこと」すらも同列に含まれることになった。要するに「人が人を支配しようとする」総体がイデオロギー抜きにまとまったのが今なのである。

今は人が人を支配した最後の時代ということになるだろう。それは過ぎ去る運命にある。必敗の哀感はレジスタンスの専売ではなくなり、披抑圧者たちの涙は彼ら人間の王たちの側の呪詛と咆哮に取って代わられるのだ。

ぼくは政治が嫌いなのである。それで営業が得意な人の政治性が苦手なのだと思った。

花見・・

お風呂に

死んだ女より もっと哀れなのは 忘れられた女です。

うちを名付けるなら路の家 *butterbur house* だと思う

小さいうちは採ってすぐ炒めれば葉ごと食べられる

アサド屋 ユンタ

desobeir

象徴界の句はその言葉の極北の花見の場所取りに似る

これ霧これ霧これ霧ですか

今も海が見えるでしょうか

霧が拡散して消えたように見えるって？

それはきみが霧の中に入ったからだよ

霧の中からだと世界中そうなつてると思い込みやすいんだ

恍惚のブルース

女の命は恋だからという歌い出しを忘れて、花の命は短くて、と口を衝いた

青江美奈の歌唱はこの後無惨にディテリオレイトされてゆく

長い雨の後に

イデオロギ―ではなくガ行の発音で分けるというのはどうだまりさん

三編英訳されて新聞に載るというのでポ一気取り

死ぬほどたのしい夢を見た

―恍惚のブルース

そのあと「あとはおぼろ」へ息継ぎしないでリエゾンダンジュールズ

フルサトなんか忘れたい

ハクセキレイはほんとに歩くのが好き

歩くというより半沢走り

ビジネス本読みすぎたラーメン店主みたい

翔べよと言いたくなる

青の中の青い建物

禁令ノスタルジー

ジカダンパン節

寝落ちしたネオナチのあやまち

へつらいへ無頼のヘブライ

胸糞悪い無垢な入間川

いい選曲だ。灰野さんはビストルズを聴いた直後、この歌い方はダモだ、と見抜いた。ていうことはバンクの元はダモさんだったことになる。ウキヨエ以来の見事な脱↓再領土化じゃないか。それに反発してマイナーがあつたのなら、それはさらに逆転し、それをBLがまた反転させる。その後はないが。

いやその後は高松のノイズ喫茶Fがあるじゃないか！

そして俺は香川でノイズやるたびに主催の農家から貰っていた米が底について困っているという現在地だ。それもこれも、ダモさんが惹き起こしたことだ。ということはCANのおかげでおれは飢えているのだ。そしてCANはチャックベリー先生がいなかったら無かったのだ。それはロック史ではなからうか。

沈下橋水中で合う顔と顔

地獄巡りのバスは走る

僕はどうして生きていこう

正男が殺されたとき俺とGackがKJ空港にいた、というのが最近の自慢だったんだがなんだ住んでるんじゃ
ねーか

醒めてピザ朴葉に包み

流し込む液体の音まで

ナマステ

生徒一人の学校で

ベタな流れに向かつてる

せめて南へ

明日ベアーズですおそろしいことです

Of your souvenir from a dream

春の山惚れると惚けるは同じこと

見渡すかぎりの弥生の白の中の

末席を調整できない

波立たぬ上層に落ち窪んだ緑の謹厳

苦さを呑み込んだ緑の謹厳

言葉ことば引き剥がされる

コトバことは切り通しから引き剥がされる

到来する時にまで及ぶ白か黒か赤か

外の緑は重い

緑の液体 緑の液体 外で飲む緑の液体

耳鳴りの周波数乱れ 耳鳴りの周波数突如乱れ

白い腹の模様

魚の白い腹の模様

山合いに小さな霧がたくさん

山合いに小さな霧がたくさん

三〇分で地層を引っくり返すのは難しい全ての話し方が間違っている「こんなはずば、らぶしぐいおわく
りごまの／はんなこと」

ヒヨ口出てきた

ピーターはドミノに乗って後金辛口爺さんの役回りを！

みんな騒いでるよ

値上げした肉抜きキャベツ焼一四〇円を外人従業員から購入して立ったまま寒い夕飯を救うタバスコだガマ
ん

息子が弾いてんのかよ

brazen

冤罪コエンザイム

復活Q10

丸亀カマタマーレ

外人ドールズ

—Hein—

ノイズが閉じた回路だった時代は過ぎ去り最早「ノイズ随筆」みたいだったスイスのニコラさん

助成ノイズと自腹エモノノイズの落差

ははは、自腹エモ

愛してるずっと君を見守り隊

言葉の目的は購いを説明すること

言葉の見守り隊に参加していたトウイララー

桜の山は水底に

The twitters

中西君が小綺麗にベレー帽被った画伯になってる…

噂はほんとうだったのだ(につこり)

二都一触即発の演出の一時の弛緩に花溢れる

深読みを薄めた正解のような着地をブラウン

マイネ・乾布摩擦

北日本民主主義人民共和国

大日本民国

アメリカ社会主義共和国連邦

ロシア合衆国

朝鮮国

大韓帝国

花の終わりを流されて終わる

六〇sハンミヨウはベトナム戦争由来の農薬で死滅道案内が居なくなつたまま若者は都会へ遁走

斑猫やこのみちは誰が遁走れけむ

もう冗談抜きつてのが多くなつてきたなお金の無さにしても

もう駄目かもしれないな昨今の情勢を見るとこのままでは

注文はぼちぼちあるけど発送するお金がないんだなこれが

笑いは湿度を低く保ちながら室内を伝っていった

試された色たちがそれ自体の集合として試される時

白と腫れた瞼が目立った

もう巻末になりますね

根深い恨みの鎖は湿度と色を試されている

切り口

を多く見せられて

虹の断面にも触った

その建築のラフ・スケッチは鞘の中の疎らな豆粒のようだった

言葉のシーツを纏うだけで運搬が容易になるのか

そんな繋がれてゆく物件の

贈り物の断面

「棺」からの翻訳

a Mountain Cabin

although the eagle ferns and kudzus have all been eaten up by boars
holly ferns sink into a shower of morning light
their curled sprouts now unspooling behind fronds
this light, it falls upon even the dead leaves
a quarter of the cherry blossoms are in bloom
and the camellia is unseasonably lush
the wintersweet, too, still thinks it's winter
if japanese wasn't such a seasonal language
i would sing your praises, all of you
teppan was the morning soap that day
when the devastating earthquake hit
oh, what's the use in taking photos this spring
when i am etching the scenes into my eyes
for you lose what is in front of you with each click of the shutter
and i wonder, is color the last to go?

山小屋に

ワラビや葛は猪が食べ尽くしてしまったが

オニシダは朝陽を浴びて透き通っている

分かれた葉の間に螺旋の芽が解かれようとしている

枯れた葉にも光が当たって

桜は三分咲き

季節は終わりだが椿が滴っている

蠟梅も終わってほんとに蠟になっている

季語の縛りがなければ

きみたちのことも歌ってあげるのにな

連続テレビ小説はてっぱんだった

大きな地震があった

この春は写真を撮るのももったいなくて

眼に刻もうとしている

シャッターを切ると見えているものは失われるだろうな

終わりは 色なのか？

Inspection

as though a plume of white smoke, the dregs of prejudice form a line

mountains are endless going forth with a scowl has become normalized

a gust of wind—minitrucks rock

while meadowsweet evokes zechariah

greetings get lost above the stronghold

low-flying bees kick up circles of dust

hannah, who wept and fasted; peninah's emotional share

spring is so beautiful this year

why capture it in pictures?

without were fightings, within were fears

but the morning soap came on as always

mountains were endless

houses studded the landscape in isolation

a bright night journey in rough zine sketches

on an inspection

neither death, nor life, nor angels, nor principalities nor powers, nor things

present, nor things to come nor height, nor depth, nor any other creature

has tears to sow

nor rewards to reap

meddlesome anonymous reports meddle

with a power that is greater than the self and other

the virtual mountain path continues to scroll on

in a world that basically treats us all as enemies

視察

三角形の残滓が白い火事のようにラインを作っている

山は悠大過ぎて眉を顰めた歩行は常態化している

突然の風に軽トラが揺れて

ユキヤナギはゼカリヤ的である

第一声の揺れは要塞の上を彷徨う

低空飛行の蜂が地面の埃を円形に吹き払う

泣いて食事をしようとしなかったハンナとペニンナの感情の受け分

この春は美しすぎて

写真に撮るのも勿体無い

外には戦い、内には恐れ

ただ朝の連続テレビ小説があつた

山は悠大過ぎて

点在する家は孤立していた

ラフだけの連載マンガのような白い夜行

死も 生も み使いも 政府も 今あるものも 来るべきものも 力も 高さも 深さ

も またほかのどんな創造物も

on an inspection

涙をもつて蒔く種もなく

与えられる結末もない

自分や他人の延長線上にさえない強さ

おせっかいな密告 meddle

ゲーム画面の山道が続いてゆく

この世は基本的には皆さんに敵対しています

Place Vanished

layers of rock vanished

place, too, vanished

as soon as i spoke its name

i previously mused

whether color is the last to go

and color vanished

everytime i wind the film

it all wears down

i become what i was yesterday

from a stone to a monochrome flower

a seared conscience feels no crisis

we busied ourselves with the flood—

apple clapped her hands together

in a house with no door

there was no cause for joy

the smell of decay was hidden by air fresheners

she sat cross-legged

filled white plastic bags

and gestured surprise

“it’s a blessing

we’re not yet wiped out”

i wasn’t watching for the world

after the tsunami hearts of stone adrift in the doldrums

場所が消えた

地層が消えた

場所さえ消えた

名指した途端に

終わりは色なのか

と書いた

色が消えた

フィルムを巻くたびに

磨耗していく

今日のわたしは昨日のわたしになる

石から白黒の花

危機は鈍い心を素通りしていった

洪水の処理だけしていた

リングが手を叩く

ドアのない家で

喜ぶべき理由がない

芳香剤が効いて腐臭がしない

リングが足を組んでいる

白い手袋を嵌めている

手を頬に当てている

「まだ減ばしていないのは

何と幸いなことでしょう」

報告など見ていなかった

津波の後 石の心は風いている

interview with brown noise

1, Why did you decide to make your record in PSF? 何故PSFから作品をリリースしようと思いましたか？

出したいというから、出れば少しでも有名になっていいと思い承諾した。

2, Who's the best PSF artists for you? 最も好きなPSFのアーティストを教えてください。

みな同じに聞こえる。

3, What was the difference between PSF and other labels? 他のレーベルとの違いは何だと思いますか？

マスタリングの段階に対する考え方が違う。それがミュージシャンではなくレーベルに属するという意識が強いように感じた。それはメジャーの名残りかもしれない。一発録りに拘るのは60年代的な瞬間信仰に依るが、経費削減という利点もあっただろう。自分の思

い入れによってレコーディング・ライブにフレームを付けて世に出すというやり方は間章と似ているが、フレームが言語ではないという点が異なっていた。その思い入れはミュージシャンのそれとはいっても微妙に乖離していた。それでいつも結果としての商品に対する後味の悪さがどこに残った。ピナコテカの佐藤もレーベルの作品を自分の作品として出したい部類の人間だったが、それはアートワークに限られていた。

4. Mention us most significant point of Modern Music. モダンミュージックの特筆すべき点は何だと思いますか？

高柳を正當に評価しその門下を復権させたことだ。高柳に言語はない。あるとすればそれは象徴界に属する。それを共有すると思われるフォーク野郎の領域まで生悦住はカヴァーし、それらの音群をもって、聴く前に泣いている種類の言語フレームの音楽を格闘技のリンクに引き摺り出したのだ。

ツイッターって皆実体験とか感懷を書くだけでつまらないから普段はミュートしてる

たまには嘘の凄い物語を語れよ

もはや嘘を書くことでしか真実を表現出来なくなってる。だって隣が民主主義人民共和国っていう国名なんだよ

まずきみに出来ることは食べたものについて真実を述べないことだ。うどんを食べたのなら蕎麦を食べましたと書きなさい。パスタを食べたら焼そばを食べましたと書きなさい。それだけでずいぶん変わるもんだよ。

そうしない限り民主主義なんて語れないよ

あの子は嘘しか言わなかった。だから死んだ時、「彼女はほんとうのことしか言わなかった」という言葉がずっと出てきた

上が嘘をついているのだから下も嘘をつかねばならない。しかもわざとそうしなければならぬ。ぼくらは奴隷で、劇場の見世物なのだ。

天皇陛下万歳と天皇殺せと両方呟いていれば共謀罪にならない。言葉に意味がなければ罪も責任もない。言葉では裁けなくしてやればいいのだ。でもそれは安倍がやってきたことを忠実に模倣しているだけだ。わたしの体は日本のようだ。言葉はアンダーコントロール。

演説バルコニー

路上で餓死する最近の私。痩せてるでせう。

雨が降ってるなら傘差せばいいんだよ、兄弟。

雨ばらばら降ってるなか傘差さず二時間同じ場所に立つてる

花びらは雨に転がるわたしが世界に降って眺めている間に

キノコは可視化されたリゾームであるので云々

共謀いざ望郷今日棒材忙在京

切ない刹那

レモングラス一年で枯れるかなと何でもモンサントのせいにする

前は何年も生きてた

ヤナーチェク

葉桜の季節に君を想うということ、という、題の美しい小説があった。中身じゃなくてそれが本屋の棚に並んだときの。それで藤棚と八重桜の公園に行かなくては、と思った。

Oublier.

墓川が幸せでありますように

藤と八重今日は狸を二回見た

春の夜にびったりですね

死ぬことよりも上に来るのは自分の死体を自分で処理出来ないこと

春逝くや自分の死体は粗大ゴミ

敵のにおいがする

野獣の

アドバイザーになったNPOから大量の名刺が送られてきてはい私はどういう者です

名前を刺しても罪に問われないのか？

おまえの名前も串刺して二度漬けたらか

無理矢理ステータスを上げようとして同階層の悪友を切る

女は毗睨^{ヒビ}を^ヒを決して春風のブログの入口に立ちぬ

編笠被り齢は七十位の遍路次々スレ違い

あみきこがいいねした

なににはんのうしたのだろう

日払いのバイト申し込んだら学生か年収五〇〇万以上か六〇才以上じゃないとだめと言われた。余裕のある人が遊びでやるような感じじゃないと相手にしたくないみたい。ガチで頼られて飢えて恨まれちゃかなわないと思ってるのだろう。

時給は廃止、働くなら基本的に無給、働かせたいなら地域通貨、生活はベーシックインカムと技能或いは物々交換、ていうのが楽でいいと思うよ。

国とか日銀とかマジ要らないんだけど

最小限の公共のサービスだけなら市役所連合みたいなのだけでいい

天皇陛下万歳

取り敢えずフラメンコの準備で忙しいんだ俺は

うちの薦はフルトヴェングラーのお墓からこっそり取ってきたものなんだよ

注目してきたのは人ではなくにおいのようなもので

どのくらい腐っているかゴミ溜めからの距離を測るためだった

見捨てられた季節の一瞬の隙に

入り込んで充滿する世

打ち砕いて終わらせるのは石の筈だったのだが

洗われた豚のなかに私を入れろと

石が弦に当たる音で砕かれる頭

息子が殺されるのを見ている視線

髪の毛は針に

心臓を置いたまま起立する時にそれを使う

軍歌が針の毛に吊るされる

中間地帯警告なし 即射殺

太鼓だけが伴奏だった

アールブリュットの残酷な絵のようなこの景色

耕すことは恐くて出来ない

浅い土に転がす芋

血は青に入れ替わり

震える弦に石が触れる

怪訝な目付きの麻酔科医は

胸の畑からピンポン玉大のノビルを引き抜く

注目してきたのは人ではなくにょいのようなもので

腐敗を測るための計器は震える

あゝほしの君。この前打ち上げは盛り上がった？

pottery exhibition

@fall Dime Store Mystery「百円ショップの器」

ずっとズックを突っ掛けて

まともに履いたことがない

まともに歩いたこともない

平山みきが千日前でギロツポン歌つてゐる今年の一月

桜田淳子の掠れが浅い胸のグレープフルーツを擦る乎

新谷のり子のフランシーヌのフランススイーヌの発音の正しき

井上順は難聴でなにからなにまでつらい昨日が終わった

今日は涙さえ枯れ果てきようなら

京都慕情を美川君が針詰めたダミ声で唄うのを聞いた

風の噂を信じて今日からは京都に居ます赤垣屋辺り

花は何処へ行つたは遅かつたね薫ちゃん遅くなつてごめんね

南沙織だけ瞳がきらきらしてゐるねえ」「ライト当ててゐるからよ

百恵には無くて淳子にはあるのは胸のメリスマ声のカリスマ

スタ誕で明菜を紹介するときの司会の欣ちゃんの女ことば

フォークルはイムジン河を

唄いをりはしだのりひこえらいちいさい

五千円が初めてきみを見たのは白い扉の小さなスナック

ぐじゅぐじゅと鳥が啼いてる朝ぼらけ

爆フラで難聴と聞き。

原因も母と同じヘッドフォン

さよ一ならの一のカーブにボランを感じるよく言えばね

涙さえ風に散るさようなら

うそ・宴たけなわ泣けたん・・・え・そう・・・

金輪際こりゴリラ

行きつけの楽譜書く喫茶店が閉店することになり感傷からか背の高いバイトの子が変に優しい。

児玉君、

いい仕事だ

宇和島で利休の晩年の茶会の展示やつてるの行きたいなあ

今は庭園の藤もきれいだろうな

トルストイ意図すると

あ、白ロシア

ロシアが減びるのだけは見届けたい

ミア・ハンセンⅡラブ

捨てられた方が美しいことだってあるんだよ

とドイツ女がバりに語らせた

グルーヴィーとグルーピーは同じではないよ

同時刻極東のぼくがウラジオストクに何を語らせればいいか煩悶している

それはグレイヴィーね

木の粉でも食べてりゃいいわ

田川の舞踏家なんだ

ララランド良かったんだ、あ、そう・・

であっさり観に行く男は

屠り場に向かう牛のよう

五〇代で捨てられた女か・・いいね

イザベルユペールがジジエクをdisってるんだって！

希望は実現すると終わるって

愛は残るとか言いたいわけ？

guajiras 難しく

ツイートとかどうでもいい

片手で親指動かしてるだけ

あ、店のことか

内装とかの

新規開店じゃないでしょ、でも

道具揃えたりとか？

あ、床？

でもそれは

もう済んでたでしょう工事始まる前に

え？

物を出したからまた入れる？

まあそりゃそうだ

床ってそういうもんだ

まだ三四文字もある

いや二四文字に減った

あと一三文字

あと五文字

耳を澄ますと風がどどと吹いている

外は寒いだろうな

さつき服着て散歩してたら寒かったもんな

服着てとか普通は書かないよな当たり前だから

ライちゃんは橋から先は付いてこない

橋がワールドエンド

あと四三文字もある

たぶんもう寝る

みんな！携帯消さないと電波が飛んで頭悪くなるよ！

望欲

という名の電車

愛と望欲のミルフィーユ

アントニオーニの望欲

望欲て語造

一昔前のジャズマンみたいに

一二拍目から入るカンテみたいに

ひっくり返し病の用語業界

裏切られるまでは続く病躁

裏切られても続く曲はありますか

先輩鼠ロツポングの朝

ボーイズネオン

中野サンプラザ

さんおそ松

朝鮮北イルミサ

団子ヨモギ

どんうーにしますかバソにしますか？どんうー。おいしかたですか？どんうー。

葉言

ロツパヨーやっぱり酔っぱらう

リカアメ首なしちゃん飴

ンニッポ爆撃石鹼本日

そうか日本ひっくり返すと本日：

本日のブルース演歌

ロールロックン~~キ~~ひつくり返すとカックン

YMO開散

裏切られるまでは続く

ミサイル落ちるまではやるイルミサ *ill-missa*

ターシエル売れバカ壕防空

母空

危機のオヤジ

ございますお早う

今日のミサイル警報は福井県大飯と新潟県柏崎です

京都は琵琶湖から遠ざかり大阪に伏せてください

難避に際しては、命人より猫犬を先優させてください

ペカリンは晴れ秋よりもくしいうつ

ネオンの怨念ナオンの本音美しきネオンの中に失職せり

今日はデーホリよ

岡田史子

ようび日か

命がらがら引いて逃げたのよ

ピラチン 国家

How's your Bloody Holiday

煮玉子軍艦と言えば、バイトのき一君によればまの伝説の裏メニューですが今日発見しました
マグロは食べるなど言われるので、何故ですかと訊くとバイトのきみにはまだ教えられない、と。

今日はよく晴れて飛んでくるミサイルの頭の先までよく見えそうだ。

ミサイル、早く飛んでくればいいのに！俺は待つてるぜ！頑張れよチンピラ！チンボツさせてくれ！原発も
全部爆発させた方がいいよ！みんな死んだ方がいい。

Chantal Akerman's No Home Movie

土手を廻る夜の池の広さ哉

夜の池琵琶湖のやうに濡れてゐる

夜の池親より先に死ぬ不幸

カメラは絹代を追え！

豆の莢が裂けて外見ゆ朝ベシ

哉

寝ますすまねー

いつべんに莢の眼の裂けて朝

丈高き草だけ刈りて済まし顔

親切なヤンキーの姐さんだワゴン黒いワゴン黒

「私を見るな、私は否定の接頭辞でしかなく、終電に乗った太陽」安川奈緒

髪の毛を数える仕事の手を止めて「こんなところにきみはいたのか

比較しないという悟りは悪用される恐れがあるね例えば

（象徴的に捉えると）かりに頭蓋が自立して、世界を歩きまわれるようになれば、それがカメなのです。ところで頭蓋は神話では全く特別の存在です。北方神話で星空は、氷の巨人の頭蓋からつくられます。そして面白い事に、全ての神秘的な流派において、頭蓋と星空には繋がりがあります。『闇の考古学』ミヒヤエル・エンデ

？

亀は歩く頭蓋

星空は巨人の頭蓋

頭蓋から手足が出た太陽人間段階の人間

詩法のドヤ顔

その行は削れ

ぼくの名前を知ってるかい

早弁太郎というんだぜ

辻潤の尺八かあ

聴いてみたいぜ

聴いてみたいが七割ぐらい

自分の中で七割ぐらい

自分の中では使いたくなかったが

野良稼ぎ

ある日せっせと

汝の敵を愛せと書いてあるのを読んだ時、敵は存在してもいいのだと初めて知った。敵が存在してはいけないと思いついていたのが思い煩いの種だったのだ。敵は存在することを許されている。そこから始めなければならなかったのだ。

敵が自分の中の低い層である場合、厄介なことになる

その部分に特化して活性化させ展開する厄介な歌もあるからだ

その系譜に連なる者たちのマナーに従い

すべての層で歌え地層ら

アザミをつくづく見るとデザインのコングセプトが他の草と違う

美人の黒人女性を見ているようだ

フィボナッチ係数が棘で和らぐパリコレを見ているようだ

アザミ嬢は

春は菜の花秋には桔梗と唄う

萼の部分も棘が生えているが

ぼくがアリだったら苦もなく花まで登って行く

お気に入りになれなければ世界が失礼だと思い、リブライがなければ相手を失礼だと思ふ。頭を過ぎったことを伝えただけで、こんなにいやな気分になるんだ。

春は菜の花秋には桔梗

哀しみハッシュタグ

「愛と哀しみのロマンセ」という邦題めいたタイトルは真面目と滑稽の分水嶺を走破しようとしている感じだ

羽田のバックツアーから電車で落とすのに五年、電車から成田に落とすのに五年、宿を新宿から大久保に落とすのに一〇年かかった

ラインは怖い

ラインといえば離婚だ

思ってもないことをすらすらかけてしまう吹き出し型の作りになっていて

普段考えないようなことまで打ってしまう

それが証拠として提出されてしまう

思考よりも会話よりも速く自分でさえないものが暴走するのがラインだ

今は平成じゃない

ライン時代だ

雨の車に固まっていると昏くなる

春は菜の花秋には桔梗

《我々》と想像界しかない中島美雪を演じるみゆき

閉店したチェーン店の別の店に行き「なぜ止めちゃったんですか」

an interview with Caleb Dailey

1. I read that you look at error in your performance as a parallel to 'our imperfect life.' Can you talk more about that?

エラーそれ自体は目的にはなり得ない。エラーはしないに越したことはない。

われわれはいつもうまく演奏しようと努力するし、それは正当なことである。ただエラーには商業的に流通している音楽以上の情報が含まれていることがある。それは、エラーそのものというより、なぜその人がエラーしたか、という問いを聴き手に強いることにより、音楽そのものに言葉のフレームをつけることになるからだ。民族音楽に稚拙があってもエラーがないのはそのためだ。エラーは近代の産物なのだ。情報としての言語のフレームは、タブローの発生以降、現代音楽に至るまで、避けて通れない案件だからだ。エラーには二つの側面がある。その一つは、職人的な技術の習得には経済的、時間的な余裕が必要であるということだ。マルチチュードにとってそれは不可能である。それは個人の怠惰に帰せられる筋合いのものではなく、貧困の問題なのだ。こぎつぱりした、いかにもアーティスト然とした服装をした「プロフェッショナル・ミュージシャン」達の群れから私たちは疎外され、引きこもりを許された人格障害者たちや非合法な取引に手を出してあぶく銭を得た者たち以外はヘビメタの早弾きを習得することさえできないまま一生を終わる。それで私たちの側のエラーは、社会に対する復讐としてのエラーであると言える。ただそれだけでは仲間の共感を得ることはできない。それで、エラーのもうひとつの側面は、純粹に音楽的な戦略としてある。エラーとは予想外の出来事であり、音楽におけるテロとその修復の連鎖であるとも言えるだろう。いまや、なんらかの事故のない演奏は、社会的な意味を持たない、とさえ言えるかもしれないのだ。

Error itself can not be a purpose. There is nothing better than not to error.

We always try hard to play well, and it is legitimate. However sometimes an error may contain more information than music that is commercially distributed. That is not because of the matter of the error itself, rather it is because of the frame of word that is put on the music by forcing the listener to ask the question why the person had failed. That is why traditional music have no error no matter how it were gauche. The error is a modern outcome. The frame of word as information is an unavoidable matter since the occurrence of the tableau down to contemporary music.

Error has two aspects. One is that economic and temporal leeway is necessary for acquiring craftsmanship skills, and that is impossible for multitude. Error is a matter of poverty, and its incentive is not to be attributed to individual laziness. We are alienated from a group of "professional musicians" who are dressed artistically indeed, and most of us except who are allowed to stay home as social withdrawal or who withdraw money from illegal dealings, will finish our whole life without being able to even learning how to play heavy metal shred.. Therefore it could be said that errors by our side are revenge against society. It alone could not get empathy of fellows, though. So, another aspect of error is a purely musical strategy. Error is an unexpected event, and is a chain of terrorism and its restoration in music. Now, it could be said that a performance without any accident has no social meaning.

2. Am I correct to believe that there is intention in the presentation of your compositions. Do you actually consider the sound to contain 'errors' if it is meant to sound the way it does?

作曲されたものの中にはエラーは想定されていない。それはいつか人間が完全な状態になった時のために書かれている。演奏とはそこに向かうベクトルを示すことだ。エラーしつつもそこに向かう姿勢を示すことによつて、より完全な音像が聴き手の脳内に生じる。現状では、単に間違わない演奏は、ただその正しさのために杯を一杯にしてしまう。デジタルな譜面ソフトに打ち込まれた音には、来るべき完全さの期待を想起させる余地がない。それで、修練した楽器以外の楽器を使って演奏するのは良いことだと思う。頭の中で鳴っている音と、実際に出ている稚拙な音のギャップこそが、完全なスコアを聴き手にはつきり示すことになる。つまり、観客に、「ああ、この曲が完全に演奏されたらさぞ素晴らしいだろうな！その時を共有するためには、私はもう少し生きてみよう」と思わせることに賭けるのである。

No errors are assumed in my scores. They are written for the time when human beings are assumed to become in perfect condition. Performance is to show the vector going there. A more complete sound image is generated in the brain of the listener by showing a posture towards there while making an error. In the present situation, mere playing correctly means just filling the cup because of its correctness. There is no room to recall the expectation of coming completeness in the sound typed in

digital music software. So I think it is a good thing to play with an unfamiliar musical instrument other than the instrument you trained. The gap between the sound that is ringing in your head and the sound that is actually coming out will clearly show the complete score to the listener. In other words, I am betting on the smart audience who say, "Oh, it would be great if this song were played perfectly! In order to share that time, let me live a little more."

3. What is the driving force that keeps you creating?

それは音楽の禁止であり続けてきた。

禁令の中で、音楽は、アドルノ的な意味でワールドリーな余剰を削ぎ落とし、世を振り返りつつ、地下で抗いようのない塩の結晶、ロックの塩柱を形作る。だからそれはひんやりしたものにならざるを得なかった。音楽を止めること、という命題が音楽を続けさせるエネルギーになるのであって、「音楽をしたい」という欲求自体は、常に負のエネルギーとして作用する。私たちはみな、音楽を止めなければならない。それが唯一の理由となつて、音の表われは周囲に現象、伝染していかなければならない。つまり、ラカン風に極論すれば、「音楽は存在しない」ということになる。そこに今の音楽があるべきなのだ。

It has been a ban on music. Under the forbidding orders, music scrapes off the worldly surplus that Adorno used to hate, shaping pillars of salt crystals of rock in underground inevitably, looking back to the world. That was why this kind of music had to be chilly. This obsession of "stopping music" becomes an energy that keeps playing music, while the desire of "wanting music" itself always acts as a negative energy. We all have to stop music. That should be the only reason for the appearance of the sound that spreads to the surrounding phenomenon. In an extreme case with Lacanian style, it could be said that "music does not exist". Now music should be found around there.

4. As the composer / director of MSHB, how do you create the space for collaborators to create what you are looking for?

楽譜を準備することよりも、フォーマットを提示することのほうが重要だ。そのフォーマットに同意して参加する人々は各々の理解の度合いに応じた自由を得ることになる。

長崎の白山陶器は、型物の器を作る際、口縁の処理を各作業者に任せて、彼らがその製品のその部分に自分達の好みを自由に入れられるようにしている。自分もそれと同じように、型以外の縁のような余地を、演奏の参加者に残す。

グラスゴーのバンド群は社会主義の誠実な実践であった。彼らはスタジオや共同の倉庫を持ち、利益を分け合った。サンラは自分たちの建物と駄菓子屋を持っていた。MSHBは初期にはそうしたローカルなコミュニティーとしての、いわゆる「バンド」の方向を夢想したこともあった。だが初期のメンバーが居なくなつてからは、それは不可能であると知れた。バンドとはスーサイドが言うように自殺協定であり、運命共同体であるべきだった。それが一人になつてしまつたのだ。それで純粹に経済的な理由から、2000年代からは各地で自発的参加者を召集するという方法を取りはじめた。それはダモに似ていなくもない。✕やジオグラフィックのコミュニティーはロシア革命前夜のデカブリストたちの集まりを思わせた。ただダモといくつか違う点はあった。ダモはローカルなバンドに演奏は任せきりにして、自分は即興の歌を乗せるというフォーマットを貫いていたが、自分はどうしても自分の曲を実現させたかった。ただし、ワークシヨップという形式は取りたくなかった。参加費を取って、しかもスコアを押し付けるなどということはとてもおこまがしくて出来ない相談だった。それで参加者に曲についての理解を求め、演奏の同意を得ることにほとんどの時間を費やし、実際のリハールは行わないというフォーマットになつていった。必然的に、参加者は、是が非でも自分の表現を持ち込んで実現させたいという野心に燃えた人たちではなく、おずおずと即興する、素朴な人たちの集まりになつていった。MSHBの家政は自分のデザインを量産する家内制手工業の工場をマネージメントするようなものだった。まったく違う商品を作ろうとする人々は自分たちで新しい工場を作って羽ばたいていった。それらはゆるやかな企業共同体を形成していくようにも見えた。それで、初期メンバーが居なくなつてからのMSHBは存在しない、とも言えるのだ。参加者は自己実現のためにMSHBであつてはならなかった。それは、彼らの曲ではなくて、いくら自由なコレクティブ・インプロヴィゼーションのように聴こえたとしても、僕のデザインした曲だからだ。僕はやり方を提示し、それは参加者が自分の曲を作り出す時のための足台の役割を果たせばいいと思つている。毎回さまざまな人が往来してある者は残りある者は去つていく。だからMSHBは今世紀初頭からは、民主的でも社会主義の誠実な実践でもなく、ワークシヨップと商業バンドの間にある、利益の出ない劇団的な何かなのだ。いや、いまだに私のバンドではあるが劇団のようなものである。それは私たちの経済状況によるものなのだ。

Rather than preparing musical score, it is more important to present the format. Participants who agree to the format will have the freedom according to their understanding.

Hakusan pottery in Nagasaki leaves the treatment of edges of the bowl made of mold to the each of workers, so that each worker could make a part of products as he/she likes spontaneously. Just like that edges, I leave a space other than mold part to participants.

It seemed that the bands I met in Glasgow looked like a sincere practice of socialism. They had a studio and a joint warehouse and shared the profits. Sun Ra had their own building and a candy store. In the beginning MSHB dreamed of the direction of so-called "band" as such local community. However, since the initial members had ceased to exist, I learnt that it was impossible. The band was a "suicide commitment" as Alan Vega said and should have been a destiny community. But I became alone. So for pure personal and economic reasons, since the 2000s I began taking a way to convene voluntary participants from the region wherever I went. It could not be said that such manner did not resemble Damo. But while K or Geographic community reminded me of the gathering of the decablists on the eve of the Russian revolution, there were some differences from Damo's network. While he took the format of putting his improvised songs on the music of local bands, I just wanted to make my song realized by myself. However, I did not want to take the form of a musical workshop. Taking the participation fee from them and pushing my musical scores was a consultation that I could not do because it was very delicate. Therefore, I spent most of my time seeking participants to understand my songs, getting the consent of the performance, so preparation became in a format not to do actual rehearsals. The participants became a gathering of bashful people who did not improvise so much, instead of people who wanted to bring their own expressions by all means. MSHB's household management was like managing a pottery workshop that produces my craft designs. People who had been trying to make completely different products launched their own new factories. They are still my guest musicians sometimes, and form a loose connection around MSHB as other islands. So it can be said that MSHB does not exist since the initial members are gone. Participants must not be MSHB for self-actualization. It's not their songs, or no matter how much they sound like the collective improvisation, it is still on my design. I present a way of doing it and I hope that it should become the role of stepping stone for the time when they create their own songs. Each time a variety of people are coming. Some fingers and some goes away. So it could be said that since the beginning of this century, MSHB is not democratic, not a sincere practice of socialism, may be a troupe that stands somewhere between musical workshop and commercial band, no, I do not call it is not still my band but like a theatrical company. It is due to our economic situation.

5. Do you have something specific you are looking for, or do you want collaborators to feel free to improvise?

即興性を持つように励まし続けなければならない内気な人も居れば、譜面を読めず、即興しか出来ない人もいる。即興しか出来ない人にも二通りいて、舞台芸術として合意を作り上げようとする人と、同時に別の舞台を現出させて自分を孤立させて目立たせようとする人に分かれる。それらの人々を繋ぎ止めるのは曲そのものの力であり、友愛であるしかない。曲は必ずゴシック建築のように層をなしていて、ひとつの層は難民とテロリストのために空けておかねばならない。それで死ぬなら、それまでの人生である。

There are shy people who have to be kept encouraging to do improvise, while there are people who can only improvise. The latter is further divided into those who try to build consensus as a performing art, and those who not try to do that. It has to be the power of the song itself to connect these people. The scores are always layered

like Gothic architecture, one layer must be left open for refugees and terrorists. If the song died by doing so, it is its life until then.

6. Your music has spoken so deeply to me, and has brought me a sense of freedom in my own expression of art. Do you also find freedom in your music?

音楽内部の自由はとつともないものつゝ、それは実生活に敷衍するAD/HDとして表われるしかないものである。そこでは何が起こってもおかしくないし、どんな越境がなされてもおかしくはない。スコアは演奏途中否定されるかもしれないし、実際に爆弾を破裂させ、銃撃するられるかもしれない。

The freedom inside the music is incredible, and if extended to the real life, it would be only what can appear as ADHD. No matter what may happen there, it is not strange no matter what kind of crossing will be made. The score may be denied halfway through the performance, or may actually blow up the bomb and shoot/been shot.

7. I am always curious about how artists look at mundane life. Is this something you are always trying to transcend, or do you find joy in it?

絶対的生活というものには常に憧れがある。それは一言で言えば自分の机を持ちたいということである。ところがいつも途中下車と見切り発車でアーカイブ化できないままゴミ屋敷となる。しかしそうした線的时间里に対して輪の時間というものもあり、自然に共鳴したりワインを飲んだりするのは十分楽しいことである。

There is always a longing for absolute life. In a nutshell it means that I want to have my own desk. It always becomes a trash house with being not able to archive, by the stopover and the snap/sharp departure. However, there is also the time of the circle other than the time of the arrow. And it is fun enough to resonate myself to the nature and drink wine after work.

8. What emotion / thoughts do you get when you ponder your community, your home and work?

ローカルな三軒両隣のコミュニティ、宗教上のコミュニティ、家族、は戦争や災害で国が無くなっても存続するので、大事にしなければならないと頭

では思っている。焼き物の仕事は一人だが、窯業組合がある。ただウェールズにあるようなポッター同士の交流のようなものではない。ブリistolやLilleに見られたようなジオグラフィックやXと繋がる音楽のコミュニティはここにはない。ひとのあつまりは好きだが、来るべき見えない国のためには、人は基本的には一人で、疎外されているものだ、ということも感じている。

The local communities and the family will survive after the war and disasters even if the country were gone away, so I think their priority should be put on the top. I am involved in a potters association union partially but it is not like such guild I saw in Wales. Musical community here is not connected with Geographic or K as seen in Bristol or Lille. I like people's gatherings, but I feel that one should be basically alone and being alienated, for the country unseen to come.

9. Over the years, your name has been also attached to a religious or spiritual undertone. Is your music effected by this?

ほぼ、神と社会に対するその時々距離感によつて構成されてきた、と思う。

I think that each time it has been constituted almost by the sense of distance between me and God or between me and society.

10. Are you a confident person?

大文字の他者から見つて一であるような時、人は自信を持てるが、それは常にある状態ではない。When being "Un" seen from le Grand Autre, one is confident. But that is not always the one's situation.

11. Can you talk about "Tenno" by Noise [a previous project released in 1980]? I am interested in your life at that time, and how that album took shape.

それは私がニューヨークに居る時、礼子の資金によつて発売された。ジャケットの金色とピンクの色は、礼子の部屋にあったハタキの色だということだった。

It was released by Reiko's fund when I was in New York. The gold and pink of the sleeve was the same color as the duster in her room, she said.

12. Do you have any projects coming up that we could anticipate? If so, where can we look for it?

秋に、ガラ刑というアルバムがbruit direct disquesから出る。

This fall an album called Gara-Kei (Galapagos cellular phone Punishment) is to be put out from Bruit Direct Disques.

死体を片付ける

死体を片付ける

死体の私を片付けられている

想像力は無意味である

腐臭を嗅ぐことさえない

悲しみを感じてやる必要もない

悲しみは一晚毎に癒える

ひたすら指示に従い片付け続ける

私の想像力は毎晩片付けられ続ける

醪(モロシ) to the morrow

黄色い苦惱を漬け込んで

醬(ヒシオ)の町のロータリーに

経緯は物陰を探して

赤い目を光らせる

やさしい矯正が南口を覆った

次の日になって

罪は僅かながら発酵して

軒先の店を構え

痛みを調理する

愛

書店の多さ

コーナーにとぐろを巻く装飾的な雲

シヨウウィンドーには綿

没頭するディスプレイデザイナー

腹さえも優美なライン

水気の多い写真が選ばれた

元は新幹線色だったのに

醗の中に漬け込まれた心

黄色い延命は

次の日になって

追いつかれる

醗(モロシ) to the morrow

黄色い苦悩を通り越して

地球暦では次の日になって

追いつかれる

愛

着飾ったクラゲの襟

金・プラチナ

査定無料：ロレックス、切手、お酒、ジュエリー

紙を丸めたような形の白い花の

映画の始まりのように燃え立つ

あなたの弱さを愛したい

居てはならないところでそう言われても

ハイライトは巻かれてゆく

壁に凭れて

藤の過ぎるのを待つ

この戦争では

ラケルは過ぎ去らないでほしい

いたみたえてたえてゆけるけしてまけない

最初は白く乾いてがしつとした氷の表面

歯の無い子供

首の痛みに耐えて未来を想像する

えそれに答えられるのか

何でも話す角田さん

山に藤石州瓦に太陽光

茶のピアノ父の葬儀にアラベスク

原爆よいつそこれらみどりの山々の全ての樹々の隙間に充ちて流れよ

モロッコやフラメンコのタンゴはくつつくというラテン語から来ていてアルゼンチンのより古く全く違う音楽

ミファドレミファドレミー

強迫の訪れを待つ霞かな

廃屋ジャスミン

Baby Star

友達

友達 トイレのブラシ

忘れないでください

私はスポンジ

腐った星空を吸い込む

ナビ子はいつも右折を間違う

共感する背教者

約束をして会ったのではないのに

二人のものが一緒に歩くだろうか？

メスオスの友

永遠の命がかかっている メスと

オスの友達

今朝作ったZineです五〇円です

不活発な人たちの豊かさについて考えて吐き氣と闘ってはいますが

季節は移りますね

花の名が見えてくれば開くでしょうか

呼び捨てて敬意を示すにはヴェンダースの「Until the End of the World」でクレアが乗ってる車のナビの女の
声になるしかないなと思った。「そこは道ではないわ、クレア。」

その頃日本はバブルで、電通の知り合いがヴェンダースを世話していた。マヘルは *pass over musings* という
カセットを出ただけだった。それは彼を通してヴェンダースには渡ったけれども、主題歌は確かU2になっ
た。それでその映画のことを覚えているのだ、いま思い出した。こともあろうに都会のアリスの監督がバブ
リーロードムービーを撮ったのだった。狂騒としか言いようがなかった。柴山はむきになって否定するけれ
ども、*return visit to rockmass* はその余波のなかで録られた。弾けたあとの余韻はビッグバン後の周波数たちの
冷却に伴う振る舞いに似ていた。塩柱とロック、というコンセプトは、振り返りの動作だったのだ。そして
静まりかえっていく。それは無音の世紀末を準備した。呼び捨ての親密のなかで尚且つ依存しない自立した
関係性を示す文体を探しているうちにクレアの車のナビの女の声に行き当たった。それは今世紀生きるに

は不可欠な文体でありながら、ネット初期の戦略的脱臼の意地を忘れてラインの吹き出しのフォーマットにただ吹き溜まっていったのではなかったか。S&Wは色の違う原稿用紙を準備したのではなく、ヤマハのお節介な伴奏機能のように文体を準備させたのだ。弾ける前はひとつだったものが、量子論的に腑分けされ、身体はペットフードとも言える貨幣と夢のパーツ毎に奴隷化された。更にビッグバン自体を幻想とする新説の登場によって、その結構自体も周到にメタな無力化によるぶらぶら病の終末を演出した。下層の、自発的な文体への意志はこうして完全にもぎ取られた。バブルの頃、土方をしていたが、低賃金だったので渦中に居ながらバブルという名前も知らなかった。二度目に会ったら女は呼び捨て、と決めている成瀬という同僚が居た。アバンギャルドが彼の口癖だった。その単語は当時は今より古びていたが彼は何かにつけてそれを連呼した。神は「ならせる」という意味の『動詞的な名前を持つと知って、日本語で言えばテトラグラマトンの読みは成瀬かな、と冗談を言ったことがあった。成瀬は自殺した。呼び捨てが彼のモットーだった。妄想として。女たちは今も成瀬から呼び捨てられているだろうか。そうだとしたら、その文体は、八〇年代の軽さを持ちながら、ある種泣き笑いを含み、ナンバの装いを保ちながら、ある種独自性、健気さを含んでいるだろう。神はさん付けでは呼ばないのだ。親密さとは、二度目の呼び捨ての決意なのだ。不完全な私があるたを呼び捨てにするとき私は吃る。柴山はある日すると呼び捨てに変えた。その違和感はずっとあった。それは親密というより同じ地平に立たせろというアピールだったから。成瀬の呼び捨て、柴山の呼び捨て、クレアの車のナビの女のクレアに対する呼び捨て、がバブルを巡る。

不安がわたしを食い尽くす

糞のように

取り返しのつかない澱の上で微睡む私は失敗した発泡

仙台に掟破りという酒があったのを思い出した

新聞紙にくるまれていた

G Bb GC G Bb GC U're losin'me 4ever

庭に来て啼き真似しても逃げないやまばとのようにしれつと健気

カメムシはフロントガラスに降り立ちてまずひとしきり見栄を切りをり

WIFI無き物質の彼方へ

立ったまま枯れて麦秋

路のどん詰まるところに犬

無秩序に対比させられているのは秩序じゃなくて平和。

何故なら秩序立った軍隊の行進は平和ではなく無秩序な戦争だから。

軍隊的秩序の反対は平和。

だから平和の反対は無秩序と秩序の両方。

だから秩序は無秩序。

無秩序は秩序。

つまり平和を基盤としなければ秩序も無秩序も無意味

しやらくせえ

山のあなあな穴開きアナーキー

あんた難題(二形)和解

エモヤん

エモシャントン

エモスキー

押切エモ

AFAFBC----

(mshullein)

引き続き第五共和制の終わりと変化する第五インターナショナルの時代にあるという認識がロック史的

店代謝して町手術されぬまま解糖系へと戻りつゝあり

廃屋のラベンダー昨日抜いてきて庭に植えたら今日は雨降り

GEDCG#EDCDEDAC

駐車場の三階からフィットネスクラブのランニングマシンの一団が見える僕は缶ビールを飲みながら見ている彼らはこちらに向かって歩いている

変化とは音色や旋律ではなく転調である

要するに掌中フラクタルなのだ

(G)F#A(D)FEBDBA(G)F#A(D)F#

もう一匹

二四日に荻窪地域センターで公開ミーティングがあります三、六時

講師は大谷で、外角低めが弱いとか攻略法を教えてください

本番は応援団席からのマヘル以外の演奏が音楽になります

マヘルは試合に集中します

カープ帽みたいなのが必要かな

広島に行つてき

宣伝画面の男女「ヤバイヤバイ」「ヤベーヤベー」「ムリムリムリムリ

晩年やくそくされた復活ねたむ

運転席と助手席の敷物がおかしいとケラケラ笑ったね

昔はチラシとかジャケとか人に作らせるなんて考えもなかった。ましてやギターソロを人に弾いてもらうなんて。ルーリードはなぜ自分で全部弾かないのだろうと思っていた。理由は大分分かってきた。ただ付き合いでしょうがなくそうなっていくのだ。祝儀と一緒に。心に玉砂利を敷き詰めるのが社交だ。

ジバと畑を分け合わなければならないのだ

自分が安っぽい演技してる映画のテーマ曲のようなものが次々再生されるのだが書き留めない

そんな邦画観たくないし

演奏で突破するしかない王将でランチ

ケルト的な安易な郷愁で充分やっていってしまうのが人生だとしたら私たちの徒労は

誰に会いたいか考えてみた。先祖の先祖かな

図書を貰いに本屋に行くが悪いから何か一冊と思っても買ってもいいなと思えるのは雑草の本くらいしかない

昔は置いてあった雑誌もみな無くなったので立読みしたいものさえない

それでも夥しい雑誌があるのは一体どういう訳だろう

百田という人の本はなぜあんなに置いてあるのだろう

なんか当たり前のことを言ってるばかりみたい

人はなぜ嘘をつくのだろう。世の中に信じられるものがあるだろうか。

なんか当たり前のことを言ってるばかりみたい

くだらない劇団にいる夢最後は寝ているのに車が動いて目が覚めた

つまらないツイート

最後はやっぱり九四国フェリーかなあ

If I had a gun

わるいやつだなあ

りようこさんは鬱になると人の家を転々とし死にたい死にたいと言うが積極的でいいと思う

手の甲が何気ない痛点に触れる

統矢に好キゾと言われてどないすんぞ

コーラのむような日大気はきたない

朝元ヤン立ち読んで副大統領のサラが元ヤンだった

窯だしてビール飲んでる。ムカデ入れたやつは熔けて円盤になってた。けっ

日刊ゲンダイ一面トップに米朝和解と出ている落語みたいだなと思う

冷酒用カップを博多に発送しました。月という店で使ってもらえるようです。

三界

ワインを飲まない

三界に涉っているので飲まない

先のことは考えない

髪より多い不安が凝固して

ゼリー状の部屋

妄想に入る前に

建物を大切にするなどと

オープンハウスに住まわされた家族

子を抱く父親役のベルトは千切れ

ビールの風が吹く公園

仕事が早いビルダーの磊落は

秩序を思い起こさせるが

その秩序は平和の上にはない

家は民主的な方法で

伸展するのではなかった

副大統領のサラはモールで元ヤンの友達を見つけ

It's time to move on, と言った

家を動かす一団

調和させる解糖系とミトコンドリア系

マイクを持てば関西系で

肋骨の階段を「水のように下りてゆく」

水の中へ登ってゆく階段

世話するmouton

一人から団へ

歴史的変更という力の分散

より小さいという物理

その頃会社も変わっていった

CEOの決定権

アドヴァイザーの名義貸し

髪の寡多

金を送る

金は三界を転がる

きれいな月ですね

と男が男に言う

満月が三界を転がる

男が転がる

「水のように階段を下りる」

この前五島列島出身で親が漁師、という女の子と梅田で飲んだのを思い出した。ベースの三谷の口癖の、
「俺はもう五島列島に行つて漁師になる」を紹介すると、「漁師なめんな」と言われた。船を替えて青森の方まで行つたりとかは普通ですと言っていた。

バートランドラッセルで頭よかつたんだなあ

述語が自分の自己規定など出来ないわけだから

私はアナタですなんていうのは意味がないわけだ

文法上の間違いによつて真理の辻褄を合わせよ。煉瓦の角に擦り付ける白ペンキのように。

車の中の蜂に三〇分睨まれながら走った

ピノ松さんはパイン松と呼ばれるとトートロジカル差別だと怒るのです。まっさんの実家の忠海の酒は旨いすそれはsort

暮れてきて雨という名の利休鼠こやしね

バッテリー残量表示されたなら衰弱体の余命幾許

実験音楽から音楽実験へ変えたところに沸き起こる砂ぼこりのように

疲れた眼球の中に降っている

中世の僧顔を響める小雨

麦がcut meと言っている白

の色つき

その区域は、その区域も、言葉が言葉のみが突破してゆく薬局めいたうすいバリア

DFGFG

Dm Am7 Cond

たぬきや定休日だつて？それは残念

私たちは閉店している

生きて動いているガラス越しの影だったものが

目の前で手を見つめていたりする

西洋の小説の冒頭の冗長な自然描写をつまらないと言える子供だったら

名前が倒産したりしなかった

確かにヒースの茂みがどうこうとか黒ツグミがどうこうとかどーでもいいわね

AEACD D

ACECF#DEC

池の水を分配する水路の掃除に駆り出されるが去年と何も変わらないように見えて蜆が死滅している

決定を変更する

決定を変更しても良い

決定をころころ変える

状況はころころ変わる

誰と結婚するかは大きな決定である

親切な決定だろうか

決定は自分の責任である

決定を下すのは何故ですか

ころころ決定を下すのは何故ですか

ころころしているのは何故ですか

死ぬ前もころころしていますか

Joy decision

C BbBbFBbF

BDJcm14/05/17

透き通った良い天気をネカフェに籠る

一七日に大分で一緒にやります

歴史修正主義の身体

蛹と成虫ともつかない半端メタモルフォーシスが化け物なのであつて変態は完全に行われなければならない、という譬え

G GAbG GAbGEbGAbG GAG

Cm F Cm F

BbDABb G BbDABb G

BDJGm15/05/17

ダンジョンカン

鳥はばたばた

ロルカの最晩年のタマリット詩集が対訳で出た。ガセーラとカシードというアラブ歌謡の詩形を使ってい

る。

BDJGm15/05/17

D D Bb DBb G DEG D D BbD Bb G DEG

D DF DCC D DF DCC

瓢箪レーベル新作レコーディング終わりました

プレス代なくてすぐには出せませんが

今回は一曲毎に違う楽器で、多重無しです。

あと、環境音めいたものを使っていません。

大体take二か三〇Kにしてお仕舞い

前もって編曲を考えたり練習したりせずその場でいきなり演奏

F# F#AFEDBED

D C# Bb Ab

B Bb G

C B A

大分wobolyは僕らが人力でやっていることを一人でやろうとしている感じで、外のシユナイダーより良かったというと喜んだ。音声を鍵盤音に変換するソフトを教えてくれたのだが名前を思い出せない。今やっているユニゾンのフォーマットを機械にやらせることを考え付いた。赤字だったがそれが収穫。彼の良いところは機械の不完全さを楽しもうとしていること、僕らの曲を瞬時に耳コピして再演する鍵盤ソフトを用意して

いること、（後のバンドに真似されたのはネストのマキードーラ以来）、八ビートに関する批評的なスタンス、分裂症的な急激な構成とここぞという時の声に縋る音楽的な残滓、などだ。

竹田君覚えてた

G2M

あまつかぜ濃いバナナいろねつきの出

よるのおとよるなくとりはピロとマロ

あまつかぜよるなくくるつたほととぎす

さまざまな高周波にさらされた脳横たえる

いよいよ蛍

あと凶暴ウザい

望郷罪

カキノハナ

クラゲの裏側と外側を入れ替えながら

群青の鮫肌は帯を成し

空と海はうちそとのように 曖昧に

なったかと思えばきつぱりと顔を向け

九十九匹を無いものとして

肩に載せ

鉄は銀に入れ替わる

マヘルのみなさん、ユニゾンはこうするんですよ！

六月ロルカ フラメンコルンバ

フラメンコ版

「夢遊病者のロマンセ」 ロルカ

緑俺のすきな緑

緑の風 緑の枝

海には舟

山には馬

腰に影さした娘はベランダで夢見る

緑の肉緑の髪

涼やかに光る目

緑俺のすきな緑

ジプシーの月

全てが娘をみつめているが

娘はそれらを見ることができない

この若者は古典を残しコードに独自性を持たせている。いい奴だ。

この若者たちはむさくるしいが探求心があり、ギターの歌い出しの気遣いに思わずo_o!と声をかけなくなる

実際にやるのはこのヴァージョン

六月四日アビエルトのロルカ生誕祭はこのように例年フラメンコの現在地を確認するかなりとんがった催しです。大田さんの「ロルカの生きた時代～米西戦争からスペイン内乱へ～」というお話もあります。ぜひお越しください。

今日からうちの庭が蛍だらけになりました！

こんなに増えたのは初めてのことです

うちがまるで火垂るの墓みたいです！

泡は若いみどりの五月を落下

tiny deskばかり聴いてるフオーク野郎きみもあの子もその子もこの子も

En periode de douleur, j'ouvre la fenetre et regarde le pont sous l'eau.

アサイヤスのパーソナルショッパーが良かったというんだけど

今度これが市役所の夕方の各集落向けの放送で使われるかもしれないです

カンテの美佐さんの実家の筆屋さんから名前入りの筆を貰ったので筆下ろしに箱書きしてみた。白磁葡萄灰

と書いたつもりだったが箱が乾いてなくて滲んでしまった。紐の掛け方はこの世界はうるさいのでおさらいして何とか結んだ。

ピアノを呉れた美穂さんは渋谷系初の親子餓死者になるかと心配していましたが正社員採用が決まったと報告あり胸を撫で下ろしています。

昨日知り合った、アーティストのシェアハウスを作るのが夢だと言う愛音さんはナミオと同年で、この世代とはつくづく縁があるなと思いました。子育てがもう一度生き直すことと似ているとすれば、ある意味僕も八三年生まれなのかもしれません。

知ってるけどフォローしてないのと、フォローしてるけど見てないのではどっちが悪ですか不可（悪は善を知っているが、善は悪を知らない。）

下北で泥水冬道ブルースバンドにオフアーが下ったが日が合わず流れた

余技の気安さを自由闊達と勘違いしてコンヴァースの紐を締め直す泥水の過ぎ去った躁はまだ来ない鬱と同じ年だった

ギョケキョ

昼のリゲルは何に覆われていますか不可（悪は善を覆う星空だ。）

起きましたよという以上の意味はない首までお湯を張った電車は

ラチエットを上から落とした二度寝覚め

彼はニューアカあたしはサブ垢

サンフランシスコはすべての切り口に粗挽きのざっくり感あり

"phubbing" is unable to connect to real sound of life.

手拍子のルンバ回帰と歌の直前のギターガシャガシャ奏法に注目

ラップおじさんとフルートおじさんが渋い

スペインのテレビをひねるとたいていこういう芸能光景

サングラスの兄ちゃんかつこいい。右手もきれいだ。

演歌ヴァージョン。アクセル長尾さんのお父さんの若いころみたいナ（想像）

ロルカもしあわせ者だよネ

おじさん乳首が

これで練習してください

子供らのなげやりなverde

かわいいがプール付きの家はゆるせん

さびしく食堂でひとりでなにしてるんだい

このくらい弾けるとモテていいナ

子供の頃から歌は吐き捨て

こいつ完全に終わってるナ

おねえさん刺青似合ってるネ

音は割れてるが股の開き具合が良い

きみらはなんか、荒んでるな

声高いな

カホンうまい

すごい怖いバンド名

それはそうとあと三八円もある(ポジティブ)

灯点し襲色目の女郎花

顔ちゃんみたい

一〇月にOSRで世話になったザック君が来るので誰かベニユー探すの手伝ってください。ひかりのうまとゆすらごとワニサイくらいしか思い付きません。ジャンルはZプログレです。マヘルもたぶん同行します。

ハローニューヨークは実は殆どザック君の選曲で録音されたのですよ

頭よすぎて詰め込みすぎなので人気ないです

しょうがないですそれがZというかブルックリンばいです

エッグベネディクトな感じです

ゴミを漁って古いギャラの封筒を透かして札抜き忘れてないかとか昔の服のポケットとか何度も確かめ矢張り無いので日南に出発しますが辿り着けるかどうか

都農ワイナリーに来ました。キャンベル・アーリーの辛口

ours en peluche

great things

切れ込みによつて狭くなる建物の腮

三〇年が流れてみどりは焦げた

(Massive Ordnance Air Blast bombの最後はHerode)

想像界を抱きしめよう

stop seeking great things

回天魚雷

波佐見の、ゴス巻きの白スリップが、良い。

これはミャンマーで採った土ですが売れてしまいましたさようなら

この人はまだいます線が鹿島さんの遠い夜の表紙みたいで好きです

この人だけ唐草です

この人は模様がありません

日南の人は松の露を飲み南郷や串間の人は鉄肥杉をお湯割りで飲みます。南郷で松の露のロック、などと注文するのは広島でジャイアンの帽子で歩くのと同じくらい危険なことです。酒とは味のことではなくその町の酒かどうかということだけなのではないかと思えてきます。

老人のサーファーに聞くと移住者は増えたが気候の変化で波が荒くなつて駄目になったと

昔は大きな波でも荒れてなかったと

コスタリカ辺りはいいなあと

打つ現^{いま}器^きの鬱^{ふさ}は上^うっ面

全ての経済活動は車中泊と有料回避によって為されている

幾つかのシャッターチャンスを逃しながら、干潟沿いの人の居ない一本道をながく走りすぎたお陰で、愛することの訓練よりも愛されないことの訓練の方が効果的だと気付かれました。海に入るにはまだ少し寒い。終わらせるようにして入水する。

貧しさゆえに売られたわたしたち

七ツバエの隣に裸バエ

礫^{いづも}いつも波に洗われている岩

サーファーのおじいさんは頑固にサーフィンと言わず波乗り、と言う。

サーファーはある種のDのように人生哲学として愛想笑いをしない。なんちゃって感が皆無である。

サーファーにはコミュニティがあるが経済的な共通項がない。

油津ミストラル

鮮魚のテリーヌ

チコリ

ズッキーニ

デイル

ヤリイカのリゾット

タイム

オレガノ

クミン入りパン

カンパーニュ

バケット

かますのトマト煮

コールラビ葉

エンドウ豆の冷製

ファイル

コールラビ

ローズマリー

イチゴのゼリームース的

ミント

あとホテル三種

源氏ボタル

平家ホテル

ヒメボタル

海には思い煩いがある

調べを奏でることができないという思い煩いが

誓約に伴う調べを奏でることができないという思い煩いが

ジャスミンが好きだったらしくそれを表紙にした

ジャズミンは当時珍しかった

その異国情緒に秘められた情熱

当時女に許されていた学問はジャズミンを凝視することしかなかった

セブにいるふくみさんの娘はジャズミン そういえば茉莉花もジャズミン ロルカによく出てくるジャズミン
うちの屋根にも登ってるけどあれはお茶にならないやつなんだ

茉莉花のシーニュ

ああ、それはもうたくさんだよ。

でも、ねえサタン、そんなにイライラした眼つきをしないでくれ！

延び延びになっているいくつかの無気力な小品を待っている間に、

あんたは作家に描写や教化の才が無いのがお好みだから、

おれの地獄落ちの手帳から忌まわしい何ページかを破り取って見せてあげよう

武富健治が又吉の火花を劇画化してるんですが、初期宮谷一彦みたいでいいです。背景に手間かける人っていいですね。ロックを禁じられたところから始まって、赤字ではやってはいけないという縛りでやっているんですが、最近音楽そのものを禁じられているような気がします。そういう意味では特別ですね。

家賃払ってもまだ二三六円もある生きたい(ポジティブ)

大友来松木曜 فقط 当然行けない。自分以外のコンサートなど全てゆるやかな断念の確認に過ぎない。

ここ四〇年でわざわざ金を払って見に行ったのはショビジョバのカブサッキくらいである。

その時はどうしてだか金があった。わざわざフェリーにのって行った。

アルゼンチン音響派CDRをただでくれるという宣伝文句に釣られて行ったのである。

自分に遊蕩を許したのはそれ一回きりであった。

いたたまれない葉っぱが沢山

間の抜けた音声メモを聞き返すアニソンみたいに薄い情緒か

食べながら闇の口から出してゆくイカの甲羅か留守録の列

メラタイム

二重の反逆

バビロンの別称

メラメラ燃えるのメラはここから来ている

嘘

おはようhow low

おはうろう

おはぐもぐざいます

ぐもよう

はうぐもろう

はぐろうじさぐも

もぐはお

ろはうー

各地のルンバの共通点は一拍目を抜いてすぐ顎を斜め上にあげること。目が大きいと流し目になるが小さいと閉じたようにしかならない

上野の文化会館で館屋さんとやったとき知らない外人にルーマニアの笛をもらったんだけど会場でなくしてしまったんだ。あれが今でも一番悔しい。

ソレア・ポル・ブレリア

一九世紀初期

ソレアとブレリアスがお互いに補い混ざり合いながら形成され、明確に二つの曲の特徴を残している

またハレオの歌の要素を受け継ぎながら、踊りのために生まれたと考えられる

フラメンコ・パジョと違って、この曲種は完全にジプシー・フラメンコのものである

フラメンコの生命でもあるコンパスが最も生かされた形式

カンテ・グランデとカンテ・チコ、厳かで格調が高い形式のソレアと陽気でダイナミックにリズムを打つブレリアの魅力を合わせ持ち、激しさの内にも古雅な雰囲気漂わせている

ミ（またはラ）を主音とするナチュラル旋法

コンパスはソレアと同じ一二拍子 $\wedge 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 6 \cdot 7 \cdot 8 \cdot 9 \cdot 10 \cdot 1 \cdot 2 \wedge$

終りの拍が一〇拍目となる

詩形はソレアと同様、韻を踏んだ八小節の三行連詩

歌詞は、情趣、抑えられた悲しみ、人生の辛い経験を呼び戻すものが多い

今回やる *romance del amargo* は、ロルカの '*Romance del Emplazado*' の中間部分から取られている

屑土に白化粧母に死相

散骨の海に烏賊の甲羅捨て

焼酎水割注文し男は小振りの枇杷をコップに落とす

安倍野でアデノ

どうにか小児科

スーデラ節

バチカ来ない

保内町から伊方原発見え

道幅くねくねリープクネヒト

黙れ社民と言ったことを僕は恥じる

いくらか *meg* のトイレの落書きに影響されていた

旧社会党系は八幡浜の民家を個別訪問し原発の非を訴えた

覚めよ覚めよおローザ

みんな寝てる夜更けに花を見ず花を見る図書館持ち出し危険

どっかで猫が鳴いてるよ

水に浸けた笛みたいに

コスモスという博多発どぎついぼたん色の薬局ストアのチェーン展開は西日本の景観を著しく損ねているが
凄絶に安いのでかなりのスーパーは潰れるだろう

コスモスでは宮崎の木挽や飴肥杉を売っているのでそこだけは良い。ワインは金賞だとかコノスルに傾いて
いてそんなに凄絶には安くない。ラムーやハローズはどてはない。コスモスは年商四一億で非正規雇用が多い。
万引きは犯罪ですというスピーチがずっと流れていて雰囲気はとても悪い。だが安い。

豆腐や玉子が安すぎる。スーパーは薬屋に負けたのだ。

そうこうしているうちに明けてきて、死ぬ日がまた近づいた

昨日はレモングラス植えた

この魚アダムとイブに見えない？

crescentの新しいアルバムが出ました。ケイトもコーラスで参加しています。within a community of sound、と
グラスゴアのレビューは繰り返します。そうなんでしょうね。ブリストルの民度。

ポップもクラフトなんですよ。一村一品運動みたいなものです。イギリスではロック史が民芸史なわけ
です。

生活していることをこうしてたまに確認し合うのです

そうして「作者、目下の生活に厭な雲あり」などと評されるわけですばく

リール、グラスゴー、プリストル、東温。

ぼくはちゃんと生活してたですか

屑土に白化粧の皿一二枚作りましたよ

蘇鉄も植えました

ミヤマツユクサも観察しました

9時台から仕事始めます

昏くなったらもう寝てます

だめですか

マット、ケイト、元気ですか

マジすか

うちも木炭窯作つてるのでパリ協定離脱します

桜三里で汚染土焼却処理しようとした大野建設よりはましだと思ふし

氷河期だし

奥底の齒軋りを目覚めぬままの

いい山道を見つけた

おんなじ道を間違えて

おんなじホテルを通り過ぎ

するりと入った町並の

喧騒ばかりが変わらない

喧騒ばかりが変わらずに

お好み焼き屋も待たされて

ネットカフェに毛布なく

ネットカフェは寒い夏

ハワイに行くのはどうでしょう

ハワイもとても寒いだろうな

あと九八三円もあるガソリンはない食費に使う

夾竹桃爆心地に近い夏はまだ先

小綺麗なトラムの延びて郊外へ薄まる

傷が少し増えてミニバンの新車も一一四三三km

昨夜は目の小さい中学生の子がフラメンコを踊ったのが恐ろしかった

どうしても辛いつけ麺を食べて帰らなかったが見つからないままに号線を東進している山になってしまった

爆心地から遠ざかるほど辛つけ麺は疎らになってゆくのだろう

もう諦めようではなく頭から辛つけ麺を引き剥がすセッションを行っている

主語を男は、にするともっといいだろう瓦が石州になってきた梅雨直前の万緑濁っている

カマロンは素晴らしい歌い手だが広島ではマにアクセントを置くので間の抜けた感じに聴こえる

フラメンコのための一二の層

という曲を考えました

一二拍子で一二回位相が変化していきます

ヤマザキ、それでもやっぱり撃て！おれはどこか引っ掛かるんだ。冷笑が昭和を潰したというなら英 *sarcastic* 構文脳は日本を消費したいだけなのだ。

クレーではなく広島の金物屋さんが針金で作った

一つ目はオリジナルソースでピーターフックが三拍子やったような趣です

二つ目は違う低音楽器がそれを受けて待ちきれないカノン風に入れ込んで

明日から雨だというので最後の蛍を見に来た振り返ってもう一度見た光が濡れていた

ツインピークス一、五

一二枚の白化粧の皿に一二使徒の名前彫って八剣伝みたいにする

ギリシャ語はもう調べた

二枚は日南に行くことが既に決まっている

一二枚再び集めると龍が世界を道連れに暴れて滅びるといふのはどうだ蜚

実家の松の木が伸びて根が排水溝を壊している。町に相談して切ってもらおうと言うから木の方が大事だと言ったら真顔になった。

割れ目に生えるバーベナアルヘンチーナを見るたびに脳内ではボスニアヘルツェゴビナと踏んでいる

フラメンコですと言えばどんな不協和音弾いてもカッコいいと言われる

フリーフラメンコは存在しない。だからジャズよりフリーなのだ。

Bb...BbDbEbAb...AbDbEb

Bb...BbDbEbAb...AbDbEb

Bb...BbDbEbAb...AbDbC

Bb.....

帰るとCrescentの新作がマットとケイトの手紙を添えて届けられていて、こういう聴き方をしてはいけないと頭では思っているにもかかわらず、一曲目の“get yourself tidy”のマットの声が聴こえてくると泣けてしょうがなかった

the decisive factor in moving people from being extremists to terrorists is not online propaganda but offline social networks

わかれる

Prを使って一人でやる人たちの潮流は近未来SFが不可能であることを知りながら子を産む女のようにだ

未来は過去に向かう

手のクラフトをキープすることだ

きっと最初は電気も水道もない

屍体の処理が一段落したら、さてどんな音楽をやる？

あの結婚のやつをつーまーはおーつとーをーというところは絶対デイドリームビリーバー入ってると思う

深川で撃たれる夢を見て覚めぬ

何がどうなったか

分からないのだが

としくんが何かから落ちた

ずっと車の中にいるらしい

夏風邪や分析可能なディスクール

ツイッターの悪いところは状況を数式で表せないことだ

詩はその都度ある数式の展開だからだ

夏雲に充電ぶっさすスマホなし

夏草やアーカイブ化が夢の跡

夏虫の家賃だけが払えない

「死にタヒ」と声に出てるしことの増え人の居る場ではヤバいと思ふ

「元ヤン」立ち読みトイレに入りしかば「洗淨強さ」が強になつてゐる

ネトカフェの男子トイレに入る人を「紗倉まな」は見つめてゐたり

トラックに冷房はなし二人共陰なき路肩に眠つてをりぬ

共学になりし新田の校門を二匹の男女出で歩みをり

共学になりし新田の校門を出でし男女のシャツのクリーム

決して負けない耐えていける

で終わると思つていた

想像界を切る超現実

垂れる房腐蝕して

喋っているつもりのザムザの

文字は虫に

夢の中ではありません

まなこ切る現実を思い起こすべきです

(ではそのようにして)

生きて参りましょう

忘れられた遊女よ

豎琴を取れ

最善を尽くして弦を奏でよ

思い出してもらうためだ

飛行機から見下ろす

地上の花火

長崎でどうすりゃいいのさ思案橋

ゆめのあんこはたばこがすきで

晩年の犬かなかなを聴く夜明けへ

見られた

見られたらお仕舞い

ことし

ことし

ことしにしとし

いつもなんでもことし

ことししかない

山のしか

山のためき

山のいのしし

見られたらお仕舞い

ことしでお仕舞い

一年を一日、

一日を一年とする

夏の大三角と彼女は言った

民話は復活してきた人々から採話すればよい

従兄弟つて隣の葡萄の房のよう

夫婦は混ぜ合わされた葡萄酒

一房の葡萄は広げられた愛

一粒は星雲団

種無しは銀河がないということ

意識は太陽系のように皮の裏にへばりついている

干し葡萄は置き換えられた理性

×の房は辛抱という特質の可視化された実体

収穫は臨在

湯を沸かし

平たい雨を茫洋として

胡瓜

蚊

椅子に羽が生えたまま飛ぶ

うすあおみどりの 信仰

かく言う私は

首筋の血を吸った

(鍵はみつからなかった

彼女は鍵を探そうとしなかった)

猪に襲われたので

跳び上がってかわそうとしたが

二メートルくらいは跳び上がるのを思い出した

落とした財布は

ダイバーが潜って取ってきてくれる

(dyver die die dyver)

ryder CC ryder

カイツブリ色無き中洲に固まりぬ

こん

なつな

わたりの

ような

げい

とうでおれ

はやってけ

るんだろうか

ほん

とのか

らしな

んてない

ときみ

に

おそわっ

たんだ

ほん

とのく

らしな

んてない

よブル

ースさえ

もうたえな

くなつた

ブル

ースさえ

もう

たえなくなつたら

ほん

との

マイナー

だね

うた

のまんな

かにある

もの

はほん

との

うたじゃ

ない

ほん

とのくら

しな

んてない

ときみ

に

おそわっ

たんだ

送りても届かぬことのみ多かりき届け届けと写真撮りしも

満月に尚はつきりと照らされり

今朝は一筋の畝のような冬のおいがした

夕方はきつぱりした満月だったが

真夜中は秋が吹き荒れた

満月にきつぱりと照らされている

see you again at yugue

光と闇

対応するそれぞれが

こちらとあちらで腰をひねり

首を傾げ

えがおをみせてはいるのだが

(ふうん)x

Is it hard to make arrangements with yourself,

When you're old enough to repay but young enough to sell?) Neil Young "Tell Me Why"

フォーク呼ばわりから逃げるためにあらゆることをしてきた人生の半ば、みたいな歌を歌うフォーク野郎を
ロックと言うなら

なんとなく足を挫いてぎ岐のUMH

(Burning burning burning burning

O Lord Thou pluckiest me out

O Lord Thou pluckiest) T.S. Eliot "THE FIRE SERMON"

爆睡後起きた△二四▽時間営業の体を夢から切り離すおれ

爆睡後きた二四時間営業の体を夢から切り離すわれ

ハロウインの悪霊のせいか急にキレル人が多かった

国道一号 久世橋

通りの真ん中を歩いているので道が羽で塞がっている

ただひとり困った顔して十三夜

写真だけ送り届ける十三夜言葉を出せない理由があつて

恐くて見られぬ気持ちは分かるメール開くと月が死ぬ

りちようのりの字も変換できず思わずガラ携ぶん投げる

空が広くて片身が狭い

十六夜を浴びすぎている余命かな

いつてらつしやい

いやしてつらい

いしやのいつてつ

いやいやらしい

ぼくはクジラ

鳥の群れをひと呑みに

バッテリー一切れに語呂打ち込んで朝

終わりとは

旅の途中で給油して

家に戻った翌日の

ガソリン切れの点灯の音

彼らは、ラジオのように、の受容に失敗した世代である。

ひよっとしてびよは夜一人でスキップしてるのか？

家には骨がいつぱいある

磁器をプレゼントされるたびに

部屋はさらに賑やかな墓場になる

ホラホラ骨は踊る

鬼太郎みたいにたのしい死はないなんにもない

誕生日に死にたい

死ぬ日は生まれた日に勝るから

せめてイーブンに持っていきたい

生まれた日に死ねば良かった

死ぬことに感謝して生まれることができる

生きていても迷惑をかけるだけだ

誕生日に死にたい

それが一番のプレゼントだ

大空に池ありて飛び込む寒気

畳に座り薬指に青白磁の玉を填めたタコの出来た指たちが

てんでばらばらの角度で

白地にダリアの野暮ったい寝間着に載せられて

爪は短く切りつめられているが三日月は見えない

七年分の湯の温度の唇と風雪が積もり積もって

日に晒された手の甲の下

行きつ戻りつ

血は赤く青く

骨から垂れて落ちた青白の玉を

脇見して逆走して捕まる

溜池の対岸の鴨らの寄り付かず

死ぬぞ

死ぬぞ

青空

行雲

枯草

滅びの前の優しさは

十一月の風のように

苦しくない時はほぼ偽りの万能感に浸っているだけだ

もう寝る（少し怒った声）

起きた（少し怒った声）

自衛隊の射撃訓練とオスプレイうるさい

人類皆殺しにしたい

バカ

カボチャ

憂鬱な雨

事故大目

レッカー停め

パトカーと

白いカッパ

ワイパー

絶望的な見通し

借家住まいの地金無し

体力落ちてやる気なし

今日も無視された

明日も無視されるだろう

もう居なかったことにしよう

死にたい

ぼくの人生は失敗だった

ライブなんかしなければよかった

自分が客なら聞きたくない

もう寝る（怒った声）

人生もバッテリー一切れ

起きた

夢の中では楽だった

口内炎ポエ太は火を噴く夢を見る

目覚めると死にたい

日馬富士ポエ太は起きてラインしてるやつを全員殴り殺す

スマホないので自分の毒を自分で飲む

スマホってアホなひびき

語尾砂漠で逢引

バンドではないのにイベントに呼ばれた

死ぬほど普通のふりをしなければ

自分の毒を飲めばメタルになり吐けばコアになる

それらは細菌の働きによる

シアトルで見たソニックユースはつまらなかった

種を吐けば細菌は拡散する

マルタさんはじゃあ細菌が神なんですねと喜んだが

違う

悪魔だ

突っ立っていることで免れようとする金管の中に毒の唾液を流し込む

細菌は映像を曇らせる

そうやっておまえは

（気をつけろ）

やぐざに乗っ取られた温泉のようだ

老人たちに自宅から持参した睡眠薬を飲ませ夜勤を快適に過ごしている介護士は、施設の脱税を知っており施設は彼を首にできない

それを知った別の介護士が辞めたいと申し出ると、辞めるなら介護資格を剥奪すると脅された

Ⓐ 一切を暴露して辞める

Ⓑ 睡眠薬をやめさせる

Ⓒ 脱税をやめさせる

D そのままていく

o 老人を殺す

「施設を破壊する

おわかれかワオ

A

↑GF#DGF#DGF#DGF#Dシスターレイのドラムチューニング

タヌキチツテトテチテタ

博多にて

モーツアルト「モツ あると？」

アルバイト店員「あるばい」

おなか空かない

銀杏の黄色のみ明るい

苦しく、死にたい

おなか空がない

三角旗痛い

ヤンキーの黒い軽のワゴンが割とスピードを出して通り過ぎたので散歩中道に立っているだけの僕とのスピードの差は歴然としており
スーパームーンを過ぎた月は明らかに歪で 朝は冷えるだろうとの予報 ただ突っ立っているだけなのに 猛スピードで突っ込んで来る
月は 歪な歴然 歴然の歪に 寒気団は いちばん長い日の 蒲団の下に 猛スピードで潜り込もうとして 突っ立っているだけなのに
猛スピードで突っ込んで来る 歪な歴然 歴然な歪に 寒気団は いちばん長い日に 潜り込もうとして 猛スピードで 突っ込んで来る

めがあいておきたしぼんだゆめの痕

めがあいてめしただくのうすさむくて

めがあいてぎがくるうのはたまの葱

めがあいてはながあいてだはたし愛

めがあいてゆがいてといてみそする

めがあいてめいがいておいがなくて

めがあいてばっちりあいておにんぎょう

めがあいておれがあいてだこのやろう

めがあいてめがあきすぎていけんじやろう

めがあいてあきすがはいるくちのなか

ぬばたまの夜中のなか卯に店員は鴨そば小を調理してをり

光焦げ枯草色の夕暮れにうちそとの気温近づきつあり

世のものではないので

世の中ではよくある話とたかをくくって

世をひとくくりにする、

世のものではないものたちの中の落伍者

富士そばで道連れ川という世の歌謡が流れている

人類を道連れにしようとするのは悪魔

ひとくくりという道連れ

ひとくくり海に飛び込む豚の群れ

辛い腕をふるう

ひとりでは死にたくない豚の群れひとくくりにして道連れの海

ひとりでは

死にたくない

海に道連れ

ひとくくり

豚の群れ

わざと古い板を使って建てたと覚しき廃校じみた施設の、自分との関係なさ故に吐瀉する、見えないピンロウジの、点々と。

どんな下からでも始められる。

上にあるものは下にあり、下にあるものは上にある、というのはよく知られた言葉で、実効性のあるものだったが、最近、上が上をなぞり、下も上をなぞっているのが実情だ。

こだわるからセクトに分かれる。

カモメ

白いボロ雑巾のように空に千切れて

このままどん底まで落ちそうな曇り空だ

ひかりは刺だ

千円カットなんて潰れるのわかってるだろう

私はもう何度でも生きているのではないか

日没から日没へ

折角の朝を汚してきたのだ

使ってはいけない金を使い

呼吸を忘れ

気付けばまた夕方で

だから朝のラーガと夕のラーガではなく

朝と夕のブルースなのだ

real sight party

羽根なら良いが棉なら辛い今日降る雪の重さ哉

www 東京ゴミ女

When rock was over

ECD

失われた世代の叙事性

再生第一主義者の惰性

実話の話術

実はフィクション

誰かがハクション

半分芸術半分風俗

半端な和解

和解リコンサイル

ああ俺離婚される

ザイールに猿居る

まさかのミサイル

真っ逆さま空は真っ赤さ

マッカーサー様空に松笠

ECD

今

死ん

だ

永絶

トドのように

人間魚雷のように

Musique Apres La Fin De La Fermentation (CD-R) × IT RAINS ON MY CUT TAIL (Wine)

発酵は邪悪な拡大に関連して用いられてきた。pass overの夜には無酵母のパンが用いられ、酵母を入れたwineは肥大する背教に例えられた（1

comib)。発酵そのものは人間の手を離れた活動であり、最近はそのが却つて人間の行動や感情を支配しているのではないかとさえ主張する本も著されている。「音楽のピクニック」で小杉は、偶然の回路を作ることが即興に於いて「石を通過する鳥」になりうると指摘した。初期ノイズの閉じたフィードバック回路が続く世代の実践であった。人そのものを回路とし、悪い葡萄を切り落とす罪悪感を音楽にしたのがこの記録である。切り断たれた葡萄が発酵して音源とワインの前代未聞のマリアージュとして共に売られてゆくのは月々しい。二〇一八・一・一一

記憶が脳皮質に点在しているように、事物は外側に無関係に点在している。

生きていて一番良かったのは空の雲だった

このままずっと生きていけると思っていたが

悩みと目眩と吐き気で言葉が出ない

山の雪をもらったのに

生命力一〇〇で死ぬ

生命力〇で生き続けるよりは

二〇一八・一一・一〇 soup I

composition 1

Reproduce the music you have heard

composition 2

Play your music loud

二〇一八・二・一〇 soup II

四曲ともこのフレーズを歌う。

このままずっと生きていけると思っていたが

悩みと目眩と吐き気で言葉が出ない

一・ノイズとは何か

伝言ゲームのように、半導体としての人を回路にして筒で隣の参加者に上記の曲を伝達していく。途中エフェクターとして落語の「時そば」の「今何時だい?」と、「工藤、殺す!」と言って包丁を持って乱入する人、という邪魔が入る。最後の人が聞いた音声を再現する時、同時に最初のフレーズも歌われる。

二・ノイズにおける合奏とは何か

参加者はそれぞれswとしてギターの弾き語りをする。人よりも大音量で、自分の歌を歌う。自分も最初の歌を歌う。

三・インキヤパシタントに於けるジャンルの段差

「高校ラップ選手権（半導体と中動態で韻を踏む）」と「詩のボクシング（最初のフレーズを歌う）」と「俳句甲子園」と「書道甲子園（永絶と書く）」と「リアル甲子園（素振りをする）」の順に試合を行う。

最初の曲にはルートが二つあり、DAGDとAEDAという五度の平行移動によって構成されている。ステージ両側のギターアンプからそれぞれのコードが同時に演奏され、中間でルートの変更がない音域でギターと歌が演奏される。参加者は双方向からのルートを聞きながらフレーズを探して動き回りが、最終的に磁界の中の砂鉄のように中央に場所が定まっていく。

笑顔

水を抱く

博識のほくろ

えくぼに塗られた隅

笑えるのは今だけで-chason

笑顔の力に反比例する降下の中で

立ち上がらなくてはならない

歌は覚えた振りをして

目が回る忙しさの水紋に

するすると養われる無価値な食物を配れ

型を使ってヴァイブを鳴らせ

過去に為された四つの背景

三日食べてないというのは本当ですか

二回目の時はそうでした

牛蒡を利用することは御座居ますか

ひかりの蒟蒻が曲げられて

白頭搔けば更に短く

笑顔の目を描く

眼尻を

私たちは無の上に浮かんでいるんですよ

それなのに北を無限の果てに張り伸ばしている

代理店が居ますからね

自分の前に吊られた剛造シネマの斑猫のような希望

最高かつ最善の地震

そこからここへと

予め勉強しておけば

やっぱりな、と

言葉を贈る

罪人たちの、自らの益に反するそうした逆らいの言葉

口がお結び

笑顔がめり込んでゆくホール

私たちではなくあなたの、希望があるから少しは

親におむつを穿かせる

帽子に苔が生えてる

束ねた髪が金魚

消音出来ずタブレットを抱き、むだけ

wailing of the bereaved mothers

隣村で

僅かに残った井戸から飲む

展示を見る前の手がかりは、数か月前から挙げられていたネット上のフライヤーらしい写真の、二台のiphoneだけでした。それらは、池のある風景の中で、両目くらの間隔で、自転車のハンドルのようなものに括り付けられていました。

その頃僕は、小杉さんの「音楽のピクニック」という展覧会を見た後で、「回路」ということを考えていました。タージマハルは土屋さんにしか興味がなく、その辺りの資料があればくらいに思ってた里帰りのついでに芦屋に足を運んだのですが、楽譜の展示などを眺めているうちに、音の回路を作るという小杉さんの基本的な作法が、後の日本のノイズの黎明期に少なからぬ影響を与えたのではないかとふと思ったのです。リック・ポッツが、アナログ機器しかなかった時代に後のサンプラーのような考え方で音を出し入れしていたことも、フリーミュージックにとって重要だったのですが、そこから所謂音楽と決別して純粹にノイズに移行するという時に、小杉さんの、リアルな音に触れるためには音を変調させ、偶然を利用した回路を作らなければならない、という考え方は、決定的な永久革命的な作用をもたらしたのではないかと、という気がしたのです。つまり、ミキサーのインとアウトをケーブルで繋いで循環させ、間にエフェクターを挟み込むことで音を変化させていく、というアナログのノイズの基本形は、まさに回路そのものだからです。小杉さん自身は、ヴァイオリンを手放さなかったことで、ケージ的な、演劇の一部でありながら音楽家ではないという前線に居つづけたので、引き続きフリージャズに留まった人々からも敬愛されてきたのですが。そして僕ならきっとその「回路」を人力でやるしかない、2月にインキャパと対バンするので、マヘルではそれをやろう、

そんなことを思い巡らしていたので、一月二三日に不忍池の展示を見る前に大雪の電車の中で考えたのは、音の回路と同じように、映像の回路という考え方も可能なのではないか、ということでした。二台のiphoneは、変調させた映像を通して、元のリアルな事物に目で触れるための装置なのではないか、二台のiphoneがあつたら、僕ならどう回路を作るだろう、ネットに繋いで画像を送り続け、一方の元の映像と、送られた映像、それと実際の目の前にある肉眼の映像の3つのレイテンシーのようなものを提示し、観光地の写メのような「見ること」への危惧を表わすのはどうだろうか、でもそれだと少しメッセージとして安っぽいな、

それとも二台で映す、ということはベラスケスの「女官たち」のように、消失点という考え方から離れて、絵の中の人物のまなざしによって構成される視線の遠近法というようなことなのだろうか、それだと絵画史の延長にある絵画論としての表現ということになってしまう、象徴界がどうなっているかが鍵だ、

電車はずいぶん遅れ、駅からは、スニーカーだったので、コンビニの袋を長靴代わりしてなんとか辿り着きました。コンビニ袋は便利なので翌日の渋谷のライブまでそのまま履いていたら、スペイン坂で外人に *genius*！と言われ報われた感じがしました。興文堂に着いて二階に上がると、モナ・リザの絵に鏡が貼ってあって、見る人の顔が映るようになっていて作品がありました。やっぱり絵画史なのかな、と思いながら階段をさらに上ると、あの、雑然としていた興文堂三階は、過去の壁の絵の記憶を消されて、ベニヤ色ではありますが、窓のない完全なホワイト・キューブと化しており、そこに、件のフ라이어で見たインスタレーションが設置されていました。上手に斜めにカットされて、適切な角度で組まれた垂木のデュシヤンの設えは、遠近法のあるいは黄金比的に見事なもので、コンセプトなど無くてもそれだけで美学的には成立しそうでしたが、木工の工芸性自体は二次的な哀しい商品価値として押さえ込まれており、一瞥後、高橋朝にしのさんしのださんと呼ばれているその女性の、詩の言語のフレームとしての頭蓋をよく表していると理解しました。

会場に食べ物はなく、僕の持ってきた愛媛のどら焼きと、その前の週の、んミイの時誰かが持ってきた東京のどら焼きしかなく、あとは、ワインの白と、唯一の客で、鉄工所に勤めているという人が奇特なことに下戸のくせに買ってきてくれた日本酒があるだけでした。それで、それをストーブで燗として飲みながら、どら焼きを食べました。それから、ギターを持って、電車の中で勝手に的外れな予想していたことや、実際の作品を見ながらいくつか思ったことを話す、ということをやってみました。思ったことはふたつあって、ひとつは、この作品は立体に見えて実は *phone* を窓とする絵画の問題を扱っているのではないか、という点、もう一つは、一見して、明らかに頭蓋を思わせる木工の本体や、外の中庭或いは結界のような仕切りが、見ることと見られること、というメルロ・ポンティの問いの立て方を想起させ、そこから邪推して、この展示は、ものの真の姿を見てみよう、という啓蒙的なことも科学博物館的なものであるように見えるけれども、ほんとうは、本名を明かさないストイックな情宣の仕方て貫かれるツイートの裂け目からたまに噴出する、不忍池の、「わたしを見て！」と言う叫びを感じさせるための、ほんとうは非常に私的な装置ではないのか、といった

ことでした。演奏後、作品の説明を本人から聞いて、ほんとうに科学博物館に置いてもおかしくないようなハイテクなものだったと解り、自分の安上りな発想と連想ののパターンが踏みにじられる良い機会ともなりました。

深夜、ゲストハウスにコンビニ袋を履いて向かう時、不忍池は真新しい雪を踏むことを心掛け、一度、段差に気付かず転びました。僕は地面の見える車道を歩いていたので、助けられませんでした。

演奏中、不忍池が写真を撮っていたことは分かりましたが、数日後、ギターを弾いている恐らく連写の、宙に浮かんでいるものだけを彼女が選んだものを、感心して僕が珍しくリツイートしたりしました。僕が教えた鳩ラップの動画は、一時あげてくれましたが、自分のツイート美学に合わないと思っただけで、すぐ消されてしまいました。それから展示に四〇万かけたけど売れなかったとか高橋朝っぱいやさぐれたツイートが並んだので心配していました。数週間経った二月の落合supの、インキャバとマハルのライブに来てくれました。興文堂の僕の演奏を記録したからアップしたと言っていました。マハルでは一月から考えていた通り「回路」の演奏をしました。

一曲目は「Reproduce the music you have heard」或いは「ノイズとは何か」というタイトルで、人を半導体と看做す伝言ゲームのような回路を作り、その途中に、落語の「時蕎麦」の「今何時だい?」と言って割って入る男と、「工藤殺す」と叫びながら包丁を持って乱入する女、というエフェクトを挟んで、僕の、「このままずっと生きていけると思っていたが、悩みとめまいと吐き気で言葉が出ない」という歌を、最後の人と同時に歌ってみせる、というものでした。

二曲目は、「Play your music loud」或いは「ノイズにおける合奏とは何か」というもので、ノン・ミュージシャンのための合奏のフォーマットを作るのが音楽家の使命、などという今までの人道主義的な発想を止め、ベクトルを真逆にして、全員~~さん~~になって人の演奏を聞かずにそれぞれ自分の曲の弾き語りをし、その全体の音響を作品とする、というものでした。僕も最初に歌った「このままずっと生きていけると思っていたが、悩みとめまいと吐

き気で言葉が出ない」という曲をまた歌いました。

三曲目は、「インキヤパシタンツとは何か」というもので、それは小堺君がロック野郎なのを美川君が優しく包容している、という図式である、と観察し、ジャンルの段差を連鎖させる、ということを考えました。最初に「高校ラップ選手権」に出場しているつもりの人が、中動態と半導体で韻を踏んでラップするが、相手（僕）は「詩のボクシング」に出場しているつもりで、「このままずっと生きていけると思っていたが、悩みとめまいと吐き気で言葉が出ない」という詩を朗読する、ところが僕と次に対戦する人は「俳句甲子園」に出場しているつもりだったので、俳句を詠む、ところが次の人は「書道甲子園」のつもりなので、「永絶」と書く、最後の人はリアル甲子園で、傘を強振して音を出す、というものでした。これは傘の柄が飛んで怪我人が出ました。

最後の曲は、「このままずっと生きていけると思っていたが、悩みとめまいと吐き気で言葉が出ない」という曲にルート音が無く、二種類のコードの平行移動によって出来ているので、ステージ両端にギターアンプを置き、一方がDAGD、他方がAEDA、という五度離れたコードを同時に演奏し、その中間に立つ僕がどっちつかずの中間的な音域で歌ってギターを弾き、他の参加者は、磁界の中の蹉跌のように動きながら、両方のコードを気にして音を選ぼうとすることで、最終的にステージの真ん中あたりに立ち位置が定まっていく、というものでした。

四曲とも結局僕は同じ曲を歌っているだけなので、サウンドアートとしての筋を通しながら、ノイズとは、といった質問に人力で答え、かつ結果的に音楽になっている、という案曲だったのですが、不忍池にそれが伝わったかどうかは分かりません。数日後連絡があり、展示のアーカイブブックを作るから何か書いてくれ、と言われました。それで、アップされた動画を見返して、ちゃんと話していないように見えたふたつの点についてはつきりさせたいと思って書いてみました。それが以下です。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

二台のiphoneを使った今回の三階のインスタレーションは、絵画そのものであると言えます。立体であるのに立体作品ではなく、絵画「論」でもなく、絵画そのものであるかのように了解されたのはなぜでしょうか。それは、ひとえに、絵画史と呼ばれてきたものが永絶された地点からの、郵便的な私信であるかのような結構によると思います。

普段は気付いていないことですが、左右の網膜（としてのiphone）に投影される映像は、両目の距離に応じて僅かに違ってきます。自分の鼻の先もいつも見えています。それも普段は見えていないものとして捨象されています。視神経を通して送られてくる電気信号の解析によって脳内に立ち上がるホログラムが、例えばセザンヌのような画家を通してアウトプットされる時、それを僕らは絵画と呼ぶように教育されてきたのです。鑑賞者は、二台のiphoneが映し出す無慈悲なreal sightを、両目で眺めて脳内で合成することによって、統一された虚像を現実として受け入れなければならないことに気付かされます。だから僕は、期せずして、不忍池の、脳内メルロ・ポンティ・マシーンとも言うべき知覚装置の中に居ることになります。でもそれだけでは絵画論です。ニケーア公会議以降の千六百年くらいの人類史は、ルネサンスや産業革命を含めて捨ててかかってもいいものだと思わなくては。それで重要なのは、見ることをそのものを扱う視線のエクスポージャーともいうべきこの作品が、絵画史の先で生き死にする、その生命力の有り様であって、近代の超克などであってはもはやならないということです。

映像に付された言葉の断片が、左右の像の統一によって初めて意味の通る文を成す、という仕掛けは、それじたいは作品の中では補足的な説明の領域にあります。大事なものは、変調された知覚によって源に触れる、という回路設計の目論見が、詩の言語にも適用されるか、という問いだと思います。左右の池の映像の情報も脳内では言語だとするなら、ホログラムとしての詩の成立は、どのようなアルゴリズムを持っているのか。その道筋をこそ彼女は探求し、磨き上げ、訴えたいのではないか。ホドロフスキーの「エンドレス・ポエトリー」のピエロのシーンのように、サーカスの観客に

「poet!」と呼ばれるのはアーティストにとつては旧式の栄光であつて、普通ならフレームとして、或いはフレームの外縁に接しているだけの言語を、内部としての映像に溶け込ませようとしたこと、映像に「poet!」と呼ばせたこと、そこに僕は彼女の熱を感じ、真つ当にこれは断ち切られたところから何事かを訴えている絵だ、と感じたのだと思います。

さらにもう一つ。左右の網膜の映像が異なっている、ということを実際立たせるために、二枚一組の写真作品に興味深い操作が加えられていました。ほんらい左側に居るべき消えかかっている鳩を完全に消したりしているのです。石原海が半分フィクションの独白を呟きながらカメラを回すのと同じ世代感覚だと思いました。ほんとうの事物を見ることそのものが作品の目的ではなかったことが知られる時に、「わたしを見て!」という、情宣と同じくらい秘されてきたほんとうの欲望を見、僕はやつと、彼女の大脳皮質に点在する記憶の断片を、頭蓋の内側からだけでなく外側からもしげしげと眺めることになったのでした。それじたいも、抑制されすぎている、と思えるほどストイックに切り刻まれた音を発するその装置の前の椅子に、ギターを持って座っていると、結局いま見たものがほんとうの記憶なのか、変調された映像なのか、僕じしんの現実の新しい歴史なのか曖昧なまま、僕らの記憶の断片同士は今度は部屋の中で電氣的に結びつき、室内のソノリテがフローを形成したように見えたのでした。

そういつた偶然の力に触れる回路を共有できたことは、このインスタレーションが、興文堂での展示という家政的には悲惨な代償を払うことによってではありますが、目出度くある種こちら側のロック史に抵触したことを意味しているように思います。いろいろ説明を聞いた後なので初めて言えることですが、放つて置けば萌え系になってしまう世代の中で希有なこととして、ポディー・ブローのように作品の絵画性そのものが残るクールな展示だったと思います。

舞踏の下手

天神橋の商店街を

ずんずんずんずん歩いて行つた

ずんずんずん歩いて行ったが

商店街に終わりはなかった

商店街は終わらなかった

流石に真ん中は過ぎてるやろな

永遠も半ばを過ぎて

永遠も半ばを過ぎてアーケード

俺は半ばを過ぎているのに

商店街に終わりはなかった

天神橋筋商店街は行けども行けども終わりがなかった

F Ebb

もうこれ以上目を使いたくない

えぐり出せえぐり

出せ

新しい車の色にも置いてけぼりね塗りなおされて生ける屍

夢で私が巻き戻される

行く春や罪のテープを巻き戻す

行く春や罪のテープを巻き戻す夢で私が巻き戻される

鵜

誰もがどこか籠が外れていた

そしてどんな映画も籠が外れていた

五人の処女に油は分けられなかった

全てに当て嵌まる喩えなどない

枝の捌くれ方が分かるようになるだけだ

ラッセル車というものが昔はあった

今はない

行く先を覆う雪は

今はどのように掻き分けられているか

体重で尻が痛い

春に坐っている

石臼の現存在

私はだめですか

私はだめですか

文学性は廃される

あとは虫が這い回っている

丸ゴシック体の市報！

ブルームーン

奇跡などない

完全な二面性の隙間に

雑草が

身体の内側に

生え出る

春だからではない

二面性は体に来たのだ

感染していないふりが続くが

相違を再び見るのだ

奇跡はあるべうもなかったが

指を突っ込んでかき混ぜると

いろいろな服の人が集っているのであつた

必要なのは救いなのか

額に書かれた名は二つ

デンさんは毒ヘビの光り穴のことであつたか

希望とは通貨のようだ

着飾った人の魂は

ほんとうに行うのだ

羽が吹いてきたよ

ほんとうにやるんだ

我が身世にふるながめせしまに

血を吸わせたバラは

辺境最深部とどのような関係にあるか

gain the gift

gift?

整えられた人はみな

all those who were rightly disposed

溝川さらさら

構築物のせせらせせら

骨の骨に肉の臭み

はためく布の埃

缶切りに捲れ

三つ編みのワイヤーは縫われ

無駄は無駄として

和三盆の家

鼠を飼う

描かれた影の灰を

溶かすまでに拡大されたピクセル

言い切りの缶缶

どうぶつ的な灰色

目鼻が付いた愛嬌

ぼんやり明るい二辺

埃の棚の心

行状ぎやうじやうの家族生活

影を落とすレモンの黄

溝ドブの光

顔は蝗

歯は鉄か？

意思疎通 芭蕉の路通

かけられていない not manacled 手錠のように

アンチエインだが入って来にくい

鼠捕りを溝ドブに沈める

泥棒猫も殺された

木に包丁が当たる

路を採って調理する

湿った山に木なんかは沢山生えているのだから

家の周りのは切ってしまっている

三角と穴の空いた円の攻防

空漠のアサド屋ユンタ

year ring

単純な雨のブラウス

指の太さを測っている

〈昭和のにおいがする〉

D A E F # m

D E F # E D C # B E D C #

E b F G # E b D C # E b D

・・・だから・・・久しぶりに・・・訳だ・・・すめるらく・・・

平成三十年ハル帝都は昭和なのか？

baby killer居心地はどうだいbaby driverめいもくまるつぶれたねアサド屋ユンタ

あ、かきつけかきつけぎつねすまほせん。

専

赤白水木に香典袋

往便復便間違えて

彼岸と此岸も間違えて

左も右も間違えて

開けると閉じるも間違えて

前菜主菜間違えて

男と女も間違えて

泣くと笑うと間違えて

闇を光と間違えて

入金出金間違えて

上りと下りを間違えて

出社と退社を押し間違えて

種と果実を間違えて

西と東を間違えて

夕日と朝日を間違えて

晴天雨天を間違えて

ブドウとヤマゴボウも間違えて

島根と鳥取間違えて

白と日本酒間違えて

生きると死ぬは間違えないが

始めと終わりを間違える

貸出返却処理間違えて

苦いと甘いを間違えて新宿新南口と南口を間違えて

新大久保と大久保間違えて

阪急阪神間違えて

一〇〇円玉と一〇〇ウォン玉を間違えて

中央特快と快速乗り間違えて

ユーロスペースとイメージフォーラムとアップリンク間違えて

花園三番街と五番街間違えて

檜と榎サワラ間違えて麦と雑草間違えて

ブレーキとアクセル間違えて

右折と左折も間違えて

葛根湯と小青竜湯飲み間違えて

お茶とコーヒー飲み間違えて

セーターの後ろと前間違えて

スリッパの右左間違えて

三三回転と四五回転間違えて

鍵を左に回すか右に回すか間違えて

電池のプラスマイナス間違えて

生きると死ぬは間違えないが

夢と現は間違える

虐殺がまだ来ないまま

束の間の平和もなく

臼歯を磨り合わせて

継ぎ目をずらしている

無価値を挽き

質量に水を加え

膨らまぬ純粹さを

過ぎ行かせようとする

衰えてゆくくらいは何でもなかった

消えていった子らは外の闇にいる

外の闇を裏返せばひかりになるが

内の闇は裏返しても闇で

虐殺さえもそこでは幸福だ

電波は量だから

耳がないほうが請求されない

整えられた服や磨かれた靴のために

外の闇には雨が降り出した

必然的に無害な型紙で織られたパターンを探す

上にあるものは下にもあつたが

外に居る人も内に居るのだった

対応する結び方を眺め

その愛着が

虐殺の前に

頭上を越すようなものとして

仮想される

粉挽きの

外にも内にも通底するmundaneの

逃げの歌をうたう

Jeopardize

アンフォルメル花火ワンピースの思い込みは

「自然」に後退し、信仰は守りに入

った。

比較的平和な状態にあった

庭師たちは枝を決定

し続ける脳を洗い

鳥と陽光の土俵際に踏み留まろうと

とする。

フリーフォードの

寄附制の大鍋の

主人の

ミキサーで均一に砕かれたやさしさを

Jeopardizeさせないためには

野菜を分析するのではなく

自分の舌を分析するのだ

二〇一八・四・二八 **Interview**

What's the main philosophy in Maher Shalal Hash Baz?

John Cage once stated that music is part of the play, and I agree with it. But when collaborating with playwrights, I feel that I still have to do music. I can not deny my personal musical inspiration sources. However, I believe that the process of transmitting it to participants in the band is also music. Maher stands on the side of music, and do producing a play. The latest album called Garakei was made in this way.

You like to put extra mistakes/changes in the music on purpose by teasing the players, abrupt changes etc. Can you elaborate on this approach?

I do not remember what happened during being absorbed in playing my guitar. Anything could happen in music. I am not free but I let the music be free as it likes. Its huge freedom has been disrupting my daily life, though.

I saw you playing piano at a Reiko Kudo show, which is complex and sophisticated; while playing the guitar in is rather robust. Is it easy to switch/combine these views of playing music.

Any instruments should be played on the history of rock music. Any deviation is possible according to what extent to be trained. When playing the guitar, I am playing the piano in my head. But when playing the piano, I am playing the piano.

At the Ateliers Claus concert, McCloud announced some songs were sometimes based on old pieces (like Rameau etc?), is this something you specially did for this tour or is this an approach used throughout Maher?

Flanders is the birthplace of so-called chamber "music" or of so-called "art" as "le tableau", in the late Renaissance. At that era, Japanese met western music at the first time. I chose those early music in honor of that history. Furthermore, I thought such selection of score might give the participants good reason to play there. Each music needs a frame like tableau, picture, or a window, and the frame is consisted by language.

What are the main inspirations in your work?

Sorry, I live poetry.

How does the line up evolve? Do you meet regularly to play?

Maher has no members other than me. Players you saw there were who had worked hard for making travel expenses. Usually we are not talking about music but just how we are alienated in our daily labour. I would like to display their portraits working in offices and factories when we meet and play next.

How is collaborating with extern people/bands, such as Arrington De Dionyso and le Ton Mite? How is their input in the music making process?

They can not read scores, but no matter how they play on my song, I do not mind, because they are my close friends.

The Japanese underground known over here is rather the extreme part, while Maher Shalal Hash Baz works more in a native/twee spectrum. Are there other bands out there in the scene with a similar view?

Maher had had a tree. Its branches were gent In the '00s. But it seems to become diluted, accompanied by rising of SSW-like things that are deviated from the history of Rock. Rather, I think that Japanoise old school that branched from us in the mid80's is more similar to maher even now.

On one hand, self-name "underground" who had not grazed or not touched the history of Rock that had been formed by a series of psychedelic vinyls of 60's, seems to be increasing.

What are the future plans, any new records coming up?

I have come to start making a new album called "JU EST UN AUTRE". At first when I found this phrase on the wall outside of the Ateliers Claus, I thought this graffiti was scribbled down by a refugee who had been learning new language. I had my picture taken in front of the wall intending to use it for my next album. But later I have come to know that it comes from "Les Illuminations".

井戸 へろへろ

拾ったペンで

居なくなつたと考えてみる

他の人の楽しんでいる姿

光の槽に聖霊の後ろ姿

復活の時自分に会うのを楽しみに

責任がないことを示すため

魚の腹を光らせる

自分で切った後ろ髪に

話しかける羊栖菜

光りの味付け

提灯がぼおっと

ミラーニューロンの無いミキを照らす

死んだら死んだら

死んだら会えると思っていましたか

会えない自分を考える

裾野の思い出

マキの声が電気洗濯機のように魚を洗う

地上でしたそうでした

食べ物も沢山あって

クリーニングとパーマネントの金もある

心に達する 提灯

工具箱を開いて

ユキはひたすら練習する

一人になったことを考える

自分を頼れないので薄まってゆく

白い腹が翻る

井戸（ペエール）は二三メートル、幅が二・五メートルあった

他の人に汲ませている

堀越しの庭の薔薇の後ろ姿

at most

そのために沢山の人が

彫琢にライホーし

ハキハキと上擦って

ferris wheelのデパートの

地下のびよびよ鯉

いい嫁を貰ったね

別れて正解

裏切り者として殺されたのを

皮肉まじりに見られた

歯茎に杭

金歯に烏

ギヤーギヤー啼いて スラッシュ

それにしても アイスのような味

金箔には感動した

死者は一億

ソフトの口調でコーンを噛み砕く

爆心地に臨む比治山展望台のヘンリー・ムーアは

コーンの彫琢を実行したか

隣の庭の後ろ姿の薔薇を撮る

クリーム状の彫刻は終わった

最大限の host に ソフトに冷えて

○

そうしてやっと空はやぶけて

麦色は立つが

頭の位置が悪い

言われた通り作った

オレンジの地衣類が去った灰色の中で

青い骨が項垂れている

雛罌粟の花火だけがたまに点り

マイクには鯖の耳のような穴が開いている

ディジタルの溝ドブから

水揚げされた ナイフ

弾かれた 広島

熱意に沿って 海岸線を往く

急激に縮尺を変えることの出来る現在地を

裂け目型の月が見下ろす

頬から化粧のようなものが落ち

原さんはまだ「アイスを食べよーよ」と唄っている

ほんとうに戻って来たのだろうか

戻らない家なら沢山ある

エファタ（開け）と言われても

聞こえない家で

手を洗わず

下の名前に支えられる将来が見えるか

専門家は力について何と言っているか

手洗いから戻って来た時

もう輪に入れなかった

上層の軽い声も

腸のように思い

力がなくなつて歌を止めた

また妄想に逃げ込もうか

裾野で溝浚い

完全に外

だれもとどかない

点ではなく線になつていて

とても雨らしい

人はアリにして

世はカーテンにする

愛してはいない

カーテンから出た足を洗い

制服したのだ

根源を除き去ると

雨の色になるか

タブレット

神にも自分にも頼れない今、映画は憂さを晴らしてくれる唯一の逃げ場ですね

クラウド上の置き場をアップグレードする余裕もなく、外付けのバックアップも出来ない

現行のディスプレイのアイコンが全てであるような薄っぺらい板に魂の置き場所を定めて、山肌に当たる先細りの光を見ている

端々に零れ出る世

指先から覗く眩しさ

新しい車の色で測る双方の距離

ばかりでかい本を抱えた敬語の間違い

田植えを待ちながら永遠を覗き込ませる

ラクダが縫い針の穴を通るのはやさしい

暗い北海道で

雪掻きをする母子

原本を発見して

旗を振ったのだ

目は四つある

上と下と自分と他者に

核で旗は振られているが

子音のない表れ

作文は読まれ

(ムシエツトは読まされ)

固有名は閉ざされているのに

九つの尾には九つの呼び名があった

父なし子を苦しめてはならない

森に入っちゃいけないったら!

ラングドシャの真ん中の月明かりを

憶測して

蛸がまた孵る

焼燔の捧げ物として娘を捧げる

暗い北海道で

雪掻きをする母子

原本を発見して

旗を振ったのだ

目は四つある

上と下と自分と他者に

おやすみおはようこんにちは

おやすみを言う人がいない

みんなきれいに忘れていく

きれいな人はみないなくなった

おやすみきれいなおやすみ

おはようを言うわ人がいない

みんなとつくに起きている

ねている人はみんないなくなった

おはようおそいおやすみ

こんにちはを言う人がいない

こんにちはを言う人ははたらいている

はたらく場所の外側で聴くチツクコリアに殺意を覚える

こんにちはがはたらかない場所で睡魔と闘って

こんばんはを言う人がいない

土曜の夜はみな街に出かけてしまった

街はいつでも夜の「時

おはようと言ひ合う人たちが夜の七時の街に出て行く

さよならを言う人がいない

さよならを言う前に夕が来る

さよならを言う前に朝が来る

道頓堀の千日前

言えないさよならを待っている

おやすみを言う人に

こんにちは

さよならを言う人に

おはよう

こんばんはを言う人に

おやすみ

倉敷で買った網野善彦×小熊英二。戦後歴史学の鬼子の、その鬼の首を取ったつもりで網野は、鬼にも左右白黒つけたがる小熊から逃げ切ろうとして、不死性を持たぬまま、文献のアジールに走り込む。網野は日本のフーコーだったのだ。

“Why are you so angry and dejected? If you turn to doing good, will you not be restored to favor? But if you do not turn to doing good, sin is crouching at the door, and its craving is to dominate you; but will you get the mastery over it?”

底がないので打ち付けられない

壁がないので映し出せない

固形じゃないので咀嚼できない

屋根がないのでいつもここが底になる

スクリーンがないので悶々を入れる

味わえないままバイキングをミキサーにかける果て

雨舐める荷台のまなこ

らの黒き

岩のために声があり

普通の人間に引き寄せて

茶色い階段は続く

短髪は灰色に置かれ

急ぎ立てる天狗は

急行電車の青緑に塗られ

一つ目の傘で雨を除ける

取っ手は太い

雨漏りは雀のように膨らんで

地域のチェーン店の

胸に空く穴

夏至の寒さに

遅れて付いて行く水

急かされる土

学歴のちぐはぐ

バックの継ぎ接ぎ

一回一回基本に忠実に

どんな機会も逃さないように

ブレーキとアクセルを同時に踏んで

地味なことではありますけれど

一人一人に合わせて穴道湖

暮石と碁石を並べ

線量はカラーに

ケーキの飾りを背中に貼るな

地上での生活という妄想

の記述

は

マドレーヌ

化石の森

見えない実体

の中に自分がいない

ことへの反証

が信仰

造語による最終舞台には

赤い馬黒い馬青い馬

モニターありがとうございました

うそほんとという本はありますか

と七歳の女の子に訊かれた。資料検索をかけて一覧を見せ、この車にも本館にもうそほんという本はないよ、と伝えると、

うそほんとならなんでもいいんです、その中で何かのうそほんとはありますか

と一覧を覗き込むので、それなら例えば植物のうそほんととか食のうそほんというのがあるよ、と指示すと、

植物のうそほんってなんですか

と訊くので、外来植物のことじゃないかな、と最近よく見るコスモスみたいな橙色のなんとかオギクを思い浮かべながら答えると、しばらく黙っていたが、

じゃあ食のうそほんとにします、予約できますか先生

と言うので、予約用紙に書いてくれれば再来週の木曜日に持って来るよ、それから僕は先生じゃない、と答えると

すみません失礼しました、ありがとうございます

と言って、ひらがなで記入を済ませ、去って行きかけたがまた戻ってきて、

あの一、さっきの沢山あった中の、につばんなんとかうそほんというのも予約したいんですけど

と言いつつ。再び検索画面を出すと、たしかにニッポンの格差社会うそほんという本があった。

彼女が去った後、僕はひらがなにつばんうそほんと、と書かれた予約用紙をしばらく眺め、書誌の正式名称を但し書きして予約処理を完了させた。

Cremated bowls

maher shalal hash baz

一九八四年に三人のバンドとして始まったが、経済上の理由から毎回参加者を募る形になって今に至る。曲は練習しなくてもよい簡単なメロディに折々の詩を乗せるというもので、あまり変わっていない。初期はリズムのずれや音の立ち上がりに気を遣ってリハもしていたが、最近は時間的な制約から、即興性と自発性を重視することで音楽に仕立てようとしている。さらに演劇の一部であるという考え方に由る試みも行う。

・ 〔二〕全能なので

・ 〔二〕どうしよう

・ 〔二〕ジェットコースターは蚊の勢いに

・ 〔二〕膨らんだ三日月の鋭利

・ 〔二〕車は燃えている

・ 〔二〕いずれの側にも組しない

・ 〔二〕右手や額に

・ 〔二〕印を付けられ

・ 〔二〕死ぬと眩き

・ 〔二〕自国を応援

潰れたカナブンのバラード

ヤンファールに使われることもなく

スクラップ工場に運ばれることもなく

床の緑金

¡Ay, amor

que se fue y no vino!

霊は風

自分のものではない

¡Ay, amor

que se fue por el aire!

届かぬ青届いてしまった青の

届かぬ青届いてしまった青の

風速

心は

屋根を剥がされ

屋根は窓ガラスをぶち割って

色水

まだつきのなかばだというのに

おれはもうかねをつかいはたしてしまった

はなのいろはなぜきめられているのか

なぜひとのでていろみずをすわせてかえられもするのか

ひとはそらのくもをどれくらいのはんいみわたせるのか

それはけいさんできそうなきがした

カボちゃん号から新潮社抜いたらどうなる

カボちゃん号から新潮社抜いたらどうなる

カボちゃん号から新潮社抜いたらどうなる

カボちゃん号から新潮社抜いたらどうなる

カボちゃん号から新潮社抜いたらどうなる

カボちゃん号から新潮社抜いたらどうなる

大変なことがおきる

世の中で一番怖いもん無しだ！

ウンボに乗ってる奴らの得意そうな顔を見ろ！

手元をやってるスコップの奴のタオル嚙んで平気そうにつくろってるけど気が遠くなる見るといつも

でもスコップの奴とウンボに乗ってる奴と一緒に大盛りのつけ麺食べたならウンボに乗ってる奴の腹は出るだらう孰れ！

自衛隊に入れば大型も取らしてくれるって？

取ってやめりやいいって？

お前本気で言ってるのか？！

無免でいいんだよあんなの

ガス屋とか小さいの使ってるだらう穴掘りに

でも大きいのはレンタルだな

積み下ろしの時警備員は楽勝だな五分で終わるからそんで二日分付けてくれるからたまに

あの石灰取るんで半分になった山見ろよ

ペタペタ壊して急勾配に停めるだろ

一回立川で倒れたことあったなあれはクレーンかキリン怪獣みたいな

ほらBDIのジャケもおんなじシルエットじゃん

ま、いつか親方が取らしてくれると思ってやってるんだろうけど

小松行くまで練習させてもらったり

それまでは手元だな俺みたいな

え俺は何で乗らないのかって？

そ、それはお、俺が、バカでドジで使えないからだよ

お前は頑張れよ

リンだよリン 流行りのリン 目が悪い人は去りそう でも版元に寄り添う理想 これからみんなやりそう

眩しくて見えなかった ハチ公前で

今度は何？

まだ足りない？

あの男をよく見て

分かる？

絶対に結婚できない

別れることもできない

愛してるから

それは愛じゃない

緩やかな死よ

日々新しい問題が起こる

そんなの不毛だわ

いいわね

別れなさい

「ガザの美容室」より

かつて三省が屋久杉は荒らされて可哀想だから自分の木を庭のヒメシヤラに変えた、というので、前の家では勝手に生えてきた棕櫚を自分の木と思って大事にしていたのだが、引越したら枯れてしまった。今部屋の外に勝手に生えてきた分裂葉の木があつて、調べたらヒメコウゾというのだった。よろしくね。

前にオーストラリアに行った時は片足が麻痺して松葉杖だったので飛行機で優遇された

今回は仕事も休めない

コーちゃんも死ぬまえさしたる理由もなく片足が麻痺していた

孔があいていてそこからくすりの毒が出ていた

10・1 food courts@7th floor blues in C etc

blues in Cは

実際はCのコードの時は最も遠いF#と想つて演奏します。

F#/C F#/C F#/C F#/C

B/F B/F F#/C F#/C

C#/G B/F F#/C F#/C

それで、テーマは、Cの時はドミソ と ファ# ラ# ド# を組み合わせたスケールになります

コードがFの時は

ファ ラ ド に シ レ# ファ# を

Gの時は

ソ シ レ に ド# ミ# リ ファ ソ# を加えます

それらの音を全部合わせると、ド ド# レ レ# ミ ミ# リ ファ ソ ソ# ラ ラ# シ ド

と12音全部をフォローすることになり、アドリブの際は、12音のどれを使っても良いということになります。

これはダグマーなどの女子に十二音技法を多用したメロディーを歌わせていたカンタベリー学園祭男子サークルへの返答と思って選びました。

昔のロック野郎には十二音が知的に見えたのだと思います。

ケヴィン・エアーズはその裏返しとしてわざと平板な歌を歌ったのです。

実際にはユミ・ハラさんはそうしたプログレ特融の無調から脱却してエモいですが。

BDIは

ベースが

A・CA A・CA D・FD D・FD

A・CA A・CA A・CA A・・・ACA

D・FD D・FD D・FD D・FD

A・CA A・CA A・CA A・・・・・・ACA

・・・・ D/FD D・FD

A・CA A・CA A・CA ｝A・・・・・・ACA

と弾きます。

八小節目に必ず来る・・・・・・というのは

回転するモーターをイメージし、

それがクラッチによるアイドリングのような感じで大幅に遅延するというものです。

最後の方の・・・・・・という箇所は、二小節ベースが休む、という指示です。

ブルース進行なので、ここで聴衆はGを期待しますが、弾かない、ということです。

メロディーは、下降する ド ソ ミ で成り立っています。

アドリブパートに移っても、参加者は ド ソ ミ の下降だけで、バスドラを打つ場所を変えるように位置を変えてソロを回します。

打ち込みでリズムを作る時の悩み方と同じ逡巡があります

ブレイクビーツ風な位置にかっこよく決めないと、古いと言われてしまいます。

同世代には痒い所に手が届くような絶妙な位置に決めることが出来て、そうなんだよね、と頷き合うようなツボを押さえたと思っても、若い世代の目を気にしてのことなので、イケてなかったかもしれない、全体が間違っていてダサイ、ということも大いにあります。

ドソミは四分の一音までなら音程を変えることができます。

最後の名前のない曲は、上のメロディーを演奏すればいいです。

二〇一八・一〇・二七 *sooner or later*

電子音でエフェクトの回路を作っています

葡萄の発酵の音

クリスタライゼーションの音

それと葡萄果汁の染め

藍でもいいけど

布あればそれを着ます

巻く感じ

ワイン染めは今やってます

ダンサーは着ますが

最初は搾り滓で染めようと言ってたのですが間に合わないだろうとワインで

ブラバンというよりノイズです

合法的に街中でノイズをやるのが夢でした

いちどニューヨークで子供にマイクを持たせてノイズを流している人がいてかつこよかったのです八〇年頃

アーケードではすぐに立ち去れるように機材は使わないという話に

最初は警察には言わないで商店街のお墨付きのみと言ってたのですが

iphoneを持った人が歩くだけですから大丈夫です

盆だんすもやることになったから警察にも許可とったような話も

ボンダンスでノイズという流れはトレンドになりつつあるので甲府が率先すべきです

そのまま校座に行き同じ演奏をします

校座ではそれにピアノが加わる感じですよ

それで音楽化します

じゃオープニングアクト止めよう

羊屋と何かやろうかと思ってたのを今やめると決めた。

開場と同時に羊屋のインタビュー音源を始めちゃう。

一人につき一時間インタビューするのに五分にまとめるのは無謀だから

開場から開演までの三〇分音楽なしで声で、それでいきなり演奏がいいですね

音がかぶってもいいなら徐々に入っていくながら変わっていくのもいいと思います

あとはインタビュー音源をサンプラーで出し入れできるようにしておけば、大事な発言をmixできます

発酵に関する音、水晶に関する音、藍染めに関する音しかないので内容に応じて重ねられます

ミキサーが重要になってきます

PAの人が仲間じゃないといけません

それは始めからマヘルの間じゅうということですね

仲間

地元のトラックメーカーのような人がいいでしょうね

その人のやる気を引き出すために、ビートを任せてもいいです

するとクールに見えるので聴衆は納得します

地元愛に訴えるわけです

ノイズがボンダンスと山梨ラッパーを使って市民権を得る巻 みたいな

ピアノはちゃんと弾きます

それでクラシカルな層にも納得させます

ダンスのサックスもあるので音楽的には金返せとはならないでしょう

要はブラバンの先入観を裏切ること

桜座との相性が重要ですね。そのpaの

マヘルに関して印象を宙づりにさせること

本気ですね

おれじゃなくてマヘルがそう言ってるんで

桜座を棒にふる

桜座は今年しかできませんから

いえ。さいこうです

paのその操作のこと、言われた通り伝えて、誰がいいか早々に動きます

ブドウが一部すごく色が悪いです高温障害

ze:phoneにアプリを入れてもらえば参加者は地元主体でいいと思います

色の悪いブドウをイメージします

子供でも誰でもいいんですけどね

桜座にミミ飛んてれば客に訴えてその場でダウンロードして参加してもらえます

誰でも参加できた筈だという証明が大事なのです

人数はわりとどうでもよくて発酵の音が不可逆的に結晶化の音に変わって行くという演出をしたいだけです。できればテキストを読んてくれたらわかりやすいのだが。初ラップとして

テキストを読むのはやってみたいけど、一〇月一〇日過ぎ頃仕込みが一段落したときに状況をみて決めるということていいですか。本番の一〇日前位に桜座に打ち合わせに行くことになっていて、その時に出演楽器と舞台での立ち位置を知らせるように言われています。

立ち位置なんてないから荒れそうだな

PAどうしますか

自分でやろうかな

あと玉柳君がまあまあ詳しいので補助で

マイク立てりやいいんですよ

それだけ

楽器の位置とか言われ出すと喧嘩になる

携帯の音を拾う人が欲しいだけです

ビートは高橋朝でもいいし

低予算映画みたいなものです

桜座を味方につけるのが賢明でしょうか

携帯の音をマイクで拾うか飛ばすかといった技術的なことだけなんですよ

音色の加工はぼくが自分でスタジオでやります

いろんな人に聞いて学習します

地元のトラックメーカーがいいとか言うので真に受けました

PAというよりテクニカルな面でサポートが欲しかっただけです

物事は理解者と協力者がいないとすすみません。山梨にはいないと思って臨みます

仕事が多い時は分担するのが一番なので

当然あらゆる伝手を使って探します

ただ発酵と結晶化をやるうとしていることだけ理解してください

加工していくつかの段階に分けます

結晶化の音もそれを使って加工します

ソースにいわれがあると意味を持つものです

カメラ君なんかは全部そうやって数字を決めています

思い入れ、ですね

染めた布を貰ってきたら水色じゃなくてもろあい

藍で、あんまり大きくない

染まってゆくというコンセプトにして、白い布と対比させるのはどうか

大きな白い布にピンで留める

ここ二週間で自社畑の収穫は終わるのですがそれまではあまり色々考えられませんか

ガラス化の和音を考えてそれを楽器で鳴らすというのは考えました

ガラスのノイズがうまくできなかった場合に備えて

石橋さんには音源の加工だけ頼んだのですが、もしもリアルタイムの楽器の音の加工もしてくれたら一挙に解決します

それから石橋さんの音に入力すればいいだけの話なんです

永遠に湧き上がる生きた水が後ろを振り返ると水晶の柱になる

一．ブドウ栽培の作業について

ワイン用のブドウ栽培はワインのための作業なので、じかに生食を売る生産者のように社会的な役割を自覚してヒロイックに自分の名前を出す感じでは勿論ないが、農業ではあるので、農業としての土や樹に働きかける行為は同じで、どこが同じかというとすぐに答えが出ないところと同じで、いつも時間との戦いではあるが、昨日の今日のことと明日その責任を取って自分が斬首されるというわけではなく、要するにすぐには結果が出ないという猶予期間をわりと生きることができるので、それは人生のようなので、そのことを知っているから、作業としては気に入っている。ワインのために奉仕しているという感覚は、醸造者や消費者のために奉仕しているという感覚とはまたわずかに違って、すぐには返ってこない答えに向かつて話しかけている、という農業の基本たる祈りのようなものから来ているのではないかと思う。ただいわゆるバアルのような農業神に対する畏敬といった原初的なものでもなく、ワインという目的のために、ワインに特化した神と対話している感覚である。テロワールということがワインには重要だが、そのための果樹園の作業は、肥料をやるにしても、野菜畑に灰を撒く場合のような即効性のある見通しの効くものではなく、野菜の場合より遥かに見えにくいものであって、南アフリカでは葉で実を隠し、山梨では日光に当てる、とか剪定の判断も気温や降水量によって変わるし、枝を切るにしても実を落とすにしても、いちいちそれがワインにどう影響するかということになると、判断がつかね、足掻き、時間に追われ、見切り発車し、

途中下車し、そして答えが出せない、あるいは出さない。出さないのは一生延期された判決あるいは実質無期懲役となった死刑囚あるいは一生執行猶予みたいでずるいのかもしれない。葡萄修行者はずるいのだからオウムの人たちみたいに殺してもらったほうがいいのかもしれない。カメムシは憎いが強く、強い農薬でしか死なないので放置するしかなく、赤ワインの樽の中で浮いていることがあるが、ふつうなら赤くなりそうなのに、アルカリの影響を受けず相変わらず緑なので、特殊な生き物だと思う。カイガラムシとかは殺さないとまずい。殺虫剤はなるべく使わないほうがいいと思っているが、使つてはいけないという掟は持っていない。なぜ持っていないかというと、にんげんには果樹園を管理する責任があるからである。

矢の時間と輪の時間がある。だめなブドウを捨てて地面に落とすのはもったいないし罪悪感もあるが土に還るのだと思えば来年のためには良い。腐敗して土に戻る時間は美しい大いなる循環の輪に入ることである。悪い実を土に戻さず無理に発酵させても美しくないから感傷は切り捨てる。でもだめなブドウを切り捨てないで敗者復活戦的に無理矢理発酵させたらマヘルみたいになるだろうかともちらと思つた去年は。発酵は輪の時間のように思われがちだが発酵が進むということそのものは直線的な時間である。ワインの場合、発酵過程ではなく結果としての味がすべてであるので、

二・矢の時間と輪の時間、あるいは発酵と円環

ヨガで目指するのが浅い肺呼吸から腹式に移行する際の無意識の円環であるように

線の時間と輪の時間がある

線の時間を生きているブドウにとって、実はある意味最初の結晶化である

人が無理矢理摘み取つて運命を変える

腐るか食べられるか発酵するかのだれかの運命

発酵という輪の時間に放り込む

発酵は救いだけと流れないで円く循環するイメージ

発酵はよくあるあれだ。

営みそのものが、それによって得られた結果に置換される。

発酵そのものは輪ではなく線そのもので、どんなに時間がかかっても始めがあつて終わりがある。

発酵の結果であるもののうち藍染はそこで終わっているが、

発酵そのものとはき違えられている発酵食品は結果でありながらまだ生きている。

輪の時間に入っている。

手散布で農薬をまいたあと刈払いを半日やったら夜中に過呼吸になつて

時間外診療室で点滴を受けた時の睡眠が一番深かつた。

一〇分に思えたが一時間だった。

ヨガの死体のポーズは逆に五分で無限時間分の睡眠に匹敵する状態を作り出す。

呼吸は意識と切り離され、止まっているかのようになる。

意識状態の呼吸

意識を体から離脱させる呼吸

浅い眠りの呼吸

深い眠りの呼吸

それぞれに対応した時間の形態がある。

完全弛緩は死そのものだから無時間。

発酵の泡を呼吸に擬えられる

泡が出なくなつて発酵は終わるが産物としてのワインは死んでいるわけではない

受粉を経ての花から実への結晶化は痛ましい

花の光は完全に失われ、それから実だけしか見えなくなる。

ブドウの花には形がないから余計にそう感じる。

ブドウと言ったらブドウの実だけを指す意味社会に入った。

私は人間的な目的に従つてこの実をからかうように仕向けられる

（からかうは甲州弁で世話を焼くこと）

発酵を終え瓶に詰められたものをワインと呼び、専門家の星の数で選ぶならそれは確かに記号だが

開栓され注がれた液体に時間を見るなら飲む人と対称的なものになる

トカゲのワインは悪くなかったが1本ずつしか売れないのにCDと一緒に個装するためには二本用の箱に入れなければならなかった。空間部を埋める新聞紙を山梨日日と愛媛新聞にしたらどうかと思つたが送ってもらつたりしたらさらに高くつくのでやめた。

三：発酵と人間、永遠の命とアート

人間は息をしないと死ぬのに、出芽酵母は酸素なしで生きるといふのはすごいと思う

人間の頭の中だけにある永遠の命の、循環システムのモデルのようである

発酵の時間に人間が入り込むのはアートの時間の体験に似ていると思う

攪拌のために発酵樽の中のガスの中に入ると全身が骨抜きになり出るとまた固くなる

それを繰り返していると、発酵が終わった後、人の奏でる音楽を生で聴きたくなるが、それには訳があると思う

あーあつちにそのままいつてしまわないで帰ってこれてよかったと思う

発酵が終わると人間に戻った気がする

ヨガでは最終的には息をしなくて良くなると言われるが、それは死ではなく水晶になる感覚に近いのではないか

肉体が死んで腐敗するのではなく、発酵の延長にあるような状態を目指しているのではないか

発酵には永遠はあるが酸素の愛はない

愛はない、でも腐らない

発酵は神が司っている

人の音楽には過渡的な意味での愛がありしかも永遠性も帯びているから特殊なのだと思う

音楽の愛は酸素のない愛と酸素のある愛を行き来している

酸素はウナギの毒に似ている

永遠と器官を結びつけるのがアートの役割ではないかと思う

音楽を頭の中で鳴らしながら二つの愛の時間を行き帰りするために作業してきた

「発酵が終わると人間に戻った気がする」というのは間違っていた。実際は醗酵に携わる人間が発酵の世界に近づくことはない。人間であることが希薄になって微生物の世界に近づくことなどない。最盛期に三〇〇〇「級タンクを覗いて一瞬で死ぬ酸欠事故が起きるのは現実そこに結界があるからだ。あたかもイルカの世話をしているイルカになった気になるような、そんな親密性は人間と発酵の間に成り立たない。

発酵の時間に人間が入り込む余地はない。

発酵は優しくない。

農作業の時期は音楽を聴くのに、発酵に入ると急に聴けなくなる

確かに酸素のせいかもしれない。

だから単純に、発酵が終わると演奏が聴きなくなるのかもしれない。

文化人類学のブリコラージュ概念をもってきて発酵とアートを結びつけるのが今の流行だ。ここでは発酵そのものと、発酵という代謝を利用する人間が同一視されている。この文脈では、アートもまた、コンセプトや制作過程に収斂した意味合いになるので、発酵もアートも限りなく人間に引き寄せられている。そういう意味で味噌や麹のワークショップと地方の芸術祭で発表されるアートはほとんど同じものと言ってもいい。

音楽について、楽譜を構成する音階や拍子は数学と同様、神の知性と重なるものであり、その人間的な展開が演奏であるという考え方が自分にはしつくりくる。

酸素のない愛が楽譜で酸素のある愛が演奏ならば

発酵には愛がないが永遠性があり、発酵が終わった後の緩やかな酸化⇨熟成を喜ぶ人間には愛がある、とうまく落とせる。

酸素のない愛は端的な肯定、「何故」に答えなくていいから「如何に」を先取りして生きなさいという声のことだと思う。

四・腐敗とはなにか

酸素は全てを腐敗させる

発酵は酸素を必要としない嫌氣的代謝だから腐敗の反対だ

酸素を必要としない微生物が人体の九割を形作っている

感情も病気も微生物が管理していると思うと息をしている自分が衰えだ

発酵は腐敗から免れる救済かもしれない

腐敗で紐解かれるのは物質モノダの分解と再編

けれど一度物質から抽象され

一つの精神性を目指すよう仕向けられたものが足場を失った時

不安定な状態が訪れる

初めのワインはジョージアで甕の中で自然に出来たと言われるが

どこでも放っておけばみんなが思ってるワインになるわけではない

それでも生まれて保育器に入れられてしまったら

のたれ死ぬわけには行かない

発酵と腐敗は抽象概念だ。

人間の意図なく赴いた発酵と腐敗に失敗はない。

自然の繋がりの中で条件が揃って始まった発酵は

途中で条件が変わって腐敗に切り替わることも普通にある。

人間が例えばワインのようなものを作ろうとしてブドウに對したのなら

天然だろうが乾燥だろうが酵母の違いはそれほど大きくない。

そこでは発酵は始まり終わるべきもので

途中で大雨が降って雨宿りして氣が変わってキノコになることは許されない。

線の時間は人間の抽象で

ブドウが夏に伸びて秋に止まり、冬に硬くなり、春にまた生まれるように

発酵も続いている

ということもできる

終わりと始めがあるように見えるものに氣をつけて。

ワインのような液体は人間の中を流れて消えるが

それはまだ流れているのです

私を通して出て行っただけ

人間の体はもちろん線に進む

でも土葬にすれば火葬場で見るよりもっときれいな

青白い骨だけになって後は土に還ることも知っている。

水晶は曖昧さを秘めたまままで止まっているから

もしかしたら一番正直なのかもしれない。

もうこうなると輪だか矢だかわかんなくなってきました！

困りました。

永遠も終わりのない矢ですからね

個体の死を捨象した循環が輪か

始めと終わりは必要です。倫理的には、輪を支持するあまり矢をうつちやるほうが無責任です。

文鳥になりたい。

後ろを振り返ると水晶の柱になるというのは案外辿り着きたかった結論です

人間だけが永遠を思いみるができます

永遠は現実であり循環も現実です

輪も矢も偏在し私たちはそれを同時に生きます

取り返しがつかないのは罪だけです

取り返しがつかないことがあるから、自分がどこにいるか知れるのですね。

それはいつもと変わらぬロック史に則ったマヘルの演奏ではありませんか

現在地確認はグノーシスではない

エピグノーシスでなければならない

罪は何ですか

たくさんありすぎて天に達している

最善を尽くして弦を奏てるのはそのためだ

滅ぼしてもらうためなのだこの社会を

失敗の項で考えます。

ヘビメタみたいになつてきたな

メタ蛇

五・発酵と水晶の結晶化の類似点と相違点について

水晶は氷の一形態だとギリシヤ人は言った

食べられそうな水晶もある

有機的と無機的の違いはあれど発酵は精神性としては水晶の結晶化に似ている

遡って許したりすることが出来るのは会話くらいで

発酵も結晶も元に戻れない

サッカロミセス・セレヴィシエが発酵と呼ばれる代謝によって糖をアルコールとCO₂に変えると

ブドウはブドウでなくなり、嫌気的条件下に置けば非常に長持ちするようになる。

ブドウがワインになった時、水晶のように閉じ込められればいいが

それだと飲めない。

飲みたいでも飲んでしまうとなくなってしまう。

水晶は食べられそうなのもあるけど、食べられない。

形が残ってしかも見せるだけでも見ているだけでも

換金できる程きれいだから羨ましい。

水晶は止まっているから廻らない。

発酵が終わるとブドウがワインになって止まった感じがするけど

詰めた端から瓶の中でも緩やかな酸化が始まっている。

急激な酸化は即腐敗に至り、緩やかな酸化は熟成と呼ばれ

緩やかな放物線を描き下り坂に差し迫る直前が飲み頃と言われるが

言い当てられるテクノロジーも財もないので、

せつせと瓶に詰めてみんな同じ値段で売ってしまう。

昇仙峡の土産物屋にいるブラジルやペルーの水晶に比べても随分忙しない。

六．土壌と色　あるいは種と実、原因と結果、成功と失敗について

土の中に含まれる鉱物や放射線が水晶の色を決定する

日本の土は鉄分が少ないから白い水晶が多く、紫っぽいのもあるけど色が薄い

ブラジルの土には鉄が多く紫になる

日本の水晶の色が濃くないのとワインの色が濃くないことは似ている

ブドウのために土に硫黄を撒いてみた

水晶において完全な透明を成功というなら、そういう目に見える色の失敗が定着して売られているのは美しいと思う

水晶には永遠だとか人間のデータ化された記憶だとかブドウの花の光とか、失われた全てのものが結果として閉じこもっている気がする

水晶を見ていると死ぬこともさほど怖くない気がしてくるから不思議だ

ではワインの発酵の成功あるいは失敗とは何だろうか

美しくはない水晶のような結果になることが失敗なのだろうか

ブドウは発酵が終わる時、腐敗から免れる代わりにブドウとしての光を失なう

その光が記憶として自分の「水晶」の中に閉じ込められるなら、そこに美しさがあるのではないだろうか

それともワインとは単なる腐敗の回避の産物なのだろうか

成功した美しさとは目に見えるものではないだろうか

お友達でいまいしょうみたいな関係に至ることは目に見えないから美しくない

流れて無くなるワインも見えなくなるから美しくないとするば

美しいのは失敗が固定化されたまま生きている水晶だけということになる

藍染も思っていた色が出なければ失敗ということになるが、藍染もマヘルも自社ワインも、その目に見える水晶を感じ取ることが出来た場合のみ評価すべきなのではないか

音楽は演奏が発酵で楽譜は水晶なのだろうか

とにかく水晶のように固まっているものは安全で安心できる

なんでもいいから水晶を見つめていたい

生食農家はブドウが最終だが私は畑にいてワインの事しか考えていない

と思っていたが、それはどんなワインだろう。

ブドウの花は咲くと花粉がむき出しになった黄色いばかりの線香花火で

バイオダイナミ創始者のニコラジョリーは硫黄は光を集めるから花の時期に樹にまくといいと言った

花自体がもともと硫黄の粉にそっくりなのだ。

水晶の粉末を溶いたものを、熱を司る獅子座が月の前に位置する日に撒くことも

結実を促すための処方として推奨されている。

光を集めるためにこのような錬金術的処方をブドウに施すのだが

着果が良好だったとしても、その後の天気によってうまく熟すかが決まるので

花の時期にやったことの効果が収穫の時まで保たれることは日本の多雨高温気候下ではあまりない。

むしろ、実のつきが良ければ着果過多になりやすいので

その後日照量が多く雨が少なく夜温が下がる理想的な天候でないかぎり

それぞれの粒が十分に熟さない結果となる。

畑でも醸造でも目的に沿った処置をしようとするならタイミングが大事で

それを逃すことが失敗だ。

毎夜の分析で比重や酸の数値を追って時宜を損なわないようにするが

仕込みの時期は後から後から新しいブドウが入ってくるから

理想を手放すことにも慣れなければならない。

そうしていると出来たものは、目指したものが成就したというよりは

毎秒毎秒腐敗に至らないために見張り、漸くたどり着いた終点のように思える。

ジオダイナミのように天体の運行に最初から作業日程を当てはめてしまう方が心が休まるだろう。

ブドウは所詮水晶になれないから、花が実になる時最初の不安が生まれる。

光に包まれていた明るい海から、葉が鬱蒼と茂りたわわな実の重さに樹が耐えられなくなる前に

蔓を切り房をどんどん落とさなければならない。

ところで、ブドウが水晶になれないように

物質ではなく、水晶の光がブドウに注入されると考えるのはおかしい。

水晶は水晶でブドウに入りこむことはなく、入り込まれているのは人間の頭だ。

錬金術でワインが美味しくなるとすれば、美味しさが脳と記憶の判断によるからで

そういう意味で自然派は確かに美味しいのだろう。

ワインの中に水晶を見てもいいが、私は飲むよりも作る方だから

失われたブドウの光を、ある日古名屋ホテルの隣の宝飾店のウインドウに置かれた

ブラジル水晶の塊の中に見た気がした。

七・商業活動について

産地のことを喧しく言う趨勢になっているが、水晶屋もワイナリーも本当は産地を偽っても売れるものをただ売って儲けたいという気持ちがあることは否定できない

水晶屋はメキシコやブラジルのものを売っているので産地について罪悪感などないように見える

そういう罪悪感さえどうでもよくなる経済的な谷間は何度も山梨の地場産業を襲ってきた

ワインはどんどん金に変わると思われているが、飲むと水晶みたいには残らないものなので、消費され方が違うから、二つは似てるけど売り方としては違うと思う

外国のワインを真似するのは大変で、この感じを出すのは無理、と、ヒトという生き物そのものとして実感した経験がある

経済活動としての栽培と醸造行為にとって、発酵は光とか水晶とかじゃなくてなによりも労働の終わりを意味する

産地にこだわる消費者のためにブドウを自分たちで育てているインディペンダントなこだわりを持つ醸造所というのは戦略であって、有難いのはただ自社のブドウの色が濃いこと

色が濃いほど甘いので黒↓赤↓ピンク↓白↓緑の順で嬉しい

気温が高すぎると色が悪くなる

高望みしていた色と現実の色の折り合いをつけなければならぬが、高望みしていたその高きじたいは自分の中では失われないので、失敗のそれなりの結晶化を目指すといった二元論的な思考法に傾きがちななる

自虐ともとれるそうした対立を統合しようとするとき、焼き物屋の場合と同じく、所詮ワイン屋は、という自嘲めいた言い回しの自己規定で止揚することがあり、それが水晶加工、藍染めなど他の地場産業の結びつきの土台として使われる

忍耐とはただ耐えて我慢することではなく、決意して人生の微発酵を主体的に耐えることであるから、どんな商品が出来ても、売り方としては良いところを見つけてマリアージュを提案するという営業方法がとられる

欠点が分かっているのもそれを食べ合わせの提案でいい方にもっていく、欠点を補い合うことでどんなワインも商品となる

一番合うのは常に白米である

指輪ホテルのインタビュアーのアポを取るために、県立ジュエリー専門学校で長く教鞭を執った後、自宅兼工房で制作をしている人にメールしたとき、水晶が今回のイベントのテーマの一つだと言ったら、専門外でとても対応できないと断られそうになった。そのあと、ちがう若い、やはりジュエ専を出て自分のジュエリーとセレクトCDのシヨップとバーをやっている人にも、全く同じことを言われてこちらは本当に断られた。甲府では水晶の話はタブーなのだった。80年代か前には駅前には水晶の形の噴水があつて、他にも水晶モチーフは街に溢れていたというのに。

ワインに関しては九七年の第五次ワインブームの時には、売れ過ぎて足りない原料を補うために外国産を混ぜることが広く浸透していたが、この一〇年で正され、表示義務も出来て、かつてそれで散々儲けた会社も今では素知らぬ顔でせつせと地場品種を作ったり買ったりしている。水晶は昭和に入ればもう産地としてはすっかり廃れていたが今も土産物屋にはブラジルやペルーや中国やら売っている。甲州商人の恥さらしみたいに見える時期があつて、きっとジュエ専でも臭いものとして蓋されたままなのだろう。羊と私は世界の水晶の事を昇仙峡の土産物屋の専務さんが色々話してくれるの

を楽しく聞いた。まさかバルクワイン（船で輸送されタンクローリーでワイナリーのタンクにそのまま注がれる輸入安ワイン）の説明をこんな楽しそうにする人はいないだろう。

輸入ワインが地ワインに混ぜられていた事で、土地の味を知る機会が長く失われていた。私たちはワインは農産物で、地元のブドウから醸造したものをだけをそう呼びたいと言ってきた。個人的には私は故郷と言える場所を持たないので、ワインのテロワールに自分を投げ込む事で土地に根付きたいという願望もあった。ここ一〇年位、日本は空前のワイナリー設立ラッシュで、農家が前面にでて大量生産する農業生産法人型ワイナリーが増え続けている一方で、最近は練馬や清澄白河や御徒町にもワイナリーができ、他所のブドウを醸すジュエリー工房型も一つの生き方として寛容に受け入れられている。ロジスティックスの発展によって原料の移動が気軽になり、ワインはビールに一步近づいた。自分たちは世界共通品種でテロワールを探ることにまだ飽きていないが、今はそういうのよりもっとポップなものが流行っている。微発泡はブドウがワインに変わるその時を抜き取ったもので、確かに人間は自分が矢のように下る一方ではなくずっと泡立っているように思いたいから、そういうのがとっても好きなのだ。

マリアージュは個々の組み合わせを押し付けるのではなく、味はレゴのように組み立てられると言いたいのだけど、白いご飯は合わないと思う派。白いご飯が一番と言ったワインジャーナリストは、ほとんどのワインは納豆以外のものとはほとんど合って白いご飯が一番だと言っていたが、その人はワインに点数をつける人でワインそのものを見たいので、関係性には興味がないのかもしれない。私は納豆巻とか納豆オムレツとか、アミノ酸由来の旨みのある甲州シユールリーにとっても合うと思っている。

八：自然派ワイン業界との差別化

発酵を全部神に委ねてしまう考え方と

そうではなく人間が操作するという考え方が対立している

前者を自然派と呼ぶ

自然派はかっこ良すぎる

人間があれこれ操作すると酸素が絡む

赤の醸しの初期には酸素を入れるのが自分には自然だと思う

自然派の作り方だと酸素が絡まないので還元臭がつく

それでブドウの種類に関わりなくみな同じようなおぼこめいた味になってしまう

自然発酵でも衛生的なところだと果実味が感じられ最高のものが出来ることが稀にある

だからそれは確率の問題でもある

社運を賭けるわけにはいかない

「自然派と日本ワイン」という括り方で売っている店が多く、うちはいわゆる自然派ではありませんと初めは一々ことわりを入れていたが、向こうもわかっているようなので言わなくなった。農薬は自分が撒いていて体にこたえるので出来るだけ少なくしている。発酵は夫が管理していて、乾燥酵母を使っている。コウバが古い木造で解放部が多いことも自然発酵をやらない理由ではある。トカゲのように、やればできる事も知っているが、やらない。亜硫酸はブドウに腐敗が入り込んでおらず、発酵がスムーズにいつて、その後酸素との遮断に気を使っていればかなり少なくて済むので、病果は収穫の時に取り除き、発酵から瓶詰まではいつも見張っている。自然派にも色々な考え方がいて尊敬に値する人もいるが、乳酸が動いて漬物や腐った玉ねぎの香がついて美味しくないワインも多い。考え方が立派でワインも美味しければ言うことはないが、考え方がは立派なのにワインが不味いよりは、農薬や乾燥酵母を先人が作った道具と認めて助けを借りながらそこそこ美味しいワインが作れればいいと思っている。でもそれだとあまり売れない。

九・今回のイベントとは

ウルスラとウルスリは水晶を探して山に行く、という昔読んだ童話の曖昧な記憶から始まった

水晶を題材にした作品にはシュティフターやノヴァーリスのものがあるが、それらのどれでもなく、自分の中で、勝手に兄妹が水晶を探しに行く話に変わっていた

山梨の特産品でもある水晶のイメージを発酵と結び付け、特に醸造家にワインの売り方と結び付けてそれを伝えたいと感じた

発酵が終わったワインのように、水晶も時間が止まった中に生命のような光を宿しているので、水晶に醸造の思いを込めるということかもしれない

自然に対する依存度の濃淡を自分で決めようとするのが今の農業ではあるが、醸造はそれにさらに発酵という偶然が加わるわけで、偶然に対する依存度は必然的に高くなっている

偶然に多くを負っているという自覚を持って、心構えとして性急にならずもつと謙虚に酒を売るべきであり、そのために創造主の活動に関連付けた水晶の結晶化に関するあれこれの考察は役に立つと思った

時間が止まって死んでいるように見える結晶はなにかの結実の反映として光っており、発酵をそのようなものとして受理すべき側に人間は立っている
農業の収穫祭に対して発酵の終了祭の持つ意味は、自らの労働を結晶化させ、性急な商業行為に移行する前にしばし水晶の時間に身を置くことであろうと思う

それがワインというものの聖域なのだ

今年の初めに芦屋で小杉武久の「音楽のピクニック」を見たあと、工藤さんはノイズというものについて改めて思索し始めたようだった。二月東京のインキヤパさんとの対バンの際は行けなかったけど、興文堂でやった不忍池個展real sight partyのアーカイブブックに寄せられた文の中に、その日何をやったかが逐一書かれていた。小杉さんの「リアルな音に触れるためには音を変調させ、偶然を利用した回路を作らなければならない」というその回路を「人力で」作って演ったということらしい。

春フランスから帰って、去年やった山梨でのライブを今年もやるか判断を先延ばしにしながら、何となくいくつかの会場を当たっていた時、自分の住む山梨市には市に運営が投げられた五〇〇人ぐらい入る花かげホールというのがあって、そこが音響がものすごく良いらしいけど交通の便が悪すぎて「古楽の愉しみ」の公開録音ぐらいいにしか使われていない、という話をしたら「音響がいいならアルヴェイン・ルシエだ」と工藤さんが唐突に言った。ライブは結局花かげホールではなく、甲府の桜座でやることになったのだが、ここも音にはプライドを持っていて、どうも出来た当初から、東京ではチケットが取れない大物の上質な演奏をゆったりと聴ける、というのを売りにしようとしていたらしく、一三年たった今、本当に東京の一〇分の一し

か人が入らないと店主はいつもボヤいている（それでも続いているのは凄くと思う）。甲府というところまで私には「水晶」ぐらいしかキラリと光るものがなく「音響」という言葉と水晶の輝きが頭の中で溶接され離れなくなった。アルヴィン・ルシエについてはYouTubeでチェックしたぐらいだったが、その頃ちょうど来日してスーデラでやっていて、秋には桜座がスーデラになるのだな、と勝手に合点した。ノイズ、音響、水晶へと蒙昧な思い込みから今回のイベントのイメージが出来上がってしまったわけだが、今考えるとそれも「偶然を利用した回路」の一種だったのかもしれない。

私は故郷と呼べる場所を持たないため、ワインのテロワールに自分を投じて土地に根付こうとしたのだが、山梨に来て以来ワインだけやって20年になり、漸く根が張って動かなくなったところで、今度はこれまでに茂らせた枝葉の養分を土地の方に注ぎ込みなくなった、というのがアートイベントをやりたいになった動機の説明だ。友人の発酵デザイナーヒラク君は「発酵はオルタナティブを示してくれる存在」などと言っていて、微生物にとっての良い環境づくりが仕事である発酵に関わる人間は、普段の仕事の延長で周囲の環境がよくなるような方向に自ずと向くから文化事業をやる素養がある、というような話をしている。本当なら随分いい仕事だなと思う。

自然を相手にばかりしていると分からない事は分からないで終わってしまうが、かといってブドウやワインについて仮説を立て検証するというのは単に研究に身を投じる事であって、今の自分にとっての落としどころを見つけるのとは逆の方向だ。切実なのは呼吸で、自分の息苦しさ、生き苦しさを取り除くこと、環境をよくするとは実際はそういうことで、目指したいのは自由に開かれている無意識な呼吸だ。そこでは対象としての自然が消え自分の存在と一体となる。冒頭の、工藤さんが引用していた小杉武久の言葉を当てはめてみることを思いついた。「リアルな音に触れるためには音を変調させ、偶然を利用した回路を作らなければならない」；リアルな自然に触れるためには自然を変調させ、偶然を利用した回路を作らなければならない。

リアルな自然に触れるためにはそれを対象から引き離し、思い込みや妄想のような偶然の回路につなげること。そういう風にしてしか自然と通い合う道はないし、自由もない。かなり実感に即して、発酵と水晶をつなげることの説明にもなるし、アートイベントをやる理由とも言えなくもない。

Junko Suzuki 追悼ピクニック

やっぱりヘンデルブラームスで行くんですか。

マヘルの曲に移行するのは難しいですね。

ヘンデルの短調の弦楽曲はロンドンで聴いてバツハより良いと思いました

どこが良いのか分析すると人間と神の関係がバツハは上からのようて下からの思い込み、ヘンデルは下からのようて上からの思い込み、上からの思い込みって愛ですよ

参加する人に聞かせただけです

農作業の訂正文素晴らしかったです

ぼくの予感どおり、会社で言えばプレゼンよりフォーマットが与えられるとのびしろがあるタイプ

台風前の前倒して今日もバタバタで音楽は後で聴きます。

Bのイベントページは参加者用ではなくて僕用です

僕がロック史の文脈の中でやろうとしているということを知らしめる目的があります

自分からは招待しませんが設定はパブリックですから見つけて反応するのは自由です

あそこから発酵はもう始まっていると考えます

宣伝は表一本にした方がオール野党で勝算ありますからね

発酵が終わった後、緩やかな酸化⇨熟成が始まるという点、酸素がまた介入してきて人の奏でる音楽が聴きたくなくなるという点は、曲への移行のタイミングとなるのではないかと、文を書いていて思いました。昔の家がジャケットの、open fieldの最後みたいな、あの世みたいのも思い浮かびました。

一時間の持ち時間を分割して「今、発酵が終わりました」と口で言ってて、曲に入るといのはどうでしょうか。

言うだけっています。

一時間はとても長い

合図は必要

言ってくれますか

合図するのでそうしたら冬里さんが「今発酵が終わりました」といって、それから穏やかなマールの曲をやるというのはどうでしょうか。
輪の時間をこの世的に、ワインの熟成とか枯葉の分解とか

あ、それ自体は線の時間なのですが、年月を経て巡るという意味で循環です。

そこらへんまとめて後で投稿しますから。

でも合図でなくて、思った通りに発酵が終わるまでやって、それで自分で「終わりました」と言えればいいのではないですか？

いまのところはなんの曲もおもいつきません。

元に戻れないということは、ロック史的には、罪の問題を避けて通ることはできません、あとは現内閣による憲法改正だと思います

一時間あるのと、曲もやってほしいのと

それから、私はやはりラップ？で参加はできません。立場と家庭の事情からです。言ってくれたのは嬉しかったです。

うちも委託の醸造はきほんやりません。

東浩司かわいそうに

町から町へ

venueからvenueへ

追いかけてくる罪から

同じ速度で逃げおせているような

apples in the backpack

という曲をやれそうだったら芋づる式にいくらでもできます

suspended season ㄥか

発酵が終わった後馬がしんで無くなったトテ馬車につてくみたいですね

発酵の終わりについて、

発酵が終わりに近づいたかどうかはまず音で知らされます。

赤ワインなら、グツグツ言つてたのが途切れがちになって、ゴボ、ゴボとなり、

さらにピチャツ、ピチャツと滴のようなのが、まだ浮いている皮の間から時々浮かびあがるようになります。

こうなると、見た目にはまだ泡が出ているのですが、それは含まれているガスが上がってきているだけで、欠伸のようなものです。

赤なら圧搾し、それから1週間は置きますが、比重を計ってもほとんど変化はありません。

赤なら酸を円くする乳酸発酵に移るためのスターターを入れ、白は亜硫酸を七〇ppmくらい入れて終わりにします。

そうすると泡が出なくなつて澱が沈んで上澄みが澄んできます。

最終的に瓶詰前になるとここから比重が〇・〇〇一は落ちていきます。

昔は赤ワインの残糖をとても気にして、搾った後ずっと液面を見ていました。

泡がひとつ上がつてくる度に「でた」とか言っていました。

この、音がなくなつて、見た目はまだ動いているように見える状態が発酵の終わりです。

言い換えると、発酵の終わった後の始まりです。

ノイズから曲への移行について、もしかしたら手ががりになるかもしれないと思いました。

見た目ははっきりとはわからないということか

きつぱりガラス化の音に変わるといふのは観念の話なんです

境目なく適当に曲もやるとかのグラグラした感じがする似合っているのかもしれない

はっきりはしていないけど、もう戻らないという感じです。

合図しないで個人個人で決めてもらうとか

服を変えるとか

ああ、それもいいですけど笑っちゃいますね

藍染は脱ぐとか

ステージの照明を徐々に変えるとか

照明はお任せということになっていたのですが、みんなが脱ぎ終わったら変えるとか打ち合わせが必要ですね

最近のバリコレではドル紙幣の服があつてびっくり

さっきのみんなそれぞれ終わったと思つたら服を着替えるのは自分の演出みたいです。懐かしい感じ。

店から店へ

文字から文字へ

追いかけてくる鬱から

目先の興味で

逃げおおせているような

うつ病のくすり

やろうかな

発酵が終わってる人たち

発酵で青春みたいなものか。

発酵の前が。

てことは

人生には

発酵前と

発酵中の二段階しかない

発酵完了が死

クラスター構造が違う

全ては無い物ねだりから始まるかのよう

オトトシテハ

結晶化はカキーンとはいかなくて、もっこもったものではないかと思いました

畑で見つけた石英は組成はあのとんがった水晶と同じだが、見た目はスナック、小岩あたりの

おでんのような完成形

発酵は確かに始まり終わるのですが輪の中に運命づけられて、終わってからのみに価値があり

アルカリはクラスタが小さい

発酵しなくていい

ぶどうサワーでおれはいい

発酵いやだ

大人になりたくない

とジタバタした味を飲み比べるロバートパーカー

シャインマスカットはぜんぜん美味しくないのにキロ一九〇〇円、ワイン用甲州はキロ二五〇円

ゆきちゃんの衣装は泡みたいになりました。ワイン染めを引き裂いて編んで、

あれは発酵初期

発酵が終わるとすっかりそっけなくなります。自分とは全く関係ないような存在になり、あのひろさのブドウ畑がこのタンクに収まっている事も、発酵中はまだダイナミックにおもえるのですが、終わるとただ酸化させないようにひたすら、こばさず売らねばとなるのです。畑にも行かなくなりま
す。ブドウ代を払うともうすっからかんで

結局、発酵したものは発酵しなかった場合と比べた飛躍が人智を超えていて、個々の矢を超えて全体としての輪の軌道に入る。発酵しなかったものも腐って土に戻るから循環するのだけど、分解を経てそれ自体はなくなるのに対して、発酵は代謝で、ブドウの変容したものとして生き続ける。ギリシャ人の水晶感はブドウに近い。

ただ演奏と同じでどんどん流れて飲まれてしまう。オカネとしても流さないと生きていけないので、ただ、銀座のおねいさんのような盛り盛りのヘアスタイルが羨ましいだけ。

でも流通していない竹森山のススキ石みたいなのがいちばん惹かれる。

見てみたい。回想録：山梨県塩山市竹森の水晶…サルナシの掘り掘り日記

山梨県塩山市竹森の水晶産地が立ち入り禁止となつて久しい。針状の苦土電気石を包含するこの水晶は、俗に薄（ススキ）入り水晶と呼ばれ、日本を代表するインクルージョン入り水晶のひとつである。産状としては花崗：

花が終わつて実になるのも怖いのはなぜ。また同じ繰り返しがやってくると思うからね。それを何とかしたいのねきつと。

ワインはいいのが出来てもただ売れてしまつておしまい、それほど褒めてくれないし。また買ってくれるのはありがたいことだと思う

自分を飲めと彼が言った時

みんな離れていった

ワインは血であつた

この頃売れない。去年もギリギリだった。

あがなうとは等価交換の商業用語である

ギリギリがいいのか

等価で飲むのである

ワインは永遠の命について話すということにおいて価値がある

エリヤよ畑に戻れ

今が苦しいなら

ガラスは固まるより割れるイメージと切り離せないので永遠とは少し違うかもしれないです。

発酵の終わったのはいきなり割れないで、ゆっくりを獲得するので。固まるときはカシャーンではなくて、ぴしみたいな。

桜座にwin飛んでるそうです

商店街は二丁目の呉服屋がうるさいとか言って屋根のないひもじい公園なら大丈夫とかふみちゃんが言うので食い下がった。初めの予定通りアーケード下でやれるようにしてもらいますがアンプは無理そうですね。

ノイズから曲にどう持っていくかが問題なのでしょうが、一応リクエストも言っておきます。

what's your business here Elijah、箱なしの移動…ああいっぱいありすぎるのでそれだけです。言うだけ言っておきます。箱なしはスマホを使うので歌詞がいいかなと思いました。

リクエストで曲が増えるのもいいですね

あと最近ひっかかったのが「あなたの下る坂道を私は上る」で今日聞き返しました。かつこよかったです。

言うだけ言ってます。

わたしはもう

下ってますから

かなしいです

下りもいいです。

歌詞を変えればいいですね。

なんて。

赤でも白でも、泡がでていても比重が一週間位変わらなかったら終わったことにして亜硫酸を入れるのです。本当に終わったと言えるのか、自然派はそこで亜硫酸を打たないで満量にして蓋をします。そうすると還元臭がきます。

難しいところです。

終わった事にして対象化して売りに出すわけです。人間が成人するのと同じで便宜的なものかもしれない。どちらにしても瓶詰して酸素を遮断しなければ酸化して最終的には酢になるでしょ。生命を発酵に例える場合は冬里さんは発酵前か発酵中だけで終わったら死だと言ったのが引かかっています。泡が出なくなつて酸化しやすくなつて、でも人が飲むのはそこからでしょう。私は自分は発酵終わつてる気がしてるんですけど。発酵終わつたら下り坂。

生身としては下つて希望もないんだけど、社会的には役目を負つていて固まつてるのが今で、生きながら苦しいんだけどもしかしたら何か役にたつてるのかと思つて生きながらえている

イエスは酢アケートウムを水で割つたポスカという酸味のある弱いワインを死ぬ直前に飲みました。その前に差し出された胆汁入りのワインは添加物入りだからと飲みませんでした。ルツは夏場の労働の際パンを酢に浸して食べました。ヴェネガーもいいものです。

龜で炎天下で発酵させて作つたバニユルスの酢を貰いました。潔い人生という感じがします。母が丁度死ぬのではないかという不安に捉えられ死の事をツイツイ考えてしまします。

箱なしとかエリヤとか藁半紙みたいのにプリントして当日他人の折り込みのふりをして配るといいうのを考えました。がここ数日がヤマと言われたと先ほど連絡があり

イベント自体やめてもいいかも

あるいは誰かに完全に任せるかしないと

本当は自分の家で最期を迎えたいだろう

誰も自分が死ぬとは思っていない

死ぬのはいつも他人と思っている

万が一なくてもいいようにいろんな人に頼んでおくとよいでしょう

マヘル関係の動き方はこちらが責任をもって把握して伝えるので心配しないでください。あと気になるのは藍染めの服をどう着るかくらい

あまり必然性がなくなってきたのでちょっと困っていますが、なんとか切り口を見出します

着たり脱いだりはもうやらないです

ばくだけやるかな

ああ、それでも、いいです、照明の換え方をよく打ち合わせしてください。

照明は即興で参加してもらう形だと思います

いつもそういうふうになります

そのほうがやる気がでるでしょう

個々の発酵完了のタイミングが異なるわけですから全体の加減はその人の裁量です

付和雷同を避け

それぞれが自分の発酵完了を見つけなければならないようです

はい、農家の組合だった旭洋酒はみんな我慢していたところ、一人のひとがもうやめようと勇気をだして言ったらみんなさうだそうだといいことになり、解散することになりました。

その人のおかげで今があります。よかれわるかれ

sooner or later

発酵レジユメ途中

日本の土壌と水晶の色、ワインの色

昇仙峡で売られてる濃い紫の水晶は鉄分が多いブラジル産。

土産物屋の専務さん風は平日常一〇時から「瑪瑙は水晶のお母さん」とか産地と関係ないことだけまくし立てる。専務さん風の家は金峰山の水晶が枯渇して必然的に始まった明治末の輸入から原産地表示が過熱する今に至るまで、何回かの捻転を経て続いていた。時代の波に無意識に乗ってきた丘サーファーの屈託のなさ。モヤモヤもそこにある水晶の中に落とし込んできた。竹森山には巨大水晶が御神体の神社があるけど、盗難にあってもうないということが地元の人に聞いてもはつきりしない。実在するかはどうかどうでもいいような存在の仕方。ススキ状の内包物の入った白っぽい水晶がたくさん出ていた。マナー違反に心を痛めた山の持ち主が入山を規制し、今はその子供が遠方にいるという理由で完全に入れなくなっている。

ワインは人間筒を通るといふ理由で事情が違う。眺めるだけのものと飲食するもので、同じ自然に由来するものでも全然違う。五度に及ぶワインブームで輸入物を混ぜた者は糾弾されそうになったが企業努力という言葉で朽ちる寸前まで使ってしらっと捨てた。裏でせっせとブドウの樹を植えて営業担当は赤ワインの色が薄くなりカラスエンドウを筆ったような青い香の説明をどうしたのだろう。薄いのは太陽と水のせいでは白より紫の方が目を引くのと同じ理由で、赤ワインも濃い方が単純にいい。濃くて甘くないブドウはあっても、薄くて甘いブドウはない。単純に黒葡萄なのに赤いのは生育条件に問題がある。黒の次は赤、次ピンク、シロ、緑。黒↓赤↓ピンク↓白↓緑。石灰質の土壌から生まれるフランポワーズとカシスは始めて見た洋楽ジャケットの匂いに似て真似出来ない直感がエランヴィタルとなった。ボルドーに似せるのにバルクで最初は楽しかったね。場所の移動は物に尽きる。

田んぼの葡萄と白い水晶ニラにもんべ

南アルプスに一番近いのはヴォルヴィック

すずさんの飛ばされた腕の反対の

もやもやの酸性土に大雨、地震、噴火。

結晶化と労働の休止

初夏のブドウ棚明るすぎる海中。

巻きひげを切っていて人差し指を切った。

緑の海に赤潮が広がる。

風が不安をなぞらせる。

花は立ちあがり陽に向かって咲いている。

メアリヒトと平たい脳が叫んだ。

硫黄が光を呼ぶというから撒いたら目に來た。

光と熱を幸福裏に結ぶ時代は終わった。

光はあったが吸収されない。

過呼吸明けの熱帯夜の朝

樹もひのもとで眠い。

雷神は熱に強く溶けない蠟細工のように吹き荒れている。

花の光は残らない。熱に侵されて死際で一瞬一瞬を生きた。

花は硬い実に。最初の結晶。

今度はそれに向かって働く。

とにかくあるものをからかう。

街のホテルの隣の店で紫の水晶が薄目を開けて眠っている。

見えない黄色が目にとまった。

あれはあの時の硫黄。存在を拒むかのように、アメジストに溶け込んだ。

花の光は都会の店先の水晶に棄てられていた。

二〇一八・一〇・三〇 interview by Michel

・ What is your first childhood memory that made you listen to a sound like a musical experience?

- What did you listen as a child and later as a teenager in your family and high school? What place did music have in your life at that time?

- Was there a record or a concert that made you want to make music your turn? Have you studied music? How did you start? What music did you want to do?

My mother let me attend an organ class being held in an nursery school when I was 2years old and a half. So I could say that the first musical experience came from the sound from my instrument not from the music of others, I was often sleeping during the lesson, though.

"1969 Velvet Underground Live With Lou Reed LP" was the first music from others, not from my instruments.

My parents had got some LPs of classical music and single records. I do not remember but my mother says I had been singing the low chorus part of "You'll never know" of the Platters when I was a baby.

<https://youtu.be/59XyCSU2EWY>

My mother says that when I was 3 and was on the way back home with my parents after the concert of Mari Iwamoto's string quarter at a local hall, I suddenly picked up a small violin in a store and ran out from there with it. So my parents could not avoid buying it. The cost was comparable to their monthly income.

My parents had no TV at home but I was listening the radio drannas and the theme were these;

<https://youtu.be/63ABhXW2fZs>

When I was 6, I got the upright piano by my grandfather's retirement allowance. I was playing the piano every day from the start and gradually moving to improvisation.

I remember I danced the "monkee dance" of the monkeys when the neighboufood were gathering for anual meeting in January.

<https://youtu.be/1L0acXoBrk?t=18m11s>

My mother started playing the folk guitar like "dona dona" and I learned the simple chords from her when I was 8.

After TV came to my house, I was listening to these programs;

<https://youtu.be/oHPN4QuGc-U>

<https://youtu.be/2ojBVfGj1K8>

<https://youtu.be/FTI3eO735MQ>

<https://youtu.be/EqRxsZHfmXw>

<https://youtu.be/F8YfES4Rjd8>

https://youtu.be/aFB1v13G1_Y

<https://youtu.be/6xpGGEQW50II>

<https://youtu.be/0hnGPCme0wk>

I remember the movie theatre in my town used to play Claude Ciarri's "la playa" loudly every 6 o'clock in the evening.

https://youtu.be/Nq_KVTomIEk

I hated popular music program on TV. I hated both of almost of all Enka and Western songs sung by Japanese divas.

My teacher called me "the beatles" when I was 9 because my hair was longer than others. By that time, I had finished collecting all the beatles songs on cassettes through the radio.

When I was 12, I start buying LPs of female pop singer's, like Yumi Arai, Hako Yamazaki, Mayumi Itsuwa. Minako Yoshida. Also I was listening to T-Rex, Roxy Music, through TV and radio program.

- What are your first musical projects? With which musicians? Around which ideas do you started your first bands?

When I was 12, I started playing the piano in a jazz band at a club in Matsuyama city, but the songs played there were not my songs. Then I was ordered to offer a commercial song for a kimono company's spot sale event at the agricultural cooperative association hall in my town. The jazz band which I was involved at that time, played the song I composed. Although the moderator from the kimono company sang this song and oblige audience to follow after him, the audience were shy enough and their mouths were never opened. Later, the same melody was used on MSHB song named "this side of paradise".

https://youtu.be/_hQXzITgVTM?t=795

At about the same season, I composed a song called "plum blossoms are almost finishing, while cherry is not yet", which lyric was based on traditional "hauta".

<https://youtu.be/C7AvIJ9gQRY>

I played this song with my class mates as entertainment around the campfire. These were the first times that I organised others to play my own music.

• Syd Barrett, the Shaggs, Roland Kirk, there is a community with your music. Psychedelism and free music, folk and improvisation. It could do a mapping of your music. What did you get from all these groups?

Following Lakan's steps, Sid Barrett has only "le Réel". The Shaggs does not have "le symbolique". Roland Kirk had "le symbolique", "l'imaginaire", and "le réel". What was common to these three was that their rhythms were in "le réel".

ラカン風に言えば、シド・バレットには現実界しかない。シャグスには象徴界がない。ローランド・カークには想像界と象徴界と現実界がある。三者に共通しているのはリズムがリアルだということだ。

• In an interview you said you like the music of non-musicians. What do you mean negative about the musicians' music? Your music is often associated with amateurism. I have a memory of a concert by Maher Shalal Hash Baz during which you stopped the musicians after a few seconds and offered them other scores in full progress of the concert. Which is unthinkable in a concert in the West. One would hesitate between seeing provocation, casualness, or amateurism. Especially since the

melodies that were just beginning to take shape were beautiful and you cut them sharp. Do you have a critical look with the idea of perfection, accomplishment, finitude? How do you think the concert as a concept?

I am not negative about the music of musicians. However, I think that in music there are only enemy music and ally music. Especially singing is very special, only to find an ally inside the enemy and to find an enemy inside the ally to sing. Even among non-musicians I often see an enemy, just as I see an ally among musicians. Takehisa Kosugi expressed the problematic of enemies and allies as the battle of Indian music and tango. It meant the battle of the horizontal and vertical on the time axis. I have made stage as collaboration of music and theater with several playwrights such as Jacob Wren. As John Cage says, music is only part of theater.

Nevertheless, on such occasions I was trying to rescue music as music. Even though by letting music a suicide bomber, I will bring the stage to a certain level.

Everything is for music and the form of a concert exists solely for making the ally's music sonorous in the enemy's position. Music is a personal incident and inspiration. It is the mission of a musician to convey it. If it seemed to interrupt the song, it was because it was the life of the song. Each song has the number of repeats depending on the song. It is determined by the relationship between the world and the melody. If it exceeds a specified number of times, it would become enemy's music even if it's my own song. Short songs are usually sufficient once, but there is a song that would be necessary to repeat forever. Such nuance may not be conveyed to the band members, it is hard to say. In that way I always want perfection and I want to play without mistakes.

音楽家の音楽に対して否定的なわけではありません。ただ音楽には敵の音楽と味方の音楽しかないと思っています。特に、歌うということはとても特殊なことで、そのためには敵の中に味方を見、味方の中に敵を見るような方法でやるしかない。非音楽家の中にもわたしはしばしば敵を見ます。音楽家の中にも味方を見るのと同じように。敵と味方という問題を、小杉武久はインド音楽とタンゴの戦い、と表現した。それは時間軸における水平と垂直の戦いと言える。私はジェイコブ・ウレンをはじめとする何人かの劇作家と音楽と演劇のコラボレーションとしてのステージを作ったことがあります。音楽はジョン・ケージが言うように、演劇の一部でしかありません。それでも、そうした機会に私心がけるのは、音楽を音楽として救い出すことでした。音楽を自爆させてでも、ステージにある水準に持つていく気構えが私にはあります。すべては音楽のためにあり、コンサートという形式は敵の陣地のただなかに味方の音楽を鳴らすただけに存在します。音楽とは個人的な事件であり、インスピレーションです。それを伝達するのが音楽家の使命です。曲を中断させたように見えたのは、それがその曲の寿命だったからだと思う。それぞれの曲にはその曲に応じたりピートの回数がある。それは世と自分の関係で定められる。定められた回数を超えると自分の曲であってもそれは敵の音楽になってしまう。短い曲は大抵一回で十分だ

が、永遠に繰り返すことが必要な場合もある。そうしたニュアンスは人には伝わらないかもしれない、曰く言い難い。そういう風にして私は常に完全さを求めているし間違えずに演奏したいと思っている。

- In a text introducing you you were described as a deliberately dilettante musician, a jazz pianist who had become a revolutionary, an apostate who had discovered a religion. Do you find yourself in this description?

Cliché, deliberately incorporating the secular modalities ruled by Satan was the only way to break Adorno's criticism of jazz.

Revolution had once seemed to be the only way human beings abolish the nations by human hands. It is evident by the war between Christian countries that Christendom is in apostasy as Christianity.

- What is it for you to be a musician? What does it entail? What are you looking for in the musical act?

I grew up playing Mozart, Beethoven, Debussy.

I listen to such classical pieces that flow from the radio and convert to hourly wages.

How many hours did the player practice until he became able to play this piece without mistake?

Is the income of this person worth it?

Many potential musicians can not buy musical instruments, and even if they manage to get them, there would be no time to spend training instruments in their life as slaves under this ultra-financial capitalism.

Despite that, I'm getting melodic subjects.

There is a scene where the protagonist suddenly comes up with a melody in the beginning part of "Nord" of Louis Ferdinand Celine.

He soaks in his melody within the brain for a while.

There are only two kinds in humans.

People who come up with such melodies and people who do not.

Those who do not have such inspiration are often financially comfortable enough to purchase musical instruments and have time for practice.

For those people, Yamaha will kindly develop keyboards that accompany with the function of automatically attached codes.

Such an aggregate constitutes the enemy's music.

Because I am punk, I play only the music of the core of inspiration that I do not have to practice, in a way that I can say "Is it something like this?" against the disparity society.

僕はモータールートやベートーベン、ドビュッシーを弾いて育った。ラジオから流れるそうしたクラシックの曲を聴いて私はつい時給換算してしまう。この人はこの曲を間違えずに弾けるまで何時間練習したのだろうか。この人の収入はそれに見合ったものだろうか。多くの潜在的音楽家は楽器を買うことが出来ず、買ったとしても、この超金融資本主義下の奴隷としての生活の中で、楽器の修練に充てる時間がない。それでも楽想は湧いてきてしまう。ルイ・フェルディナン・セリヌの「北」の始まるの部分に、主人公が突如メロディーを思いつく場面がある。彼はしばし脳内のその楽想に浸る。人間には二種類しかない。そうした楽想を思いつく人と、そうではない人だ。そうしたインスピレーションのない人に限って経済的な余裕があり、楽器を購入し、練習の時間を持てる場合が多い。そういう人たちのためにヤマハは親切にコードで伴奏をつけてくれるキーボードを開発する。そうした総体が敵の音楽を構成する。

僕はパンクなので、練習しなくてもよいインスピレーションの核だけの音楽を演奏する。超金融資本主義の格差社会に対して、「それはこういうことか」と言ってみせるような仕方だ。

- What was the atmosphere at the Minor Club in Tokyo at the time? What was going on there? What did you do on your side as a musician?

Free Jazz died at Minor. It gave way to free music. The session at Minor was like familiar ugly riding on Hawkwind. I was criticized as trying to play music.

- At the end of '70 you form the Noise duo with your wife, who seems like a Japanese response to no-wave. What influenced you in this project? What were the ideas?

Our main concern was how to do with organ and vocal without imitating Suicide.

- You have put together several projects from cover bands like Tokyo Suicide or alluding to free-music like Machinegun Tango. How do you discover Suicide? How do you feel about having the need later to resume the particularly dark songs of this band? Their universe seems very far from your universe, the lightness of your orchestrations, if we can hear some punk amateurism it seems at least for the Western ear rather bright or peaceful.

One day in 1978? when I was hanging around with Keiji Haino in Kichijoji, I found Suicide's single at a record shop. Its B side was "Land of a Thousand Dances". We did not know such single had been released. Haino envied me so much.

It was obvious that Alan's roots were in the 50's. I met him in New York in 1980, then wrote a song called "To Alan".

・ Free-jazz, free-music. How do you discover these musics and what feelings does this cause in you? You frequent jazz-kissa? Could you mention your meeting with Kaoru Abe's music and the Japanese free scene? Did you attend Derek Bailey's tour in Japan?

I spent my high school days in Jazz-kissa. There were eight such cafes in Matsuyama city. One of them was for only European free jazz. Many followers of Kaoru Abe were there. Most of them were depressed, and gone then. I remember I went to see Derek Bailey by car when he came to Kochi that was next to my prefecture. It was 2 hours drive going over a mountain.

パーキンソンが進んだ死ぬ一年前の菅ちゃんは何事もなかったふうを装ってポケットに手を突っ込みをスーパー片山の駐車場に降り立ちコナッツサブレとキャラメルコーンを買いいに入ろうとするが一步も進めずなお悪いことに尿意も催しその場でチャックを開けるのを二人の女子中学生が見て笑い転げる

ライブ二つも入れたらそりや腰砕けになるよ

認知のくせにゼロから組み立てるからパンクになるんだと気付いた

元ビルダーの男は足がゾウになってもいつものようにハニー、ベーコンとソーセージで朝食を作ってくれと
言う

何事もなかったように

しかし食べられない

オールデイブレイクファストがパンクを生きている

義理の姪はイチヂクを皮ごとお尻から食べる

今日からイチヂクは「いちちくん」と呼ぶことにする

次のマヘルのライブは

十一月一六日 渋谷Tuffloofでジョン・チャントラーと

彼とは一八年前に愛媛で知り合いその後彼はcafeOTOに

個展開催中の近江八幡酒遊館で十一月一七日ソロの後一八日最終日同じ場所て近江マヘル

十一月二五日 松山owl へ“Maher goes to Canterbury”

ヘンリー・カウの人らが来るので。

吉田類が一人で飲んですますよと篠崎兄が言う。酒場放浪記の。店の中の、帽子被った。でもいつの間にか周りの人たちが話しかけている。

「ミンマ（巳午）」とは、十二月の巳の日に、その年に亡くなった人のための正月を祝う行事で、愛媛周辺でしか見ることのできないものである。中・南予では「ミンマ」、東予では「タツミ」と呼んでいる。これらは、行事が行われるのが巳と午、辰と巳の日であることに起因するものである。

また、越智郡では「ミシヨウガツ」といい、この行事が巳の日を中心に行われていることが理解できる。ま

た、上浮穴郡や周桑郡では「カンニチ」ともいい、これは陰陽道という凶日である「坎日」からきているものである。十二月巳の日は坎日とされており、ミンマが陰陽道の知識から発生したと推測できる。

門松ではなく、柿の木枝を用いること、注連縄は逆のない方であること、餅は塩あんの餅であること、餅は順手ではなく、肩越しに渡さなければいけないなど奇妙な作法がある。これは、正月の類似儀礼ではあるものの、あえて逆のことをして、死者のための儀礼であることをあらわしているのであろう。

汎瀬戸内ミュージانズギルドという催しを何回もやったことがあるが忘れ去られようとしていた時に室野井洋子の遺稿集の巻末の年譜にそれに参加したと載せられてあつて活字で生き残ったかとひと安堵

汎瀬戸内という言葉自体はAUが使つて更に以前に美術で何かやつており

汎をパンと読ませる音韻は進駐軍の娼館だった谷保の国立会館の、即興演奏のためのフリーペーパー右上隅の題字から視覚的に鳴っていたし

でもあいつは消えたなあ

それは牛窓などという地があるせいもあり瀬戸内を地中海に見立てた遊びだったが

いま海は汚れて瀬戸内オーシャンは終わり、震災数年後のドイツのシュミレーション通り、拡散の右回りは直径三〇メートルの鮪養殖プールから瀬戸内池へ、瀬戸内池から太平洋へと洗濯機めいた心の渦を拡げ

鯛や鰯や鰯っ子や鰺や鯖や

鮪の真似して回遊し平成太平

洋を遊業する学際の一とりで歩く

さかなたちを連れてひとりで歩く

まずは対岸

ポートランド

これは北日本と植生が似る

大陸移動説の証明のように

仙台辺りと引き剥がされている

と思えば千島カムチャツカ経由でDNAは

こちらが先住の紐の端を握る

そうこうするうちにインディアンは南回帰線へ

カプリコーン

スゴーンというエビのバットライスみたいなのをオープン一割引のファミマで

バットじゃなくボンライスと昔は呼んでいたボンジュースみたいに

きっと愛媛だけだ

手綱を握ったつもりで南を無視するのは下半身裸みたいなものだ

カモノハシを見よ

バベルだ

東ティモールのコーヒーでも飲みなさい

そこからなんかのコレクティブ

もしもしの居るベトナム

入り江のように

ポリネシアンとタヒチアン

漕ぐ式のボートで井の頭を巡る

見上げる

見上げた

あー

パシフィック・リムはだから軍事利用される

学際的であるということはそういうことだ

まずボーダーがある

三八度線

海峡

学生ビザ奴隷

チェホフのサハリン島はゴールデンカムイの作者も読まざるを得ないだろう

デカブリストがグラスゴーにいたのだろうか

明かしえぬ共同体

農村工作隊

ミンマ（巳午）を知らない俺を疎外

隣組は法令ではない

三・一一までは機能したらしいが

溜池は決壊

メコン川氾濫

氾

叛半チャーハン

渋柿剥いて吊るしたら疲れた

家から随分離れたところでライちゃんに遭遇

イサム・ノグチの淑子という作品が気に入っている

棒を五、六本組み合わせただけなんだけど

ネットには写真ないな

魯山人のところで作ったんじゃないかな

別れた後の作品なら見つかったが「死すべき運命」という題になっていた

今日からスピリリナはスピ瑠璃奈ちゃんと呼ぶことにする

今日からアボカドはカドアボと呼ぶことにする

今日からミルクティーはティーミルクと呼ぶことにする

今日からにゃんつーはツニヤーンと呼ぶことにする

今日からツニヤーンはつーにゃんと呼ばれることになる

一瞬の鳥の脇腹白黄緑灰黒

普通鬱は自力では治せないので表現されたものの中に他者が見える

ヤンマガのギャルと恐竜泣ける

二ページ目の留守番してるところが

今日からつーにゃんはつにゃんと呼ぶことにする

今日からつにゃんはつにゃら と呼ぶことにする

今日からつにゃらはつんにゃら と呼ぶことにする

今日からつんにゃらはツニーヤ と呼ぶことにする

今日からツニーヤは ツニヤラチ と呼ぶことにする

今日からツニヤラチは ツンニヤラツチ と呼ぶことにする

今日からツンニヤラツチは ツラニヤーチ と呼ぶことにした

今日からツラニヤーチは ツンニヤラチツチ と呼ぶことにする

今日からツンニヤラチツチは ツニヤラーチ と呼ぶことにする

今日からツニヤラーチ は ツニヤラチ と呼ばれる

今日からツニヤラチは ツニヤラチラチツチ と呼ぶことにする

今日からツニヤラチラチツチはやはりツニヤツチ と呼ぶことにする

今日からしかしツニヤツチはツニヤランチ と呼ばれることになる

今日からツニヤランチはそれでもつーにゃら と呼ぶことにする

今日からつーにゃらは つにゃー にする

今日からつにゃーはやはりにゃんつーと呼ぶことにする

やっぱりツニヤラーンにする

いやツンニヤラにする

いや。ツツンニヤにする

いやつつにやくにする

ツンにゃんにする

にやつーん

ニヤーンツ

にやつつん

つにゃ

にやつ

にやつつ

やにっん

やつに

にっや

やることが山ほどあるのに夕方からずっとstreet viewでサハリンを見ていた

チェホフが病を押してそれまでの自分を全て否定するようなオブセッションとしての旅に駆られた主情は同
時代の子規の大陸行きと似ている

サハリンで人口調査に徹したのは文学者としては春樹のサリン聴き取りの仕事に近い

当然ながらギリヤークなどの先住民に対する眼差しは不十分ではあるが

興味あるのは東ティモールとサハリンだけだ

パシフィック・リムを考えるとときにスパイシーなアジアは捨象している

コレクティブにとって重要なのは軍事経済の歪みだけだからだ

shags化は台湾の高層建築に一瞬及んだがそれは西には抜けなかった

どこに抜けたか

食べて応援マグロの回遊である

東ティモール、長崎、樺太でカトリックと正教のラインが引かれ、モンゴロイド新大陸移動以降のボーダーが可視化されてゆく

それこそがトランプ的新秩序なのだ

石油など二の次だ

ましてや国境など

欧はひとまとめに没落する

ハワイが臍となる

皆、冬の星座を見上げるであろう

explore how notions of community and identity shape, and are shaped by, different sociopolitical contexts (local,

national, and international) on the Pacific Rim.

Be drawn to the PR as a construct that's both an actual geological thing and a human conceit, as well as the inherent and/or metaphorical instability of places that rest on fault lines and boundaries.

How cultures and communities are frustrated and fractured by (and sometimes reassemble around) borders both rigid and porous.

虚心坦懐にずり直せばいくつかの綱目

ルーの最初の大坂公演にクラスから病欠と嘘ついてフェリーで行った奴がいて、

ルーは殆ど唄わずつとゆらゆら踊ってましたって誇張して僕に伝えたあれは七五年

パンクは手の技をブラッシュアップしたり機材を揃えたりしないで常にリアリティと生活費の問題に向き合う。だからこそ頭の中だけはやられてはいけないう。

デッサンの修練だけでも必要だけれども、それは時間と金を石膏には使えないから瞬間瞬間に眼でやるのだ

一秒たりとも時間がないのだ。労働者は生まれた時から親の労働の時短のためにオムツを履かせられ、大人になってもトイレ休憩の時短のためにオムツを履かせられ、老いると介護労働者の時短のためにそのままオムツを履かせられる。それで六本木に会員制オムツクラブがあるのだ。

一・さらば愛しき大地

鍋でインスタントコーヒーに牛乳と砂糖を入れ、水筒に詰めているのに刺されるところ

二・埋もれ木

台湾のランタンフェスを想い出させるところ

三・この空の花

ですます調

ギギが四谷の喫茶店で学生相手にホワイトヘッドを講釈している。僕はツバメかヒモのようにただ横に座っている。「ある」から「なる」への移行なら *exist* まで確定されているのに、と言いたくて堪らなくなる。

クローンの子供たちは、そのカップルが本当に愛し合っていれば臓器提供の期日を少し猶予されるという噂を耳にするがそれは嘘だと知らされ、離れ離れになって死んでゆく、まるでわたしたちのように。

コーちゃんはこの時

ビールでも飲むきやあ

と言うのだった

代行の二台目が交差点で潰れててこりゃ大変だなあと

貝殻ジャズのロダンは閉まっていたが二階から低い音でビッグバンドの音が流れ降りている

ただ唾を吐いた方に進むだけだ

きっと絶対に会うことはない

電車は熏んだ黄色に塗られている

あうんという店のママにこれは私見ではない亀齡の宝亀と八拾が良いと言われ一升瓶を買って重さを減らすためにラッパ飲みしながら歩いている

西条には赤バスと青バスがある。どうせなら車体をそう塗れば良いのに。

あらゆる車体を引き連れてびよびよと鳴く進む泣く重くてヒモがアムステルダム

祈りを消し忘れてトラ柄の臉裏

さみしい田舎なこと

ジベタブル

ジベタリアン

Because the Night

この片交はまだ二週間くらいかかりそうだからしばらくは安泰だが、その先は。ホツカイロ代をチマチマ計

算しながら、時間が滝壺に落ちていくのが見えた。

イラン人の家に下宿していた時、長細い米にオリブオイルを入れて炊くザクロの炊き込み飯を教わった。
種をどう吐いたか覚えていない。

皇帝ダリアも皇帝ダリア栽培係も

中野美代子なら表題作を読んで何を吐くかな

もう情況はサドを超えてるから屎リアリズムを通した西洋批判なんてやってる場合じゃないんだ

市川マサ先生の連載がまた終わってしまった。僕は生きる力をどこから

風邪を引かないようにするだけで精一杯だ

炙った干し柿の芯がまだ冷たい

隙間産業的というのはロック喫茶のフランプトン・カムズ・アライヴのようなものだ。

セメン七、八袋積んだ四駆の軽トラはホームセンター出口から追い越し車線に出て行けり

明日は三曲、あとは寒さだ、寒さがいちばん怖い。明後日は服を売る。明々後日は、マヘルかな。

今、ブームタウンラッツぐらいどうでもいい気分

牡蠣フライと餅入りカレーラーメンの麺だけ残った

炙った干し柿の種がまだ冷たい

腹のなか小麦がトグロを巻いている

連峰や手入れのされた花畠

平安ボ一カロイド

デスメタエクスペリメンタル

男子アジアンミーティング

バビロンアイシャドウ

石山から笠取を抜けて石田に出た

ほんの地蔵は六地藏

と梶山俊夫が描いたのはここなのだろうか

京都は白茶けたスラムである

想い出を作りたくなくてエル・スール

コイチは高くてだめだなあと心の中で思った、と思ったらコイチは高くてだめだなあと口にしていた、でもコイチは高くてだめだなあと口にはいけなかったのではないか、と心の中では思っていた。

きっぱりと追い越せないまま車線規制が続くので下道に降りてしまった

チェーン店の既視感の中夜の街道はただ明かるければ良かった

脳と同じでバイパスの方が栄えるのだ

次の楽想に移る時フレイは待ちきれないかのように楽典を端折る

無学の重ね塗りの、移民の星のように

それはプログレの繋ぎ方ではない

重ね方を聞き取れば王道ステイディアムでも本当はない

芸能の組としての集まり方もあるのだろうしあのオクスフォードカルテットよりフォールにより近い

東大高松店であるのか

徳島と仲いいんだ

二級河川と言われて弘田川

最初のメヌエットは餡色のて牛

主題に戻った時はカストラートは必ず過剰なまでに装飾的に変奏すること

一両編成が猛スピードでウルトラ〇みたい

疑惑は夜の製紙工場の煙のように照らされている

ところどころにまだコンビニが寄ってもさみしいだけなのに

命短し恋せよ乙女

うたに他腹を切らせる

朝~~き~~死にたいで検索していると、Twitter社からあなたは一人ではありませんという見舞のメールが来た。

さらけ出すのは狡さの一形態でありさらけ出せないことこそが強さであるなどと久保田健司風の逆説を呟いてみる

フォーク野郎とヘビメタ野郎しかない

円山町

次のマヘルは二五日だけ若い人たちはカンタベリーを知らないみたいで誘ってみたが誰も来ない。ヘンリーカウは少なくともヘビメタ野郎じゃなかったから今のエレクトロニカ世代とはフェスとかでは断絶があるのだろう。クールな音があるふりをして生きてくなくてきやしないし、ないふりもしたくないし

憤懣やるかたなし

ムンク展？漫画ゴラクでも見てなはれ

泣ける絵本

ガストも🍷九九円と知った後頭の中でプレゼンごっこしている

微音生ではなくベロンセにしてのらまるあたりでやるのはどうか

ベネズエラはかつては普通の国でした

ゴーンてあの顔が演技だったらビンみたいだね

NYで孫文の孫とクラスメイトだったのを思い出した

中村雅俊みたいな顔だった

keep contactと盛んに言っていたが

keep contactしてたら今頃中国で日本語教師とかしてたかも

としばし夢想到に耽った

今からライブ

ヘンリーカウの二人が松山にいたとか奇跡だな

と思う

ドサ回りにしても

奴らはよぼよぼでずっと音楽について話していた

重いスーツケースをセメント袋を運ぶ要領で背負ってやった

これで会うのは最後だと分かっていた

握手して別れた

みな次々に執拗に付き纏われ刺されて死んでいった

面倒臭がつて警察を呼ばないからだ

柔らかい部分があるのはいいがぼよよにした鳥を食べる人たちだから鳥だと思って刺されるのだ

曇り空ただ銀杏だけが明かるい

ライブニッツ・コンピューターはきっと結晶化でも神の存在でもなんでも説明してくれる。入力する人の器量に応じて、ではなく、誰にでも。

今年 高千穂行った。住宅たちは縛られていた。音も踊りも違和感あった。

ばっしょん

LINEのクーボン枝松の松屋でハンバーガーカレー今から夕飯ピダハンみたい

寒いと思ったら窓が開いてた

「寒いと思ったら窓が開いてた」

アラレを食べきってしまったら裸にならないといけないのは何故か

ウエルベックのラヴクラフト図書館車に来た

ジョンケージはバスの運転手の仕事でストレスはなかったのだろうか

What do I get

明日はワニサイですがバズコックスやるのでみんな来てね

陶芸展二二・二九

ヒトトロジ

砥部か砥部じゃないか

干し柿の唄

@shinjukuramado ああ。ほんとうのラーメン屋だ。

@shinjukuramado 料理は素材に対してコマンドを入力していくプログラミングに似ている。プログラマーに求められるのは数学というより国語力であり、宇宙を煮詰めるバランス意識が求められるが、その延長線上には風嵐を鎮め水の上を歩くことまでもが含まれる。

片岡さんがセッティング聞いてくるなんて逆に不安

ライブハウスみたい

13th moon みた

ヨーロッパ哀歌はわかるがスーサイドはとてつもなく早かったのではないか

八〇年代にヴェンダースやジャームッシュに移行した世代は恥じるべきだ

第三世代は若松より救いが無い

C - FG Am - FGE

Now only sorrow, no tomorrow, there's no today for us,

F Dm E

nothing is there for us to share, but yesterday.

エクスペリ

メンタルヘルス

エンジェルズ

朝粉碎機でティーマサラを調合したアニス肉桂クローブカルダモン 辺野古で13th moonの屠殺のイメージが湧いた結婚記念日だったもんでottoでキツシュを食べていたら梅の枝を貰った硬いから菜箸を作ろうと思うと店主が言うので僕は篋でも作るかと思った一日中雨が降っていて安倍晋三は乾かなかった

奴隷には好きなだけ食わせてやれと揚げニンニクは卓に置かれり

肉ダブルそれと餃子と言い捨てて隣の男はトイレに立ちぬ

残業の男はニンニク与えられふとエジプトが恋しくなりぬ

PleromaとCreaturaという命題群とsignifif/significantの問題系との違いを認識しようとするエピステモロジー的インターフェイスは、もともとひとつだった肉まんを手でちぎって半分に分けるか中身と皮に分けるかの違いの活性化でしかないようなところで今年のブラックナードフェスは

付き合っているのは鉄であつた

一一八〇度下の鉄の振る舞いによって

安倍晋三のボディが決まる

宇宙は鉄になろうとする

人間も鉄になる

政治の季節も

愛も

歌ガキと聞こへて男女ら筑波山有事の祭は絶えて無からむ

骨はバラけて朝組み直す

蝶番の扁桃錆びてる

このマザーで酵母は閉経が生理になったり腹が爆発したりすごい

コロニーは水とリングで自分でも作れるらしい

イタリアでは子が母を産むらしい

そいやって冒頭は東がするけど一世風靡してセピア

二〇一八・一二・二三 "slide show" のためのテキスト

SLIDE SHOW

でもオレは、深夜の街道沿いのチェーン店に、オレみたいなのが何人いるか、って考えるんだよね
日本のすべての深夜の街道はもう一緒だから、きっとオレみたいなのも一緒だと思うんだよね

二

（義兄に）

the sliders unionだね

滑り台友達の時代から

狡猾な手の動きによつて波を切る

波乗りやめて囲炉裏を切る

暖炉が無いから煙は昇らず

燻されてしまう青魚の銀

三

狭い箱に住んでいるように見せかけながら

全員知らないフォロワーばかり

違う世界ってそんなに薄いのか？

平面から抜け出した感

というより

飛び出すえほんだ

オレのしごとはえほんだだけのあほんだらだから

本棚から人差し指でかたむける

選別に伴うミクロのほこり

まだ生きているきみ

四

SLIDESHOW

友だちはSFめこし

いきなり全部いなくなるためにだけ存在する

あやつり人形 We'll Am Drah! もやい きんは少子化で

それでswが手をひらひらさせているのがフロアで目立つようになったのか

目に入るものをすべて口述せよと言われて答えられなかったわたしたちは

挟った紙ナプキンの踊り子をテーブルに立たせて

葬儀屋のためのSLIDE SHOWを作るのだ

今年は何をしたかというと

一月にwwwで昔の曲ばかりやりました。

花づへし ,joab ,peter says ,that's all I would get,the wings of the dawn,地震 , waiting 二〇〇一 ,the seven seals ,休日出勤 ,spots and blemishes ,epignosis ,
などです。

心残りにはthe seven seals七つの封印 という曲をやれなかったことで、これはステージでちゃんとやったことがありません。チェロとピアノがメインです。もしやれたらいつかやりたいです。

二月にsoupでインキヤパと一緒にだった時に、伝言ゲームみたいなやつをやりました。

美川君も面白かった、と言っていました。

三月はヨーロッパでクープランをやりました。

ケルンではresurrectionを久しぶりにやりました。

パリでは、揺れもどしに、とか空港に送る、とかルート五、とか

ブリュッセルでは僕が弾いたのを聞きとる、というのを録音しました。

五月のwloclubとかアートで田んぼとかでは王道ロックっぽい普通のをやりました。

ホタル、とか本当は朝なのに。、とか。

七月は水上音楽堂でした。タランタランといって踊るやつを最後にやりました。

八月は結婚式でジョン・デンバーとかハワイアン・ウェディング・ソングをやりました。

fallでは祇園のジュヌスにヒントを得た朗読をしました。

一〇月は発酵でした

近江八幡ではファッションショーだとかスマホの録音物を再現するというのをやりました。

十一月は7th floorでブルースを二曲とleft alive yet-というのをやりましたが、やらなかった曲も多かったです。

一二月は松山と尾道でバズボックスをやりました。

今回は振り返って上記のものから選ぶ感じです。

あとslide showはやります。成功したことがないのでなんとか間違わずに終わらせたいです。

the spider and the fly

これに音楽をつけますので観てみてください

2018.12 JE EST UN AUTRE

In the late 1970s, the café minor in Kichijoji, Tokyo, was my Cabaret Voltaire. Cabaret Voltaire did not last half a year, but minor was open for several.

No Lenin visited as they did the Cabaret, but a visionary rock critic in my mind divided music into “our side” and “the other side,” then named the struggle between the two the History of Rock.

Takehisa Kosugi described the same problematique — the struggle between Tango and Indian music — as the battle between the vertical and the horizontal.

The underground in the Far East might have been a frontier based on too much deep reading of limited information available only from foreign books or misreading in the acceptance of imported sound sources.

The History of Rock, in other words, might have only pointed to a dogmatic and domestic archive of a series of vinyl records shared by mid-heaven mail-order that flew over the Pacific Ocean.

Capitalism in the Far East has thus reached the stage of accepting The Shaggs.

In free music, it was very difficult to sing songs as songs, and there was no other way than to see an ally in an enemy and an enemy in an ally.

The autumn of politics also began in music in order to sublimate the division between the back song and belly song within the Korean Peninsula. The spine trembles when you are moved by songs related to a gathering of people, such as the International, Warszawianka, songs honoring Nazis, national anthems, etc. On the contrary, when reading something like Antonin Artaud, the shivering impression comes to the belly.

We used to call ourselves “everyone,” like young Decembrists in Vladivostok.

“Everyone” dispersed afterward.

In the late 1980s, Maher Shalal Hash Baz was recording an album, *Return Visit To Rock Mass*, under the premonition of the collapse of the financial capitalist economy, which was called “the bubble,” the setback of the movement of East Asia Anti-Japan Armed Front, and the apocalyptic expectation that the borders would disappear at the end of the Great Tribulation. Many of “everyone” died. The enemies and allies in music vanished like mist. The underground also disappeared in the '90s.

Maher Shalal Hash Baz was born in 1984.

Considering how people have been gathering in Maher since the beginning of this century, the first thing that can be said is that Maher does not rely on my neighborhood association composed of local paddy field farmers, which has been continuing since the Muromachi era (c. thirteenth to fifteenth century). Though I know such autonomous organizations will survive even when Japan itself disappears, I keep a certain distance from their ritual of Shinto. Therefore, as a resident, Maher is not trying so hard to boost the momentum of “permaculture” activities like painting the intersection in Portland town.

Because I place the Christian community in which my family is involved higher than the nation, I am living like an alien resident here, though Maher is not composed of the members from that community either.

I also keep a certain distance from the craftsmen of the same profession and their ceramic union. My father taught them his brushwork, which is applied to porcelain bodies, and helped the ceramic industry of my town develop. If I were in the same boat, I could have been satisfied merely by playing blues du jour with potters at the

weekend bar. But such a bar does not exist in my town. Michael Cardew was a collaborator of Bernard Leach and the founder of the studio pottery movement in the UK. When I visited his Wincombe Pottery, I unexpectedly came to know that Cornelius Cardew was one of his sons, and felt like I understood why I had been doing music.

The way in which a craft designer obliges other workers to imitate his design is similar to the way in which a composer forces the musical score on the performers. Everything has been done in order to avoid such vertical structures in Maher. Moreover, it has to be done without killing the music itself. As in the case of Red Krayola's *The Familiar Ugly*, a group of fifty anonymous followers who appear on their recordings, the organization theory from my father is based on the notion that "people-gatherings are good." To succeed myself, I had to be armed with formats that accompanied endurance and ease, rather than those that required difficult finger skills in any place I was thrown in. To create simple but living lines, one has to consider the whole atmosphere. Maher is not a band that divides the payment equally, nor is it a workshop that shares the cost of the venue. Voluntary participants come and go each time, which is due not only to the economic impact of financial disparities in Japanese society, but also to the accompanying strategy of asking, "In a society of ultra-capitalism, if we are going to do music as music, we can do it only in this way; what do you think about that?"

Maher used to find some local traditional songs then try to throw those at Ainu and Okinawans. It was not on the same path as movements of De-Western or Asian-Meetings such as "Occupy" or "Collective." I do not consider a local culture dissemination from my town as a design for a movement like Glasgow's. I am not trying to make No New York in my town. I am not feeling nostalgic about the compilation album from cities like Sheffield or Akron during the punk era.

There was a graffiti written as JE EST UN AUTRE on the wall outside the Venue in Brussels. I initially thought that it was the curse of a refugee who started learning a new language. But my friend Zach Phillips told me that it was from Illuminations. I took a picture there. I have been writing so far of the ways that Maher was "not" blah-blah-blah; now I remember that graffiti.

Even if Maher has always been "an other," I realize that the musical family of Geographic and K certainly worked in cities like Lille, Melbourne, and Montreal, where I felt Chris Cohen's presence always.

Since the beginning of this century, dragging the dualistic remnants of enemy/ally through music by applying its own yardstick, Maher has been trying to identify various towns, such as Bristol, Liège, Paris, Nijmegen, Göteborg, San Sebastián, Marfa, Detroit, the Lower East Side in Manhattan, Bamei in North London, Yangon, San Francisco, or the cities on the I-5 from LA to Seattle.

In Glasgow — based on the fact that the Scottish folk songs that were introduced to the Japanese school songs of the Meiji era (ca. eighteenth century) already seemed to form the lower layer of the consciousness of Japanese people — Maher played songs with familiar and naive melodies. In the cities of Flanders and Porto, I chose and played Late Renaissance pieces which were the first Western music the Japanese accepted. At that time, Maher was like l'autre cap cities that were barely breathing by breathing only their heritage that they plundered during the age of great voyages. It resembled the forgotten courtesan who took a harp, did her best at playing on the strings, and made her songs many in order to be destroyed. +

In the Northwestern US, Maher was distracted by the close resemblance of the vegetation there to that of Northern Japan, and thought of the theory of continental drift. Maher at that time was like a warship over the Pacific Ocean. The fuel was the debris of the earthquake disaster. The Pacific Rim is connected by radioactivity.

*Isaiah 23: 16

Take an harp, go about the city, thou harlot that hast been forgotten: make sweet melody, sing many songs, that thou mayest be remembered. (KJV)

一九七〇年代末に東京の吉祥寺にあったカフェ・マイナーが僕にとつてのキャバレー・ヴォルテルだった。

キャバレー・ヴォルテルは半年も続かなかったが、マイナーは数年続いた。

レーニンこそそこを訪れなかったが、幻視のロック・クリティークが音楽を彼岸と此岸に分け、その左岸と右岸の闘争を、ロック史と名付けた。

小杉武久は同じような問題系をタンゴとインドの戦いと表現した。それは水平と垂直の戦いを意味していた。

極東地域におけるアンダーグラウンドとは、輸入された音源の受容に於ける、深読みと誤読に基づいた辺境性のことだったかもしれない、

ロック史とは、言い換えれば、太平洋を飛び交うミッドヘブン・メールオーダーによって共有された一連のレコードのアーカイブを指していたのかもしれない。

極東地域の資本主義はそうにしてシャグスを受容する段階に達したのだった。

フリーミュージックの中では、歌を歌として歌うことはとても困難で、敵の中に、味方を見、味方の中に、敵を見するというやり方以外には方法がなかった。

朝鮮半島に於ける背中の歌と腹の歌の分断の止揚のために音楽にも政治の秋が始まった。

我々は自分たちのことを「みんな」と呼んでいた。ウラジオストクのデカブリスト達のように。

その後「みんな」は離散した。

八〇年代後半にバブルと呼ばれた金融資本主義経済の崩壊の予感と反日運動の挫折、ハルマゲドン後は国境がなくなるといふ黙示的期待の中で、多くの者が死に、音楽の中の敵と味方は雲散した。アンダーグラウンドも90年代にはなくなった。

マヘルは一九八四年に生まれた。

今世紀になつてからのマヘルの集まり方を考えてみると、まず言えることは、日本政府が消滅しても存続するであろう、室町時代から続く水田耕作者たちを母体とする自治組織である「組」に依拠していないということである。それは、彼らの祭祀と一定の距離を置いているからでもある。だから、ポートランドに見られるような、十字路に絵を描くようなアーバン・アグリカルチャーの機運を、居住者としてはそれほど熱心に興そうとしているわけではない。

家族の属するクリスチャンのコミュニティーを国家より上に置き、外人居留者のようにして生活しているわけだが、マヘルは、そのコミュニティーの成員によつて構成されているわけでもない。

僕の生業である陶磁器生産の、仲間の陶工たちや窯業組合とも一定の距離を置いている。僕の父は彼らに絵付けを教え、砥部町に陶磁器産業を興した。もし彼らと一蓮托生の生活を送っていたなら、週末にバーで「blues du jour」を演奏するだけで満足できただろう。でもそんなバーは砥部にはないのだ。

バーナード・リーチの同労者で、マイケル・カーデューという、イギリスにおけるスタジオ・ポッターリー運動の創始者がいたが、彼の窯Wincombe Potteryを訪ねた時、息子の一人がコーネリアス・カーデューであることを知って、僕は自分がなぜ音楽をやっているのか分かった気がしたものだ。

選良の立場で自分のデザインを押し付けるやり方は、作曲家が演奏者に楽譜を押し付けることと似ている。その上下構造を回避するために、あらゆることをしてきたのだ。しかも音楽そのものを殺さないでそうしなければならない。レッド・クレイヨラの、ファミリアー・アグリー、のように、人の集まりはいいものであるというのが父から受け継いだ組織論の基本にあるが、そのためには、演奏技術ではなく、投げ入れられた場で、忍耐を伴うフォー

マットによって武装しなければならなかった。ギャラを等分に分け合う所謂バンドでもなく、会場費を分担させるワークショップでもない。入れ替わる自発的参加者たちによって構成されているのは今の日本の置かれた超金融資本主義格差社会の経済的な影響によるだけではなく、「それはこういうことか」という戦略的なものなのだ。

地元のトラッドを発掘して、それをアイヌや沖繩にぶつけてみたりすることもあった。だからといって、アジア・ミーティング、的な、脱西欧の、オキユパイ、や、コレクティブ、を意識したアーティストやアクティビストたちの交流の拠点を作ろうとする動きとも軸を一にしているわけではない。自分の町をグラスゴーやブリストルに見立てて、デザイン運動としての地方文化の発信を念頭に置いているわけではない。パンク時代のシエフィールドやアクロンの、町ぐるみのコンピレーションを懐かしんでいるわけではない。ノー・ニューヨークのパン・クのようなものとして自分たちの町をイーノにプロデュースしてもらいたいわけでもないのだ。

ブリュッセルのヴェニユーの外の壁の落書きに、'JUST UN AUTRE'とあった。僕は最初それを言語を習いたての難民の呪詛だと思った。でも友人のザック・フィリップスがそれはイルミナシオンだ、と教えてくれた。そこで写真を撮った。マヘルは何々ではない、という書き方を続けてきて、そのことを思い出した。

ただジオグラフィックやレコードのミュージカル・ファミリーは、リールやメルボルン、モントリオールといった町で確かに機能しているのを実感した。そこにはいつもクリス・コーエンの影があったように思う。

今世紀に入ってからマヘルは、未だに音楽の敵味方という二元論的な残滓を引き摺り乍ら、その尺度でグラスゴー、ポータランド、パリ、LA、NYなど諸都市を見切って対象化しようとしてきた。グラスゴーでは明治期の唱歌に導入されたスコットランド民謡が最早日本人の古層を形作っている事

実を踏まえた馴染みやすい歌ものを、フランドルの諸都市やポルトでは、日本が受容した最初の西洋音楽としての後期ルネサンスの曲を選んで演奏したりした。マヘルはその時、大航海時代に略奪した遺産だけで辛うじて呼吸している他の岬たるヨーロッパの諸都市のようだった。それは忘れられた遊女が思い出してもらうために豎琴を取るのと似ていた*。西海岸では大陸移動説に基づく植生の酷似に気を取られた。その時のマヘルは太平洋を巡る軍艦だった。燃料は震災のデブリスである。パシフィック・リムは放射能で繋がっているのだ。

*Isaiah 23: 16

「忘れられた遊女よ、たて琴を取れ、都市を巡れ。最善をつくして弦を奏でよ。お前の歌を多くせよ。思い出してもらうためだ」。

原美術館リーキット展におけるパフォーマンス

「If you are hungry,」

「come to Yaro」

Great the Artemis of Ephesians.

Μεγάλη ἡ Ἀρτεμις Ἐφεσίων.

泡立草喰れて薄となりにけり

阿木追悼を書いたからとpepperlandのプロシユアーを頂いた。固有名詞が主語になったり述語になったりしている吹き寄せとかき揚げで、こんがりテインクトウーラがクレアトウーラ界面になっている。即ち俺とジャーマンロック、みたいな。

量ではなく比率で染まるのだ物心区別無く

朝日に渚さん載ってるんだけど名前出てなくて「彼女」になってる

マッサージ師で渚さんに出会って派遣社員になって、というゴールデン街界隈の女の人が主人公の話

アンダー・ザ・シルバーレイクに「ジャックコーク」と注文する場面があるので小瓶とコークを買って交互に飲んでみたが不味かった

呼ばれてピアノの前に座ってママとやったらセツがあたしも観たわよ良かったわよねえと言いながらそのまま即興的に即興的なまま雪崩れ込んだのが良かった

人を殺しちゃったとかすごい歌詞だけどあれ自分のことなのよねーとか打ち上げの時も言ってた

初夢はなんということはない、コンサートに遅れる、というもののだった。会場は「二〇世紀」というのであった。時間には共時的と通時的という二種類があり、僕にはその折り合いが悪い、ということらしかった。でも起きたらまだ一二時前なのであった。

頭士君に言った感想。この太陽系には太陽が一つしかないから僕らは三つ以上になると数えられない。でも後半は一つでもいいか、というところにまで持っていた。

萩

やがても密柑の如き夕陽、

欄干にこぼれたり。

この蜜柑は夏みかんのことで山口にはこれしか生えてない

多くの歌曲がつまらないのは、音にこの推敲がないからだ。

ピアノとは、書き直される詩である。

日本列島はプレート縁に擦り付けられたマーマレードのような付加体 *accretionary wedge* に過ぎない

この石灰のプラトーは日本のむき出しなのだ

閾値は感覚の堪忍袋であり刺激に対して一次関数ではなく対数で緩やかに推移する

日本の急激な没落が感知されないのはそのためである。

氷河期は突然に襲う。

issue 売りに閾値があり死にたがるきみにも閾値がある。四方の風を抑えている者たちがいる。大凶大風呂敷とはそのことなのだ。

YC&Mとか今世紀初頭の勢いを保つためにはその対数部分にだけ食らいつく必要があったのに、彼らの二進法は、なにがしかのアルゴリズムを呉れ、という時のインターフェースのゆらぎを後ろに投げ捨て過ぎたのではないか

AIのアートがヤマハの想像力を超えない限り。即ちキーボードに統失というボタンがあるか、とか。

そのキーボードが分配されないのが野山獄だ。或いはフォレストリミットのエレピには鳴らないキーが三つあり、その鳴らないキーでのみ演奏出来た。つまりそれがそのボタン

“See that nobody gets to know it.”

紀伊国屋には茂一という喫茶室があつていつも茂一さんが居そうな雰囲気だったがかれの没後その一画は無くなつてしまつた。レモン画翠とかと同じトキーヨーの空気感だつた。そういう昭和が払底されたところでしょうか。ばけもののような若いアベ支持世代の台頭で。

差異だけが地図化される。山も海も私たちの心も白紙となつた。

ハン・ガンの「ギリシャ語の時間」図書館車に積んだ。

人生ってなんなんだろうねー

人生とは寒い夜にベッドからずれ落ちる布団だ

布団が人生だ

布団には二つある

右にずれ落ちるか左にずれ落ちるかのどちらかだ

僕は布団ではない

僕はホメオパシーの錠剤を噛むだけだ

真顔でピエタ

もうあなたを、私は産めない

一九日ハルコドリッブ

曲乗り

わたしは生まれた時から馬と一体でした。ロデオを、わたしは本を見て勉強しました。わたしの曲乗りは他と全く違っていました。

二〇一九・一・九 last super fluxのためのテキスト

スーデラはマヘルでよくやっていた。アジアいちイケてるスポットだという触れ込みだった。マイクさんがモントリオールのコミュニティーから来たことが知れて気安くなった。フルートとかも入って大人数でやったthe book of lifeという曲はchapter musicのsong for Naoというアルバムに収録された。次にやった時はテーブルを囲んで全員アコギを弾いたりした。ねこをすてたときという曲が良かった。五〇人くらい来るだけでは儲からないのであまりじぶんからはやらなくなった。それでもたまにp s f絡みで呼ばれるとやった。今井和雄は勝手に兄貴と思ったりしていた。あてもほかにもたくさん対バンを組まれた。「東京の恋人」しか知らなかった豊田君とは仲良くなってそれから一緒にやったりした。リック・ポッツは尊敬しているので再会出来て嬉しかった。一番良かったと思うのは二〇一二年にやったマヘルで、塩ヶ森というリズムに遅延がある曲を映像を使ってやって、そのあと草枕という震災とカレーを扱った詩を読むでもなく歌うでもないフォーマットでできたことかな。ジェイコブ・ウレンのあたりからはたいい演劇仕立てで練ったものが多かった。マイクさんはただ笑っているの、何をやってもいいんだという気がしていた。あるいはそういう気にさせてくれた。経営が大変だという話は聞いていた。一〇年くらいの間に経済情勢はすっかり変わってヘビメタ世代のノイズは拡散し、アートの中心も東京から香港だとかほかのまちに移った。遺産のようなものは遺せただろうか。ぼくはこの前の、メロディーを聞き取って壁に書いていくマヘルはよかったと思う。みんな笑ってたけどね。

包囲網は狭まって

満ち潮の環礁の

立つ瀬も無くなるパンク島

ノ一技術脳舞台

観照テオリア

完勝感傷干涉鑑賞

寒仕様

原美の腹は偽ブログ展示だった

every body needs a bottom.

切れ切れになった腸は混ぜ合わされ

切れ切れになって風は揚がる

東京は海老大根挟み揚げのように生冷たい

金が成増貧困館

飛び下りても底が無ければいつまでも落下しながら生きていける

落下を回転に回転を落下に変えるにはたいようがもういくつか必要だ

あとは画像編集機能

来なければずっと待ってられる

Michael Kiwanuka - Cold Little Heart

U look smarter than ever after

and they lived happily ever before.

because I is the other.

this am the pen before after.

I are me.

we will meet yesterday.

I did it tomorrow.

昨日不全

不全

imperfections

insufficiencies

不全のともしび

音楽不全

不全音楽

疾走マルチメディア

いじめに遭ったら

落下しても落上しても青空

自殺しても殺されても魂死タマジニ

segurityaの練習

シャンパンタワーは上から満ちるととうとうお金の夢を見た

ゴスペルと言いながらこれは太極拳のズワイショウではないのか

is this to your liking?

二〇年くらい放置されていたマーティン・ローガン壊れてなかったので使う

帯電した畳みたいなスピーカーで中心がない

マズウェルヒルは汚くてどうしようもない街だったがマリリンという友達^が居たな

とキワヌカ One More Nightを聴いて思い出した。ウガンダから来たんだよね。

今日のセットリスト

寝落ちスマホを片手で探すどこが今日やら昨日やら

ところどころにまだコンビニが寄ってもさみしいだけなのに

シャンパンタワーは上から満ちるとうとうお金の夢を見た

わたしの体は日本のようだ嘘を吐くよに息を吐く

溝ノ辺騒動

left alive yet

遠い音楽

オクターバーが追いつかないように速弾きしてる

ディープリスニングとメタローグって相反しそうだが何故オリヴェロスがベイトソンなのか。ディープリスリーディングならびったりだ。人の出す音なんて分かるわけない。

バンドという名前がフェミなのだ。タンみたいに虫同士のコミュニケーションの音を拾って解読すれば害虫だって駆除できる。でも虫はバンドなんてやらないでしょ。誤解して暗闇で気合掛け合ったりや済んだ時代は終わった。

せいぜいアフオーダンスバンドだ。音楽は鬼の首だ。うたには身を切られるだけで済むがロジカルタイプを曖昧にすると音に寝首を搔かれるぜ。

ベートーベン馬鹿にしたらどついたらぞ。男でも女でもないところに一度触れたらそこから逆戻りするの
は衰えをしか意味しない。そこから神々も生まれたのだ。

アコーデイオンとはロジカルタイプ間のleapingであるべきだ。それはexaltして「ぐるぐる廻る」。

キュアロンの「ローマ」はメキシコ版猫村さんなのであった。

だいたいベイトソンパパが学者身分のまま神を語ろうつてのがあれだ、弁神論の伝統からも外れたメタな
蛟さを感じるんだよね。これはサイバネティクスとか言っていないでアカバネで立ち飲んだりやいような話
なんだ

アンテパスのようにロシアを振舞わせる

あのきつねのアンテパスを！

シェーファーのように耳を澄ませてもサウンドスケープは人工音ばかりだったし人間同士の即興はディー
リスニングのふりをしているだけだった。ダンの仕事はプログレ崩れの古楽やノイズ横滑りのフィールド
コーディングとは訳が違う。虫同士のコミュニケーション音を精神と同じものとして捉えたのだ。

耳鳴りこそノイズだ。耳鳴りに耳を澄ませば二四時間ノイズコンサートだ。

平成を装う

風池に貼る海路

Euroaquilio有楽論

でマルタ島

mundane music, mondaine life

教皇は米国に付き、やはりロシアが出てきた。ベネズエラもバルカンになる。ブラジルのダム決壊は大患難直前の世界的な災害の増加を反映している。

国も自殺するのだ

国を主語にして

主語がなくなれば

自殺は自殺する

死が切り離されるのだ

あらゆる死は国においての死だった

人口とは死者数と同義だった

生きていることも死んでいることもない述語として我々難民は主語国を脱出しさまよう

永遠の隣国

隣国はない

リングは食わない

Poison Ivy Rorschach plays theremin

今日河原で知り合ったモイちゃん。フィンランド語で今日という意味だそうです。ちなみにさようならはモイモイ。

ベイトソンの音楽的实践

幻野祭の「池の水は濡れている」とか

men in blackの「雨が降るから悲しいんじゃないやなくてきみが悲しいから雨が降るんだよ」

が近い

勿論モネはそこに居た

池は彼の心だったんだ

高周波や電磁波ではなく、こうした音の収集と分析によって農薬を使わない方法を探ってゆく。

カナブンを撃退できる地元のラジオ番組をつけっぱなしにして農作業する人が多いが、農業チャンネルを作ってこういう音をブロードキャスティングすればいいのだ。

シェーファーからの流れ

Renato Rinaldi - The Time and the Room 110074

言語に囚われた演奏者を部屋の客と捉え言語を介さぬ直截なホスピタリティを示そうとした、イタリアのラジオ番組用摘採作業の記録

スクリーンの丘でGに居直るメンソール 禁令前に死ねばいいのか

これもまた、真綿で窒息する布団を回避するためのざらつきをまぶしているので今回は質の悪いヘッドフォンで聴くのがおすすめ。

「ひとり、降りていった。」

I've lived through some terrible things in my life, some of which actually happened.

I've had a lot of worries in my life, most of which never happened.

Mark Twain

- Russia entered into the land of decoration

- ファミマセゾンと訣別

博覧は何の役にも立たなかった

この駅はパリの北の方にあるからニックドレイクのノーザンラインに似てると思うんだと送ってくれた人に返事した

まだ生きている人たちをやめて線量を気にしない人たちに変えようかな

ティーネイジファンクラブもマルキシストでスタジオを共有し関係する全員の収益の完全な平等化を標榜していたからイメージとしてはバンドというより生協の運営に近かった

バンド然としているのを見るとクスッとしてしまう

バンドというのはクスッとしてしまうものなのだ

特にそれが要請されている時は

Shalom Aleichem n'a pas été traduit en japonais, sauf celui-ci.

姑獲鳥ウブメはギヤアギヤア赤児のごたる声出して、夜中に啼きながら飛びよると。お産はおなごの戦争じゃけ、戦争で死んだもんは、浮かばれんまま飛ぶとばい。産みそこのうた赤児を、誰かに抱かせたなら成仏するとな

MOCKY本に寄せたコメント

シェーファーのように耳を澄ませてもサウンドスケープは人工音ばかりだったし、人間同士の即興はディープリスニングのふりをしていただけだった。デヴィッドダンの仕事はプログレ崩れの古楽やノイズ横滑りのフィールドレコーディングとは訳が違った。虫同士のコミュニケーション音を精神の同じものとして捉えたのだ。モツキーを虫として捉えればベルリンやLAの心が分かるだろう。

mockyは音楽じゃなくてその世代と共に歩んでいる何か、だと思う。様態なのだからコメントを頼まれて虫のエピステモロジーのことを書いたのは多分間違っていない。と思う。。

今帰りで、LINEの松屋のクーポン使って鶏タルささみステーキというのを「タル」に反応して食べてみたんだけど肉が異様に硬くて、コスト的にチキン南蛮を供給できないからこんな名前にしたんじゃないかと邪推してしまった。ちなみに宮崎チキン南蛮が一番近いのはやよい軒のらしい。柔らかいってことかな。

胸肉を柔らかくする方法はいくつかあるけどどう足掻いても春光亭が一番だった。硬くていいのは地鶏のかしわの炭火焼くらいで、とにかくこのささみは何かに漬け込むとか焼き加減工夫するとかなんかもう一手間欲しかったかな

とか言いながらあと二時間しか寝れない

ブラックだな

あ、今新聞配達のクスマト君のバイクとすれ違った。彼もそうだけど田舎ではみんな五つくらいかけもちしてなんとかやってる。水道やガスの検針、コンビニの在庫チェック、タンクの清掃、ミカンの袋掛け、国勢調査、温泉は清掃だけじゃなくてサウナで大団扇扇いでアロマを送る係、なんていう人もいる。

あとはやっぱり介護が多いかな

次次回展示タイトル

garden clay festival

とは

磁土とガスを買えなくなって庭の土を酸化で焼くことである

iridescence

周りを見回すな

フォーレのシチリアーナってやっぱりゴッドファーザーのテーマと似てるわね

シチリアーナと思っていたが

住宅顕信の映画が出来たらしく野村boに墓参りめいた挨拶が来て夕から朝へ明暗いれかわり春

今店で流してるのこのリストだろ？ダルいね。春だ。椿さんはまだただね。

彼は白磁を見にうちに来たことがある

ふきのとうあり採りしかどせいぜいが潰れたコンビニのような寂しさ

ghost fantôme

ventriloquize ventriloquise

epistolary épistolaire

feudal féodal/féodale

perinatal périnatal/périnatale

精精が苦い光の路の墓潰れたコンビニのような寂しさ

エンジんかけたら今日は服(福?)の日ですとダイハツの代車のナビが言うんだけど勝手に毎日毎日語呂合わせで記念日決めまくるんじゃないかなーよと思う

あと「一時停止があります」とか言ってくれるのはありがたいんだけどバラバラに録音して音程を揃えてな

いからありますのあが急に上擦って気持ち悪いぞ

はるにみるのは

わるもののゆめ

はぎしりしながら

ねごとという

サテンとかラーメンだとかカレーとかみつかでいちまんつかつていたのか

すぎるたびはるのくうきの白みたりなんてコンビニつぶれたんだろ

これもベイトソン読んでデカルト批判してるクチだがそこから始める言語はいくらでもそれていけるし少しでも違和感のある定着からはいつても下車できる立場にあることを忘れてはいけない。

見えるものと見えないものの界面はノヴァーリスに言わせればいつでも粘着しているのだからそれを保持すること。

今になってなんで肉の日じゃないんだと気になってきた。スーパーの安売りみたいだからかな。

レンタカーまだぶつけてない、とまだ生きている、は感覚が似ている。事故るまで安心できない。

낙원에서 만나

オニは声がとてもきれい

夜中の三時半に9999フォーナインで終わってないか

よなかのさ

んじはんにきゅう

きゅうきゅうきゅ

うふおーないんて

おわってないか

ライちゃんこんなところまで遠出したのか春一番が満月の日

黒豹が撮影されたのは初めてだそうです

リングは輪切りにするといいて聞いて中の五芒星を見て喜んでいた

枝の先端、スツと抜け、上部を薄く輪切りにすると、木から実がどう吊られているか興味が沸き、のですがわずかに太くなっているだけで支えていたのだと分かり衝撃を受けました

このテントウムシはイチヨウを食べるか、ナミオが撮ったのですが

天敵に食べられると。わからなくなりますが、黄色くなつてイチヨウを食べているのか、ら黄色くなつたのか。それなら日本も食べられてしまえばいい。いうことは許容できることなのでしょう

ちまつり

ちのまつり

ちをのむまつり

いうえお

ローガンの修理作業です・今日は一日マーチン

詳しい人がバブル後夜逃げしたのでわからなくなっていたのです

鉄板に高圧を流して振動させる屏風みたいなスピーカーの話です

いえ鉄板そのものではなくサランラップみたいな膜が静電気を起こしてその変化が音になるのです

。だから屏風の前後で同じ音がします

。今日は失敗したので作業終わります

。次回はもう一人オーディオマニアを呼びます

。オーディオマニアは点在しているからです

。彼らは音楽には興味がありません

モアで売れるかなと。合間にLPを二〇〇枚くらい取り分けました
。汚いのできつと二束三文だけれども。思って

yunboyyunboyunbo 若者向けの飲み屋が潰れて店のレコードの置⑥

き場に困ったオーナーがうちにまるごと置いていつて何十年もそのままになっていたのです
萩窪とか西萩ロフトでかかったようなやつです

今日の果軸

さつきから阿倍野のまつむし駅付近の立ち飲みとかにいるんだけど

いいとこだよ

説明できないけど

ライブはピアノを弾く

イエスの腹。あれはいけない、フェルメールのマルタとマリアの絵

。漫画と言っている。彼の絵はほとんど顔だ。マルタの顔はいい。が無く侏儒に見える

写真を取り込んで源頼朝像のようにウシ、漫画だと言うのは或いは

画面のいち部分が遠近法を無視して浮いていることがあるという意味で、ジマくんたちを乗せる感覚だからある

額の広い知り合いの女を思、鑑賞者たちが漠然と肩越しに覗き込み

гентでは同じ絵の前で子供がプロレスをしていたが警備員は笑つ。い浮かべただけで隣の絵に移ってゆくているだけだった

ミケランジェ。わずかに布の文様に血の誤用を想像するだけである

。欠如の欠如、徳島の女、太陽光発電を行う塗料、口的な石粉の塗り絵

例えば彼が愛を強。アーティストの言葉は全て欠如の裏返しである

しか。多くのアーティストはアート歴史について語る」。それは彼に愛がないからである。調したとするそれは彼がアートの歴史にしか興味がないからである。と言ったとする「。し私は生の歴史にしか興味がない。る

というフォー、翌日省念君とやるのでパンクとしてピアノを弾く練習と思ってやってみた、マットを

もっと少なくていい

フハフハムーン

イランのキアロスタミのクローズアップを観てボスニアのタノ

共にドキュメンタリーの手法を使い金の無さを金の無さとして。ヴィッチの鉄くず拾いの物語を思い出した。系バンク映画で映画としての希望が残る「それはこういうことか」料理した

金がないことは平成を装う~~る~~諸兄諸姉にとって唯一のそして恐ら

くは最後の希望となるであろう

失恋ももはや意味をなさず二〇〇一年には木星が太陽になつたくせに永遠はとうに過ぎて天満で三日酔いの平成が倒れているだろう

円
円

捻り取られてないことがわかる、中心部と接続しており摘果の際

愛媛ではコンテナのことをシトラという

焼き物屋も土を運ぶ箱をシトラという

検索しても出てこない

ミカンを入れるからか

いまスタジオだけど他のことが手につかない

ローラが黒人の親から生まれた出生、は「悲しみは空の彼方に」

昇り詰めた挙句の突然の破滅で終わる映画なのかと思ってい、ジェーンにさえも隠し・同じ境遇のサラ、を

黒人を主人公に出来ない時代の苦肉の脚本だったのだと知。ローラは最後までただの白人なのだった、たがれた。

アメリカ合衆国のパンクはリズムを一段上の階梯に持ち上げようと

あれは？ GGアリン。ない、ひとかけらも、だからラモーンズも含めてロックンロールでは。いう気力がない心からそう願。家族みんなで復活するとい。父親にレイプされたことの復讐だけだ。ただのカントリィだ。うよ

重いから羽を付けたがるんだ

。最近ハガキが老人のフリをしてるだけだ。老人は存在しない

・流行のグレイ、今の世界を色で表すなら、はっきり断言できるが

年号も白髪。道連れに滅ぼすためだけの嘘くさいナチュラル。何かが反比例して若年化してる。ヘアの白だ。にすればいい

。音楽や表現行為よりも上に来るものがあることはもはや明白だ
。ケージはそれを知ってか知らずか演劇と呼んだのだ

もう部品が手に入らないフィアットにゼロテープを貼って

バケツの土はなかなか溶けず

遅い弁当食べたならもう辺りはどんより

桃の狭間がいちばん春だな

であ「平成は存在しない」最近のEで感心したのは高橋朝君の
。三月のマハルのタイトルに使わせてもらうことにした。る

アレンみたいによくしゃべる人だな・ギトリてウツディ・サッシャ

読みたいんだけど五〇〇〇〇円ぐらいしてま「自然なきエコロジー」

。だ古本出てないみたいで買えない

。音楽は音楽だようあがいても、でもね

ど。ベッケルのANTOINE ET ANTOINETTE途中怖くて早送りした

。んなホラー映画よりも怖かった

yunboyunboyunbo 八〇万フランは換算すると今の八〇〇万円ぐ^⑥

。グリードでは金銭欲で皆身を滅ぼしますが奥さん偉かったですね。らいで劇には丁度良い額です

久しぶりに街に来てアーケード街に佇んでいたら最近ママになった

今度ゆつくり来るからと。和服のみなさんに掴まり車だからと言うと開店前の店でペリエを飲まされる

。ってやつだねくイマココ。その後オープンカフェでワインを一杯だけ頼み現在に至る。言って退出する

帰ってからギリシャ語アルファ、その後温泉付属の散髪屋に寄り

ローマー三章から良心に当たる。ベットを覚えるためのカードを作り四回神経衰弱方式でやってみた

共同の知、に由来し(知識)とエイデーシス(と共に)シユン。overdoublesを探しシュネイデーシスと読めた。自分と共にある知識を意味する、識

フイールドレコーディングすることくを、自然とはスマホ

、入ってしまう風の音は最早美学的にはかつてのスクラッチノイズ
スクリーンのノイズだ

というエフェクト機「ボイスメモに入ってしまった風の音」いづれ
能が現れるだろう

人生になるか。最後は脳内^②や脳内ラノベとの戦いになるだろう
映画になるかの隘路若しくは峰を門渡り

八〇〇万あったら今のがもう廃車だから新しい軽トラ買う

あとはパソコンとかテレビとか持っていないので買うかも

エアコンも三〇年使ってるし洗濯機もしょっちゅう止まるし

あと首輪認証の自動ドアがイギリスで売ってて春先はそれが切実に
欲しい

でも宝くじ買わないので無理

。ネーミングが良い。酵素で作る松葉サイダーというのを本で見た。
作るなら白砂糖の代わりに蜂蜜を使うつもり

yunboyunboyunbo この時期オスが入ってきてマーキングしてい@
くんですよ

今日は玉柳君が牡蠣を送ってくれたのでナミオラを呼、いま帰りで
んで食べるんだよ

高校生のけい君がガレージバンドで。牡蠣でお腹が痛くなってきた
なんか作ってるというので生楽器と機械音の区別など無いという話をしてモートンフェルドマンとアル
。皆今帰った。ゴムのダンゴムシのやつ流行ってるらしくて受けた。ペレットを貸した・ヴォ

評論の仕事は良いところを見つ。全ての人を敬わなければならない
だから全ての評論家の文章は以。一番良くないのは匿名で呟くこと。自分を徹底的にその下に置くこと、け

をお書きになっていらつしやるこ（etc, 劇）本。○○です」。以下の一文に統一されなければならない、後「。とは尊敬に値します

ほこほこからはおはあになった

海マヘシヤラニ三日マヘシヤラ海

左が映画で右が人生とするとこの峰伝いに歩いてゆくわけです

今はストックホルムで学生をやっているノエミさんの枕元カセツ
大変潔い才能あり可哀い。ト

マハーと言うのが自然なのは知ってたがグリーンブックのピアノス
トがマヘルシヤラルまで綴りが一緒

ピアノは映画が進むにつれて平凡に

あと飲食物が尽く不味そうなのは野菜を摂取するシーンがないこと
から来る不安からではないかと

そっくり

きず・啓蟄や死にたいうごめく気配

平気なふりをすると体に来るから気をつけたほうがいい。労働者諸君
。いぜ

コ・ミシエルというのは黒色インターを作詞したバリ・ルイーズ
。ミューン時の人

yumboyunboyunbo 三谷はマヘシヤラと約めて言っていたがこれ@
。からはマハシヤラと呼ぶことにしよう

,singer songwriter

sing along to a nightmare

.with singing ears of consonants

.longing for a rider ,sin is resonant

デルフィーは神殿ではなくてその形からイルカの意である

グラデーシオンが曖昧で美味しそうなので食べてみようかと思う

בְּרִישַׁת הַיָּד

ベレーシートと振られているがbedhashechのように聞こえるジェネシス冒頭の「初めに」

アメリカにロックは存在しない。他ジャンルとの関係において語ることしか出来ない。抽象化し得たのはイギリスにおいてであった。ところが、イギリスはアメリカとの関係においてしか存在しない。宙吊りにされたまま転がるのは、そうだーよ。だ。

ある日どこかでというのを観た。一九七九に戻ってからの最後の演技が冗長で、なにも死ぬことないじゃんと思った。アーサーをうまく使ってああ夢だったんだ、でも、くらいに濁すだけで良かったのでは。一九一四世代についての話なので、死後結ばれるとかの安易さを垂れ流されると尚更そう思えるのかもしれない。

今生きている世代は三日絶食して死ぬことくらいしかすることがないだろう

死ぬならシネマの

капті́, 実

So the song of the tyrants is silenced.

singy song, singy song, singy singy singy song.

フランスでは歌は彼を世に引き戻すための反動勢力として裾を拡げている

スズメ目ツグミ科ジョウビタキのオスが庭に去来

寡黙

運び屋を観た。かのストレートストーリーより確実に現在である。先取りにはいつも少しの希望がある。映

画の主流となるであろうビッグコミック的な老いを先取ってさらに進めてみせたのである。

老いとは若造を恐れぬことだ、老いては長ける狡知たれ、その余禄を使ってアナーキーであれ、と。

それを俺はシニア割で観た、と。

明け方は他者の心臓入れるから自我には最も危うい時間

向こうでは赤で渡ると出羽守

ラジオからへけれどもようやく虹を見た

多くの人は静かな絶望の中で生きている

人はなぜ成功を焦るのだろうか

周りと歩調が合わないのは別の音楽を聴いているからだ

皆自分に聞こえる音楽に合わせて歩むべきなのだ

ヘンリーソロー「森の生活」

公園と道路の端境の緑樹列の平らに刈り込まれた天辺を匍匐したくなりしたら捕まり帽子を取ろうとしたなど主張したが罰金四一〇〇円、無いなら貸すと言われ連れられて行く公園内の茶店には刑期を終えた不適格者の食事の集いで新参の女同士の被虐加虐が透ける演奏を夢では既知の皆が観ている。

へ汚れ汚れて傷ついて

死にたい

σημειον

sign

preparing music for an intimate anonymous photo found at flea market

ヘロドトスによれば、エジプトでは、猫が死ぬと、家の者は皆、自分のまゆ毛を剃ったが、犬が死ぬと、家の者は体中の毛を剃った。

のまさんにザグレブのワイン貰ったひよろ長い

除草剤

分別のある分別に萌える

猫砂にする横綱のゴミ出し

除草剤散布で蔓延る土筆

美しい我孫子

乱射シャ乱の

安倍ベア

リベラル墓場

ベラベムベロ

蚊がいる

加害者

果肉はJettar

かにくわないやつ

春雷ステーキス

粧ひ信田嫁入

フーコー明媚

カール大帝

ひとりしりとり

トリチウムの多い料理店

天路歷程バーミヤン

光速ヤスパース

春雷大滅

春雷かジェット機かわからないこれは私の愛する子

そら光りとうとう宇宙が血に至るまで逆らって泡立つとそのあと大風が吹いた柿の木に

小堺の白い肉ショツカーの如く溶け地面カルシウム照り首枷ワンダーランド首輪認証ベラペロ

ラベル貼り音風ワイン出来上がり

ランボレロギーニ飢え乾くダリ白一世風靡

そのあと雨

雨はまつすぐ下りる

光りで音が増すとまつすぐではない

ジヨボジヨボボジョレー

死と使徒ピッチャーメガデス井おわりちかいおかわり地下一階

ご飯無料と思ったら百円取られた家系の苦い思い出トリ公

バンクロフトラブルクラブトバンククラブト

天が怒っている

来春までには死ぬ

犬のにおい

ベラペムベロ

プライベートベンジャミン

便座ミンフランクリン

クリントイースト菌

ウドー音楽ムシヨ

アニメ韓

村上君鬱

統失制限ネコの白内

吐き癖見破る漢方医

タイムカード押しといてやるから帰れば、早退性理論

娼婦殺しに至る経緯を予想させるいくつかの要素

インドの人と一時間話した。後退するリベラルは妄想が現実化する歯止めを演じている。私の曲が浮いている。この神殿はガレージのように掃除してほしいか。

とうとう音楽同様詩の場所にもアンビエントが！

夜、役立たず二を書くという古川君と飲んでクライストチャーチと相模原事件を結びつける着想を得た。

コーちゃんと金田一さんとレッツゴー役立たずという曲をやったのも思い出した。

役立たず一は伊牟田の前くれた台本に似ている。それもゴドー系の二人劇で車椅子の何とかって女優が伊牟田に殺されてしまう。

アンビエントツイート

人生がひとつのメロディだけに収斂していった

the last song of my life

昔店でピアノを弾いてたら彼の付き人にいま裕也さんが来られるからロックンロールを弾けと命令されたので弾けなかった

ロールはrevolutionやdevolutionの語幹に含まれる転がるという意味を共有する。進化論ならロック史も要らない。私たちはただアンビエント詩学の中を移動し変化しただけだ。

支配的近代環境とはアングロサクソンであった。その意味で阿部のサックスはアングロサクソフォンであった。アングラはアングロであった。その中を転がったただけなのだ。裕也は静止しておりロックではなかった。前近代であった。彼の付き人は正しくroleロールしていた。それらの要素が場をロックにした

物語が与えられ続けることによって良心が変化する。Tは逸らされていくために存在している。物語を与え

続けることによって人を逸らすことができる。すべてのものに勝ってあなたの「L」を守れ。

日時と、望むなら場所も記録される呟きは決定的にアンビエントであり、人類史において初めて「芸術」を後退させた。

エコロジーの領域にあるそうした呟きは、工作人員アカウントの物語を軸にロマン主義を残存させていく。

エコミメーシスによる案内としてうちの市を呟く。近所には刑務所（不法入国者の面会に行ったことがある）と豚コレラによって閉鎖された養豚場跡地と射撃訓練が五月蠅い陸上自衛隊基地がある。刑務所には不法入国者への面会に行ったことがある。干からびた川が、伏流水を見たことはないが、流れている。

punkからLudditeへ

無予算機材によるアンビエンスとしてのノイズ

@magairoad それな

音楽は演劇の一部であると言う以上に、もはや表現全般が批評の一部でしかないという頭に転換しなければ最期の歌は始められない。

ジ・エンドやシスターレイの水準をすべての歌に求めるといった若書きでは不充分で、そこから先はないという滝の部分の特化すべきだ。白鳥の歌だとか認知の臨終に澄み渡る頭だとかそういうロマン主義からは離れた、外の侵入のエコロジカル・ライティングとしてのシャンソン・デルニエールを世に投ぜよ。

音楽家に音楽などやめてしまえと言うのが今最もエコな原爆製造で吉報はロンドンマヘル解散の憂き目。

マグネット付き猫用ドア設置しました。

カーペンターズのClose to Youの最後のリフレイン群の中には、十二分の一拍早く始まる回が一つ、十二分の一拍遅く始まる回が二つある。このアルバムに参加しているドラマーはスピードの速さと早さのセルフ・コントロールの点でアメリカ内ではラモーンズなどよりロックだと思う。

即興のために音楽をやるというのは即興を意図した時点で即興ではない

音楽のために即興をするというのは音楽を意図した時点で音楽ではない

音楽も即興も意図しないというのは意図しないのだから音楽でも即興でもない

音楽も即興も意図するぜというのは音楽と即興を意図した時点で音楽でも即興でもない

即興のために音楽をやるという考えは本末転倒していて気が狂っている

音楽のために即興をするという考えだと、即興的に即興音楽の会場で場違いなジャンルの音楽をぶつけるということくらいしかすることはない

即興のための境界線は無限に引ける

ゆえに即興は存在しない

境界線が存在するだけなのだ

ビリー・ホリデイの系譜のように即興のための境界線がはっきりしている場合、音楽はその即興のための境界線を引く行為によって評価されてきた

境界線に優劣はない

音楽そのものに対して境界線を引くこともできる

音楽の外で何かをすることができる

音楽をやめることは音楽のために大変有効な手段だ

公演をキャンセルすること

ヴェニユーを爆破すること

それによって負債と咎めを受けること

それによって音楽の外に立つこと

〇〇とは波か粒子かの絶え間ない選択である

〇〇の中には即興とか音楽とか何を入れてもいいがそれを固定してはならない

麦の不揃いな頭等突立ちてをれば眼の痛み

不揃いな麦の頭等突っ立ち 九〇年代のような夕方

コンピーフは窓辺で開けるショーケンと水谷豊のような新宿

死にたい以外に言葉が出ないのはハイデッガーのように外を固定しているから

外を世界ではなく環境と言い換えるとはどける或いは溶ける

セカイでもいい

はるは二元論組合闘争の終わり

わ！かれ！わかれわかれ

離婚と書いて離婚（わか）れと読まず文字変換のセカイ観

死にたい以外に言葉が出ぬと出涸らし出されたハイデガー

パンクはいつもDOA

ジャージー・ボーイズ観た。

登場人物が画面に向かって話しかける映画は大体面白いね

君の瞳に恋してるは岡崎でテライ君が歌った日本語ヴァージョンが良かったのを思い出した。後でメールでわざわざ歌詞まで教えてもらったんだった。聡子さんと作ったと言ってた。

作品かと思った

ロシアは作品かと思った

生き死にに繋がる失敗と

同じ平面に食い込む根の冗談

死に際の冗談

「ロシア民衆」さえも冗談

嘉徳なベ加那や如何（いきや）しやる生まれしちがよい親に水汲まちいちゆて浴めろ。

オーソン・ウェルズのimmortal storyを観た。イザヤ三五章のシェークスピア的世俗へのパラフレーズであった。Then shall the lame man leap as an hart、を貝に成就させた。